様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒101-0051

住　所　東京都千代田区神田神保町2-4

氏　名　株式会社アーステクニカ
代表取締役社長　西 昌彦

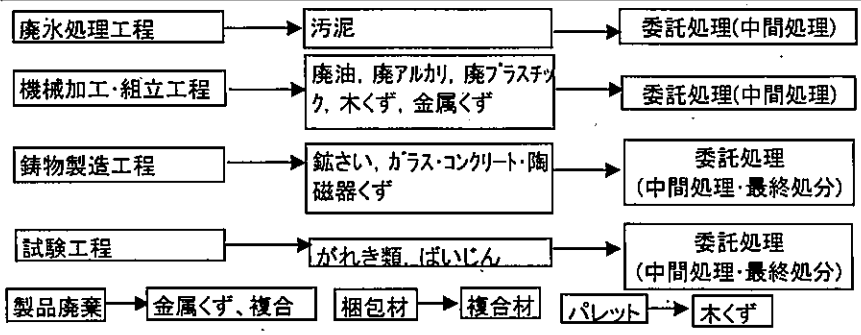
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　03-3230-7151
047-483-1111（担当者）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アーステクニカ　八千代工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1780番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

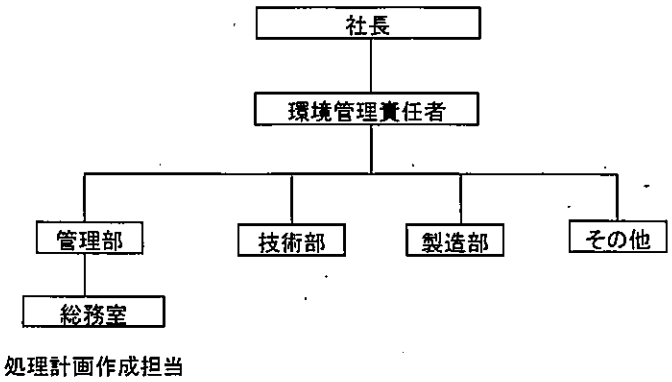
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E27－業務用機械器具製造業
②事業の規模	前年度の売上高　170億円
③従業員数	286人（臨時従業員含む）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙の通り		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各職場で産業廃棄物ごとに分別容器を設置し、分別を徹底している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各職場で産業廃棄物ごとに分別容器を設置し、分別を徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）
該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）
該当なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）
別紙の通り

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類＿		
		全処理委託量＿	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙の通り		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙１

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（2023（R5）年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	鉱さい	がれき類	複合材
排出量	88.935 t	21.958 t	0.80 t	51.82 t	89.55 t	99.35 t	10.62 t	1801.14 t	427.54 t	2.87 t

（これまでに実施した取組）
鋳物砂再利用により廃鋳物砂を削減する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	鉱さい	がれき類	複合材
排出量	88.00 t	21.00 t	0.80 t	51.00 t	89.00 t	99.00 t	10.00 t	1780.00 t	427.00 t	2.80 t

（今後実施する予定の取組）
鋳物砂再利用割合を増やし廃鋳物砂を削減する。

別紙２

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（2023（R5）年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	複合材
全処理委託量	88.935 t	21.958 t	0.80 t	51.82 t	89.55 t	99.35 t	10.62 t	1801.14 t	427.54 t	2.87 t
優良認定処理業者への処理委託量	88.935 t	21.958 t	0.80 t	42.64 t	89.55 t	0.00 t	10.52 t	872.19 t	106.34 t	2.87 t
再生利用業者への処理委託量	1.552 t	12.098 t	0.00 t	40.49 t	89.55 t	99.35 t	10.42 t	937.88 t	405.34 t	2.87 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

鉱さいは路盤材等として再生利用ができる処理業者に委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	木くず	金属くず	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	鉱さい	がれき類	複合材
全処理委託量	88.00 t	21.00 t	0.80 t	51.00 t	89.00 t	99.00 t	10.00 t	1780.00 t	427.00 t	2.80 t
優良認定処理業者への処理委託量	88.00 t	21.00 t	0.80 t	51.00 t	89.00 t	0.00 t	10.00 t	908.00 t	0.40 t	2.80 t
再生利用業者への処理委託量	1.50 t	12.00 t	0.00 t	39.00 t	89.00 t	99.00 t	10.00 t	872.00 t	360.00 t	2.80 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）
廃鋳物砂をブロック製造原料として再利用する業者へ処理を委託する。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 21日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒101-0051
住 所　東京都千代田区神田神保町2－4
氏 名　株式会社アーステクニカ
代表取締役社長　西 昌彦
電話番号 03-3230-7151
担当連絡先 047-483-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社アーステクニカ 八千代工場
事業場の所在地	千葉県八千代市上高野1780番地
事業の種類	E27－業務用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

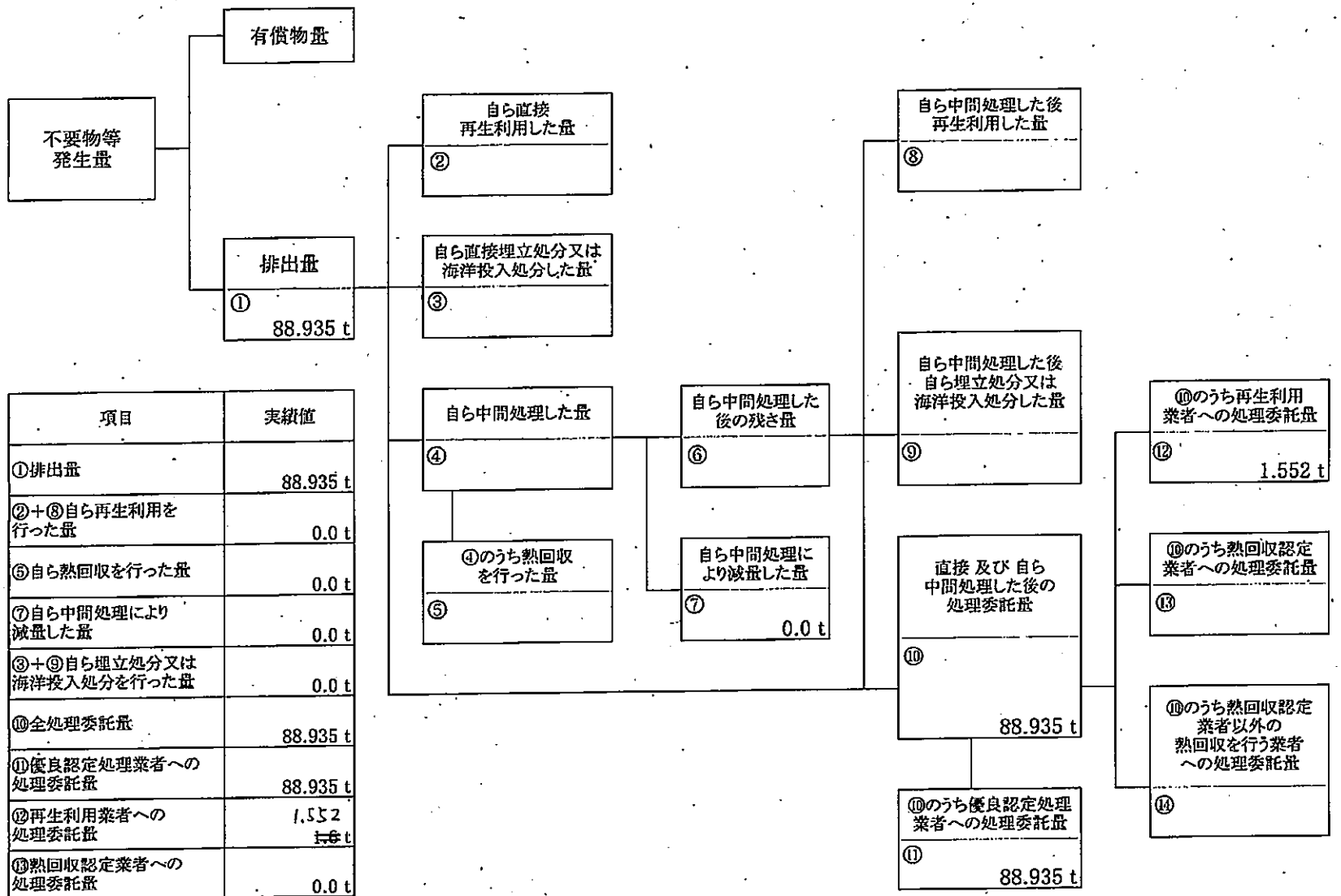
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2677.54 t	全処理委託量	2677.54 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	1243.44 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	1582.50 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　汚泥　　）

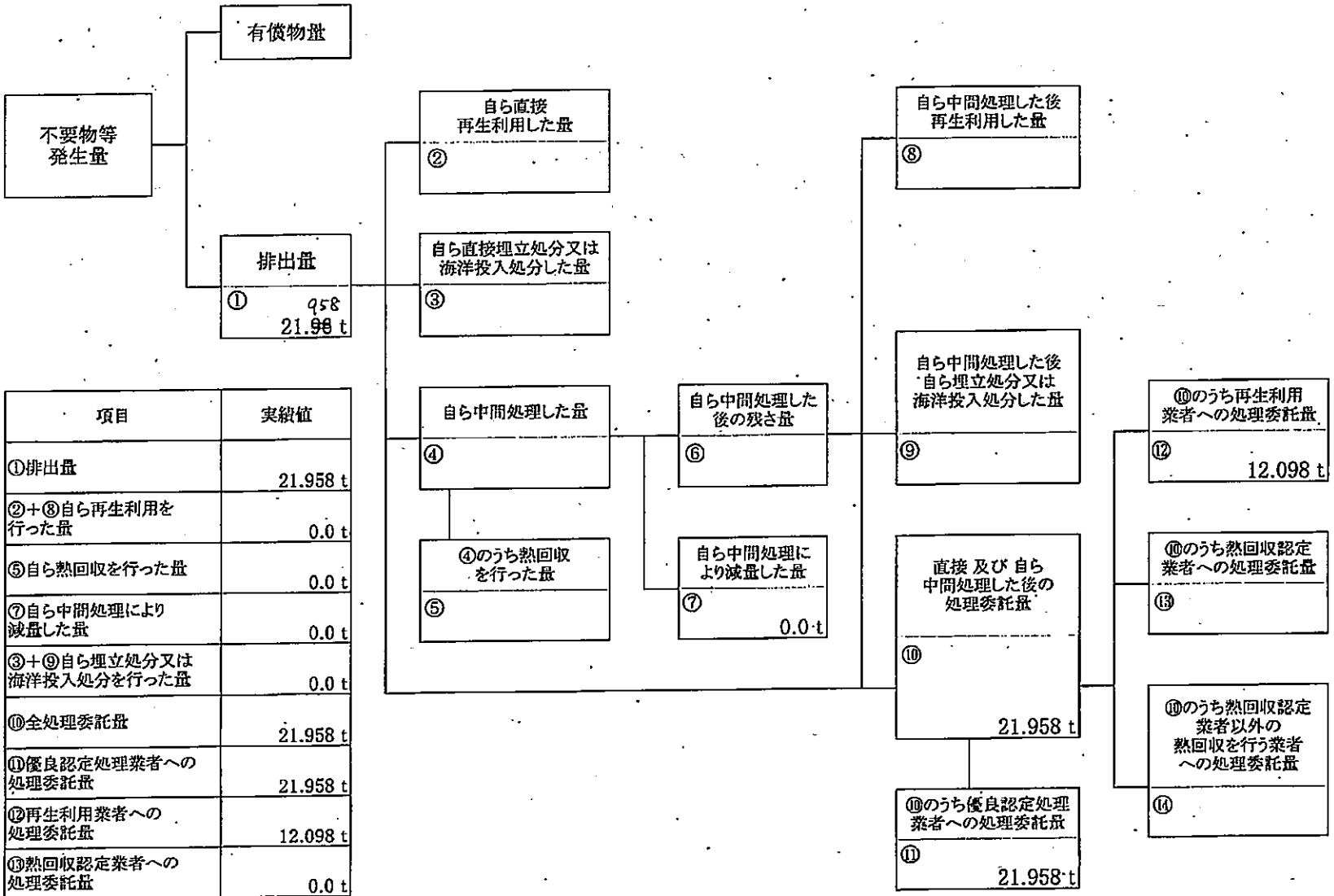


項目	実績値
①排出量	88.935 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	88.935 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	88.935 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.552 ~~1.6~~ t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃油　　）

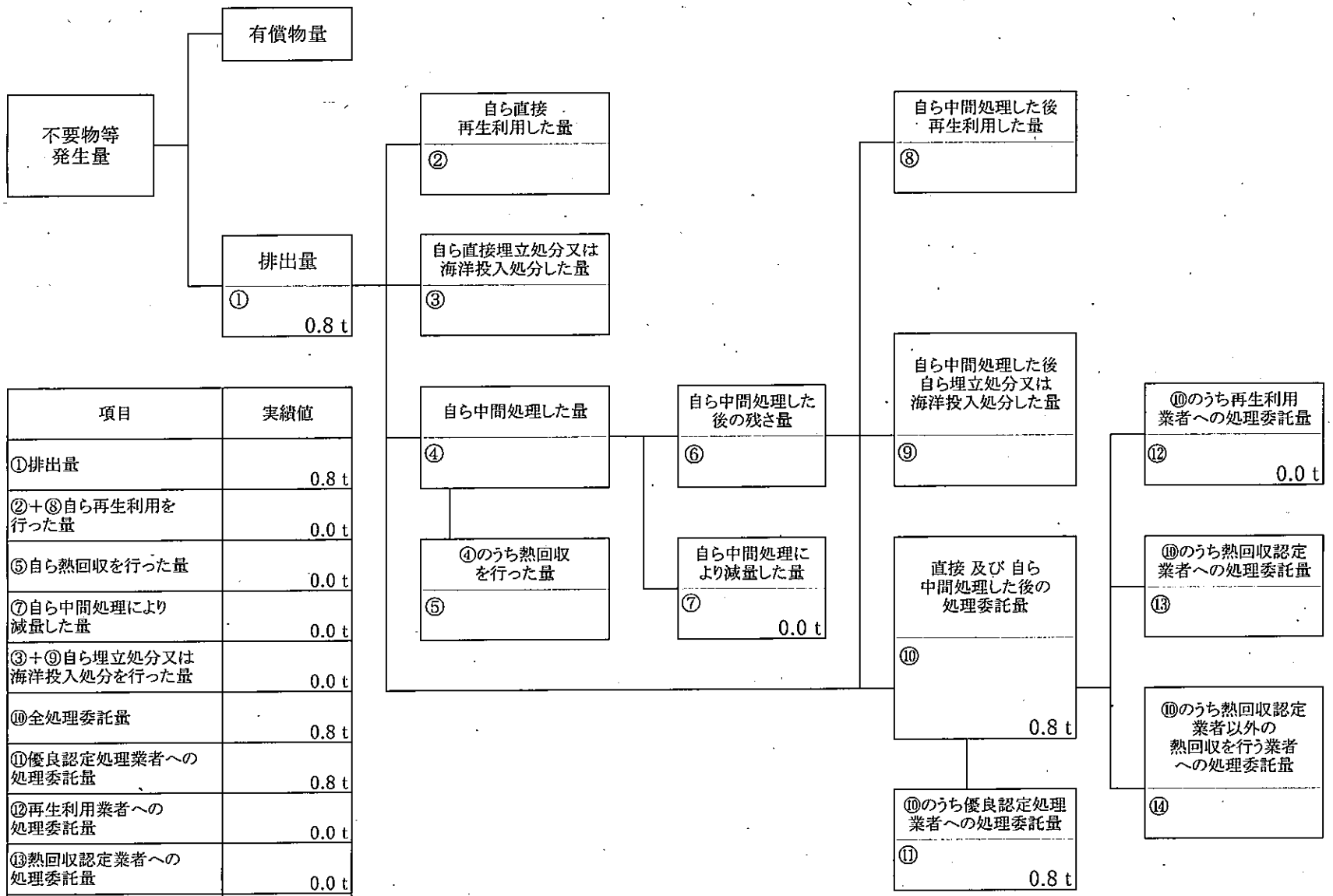


項目	実績値
①排出量	21.958 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	21.958 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.958 t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.098 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ　　）

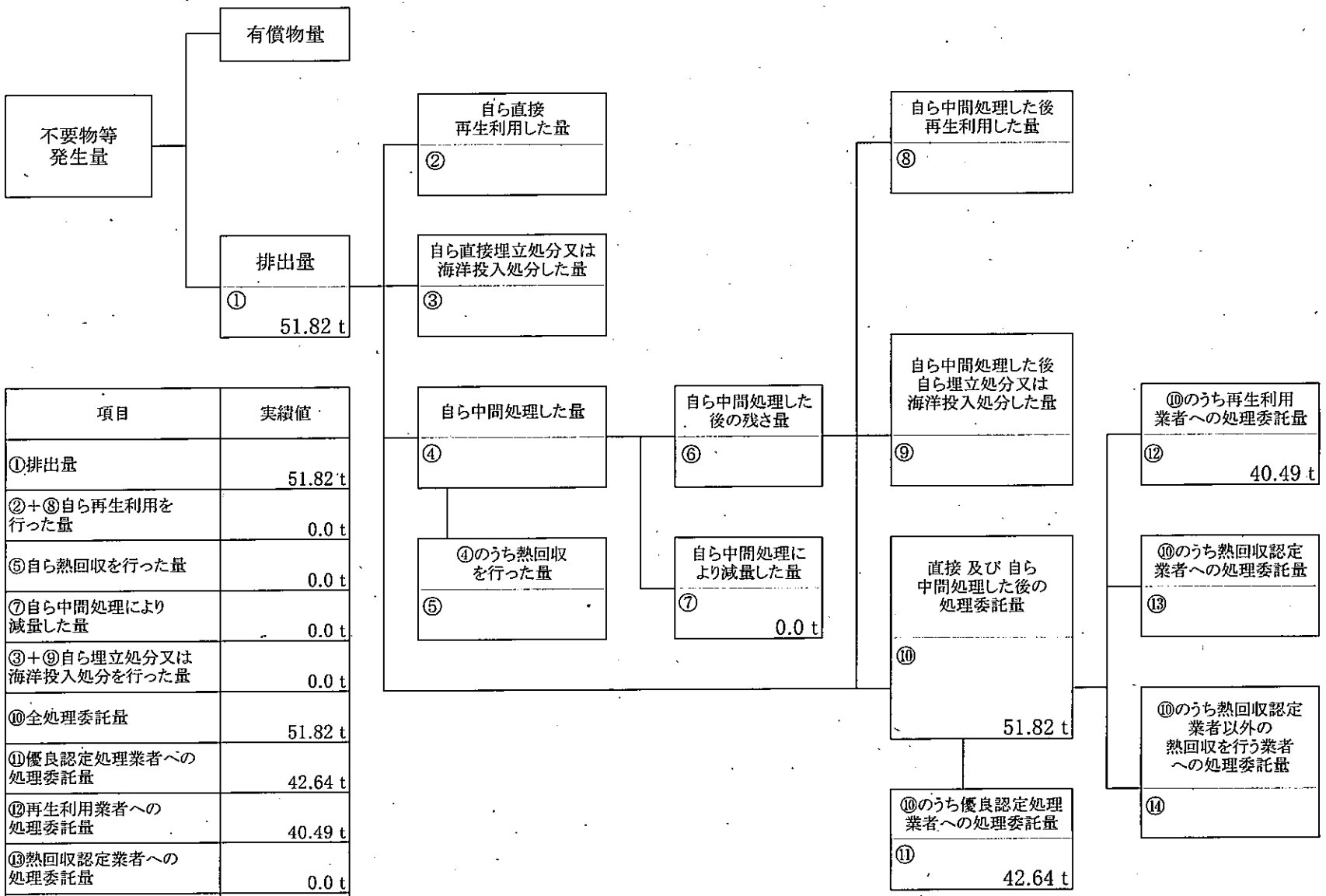


項目	実績値
①排出量	0.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃プラスチック類　　）

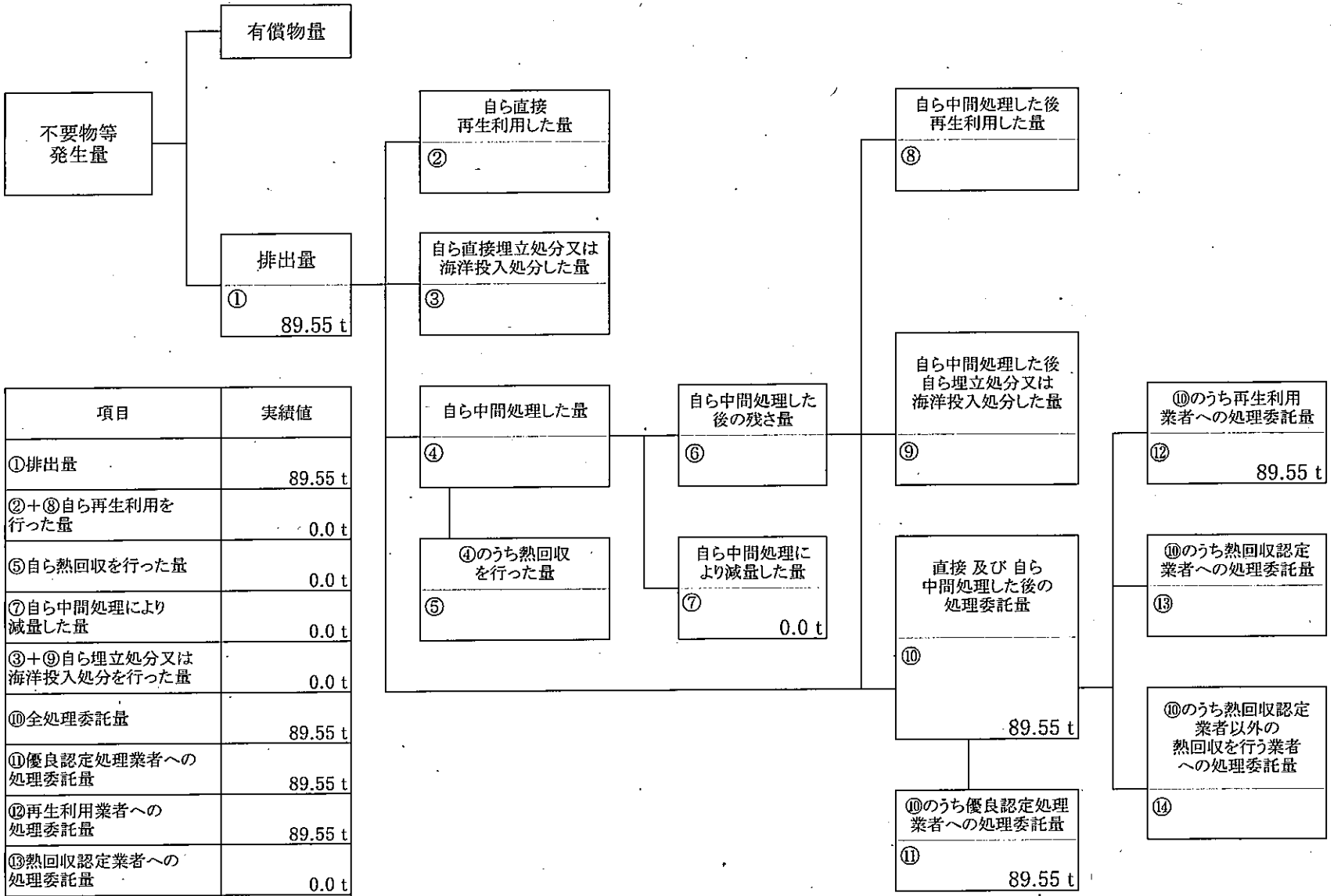


項目	実績値
①排出量	51.82 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	51.82 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.64 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.49 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

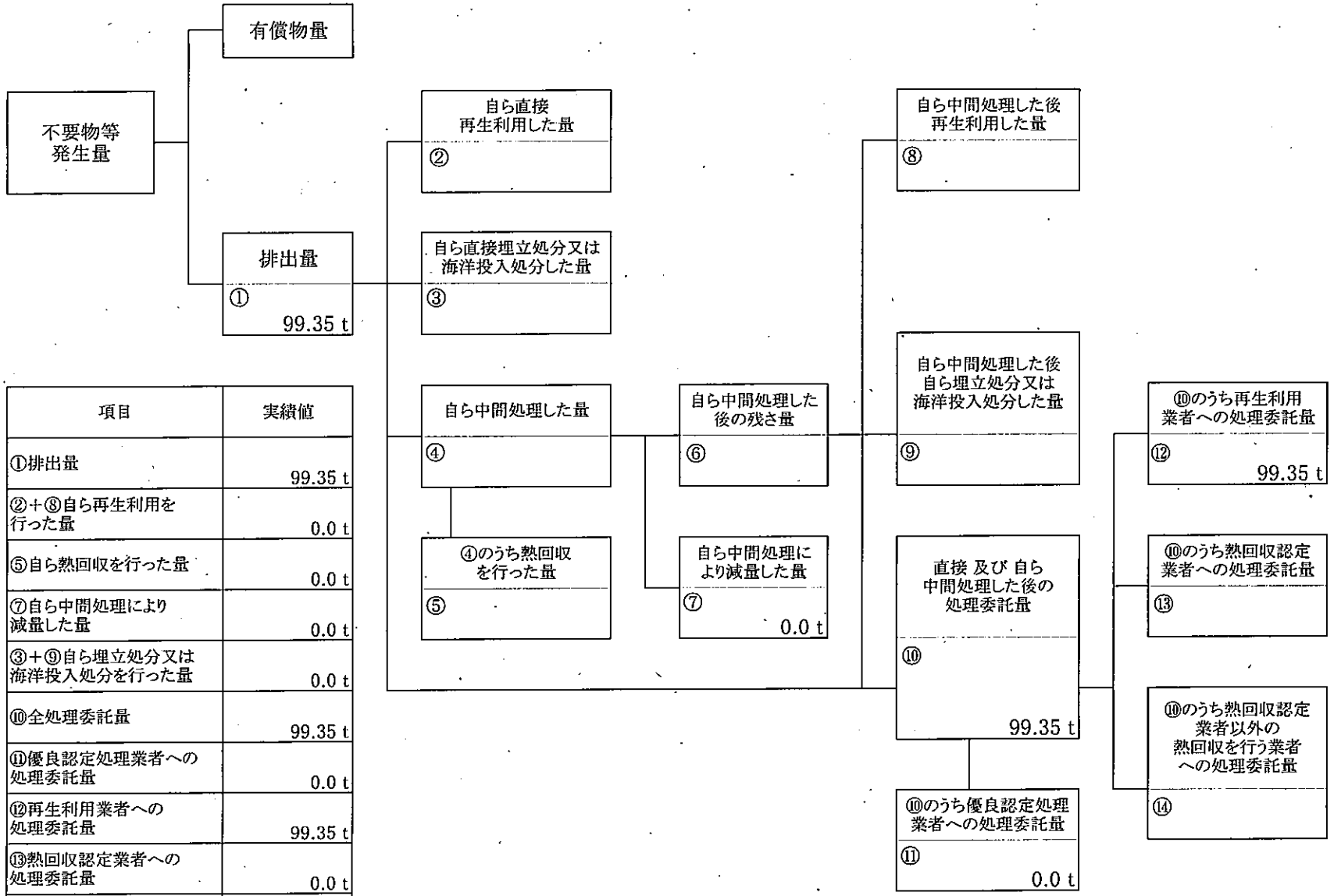


項目	実績値
①排出量	89.55 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	89.55 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	89.55 t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.55 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

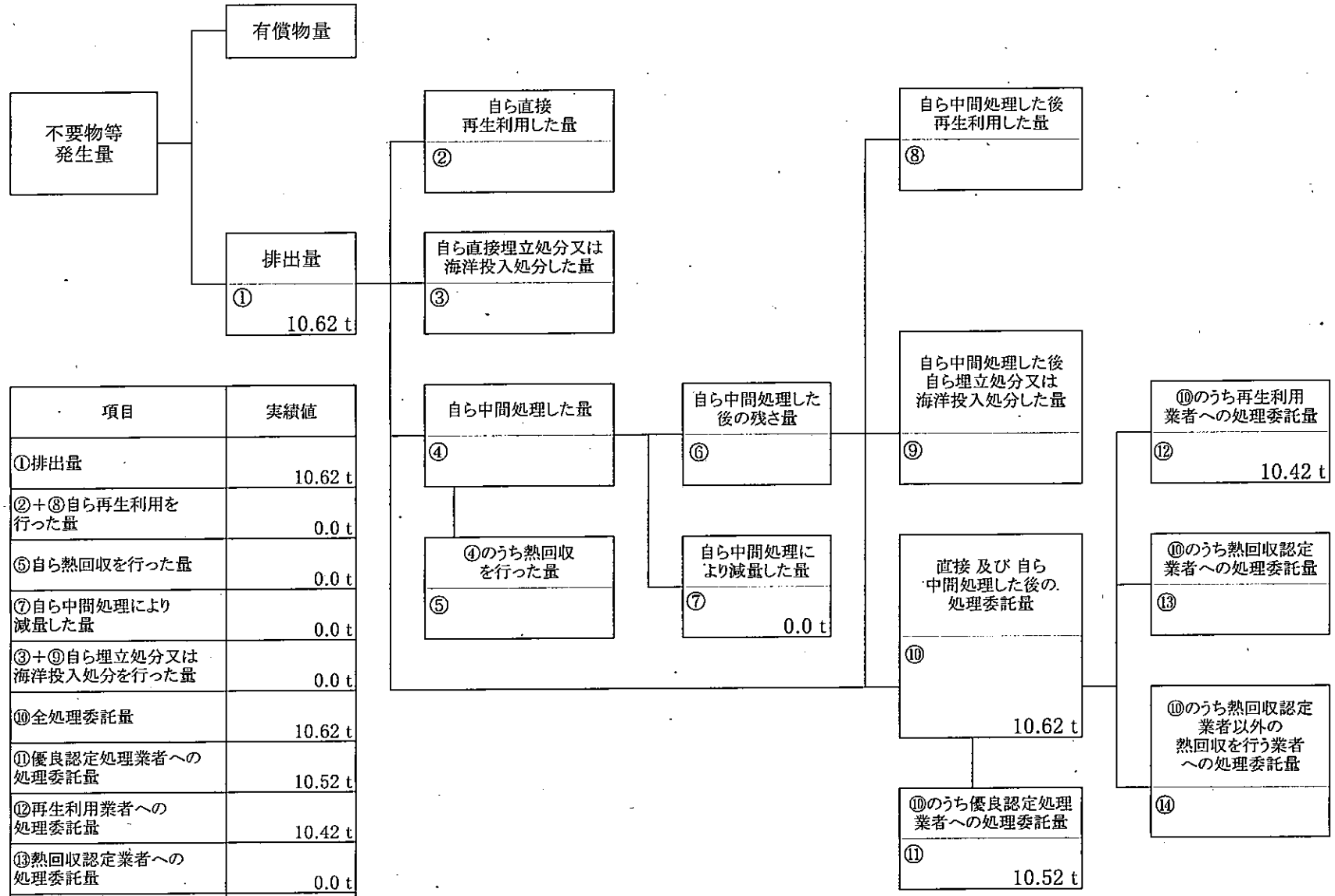


項目	実績値
①排出量	99.35 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	99.35 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	99.35 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

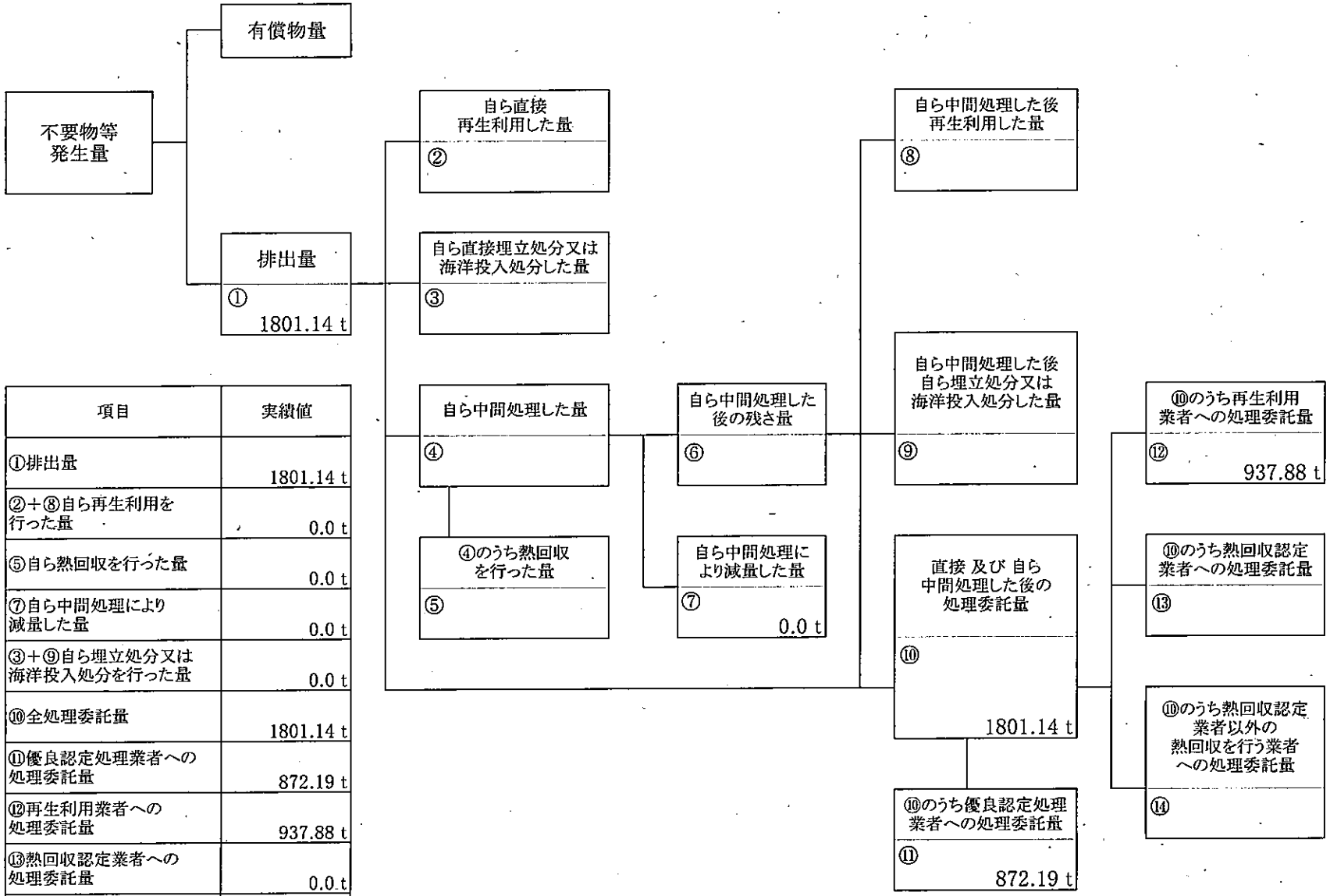


項目	実績値
①排出量	10.62 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.62 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.52 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.42 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　鉱さい　　）

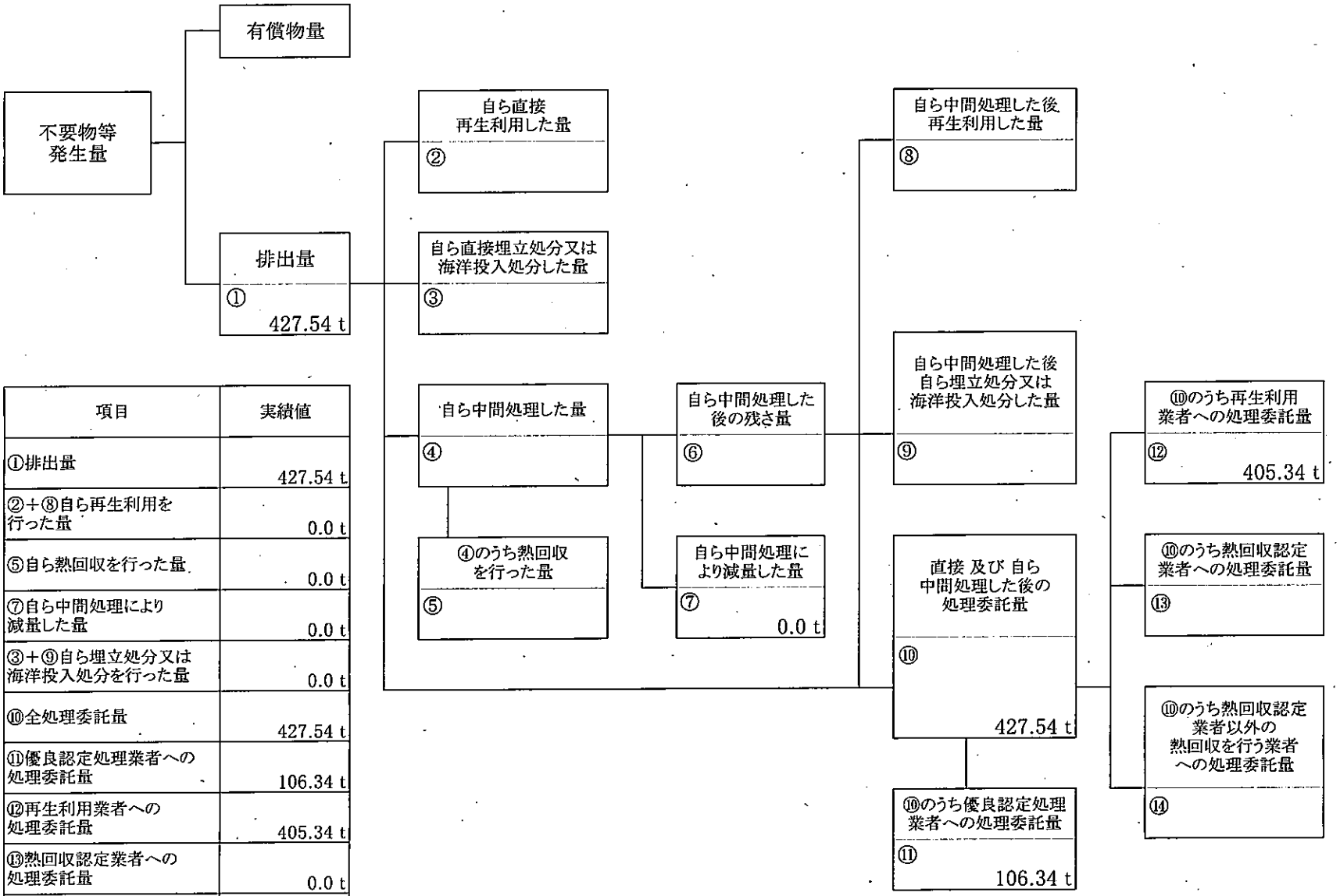


項目	実績値
①排出量	1801.14 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1801.14 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	872.19 t
⑫再生利用業者への処理委託量	937.88 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

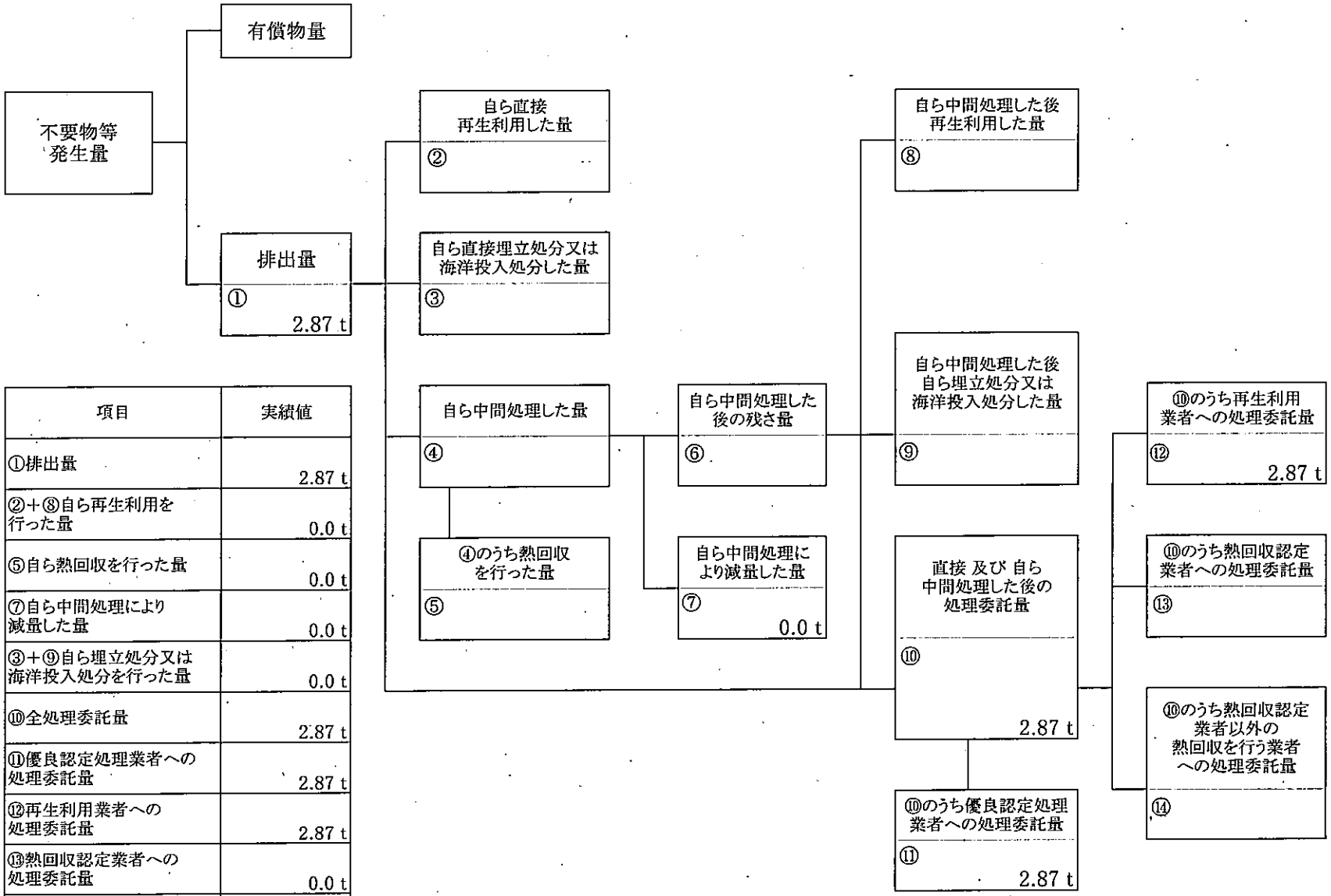


項目	実績値
①排出量	427.54 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	427.54 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	106.34 t
⑫再生利用業者への処理委託量	405.34 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　複合材　　）



項目	実績値
①排出量	2.87 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.87 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.87 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.87 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月２４日

千葉県知事
熊谷　俊人　殿

提出者
住　所　〒299-0297千葉県袖ケ浦市中袖５－１
氏　名　旭化成㈱製造統括本部川崎製造所千葉工場
工場長　北林　知己
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-62-6125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成株式会社　製造統括本部川崎製造所千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市中袖５－１
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

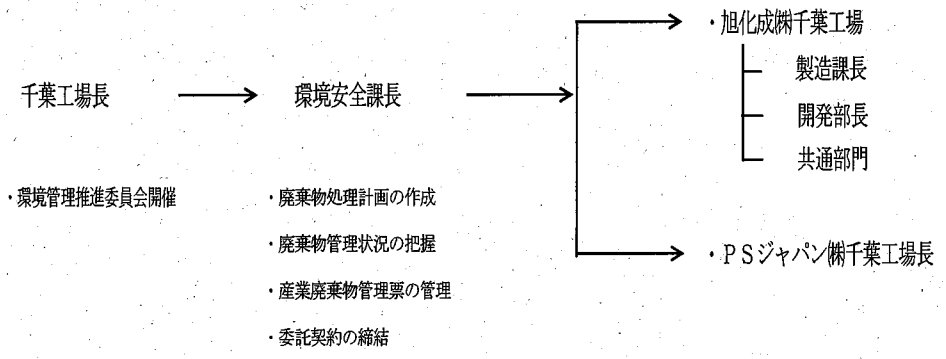
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　407億円
③従業員数	248人（関連会社含む）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	【製造工程、、研究部門（分析試薬類）における廃棄物の処理工程】 ・廃油（引火性）　→　自社で燃料として再生利用 ・廃油（引火性）　→　処理業者へ委託（燃料リサイクル、熱回収） ・廃酸（強廃酸）　→　処理業者へ委託（中和） ・廃ｱﾙｶﾘ（強廃ｱﾙｶﾘ）　→　処理業者へ委託（中和） ・汚泥（有害）　→　処理業者へ委託（焼却、熱回収） ・ＰＣＢ廃棄物　→　処理業者へ委託（焼却、無害化、再生）

（日本工業規格　Ａ列４番）

君津地域振興事務所
-6.6.26
収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	PCB廃棄物	
排　　出　　量	992.5ｔ	0.2ｔ	0.4ｔ	

（これまでに実施した取組）

・製造工程に於いて運転条件の改善をはかり廃油の削減に取組んだ。
・廃油の有償化により排出量の削減を行った。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸		
排　　出　　量	884.2ｔ	0.2ｔ		

（今後実施する予定の取組）

・製造工程に於いて運転条件の改善をはかり廃油の削減に取組む。
・廃油の有償化を継続する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別の維持管理を実施している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・分別の維持管理を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（令和　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	PCB廃棄物	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	638.3ｔ	0ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

・製造工程から発生する廃油を燃料として再生利用している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸		
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	597.0ｔ	0ｔ		

（今後実施する予定の取組）

・現状の取組みを継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（令和　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	PCB廃棄物	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

・特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸		
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ		
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ		

（今後実施する予定の取組）

・特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状

【前年度（令和　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	PCB廃棄物	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

・特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0ｔ	0ｔ		

（今後実施する予定の取組）

・特になし

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸	PCB廃棄物	
全処理委託量	354.2t	0.2ｔ	0.4ｔ	
優良認定処理業者への処理委託量	354.2t	0.2ｔ	0ｔ	
再生利用業者への処理委託量	353.6t	0ｔ	0.4ｔ	
認定熱回収業者への処理委託量	0.4t	0ｔ	0ｔ	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2t	0.2ｔ	0ｔ	

（これまでに実施した取組）

・電子マニフェストの運用を平成２３年１２月より開始した。
・運転条件の適正化を図り、排出量の削減に取組んでいる。
・委託処理業者の定期的現地確認を実施し適正処理の確認をしている。
・廃油の有償化により処理委託量の削減に取り組んでいる。

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="5">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>廃酸</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>247.2t</td><td>0.2ｔ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>247.2t</td><td>0.2ｔ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>246.1t</td><td>0ｔ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.3t</td><td>0ｔ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.8t</td><td>0.2ｔ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組）

・運転条件の適正化を図り、排出量削減の取組みを継続する。
・委託処理業者への定期的な現地確認を継続する。
・廃油の有償化により処理委託量の削減を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="5">【前年度（平成　５年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排　　出　　量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="3">992.7ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="5">（今後実施する予定の取組等）

・特別管理産業廃棄物は全て電子マニフェスト対応済み。
・今後も全て対応を継続して取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　〒299-0297千葉県袖ケ浦市中袖5－1
氏 名　旭化成㈱製造統括本部川崎製造所千葉工場
工場長　北林 知己
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0438-62-6125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和　5　年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭化成株式会社　製造統括本部川崎製造所千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市中袖5－1
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	768.0 t	全処理委託量	202.0 ~~330.1~~ t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	566.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	201.6 ~~330.1~~ t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	200.0 ~~328.6~~ t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.6 ~~0.8~~ t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.0 ~~0.7~~ t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	936.0 t
	前年度	992.7 ~~993.1~~ t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

・特別管理産業廃棄物は全て電子マニフェスト対応済み。
・今後も全て対応を継続して取り組む。

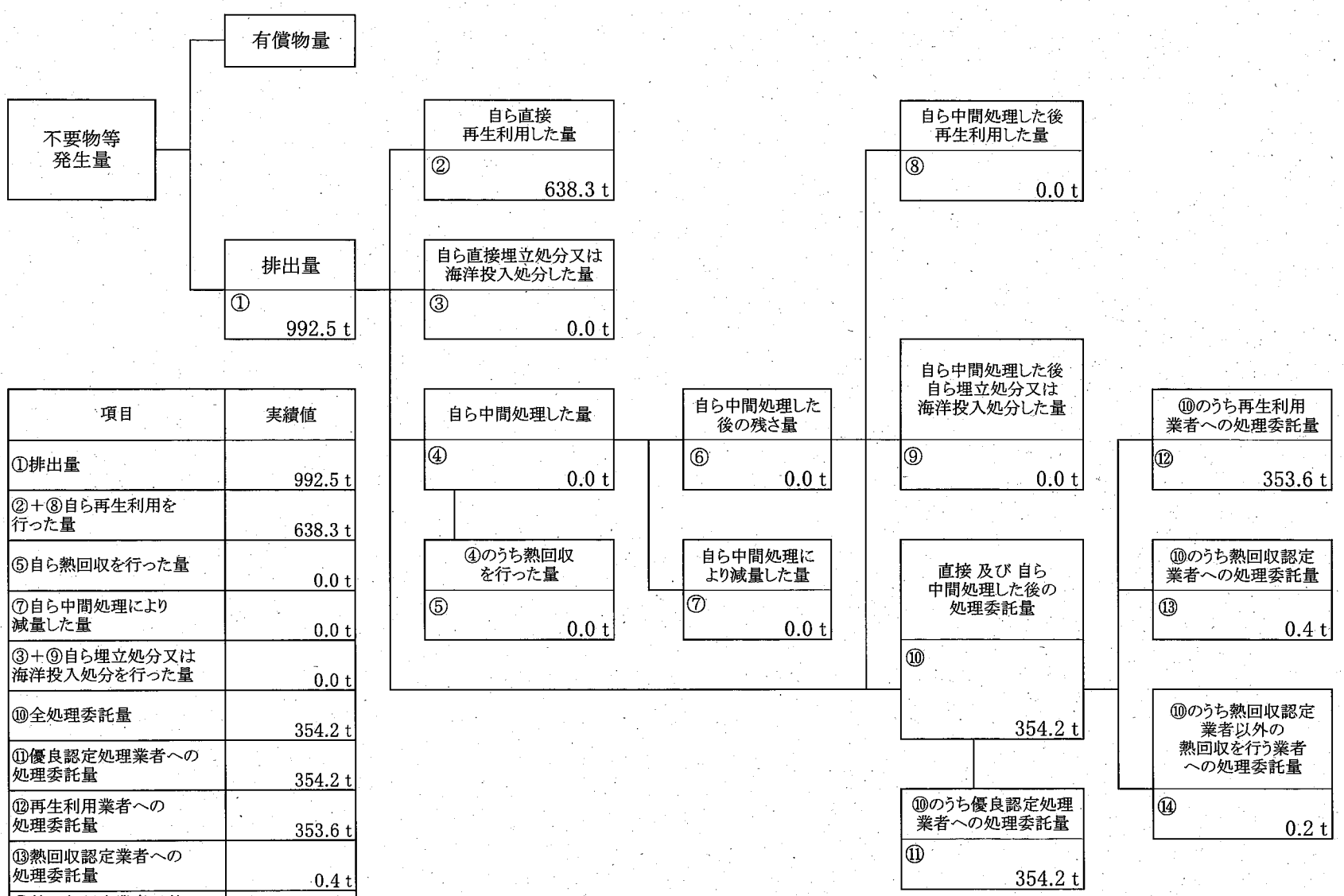
※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

君津地域振興事務所 -6.6.26 収受

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）

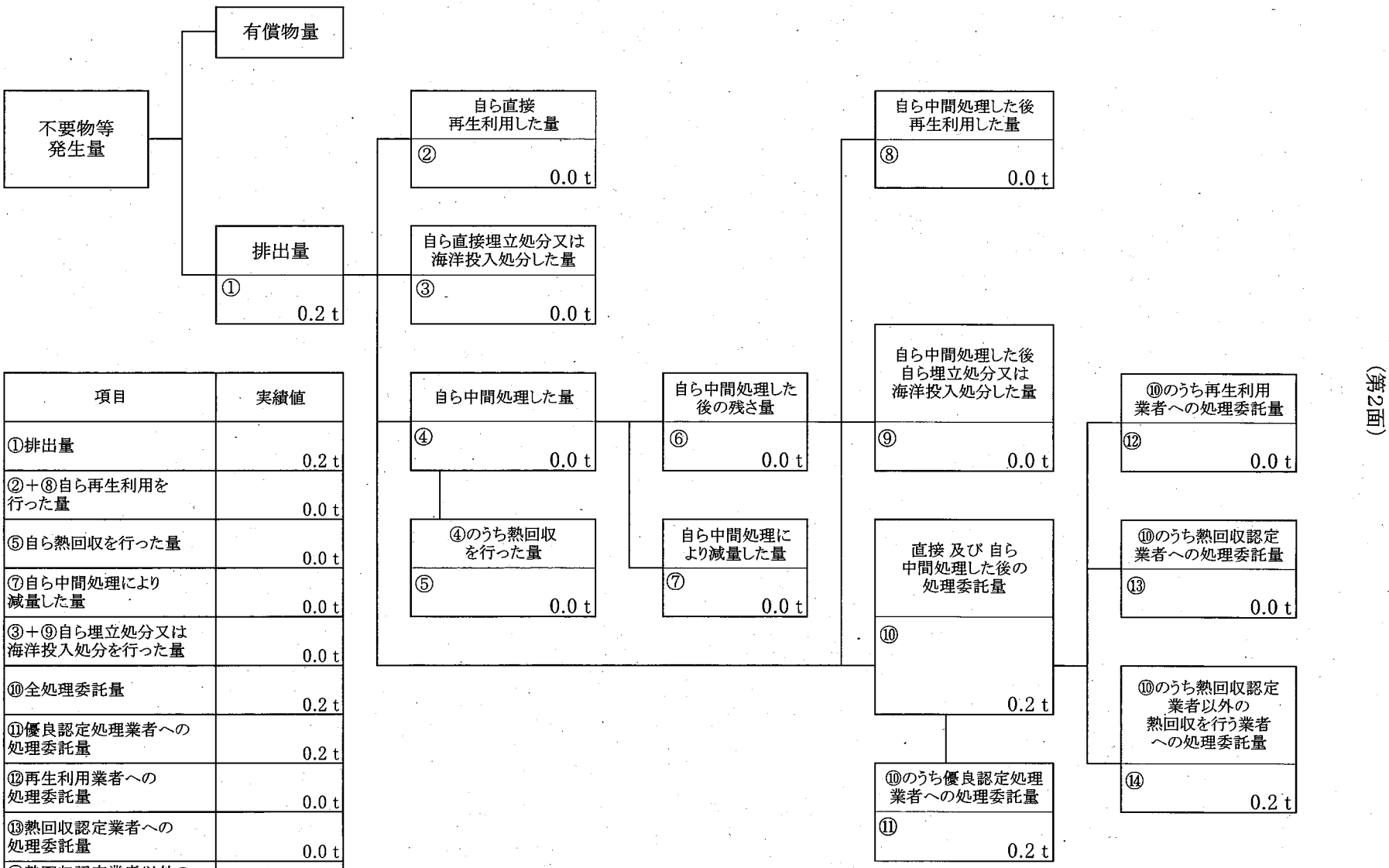


項目	実績値
①排出量	992.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	638.3 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	354.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	354.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	353.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）

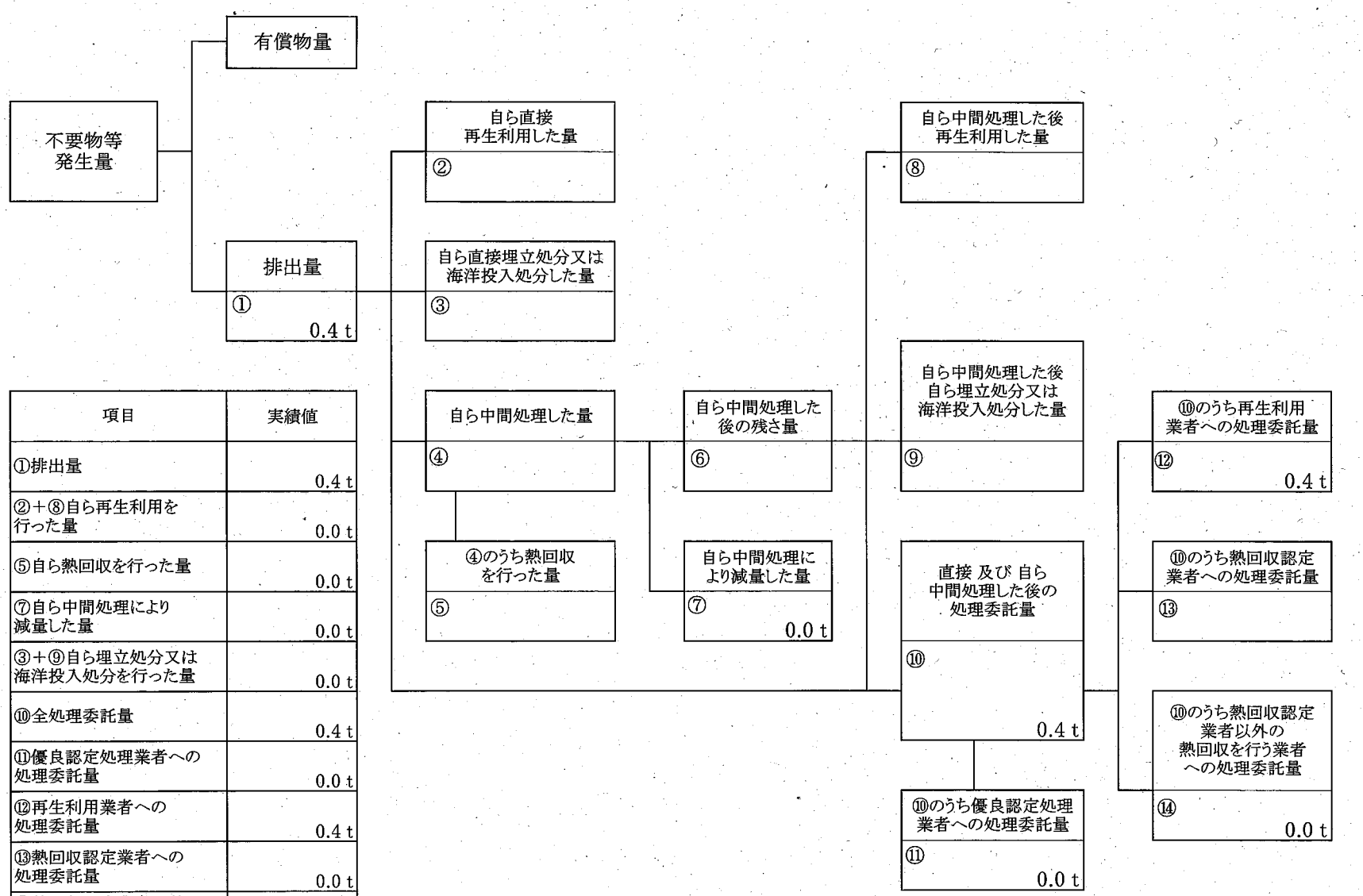


項目	実績値
①排出量	0.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0247

住　所　千葉県袖ケ浦市椎の森385-42

法人名　旭ダイヤモンド工業株式会社

代表者　阿部　英夫

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-97-5100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭ダイヤモンド工業株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市椎の森385-42
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　生産用機械器具製造業
②事業の規模	前年度製品出荷額　55億
③従業員数	195名（社員173名　ﾊﾟｰﾄ22名）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
排出量	296.26 t	t

（これまでに実施した取組）
・使用済洗浄剤を有価物として引取依頼することで廃棄物を削減。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
排出量	t	t

（今後実施する予定の取組）
・使用済洗浄剤を有価物として引取依頼することで廃棄物を削減を継続。他の廃棄物も有価物化し、排出量の削減に取組む。
・製造工程改善により製造量に応じた廃棄物排出量削減のための取組を実施

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・【燃えやすい廃油】危険物倉庫に廃棄用ドラムで分別。
【廃酸・廃アルカリ】生産ラインから、タンクへの排出。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・今後も分別を継続。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施なし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施なし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PH2.0以下の廃酸	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>PH2.0以下の廃酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）
・実施なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>PH2.0以下の廃酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・実施予定なし。</td></tr>
<tr><td colspan="5">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>PH2.0以下の廃酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）
・優良認定処理業者への業務委託。
・再生利用業者への業務委託。
・処分業者の現場処理状況を視察。
許可書・契約書が適正に処理されているかの確認</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>PH2.0以下の廃酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・定期的な処理状況の現地確認。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　315.69 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
･2020年7月より電子マニフェスト管理を利用。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

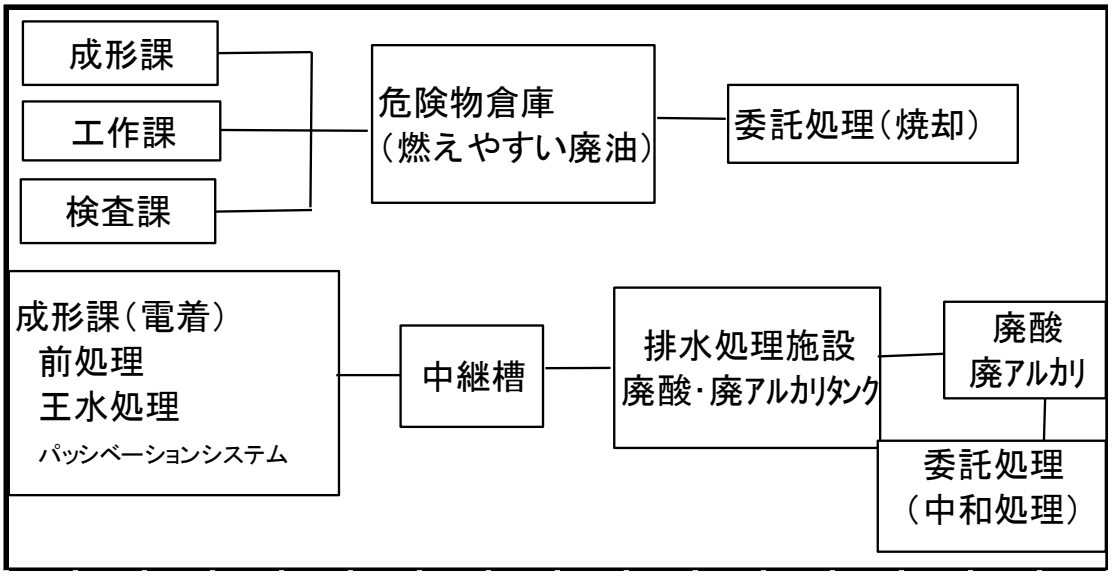
４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

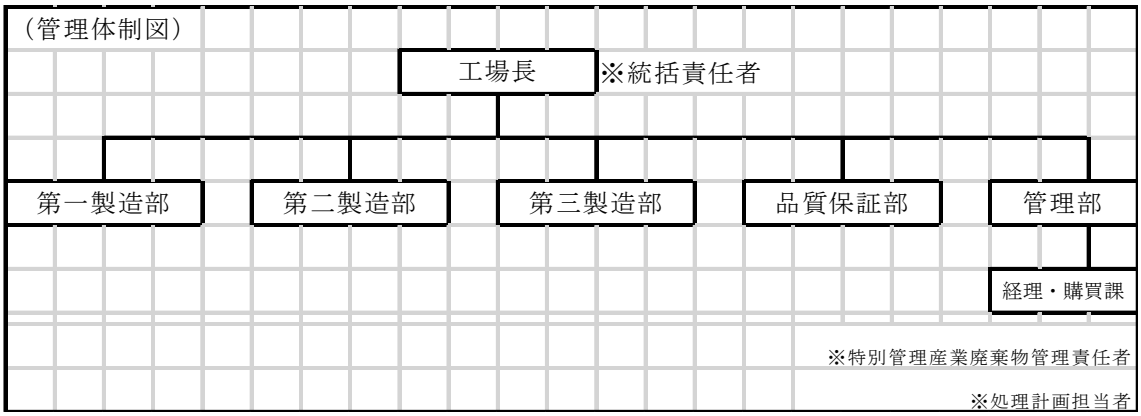
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。


成形課
工作課
検査課
危険物倉庫
（燃えやすい廃油）
委託処理（焼却）
成形課（電着）
前処理
王水処理
パッシベーションシステム
中継槽
排水処理施設
廃酸・廃アルカリタンク
廃酸
廃アルカリ
委託処理
（中和処理）

（管理体制図）


工場長
※統括責任者
第一製造部
第二製造部
第三製造部
品質保証部
管理部
経理・購買課
※特別管理産業廃棄物管理責任者
※処理計画担当者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ						
		排　　出　　量	296.26　t	19.43　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ	燃えやすい廃油					
		排　　出　　量	290　t	0　t	0.2　t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ						
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ	燃えやすい廃油					
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ						
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ	燃えやすい廃油					
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ						
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ	燃えやすい廃油					
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ						
	全処理委託量	296.26 t	19.43 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	296.26 t	19.43 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	ＰＨ２．０以下の廃酸	ＰＨ１２．５以上の廃アルカリ	燃えやすい廃油					
	全処理委託量	290 t	0 t	0.2 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	0.2 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	290 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0247

住所 千葉県袖ケ浦市椎の森385-42

法人名 旭ダイヤモンド工業株式会社

代表者 阿部 英夫

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0438-97-5100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旭ダイヤモンド工業株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市椎の森385-42
事業の種類	大分類　製造業　中分類 生産用機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	285.1 t	全処理委託量	285.1 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	285 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	285.98 t
	前年度(令和5年度)	315.69 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
2020年7月より電子マニフェスト管理を利用。

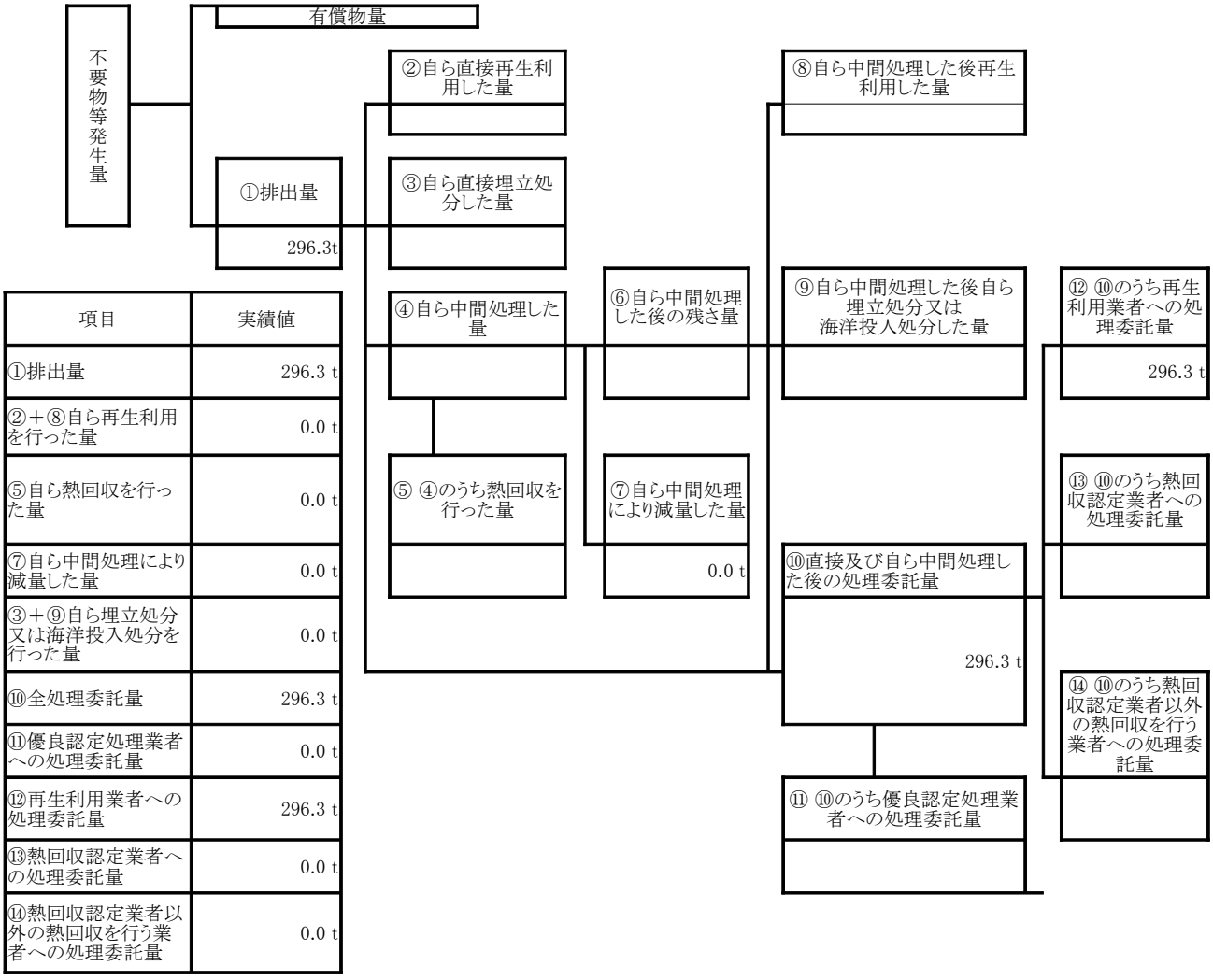
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　PH2.0以下の廃酸　）

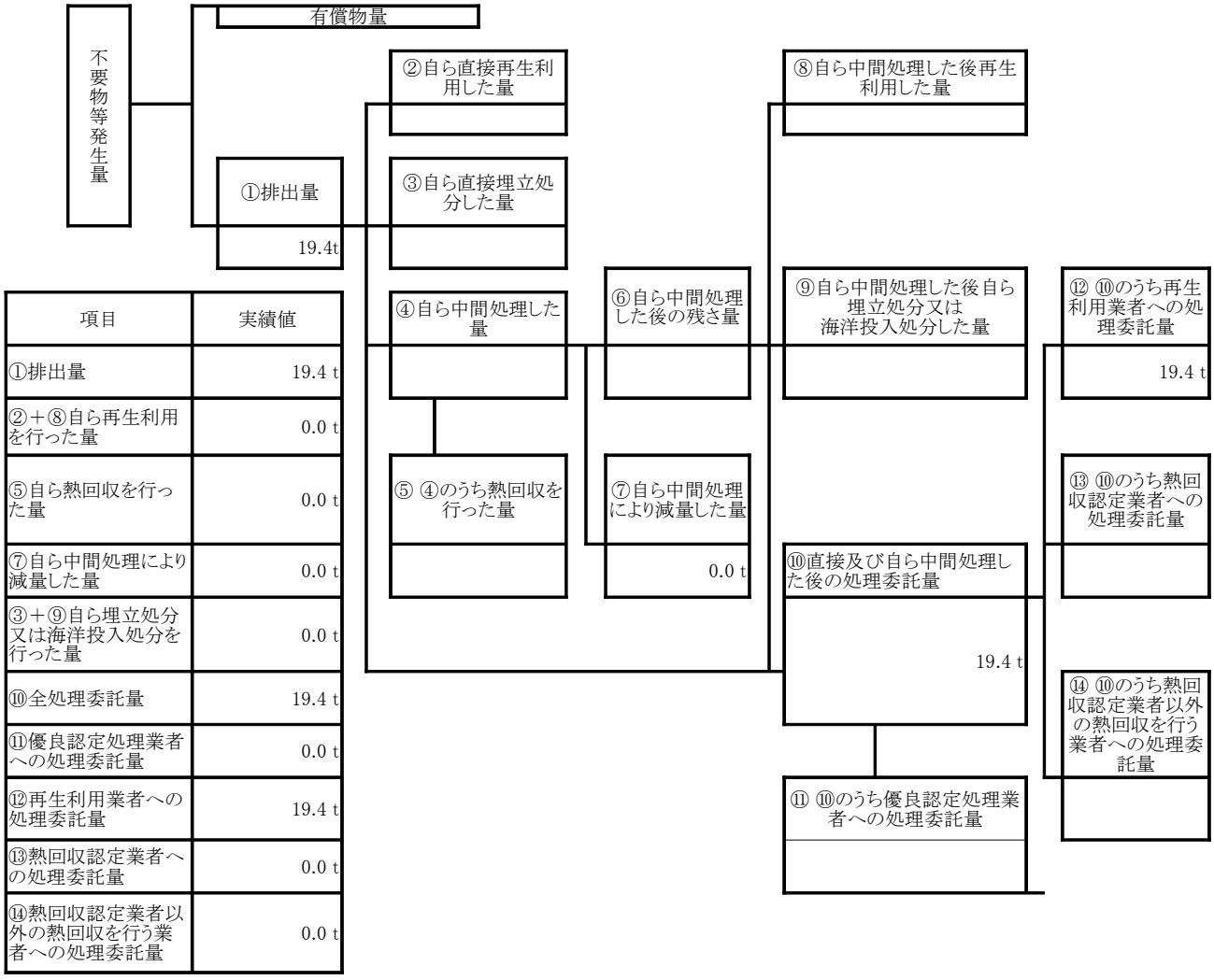


項目	実績値
①排出量	296.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	296.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	296.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　PH12.5以上の廃アルカリ　）

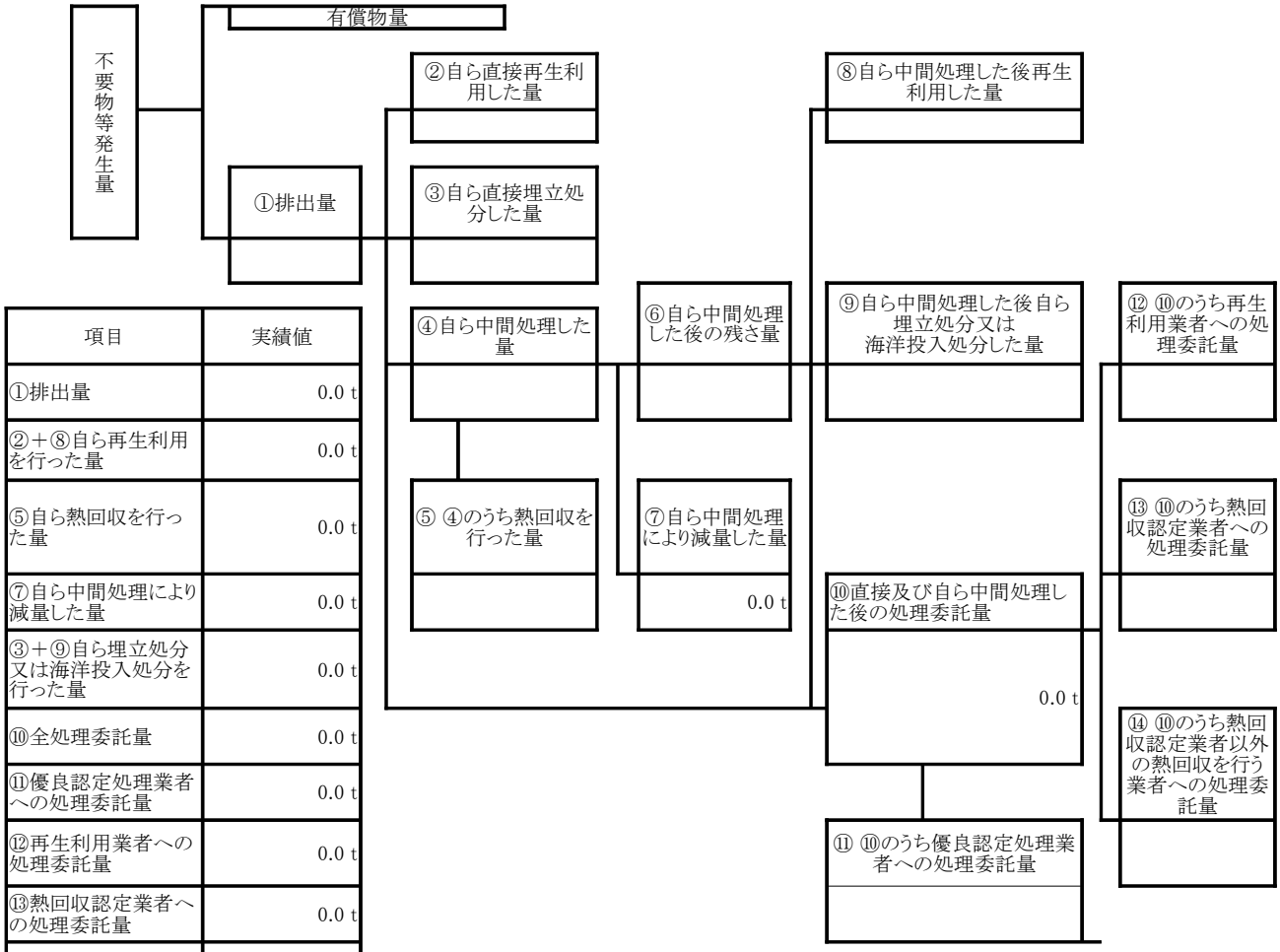


項目	実績値
①排出量	19.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	19.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



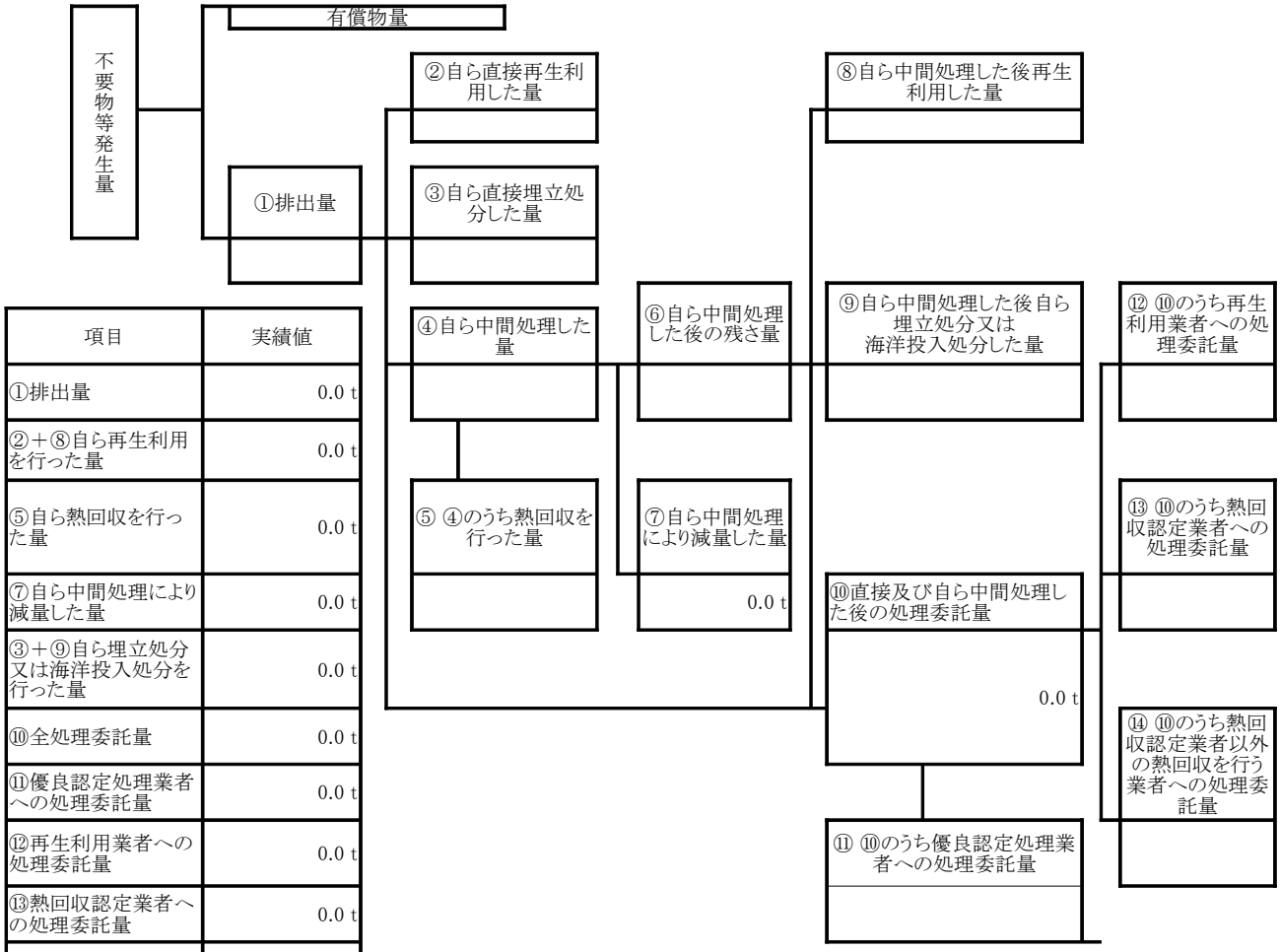
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

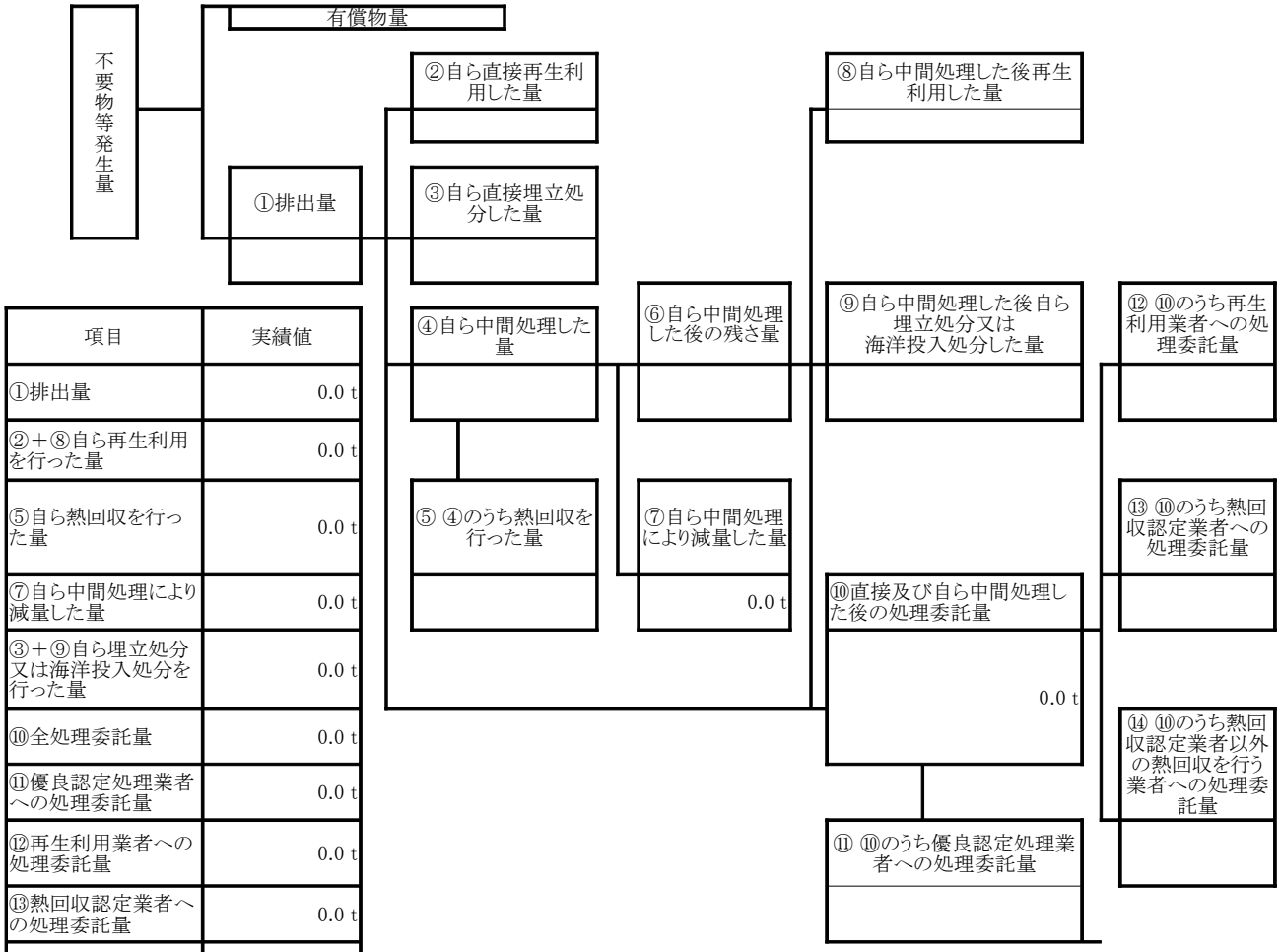


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

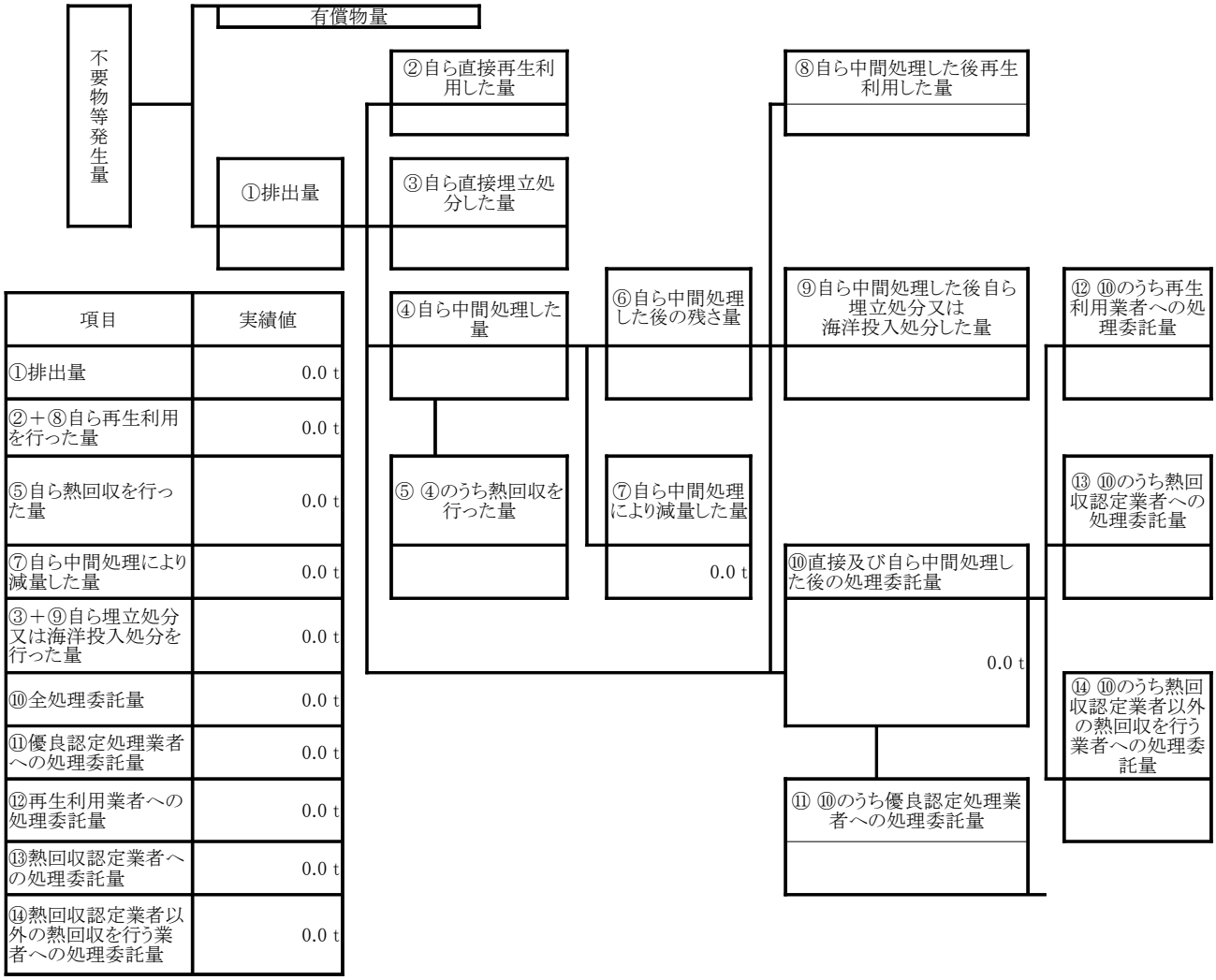


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

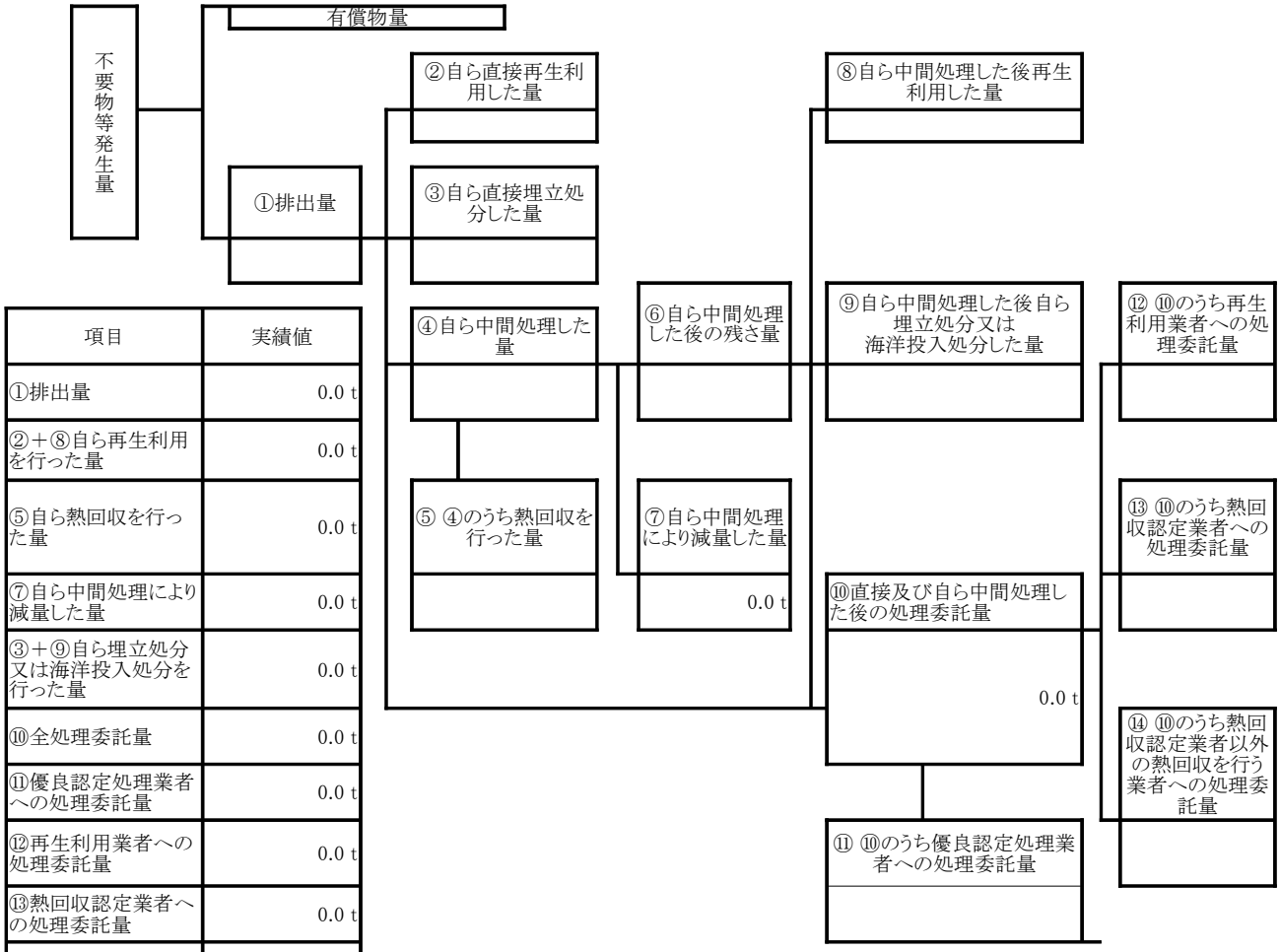


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

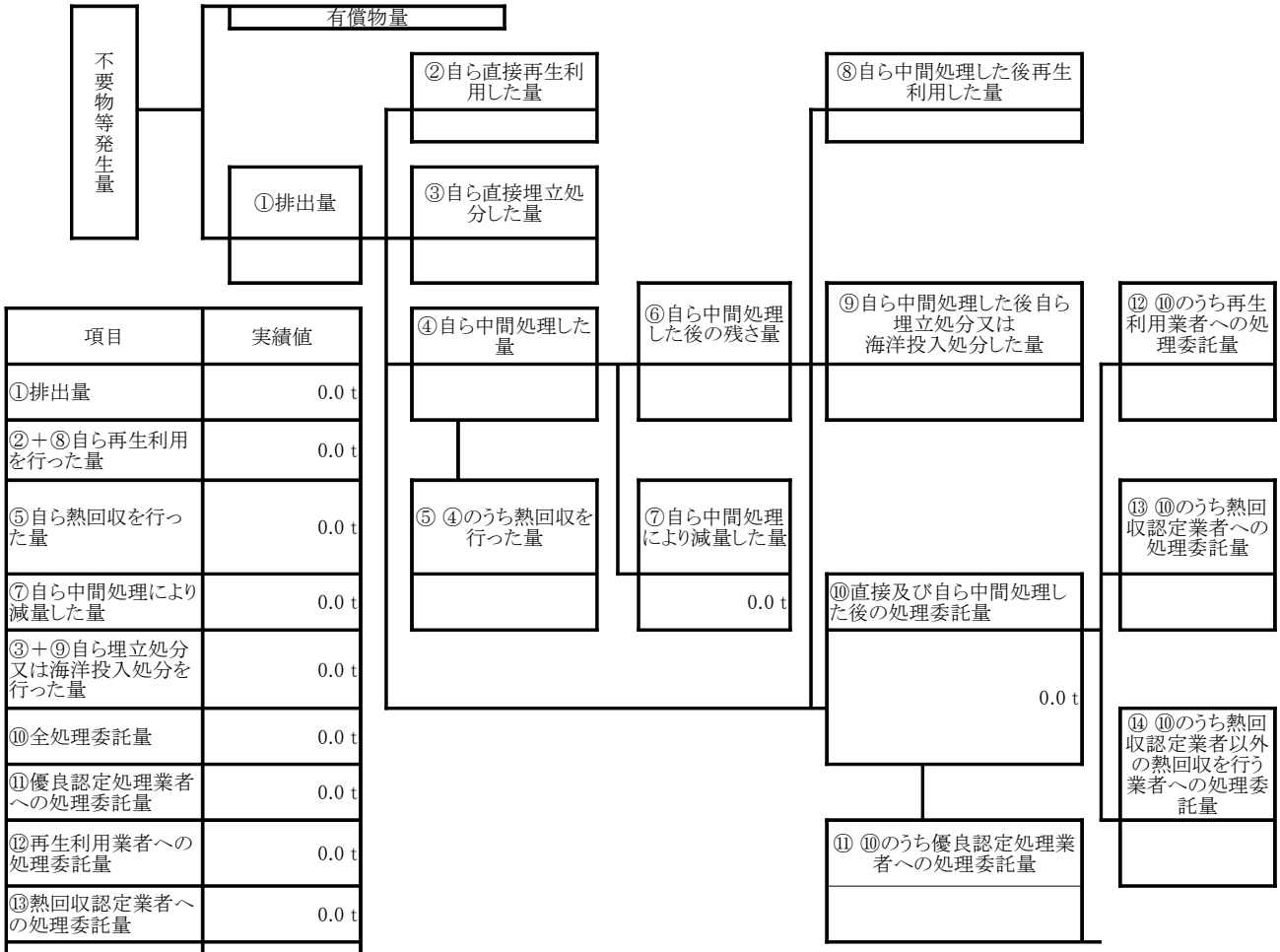


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

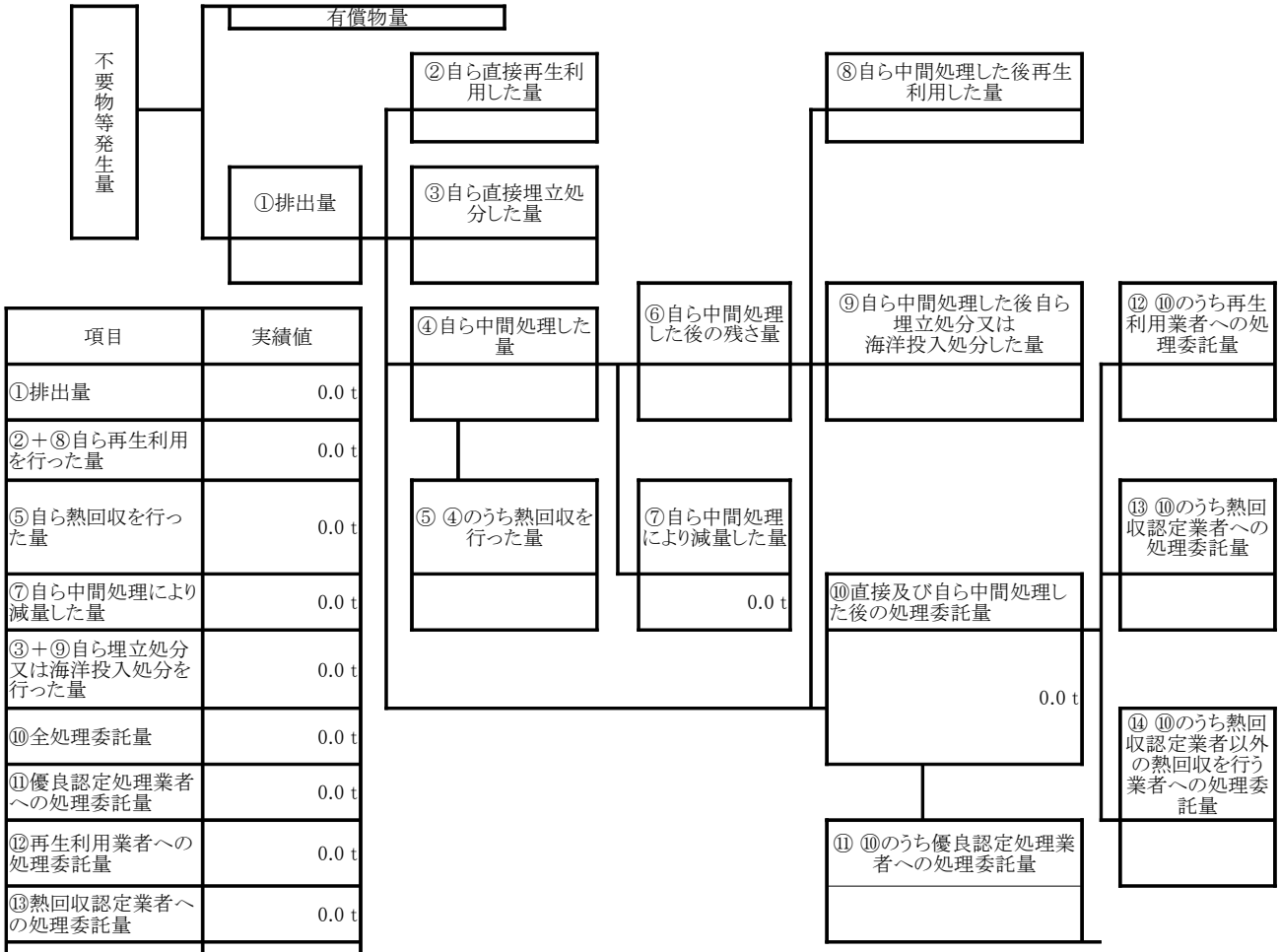


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

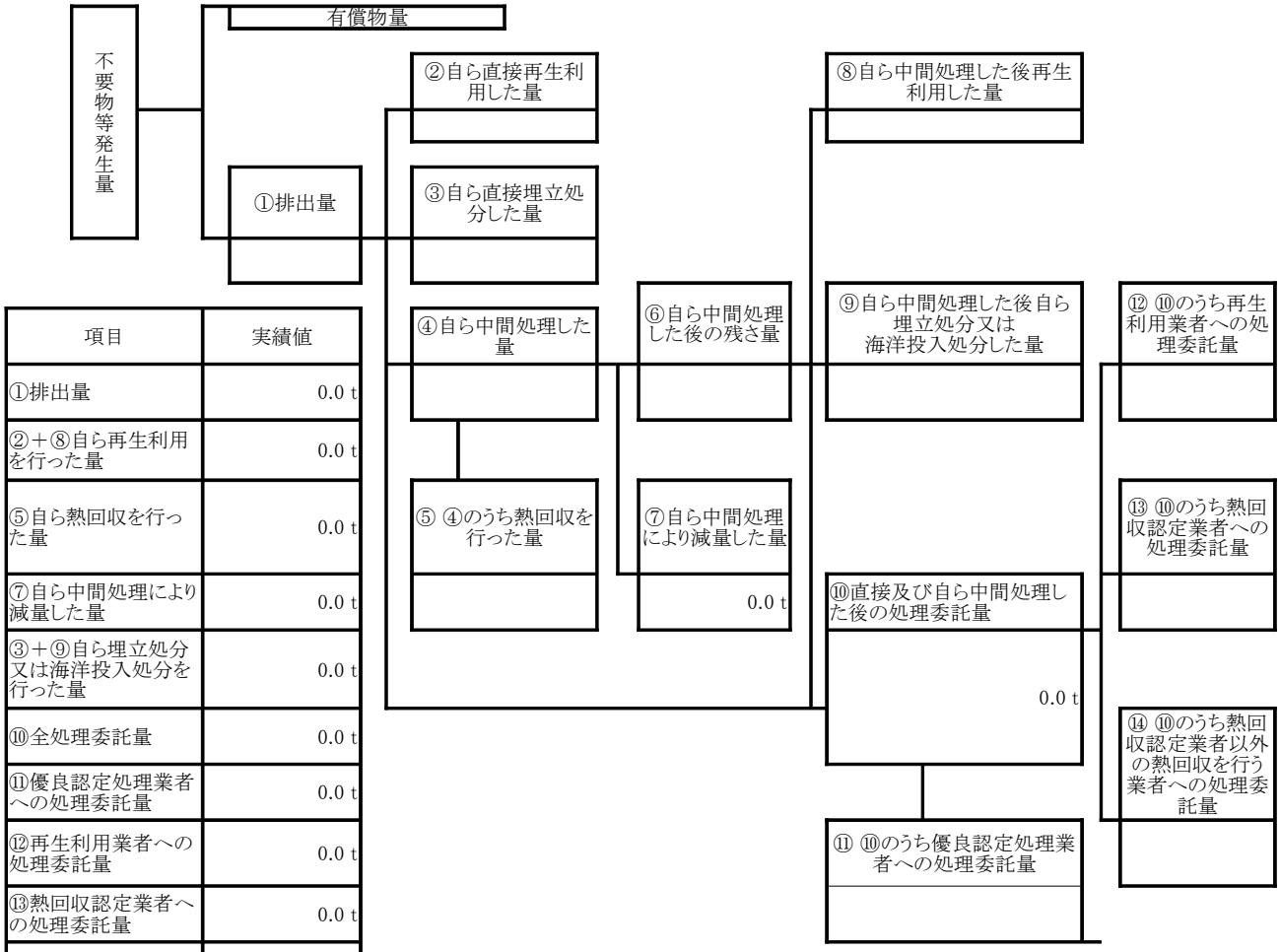


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



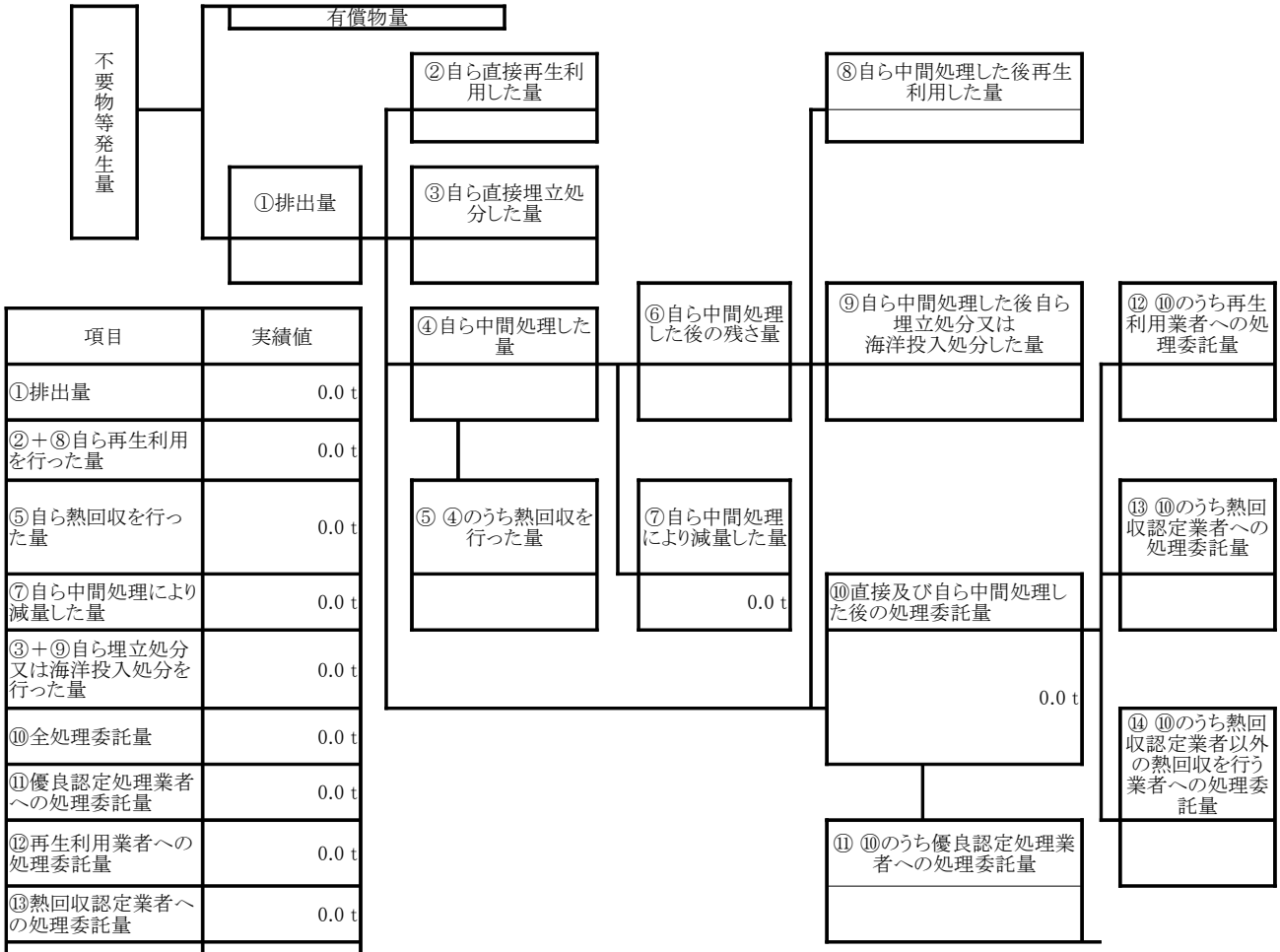
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

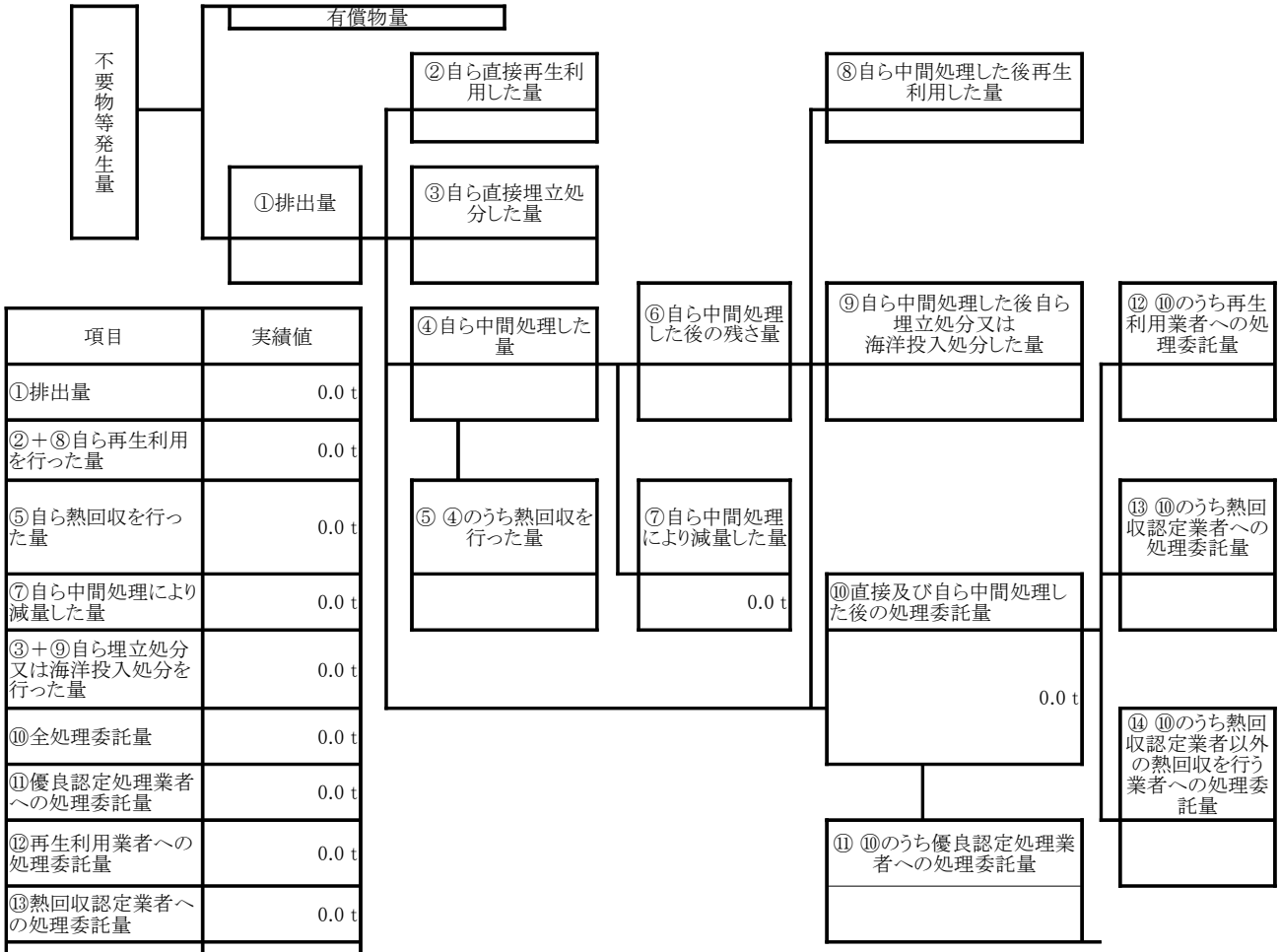


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

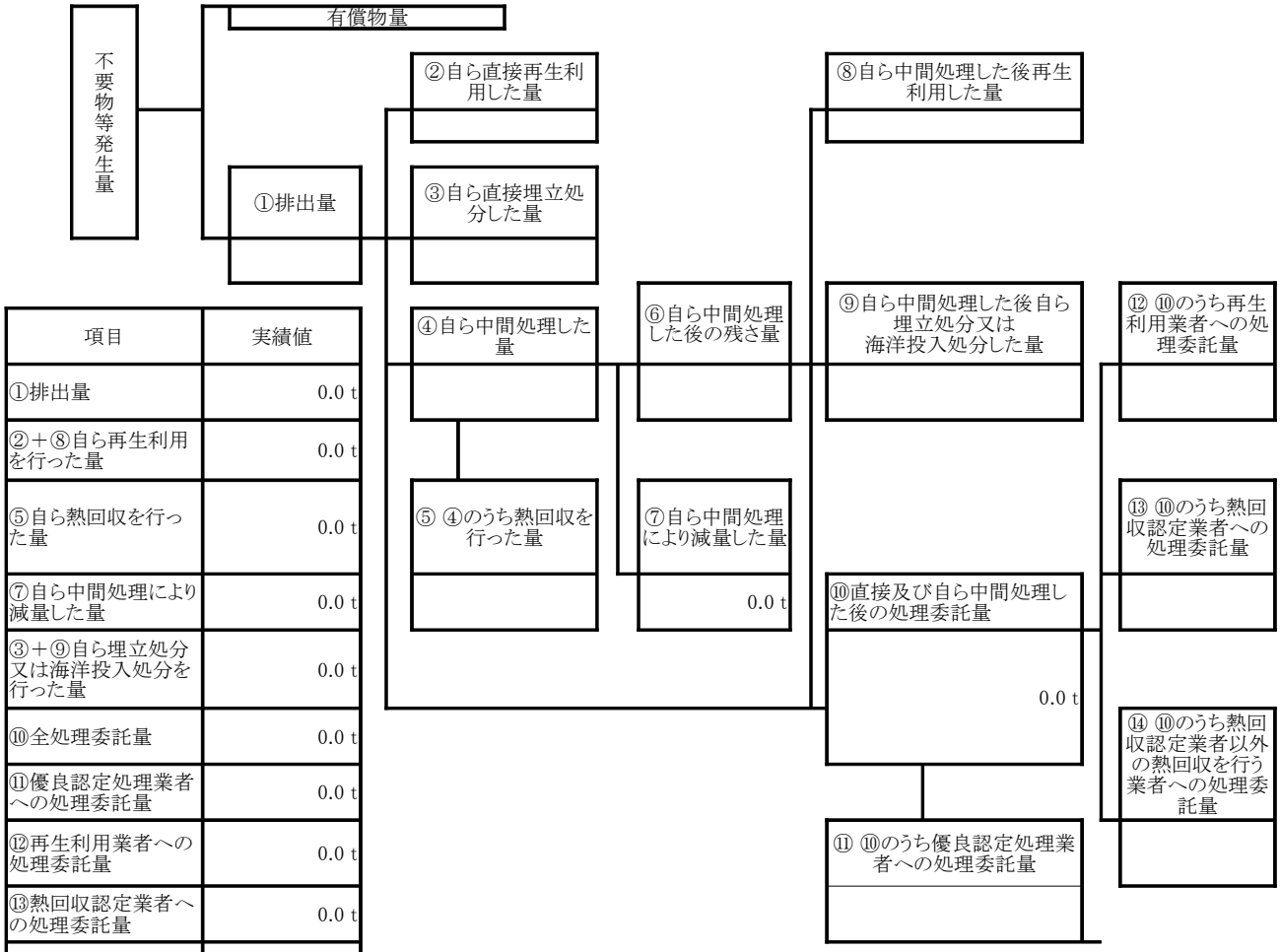


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

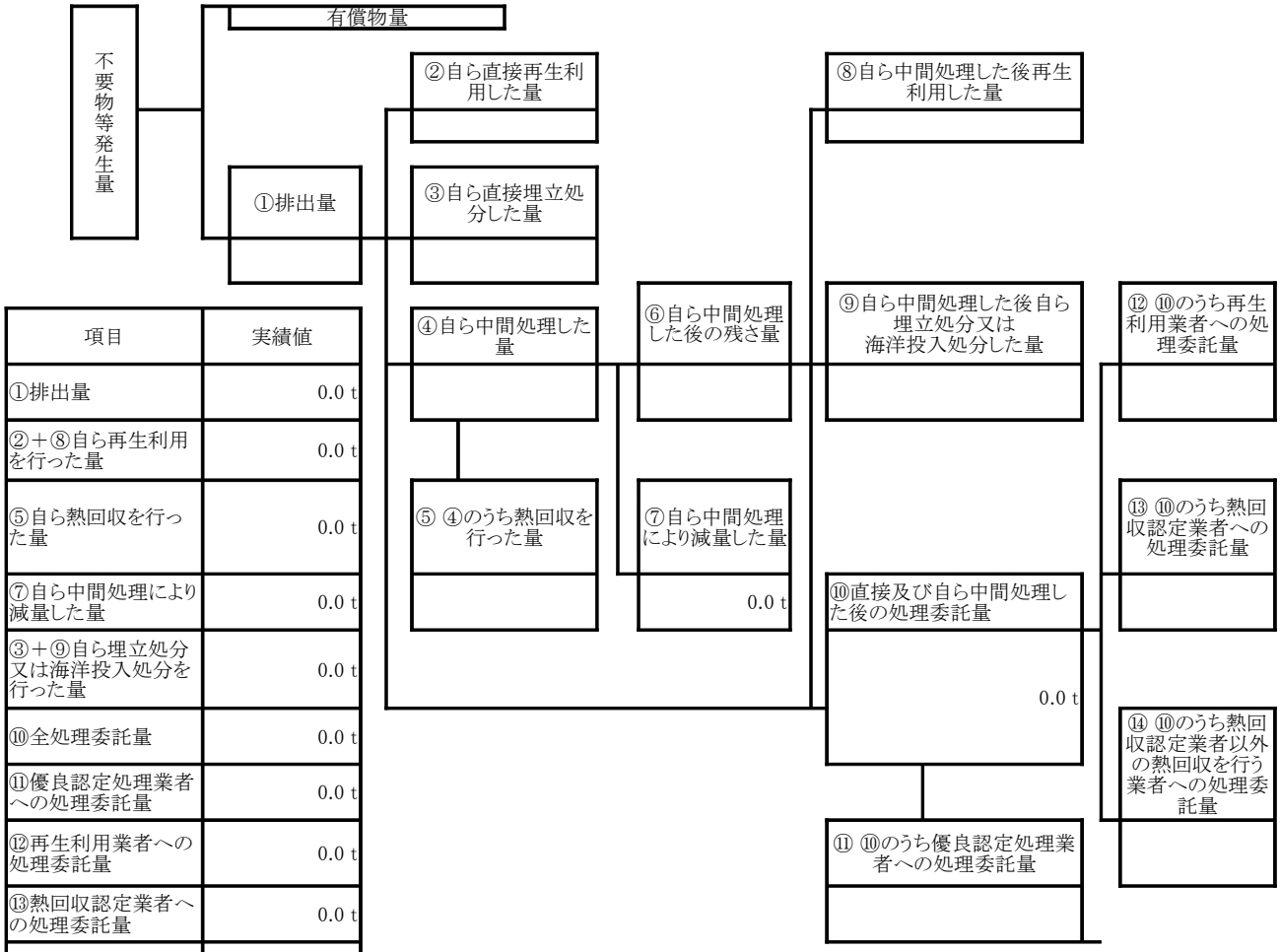


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



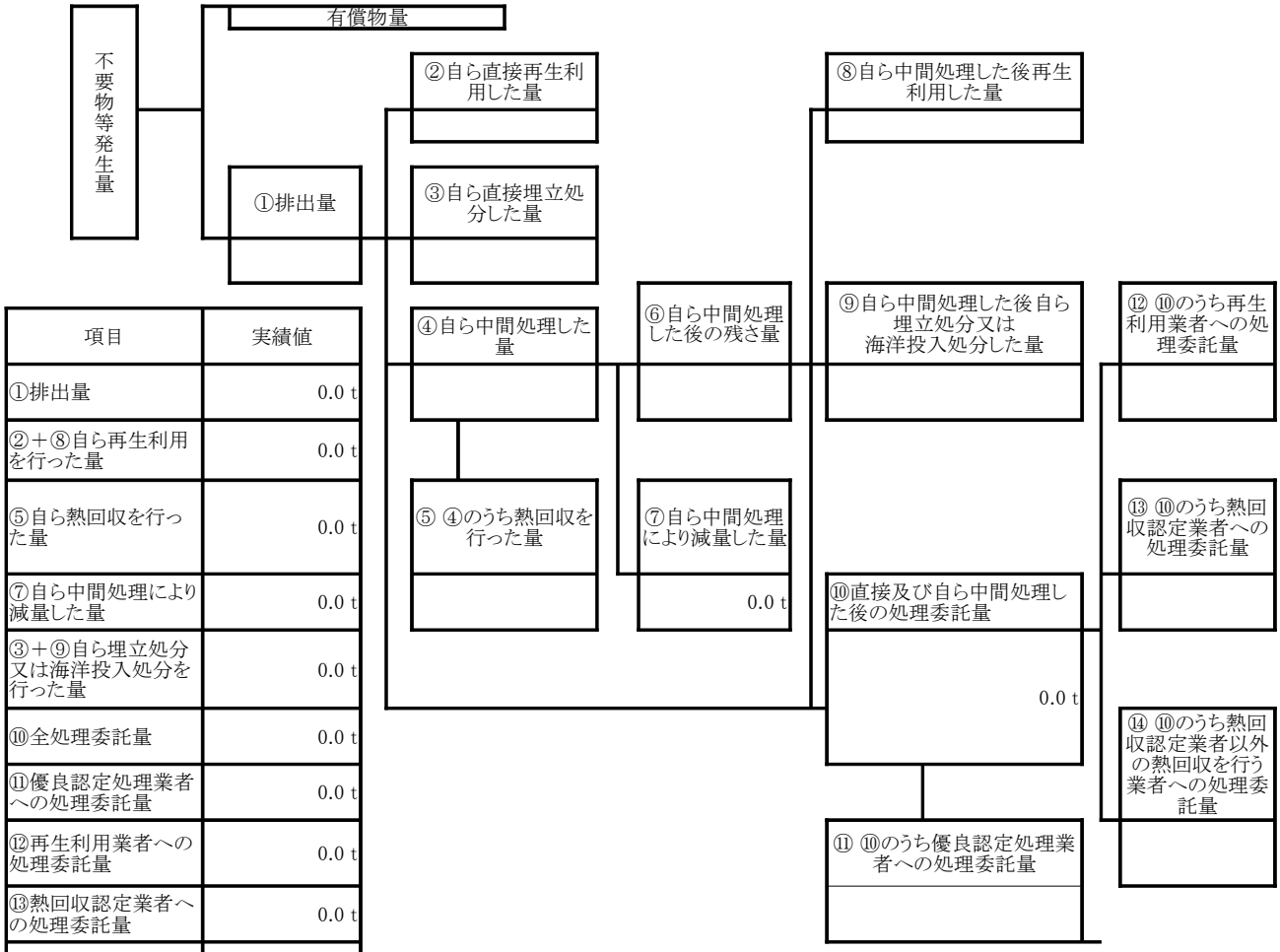
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



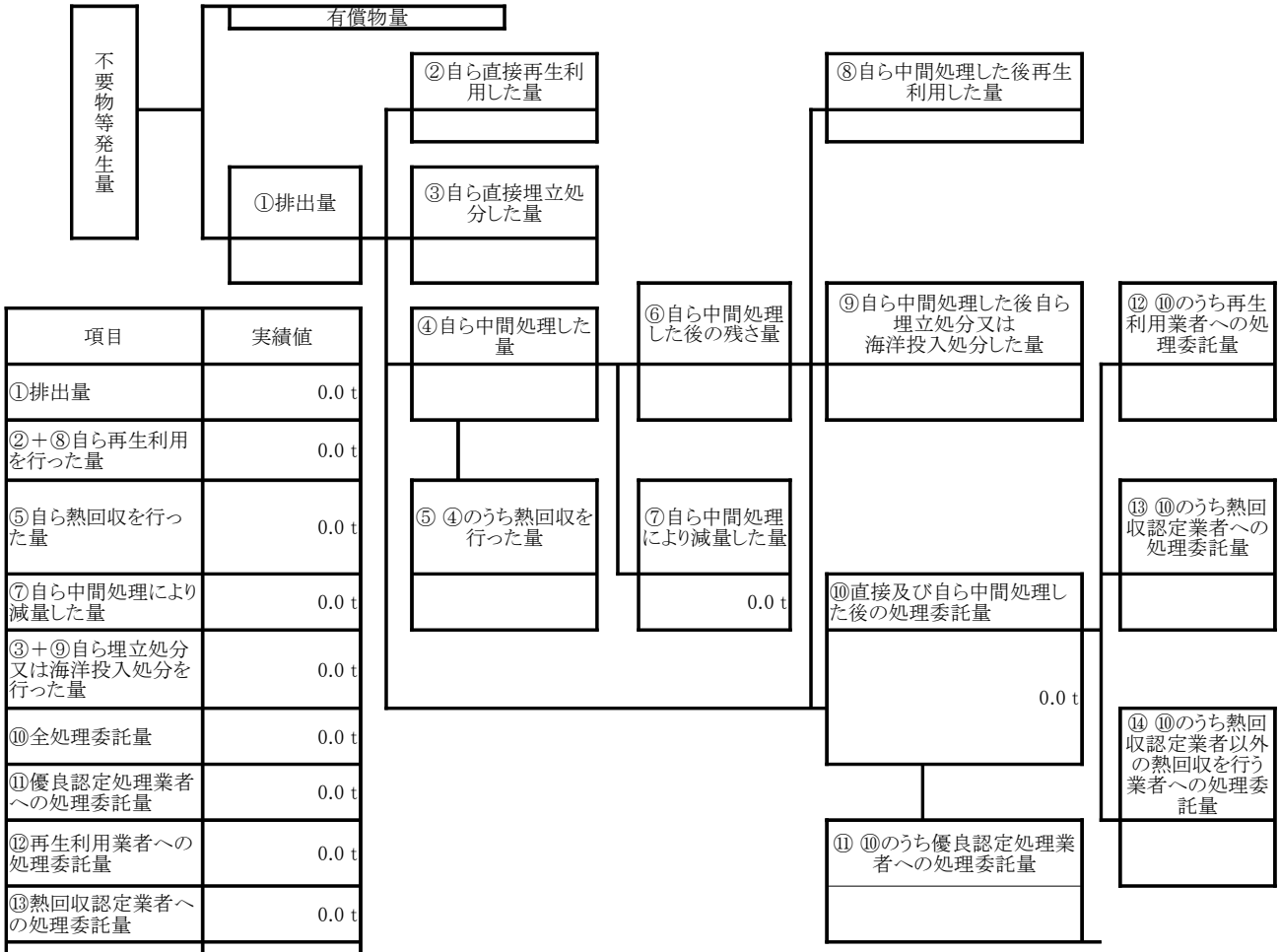
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

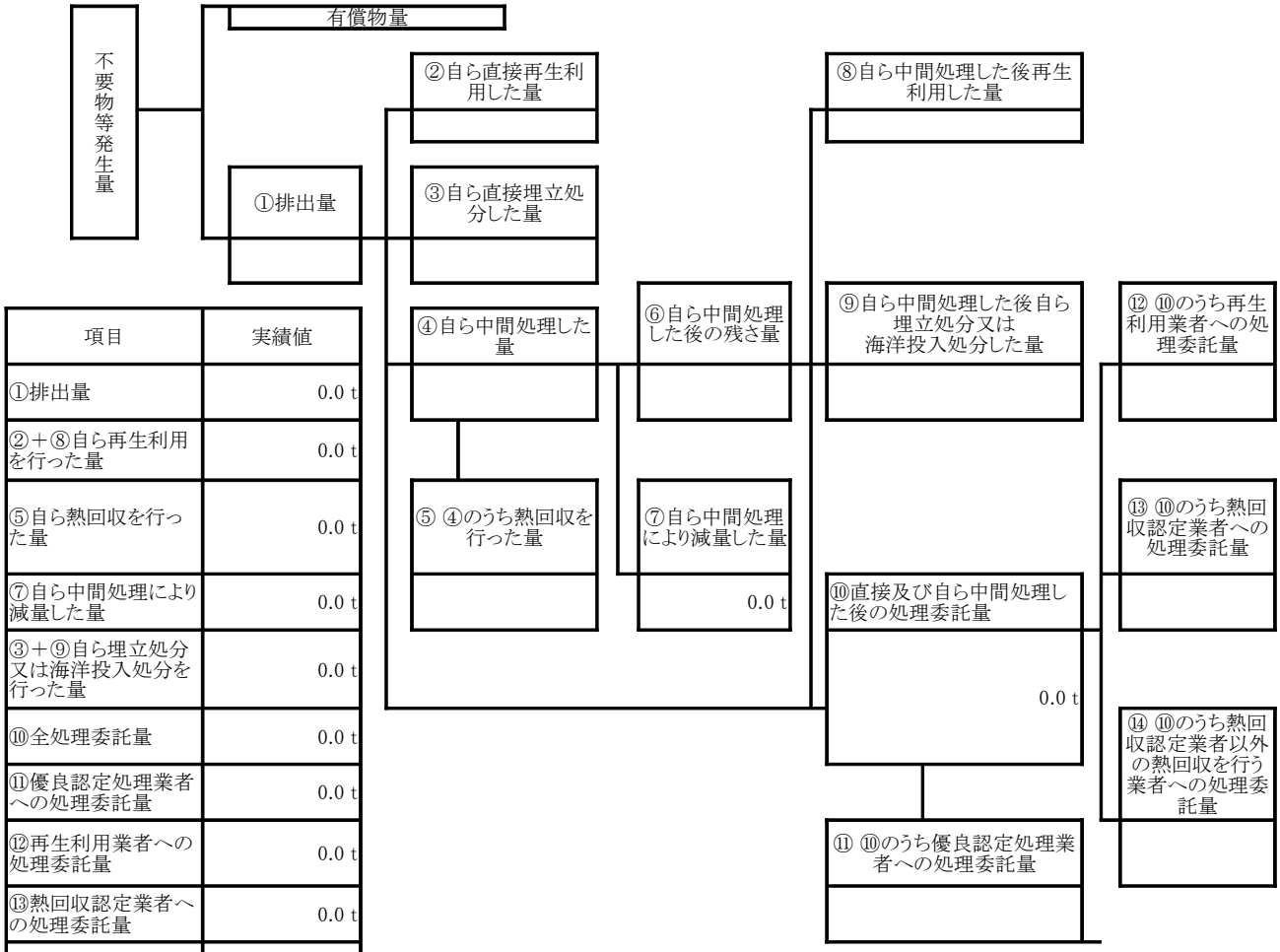


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

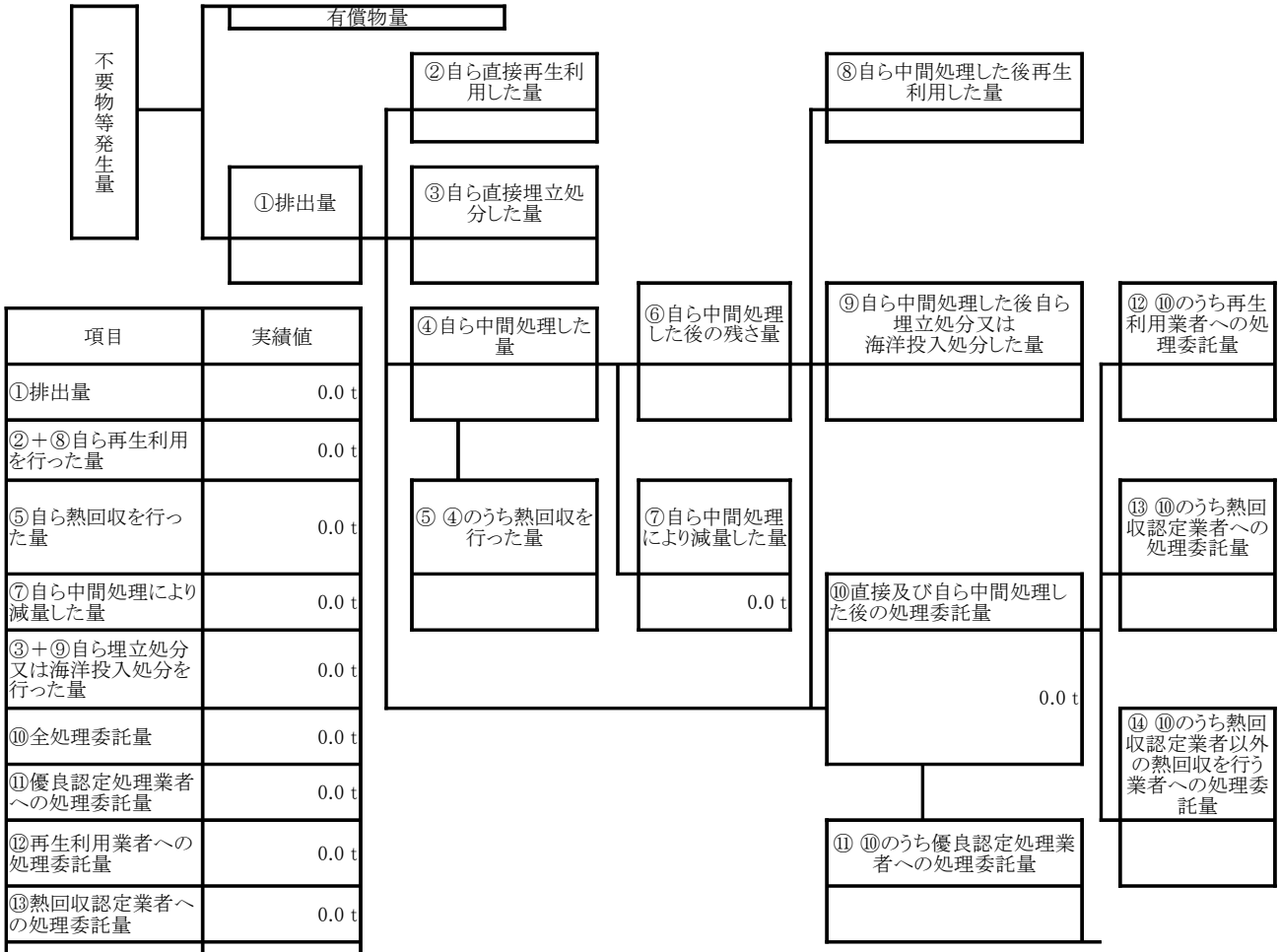


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

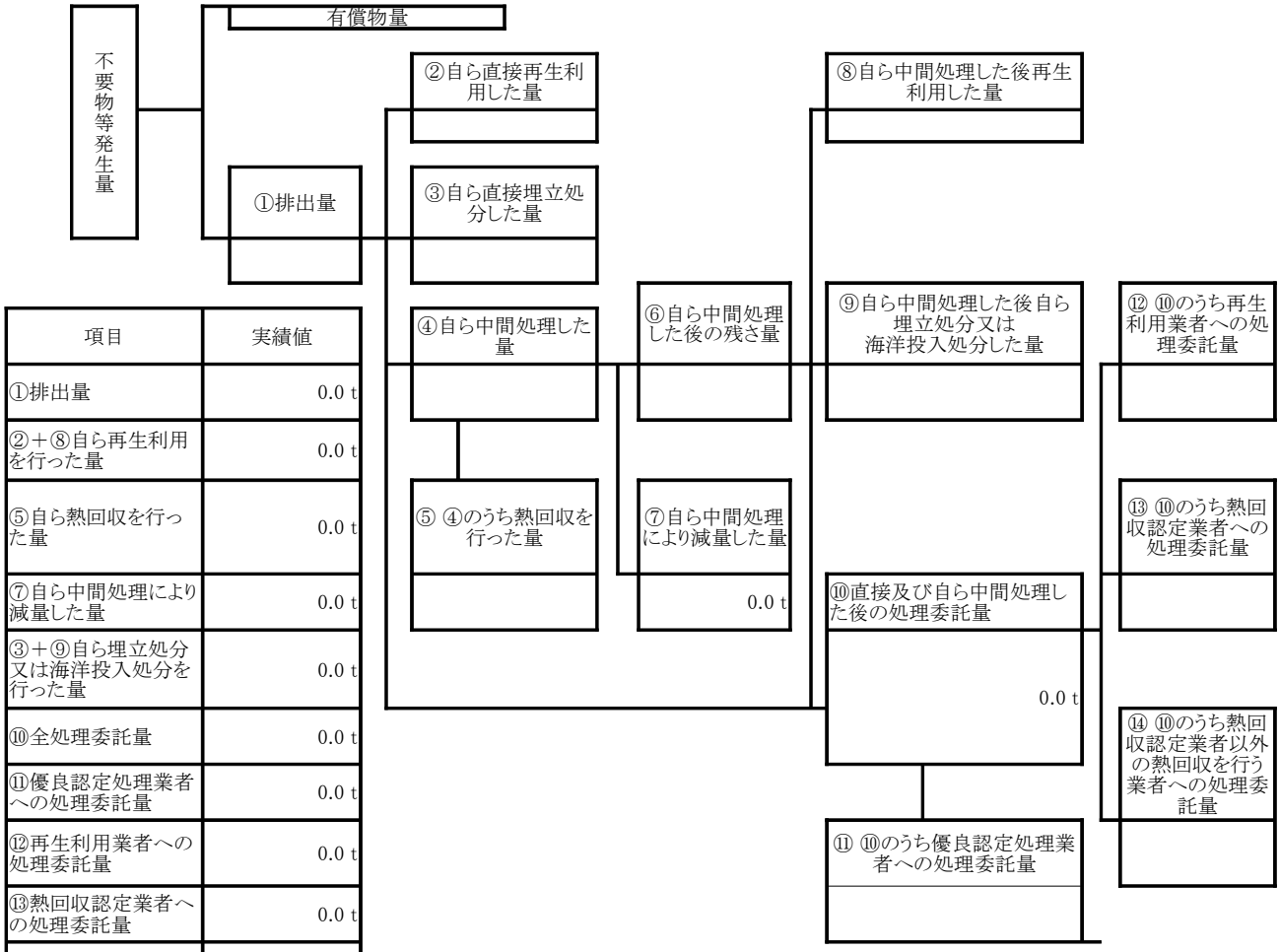


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

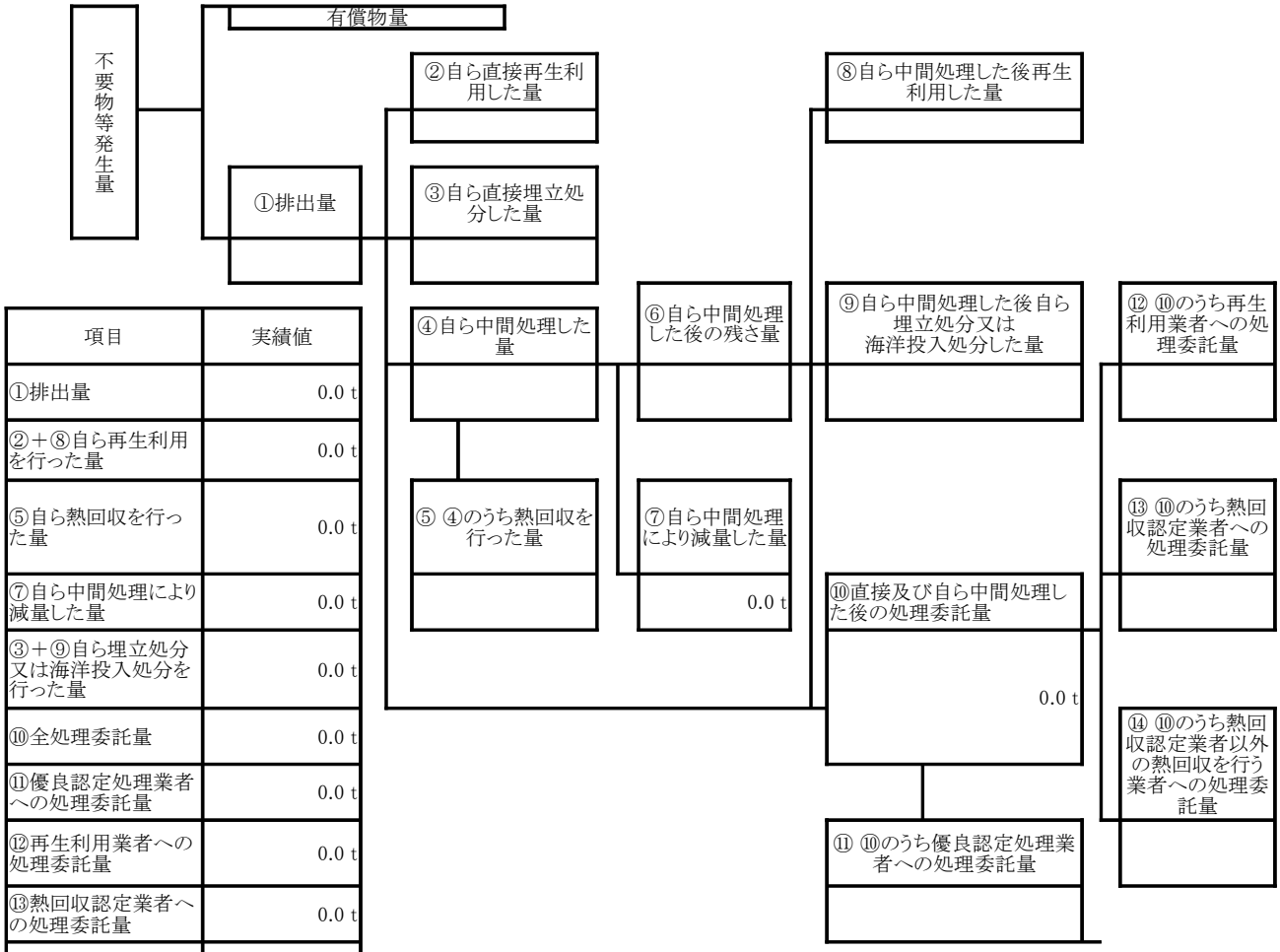


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-0044

住　所　千葉県市原市玉前西２－４－３７

法人名　アヅマ株式会社

代表者　村上 信仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-22-7511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アヅマ株式会社　西工場
事業場の所在地	千葉県市原市玉前西２－４－３７
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　10億円
③従業員数	45人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油、汚泥→委託処理（焼却） 廃酸→委託処理（中和）

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	50.4 t	0.1 t

（これまでに実施した取組）
廃油の性状を確認し、有価物として利用する。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	50 t	0.1 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、廃油の性状を確認し、有価物として利用する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の置き場を定め、ドラム缶で保管している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き、現状の保管方法を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

技術的・コスト的に困難なため、自社再生利用の計画はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自社で中間処理を行う計画はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自社で埋め立て処分を行う計画はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃油	汚泥
全処理委託量		50.4ｔ	0.1ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	50.4ｔ	0.1ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	50.4ｔ	0.1ｔ

（これまでに実施した取組）

可能な限り優良認定処理業者を優先して委託している。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>50 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>50 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>50 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き、優良認定処理業者を優先して委託する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 50.6 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
既に電子マニフェストを導入済。</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

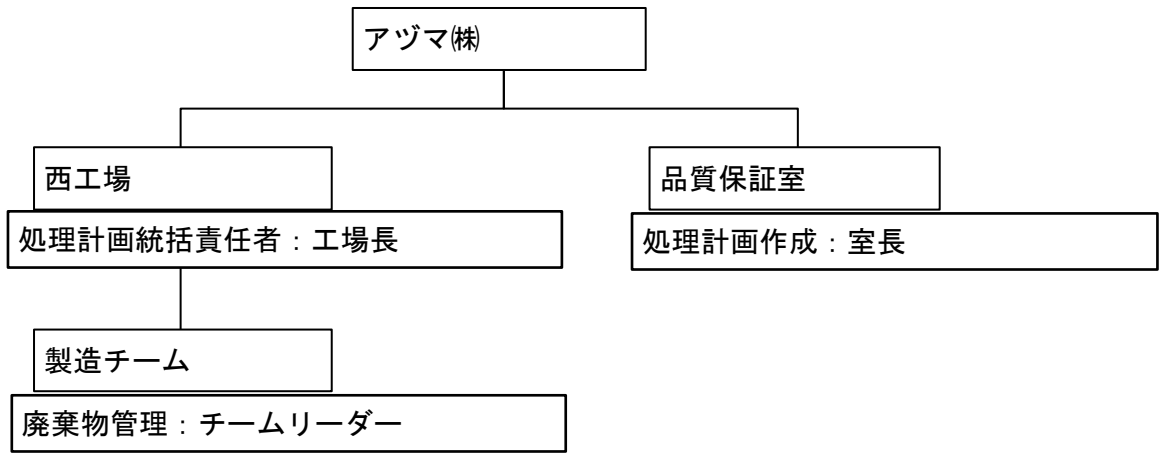
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		排　出　量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		排　出　量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
	全処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸							
	全処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-0044

住所 千葉県市原市玉前西2－4－37

法人名 アヅマ株式会社

代表者 村上 信仁

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0436-22-7511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	アヅマ株式会社 西工場
事業場の所在地	千葉県市原市玉前西2－4－37
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	58 t	全処理委託量	58 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	58 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	58 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	58.8 t
	前年度（令和5年度）	50.6 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
既に電子マニフェストを導入済。

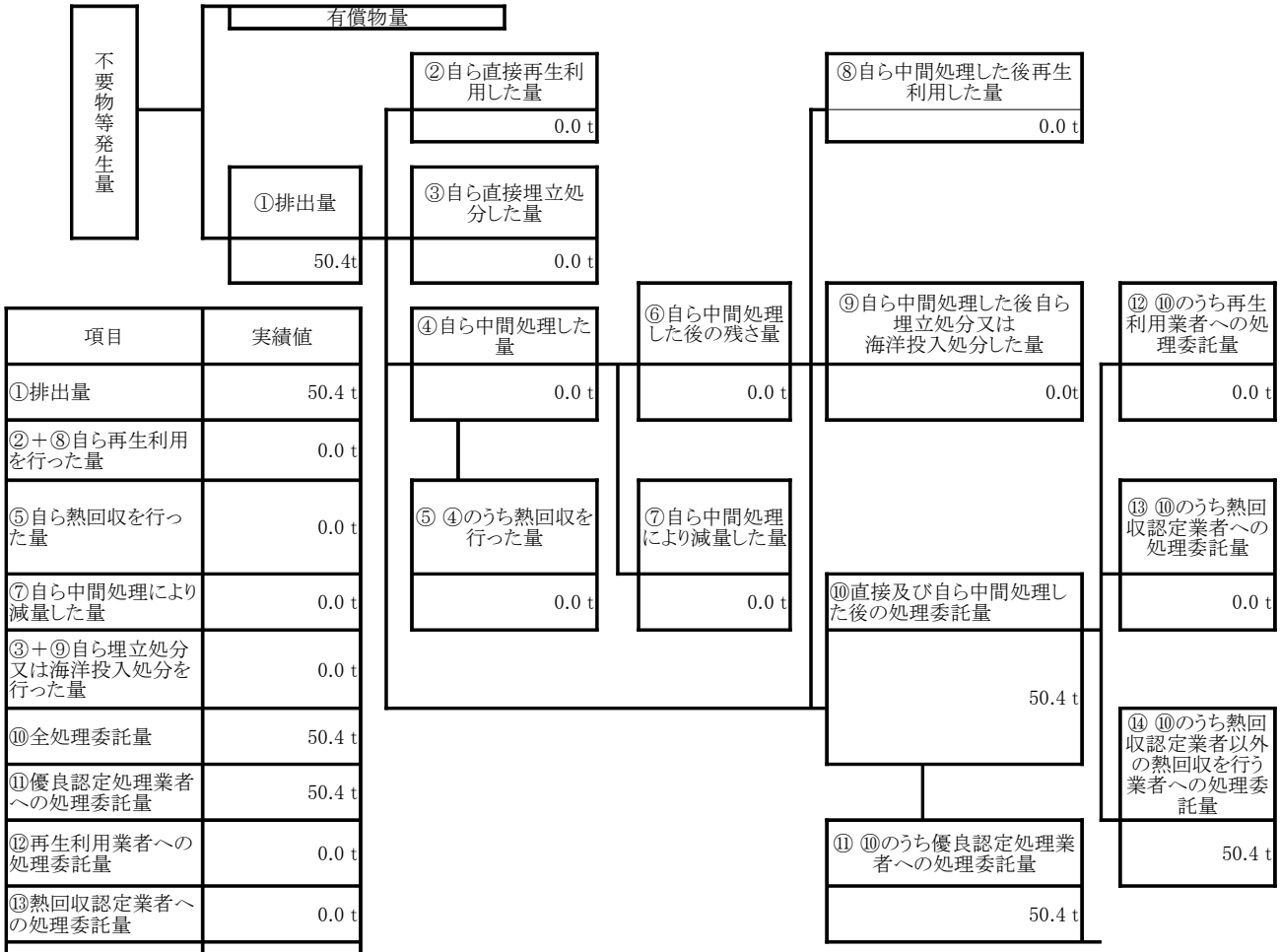
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類: **廃油** ）



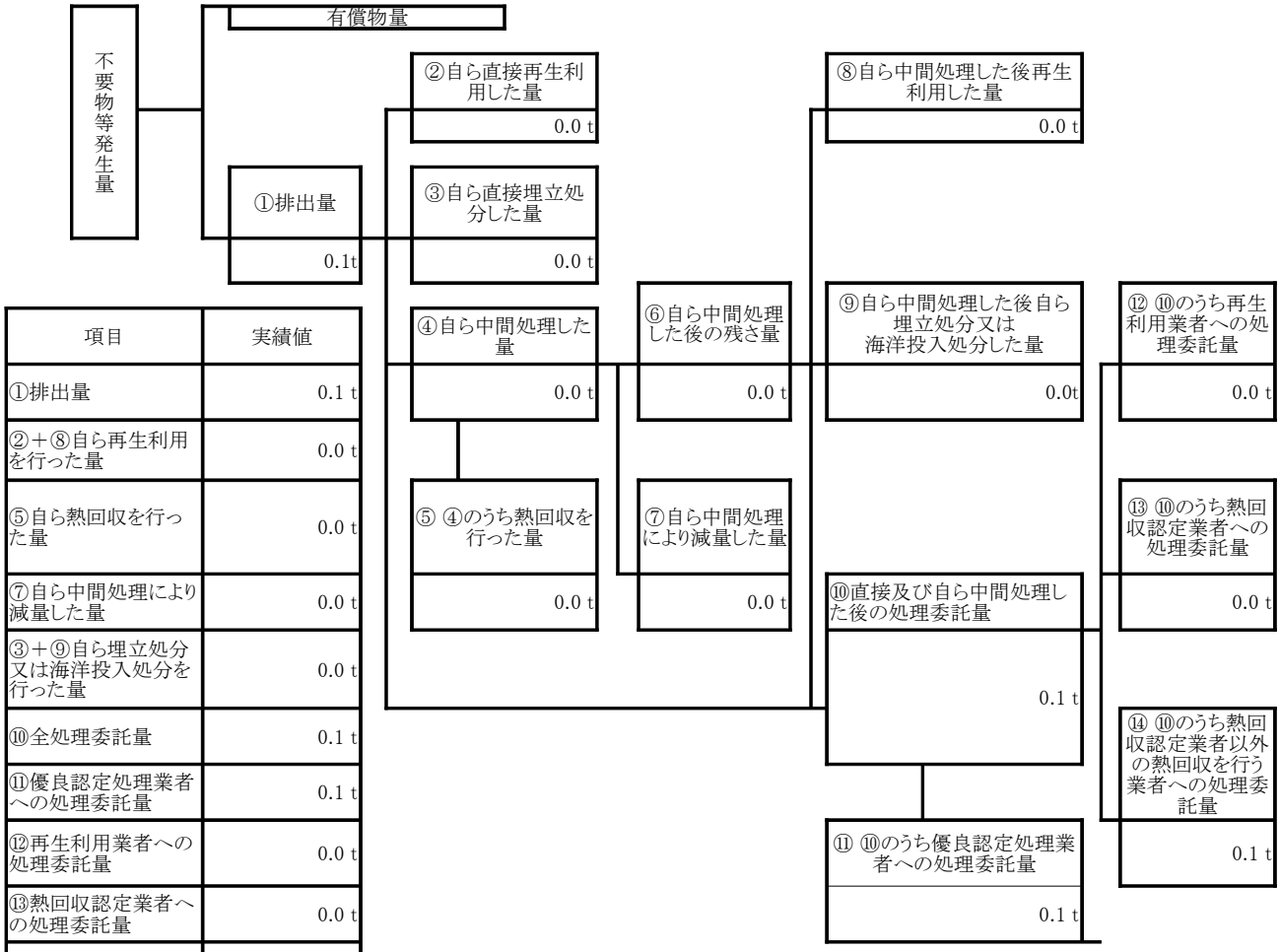
項目	実績値
①排出量	50.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	50.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	50.4 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　汚泥　）



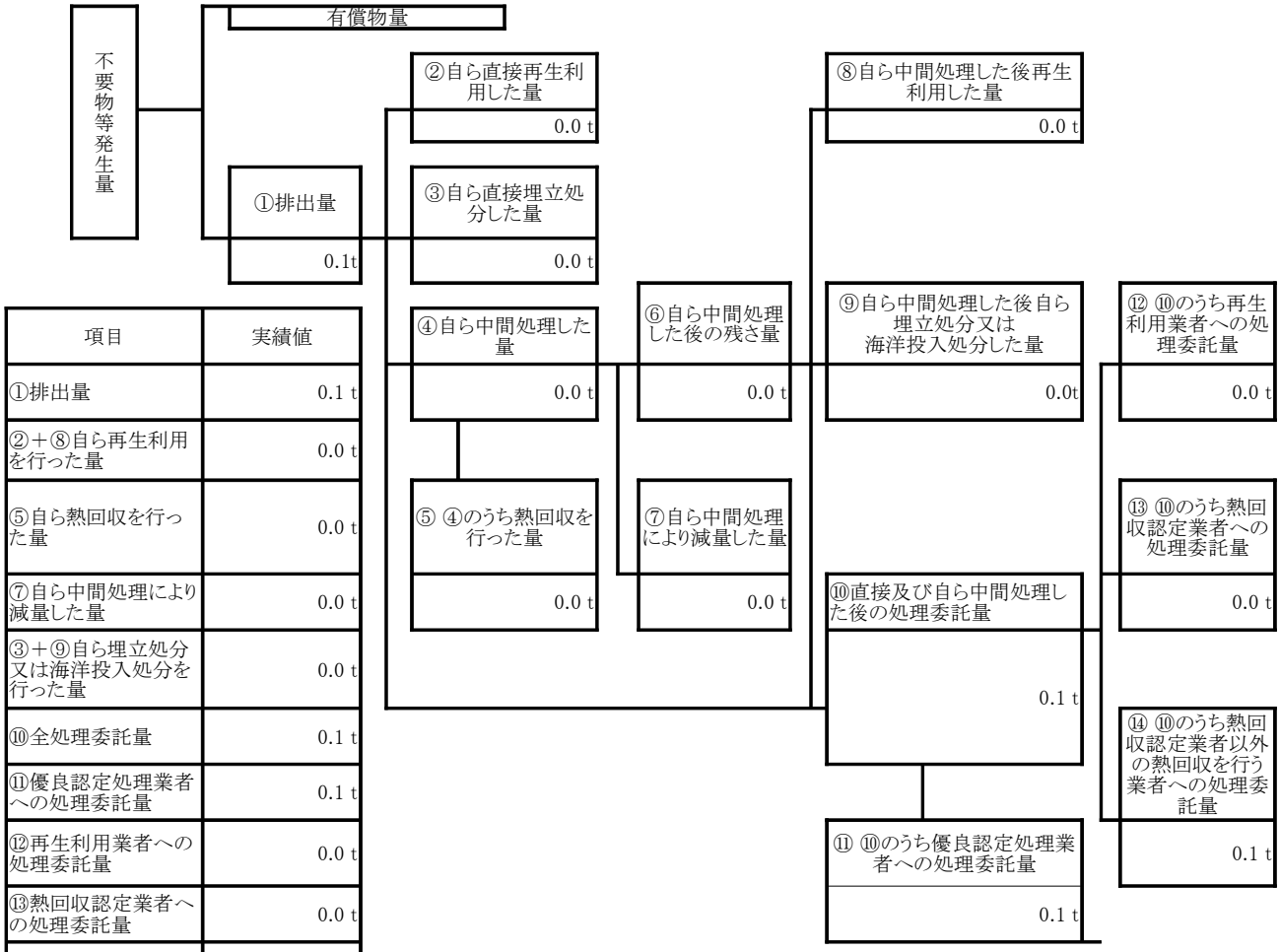
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃酸　）



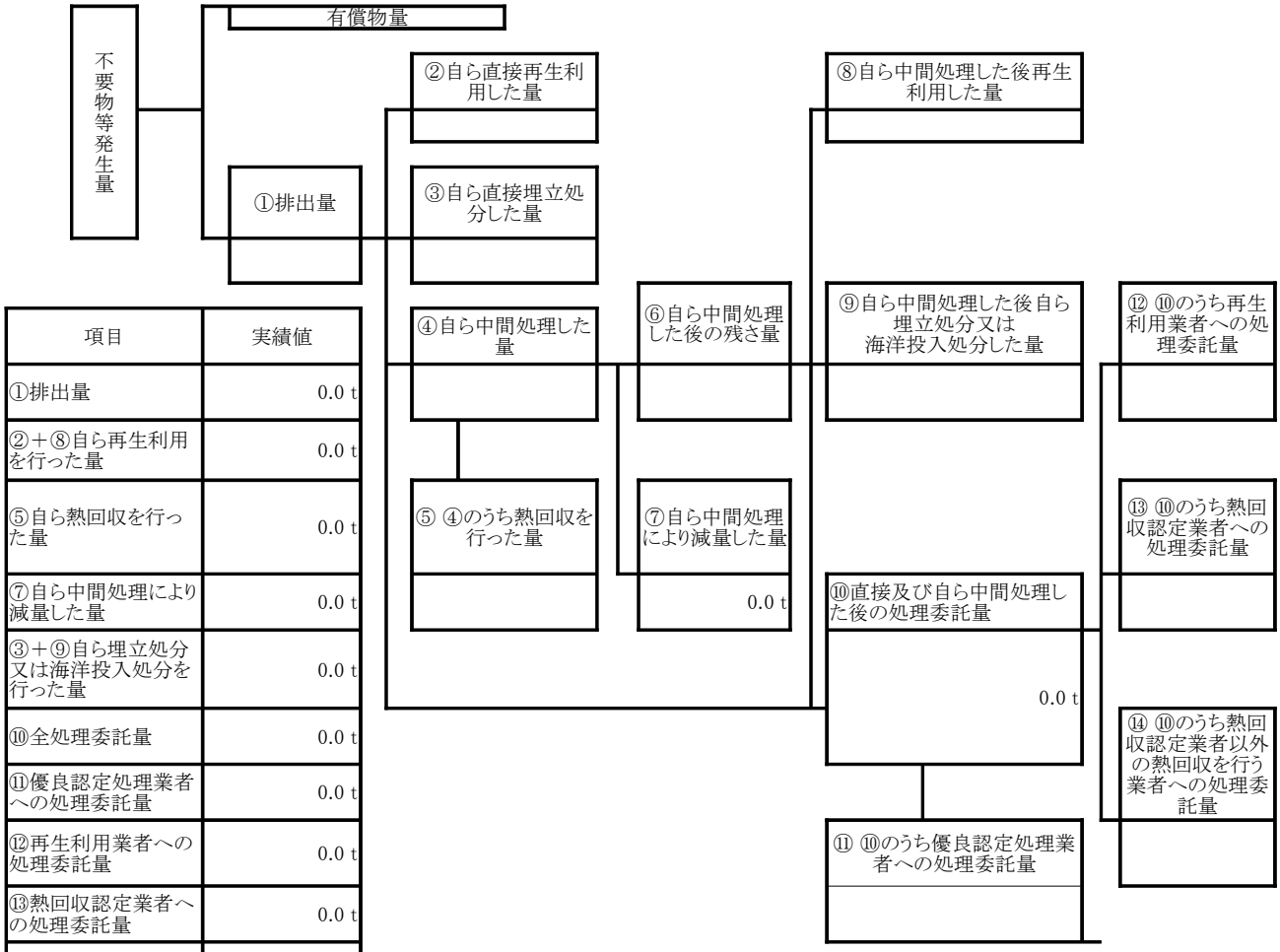
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

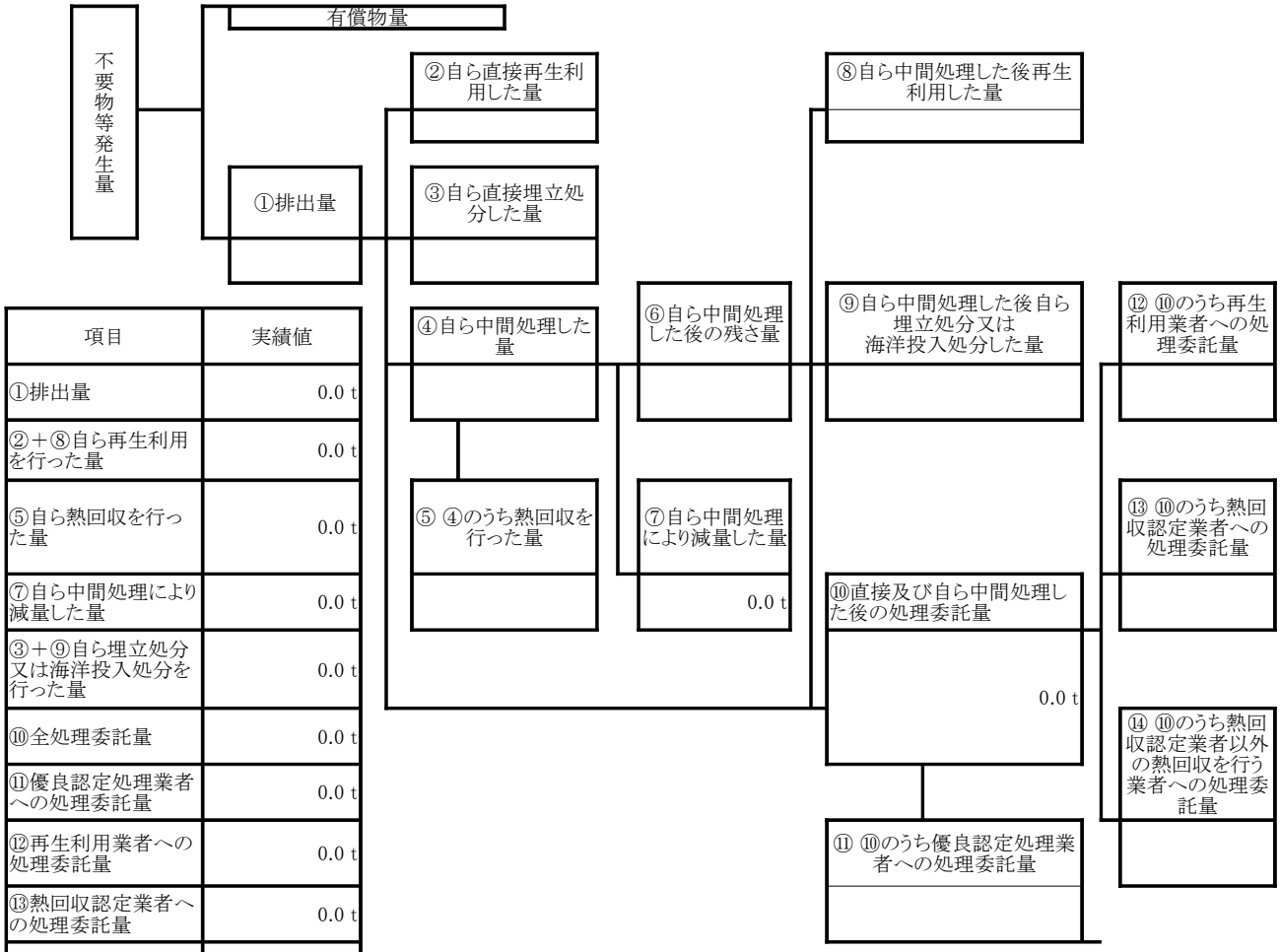


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

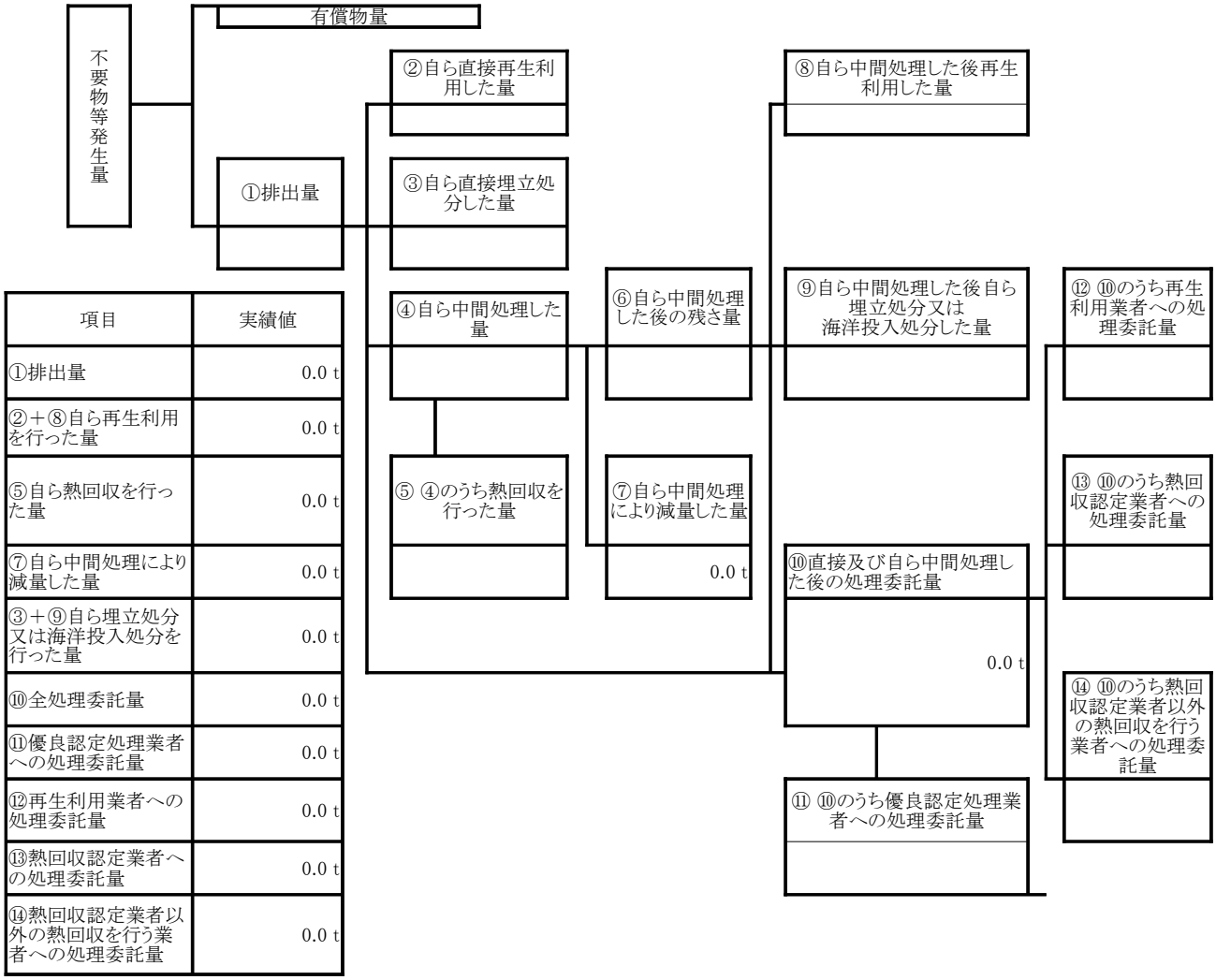


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

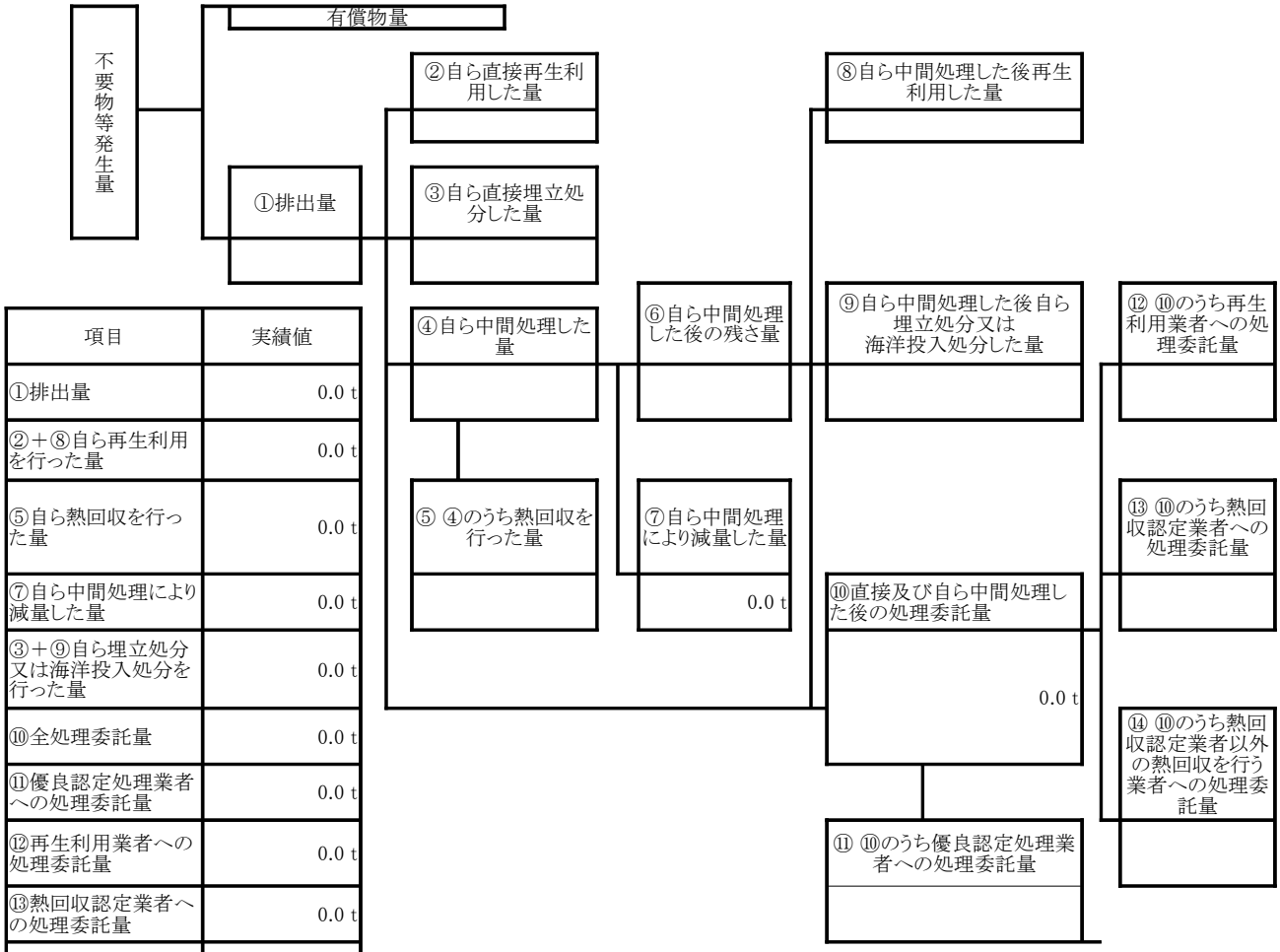


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

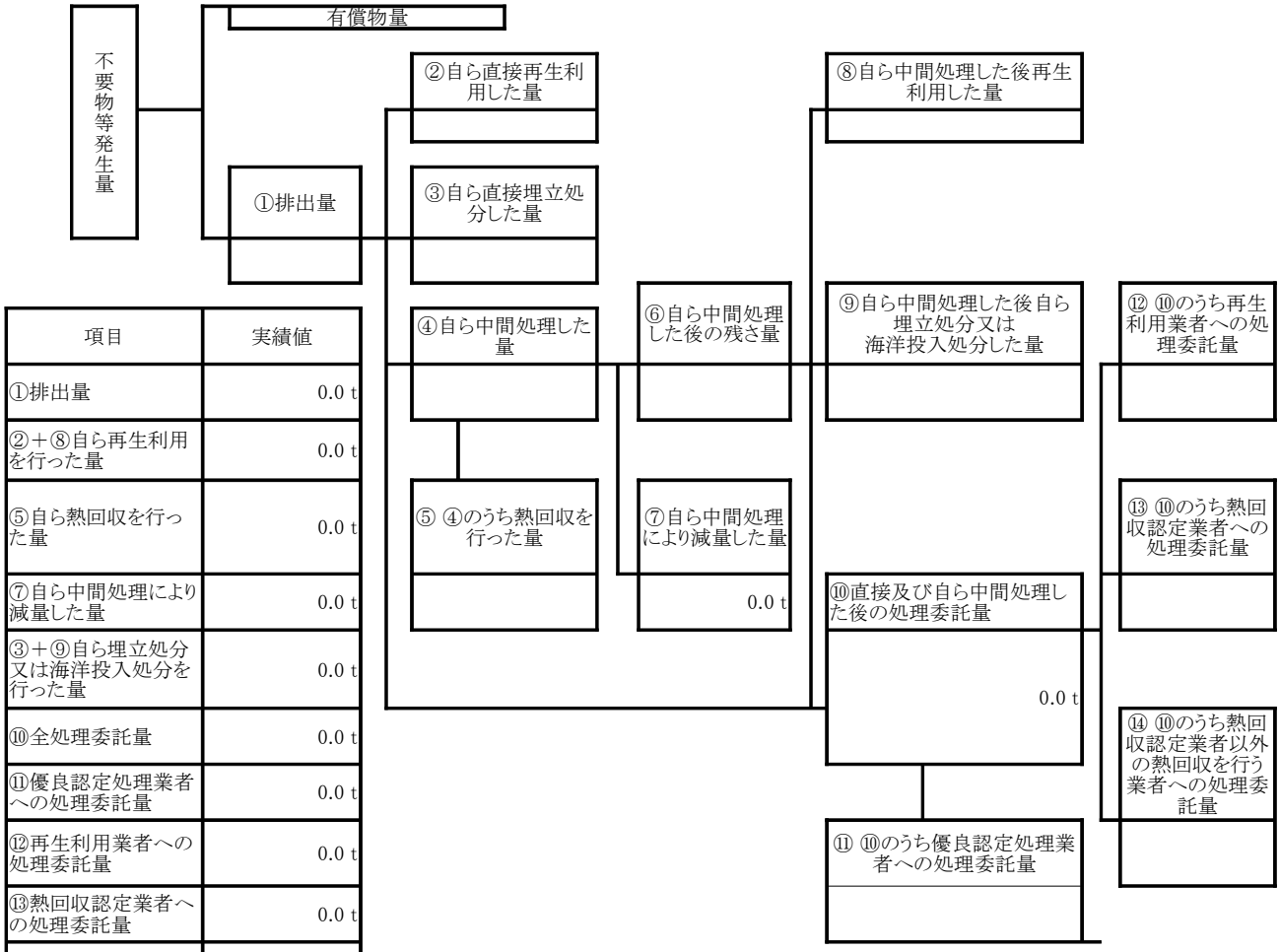


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

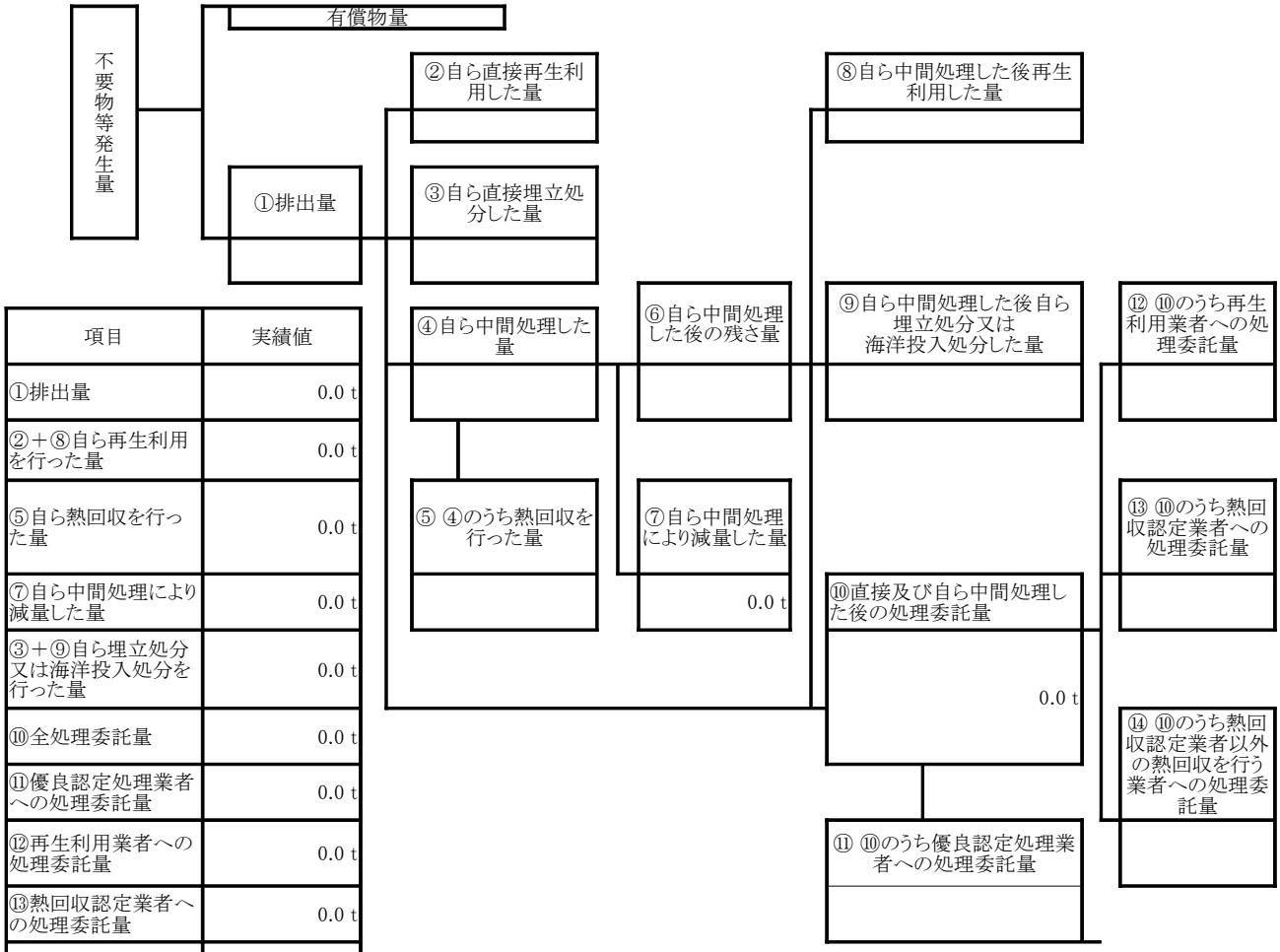


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

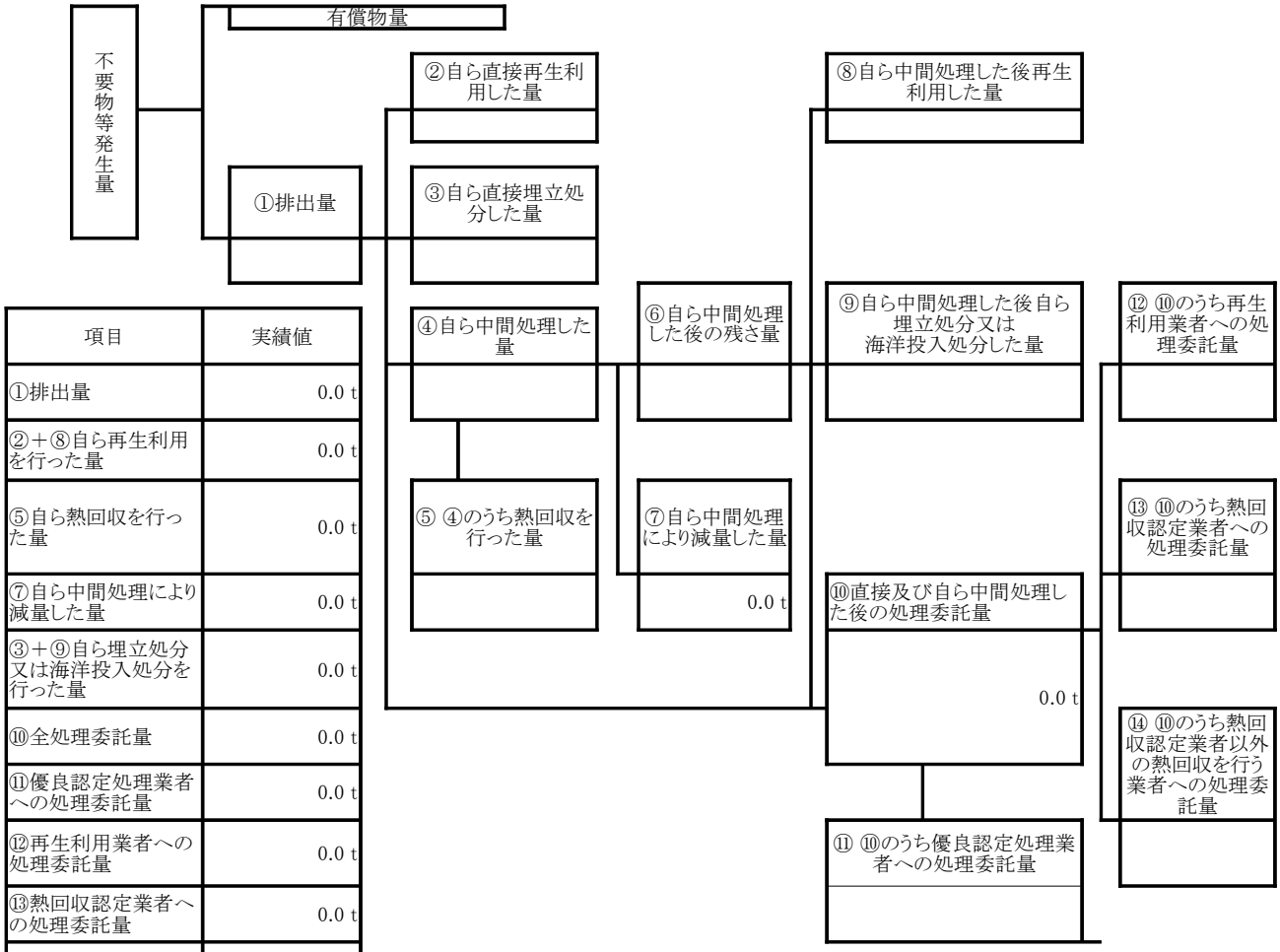


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



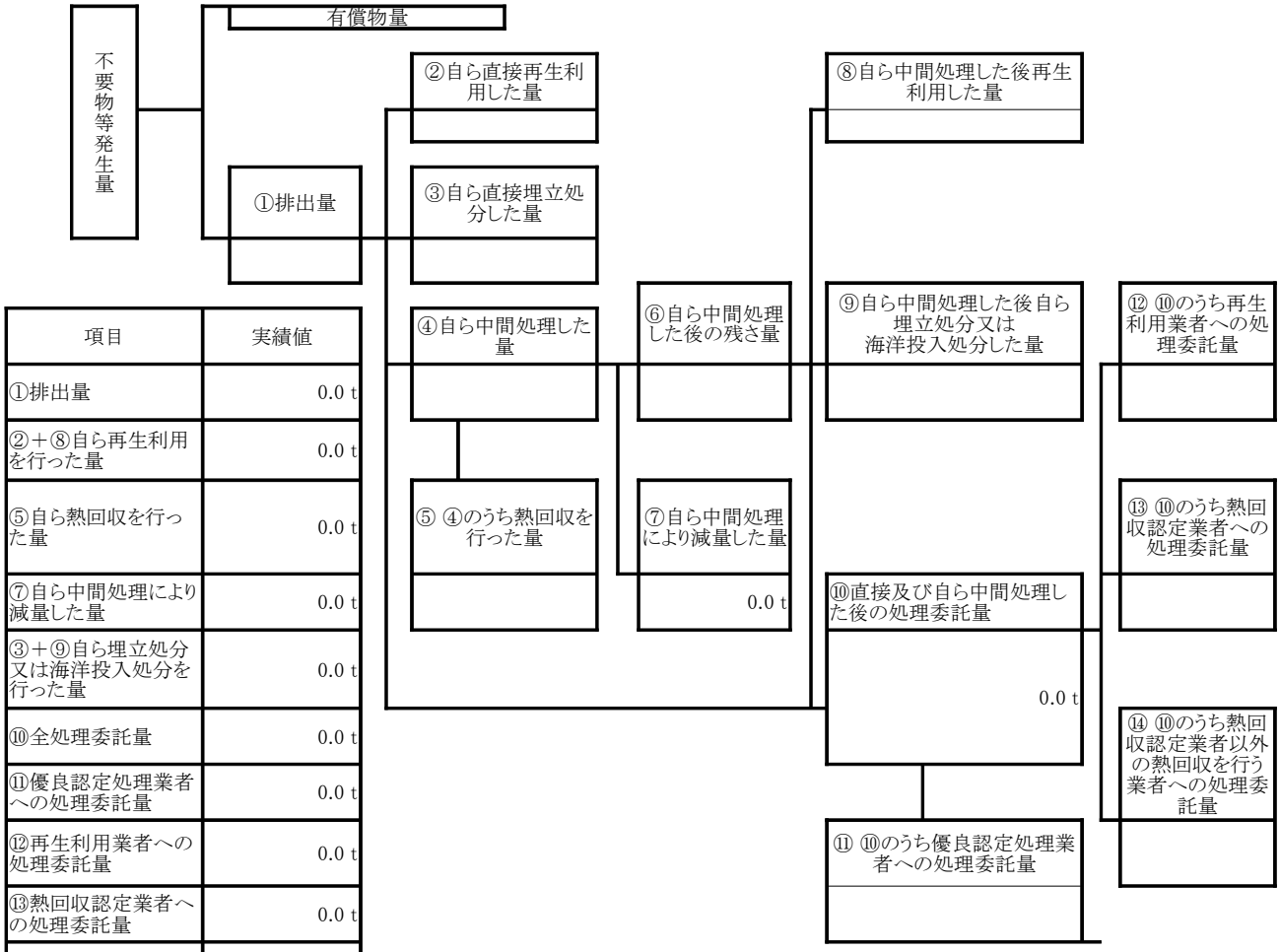
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

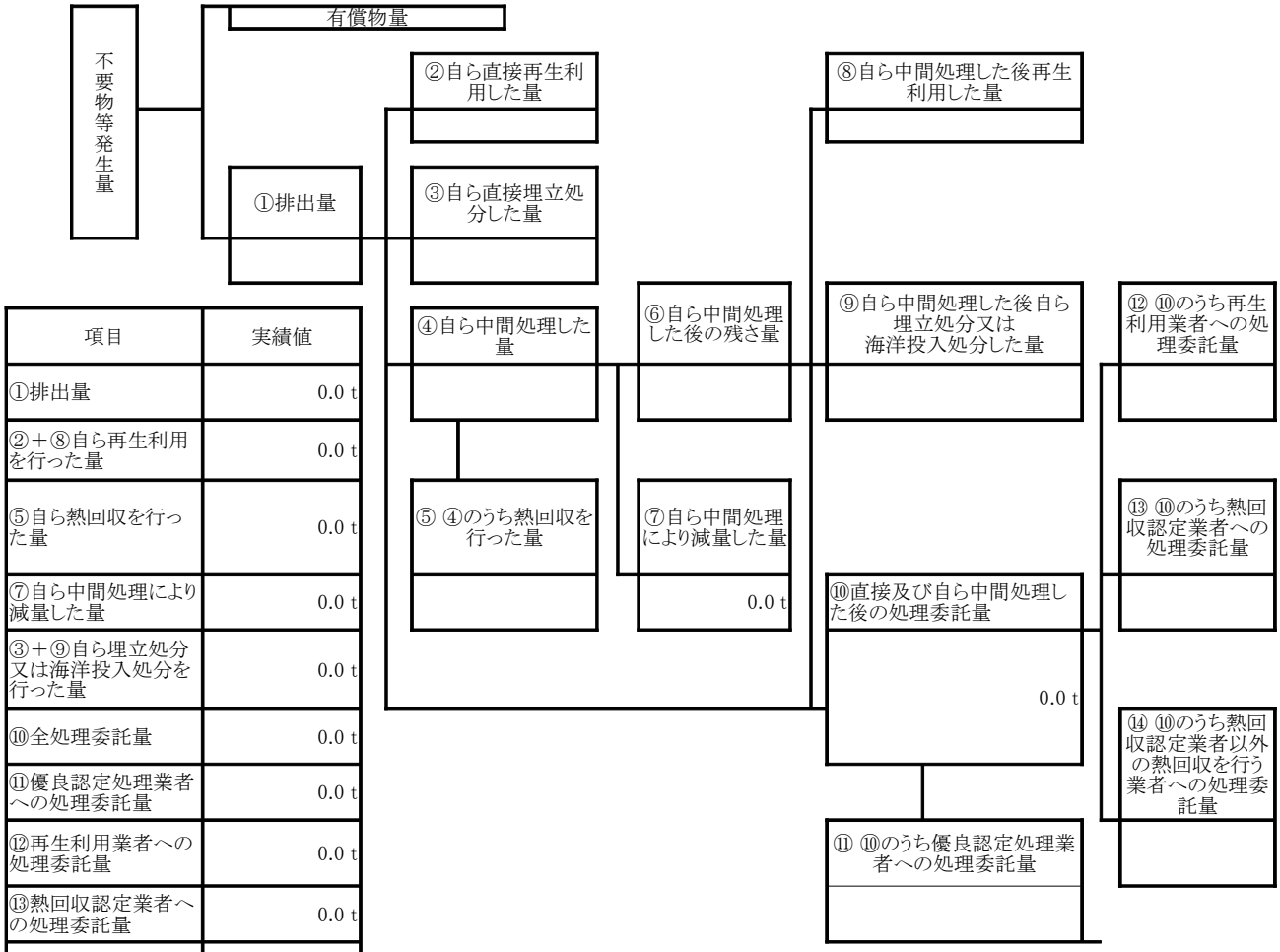


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

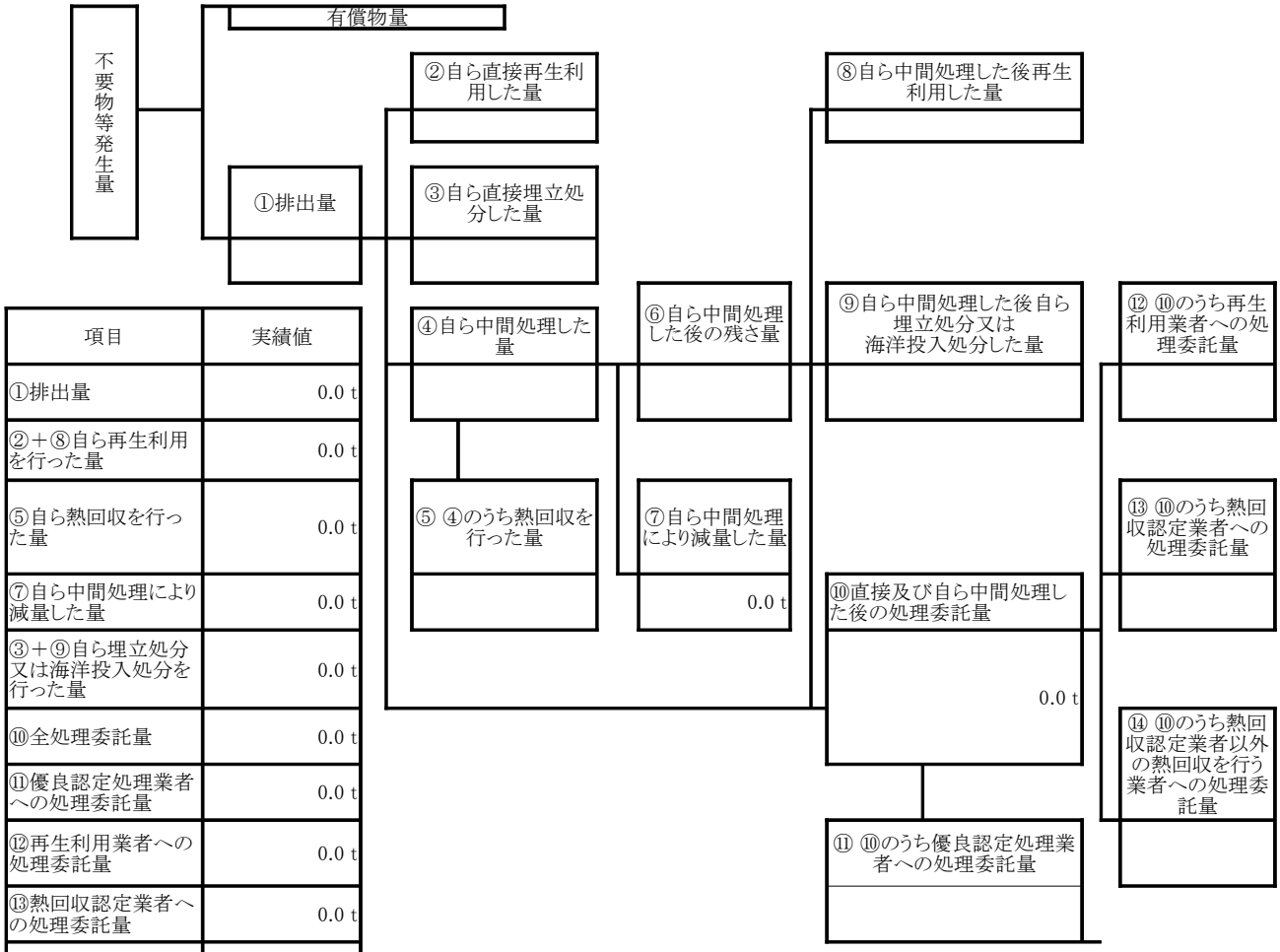


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

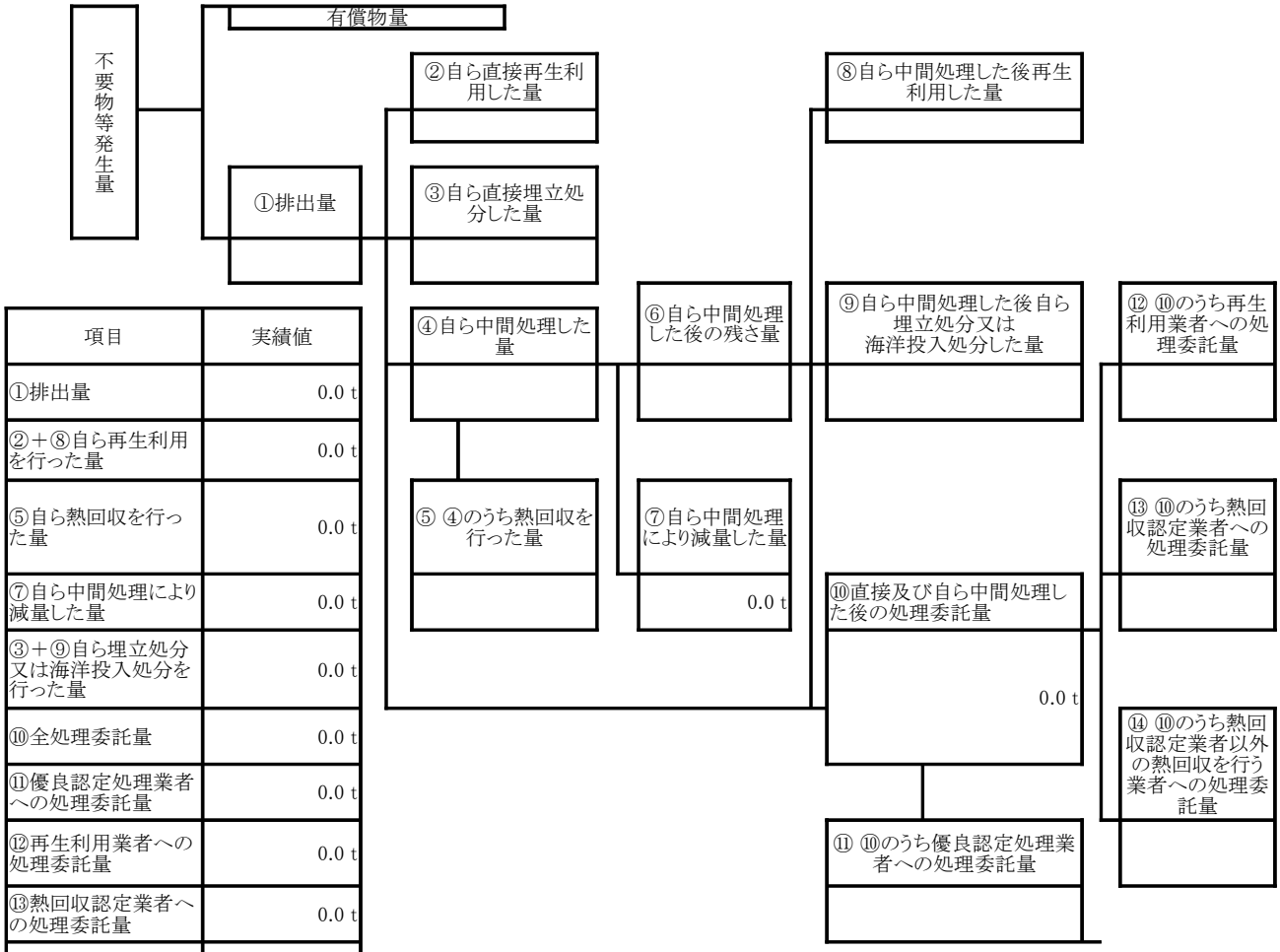


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



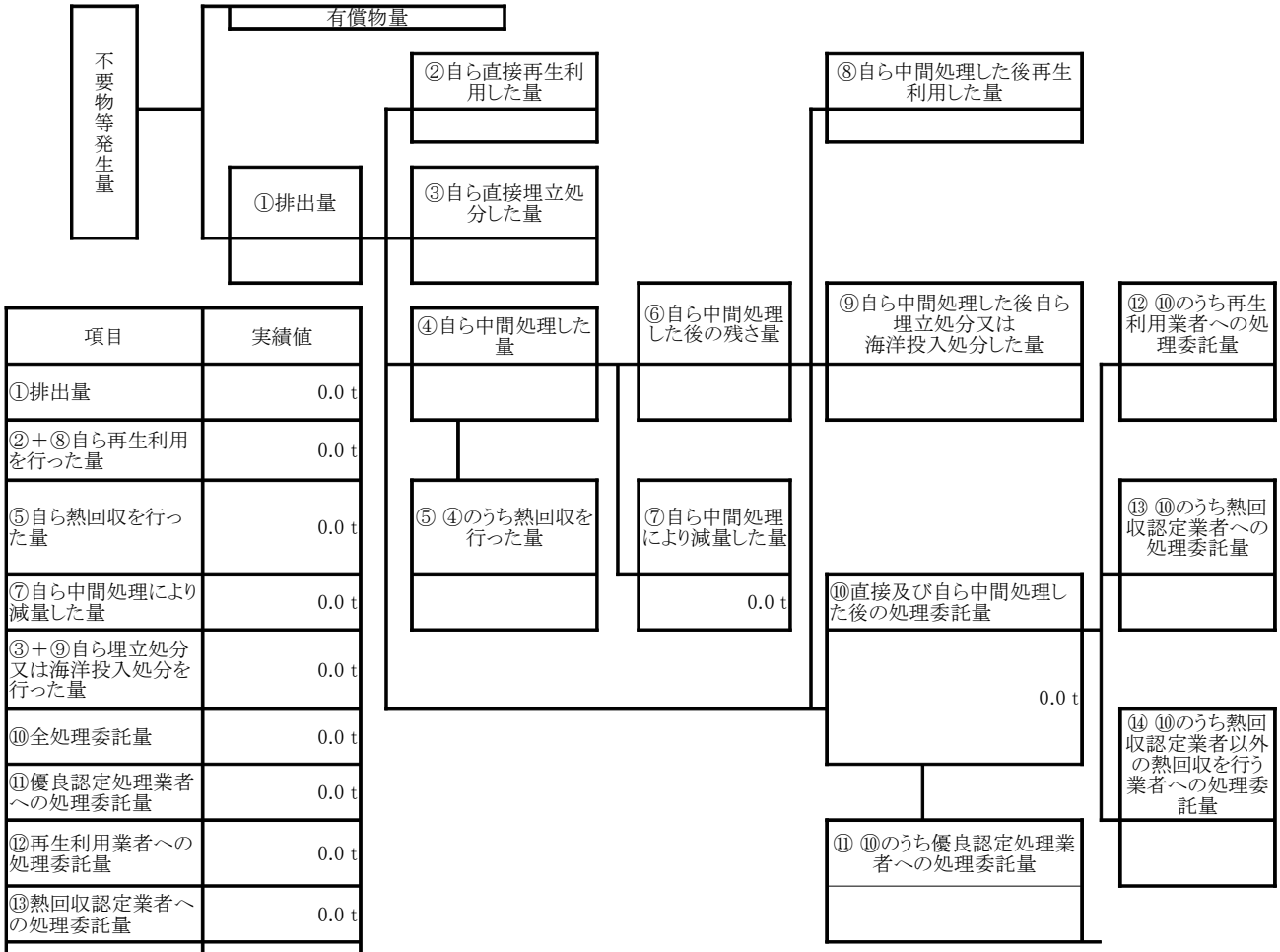
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



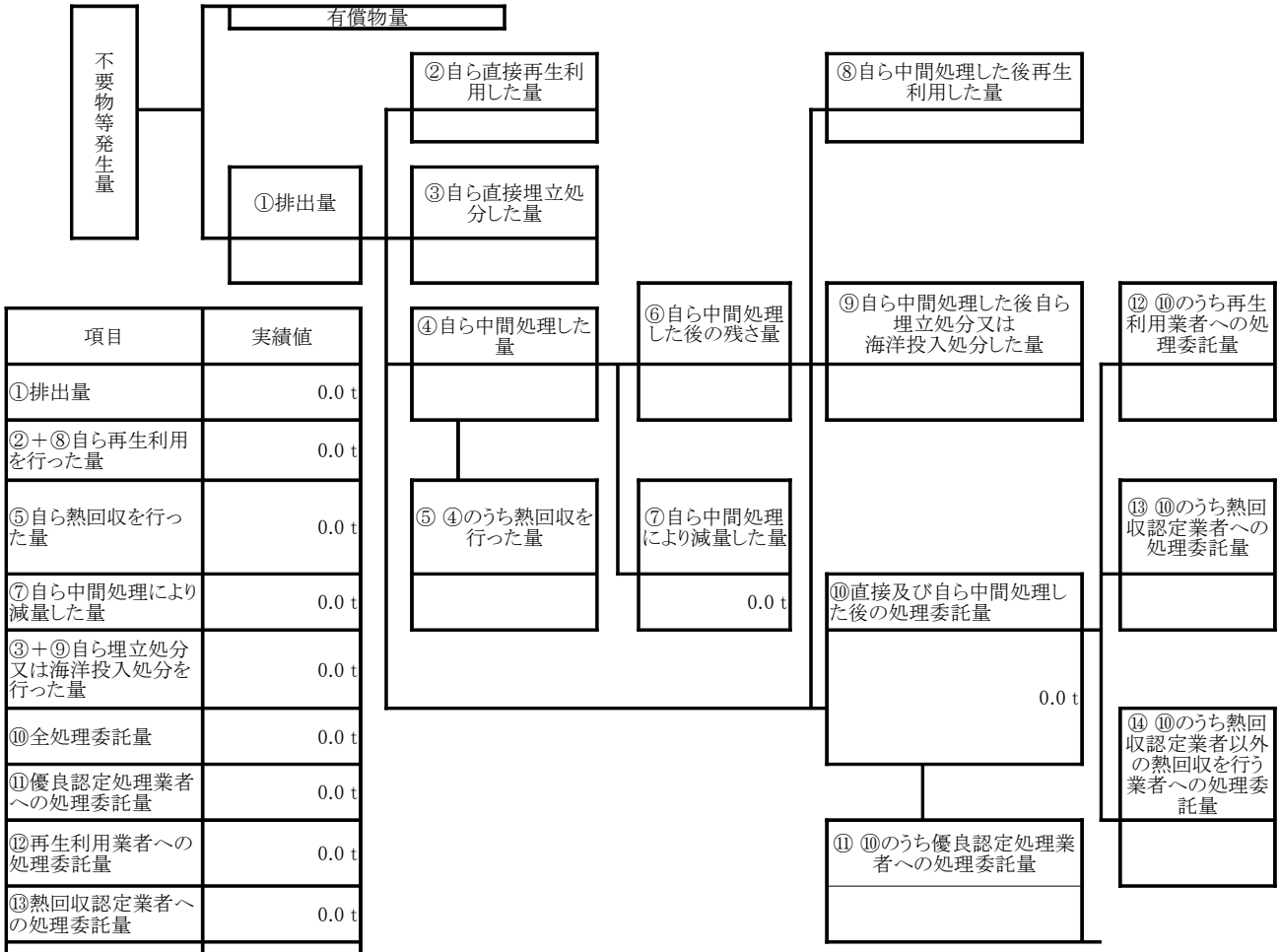
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

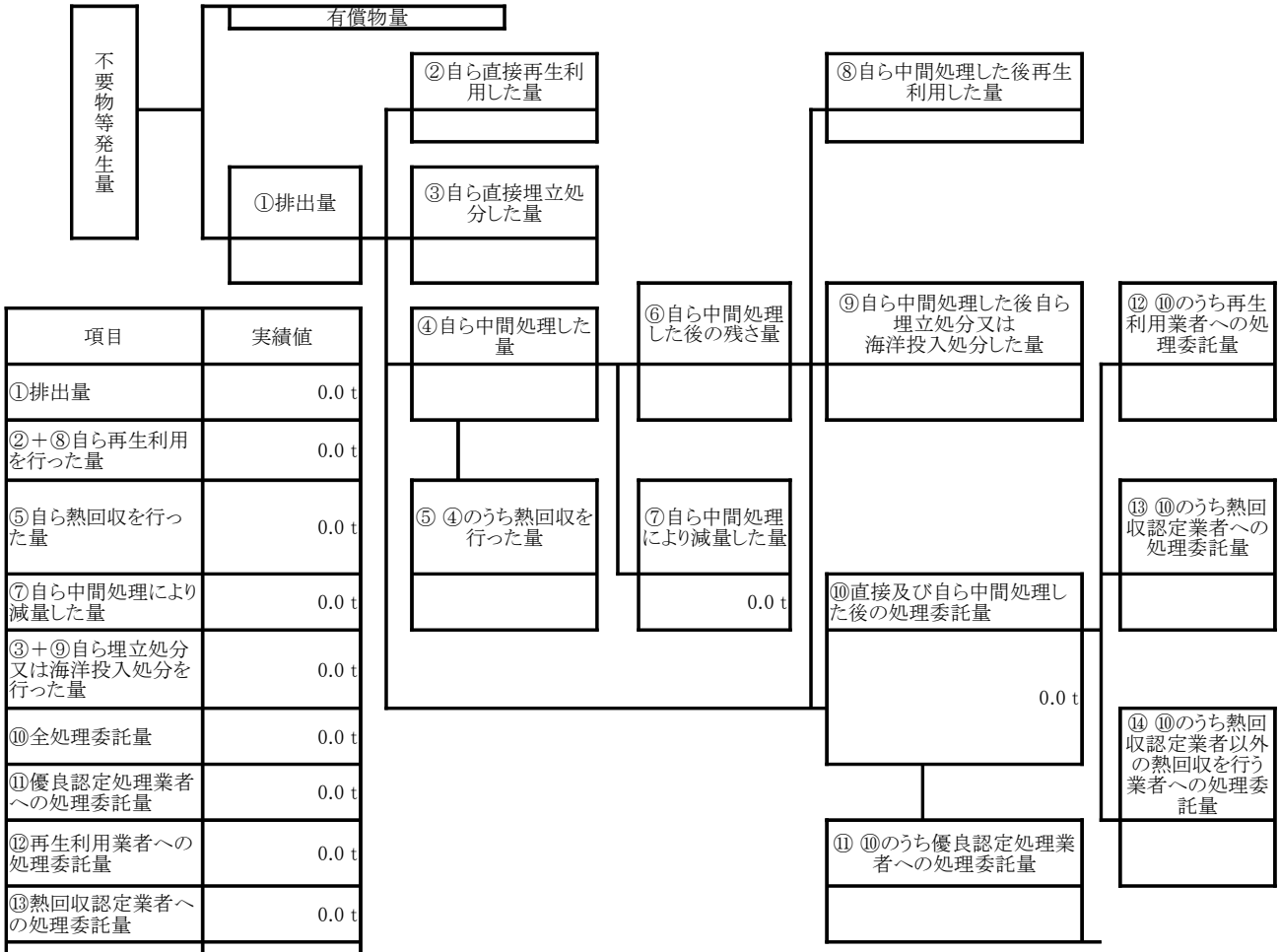


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

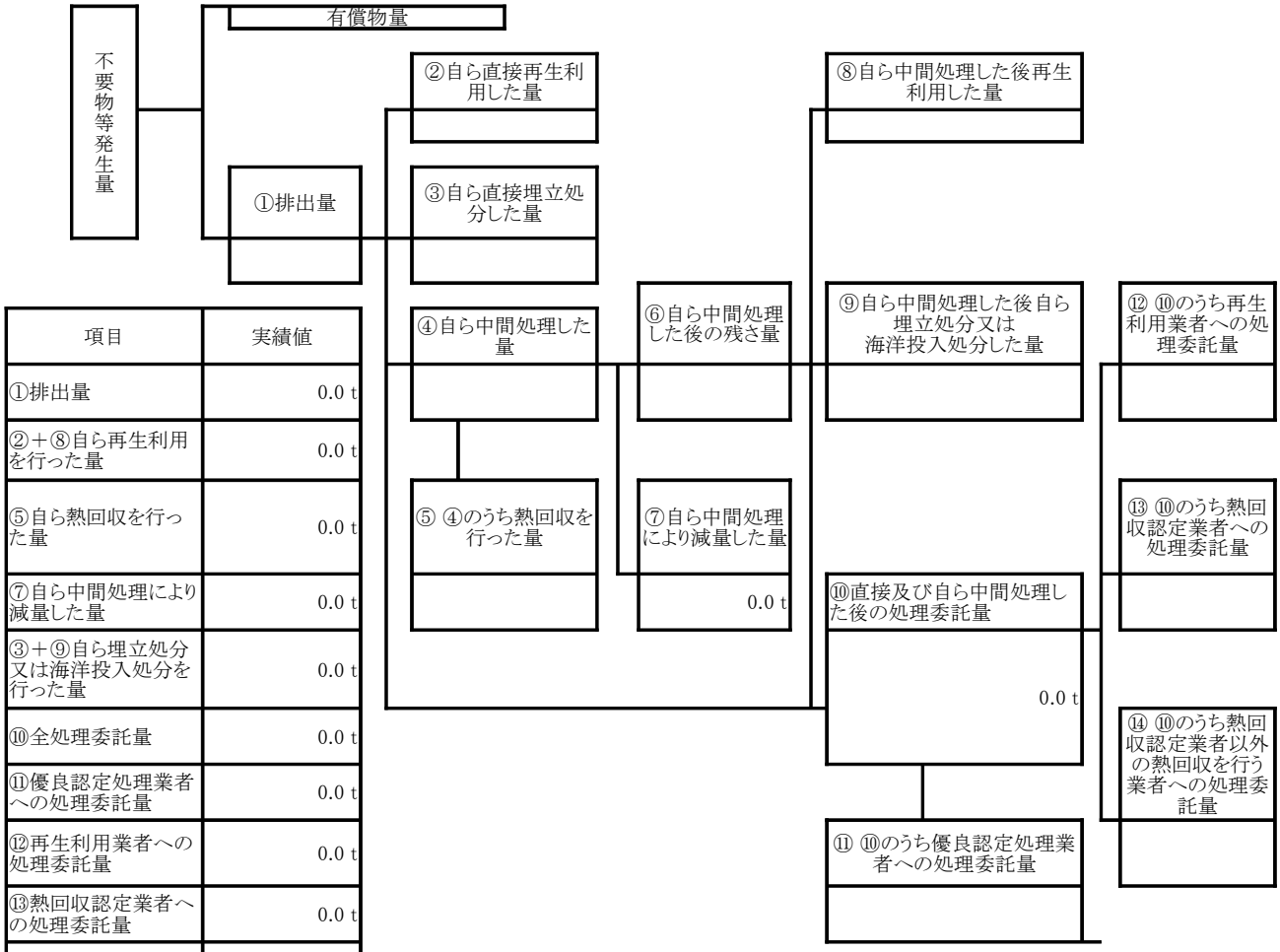


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

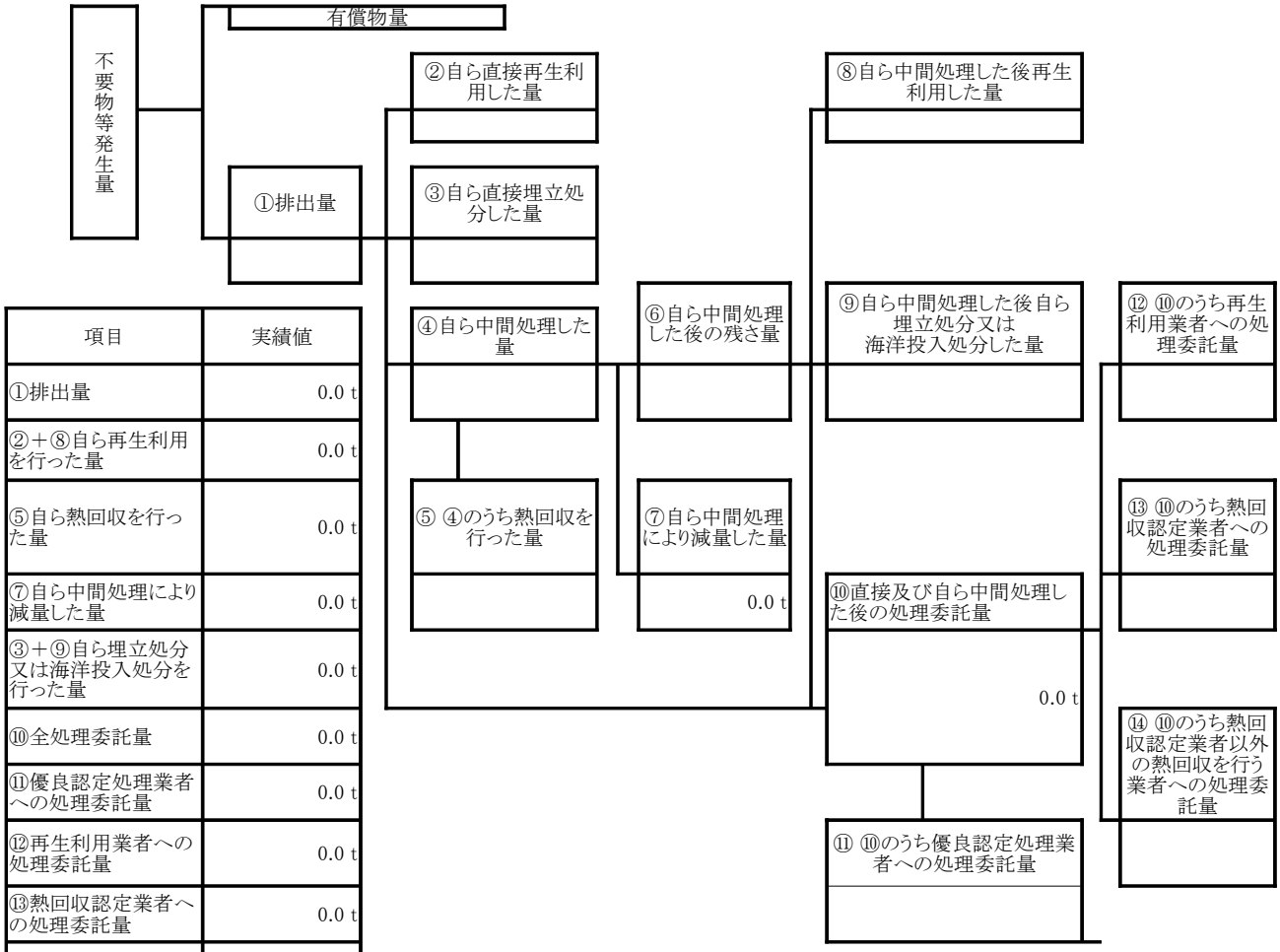


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

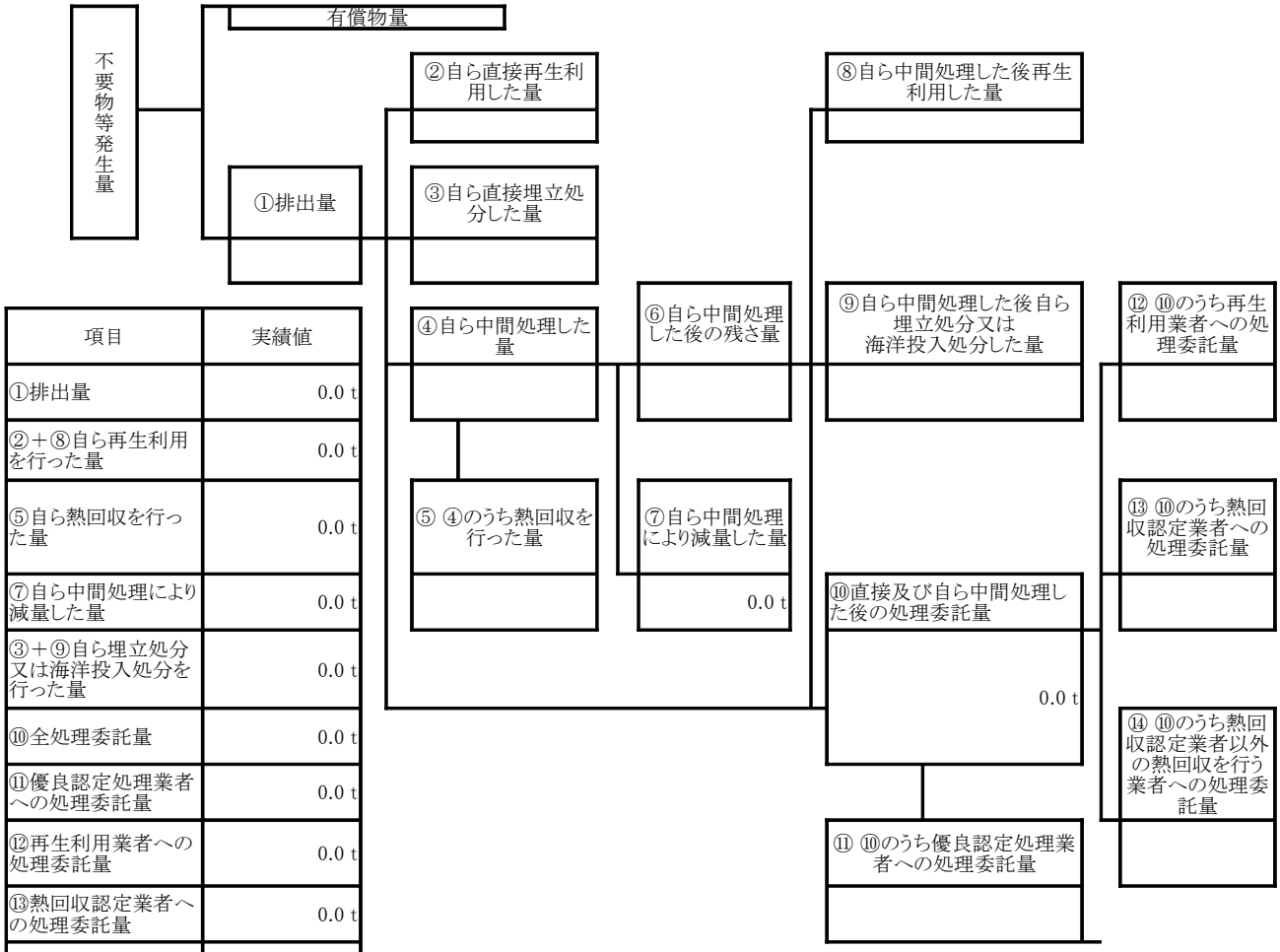


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月24日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　290-0045

住　所　千葉県市原市五井南海岸４５

法人名　アヅマ株式会社

代表者　木村 京一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-20-7870

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アヅマ株式会社　南工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸４５
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　化学工業
②事業の規模	前年度の製品出荷額　9億円
③従業員数	44人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	引火性廃油→委託処理（焼却） 強酸、強アルカリ→委託処理（中和、混合エマルジョン化）

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
添付のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
排出量	92.3 t	4.5 t

（これまでに実施した取組）
廃棄物の性状を確認し、有価物として利用する。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
排出量	91 t	4.3 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、廃棄物の性状を確認し、有価物として利用を推進する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃棄物の品目ごとに専用タンク又はドラム缶で保管している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き、分別保管を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

技術的・コスト的に困難なため、自社再生利用の計画はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自社で中間処理を行う計画はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（これまでに実施した取組）

特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	０ｔ	０ｔ

（今後実施する予定の取組）

自社で埋立処分を行う計画はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃油	廃酸
全処理委託量		92.3ｔ	4.5ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	91.4ｔ	4.5ｔ
	再生利用業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	０ｔ	０ｔ
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	91.4ｔ	4.5ｔ

（これまでに実施した取組）

可能な限り優良認定処理業者を優先して委託している。

<table>
<tr><td colspan="2">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="6"></td><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油</td><td>廃酸</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>91 t</td><td>4.3 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>90 t</td><td>4.3 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>90 t</td><td>4.3 t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
引き続き、優良認定処理業者を優先して委託する。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 103 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストの導入を準備中。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

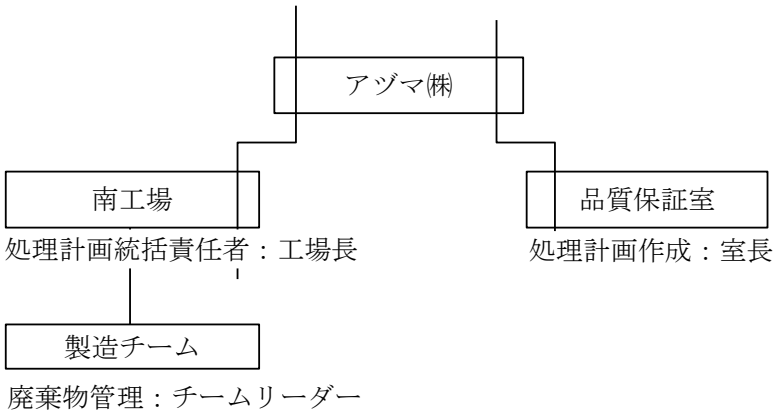
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　　出　　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		排　出　量	6.2 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		排　出　量	6 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	全処理委託量	6.2 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.2 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	全処理委託量	6 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　290-0045

住所 千葉県市原市五井南海岸45

法人名 アヅマ株式会社

代表者 木村 京一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-20-7870

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	アヅマ株式会社 南工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸45
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	63.3 t	全処理委託量	63.3 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	63.3 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	63.3 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	64.2 t
	前年度(令和5年度)	103 t

(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
電子マニフェストの導入を準備中。

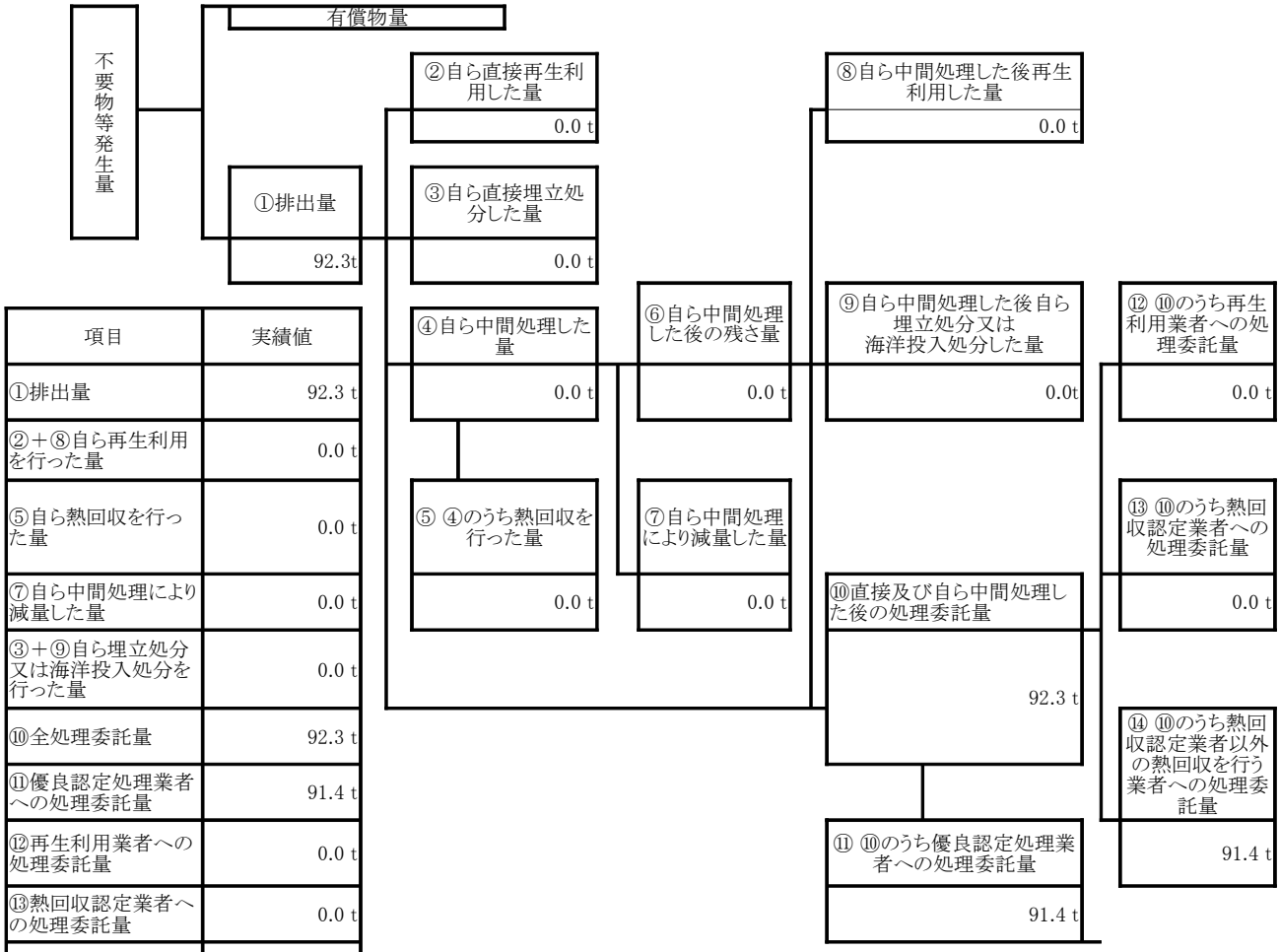
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

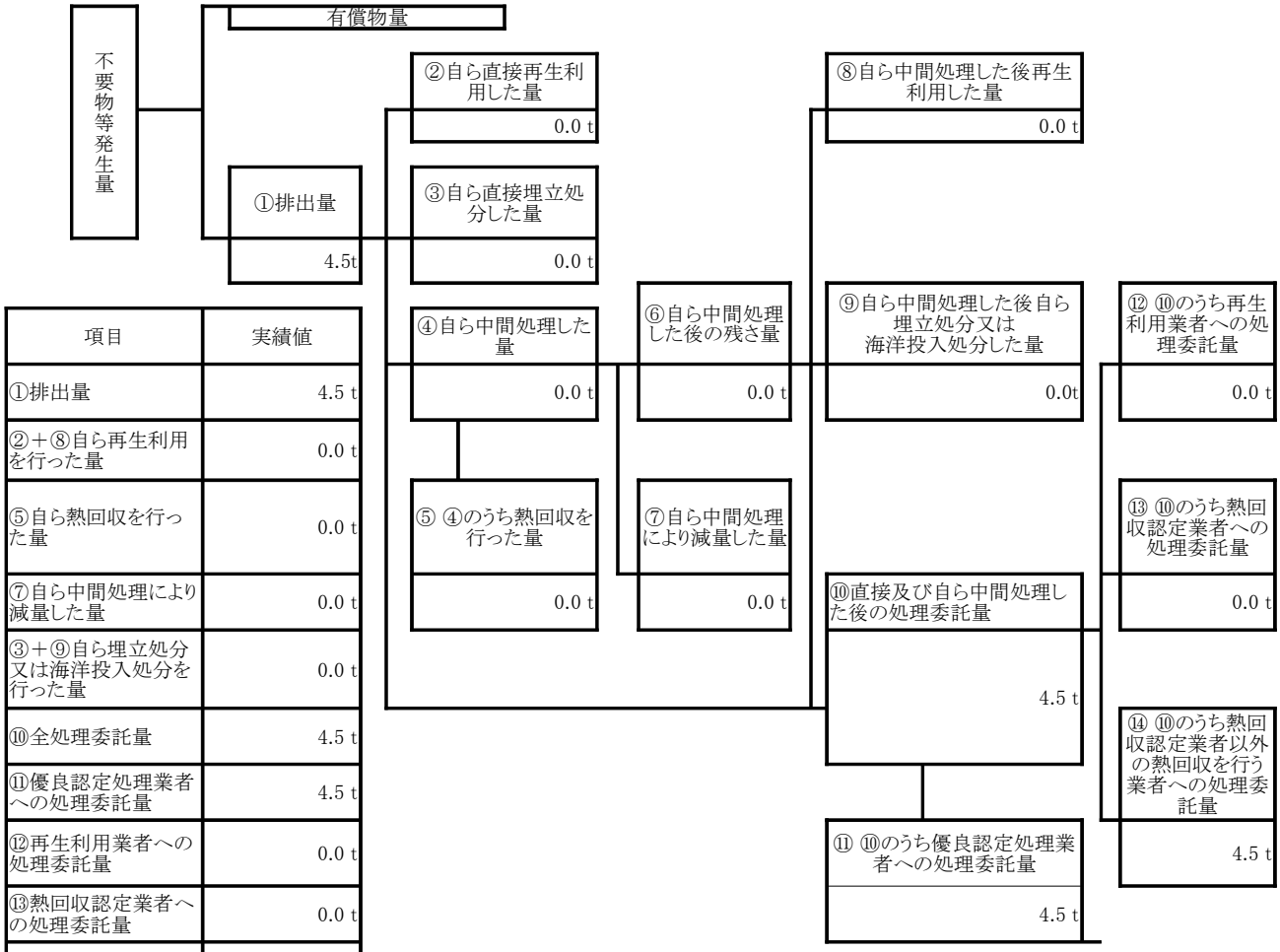
（特別管理産業廃棄物の種類: **廃油** ）



項目	実績値
①排出量	92.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	92.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	91.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	91.4 t

N0.2

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃酸**　）



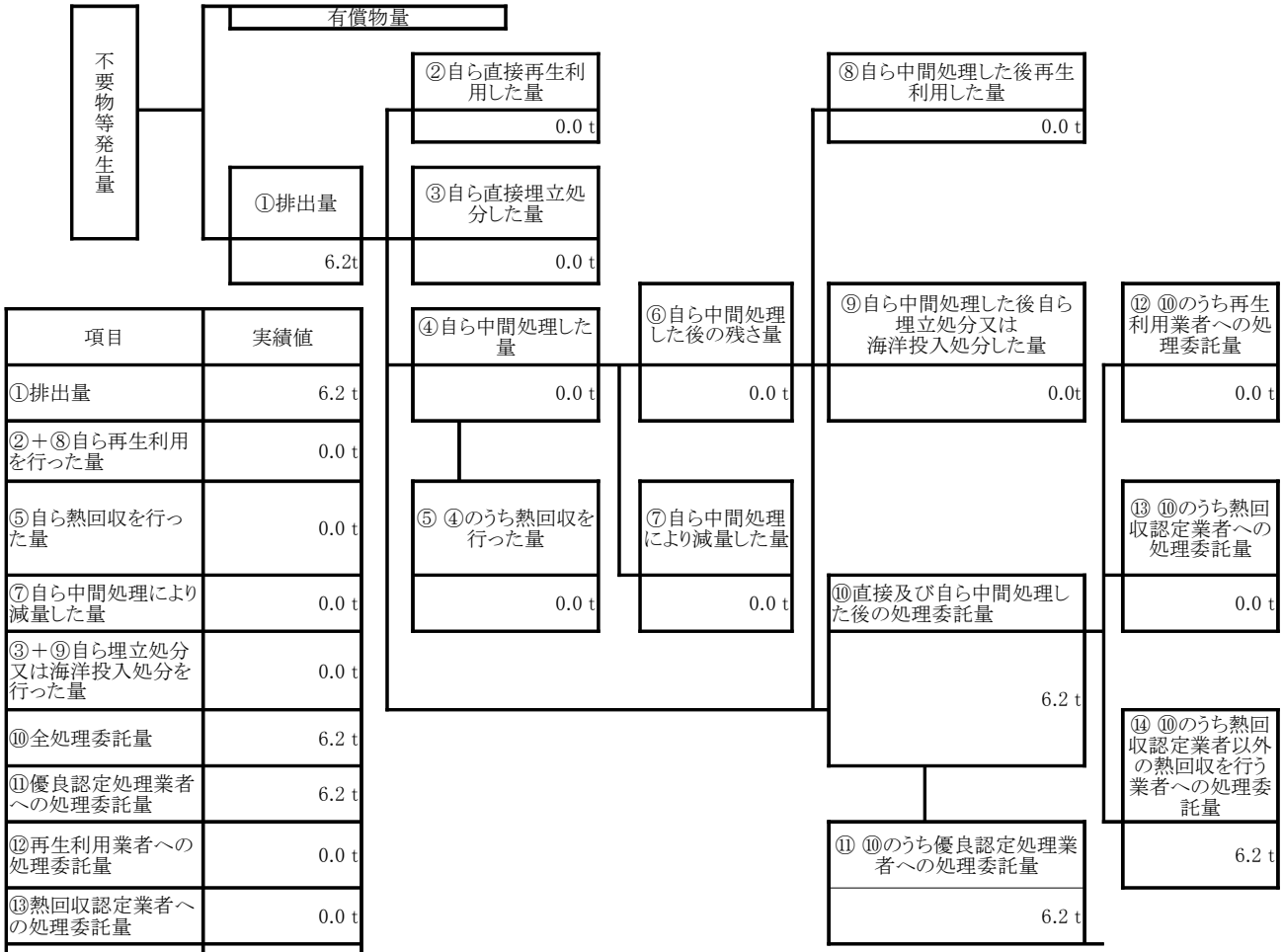
項目	実績値
①排出量	4.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.5 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃アルカリ　）



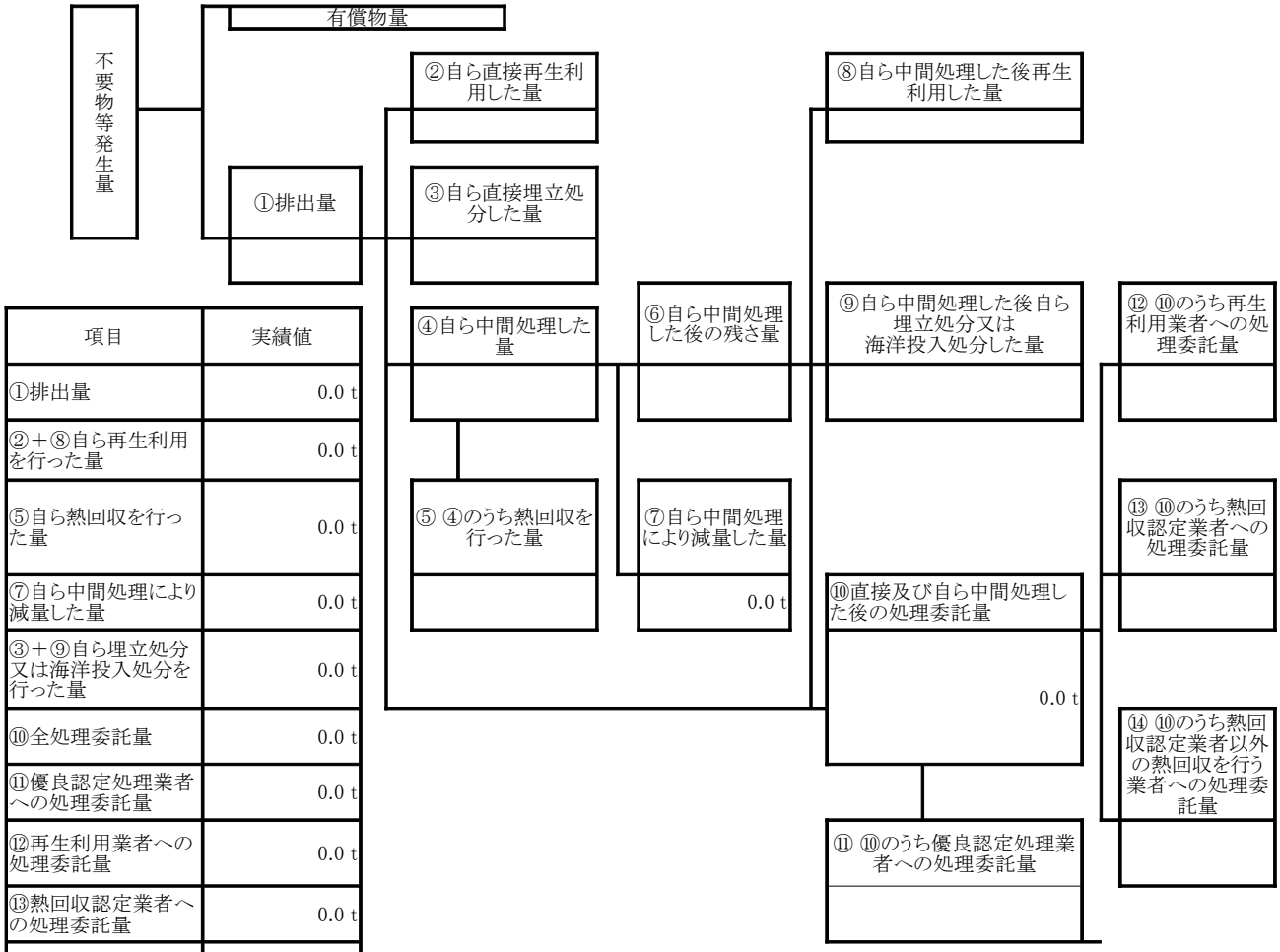
項目	実績値
①排出量	6.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.2 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

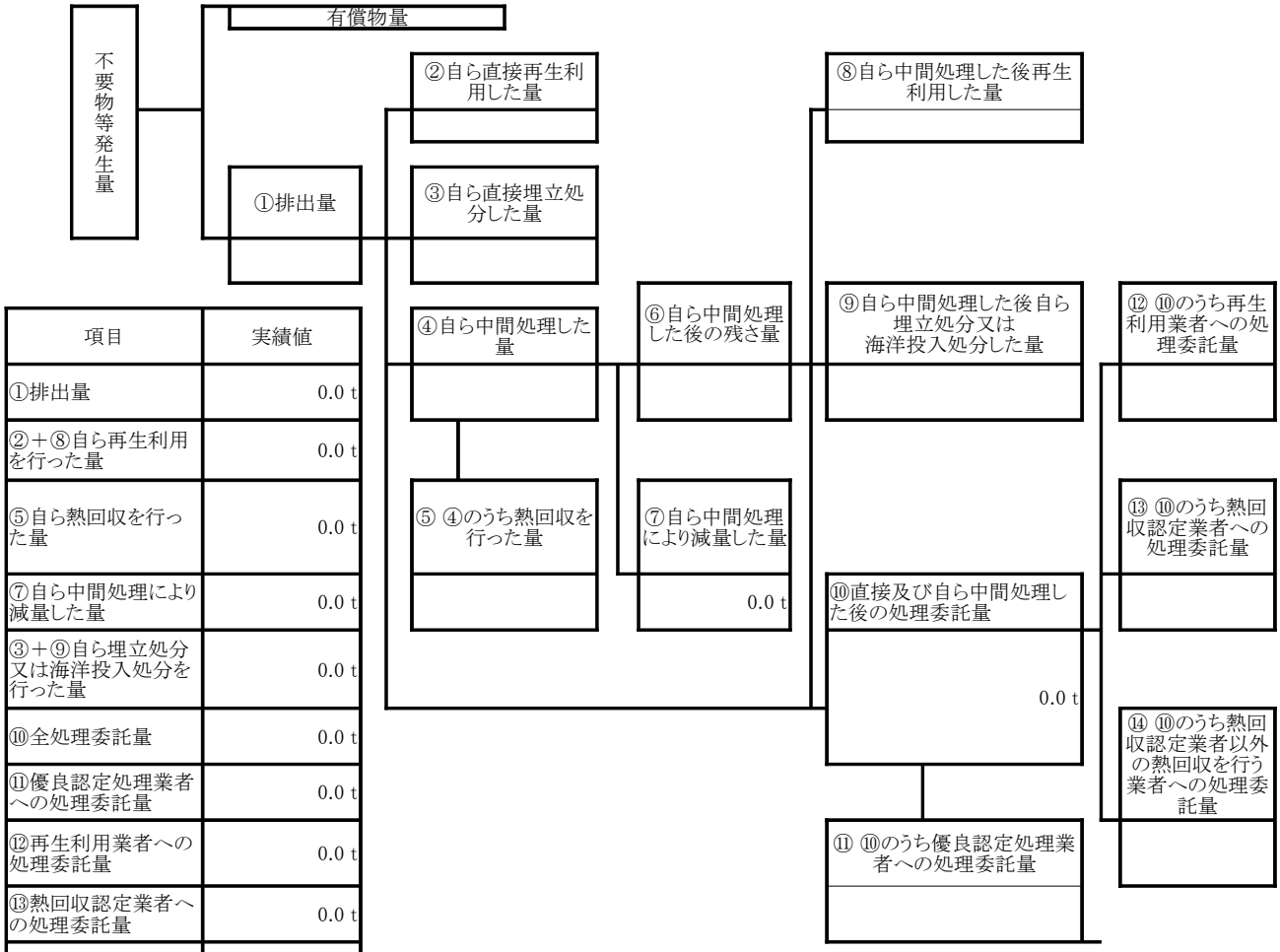


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

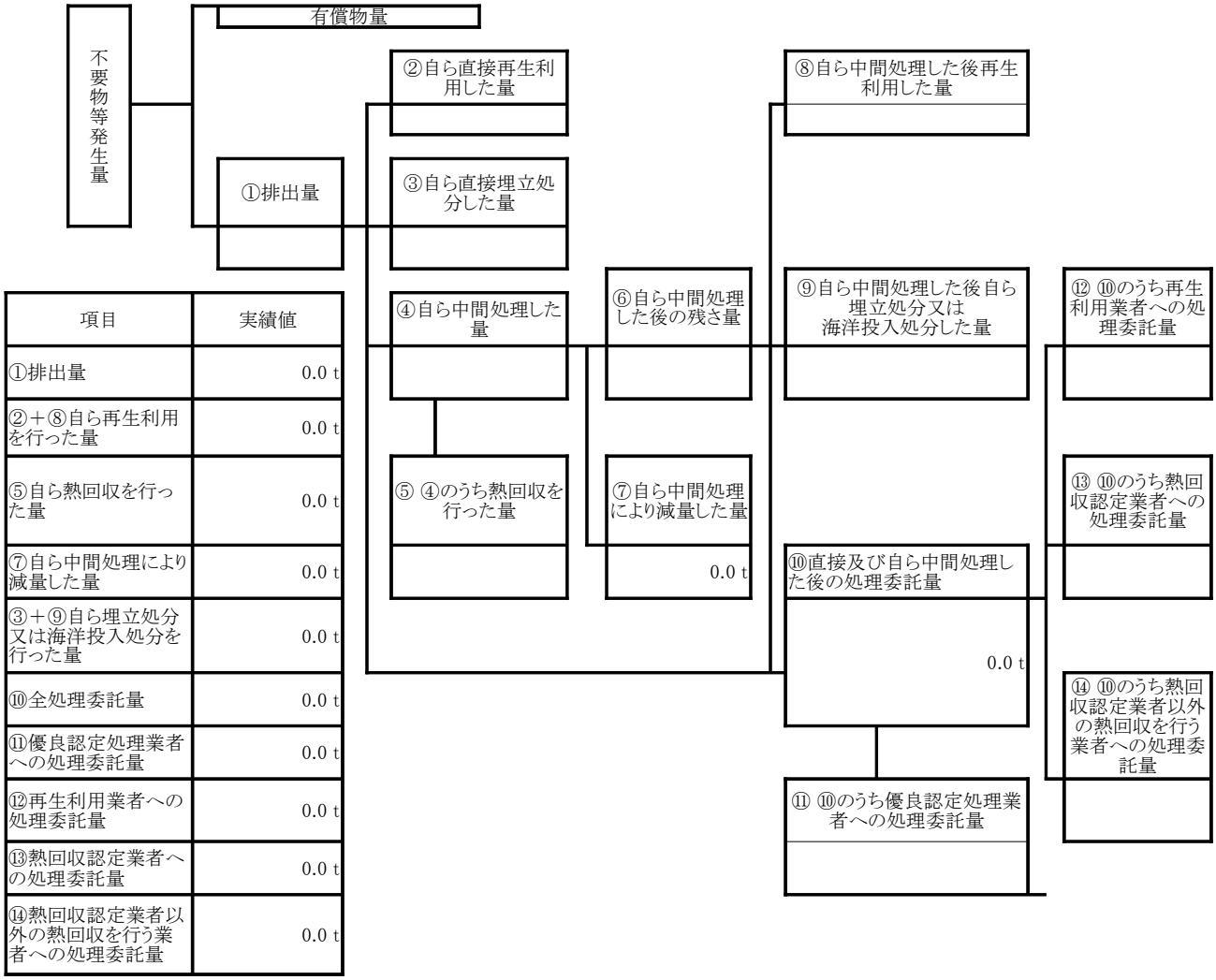


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

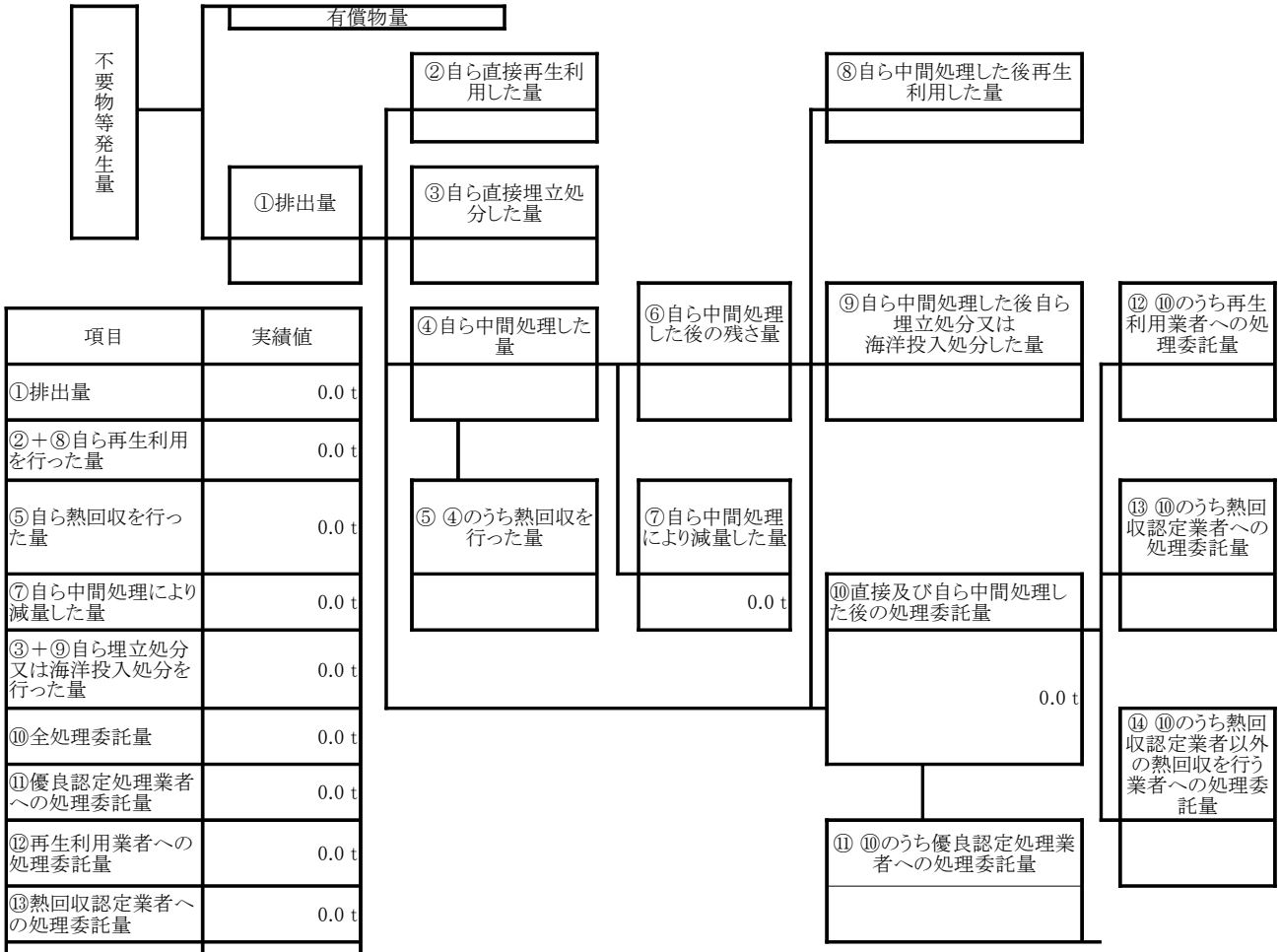


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

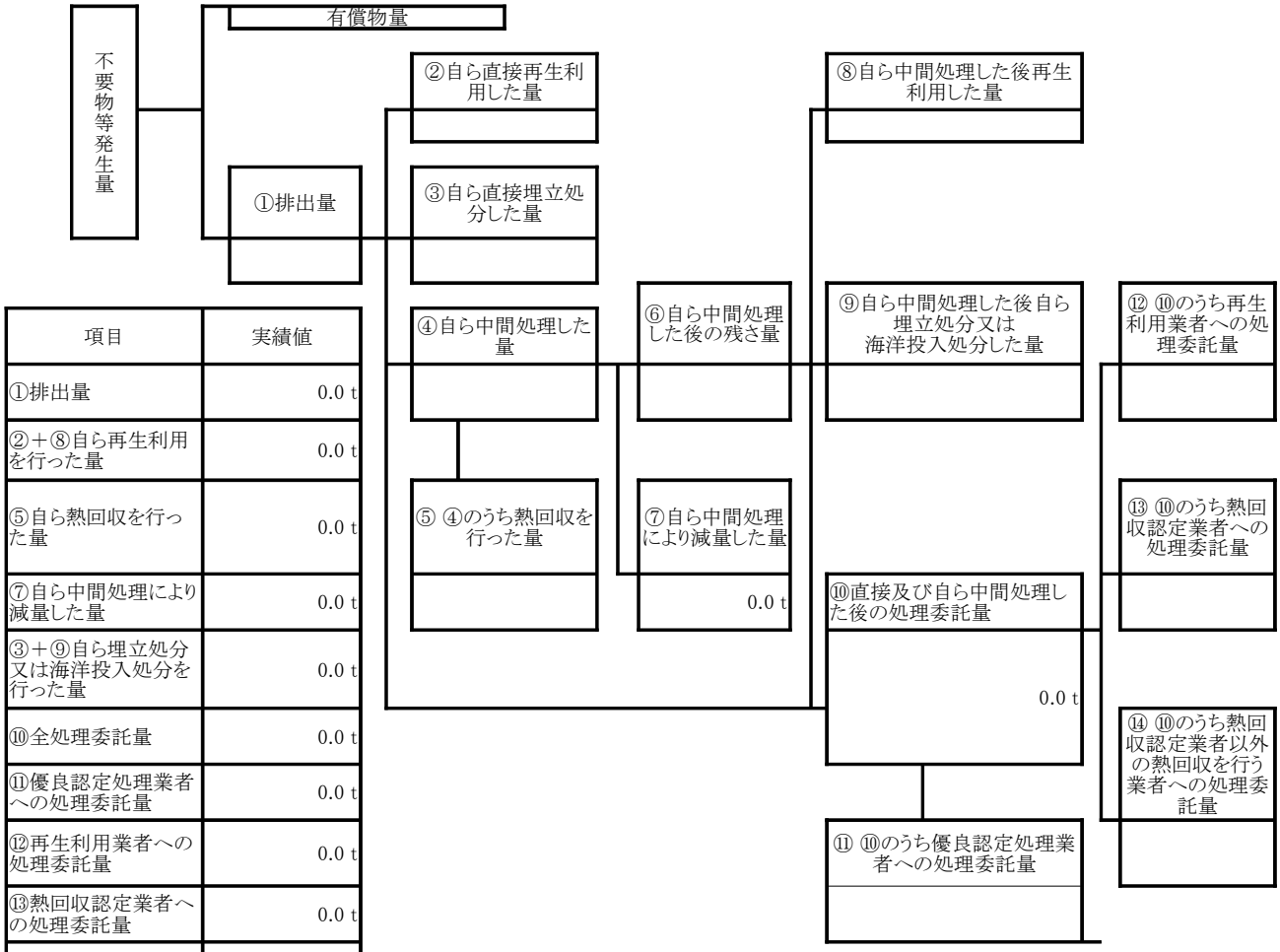


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

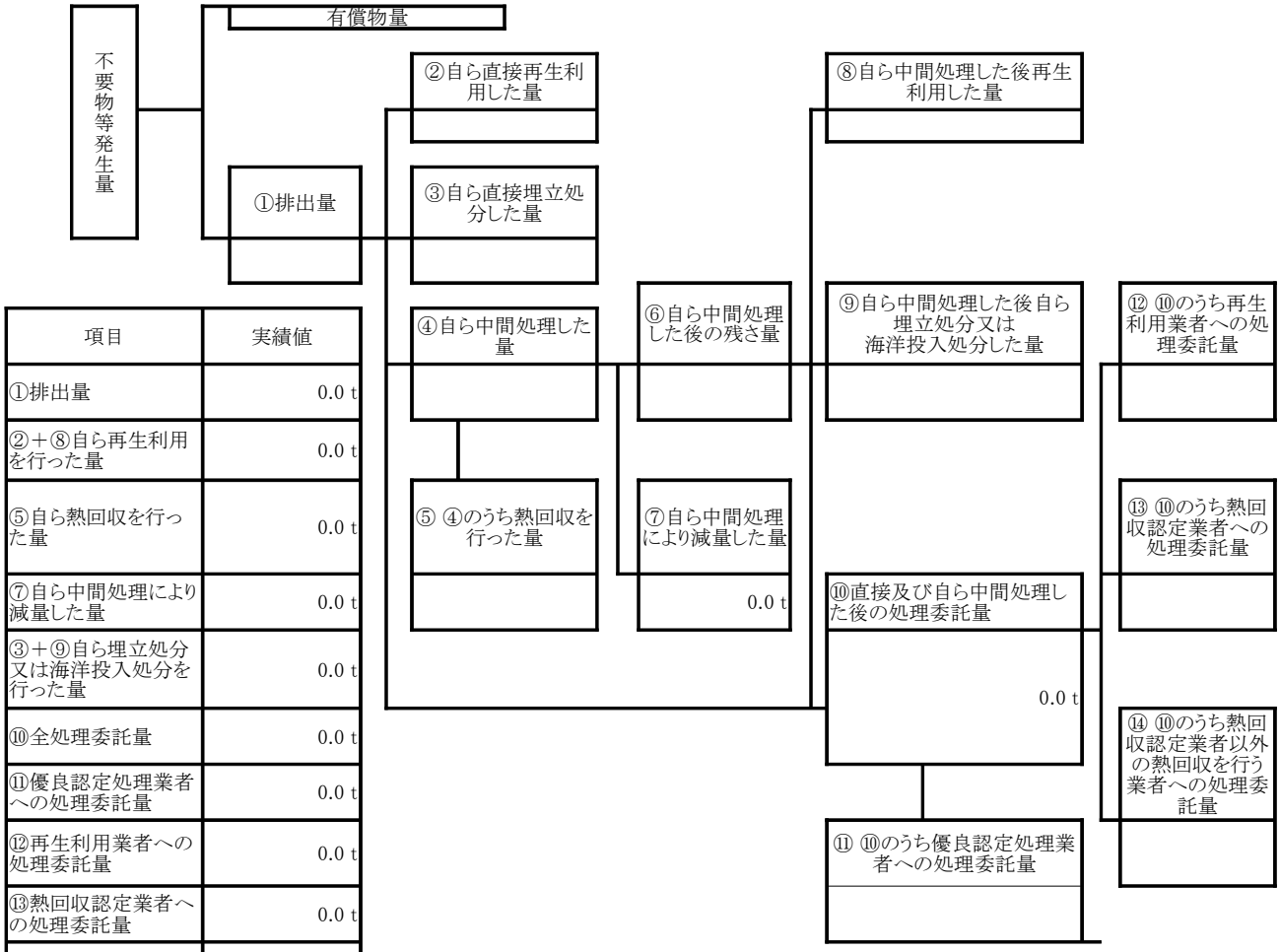


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

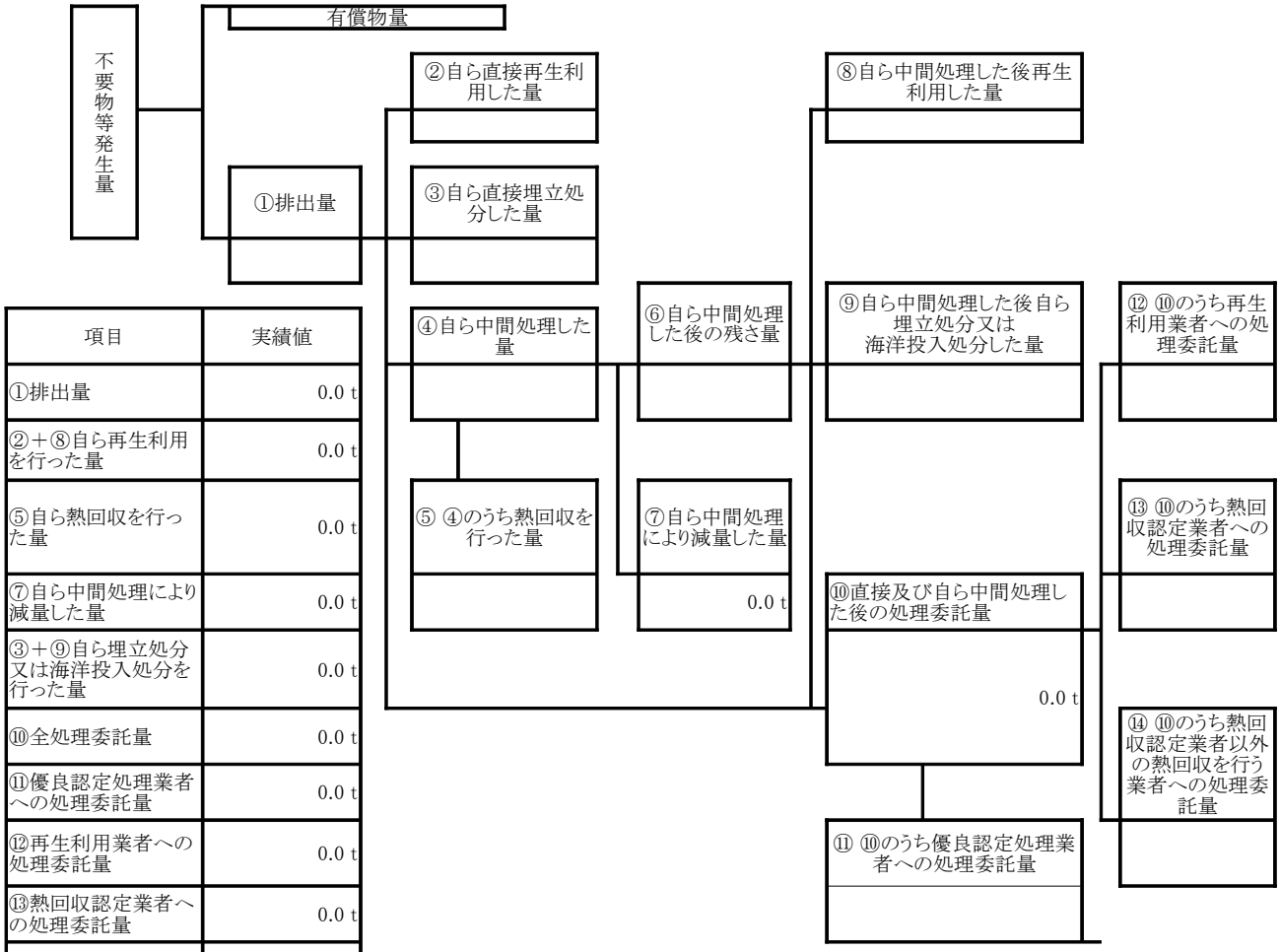


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



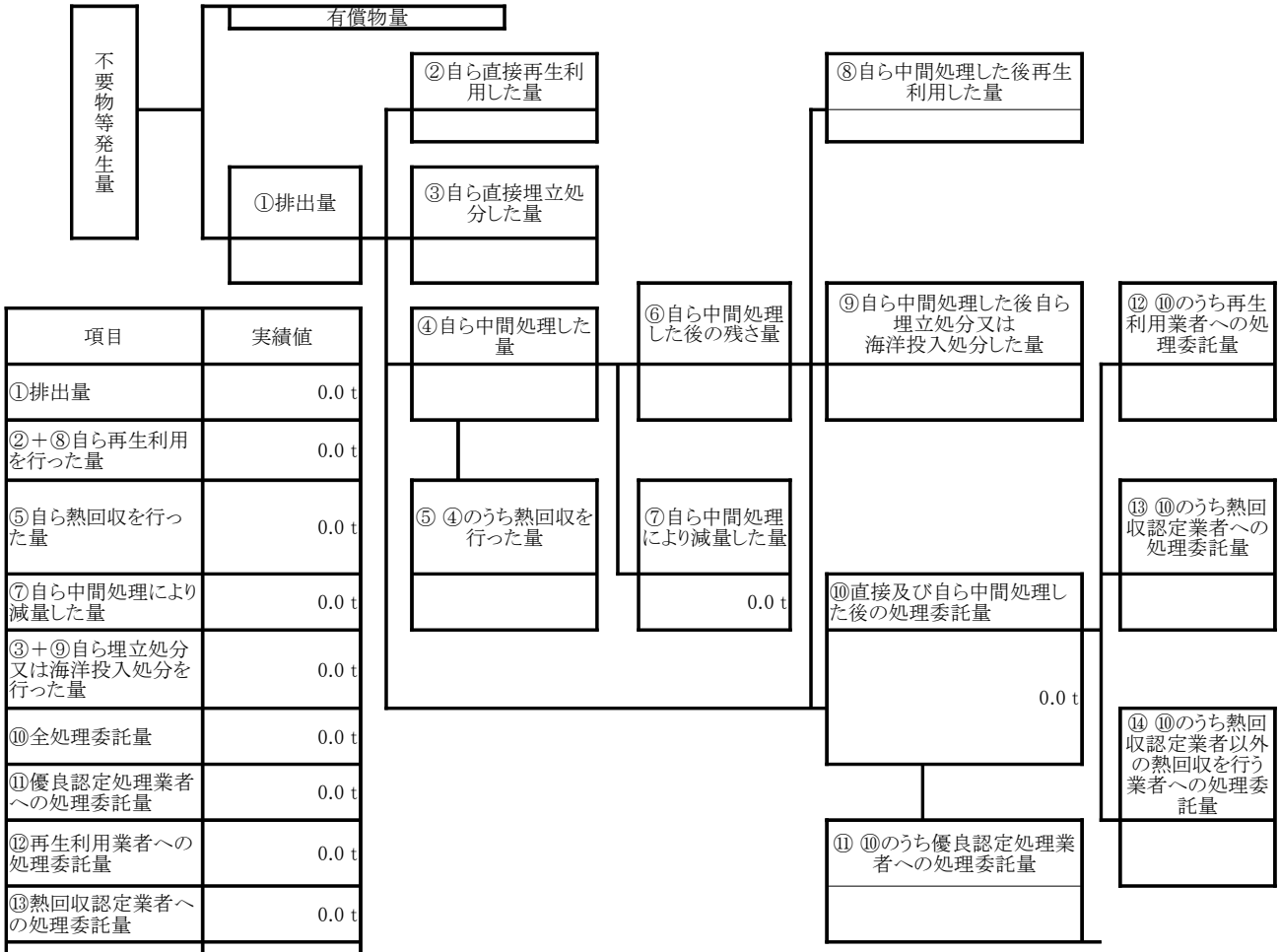
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

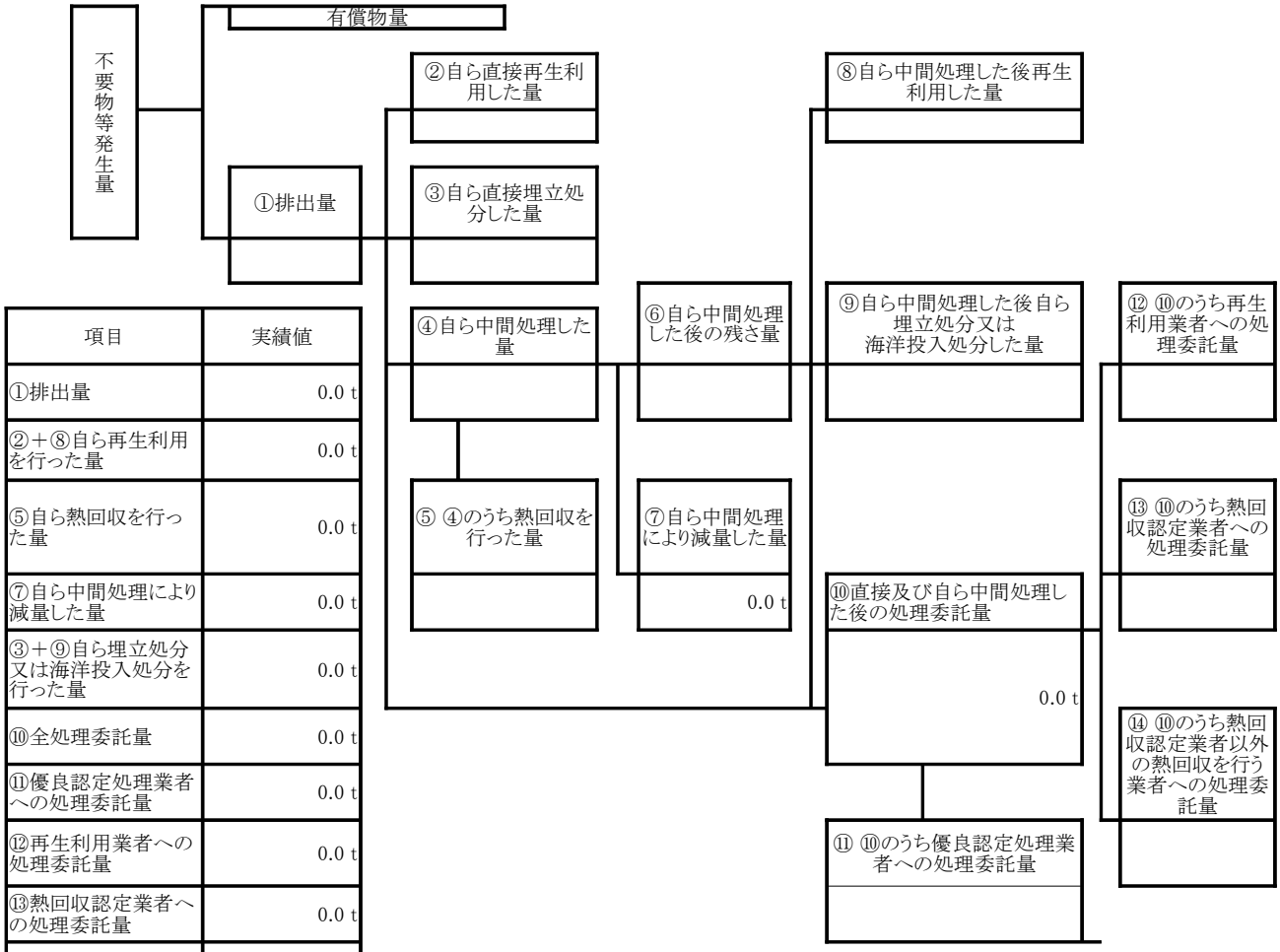


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

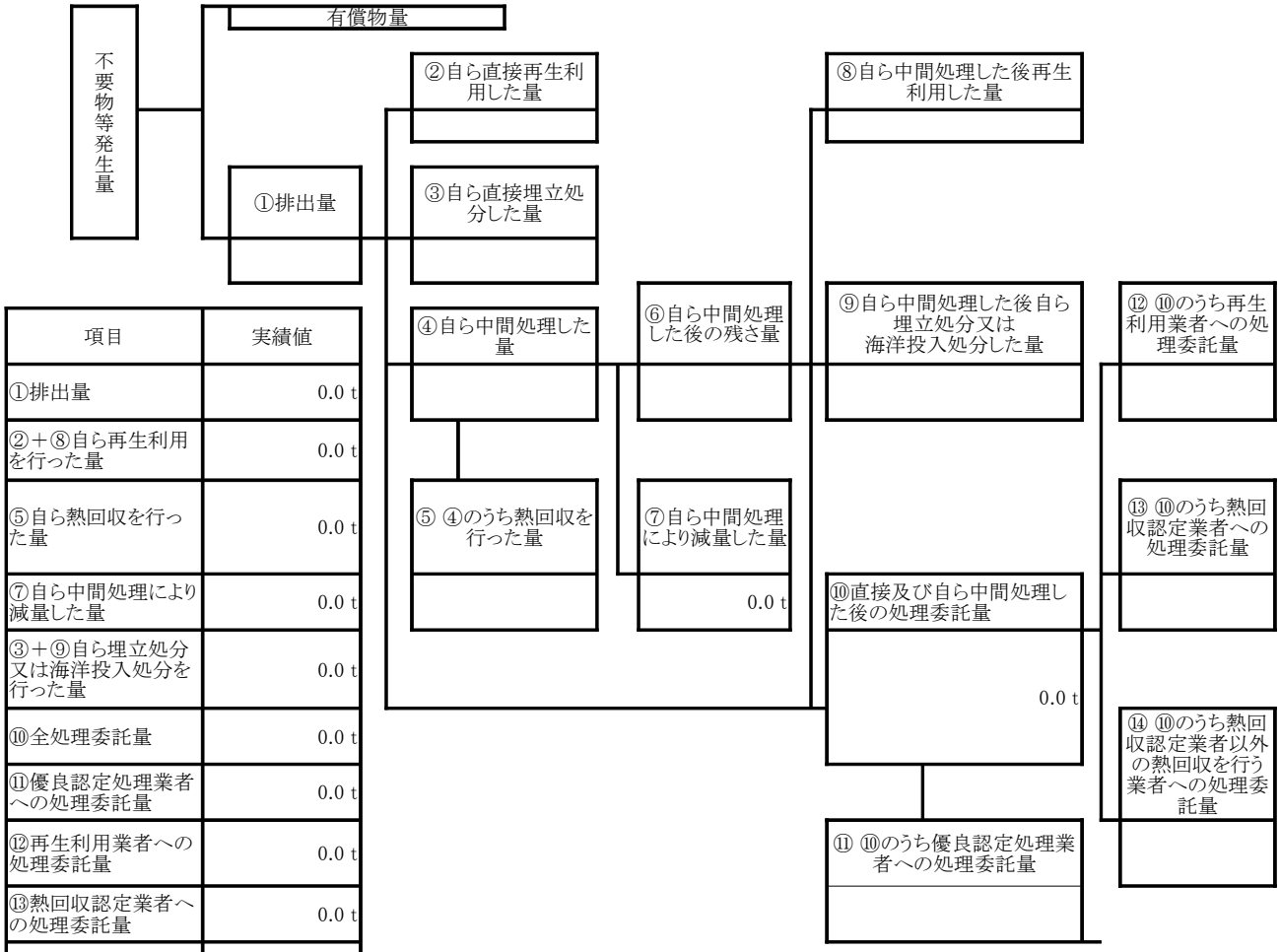


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

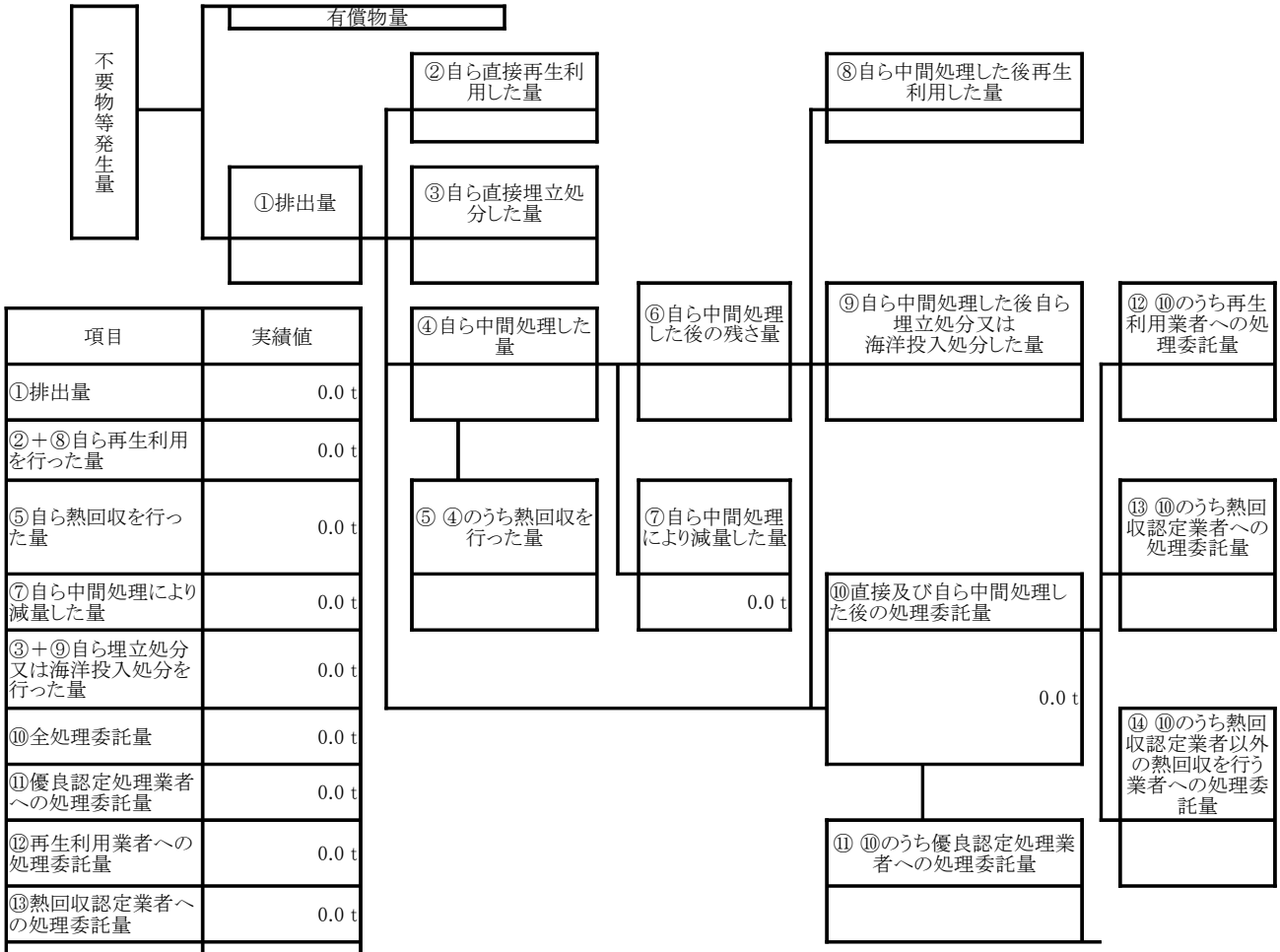


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



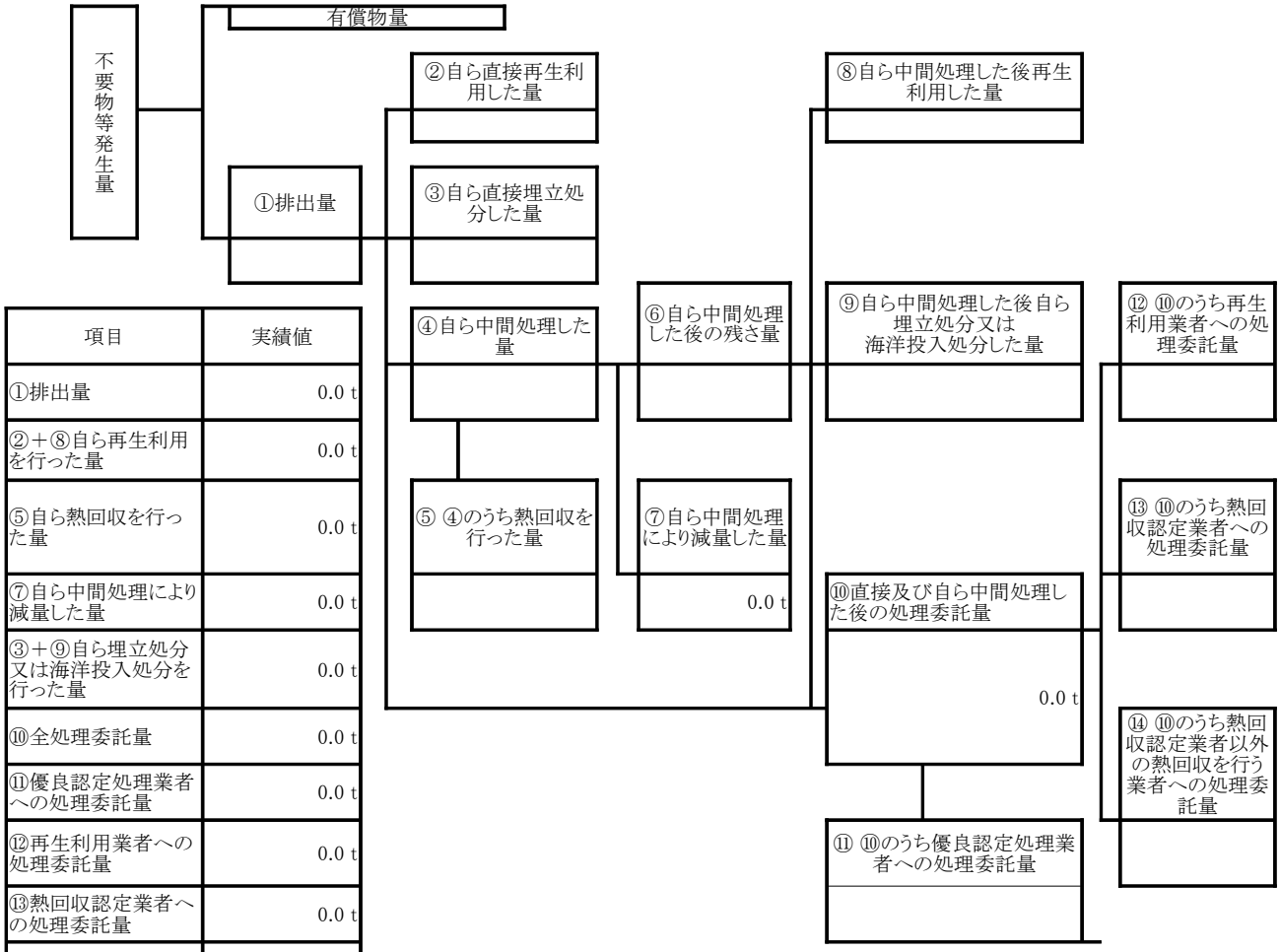
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



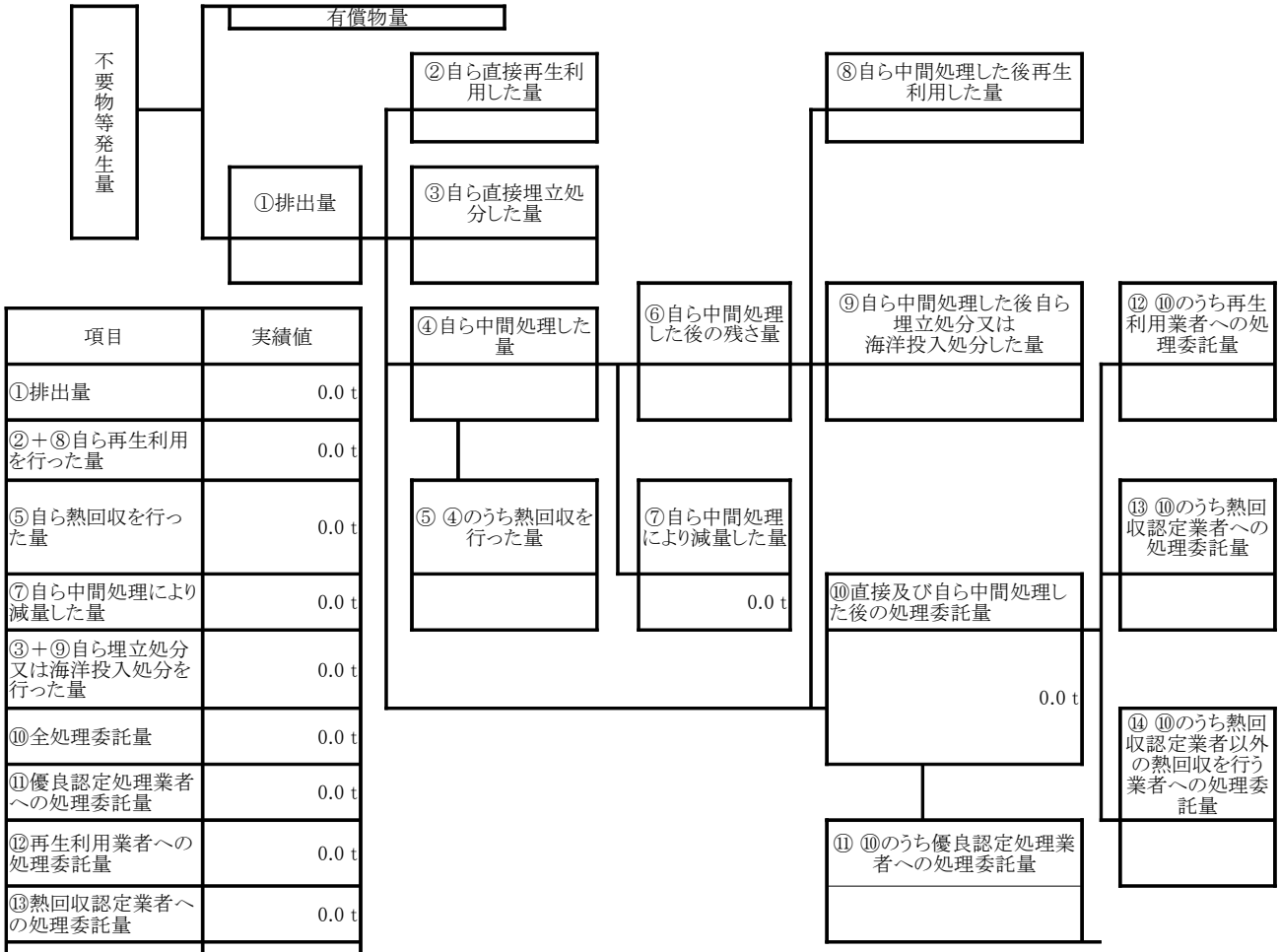
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

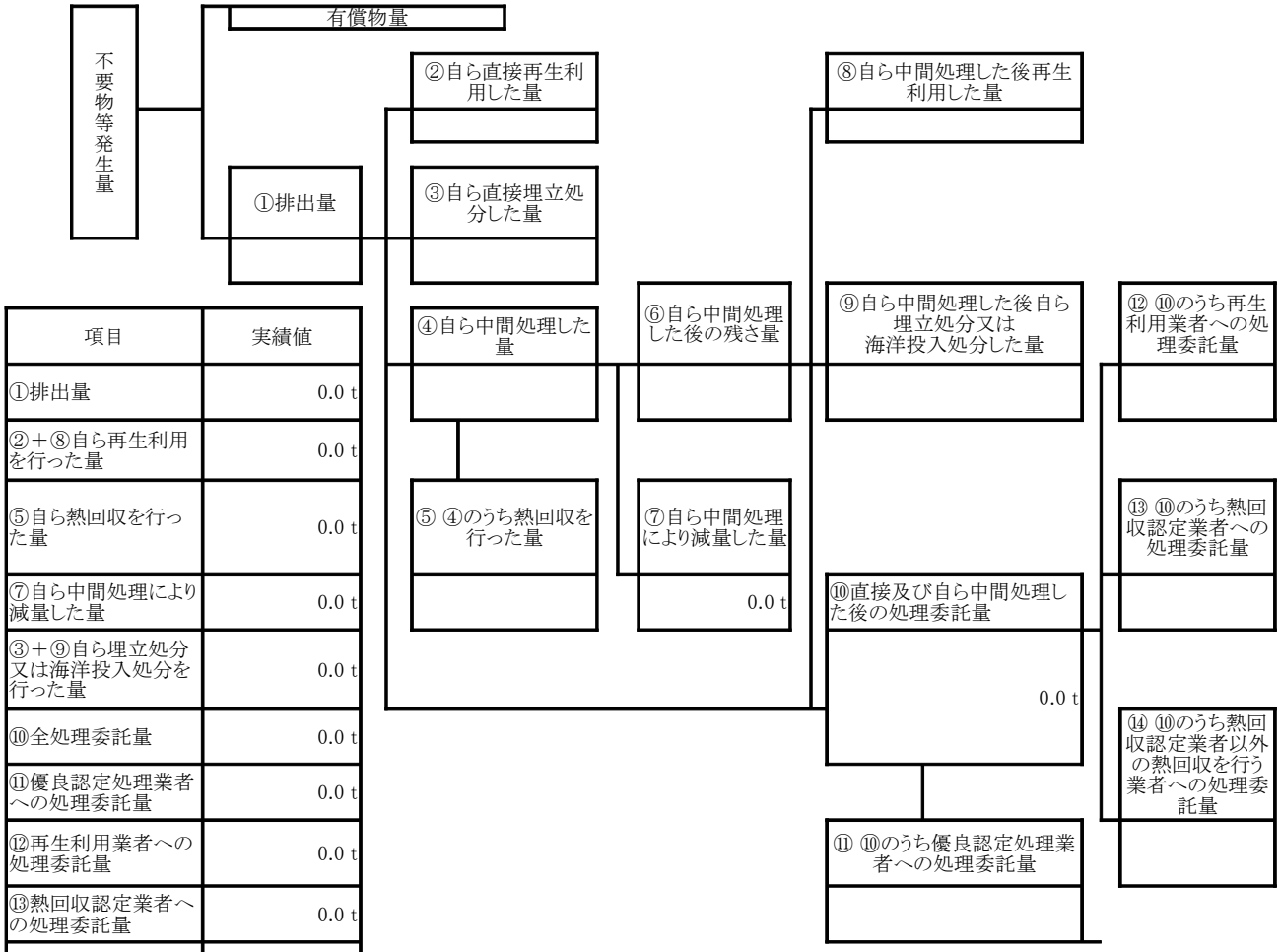


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

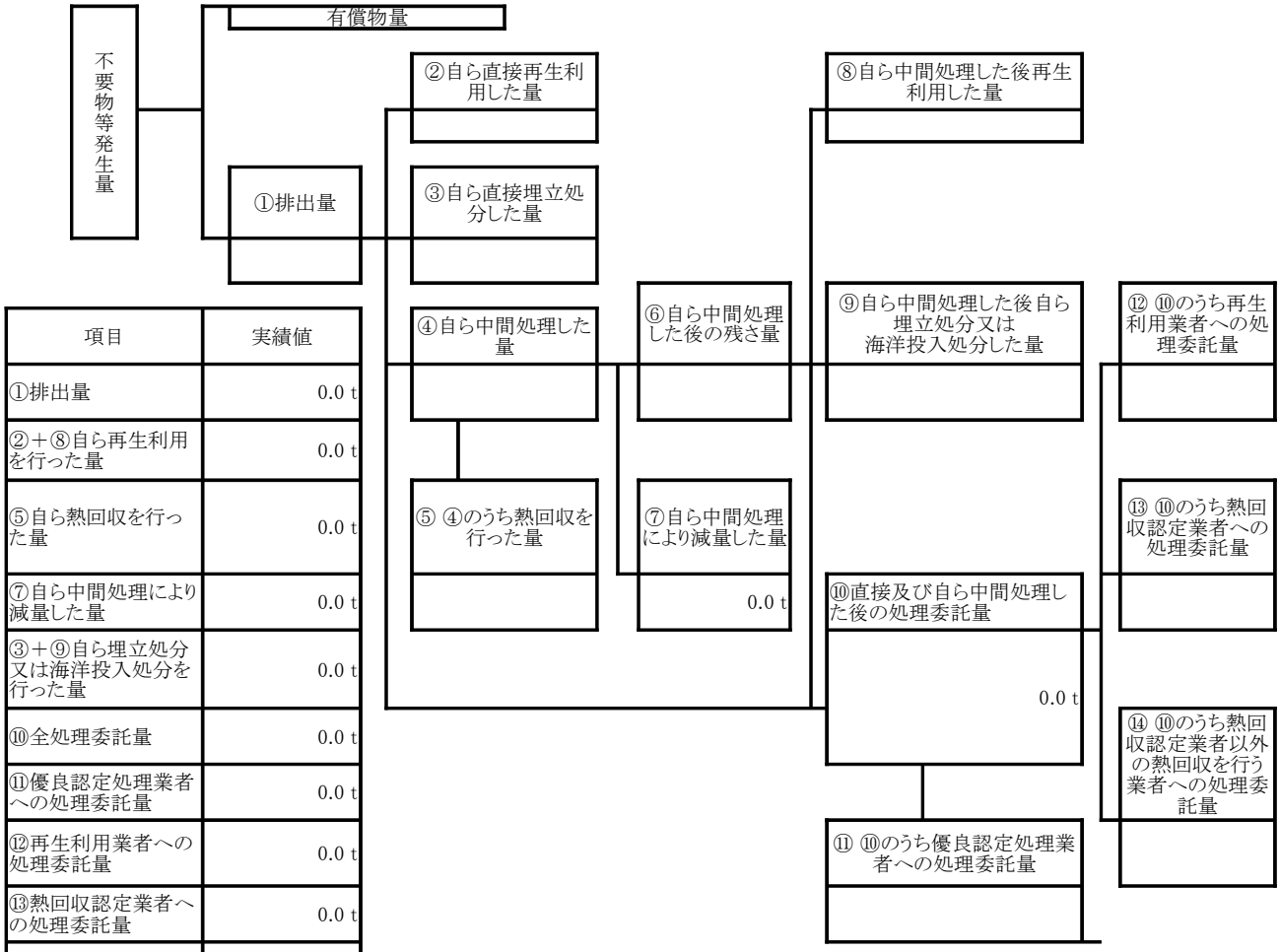


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

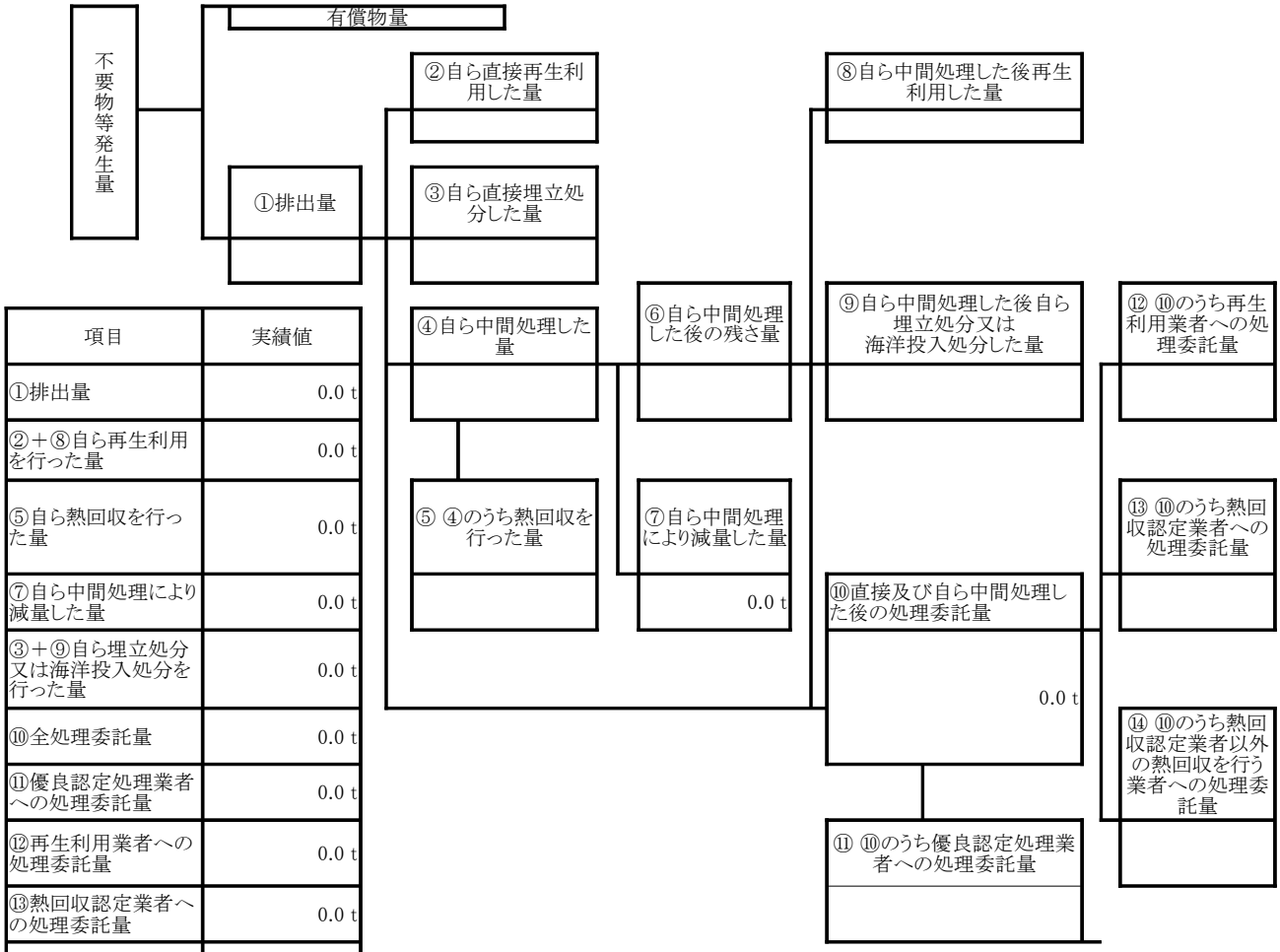


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

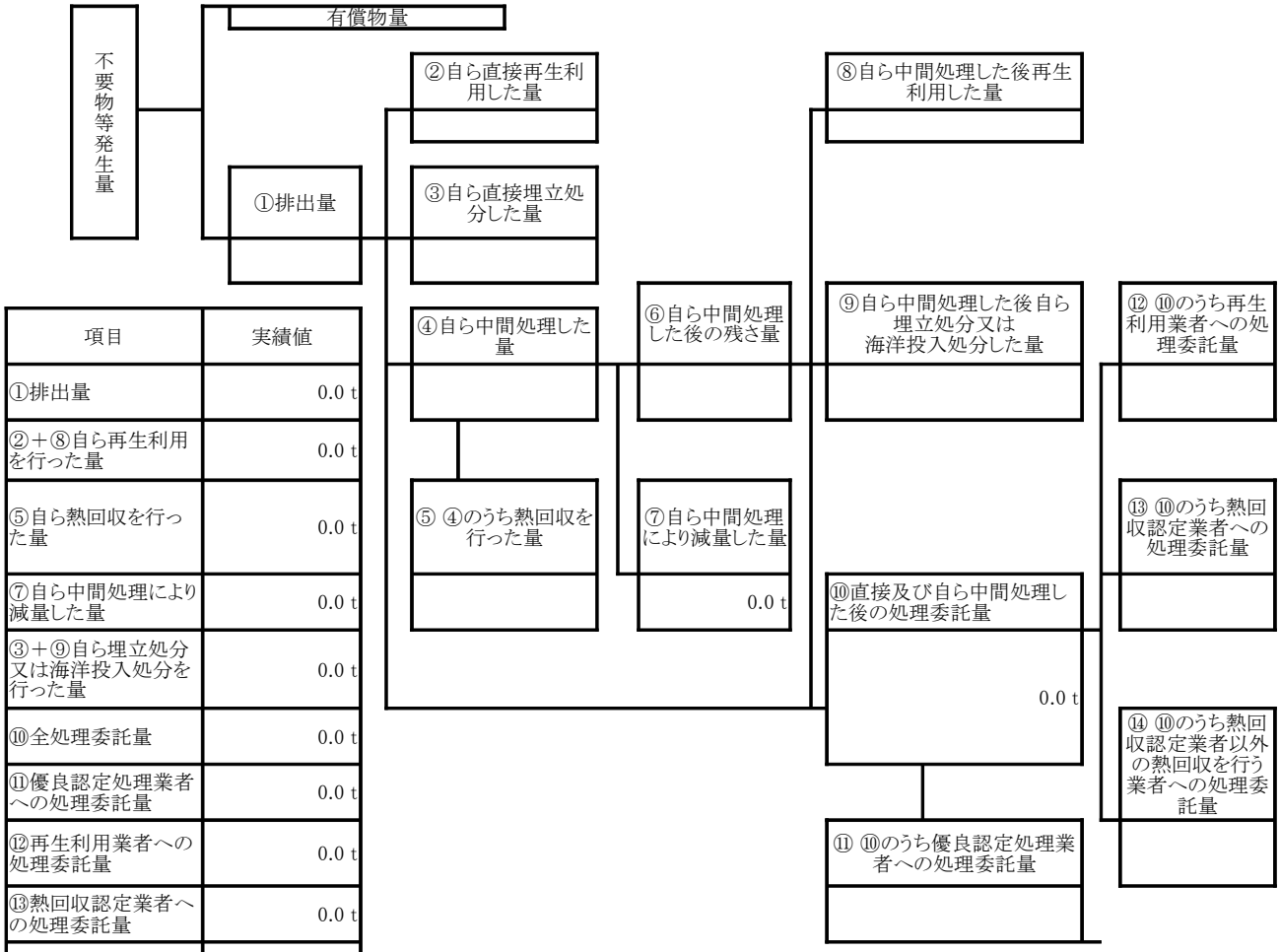


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月　 18 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266

住　所　千葉県袖ヶ浦市北袖3-1

氏　名　株式会社ＡＤＥＫＡ千葉工場

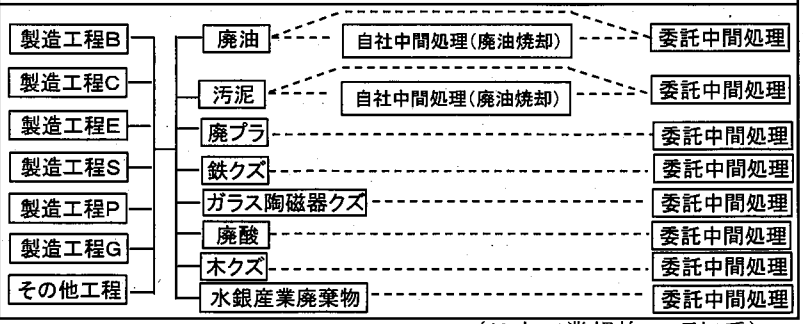
工場長　阿保　剛司

電話番号　0438-62-4390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ＡＤＥＫＡ千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖 3-1
計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

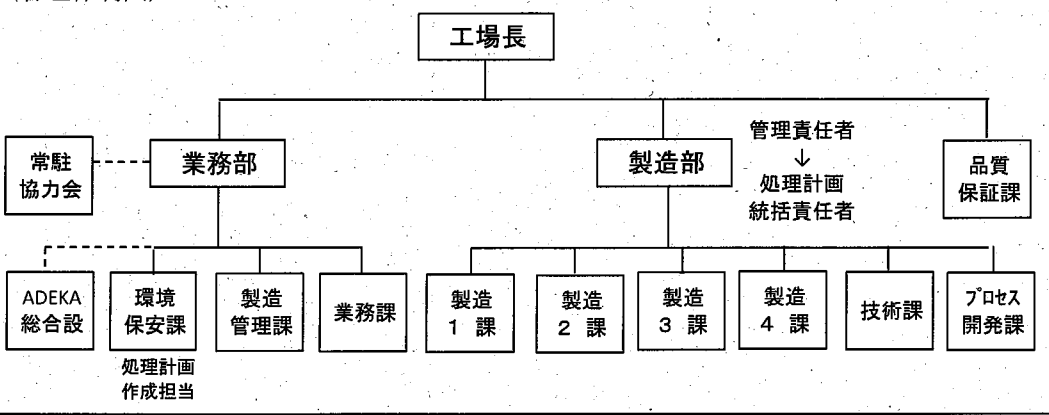
① 事業の種類	（大分類　製造業　中分類　化学工業）
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額　28,662（百万円）
③ 従業員数	205 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列4番）

君津
地域振興事務所
-6.6.18
収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	13298.4 t	744.6 t

（これまでに実施した取組）

廃油：焼却廃水の活性汚泥処理化。
汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。（外部委託量減量）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
排出量	13165.4 t	737.2 t

（今後実施する予定の取組）

排出数量目標値として、原単位で昨年比１％削減を設定する。（上記目標値は、昨年と同じ生産量とした場合の数値。）
個別目標として、下記を設定する。
廃油：焼却廃水（分類上は廃油に該当）の活性炭処理新技術の検討。
汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。（外部委託量減量）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃油：焼却廃水（分類上は廃油に該当）の活性汚泥処理に伴い排水分別方法を変更する。
汚泥：ピット汚泥は構内で静置分離し、上澄み自社焼却し、下層の汚泥を外部処理する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃油：社内処理、外部処理の分別を検討。
汚泥：ピット汚泥は、構内で静置分離し上澄み自社焼却し、濃縮した下層汚泥を外部処理委託する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	106.9 t	0 t

（これまでに実施した取組）
廃油：自社焼却炉への燃料化。
汚泥：特になし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	105.8 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
廃油：自社焼却炉への燃料化の維持。
汚泥：特になし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	11729.2 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	11729.2 t	261 t

（これまでに実施した取組）
廃油：自社焼却炉で発生した熱は、廃水濃縮の際に利用している。
ここでの、熱回収を行った廃棄物量とは、焼却炉の中間処理量と同数値としている。
汚泥：活性汚泥の余剰汚泥を脱水・乾燥する装置の適正な維持管理を進め高効率の減量化を進めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	11611.9 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11611.9 t	258.4 t

（今後実施する予定の取組）
現状、自社焼却炉での熱回収と減量処理は十分に行っており、本年度も継続して活動していく。目標値は、昨年処理実績を設定する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当なし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
全処理委託量	1462.3 t	483.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	1429.8 t	125.4 t
再生利用業者への処理委託量	44.9 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	1369.1 t	108 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	32.5 t	358.2 t

（これまでに実施した取組）
ゼロエミッションの目標活動により、中間処理後の処理残渣を有効利用する、産業廃棄物処理業者へ処理を委託する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
全処理委託量	1447.7 t	478.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	1415.5 t	124.1 t
再生利用業者への処理委託量	44.5 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	1355.4 t	106.9 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	32.2 t	354.6 t

（今後実施する予定の取組）

現在処理委託している、産業廃棄物処理業者の各種認定申請状況を調査し優良業者への移行を進めていく。移行状況が把握できるまでは、処理委託量・多数量の目標数値は、昨年実績（若しくは１％減）を設定する。

※事務処理欄

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		排　出　量	0 t	0.5 t	200.2 t	54.7 t	0 kg	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		排　出　量	0 t	0.5 t	198.2 t	54.2 t	0 kg	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	. t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 kg	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	全処理委託量	0 t	0.5 t	200.2 t	54.7 t	0 kg	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	117.3 t	34.4 t	0 kg	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.5 t	5.4 t	54.7 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	117.3 t	0 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	77.5 t	0 t	0 kg	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉄クズ	ガラス・陶磁器クズ	廃プラスチック	木クズ	水銀使用製品産業廃棄物			
	全処理委託量	0 t	0.5 t	198.2 t	54.2 t	0 kg	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	116.1 t	34.1 t	0 kg	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0.5 t	5.3 t	54.2 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	116.1 t	0 t	0 kg	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	76.7 t	0 t	0 kg	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　18日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266
住　所　千葉県袖ヶ浦市北袖3-1
氏　名　株式会社ADEKA　千葉工場
工場長　阿保　剛司
電話番号 0438-62-4390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和　5　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ADEKA千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖 3-1
事業の種類	（大分類　製造業　中分類　化学工業）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5 年 4 月 ～ 令和 6 年 3 月

産業廃棄物処理計画における目標値

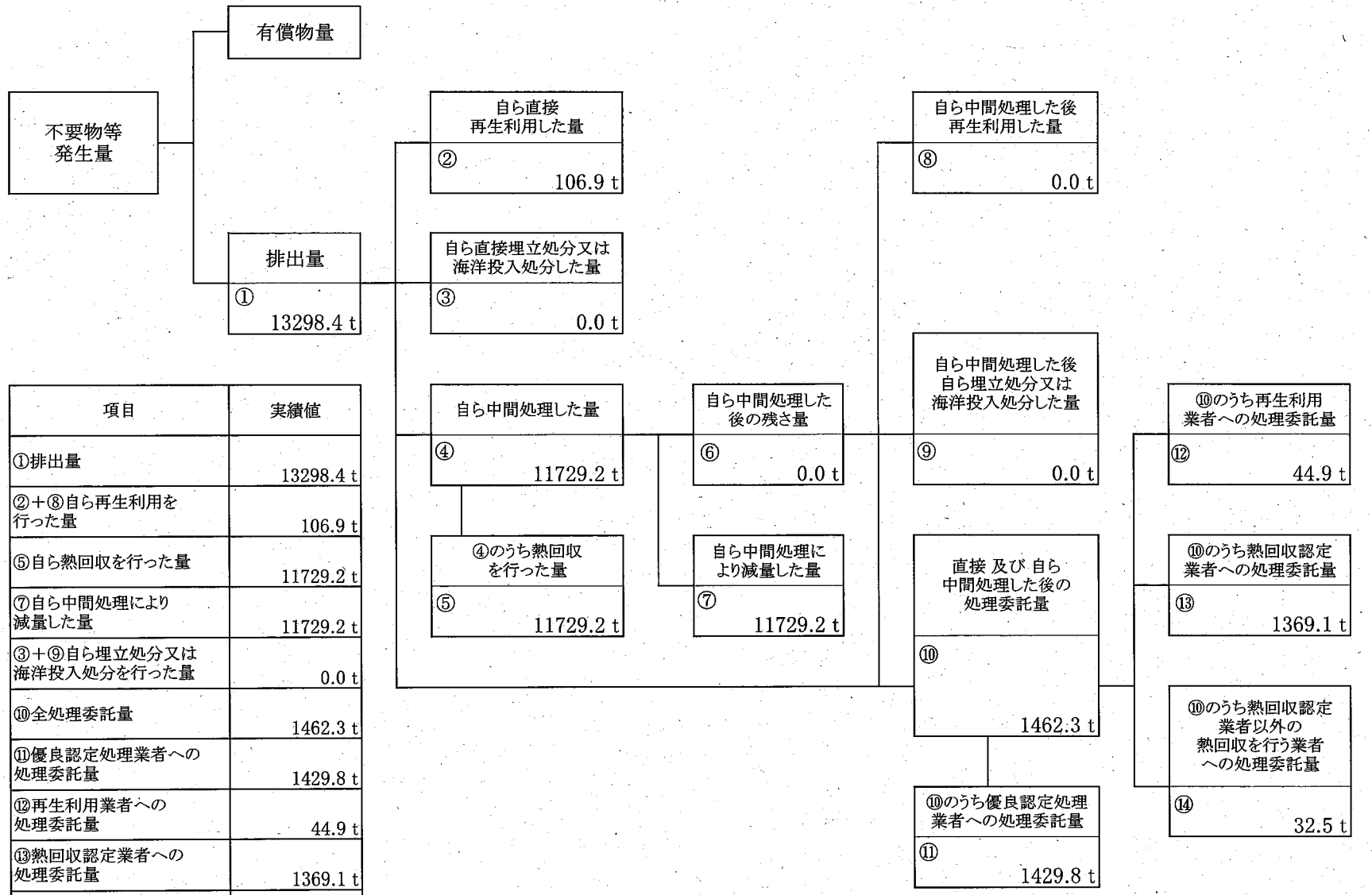
項目	目標値	項目	目標値
排出量	18579.6 t	全処理委託量	4358.1 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	323.9 t	優良認定処理業者への処理委託量	177.1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	13313.3 t	再生利用業者への処理委託量	162.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13897.5 t	認定熱回収業者への処理委託量	3844.4 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	406.8 t
※事務処理欄			

君津地域振興事務所 -6.6.18 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃油　　）

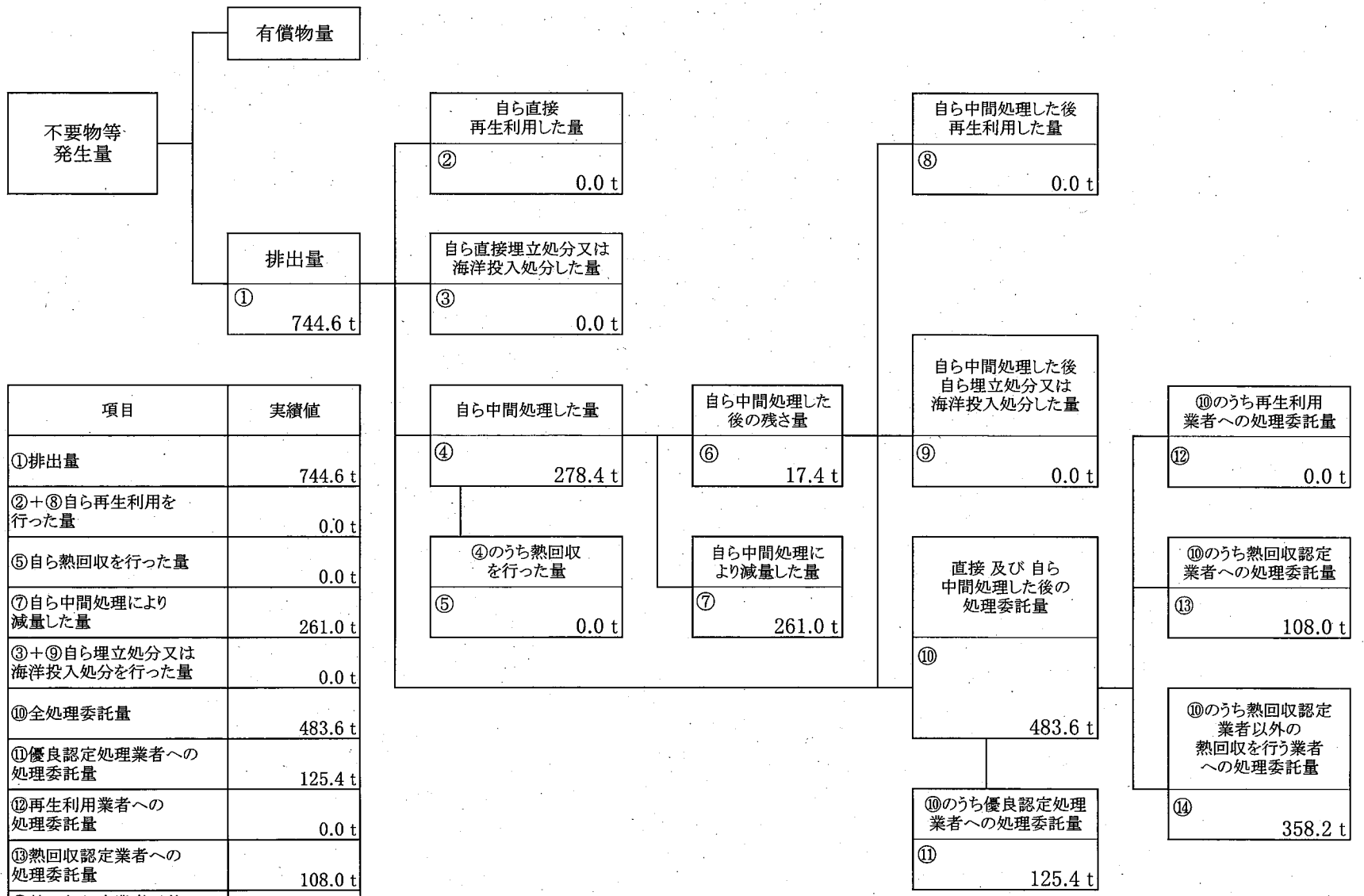


項目	実績値
①排出量	13298.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	106.9 t
⑤自ら熱回収を行った量	11729.2 t
⑦自ら中間処理により減量した量	11729.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1462.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1429.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1369.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	32.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

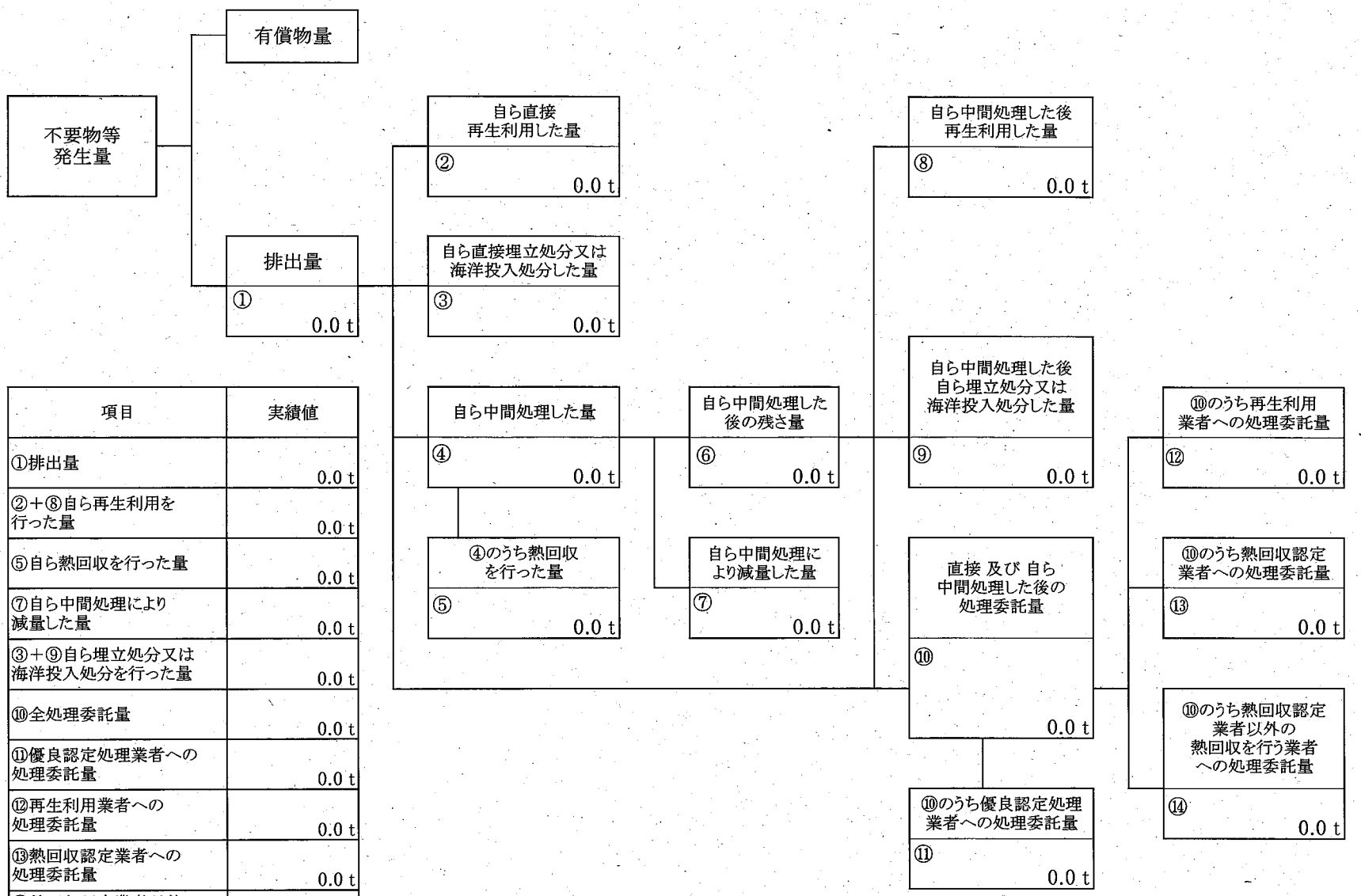


項目	実績値
①排出量	744.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	261.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	483.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	125.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	108.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	358.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　金属クズ　）

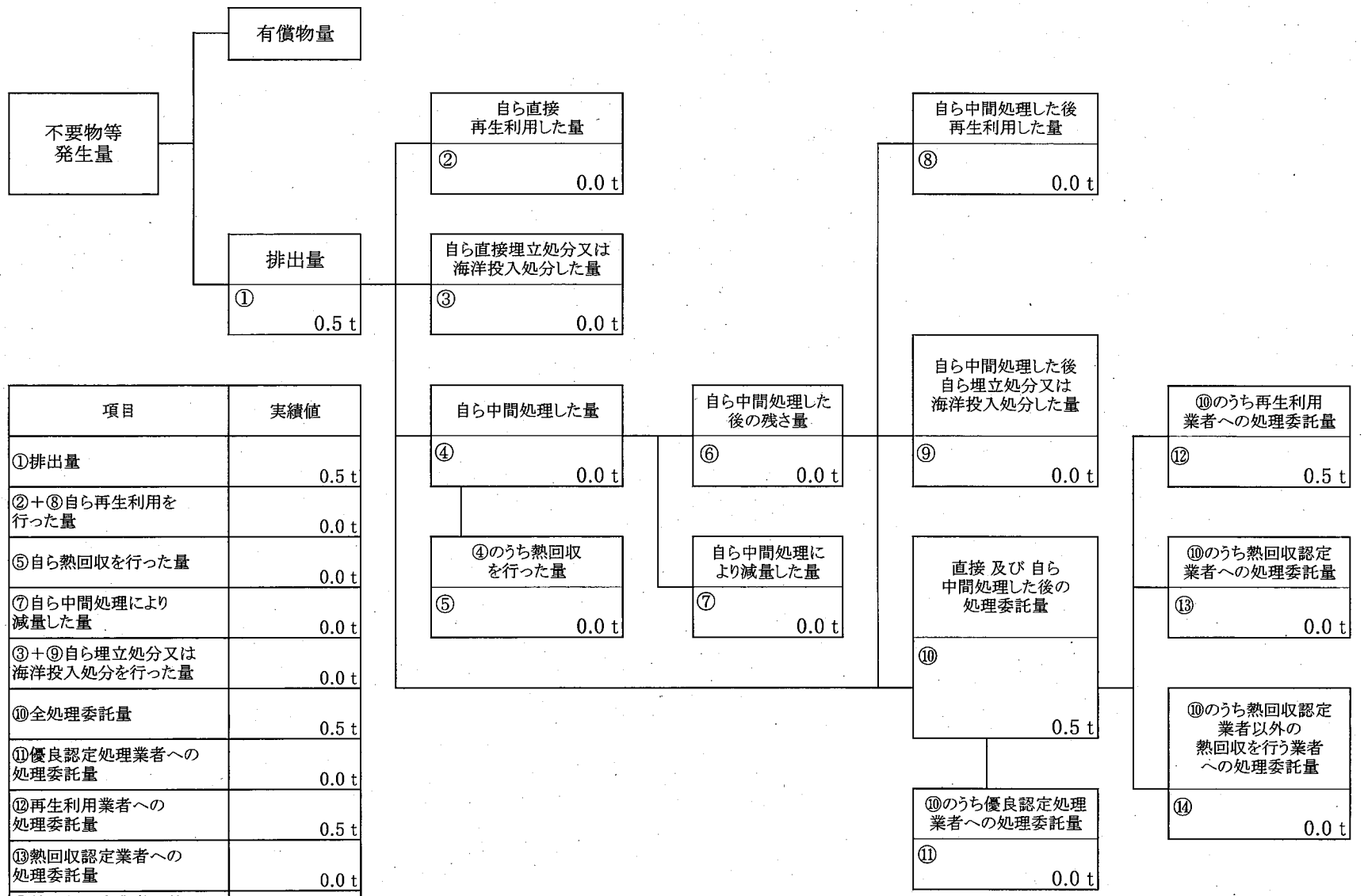


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

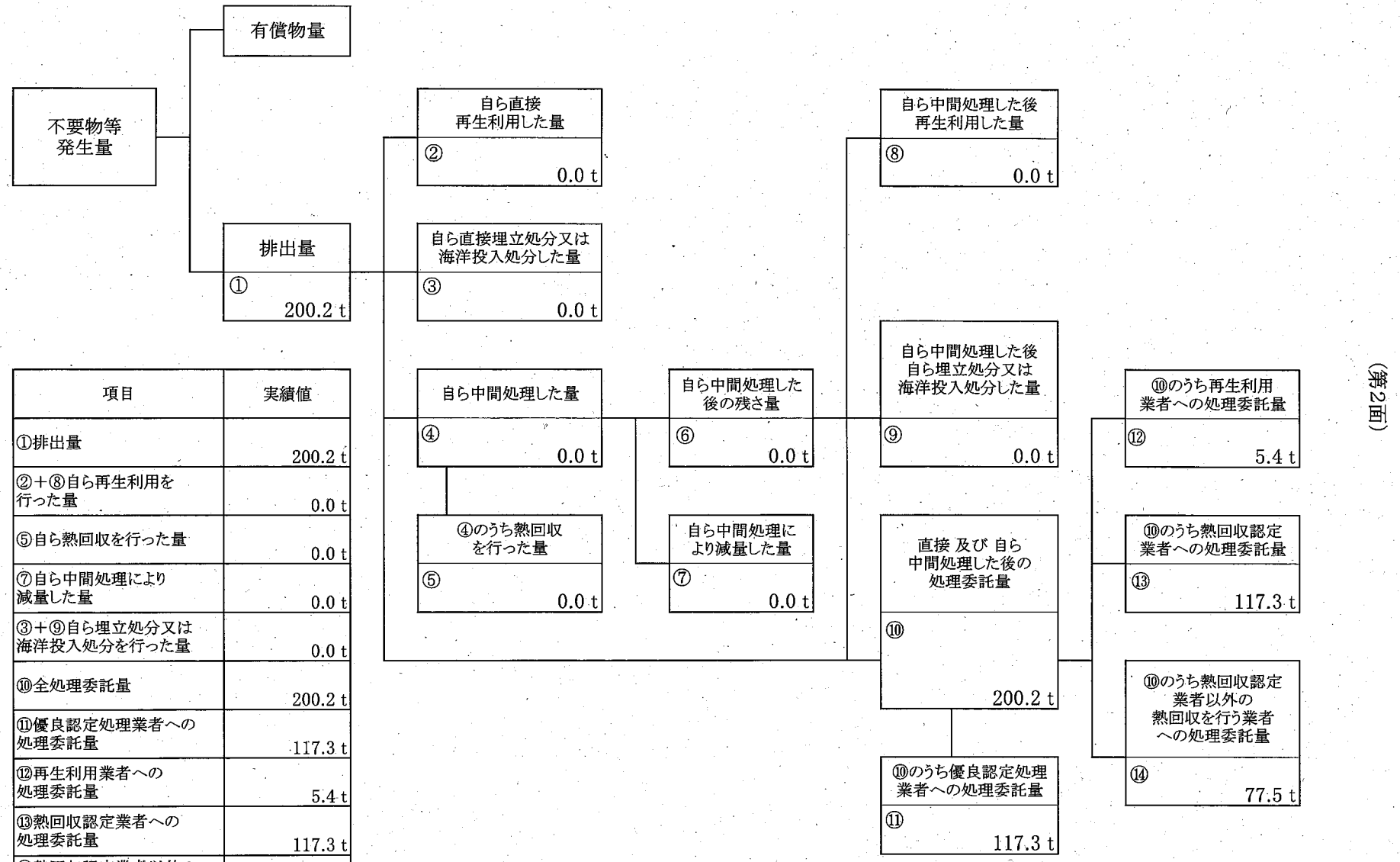


項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

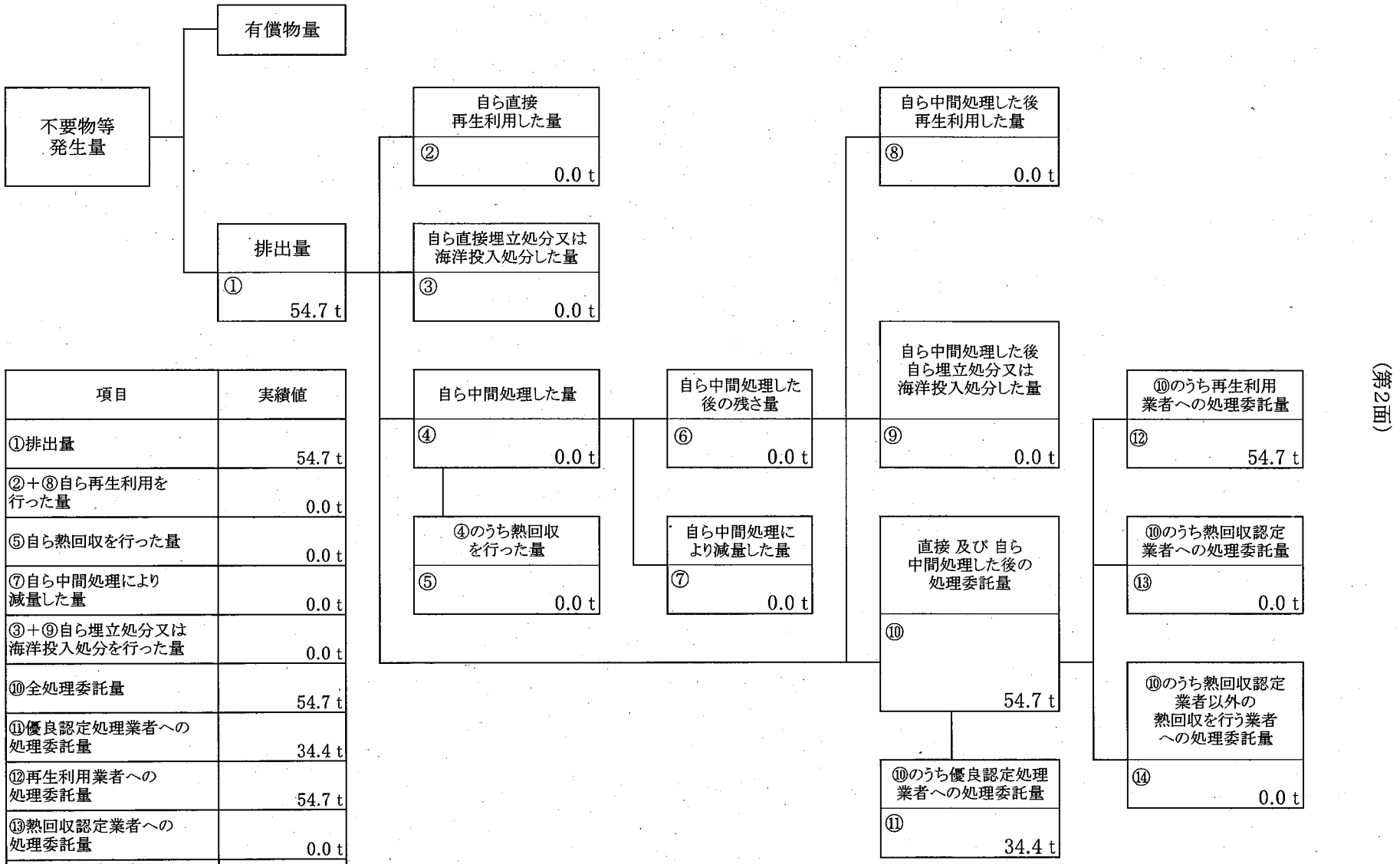


項目	実績値
①排出量	200.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	200.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	117.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	117.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	77.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木クズ　）

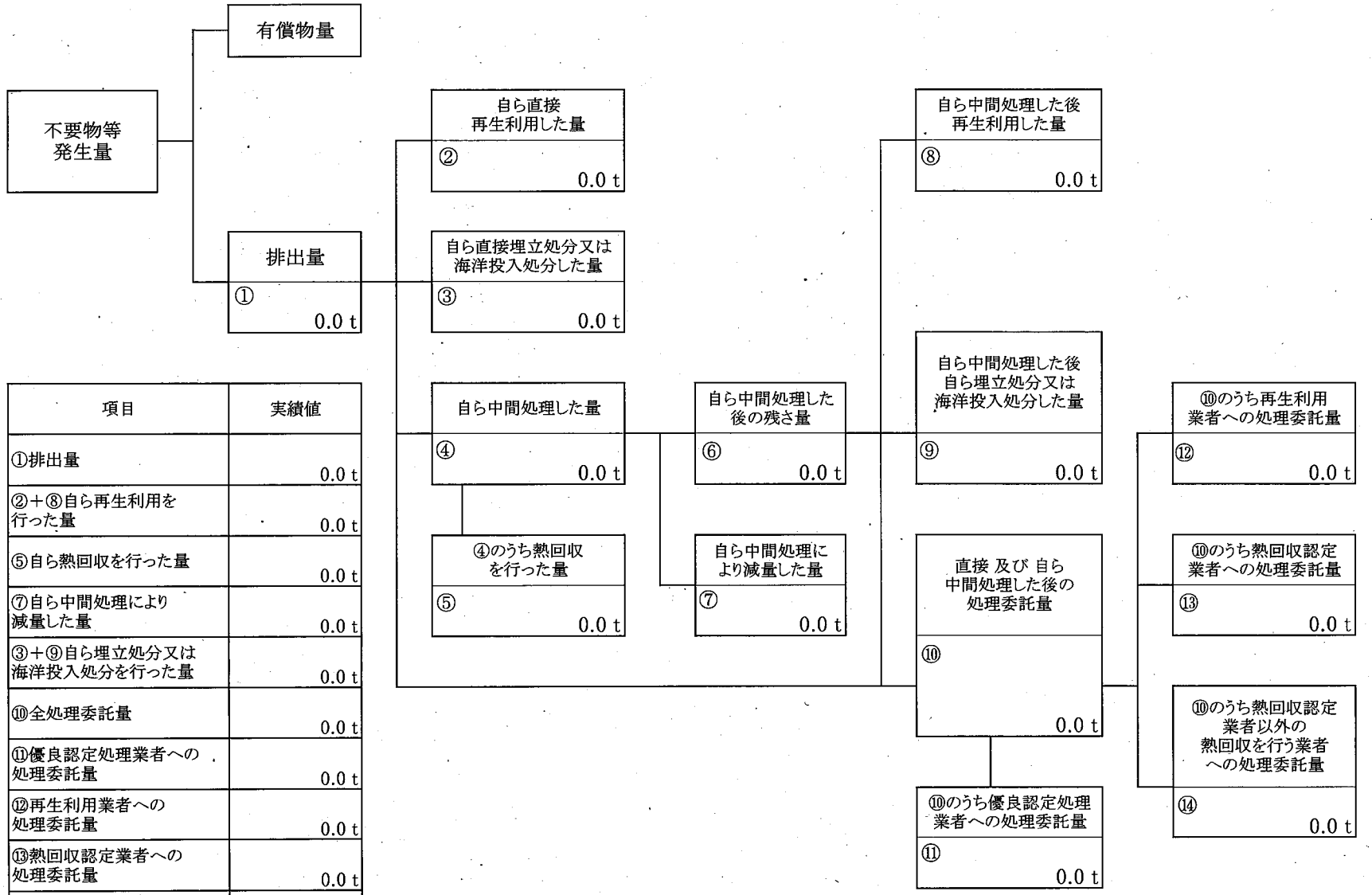


項目	実績値
①排出量	54.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	54.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　水銀使用製品産業廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　　6 年　 6 月　 18 日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者 〒299-0266

住　所　千葉県袖ヶ浦市3-1

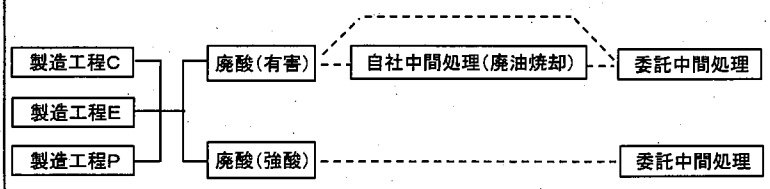
氏　名　株式会社ＡＤＥＫＡ千葉工場
　　工場長　阿保　剛司

電話番号　0438-62-4390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ＡＤＥＫＡ千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖 3-1
計画期間	令和6年4月1日　から　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

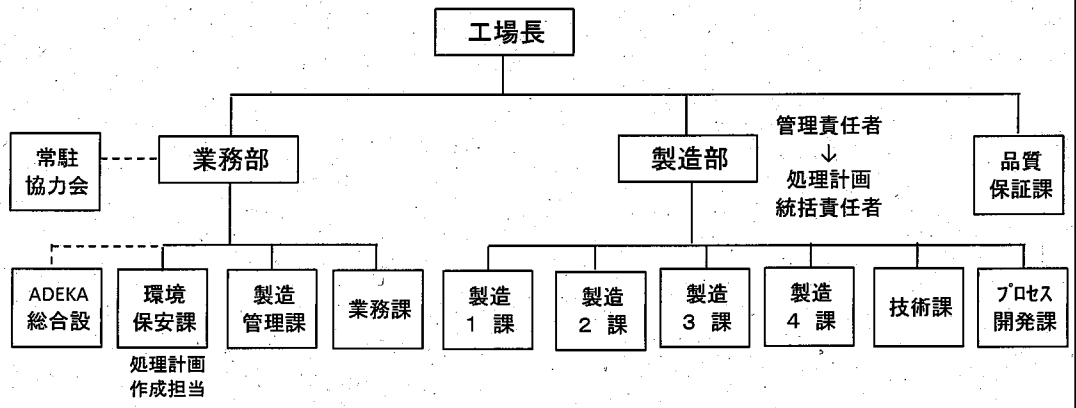
① 事業の種類	（大分類　製造業　中分類　化学工業）
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額　28,662（百万円）
③ 従業員数	205 名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

君津
地域振興事務所
-6.6.18
収受

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
排　出　量	104.9 t	4.4 t

（これまでに実施した取組）
廃油（有害）：リサイクル検討
廃酸（強酸）：回収率の改善検討

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
排　出　量	103.9 t	4.4 t

（今後実施する予定の取組）
量は１％削減を目標とする。
廃油（有害）：リサイクル検討
廃油（強酸）：原単位の改善

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油（有害）：現在も分別廃棄を実施中。
廃酸（強酸）：現在も分別廃棄を実施中。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油（有害）：現状の分別廃棄を継続する。
廃酸（強酸）：現状の分別廃棄を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
廃油（有害）：特になし。
廃酸（強酸）：特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
廃油（有害）：特になし。
廃酸（強酸）：特になし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
廃油（有害）：特になし。
廃酸（強酸）：特になし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
廃油（有害）：特になし。
廃酸（強酸）：特になし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当なし。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当なし。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
全処理委託量	104.9 t	4.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	104.9 t	4.4 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	104.9 t	4.4 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
ゼロエミッションの目標活動により、中間処理後の処理残渣を有効利用する、産業廃棄物処理業者へ処理を委託していた。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（有害）	廃油（強酸）
全処理委託量	103.9 t	4.4 t
優良認定処理業者への処理委託量	103.9 t	4.4 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	103.9 t	4.4 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
優良業者への委託を継続して行う。処理委託量・多数量の目標値は昨年実績の１％減を設定する。

【前年度（ 令和 5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	109.3 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）
既に電子マニュフェストを使用している。

※事務処理欄

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　18日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266
住　所　千葉県袖ヶ浦市北袖3-1
氏　名　株式会社ADEKA　千葉工場
工場長　阿保　剛司
電話番号 0438-62-4390

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和　5　年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ADEKA千葉工場
事業場の所在地	千葉県袖ヶ浦市北袖 3-1
事業の種類	（大分類　製造業　中分類　化学工業）
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5 年 4 月 ～ 令和 6 年 3 月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	131.9 t	全処理委託量	131.9 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	131.9 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	133.2 t
	前年度	109.3 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

既に電子マニフェストを使用している。

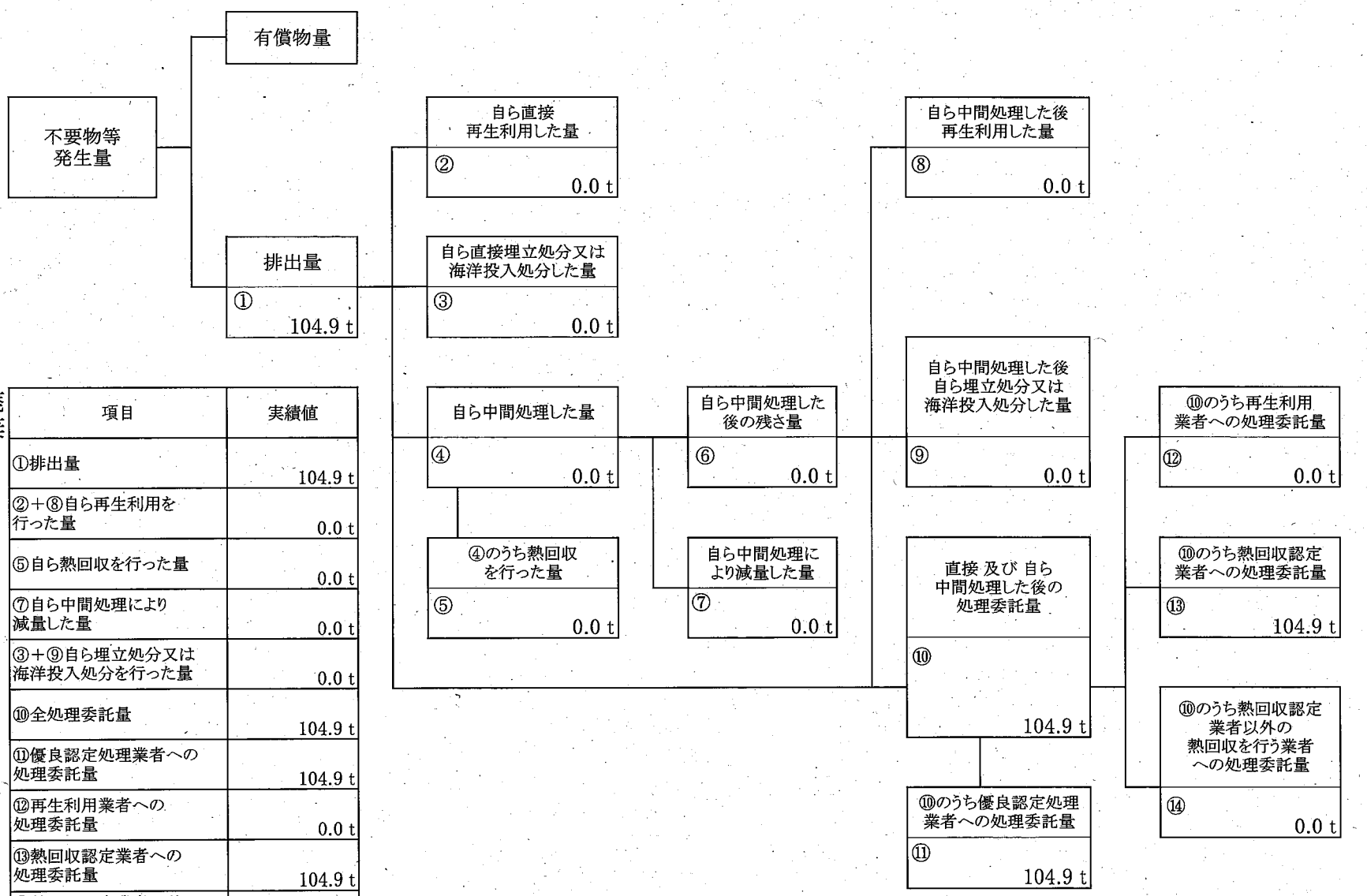
※事務処理欄	

君津地域振興事務所 -6.6.18 収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（有害）　）



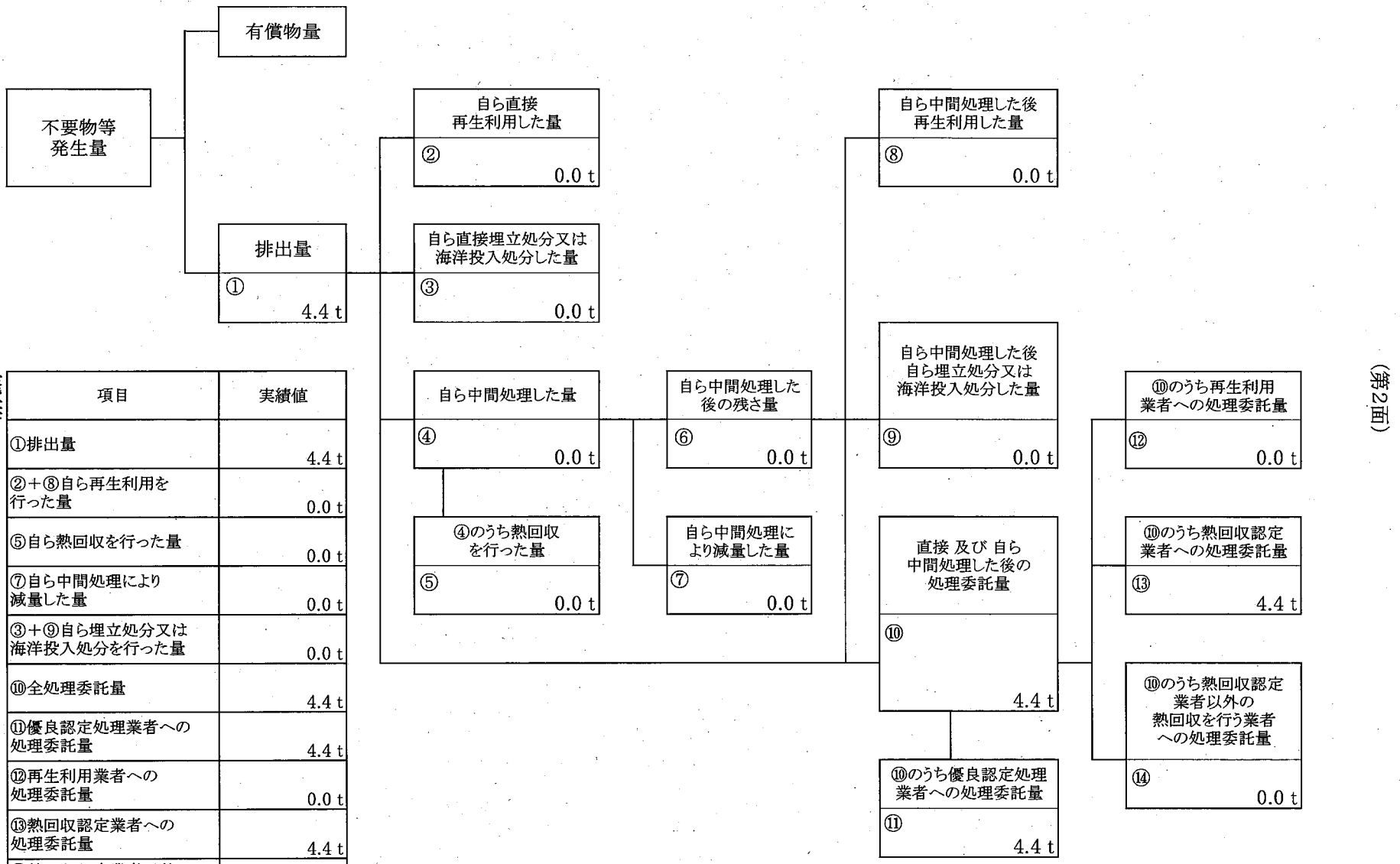
廃棄

項目	実績値
①排出量	104.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	104.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	104.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	104.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（強酸）　）



廃棄

項目	実績値
①排出量	4.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	4.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月15日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-1168

住　所　千葉県我孫子市根戸583

法人名　有限会社我孫子生コン鈴木建材

代表者　鈴木　竜彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　04-7184-7161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社我孫子生コン鈴木建材
事業場の所在地	千葉県我孫子市根戸583番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額480百万円
③従業員数	18
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	・生コン→戻りコン・残コン→アジテータ車（運搬）→委託処理業者 ・アジテータ車洗浄・残水排出→骨材・スラッジケー委託運搬→委託処理業者

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

社長→工場長（処理計画統括責任者）→各課（製造・技術）
→総務部（処理計画作成）→廃棄物管理委員会

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
排出量	2340 t	3507.9 t

（これまでに実施した取組）

発注者に対し余剰コンクリートが出ないよう要請している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
排出量	2000 t	2000 t

（今後実施する予定の取組）

処理代金の請求

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・コンクリートくず：乾燥後ショベルローダーにて破砕し、指定ダンプにて指定業者
・汚泥：アジテータ車にて指定業者に持込み処理を委託

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリートくず	汚泥
全処理委託量		2340 t	3507.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2340 t	3507.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

発注者に余剰コンクリートがでないよう要請している。

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>コンクリートくず</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2000 t</td><td>2000 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
前年度同様発注者に対し余剰コンの発注を減らすよう要請する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月15日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-1168

住所 千葉県我孫子市根戸583

法人名 有限会社我孫子生コン鈴木建材

代表者 鈴木 竜彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7184-7161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社我孫子生コン鈴木建材
事業場の所在地	千葉県我孫子市根戸583番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

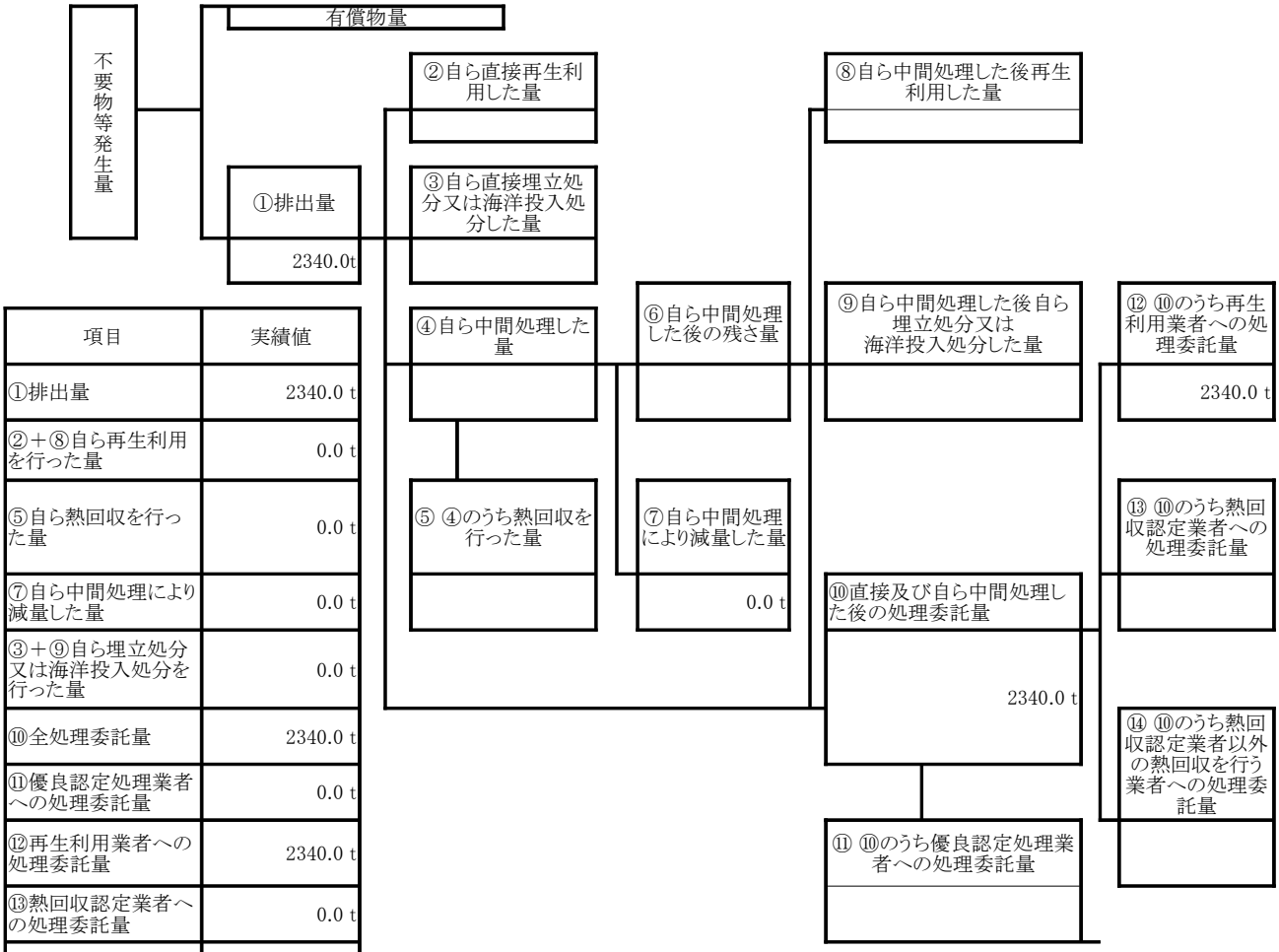
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3000 t	全処理委託量	3000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　コンクリートくず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

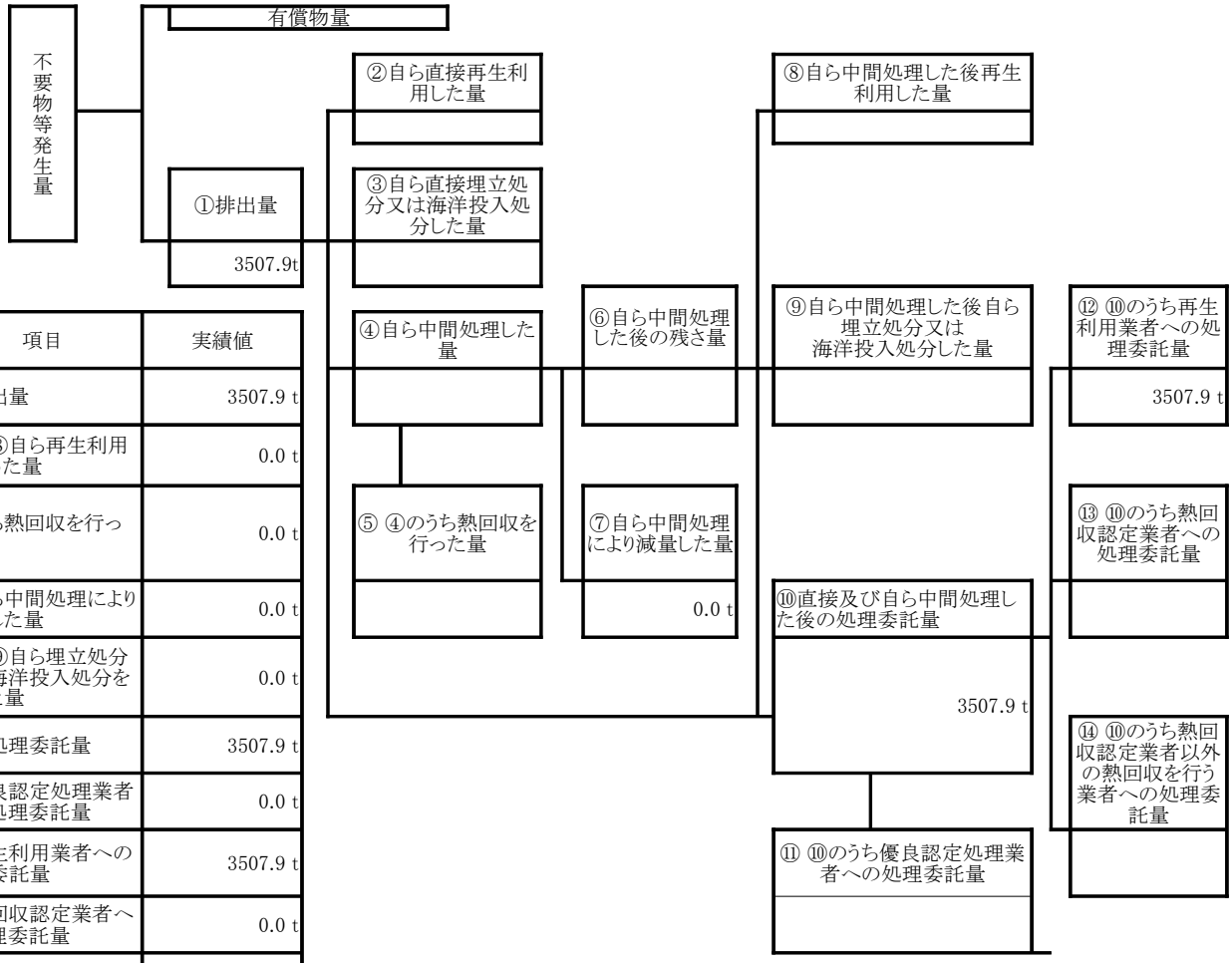


項目	実績値
①排出量	2340.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2340.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2340.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



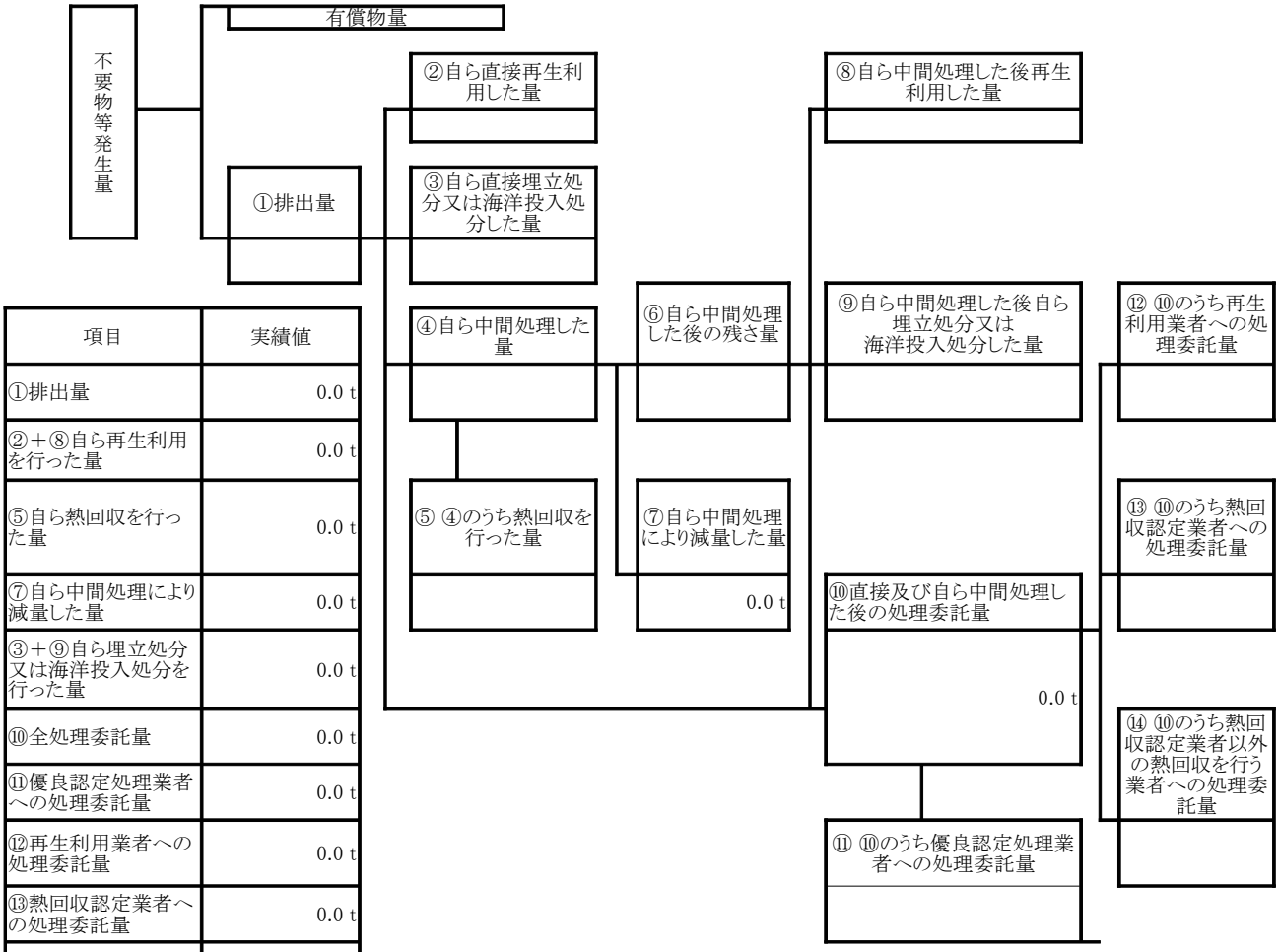
項目	実績値
①排出量	3507.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3507.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3507.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

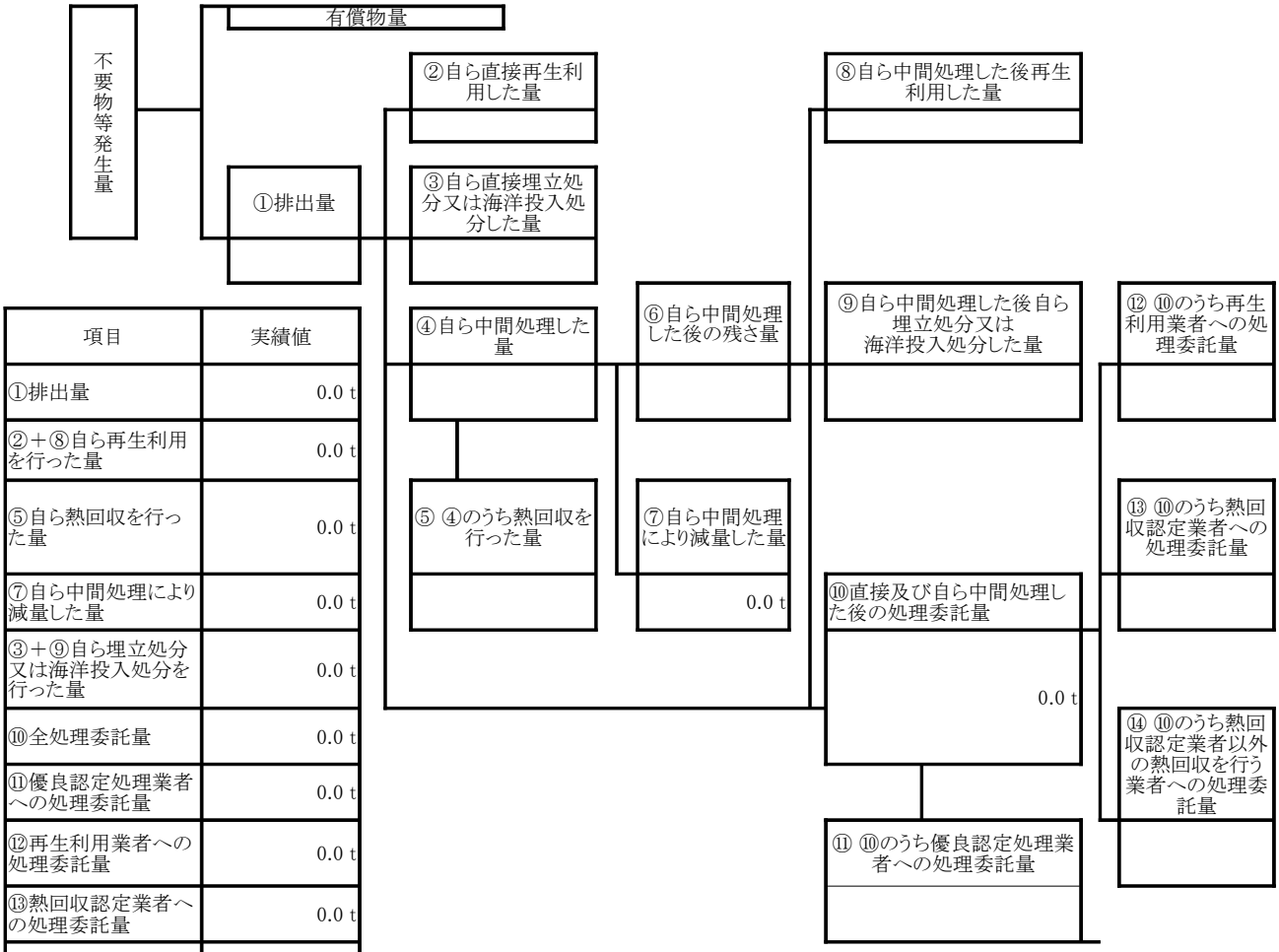


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

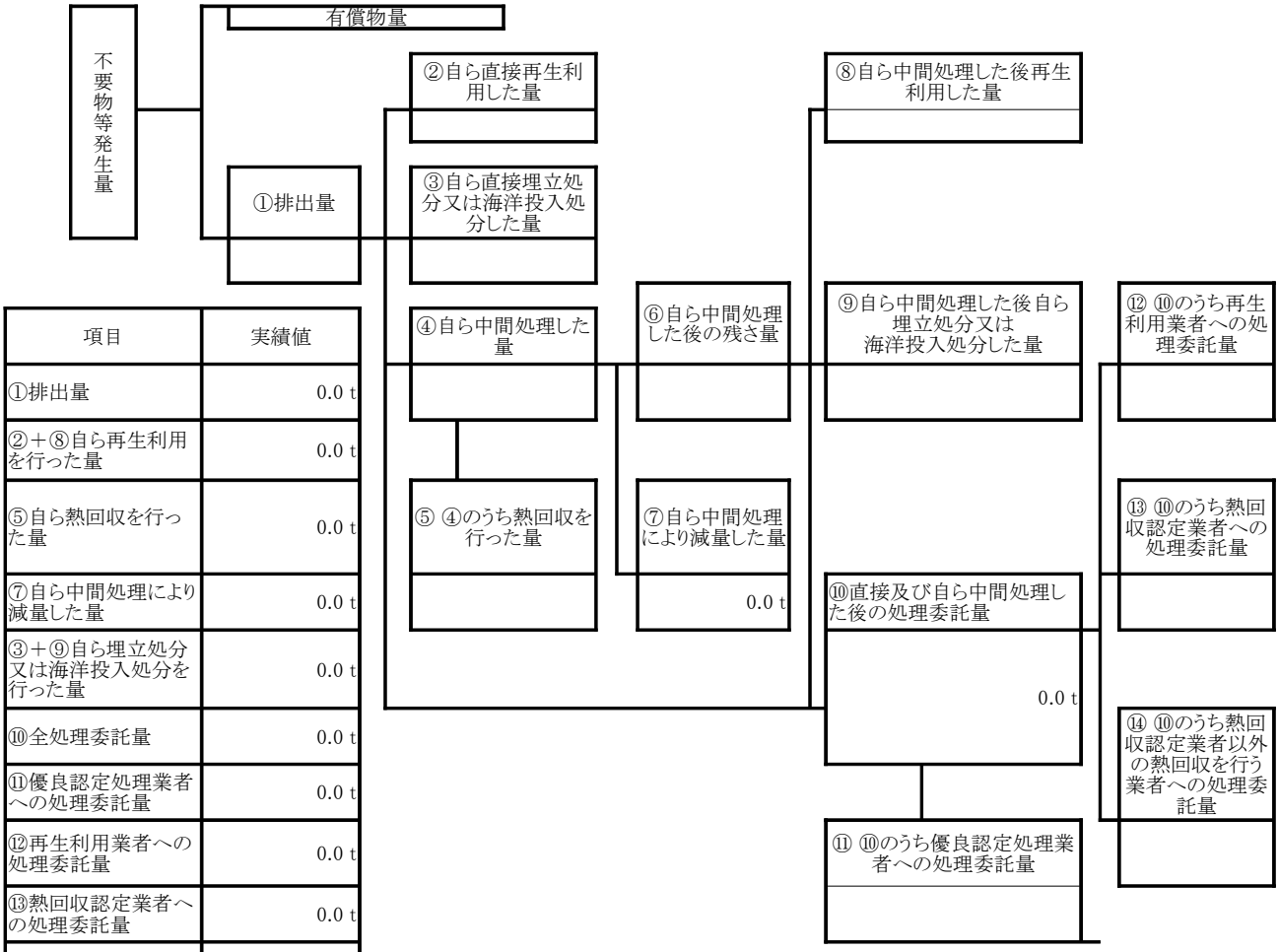


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

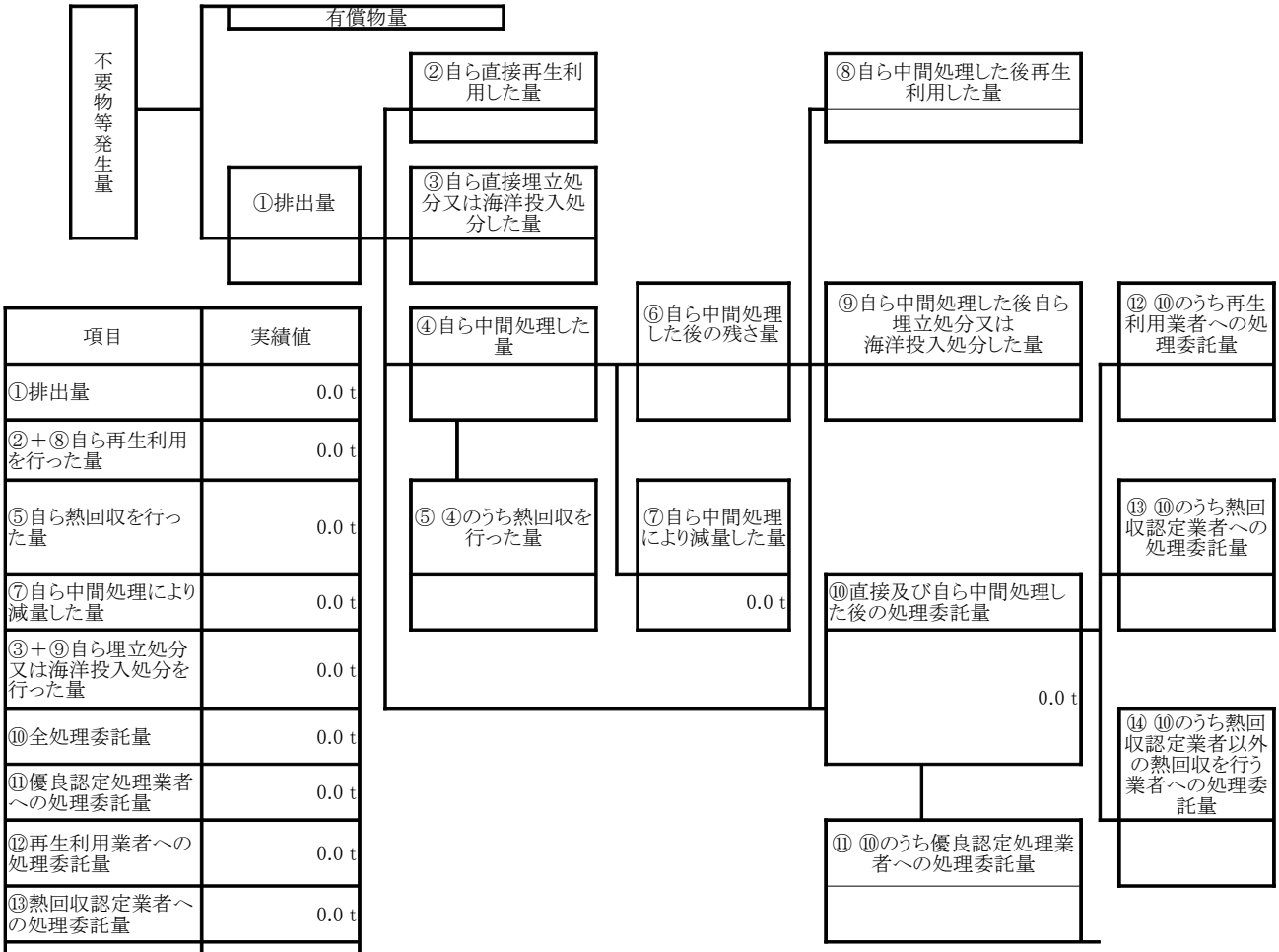


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



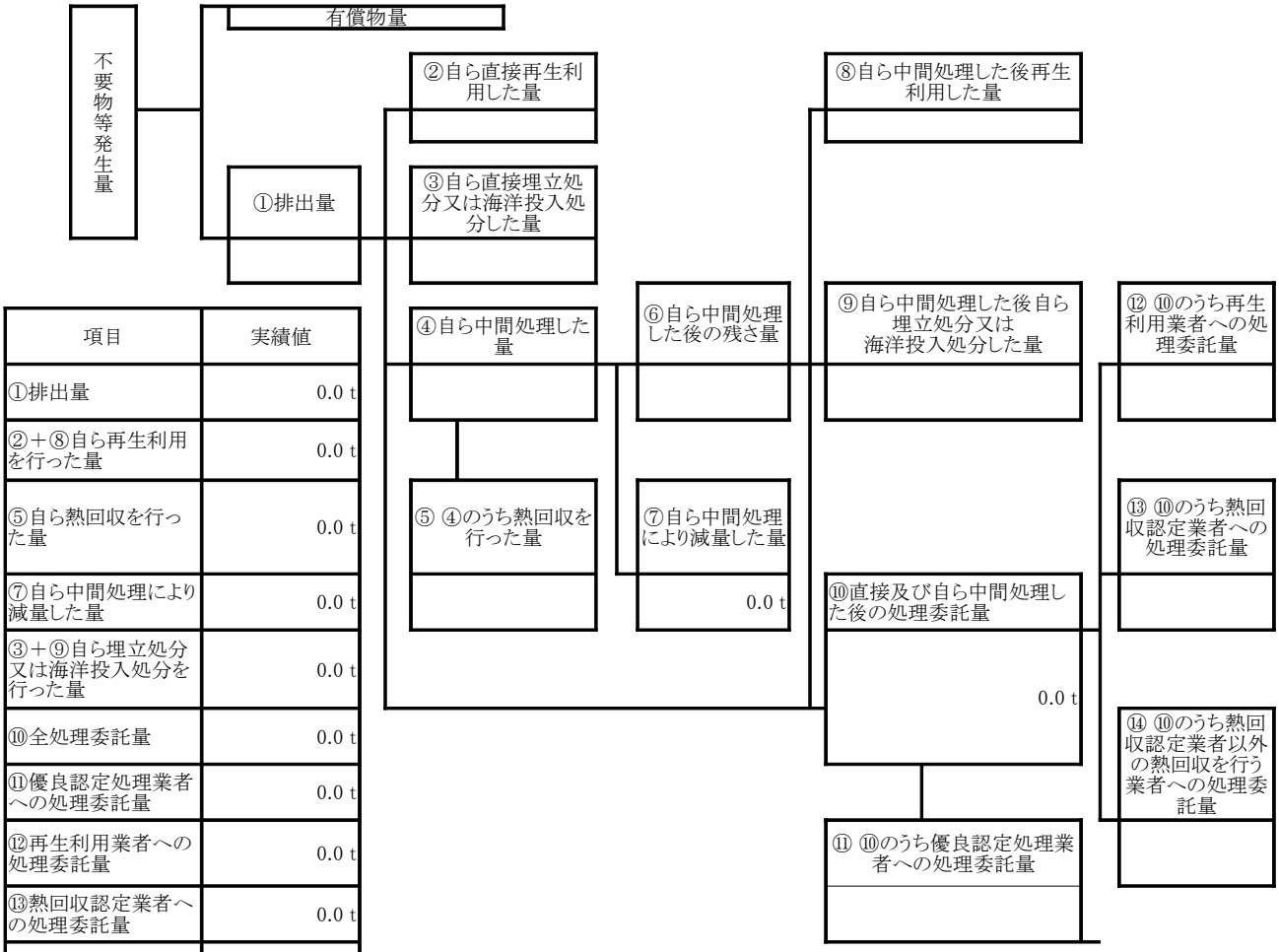
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

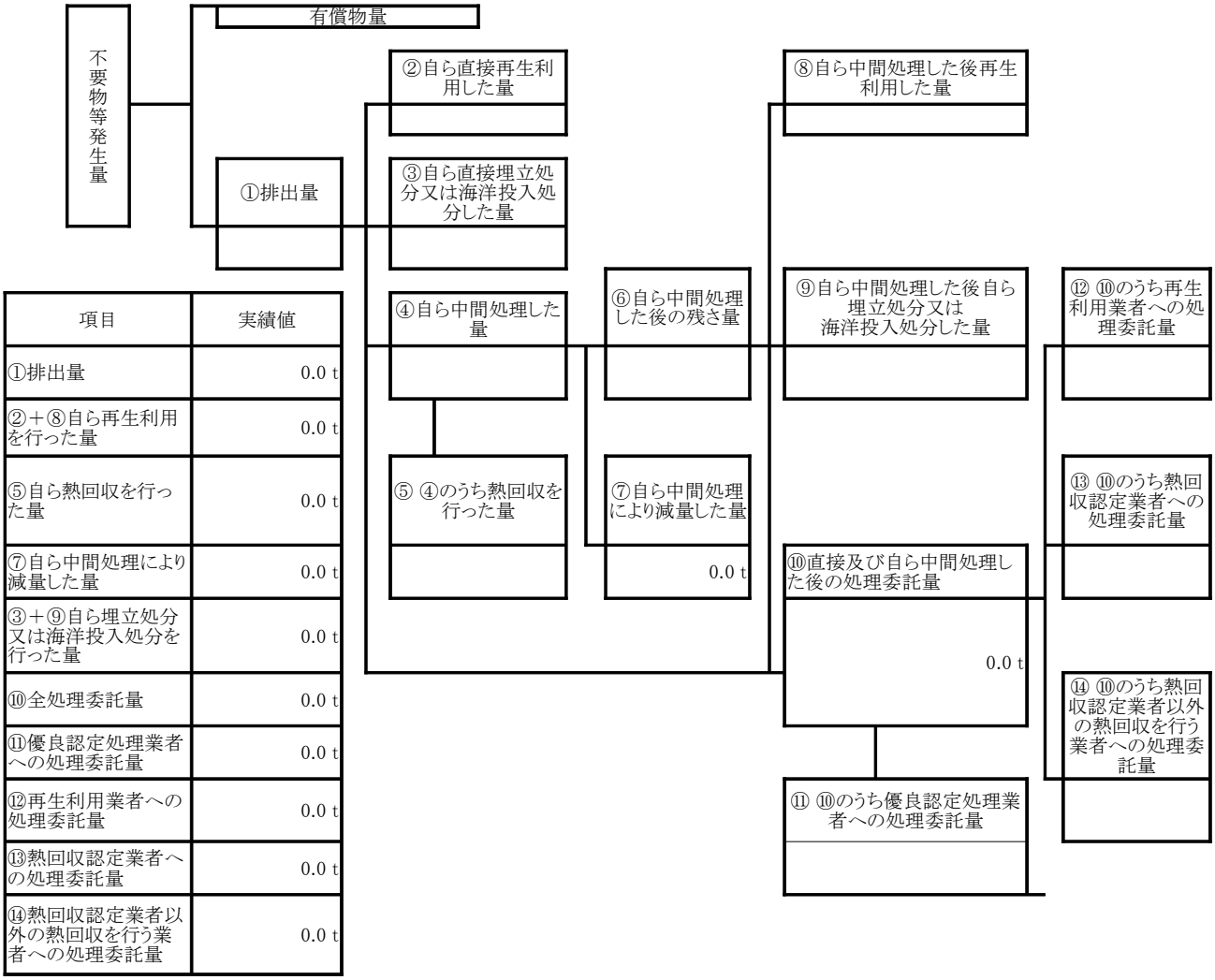


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

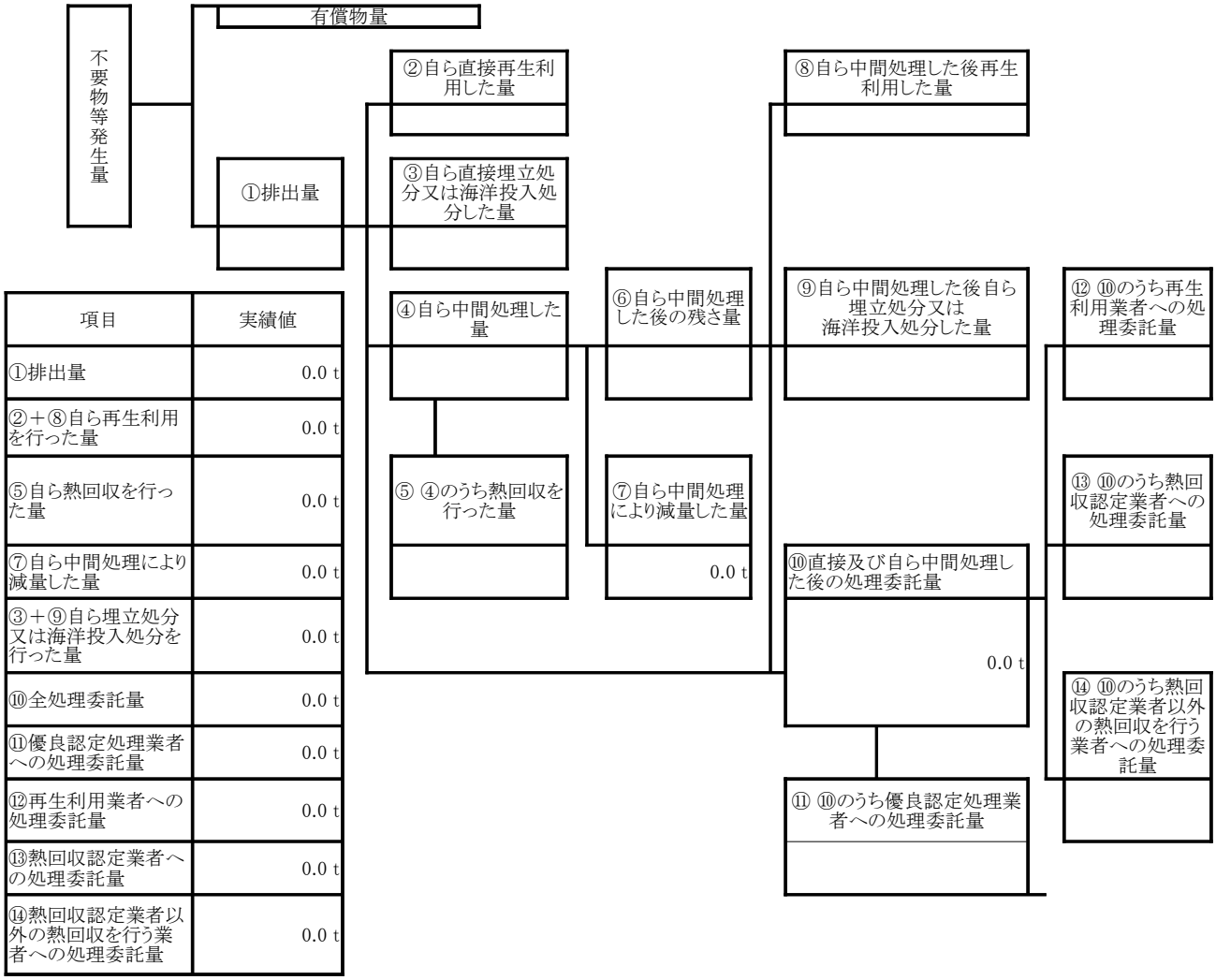


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



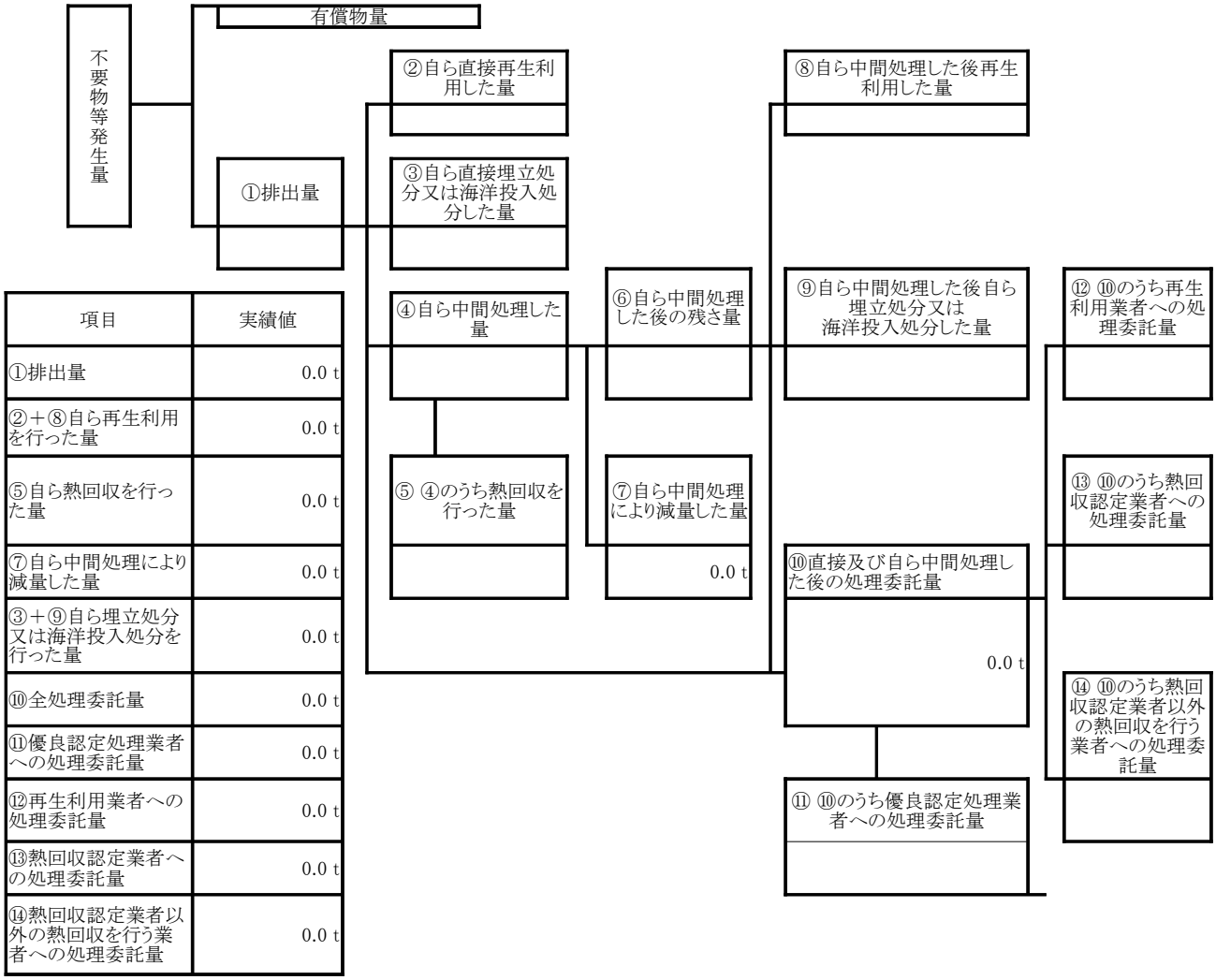
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

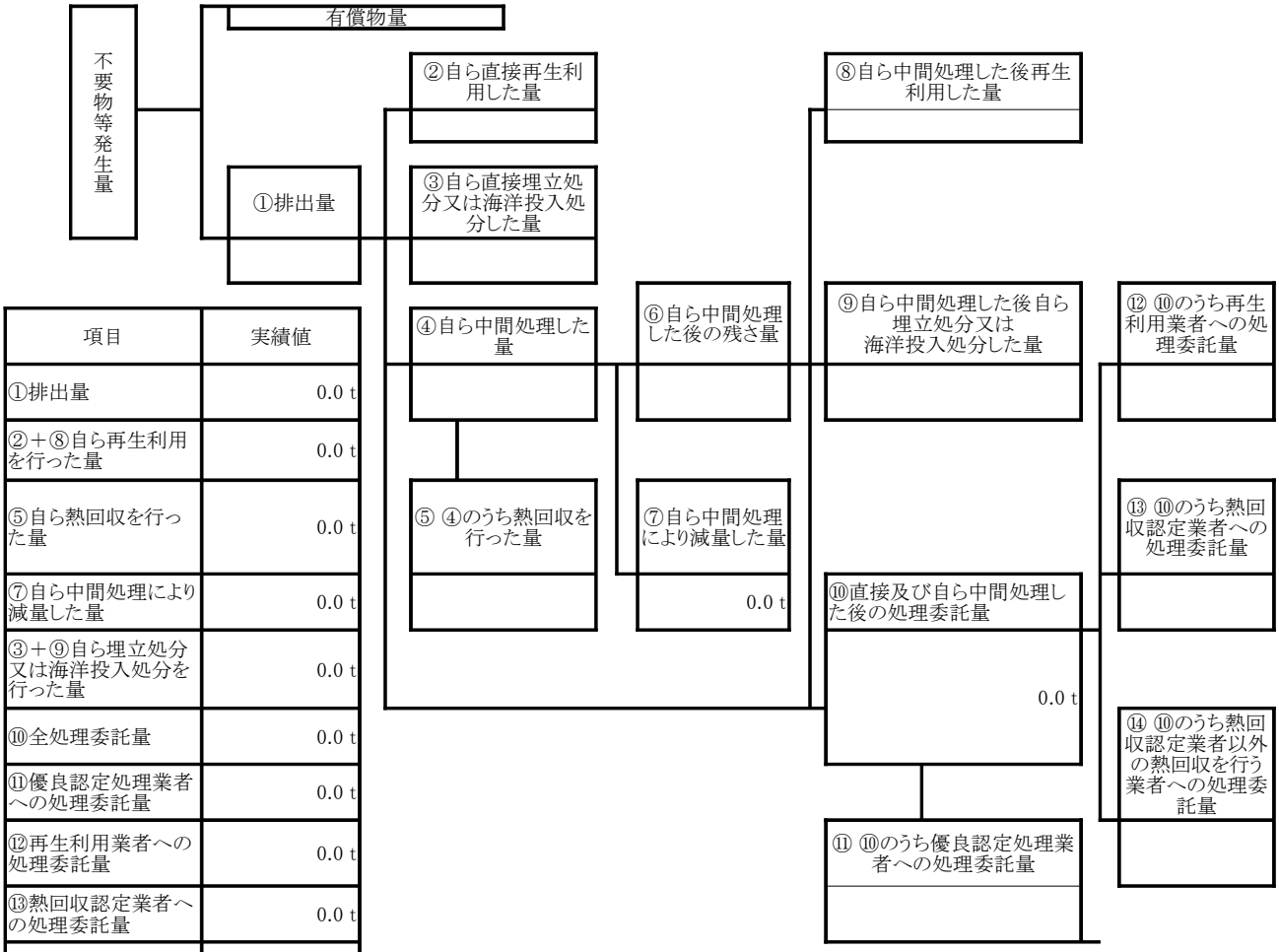


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



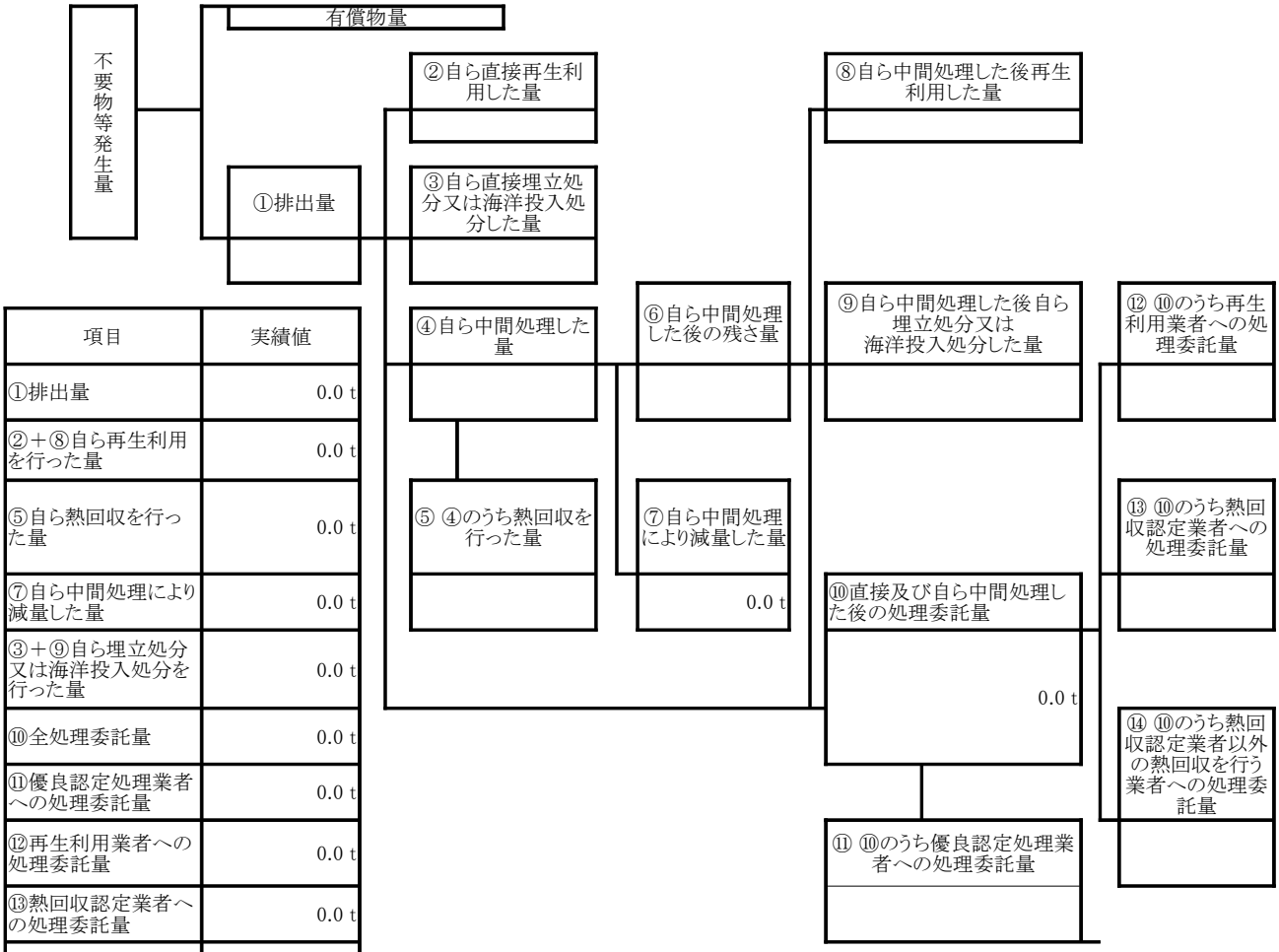
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



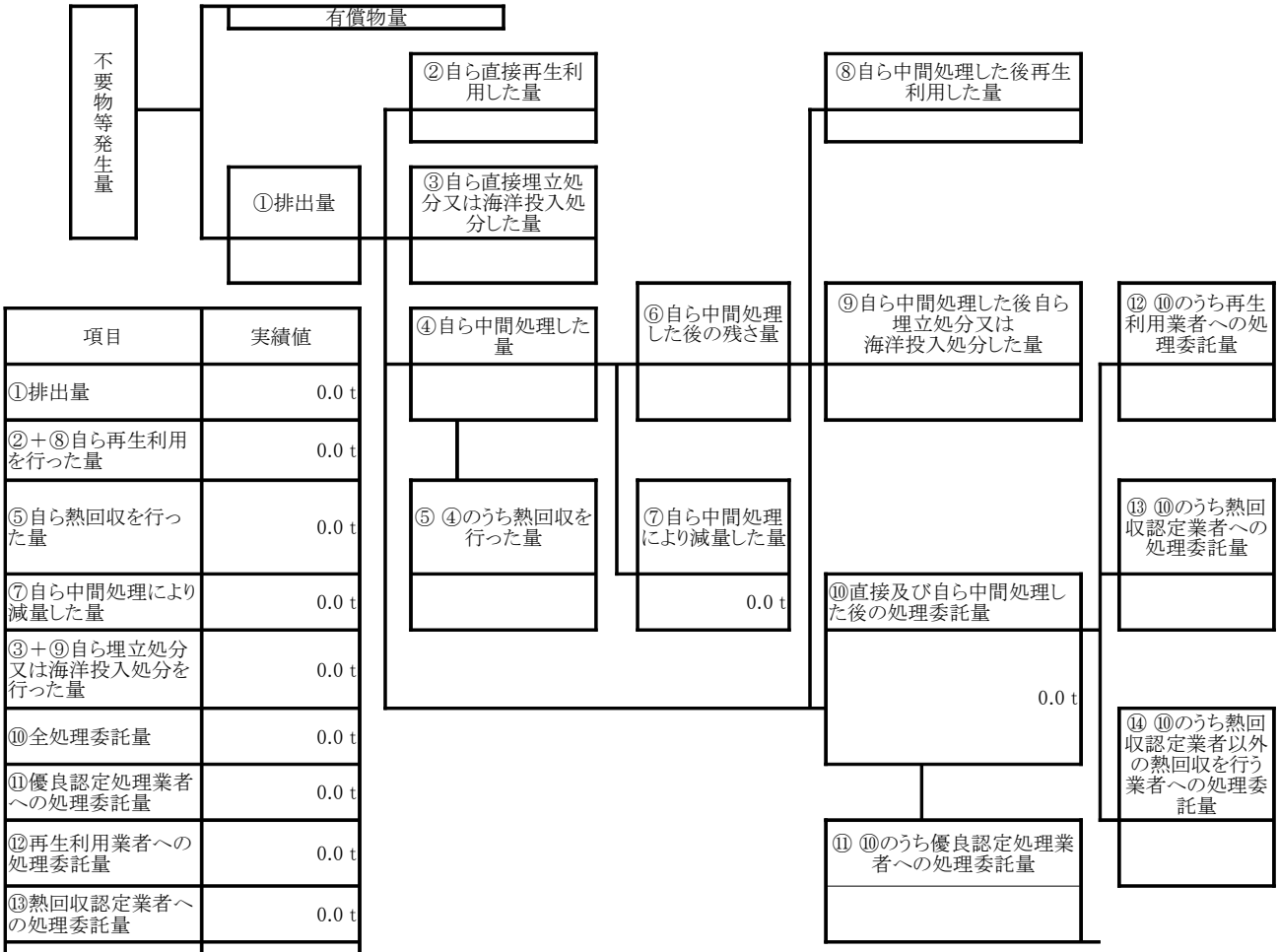
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

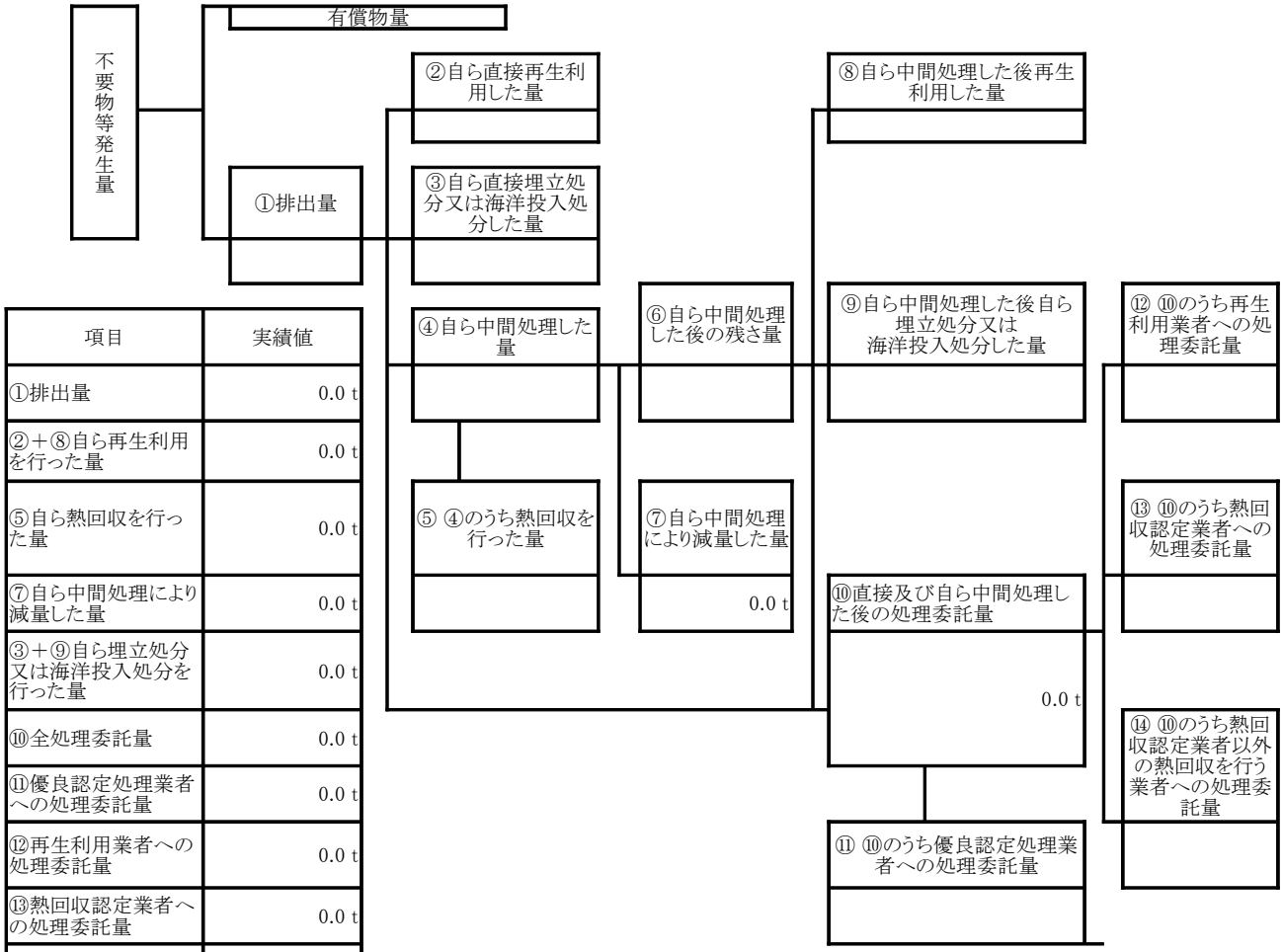


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



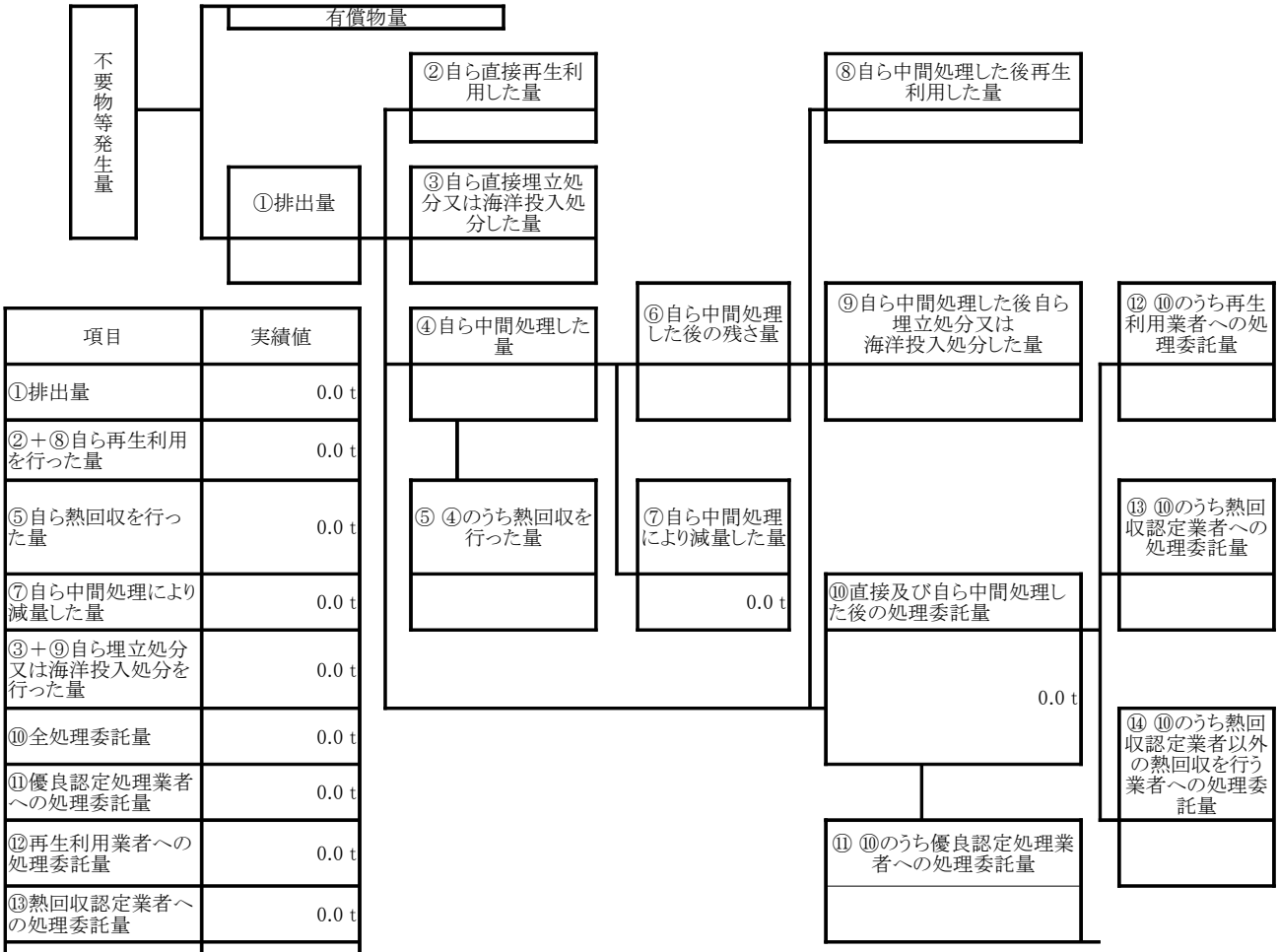
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

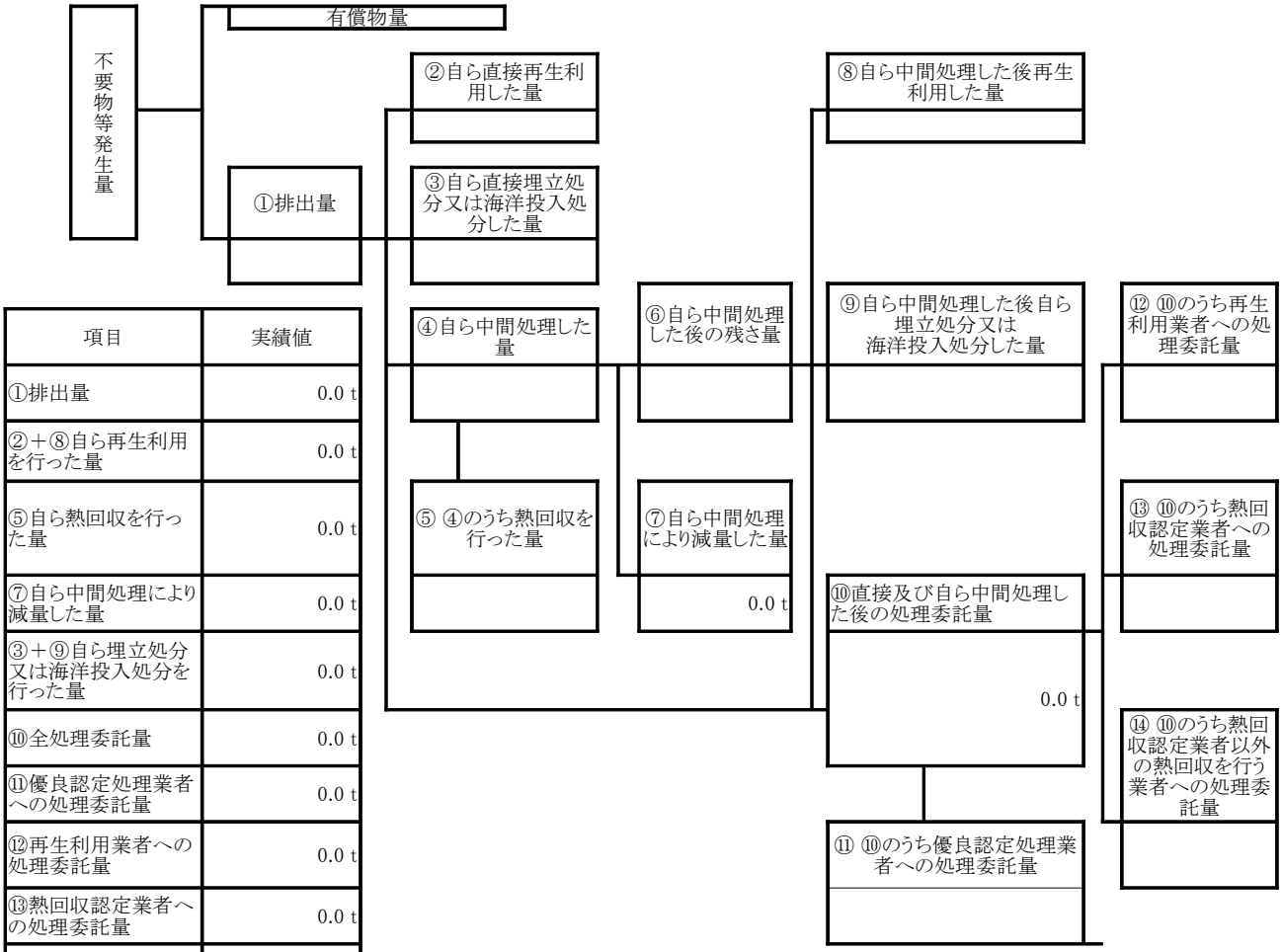


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

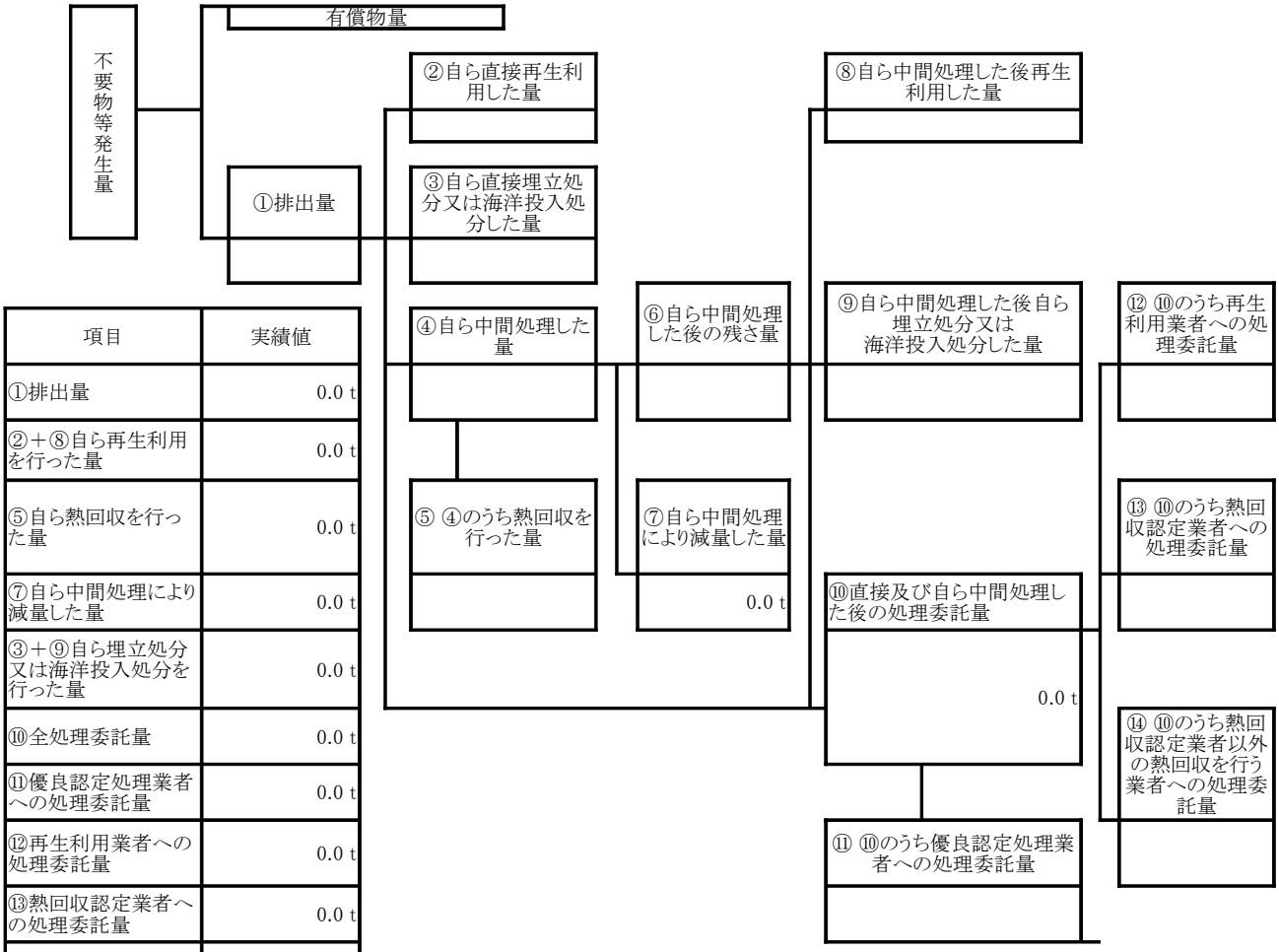


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



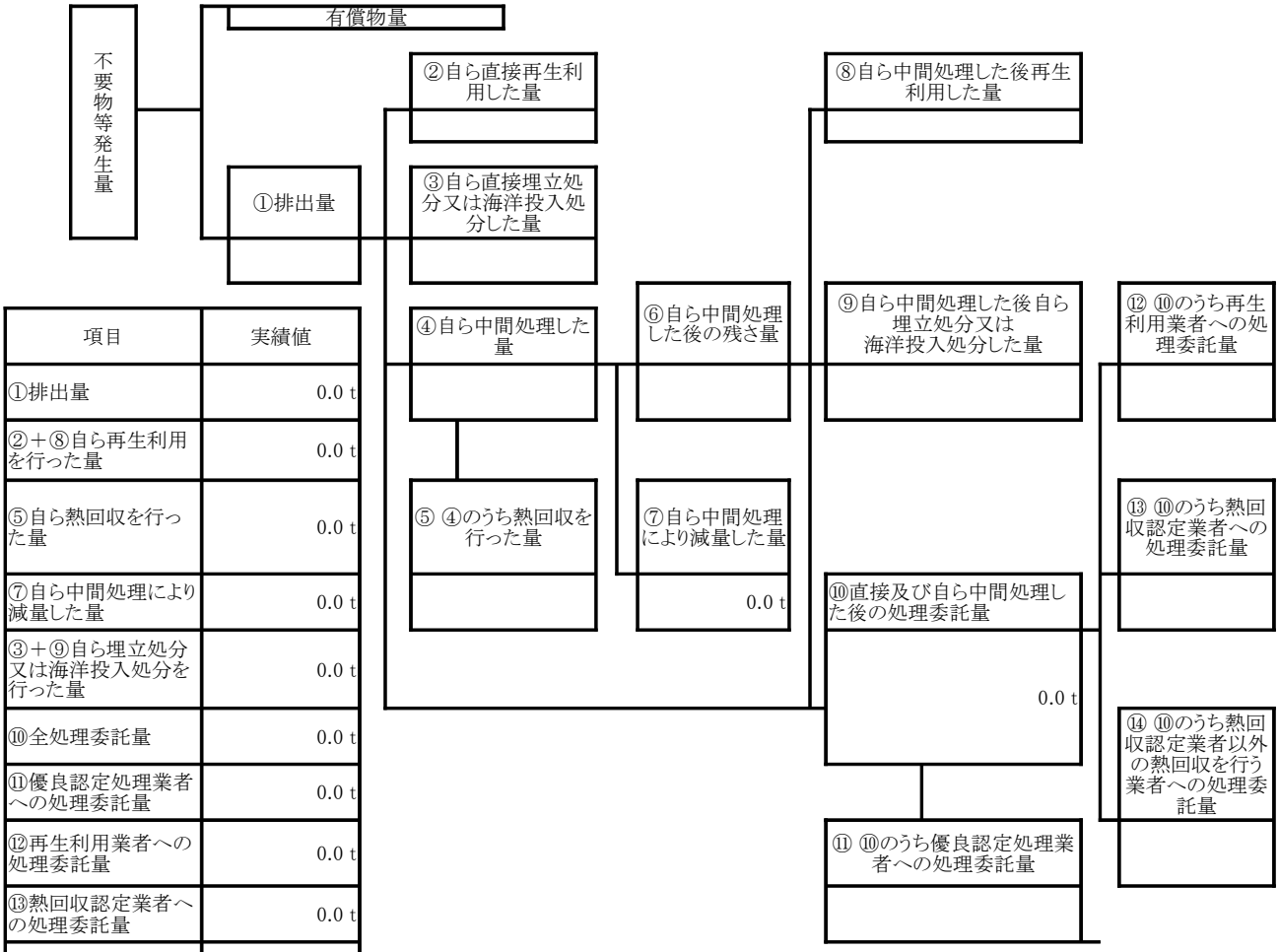
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

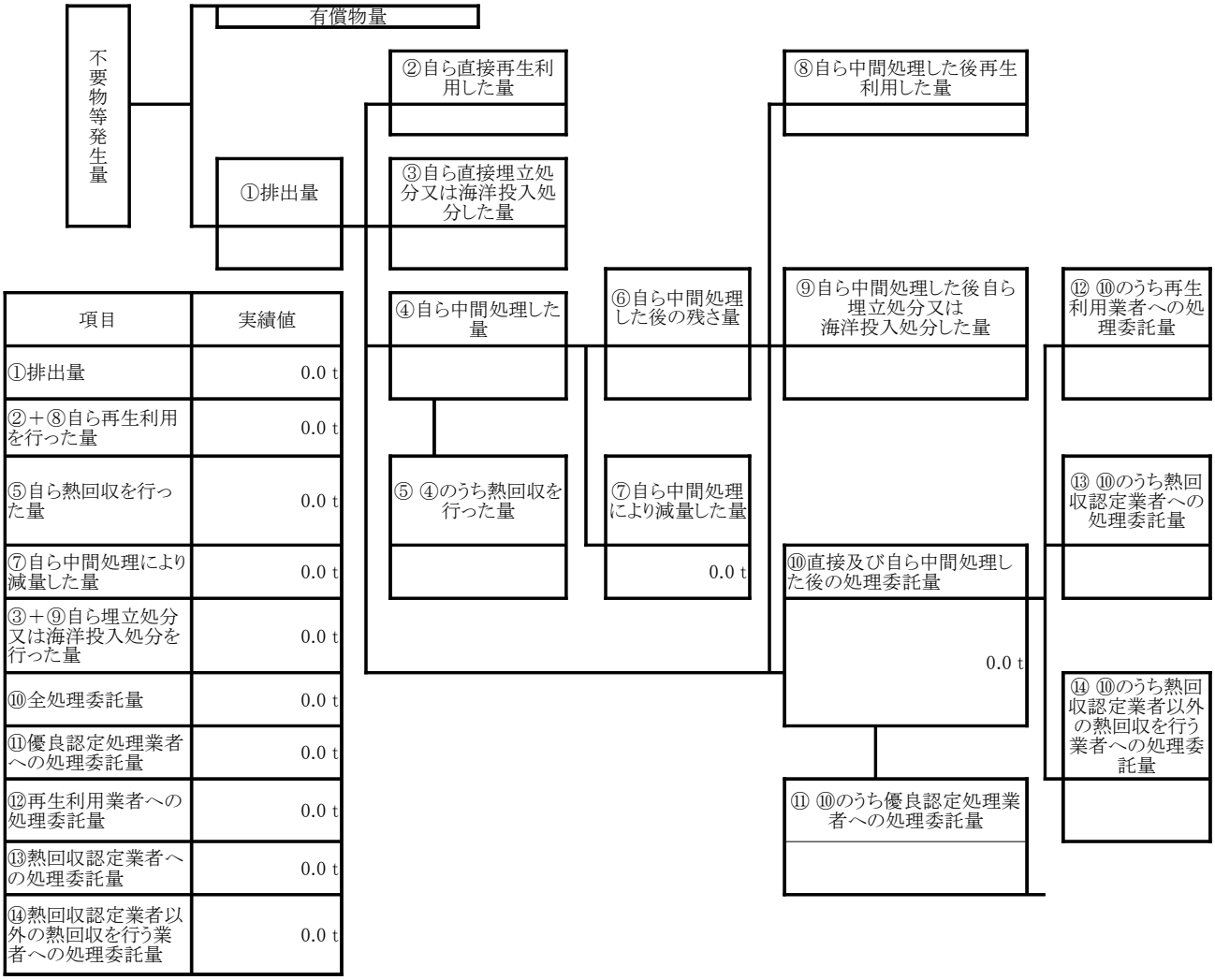


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

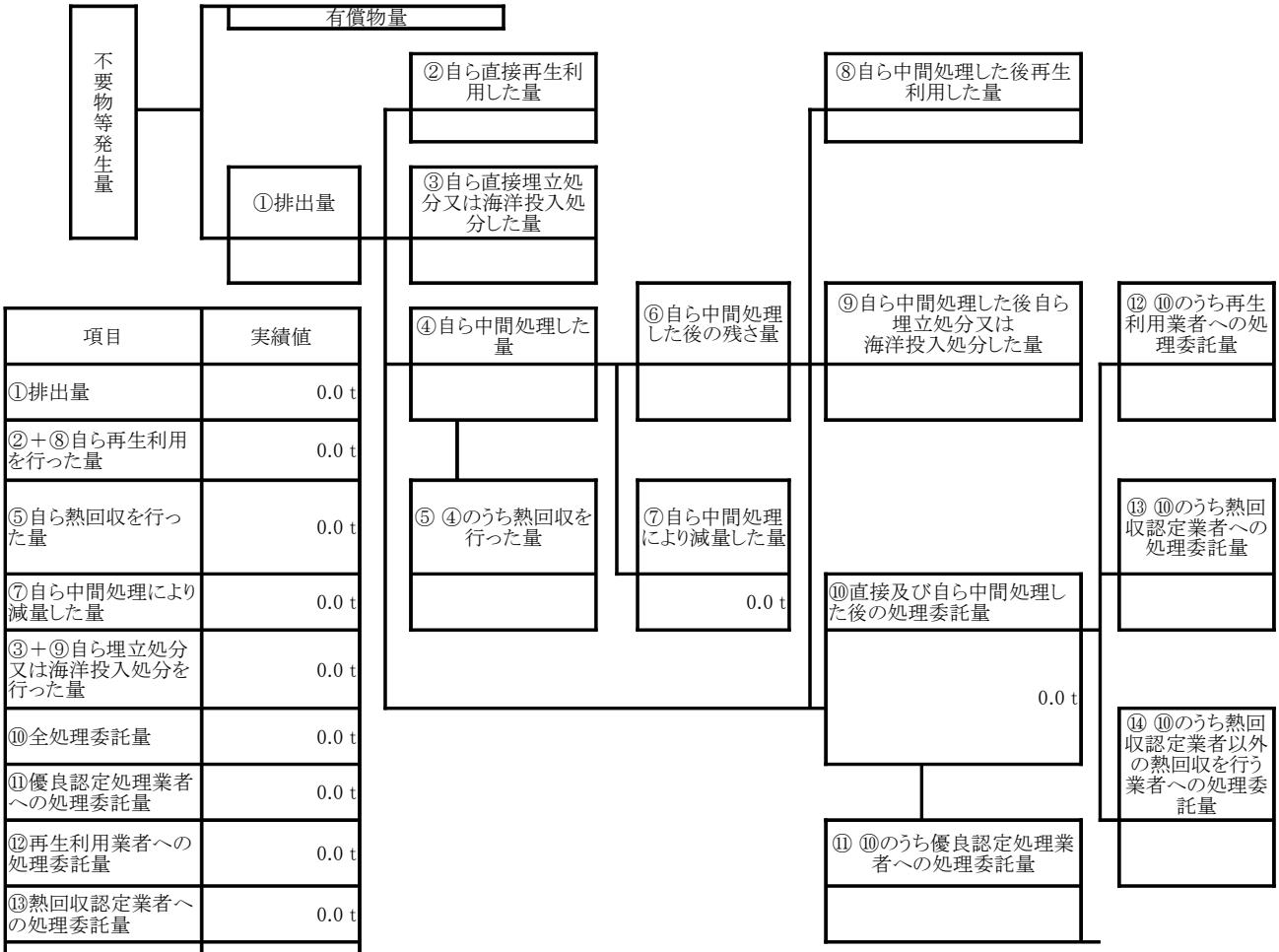


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

4
2023年　6月　11日

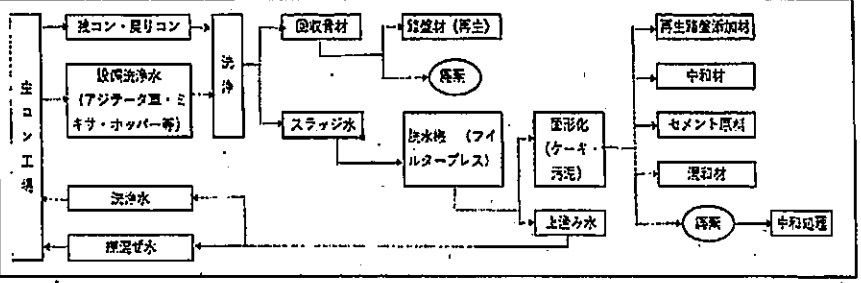
千葉県知事
　熊谷　俊人　殿

提出者　〒273-0013
住　所　千葉県市川市高谷2018番地28
氏　名　　市川菱光株式会社
　　代表取締役　皆谷　直人
電話番号　　047-327-3318

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	市川菱光株式会社　本社工場
事業場の所在地	千葉県市川市高谷2018番地28
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

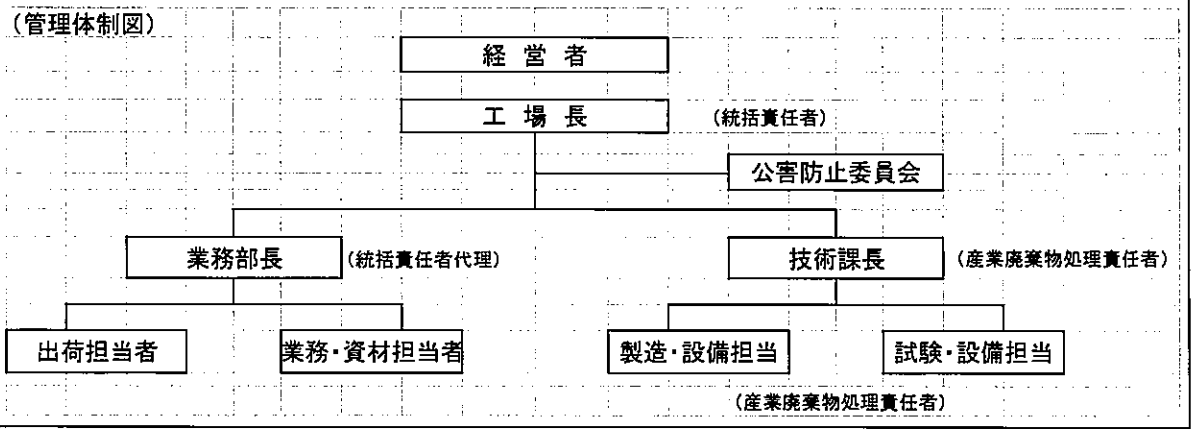
①事業の種類	大分業：製造業　　中分業：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　702百万円
③従業員数	8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

千葉県 富津地域振興事務所 -6.6.11 収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2023年度）実績】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	
排　出　量	11,315	t

（これまでに実施した取組）
・ミキサー車両内のドラム洗浄水使用低減（1台当たり40ℓ /回）
・残コン、戻りコンの発生低減
① 現場事前打合せと最終出荷数量の密な連絡にて調整出荷する。
②顧客（ゼネコン）へ意識改革を促進（残コン低減方法）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	
排　出　量	10,500	t

（今後実施する予定の取組）
・残コン、戻りコンの低減
従業員へは、残コン低減するための勉強会実地（教育、意識改善）
現場への密な事前打合せと生コンの残コン低減への協力要請
・脱水機施設の設置により、ケーキとして産廃物の排出数量減
・生コンクリート製造に練り水への利用
スラッジ水を再使用による標準化（固形分率１%以下）
・ミキサー車及びプラント洗浄水使用の低減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・骨材とスラッジ水との分別

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・骨材とスラッジ水との分別

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（2023年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>7,865</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・スラッジ水を脱水処理にて上澄水とセメントケーキに分別
上澄水は、生コン製造の練り水にて使用</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>7,000</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・スラッジ水を脱水処理し、上澄水とセメントケーキに分別
上澄水は、生コン製造の練り水にて使用
セメントケーキの含水率を40％以下にする。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0	t
	（これまでに実施した取組） これまで、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き埋立又は海洋投入処分する予定はない。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（2023年度）実績】			
	産業廃棄物の種類		ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	
	全処理委託量		3,450	t
		優良認定処理業者への処理委託量		t
		再生利用業者への処理委託量	3,450	t
		認定熱回収業者への処理委託量		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	（これまでに実施した取組） ・生コンクリート製品の残コン・戻りコンを固めた後に再生利用中間処理業者へ委託し、路盤材料として再利用する。			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器くず	
		全処理委託量	~~2,700~~ 3500	t
		優良認定処理業者への処理委託量		t
		再生利用業者への処理委託量	~~2,700~~ 3500	t
		認定熱回収業者への処理委託量		t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
		（今後実施する予定の取組） ・残コン、戻りコンを細骨材と粗骨材に分別し、再生骨材使用率の増加を計る。		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月11日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒273-0013
住 所　千葉県市川市高谷2018番地28
氏 名　市川菱光株式会社
代表取締役　皆谷 直人
電話番号　047-327-3318

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	市川菱光株式会社 本社工場
事業場の所在地	千葉県市川市高谷2018番地28
事業の種類	大分類:製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

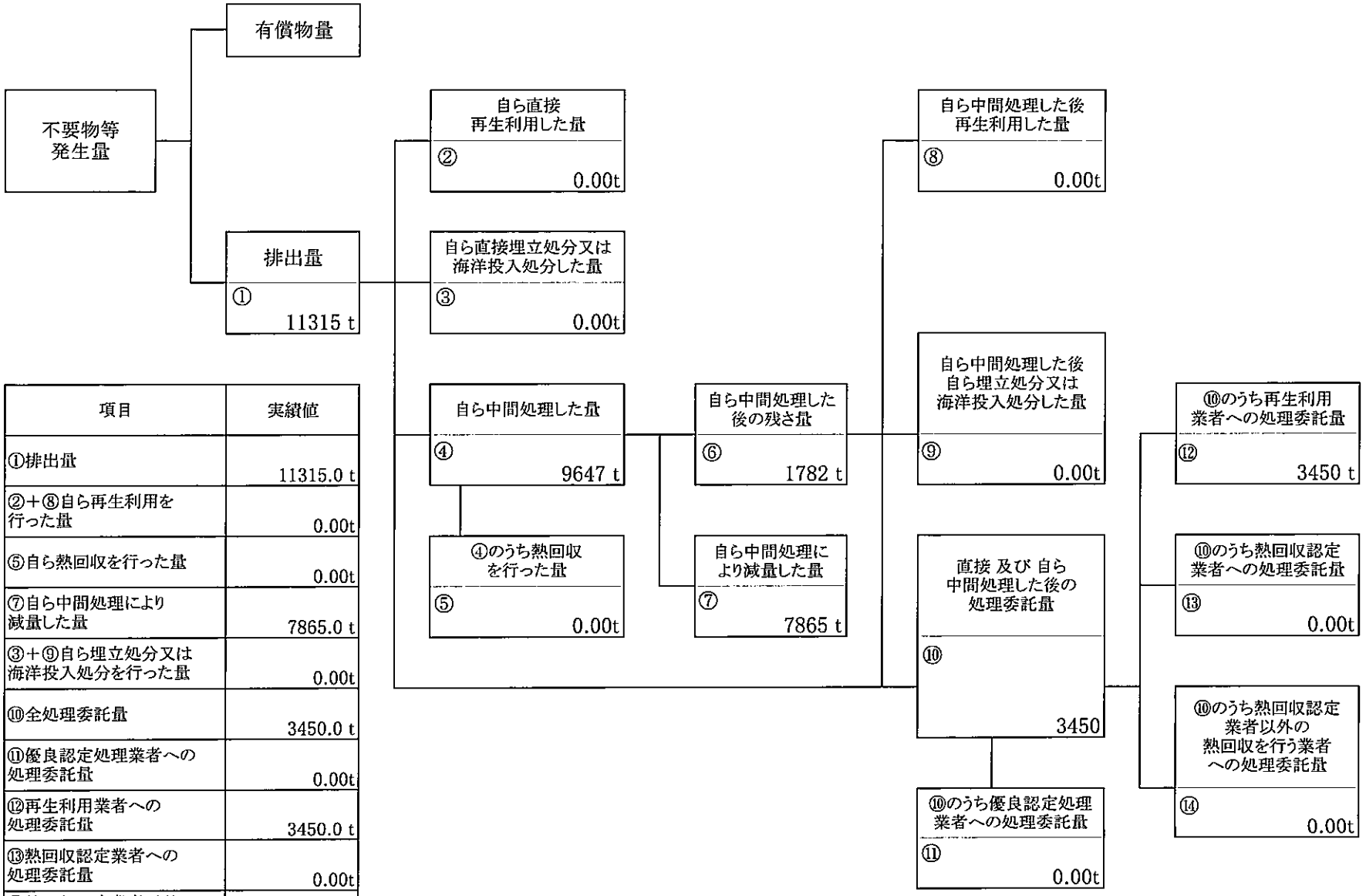
項目	目標値	項目	目標値
排出量	~~10,000~~t 9500	全処理委託量	~~3,000~~t 2700
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	~~3,000~~t 2700
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	~~7,000~~t 6800	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

千葉県 葛南地域振興事務所 -6.6.11 収受

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 ガラス・コンクリート・陶磁器くず　　）



項目	実績値
①排出量	11315.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	7865.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	3450.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	3450.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

（第2面）

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者 〒299-0293

住　所　千葉県袖ヶ浦市上泉1280番地

氏　名　出光興産株式会社
先進マテリアルカンパニーリチウム電池材料部
執行役員先進マテリアルカンパニー
リチウム電池材料部長
小林 城太郎

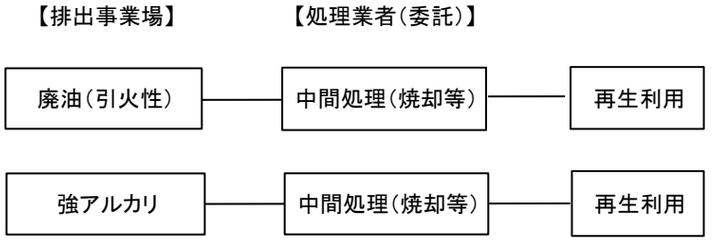
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0436-60-1869

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	出光興産株式会社　先進マテリアルカンパニーリチウム電池材料部（姉崎）
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸２番地１
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

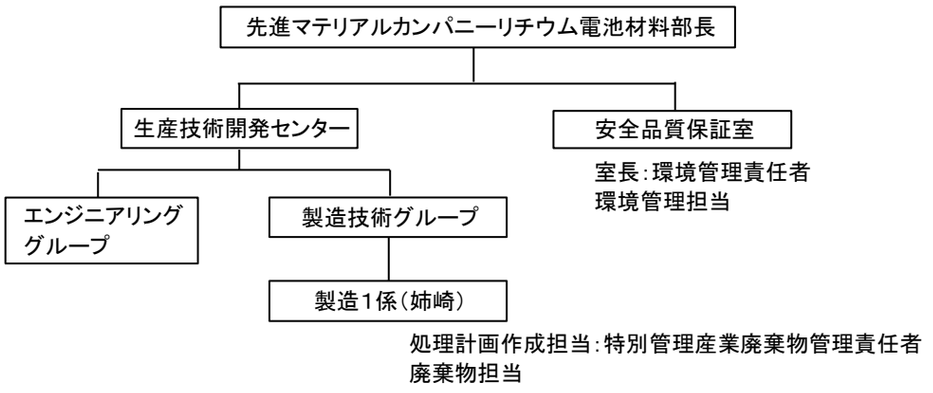
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	―
③従業員数	35人（関連会社含む）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
排　　出　　量	84.5　　t	0　　t

（これまでに実施した取組）
・令和4年1月より
　産業廃棄物性状変更により、強アルカリを汚泥に変更

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
排　　出　　量	70　　t	0　　t

（今後実施する予定の取組）
・強アルカリを汚泥に変更することを継続する。
・生産機器の洗浄方法見直しにより、廃棄物排出量の抑制を検討中。引き続き、廃棄物の排出抑制に取り組む。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
特別管理産業廃棄物の保管タンクを区別している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
保管タンクの区別を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

―

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）

―

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

―

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

―

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	強アルカリ
全処理委託量	84.5 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	84.5 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・優良認定事業者への委託を実施している。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>強アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>70 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>70 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
・今後も、優良認定事業者への委託を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>84.5 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組等）
・電子マニフェストを既に導入しており、これを継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　25 日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0293
住　所　千葉県袖ケ浦市上泉1280番地
氏　名　出光興産株式会社
先進マテリアルカンパニーリチウム電池材料部
執行役員先進マテリアルカンパニー
リチウム電池材料部長
小林 城太郎
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436-60-1894

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	出光興産株式会社　先進マテリアルカンパニーリチウム電池材料部（姉崎）
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸2番地1
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	120.0 t	全処理委託量	120.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	120.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	83.3
	前 年 度	84.5

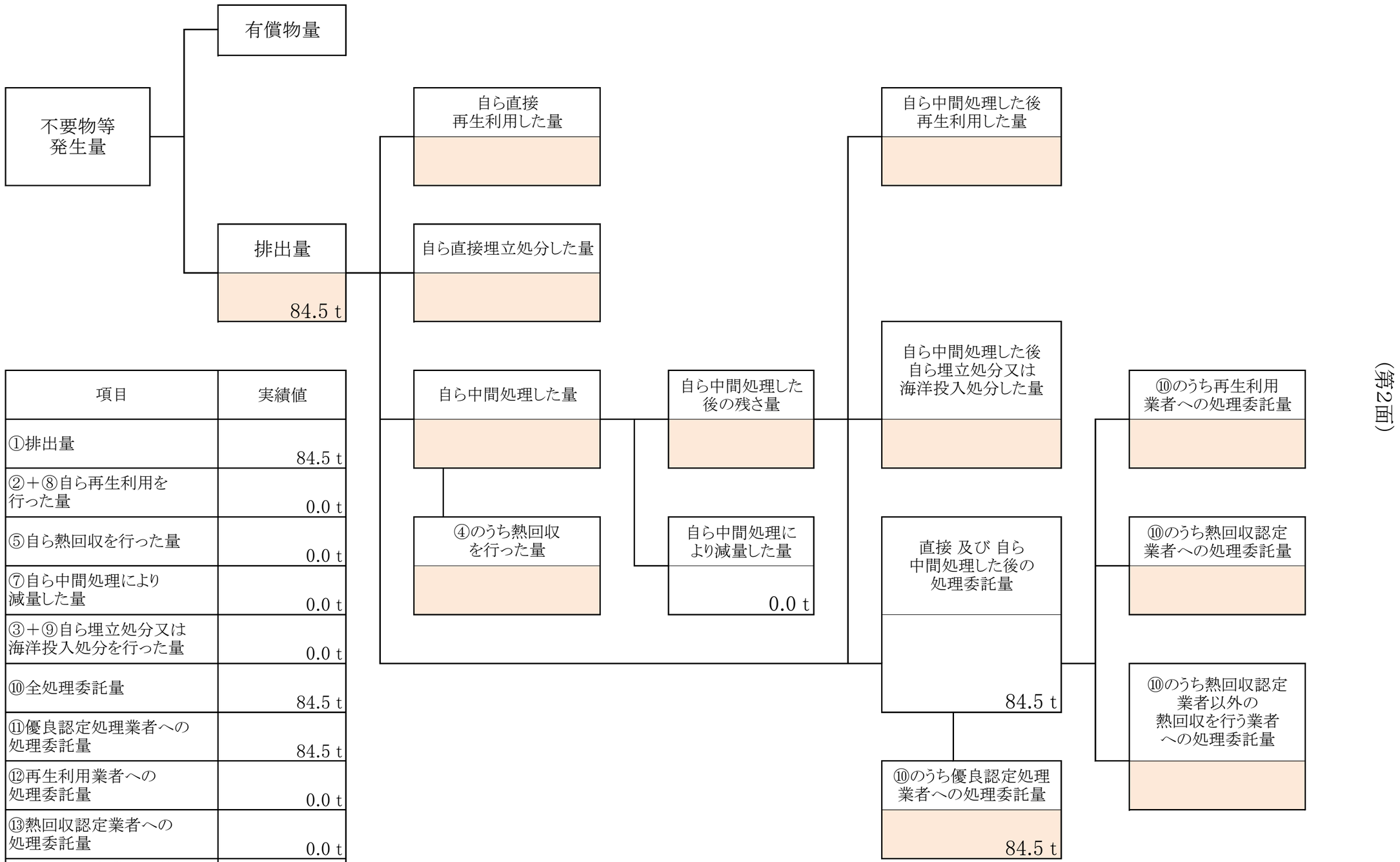
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子マニフェストでの処理を実施しており、これを継続する。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油（引火性）**）

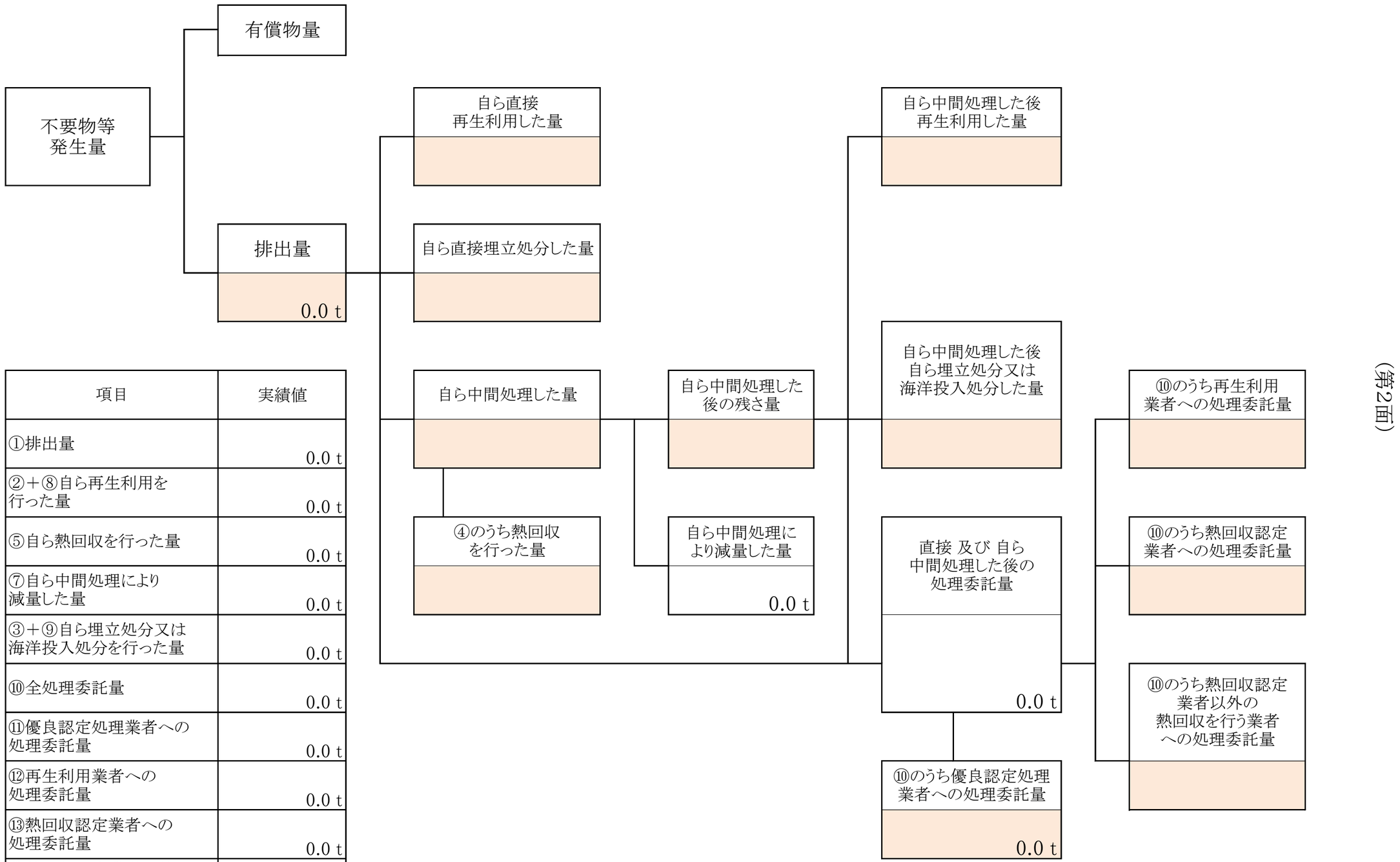


項目	実績値
①排出量	84.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	84.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**強アルカリ**）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月 28 日

千葉県知事

熊谷　俊人　　様

提出者

住　所　　千葉県市原市姉崎海岸２番地１

氏　名　　出光興産株式会社　千葉事業所

執行役員所長　　井上　高志

電話番号　　０４３６－６０－１７１４

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	出光興産株式会社　千葉事業所 株式会社プライムポリマー姉崎工場
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸２番地１
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①　事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
②　事業の規模	前年度の製造品出荷額　１０，８６７億円
③　従業員数	１，３９２人（正社員９７２人、常勤関係職員４２０人）
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１（１）、（２）のとおり

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙１（３）のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和５ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	以下、別紙2(1)のとおり	
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の分別、保管等に関する事業所規程類を制定し、管理している。 また、工事等で発生する廃棄物の分別を推進するために、協力会社への協力を要請している。 保全にて生じる金属くず及び製造工程にて生じる廃プラスチックは、分別後、売却している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場環境監査を実施し、廃棄物の保管状況及び表示、分別などの推進を図る。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和５ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
以下、別紙2(2)のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和５ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
以下、別紙2(3)のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類_</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和５ 年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

以下、別紙2(4)のとおり

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和５ 年度）実績】

産業廃棄物の種類_		
全処理委託量_	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

以下、別紙2(5)のとおり

（これまでに実施した取組）

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類_		
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

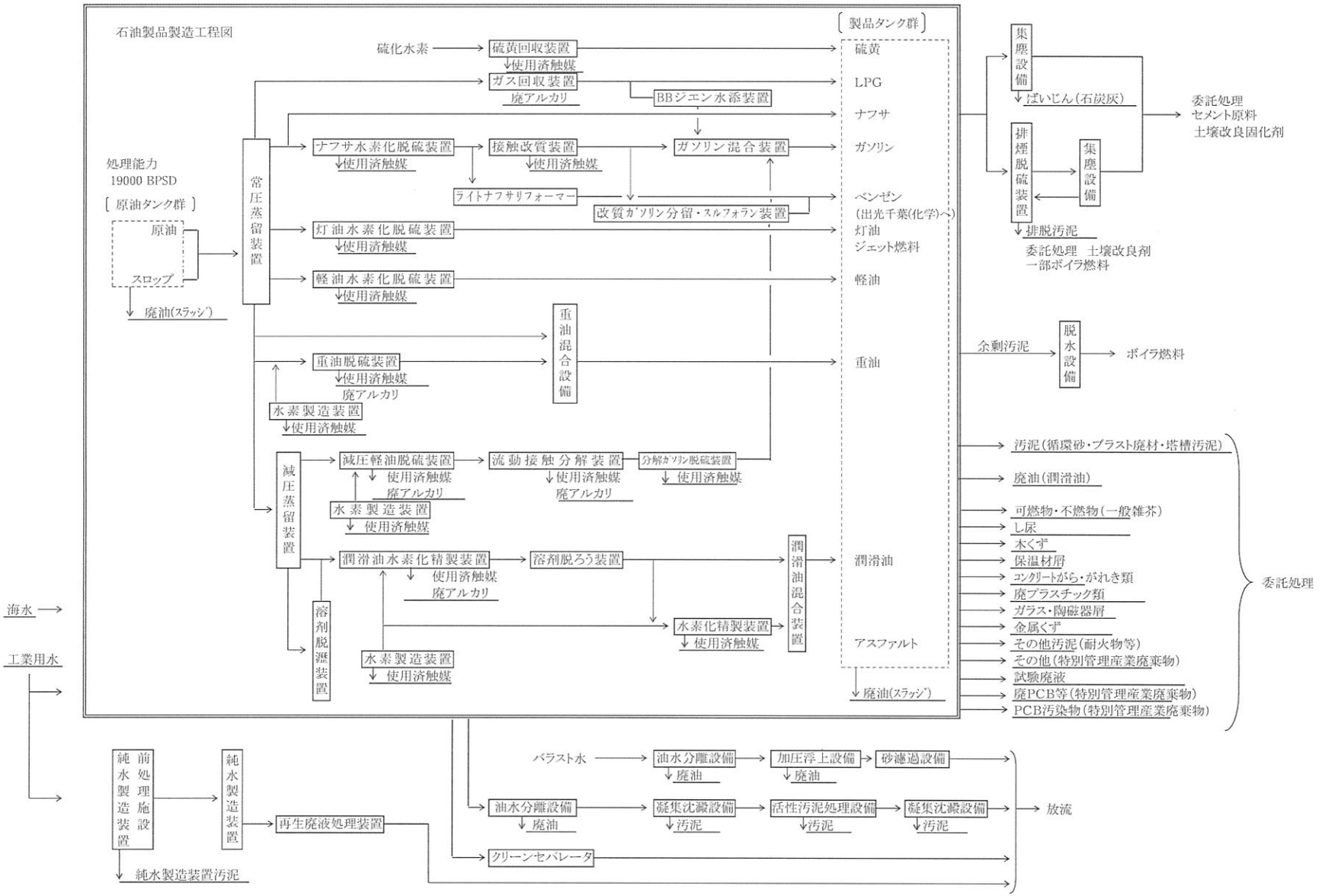
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

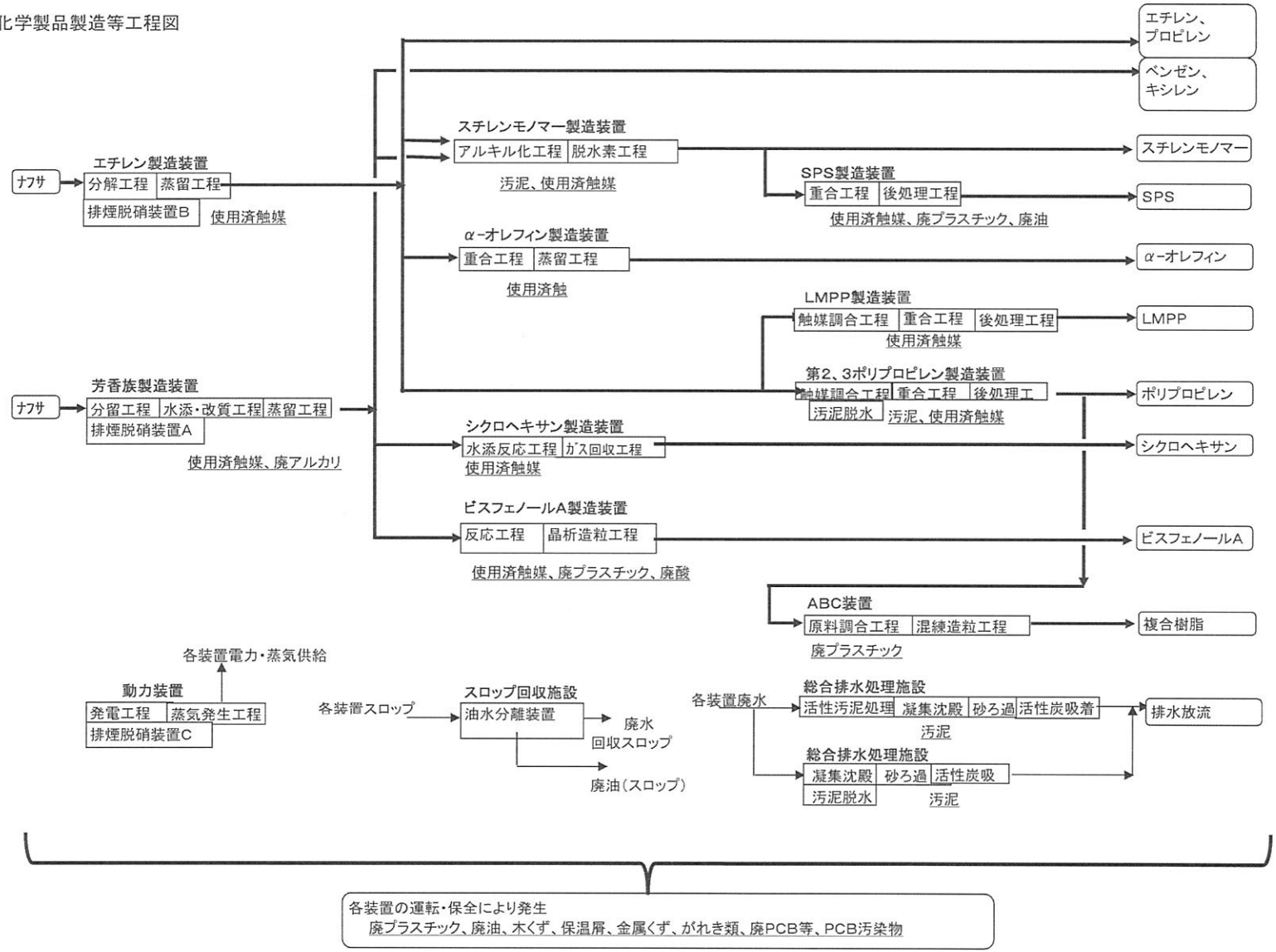
７　※欄は記入しないこと。

別紙1(1)　産業廃棄物の一連の処理の工程



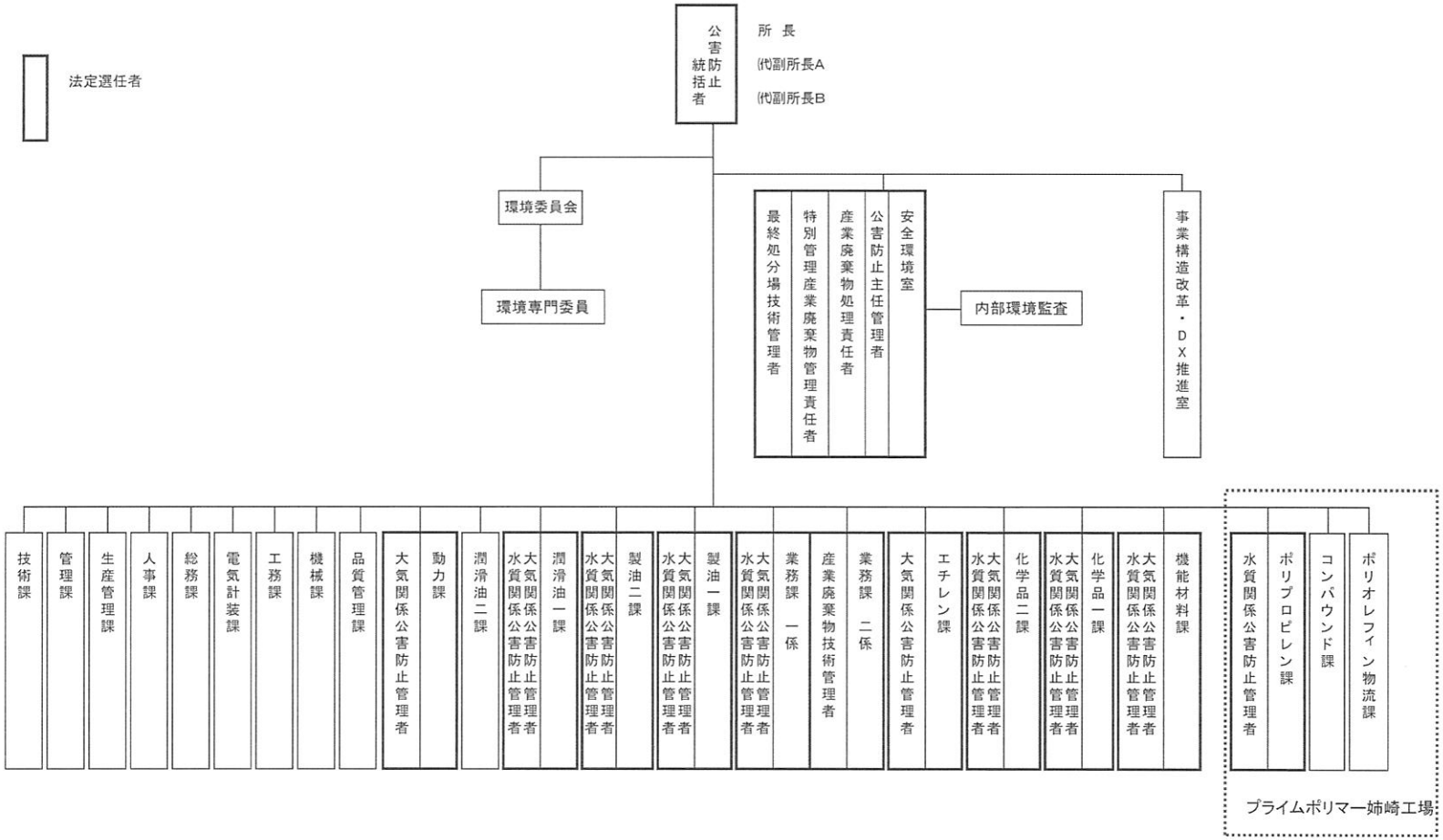
別紙1(2)　産業廃棄物の一連の処理の工程

化学製品製造等工程図



別紙1(3)

出光興産㈱千葉事業所環境管理組織表



別紙2（1）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥(有機性)	汚泥(無機性)	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	木くず
排出量	23541.6 t	6046.9 t	14539.0 t	1215.8 t	27.6 t	298.3 t	27.0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず（石綿含有）	がれき類	ばいじん	管理型混合廃棄物	複合材
排出量	7.2 t	29.8 t	0.0 t	0.0 t	39391.9 t	8.2 t	52.1 t
産業廃棄物の種類	廃酸（水銀含有）	—	—	—	—	—	—
排出量	0.9 t	—	—	—	—	—	—

（これまでに実施した取組）

再資源化や有価処理を拡大し、最終埋立処分量の削減を推進している。

令和５年度の最終埋立処分率実績は、0.01％で目標0.2％以下を達成した。

また、平成15年度以降ゼロエミッション（1％以下）を継続達成している。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
排出量	23000.0 t	6000.0 t	12000.0 t	100.0 t	30.0 t	250.0 t	12.0 t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず（石綿含有）	がれき類	ばいじん	管理型混合廃棄物	複合材
排出量	13.0 t	10.0 t	0.0 t	0.0 t	35000.0 t	0.0 t	0.0 t
産業廃棄物の種類	廃酸（水銀含有）	—	—	—	—	—	—
排出量	20.0 t	—	—	—	—	—	—

（今後実施する予定の取組）

環境管理計画に廃棄物最終埋立処分率の削減目標（0.2％以下）を設定し、取り組む。

別紙2(2)

<table>
<tr><td colspan="10">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="9">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機性汚泥</td><td>無機性汚泥</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>3480.2 t</td><td>1319.6 t</td><td>8309.0 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="9">（これまでに実施した取組）
余剰汚泥等を石炭ボイラー燃料として再生利用している。
各製造装置から発生するスロップ油を油水分離し、精製装置原料として回収している。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">② 計画</td><td colspan="9">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機性汚泥</td><td>無機性汚泥</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>3000.0 t</td><td>1100.0 t</td><td>7000.0 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="9">（今後実施する予定の取組）
施設の適正な維持管理に努める。</td></tr>
</table>

別紙2（3）

<table>
<tr><td colspan="10">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="8">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機性汚泥</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.0 t</td><td>0.0 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により
減量した産業廃棄物の量</td><td>17797.0 t</td><td>5734.2 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（これまでに実施した取組）
汚泥脱水機及び廃油脱水分離機の設備管理により高稼働率を維持した。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="8">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>有機性汚泥</td><td>廃油</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0.0 t</td><td>0.0 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量
する産業廃棄物の量</td><td>17000.0 t</td><td>4500.0 t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（今後実施する予定の取組）
現状と同じ。</td></tr>
</table>

別紙2（4）

<table>
<tr><td colspan="10">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="8">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（これまでに実施した取組）
事業所内の最終処分場に汚泥・がれき類を埋立処分してきたが、現在は埋立を行なっていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">② 計画</td><td colspan="8">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">（今後実施する予定の取組）
今後とも自ら埋立処分を行なう予定はない。</td></tr>
</table>

別紙2(5)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
全処理委託量	2264.4 t	4727.3 t	495.8 t	1215.8 t	27.6 t	298.3 t	27.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	2230.4 t	4015.4 t	493.4 t	1215.8 t	27.6 t	227.7 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	1717.4 t	4154.8 t	52.8 t	14.6 t	0.0 t	54.4 t	27.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	417.7 t	572.5 t	424.2 t	853.5 t	27.6 t	117.9 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	250.4 t	645.6 t	18.8 t	347.7 t	0.0 t	55.4 t	0.0 t

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず（石綿含有）	がれき類	ばいじん	管理型混合廃棄物	複合材
全処理委託量	7.2 t	29.8 t	0.0 t	0.0 t	39391.9 t	8.2 t	52.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t	1.1 t	0.0 t	0.0 t	14046.4 t	0.0 t	52.1 t
再生利用業者への処理委託量	1.4 t	26.1 t	0.0 t	0.0 t	37602.5 t	0.0 t	52.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	1.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物の種類	廃酸（水銀含有）						
全処理委託量	0.9 t	—	—	—	—	—	—
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	0.9 t	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	有機性汚泥	無機性汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず
全処理委託量	3000.0 t	4900.0 t	500.0 t	100.0 t	30.0 t	250.0 t	12.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	2987.9 t	2995.4 t	464.4 t	100.0 t	30.0 t	211.9 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	2416.4 t	4372.9 t	116.8 t	4.0 t	0.0 t	95.3 t	9.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	471.4 t	386.3 t	372.4 t	78.2 t	30.0 t	85.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	417.5 t	394.0 t	22.8 t	17.8 t	0.0 t	42.7 t	0.4 t

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	ガラス・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず（石綿含有）	がれき類	ばいじん	管理型混合廃棄物	複合材
全処理委託量	13.0 t	10.0 t	0.0 t	0.0 t	35000.0 t	0.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t	4.3 t	0.0 t	0.0 t	4514.3 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	1.5 t	2.2 t	0.0 t	0.0 t	34602.5 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	3.5 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物の種類	廃酸（水銀含有）						
全処理委託量	20.0 t	—	—	—	—	—	—
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	20.0 t	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	—	—	—	—	—	—

（今後実施する予定の取組）

再資源化処理先の複線化を推進し、再資源化処理の安定化を図る。

委託契約済の処理業者に、優良処理業者、認定熱回収業者の取得を継続して働きかける。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷　俊人　　様

提出者
住　所　千葉県市原市姉崎海岸2番地1
氏　名　出光興産株式会社　千葉事業所
執行役員所長　　井上　高志
電話番号　　0436－60－1714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	出光興産株式会社　千葉事業所 株式会社プライムポリマー姉崎工場
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸2番地1
事業の種類	大分類：製造業　中分類：石油製品・石炭製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

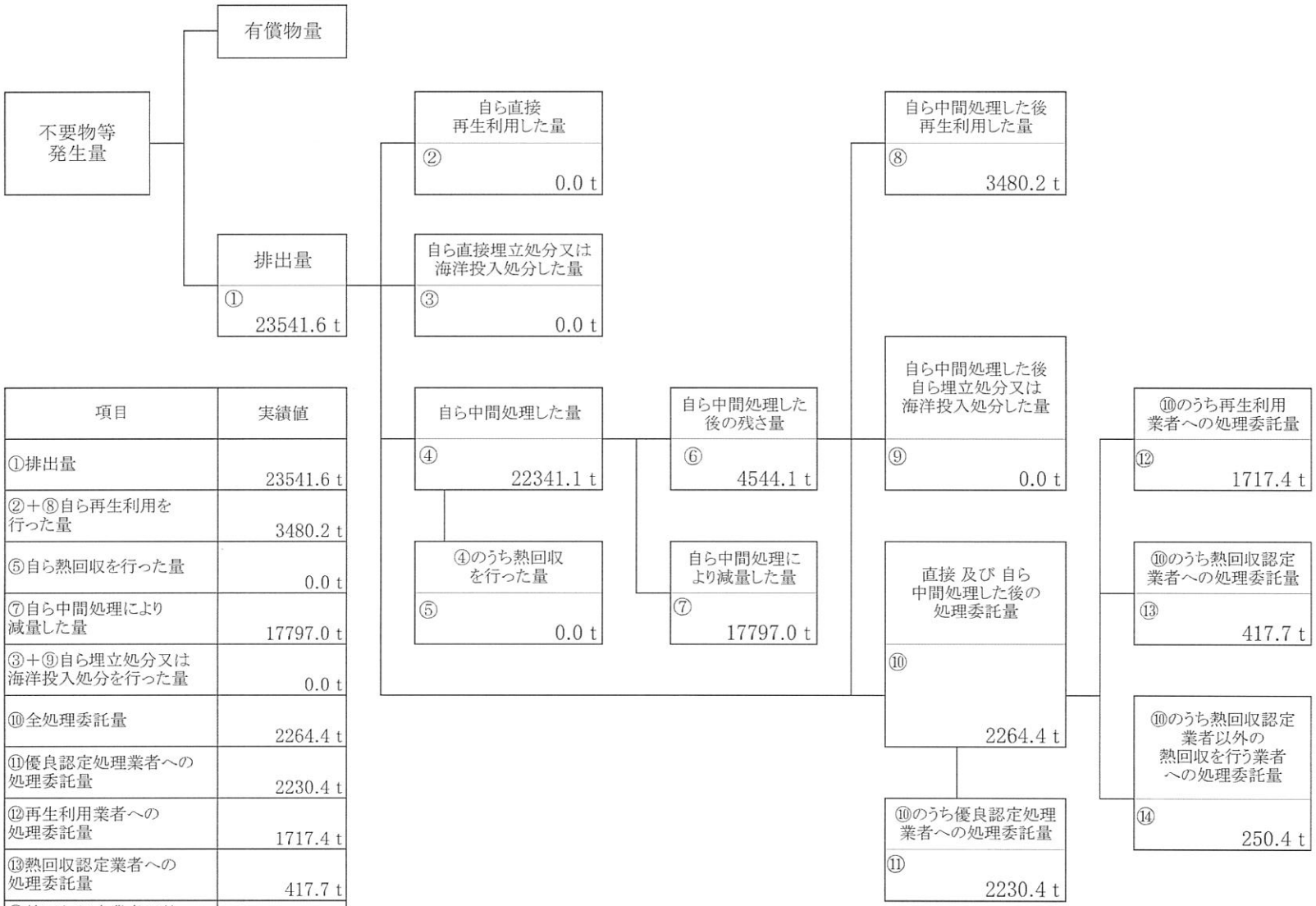
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	83958 t	全処理委託量	50458 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	14800 t	優良認定処理業者への処理委託量	28165 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	47707 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	18700 t	認定熱回収業者への処理委託量	2183 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1440 t
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥(有機性)　）

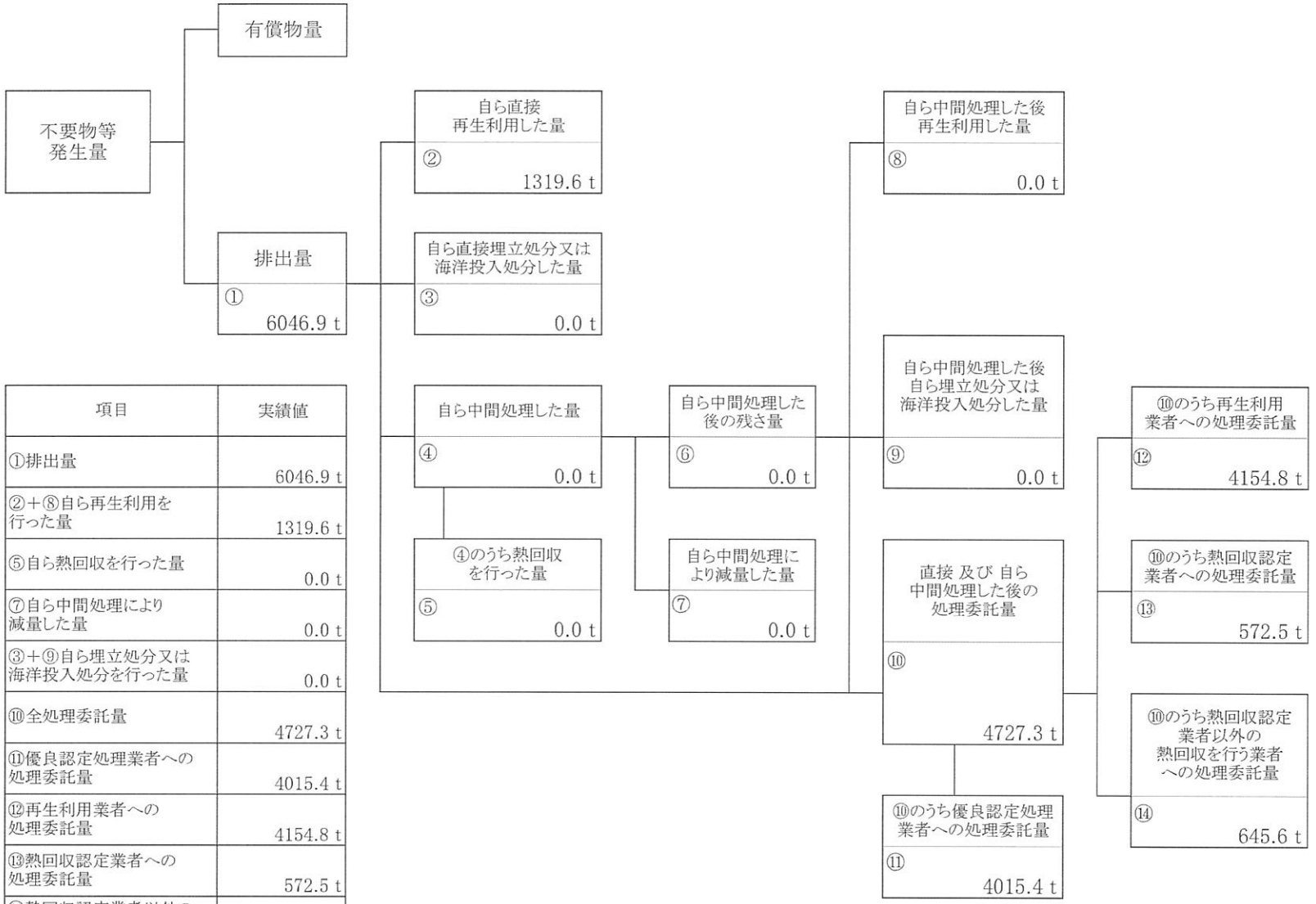


項目	実績値
①排出量	23541.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	3480.2 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	17797.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2264.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2230.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1717.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	417.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	250.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　汚泥(無機性)　）

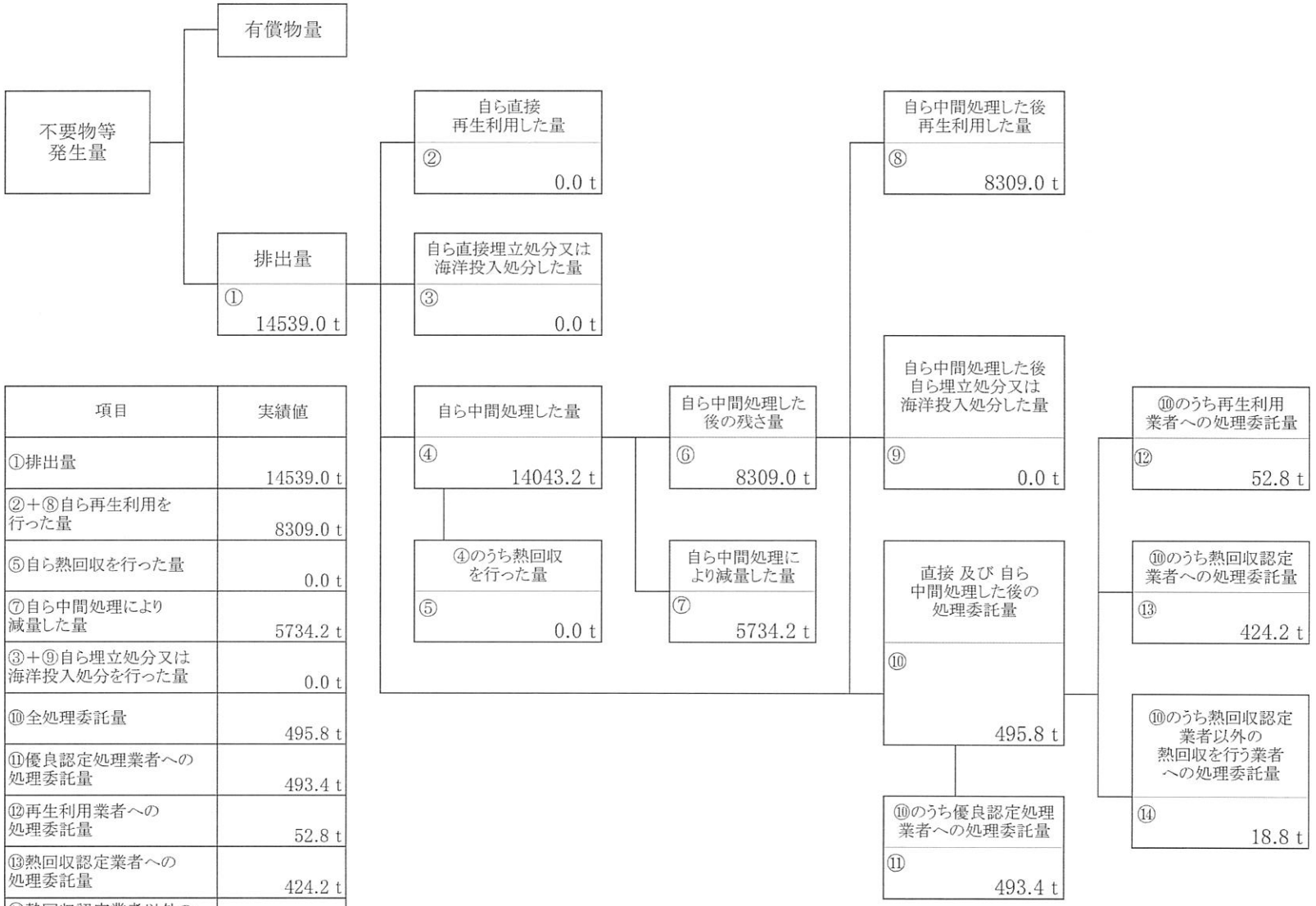


項目	実績値
①排出量	6046.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	1319.6 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4727.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4015.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4154.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	572.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	645.6 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃油　）

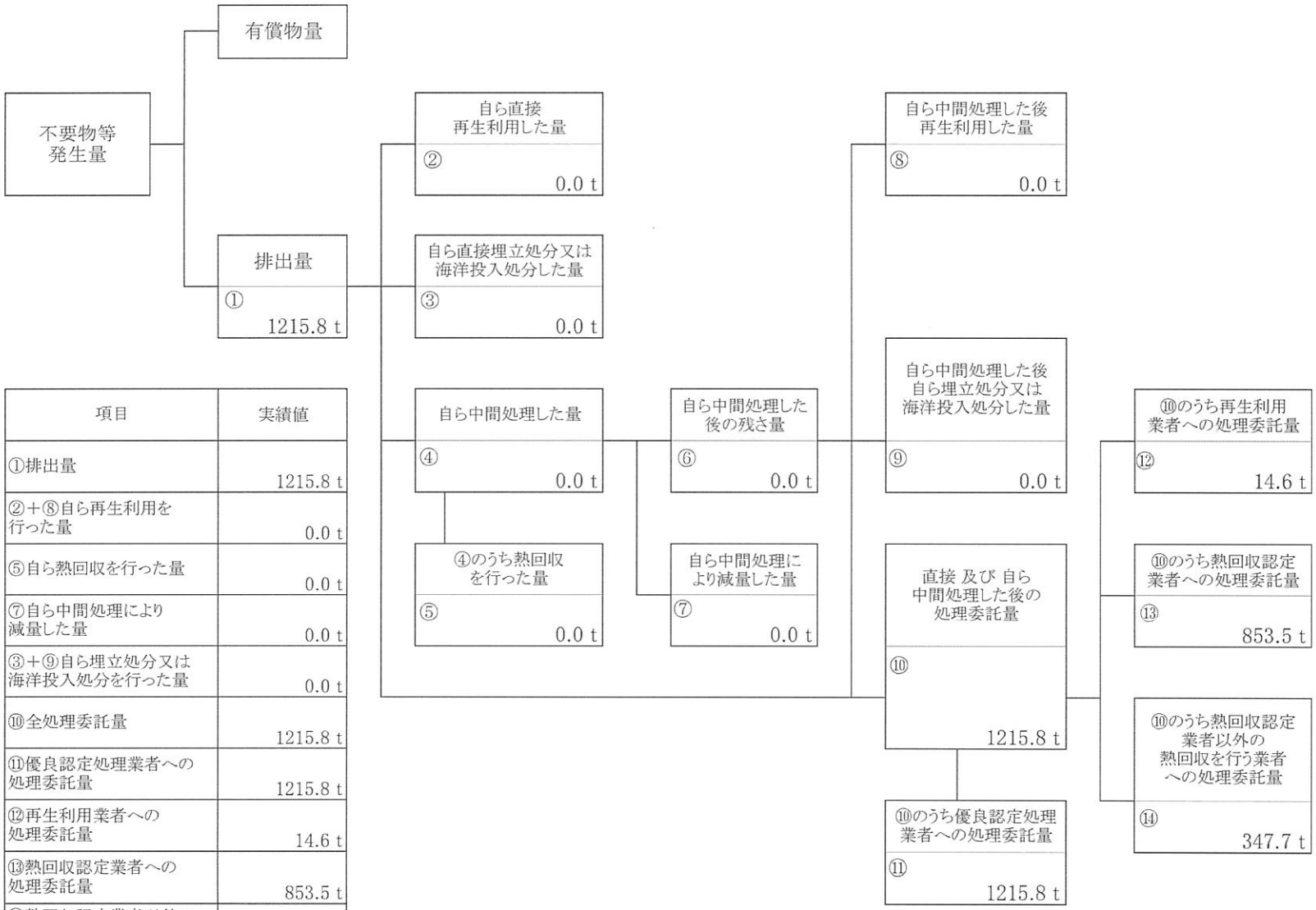


項目	実績値
①排出量	14539.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	8309.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	5734.2 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	495.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	493.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	52.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	424.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ　　）

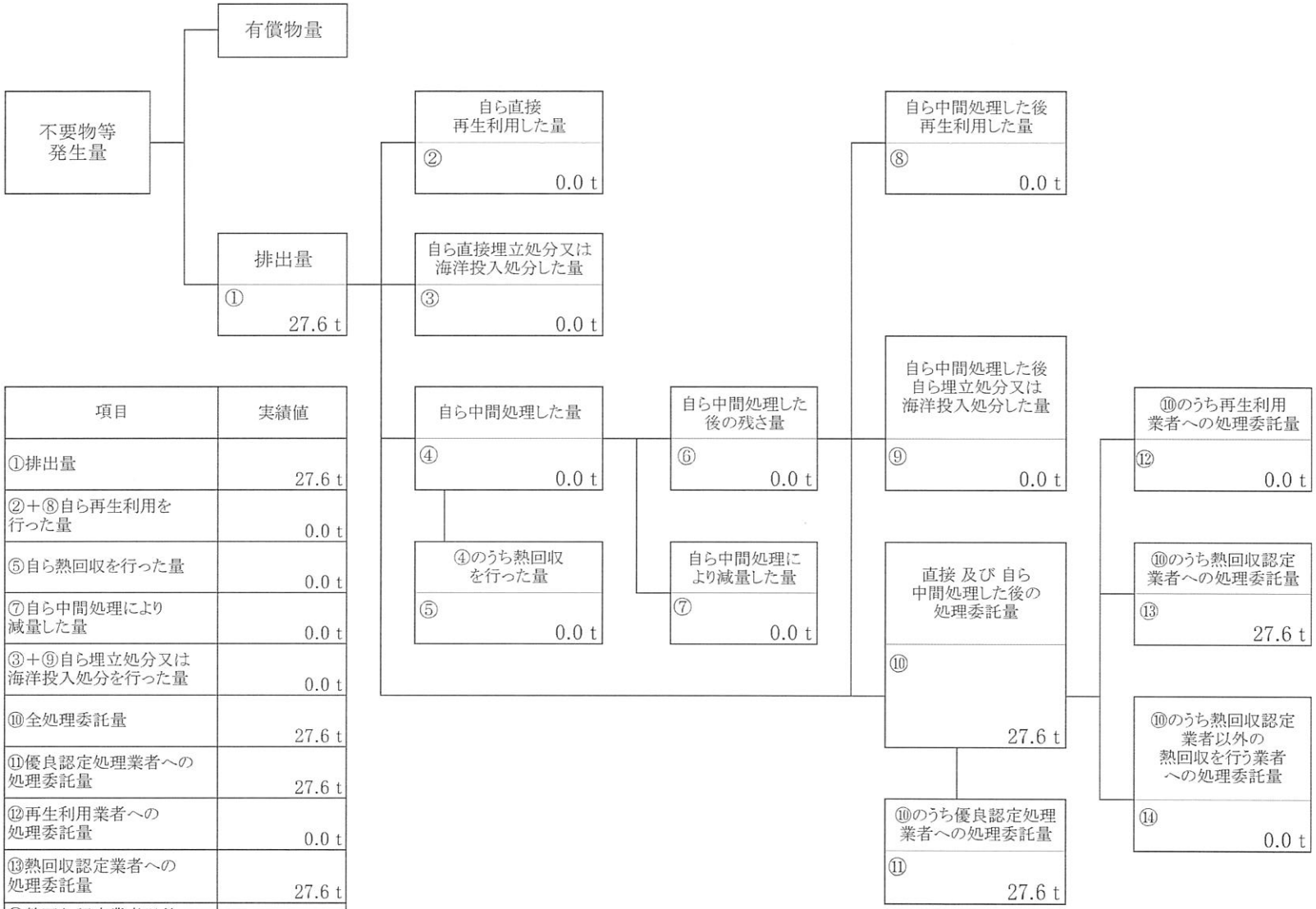


項目	実績値
①排出量	1215.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1215.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1215.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	853.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	347.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　廃酸　　）

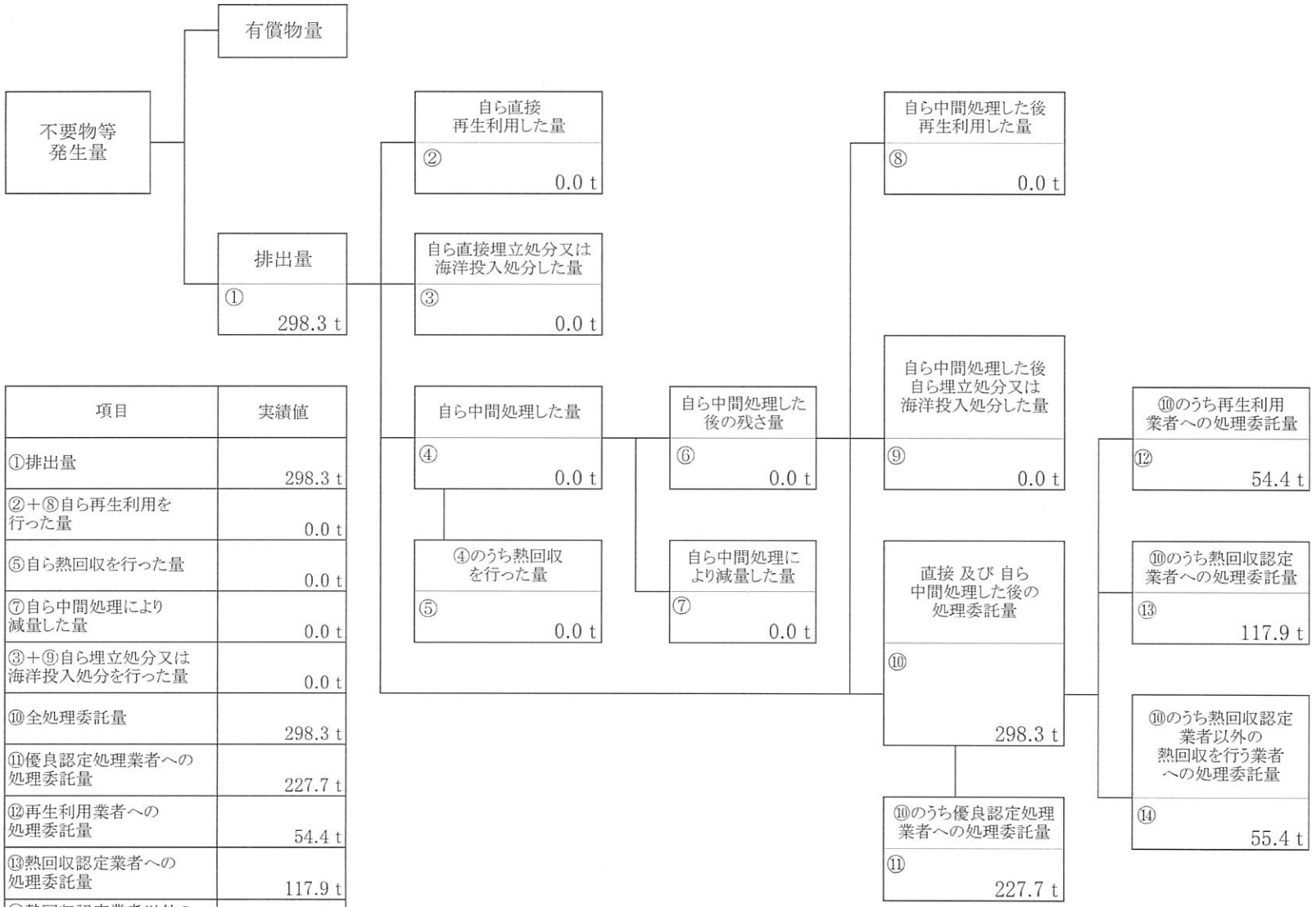


項目	実績値
①排出量	27.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	27.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

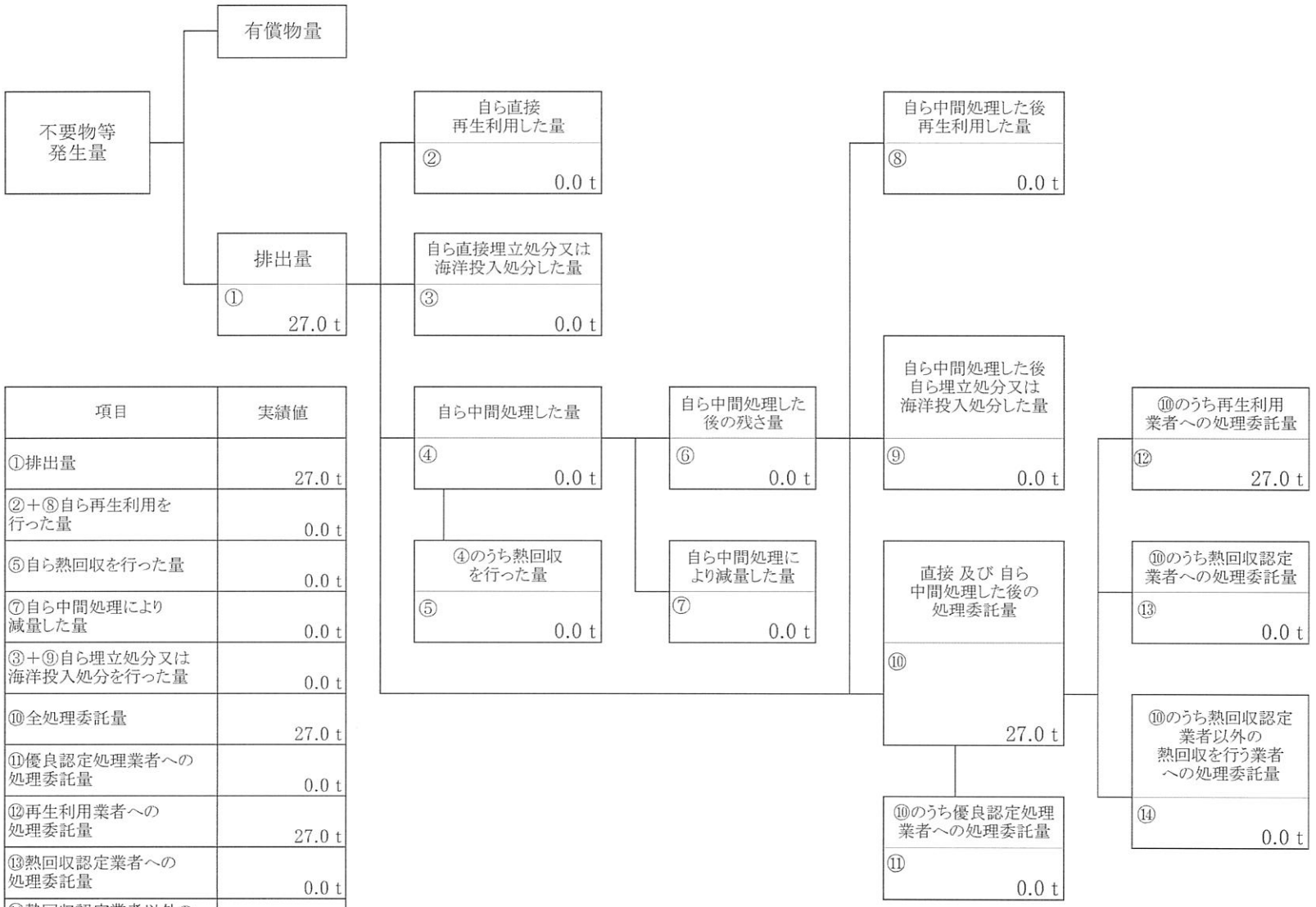


項目	実績値
①排出量	298.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	298.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	227.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	54.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	117.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	55.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　木くず　　）

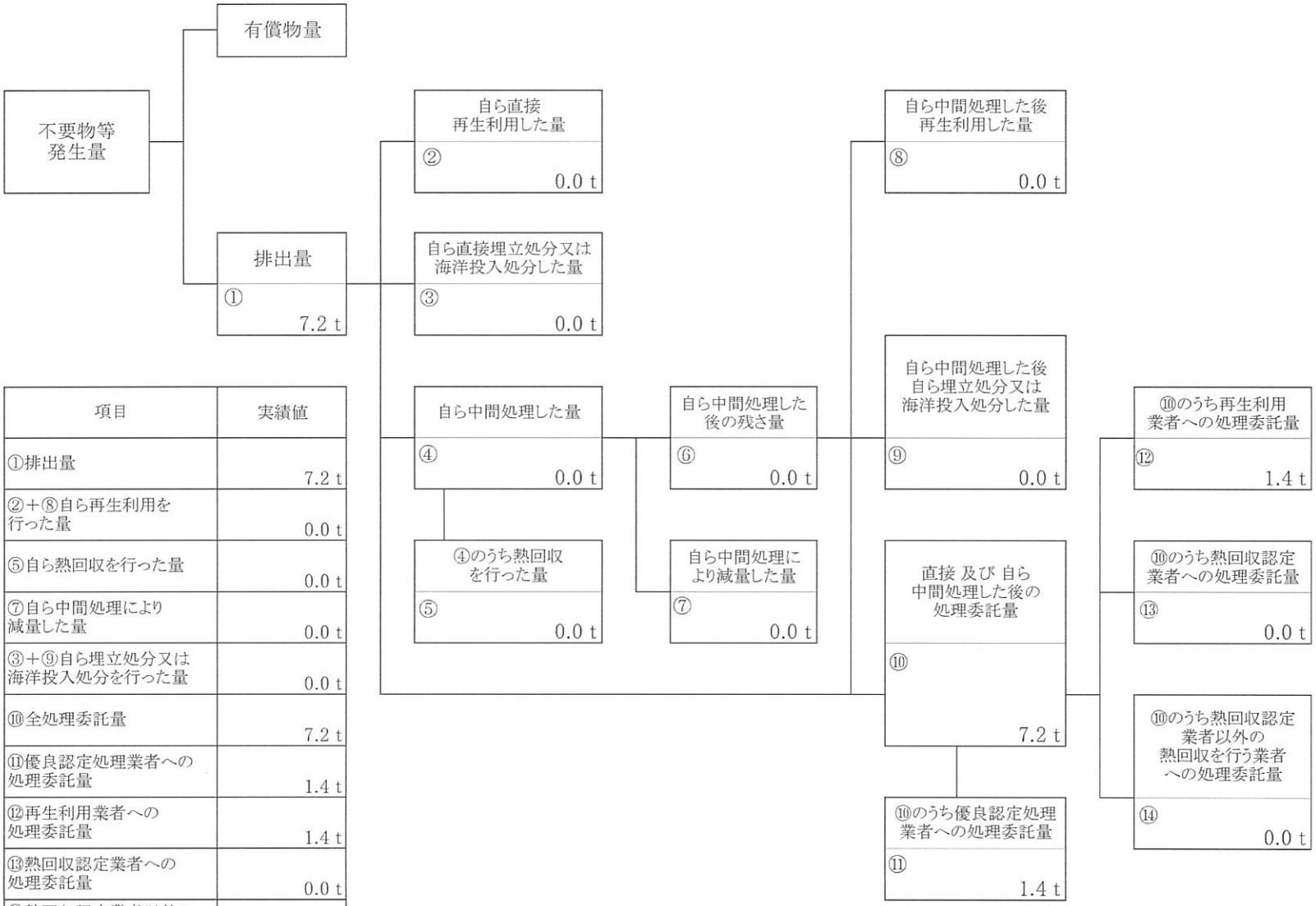


項目	実績値
①排出量	27.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	27.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　金属くず　　）

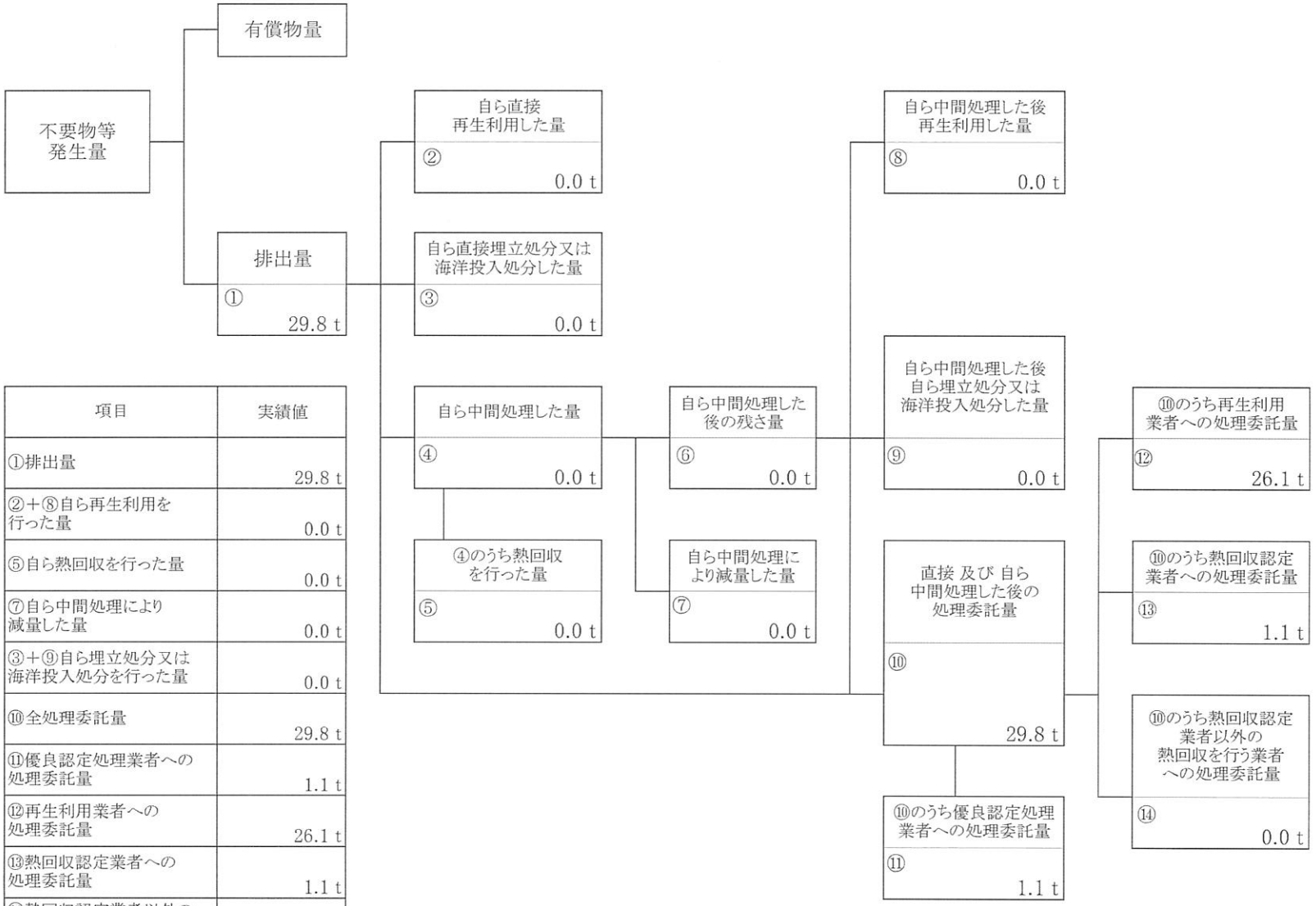


項目	実績値
①排出量	7.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

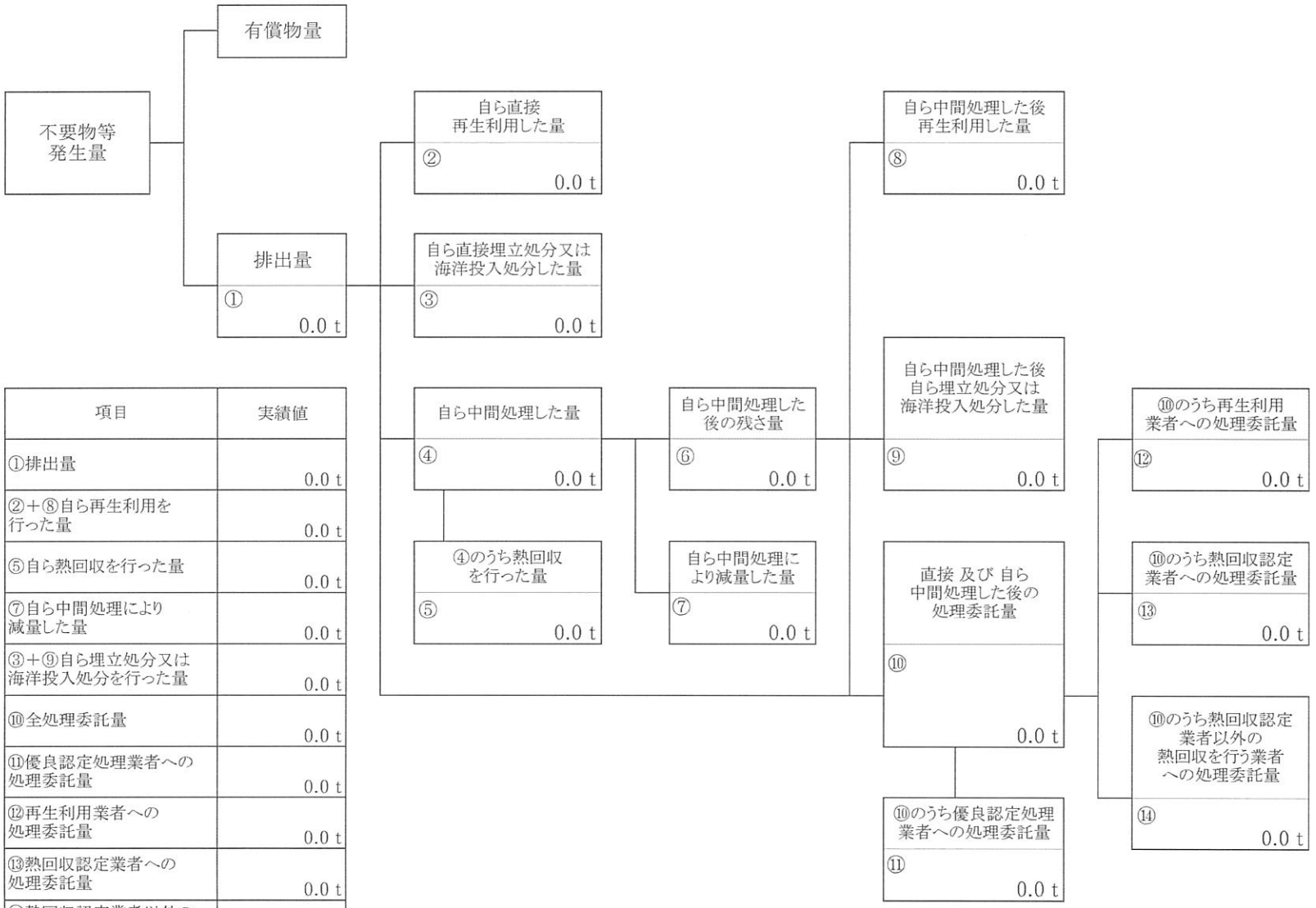


項目	実績値
①排出量	29.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず（非飛散性石綿含有）　）

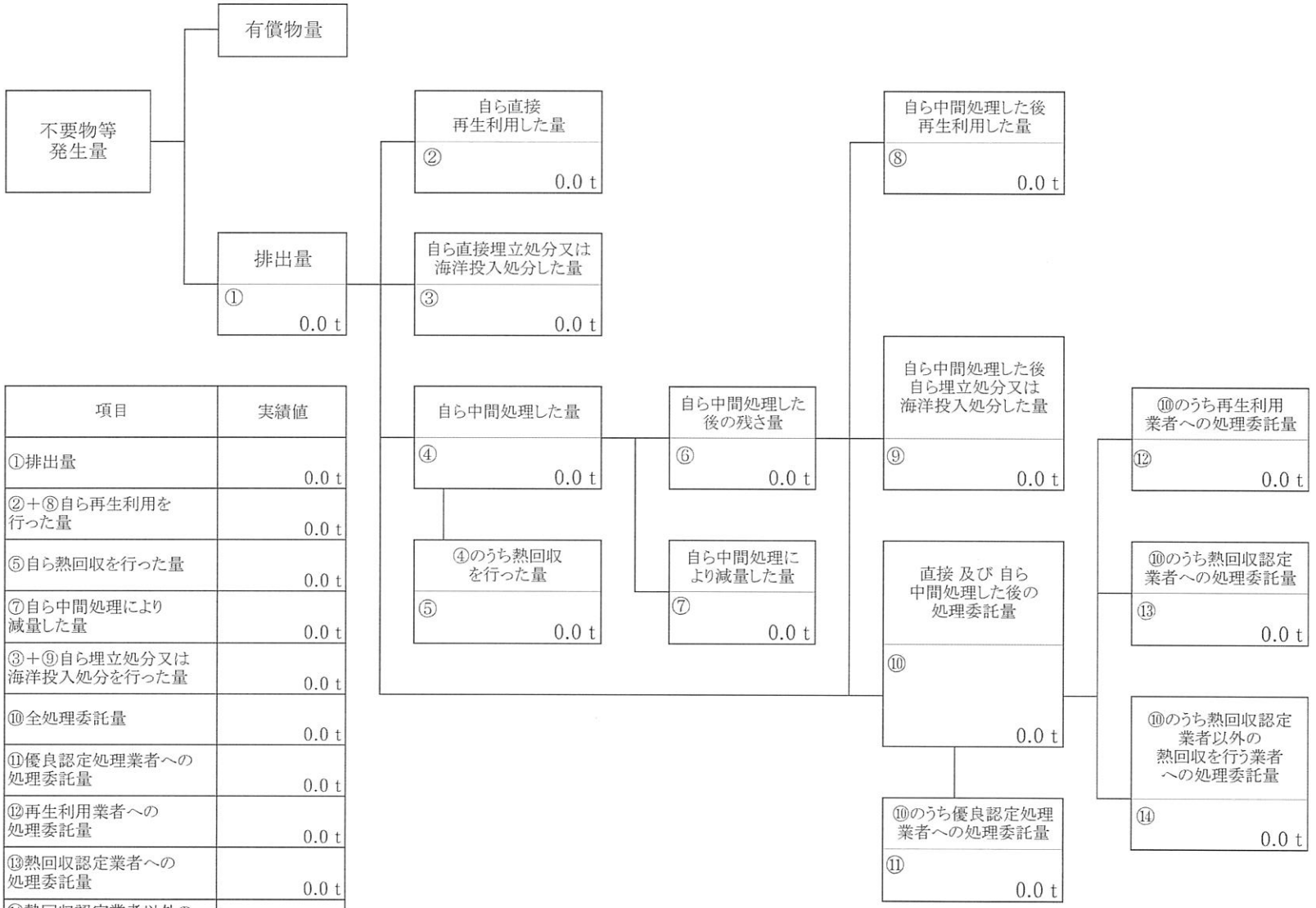


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　がれき類　　）

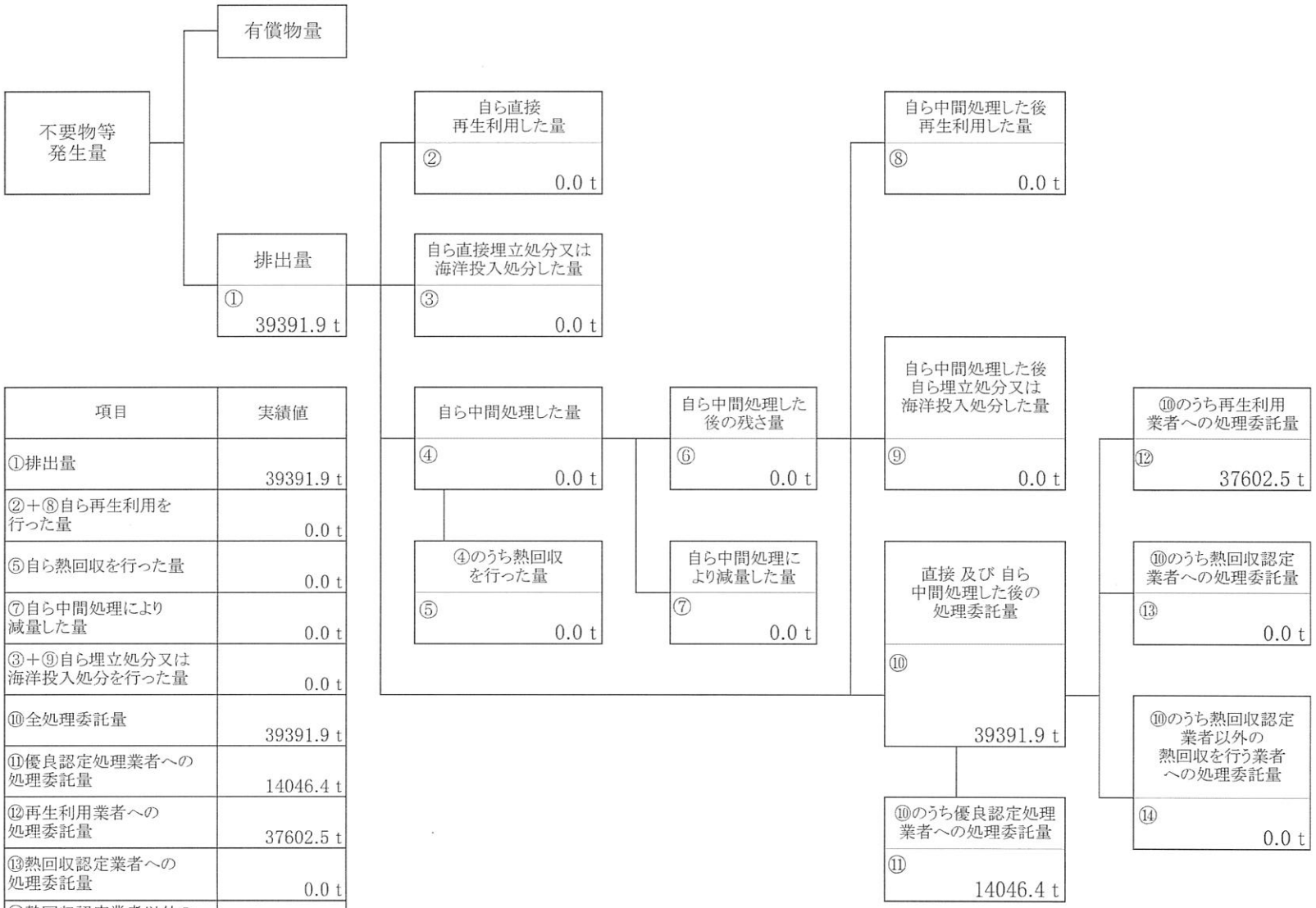


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　ばいじん　　）

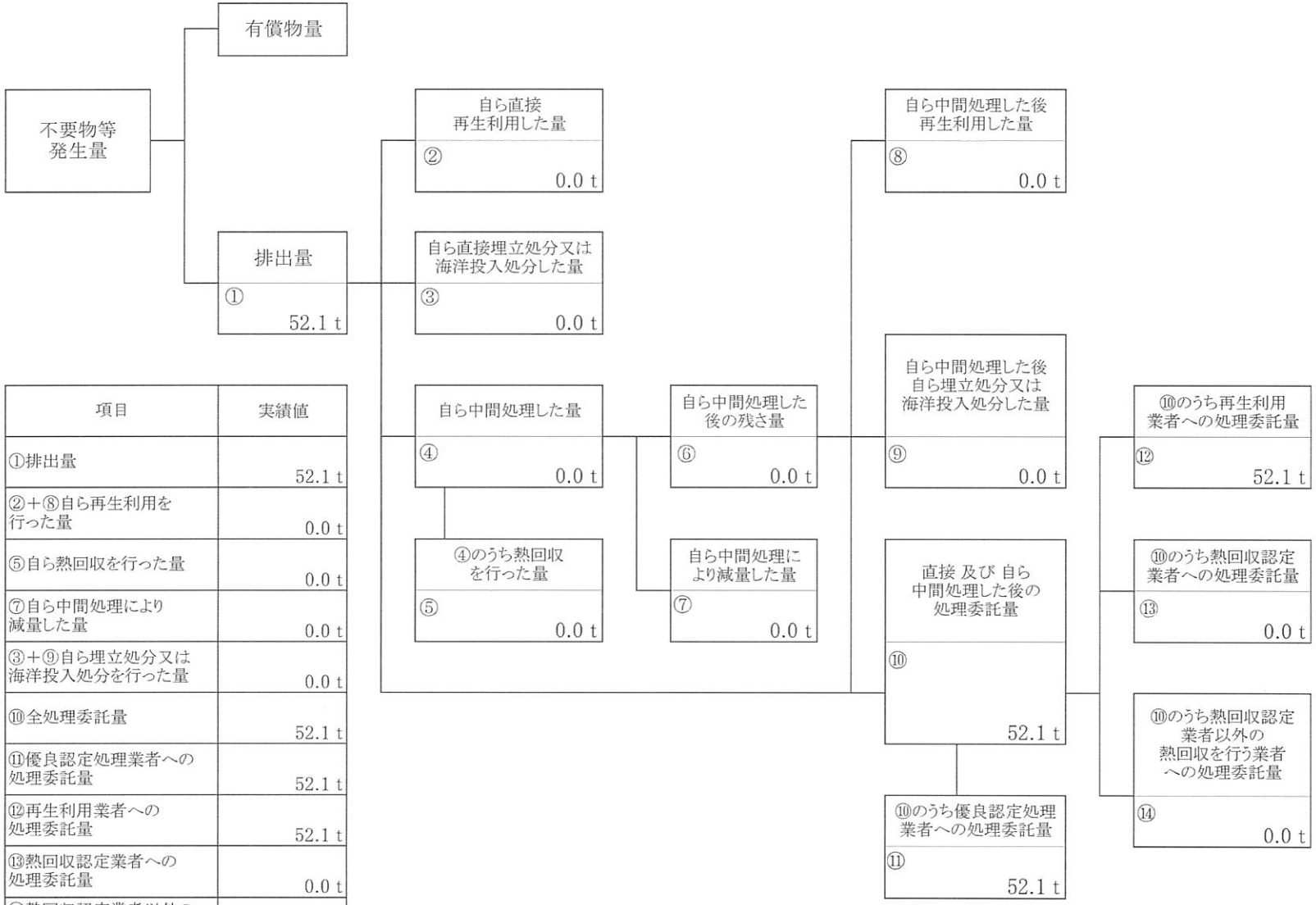


項目	実績値
①排出量	39391.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	39391.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14046.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	37602.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　　複合材　　）

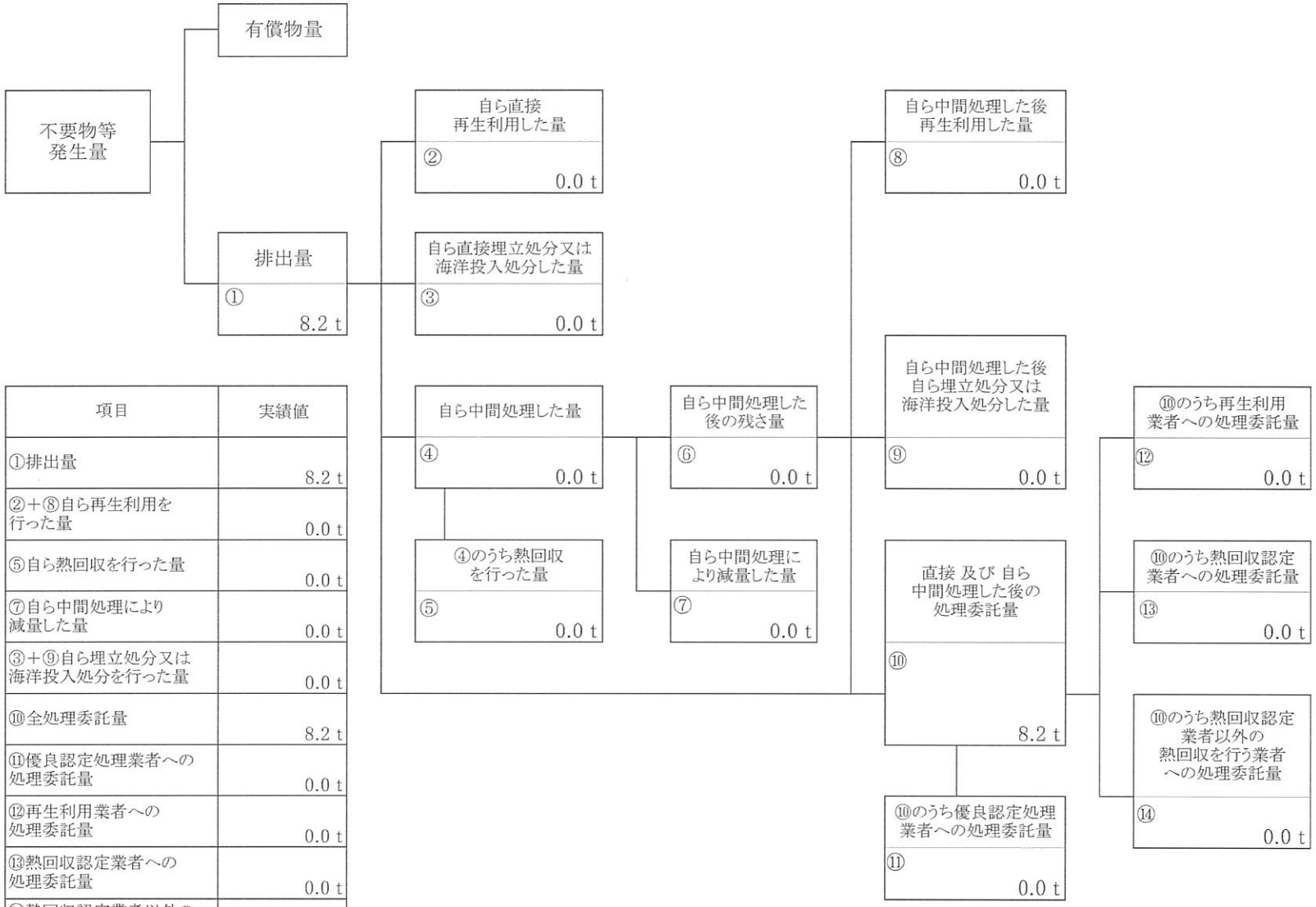


項目	実績値
①排出量	52.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	52.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	52.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　管理型混合廃棄物　）

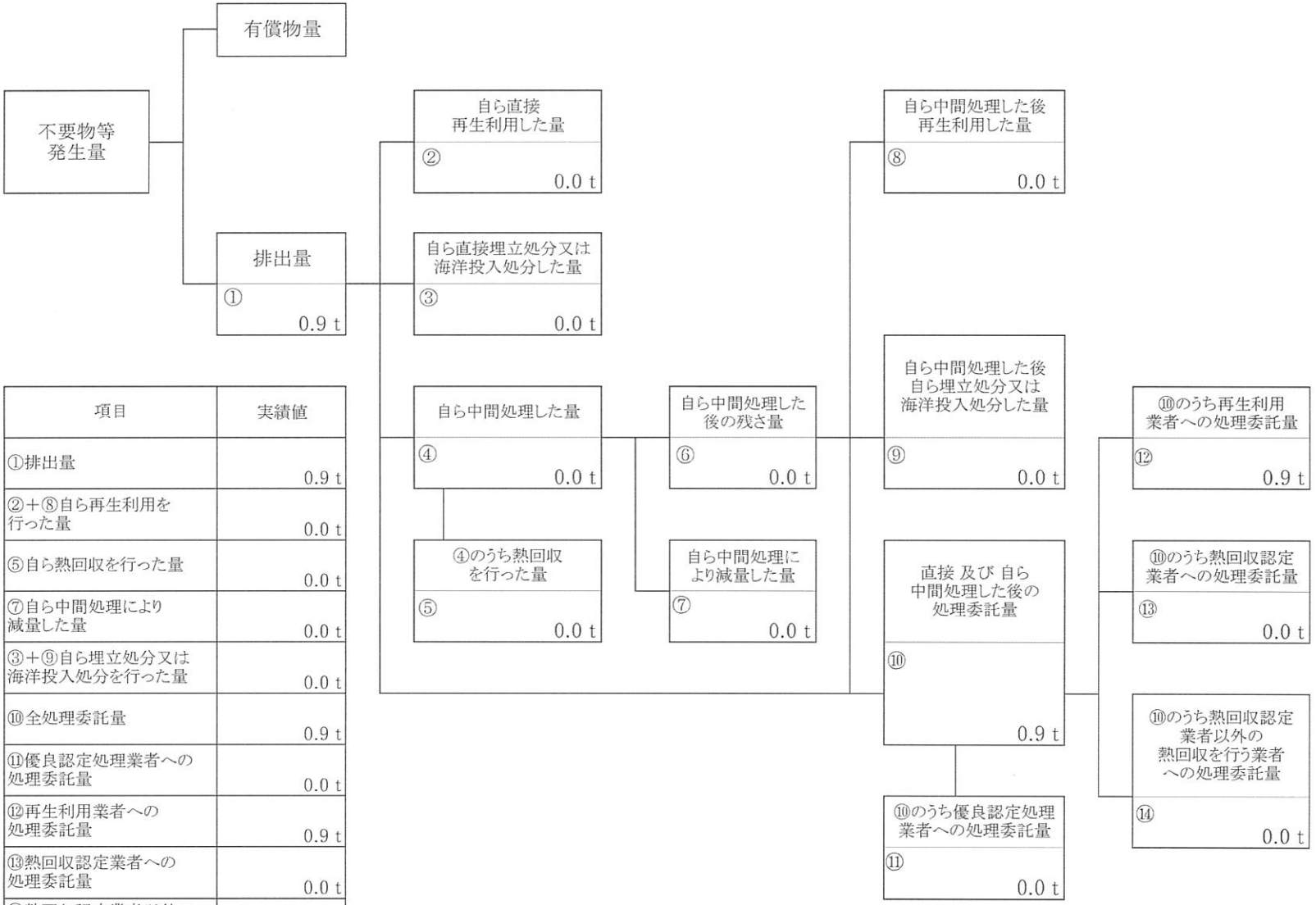


項目	実績値
①排出量	8.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃酸(水銀含有)　）



項目	実績値
①排出量	0.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月 28日

千葉県知事
熊谷　俊人　　様

提出者

住　所　　千葉県市原市姉崎海岸２番地１

氏　名　　出光興産株式会社　千葉事業所

執行役員所長　　井上　高志

電話番号　　０４３６－６０－１７１４

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	出光興産株式会社　千葉事業所 株式会社プライムポリマー姉崎工場
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸２番地１
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　１０，８６７億円
③従業員数	１，３９２人（正社員９７２人、常勤関係職員４２０人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１（１）、（２）のとおり

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙１（３）のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（　令和５　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	以下、別紙2(1)のとおり	
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産業廃棄物の分別、保管等に関する事業所規程類を制定し、管理している。 また、工事等で発生する廃棄物の分別を推進するために、協力会社への協力を要請している。 保全にて生じる金属くず及び製造工程にて生じる廃プラスチックは、分別後、売却している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場環境監査を実施し、廃棄物の保管状況及び表示、分別などの推進を図る。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

今後とも、特別管理産業廃棄物を再利用する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和５ 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組 ）

今後とも、熱回収を行う予定はない。</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

該当なし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

今後とも、自ら埋立処分を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　令和５　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		以下、別紙2(2)のとおり
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（　令和５　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">1437.5　t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストは導入済みで、ＰＣＢ以外の廃棄物は、全て電子マニフェストを発行した。今後も継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

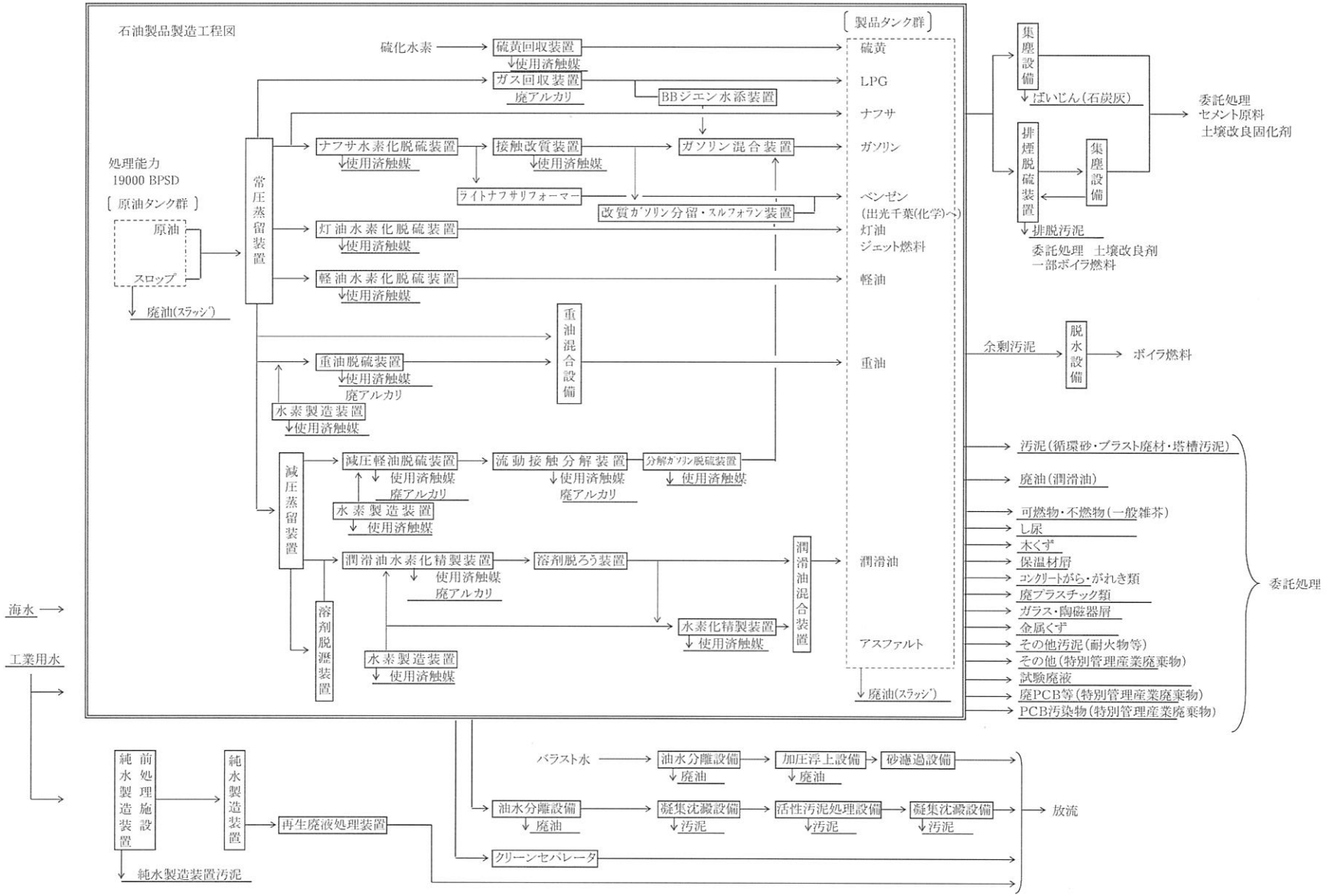
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

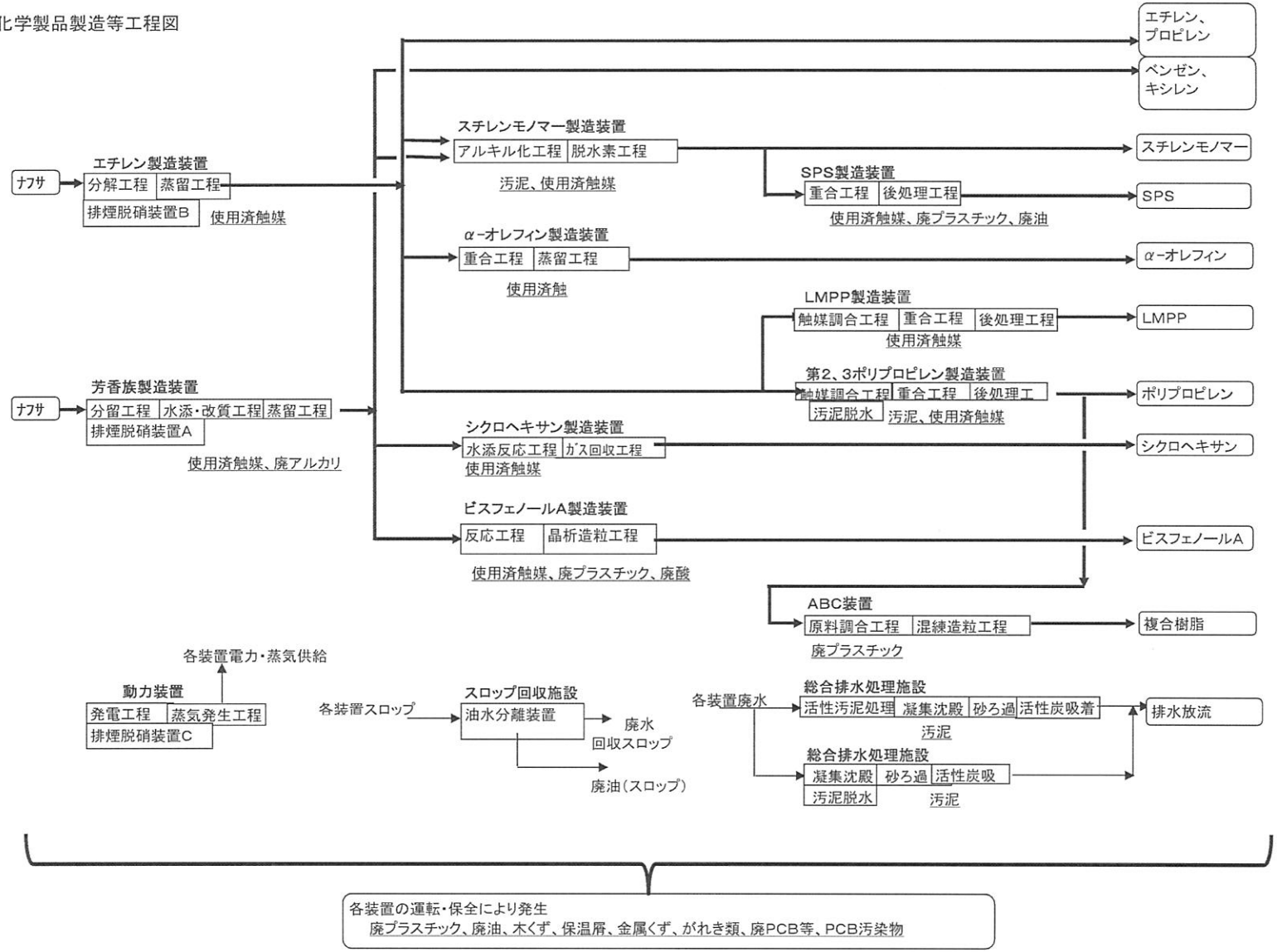
９　※欄は記入しないこと。

別紙1(1)　産業廃棄物の一連の処理の工程



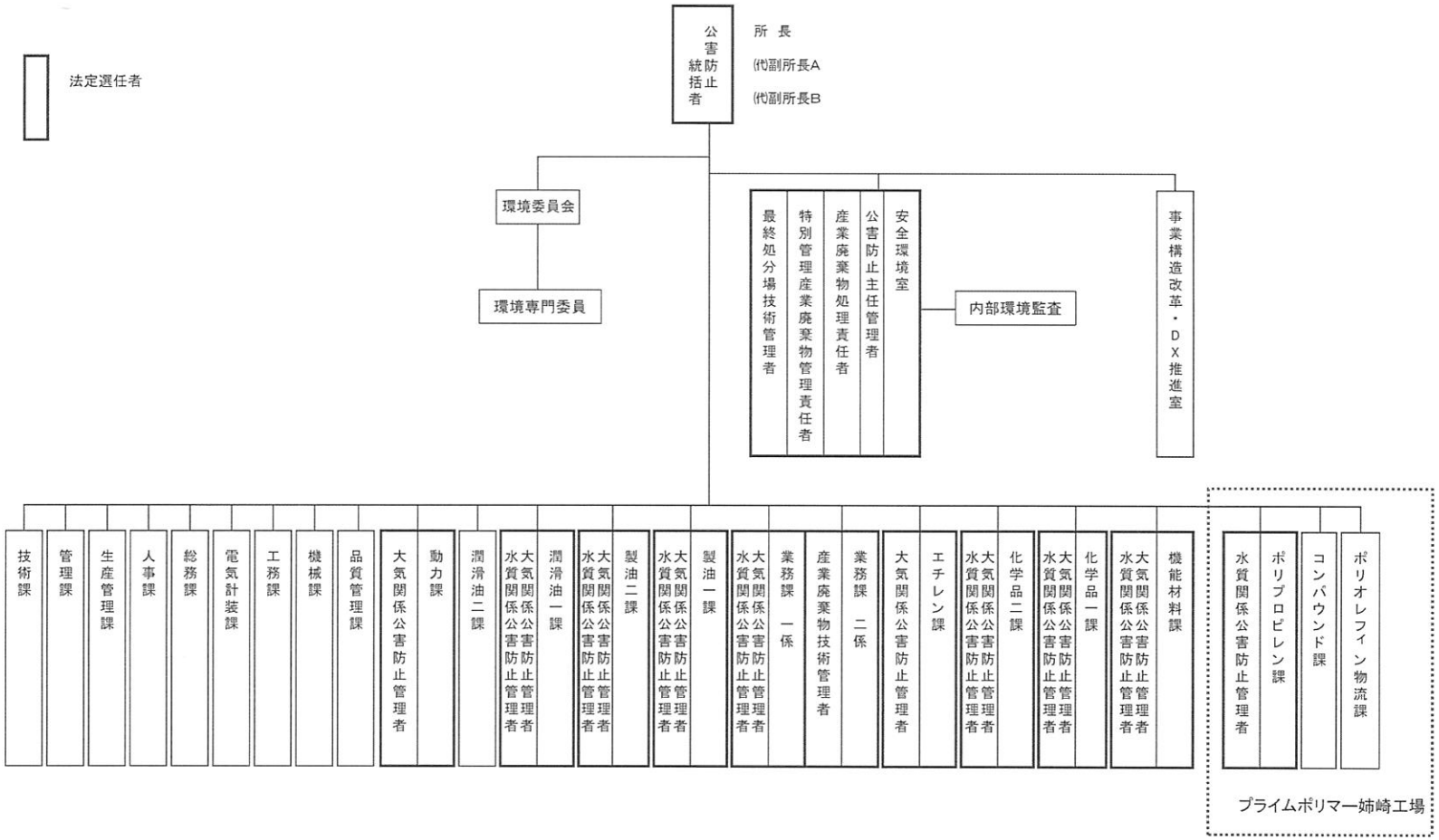
別紙1(2)　産業廃棄物の一連の処理の工程

化学製品製造等工程図



別紙1(3)

出光興産㈱千葉事業所環境管理組織表



別紙2（1）

<table>
<tr><td colspan="9">特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="5">① 現状</td><td colspan="8">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃石綿等</td><td>燃えやすい廃油</td><td>燃えやすい廃油(有害)</td><td>廃アルカリ</td><td>汚泥（有害）</td><td>廃アルカリ(有害)</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.0ｔ</td><td>368.6ｔ</td><td>2.5ｔ</td><td>615.3ｔ</td><td>22.4ｔ</td><td>399.2ｔ</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（有害）</td><td>感染性廃棄物</td><td>ＰＣＢ等</td><td>ＰＣＢ汚染物</td><td>廃酸</td><td></td><td>―</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.0ｔ</td><td>0.1ｔ</td><td>18.6ｔ</td><td>84.3ｔ</td><td>29.5ｔ</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="8">（これまでに実施した取組）
再資源化処理を拡大やプロセス内処理による排出抑制を行い、最終埋立処分量の削減を推進している。
令和５年度最終埋立処分率実績は0.01％で目標0.2％以下を達成した。
また、平成15年度以降ゼロエミッション（1％以下）を継続している。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">② 計画</td><td colspan="8">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃石綿等</td><td>燃えやすい廃油</td><td>燃えやすい廃油(有害)</td><td>廃アルカリ</td><td>汚泥(有害)</td><td>廃アルカリ(有害)</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.0ｔ</td><td>400.0ｔ</td><td>3.0ｔ</td><td>250.0ｔ</td><td>20.0ｔ</td><td>400.0ｔ</td><td>0.0ｔ</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（有害）</td><td>感染性廃棄物</td><td>ＰＣＢ等</td><td>ＰＣＢ汚染物</td><td>廃酸</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>排出量</td><td>0.0ｔ</td><td>0.1ｔ</td><td>7.0ｔ</td><td>35.0ｔ</td><td>0.0ｔ</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="8">（今後実施する予定の取組）
環境管理計画に廃棄物最終埋立処分率の削減目標（0.2％以下）を設定し、取り組む。</td></tr>
</table>

別紙2（2）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	燃えやすい廃油	燃えやすい廃油(有害)	廃アルカリ	汚泥（有害）	廃アルカリ(有害)	廃油（有害）
全処理委託量	0.0 t	368.6 t	2.5 t	615.3 t	22.4 t	399.2 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	368.6 t	2.5 t	615.3 t	22.4 t	399.2 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	1.8 t	0.0 t	7.9 t	21.8 t	0.1 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	361.9 t	2.5 t	607.3 t	0.5 t	340.2 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	4.9 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	58.9 t	0.0 t

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	感染性廃棄物	ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	廃酸	—	—
全処理委託量	0.0 t	0.1 t	18.6 t	84.3 t	29.5 t	—	—
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.1 t	18.6 t	84.3 t	29.5 t	—	—
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	29.5 t	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	18.6 t	9.5 t	0.0 t	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.1 t	0.0 t	74.8 t	0.0 t	—	—

（これまでに実施した取組）

試験用試薬類は汚泥（有害）や廃アルカリ（有害）等として適正に処理している。

廃油については一部の処理を熱回収業者ではなく、再生利用業者に委託している。

② 計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿等	燃えやすい廃油	燃えやすい廃油(有害)	廃アルカリ	汚泥(有害)	廃アルカリ(有害)	廃油（有害）
全処理委託量	0.0 t	400.0 t	3.0 t	250.0 t	20.0 t	400.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	243.6 t	3.0 t	250.0 t	20.0 t	400.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	78.9 t	0.0 t	0.8 t	9.7 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	157.0 t	3.0 t	246.3 t	10.2 t	370.3 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	7.7 t	0.0 t	2.9 t	0.0 t	25.5 t	0.0 t

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（有害）	感染性廃棄物	ＰＣＢ等	ＰＣＢ汚染物	廃酸	—	—
全処理委託量	0.0 t	0.1 t	7.0 t	35.0 t	0.0 t	—	—
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.08 t	3.50 t	78.75 t	0.00 t	—	—
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	1.0 t	0.0 t	—	—
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.1 t	3.5 t	1.0 t	0.0 t	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	5.3 t	25.3 t	0.0 t	—	—

（今後実施する予定の取組）

再資源化処理先の複線化を推進し、再資源化処理の安定化を図る。

廃棄物ゼロエミッション（発生量比0.2%以下）を継続し、更なる埋立処分量の削減に努める。

ＰＣＢ廃棄物の法定期限内処理に向けた取組みを推進する。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷　俊人　　様

提出者
住　所　千葉県市原市姉崎海岸2番地1
氏　名　出光興産株式会社　千葉事業所
執行役員所長　　井上　高志
電話番号　　0436－60－1714

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	出光興産株式会社　千葉事業所 株式会社プライムポリマー姉崎工場
事業場の所在地	千葉県市原市姉崎海岸2番地1
事業の種類	大分類:製造業　中分類:石油製品・石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	654.4 t	全処理委託量	654.4 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	654.4 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	147.2 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	485.3 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	146.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	1208.0 t
	前年度	1437.5 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

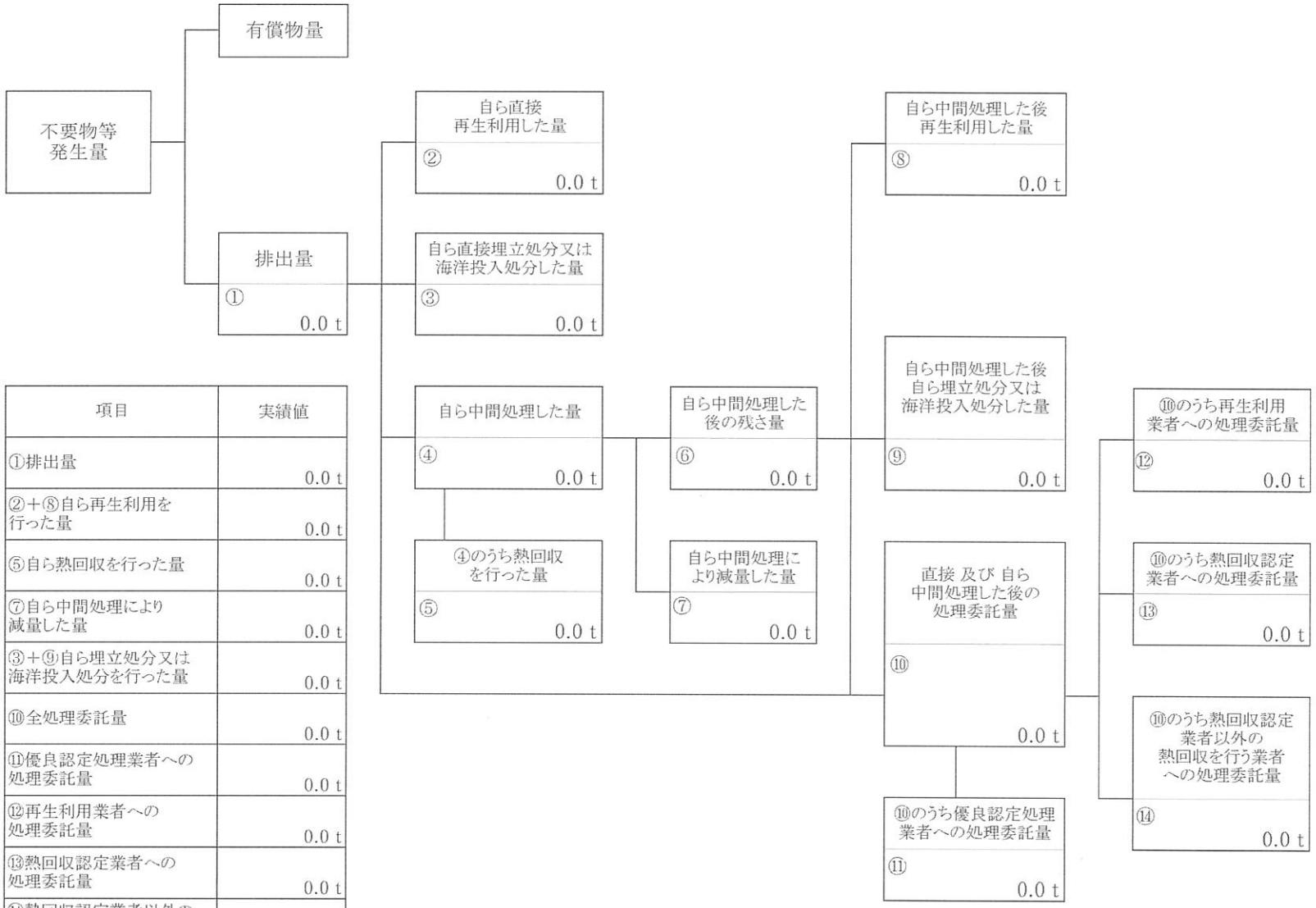
電子情報処理組織の使用（電子マニフェストシステム）は2013年4月導入、運用中

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃石綿等　）

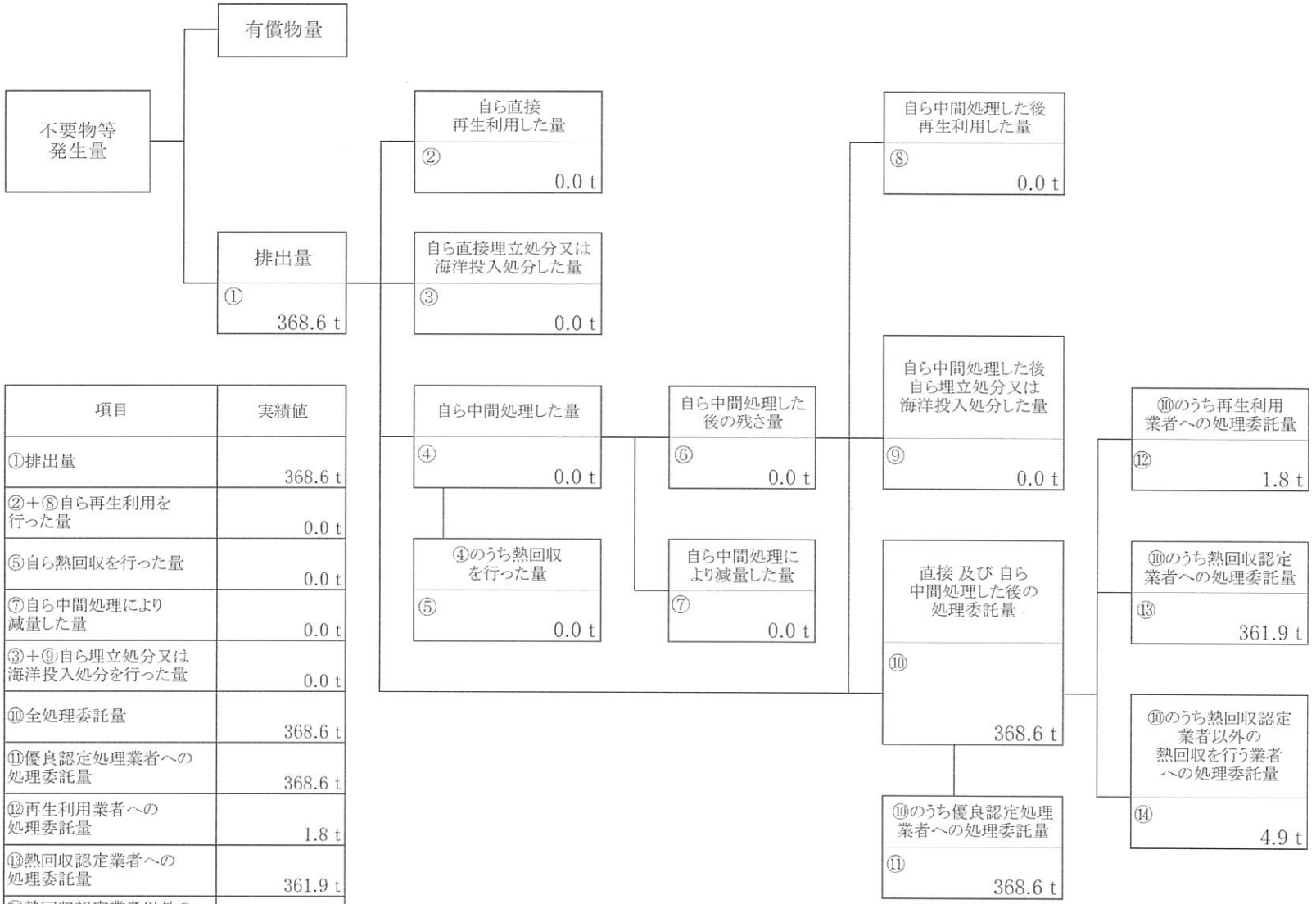


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　燃えやすい廃油　）

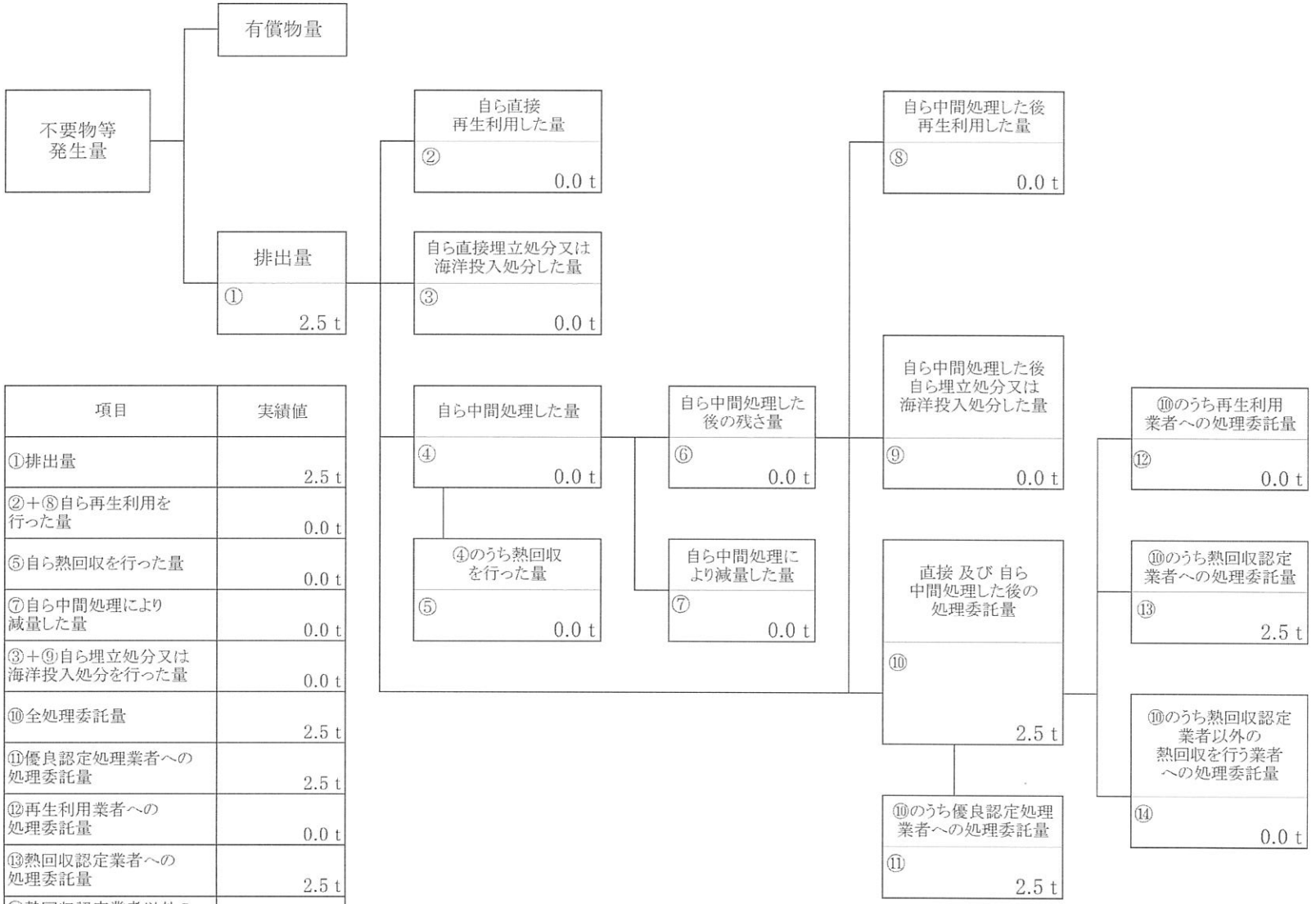


項目	実績値
①排出量	368.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	368.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	368.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	361.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　燃えやすい廃油(有害)　）

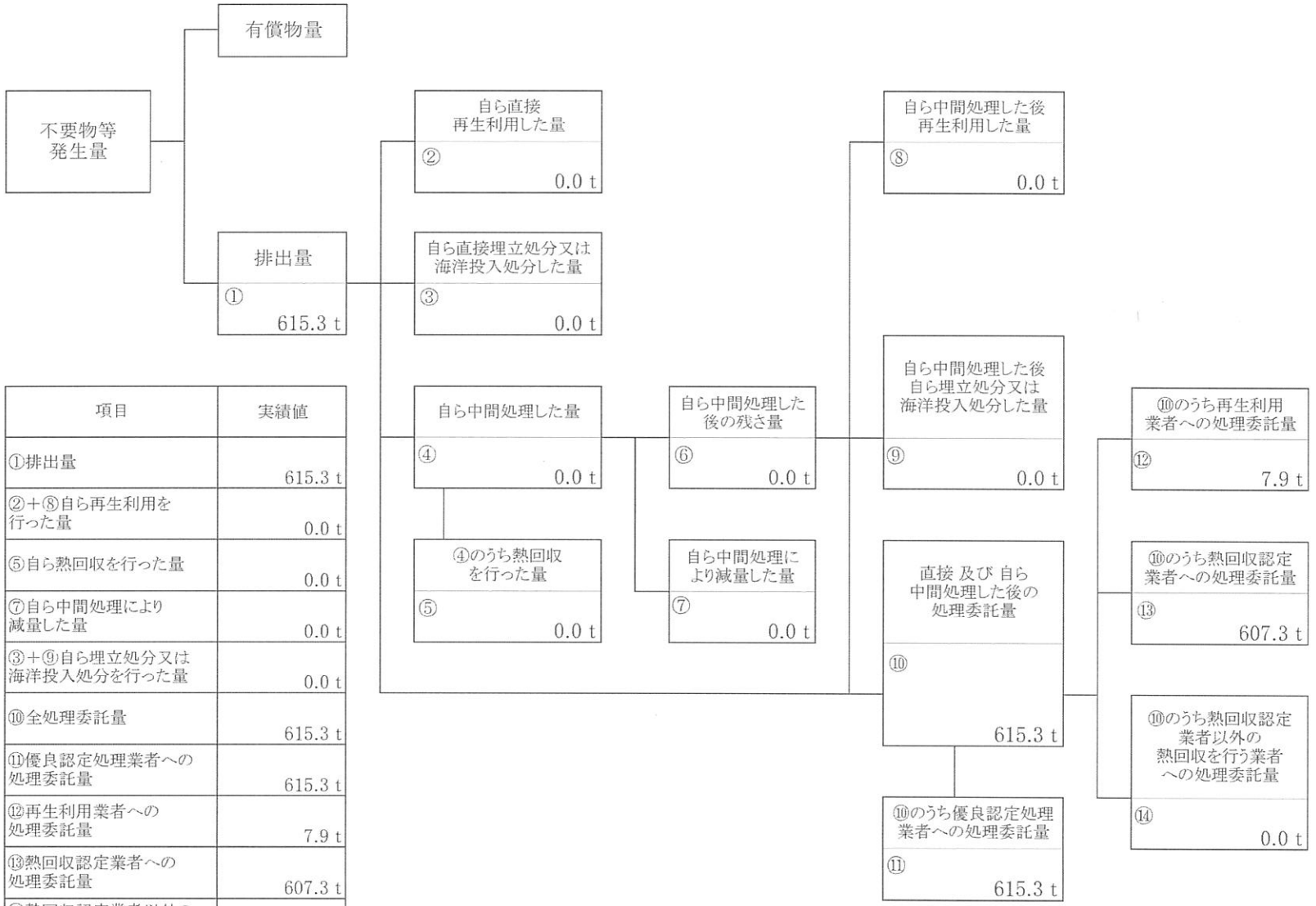


項目	実績値
①排出量	2.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）

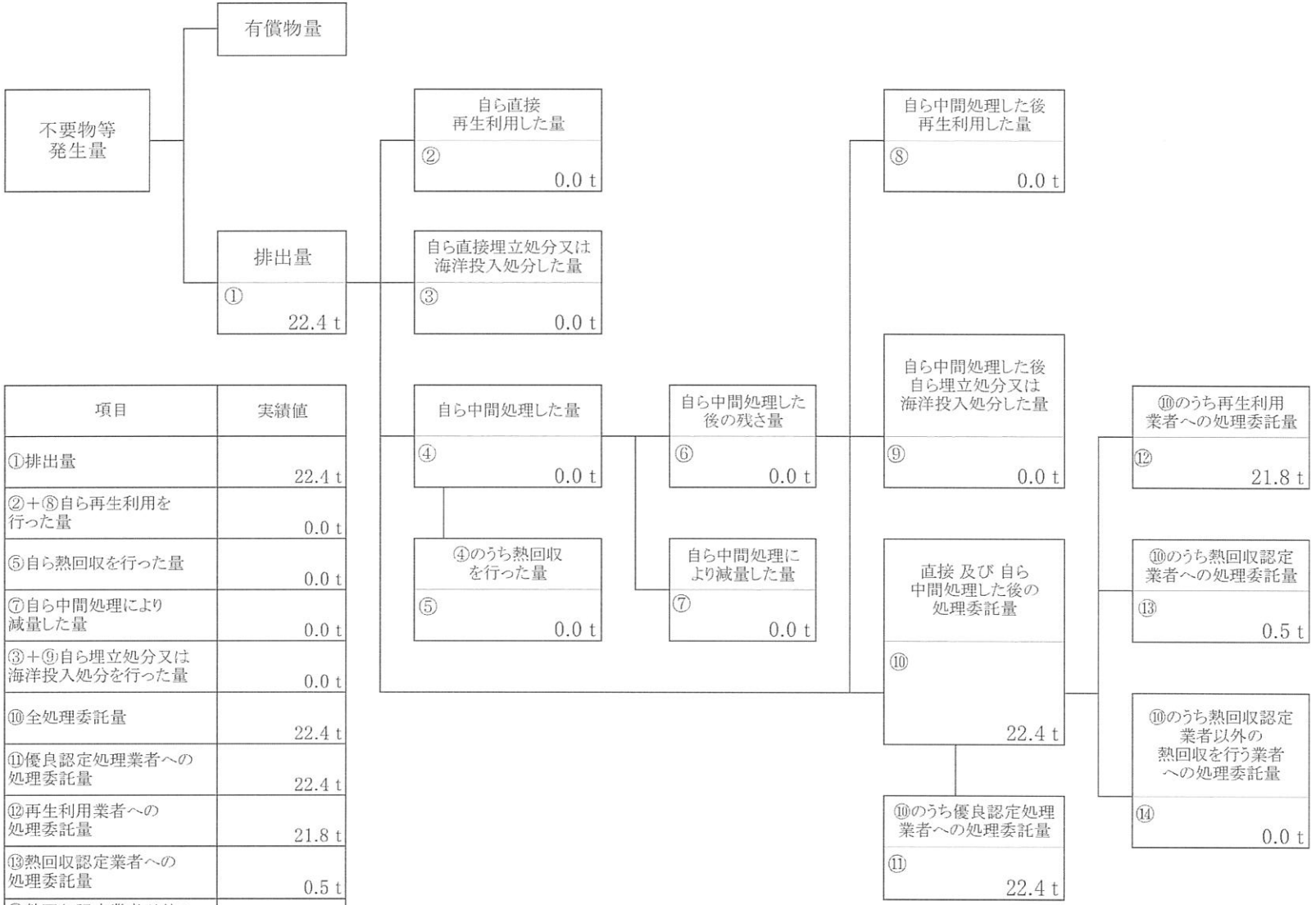


項目	実績値
①排出量	615.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	615.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	615.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	7.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	607.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　汚泥（有害）　）

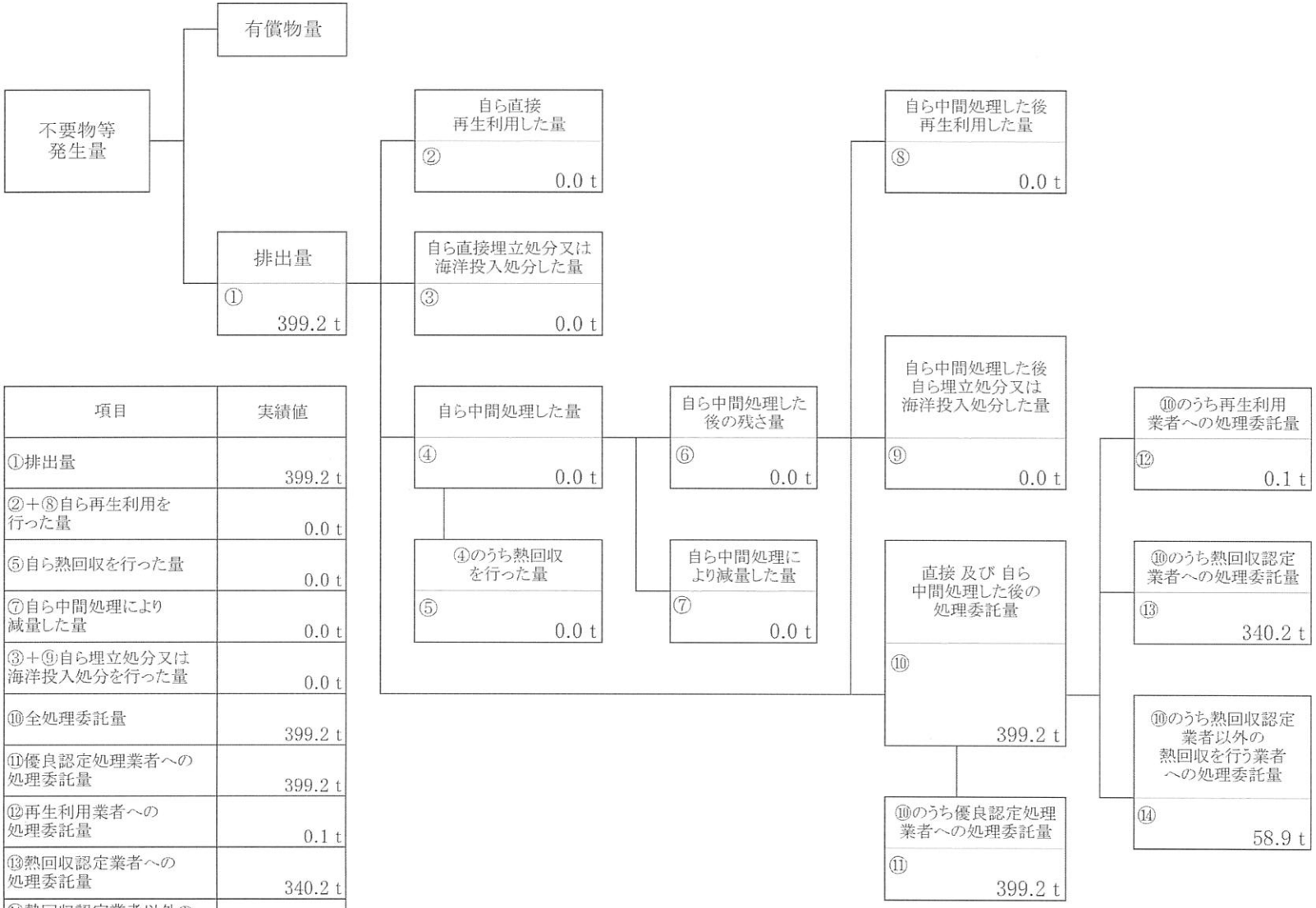


項目	実績値
①排出量	22.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	21.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃アルカリ（有害）　）

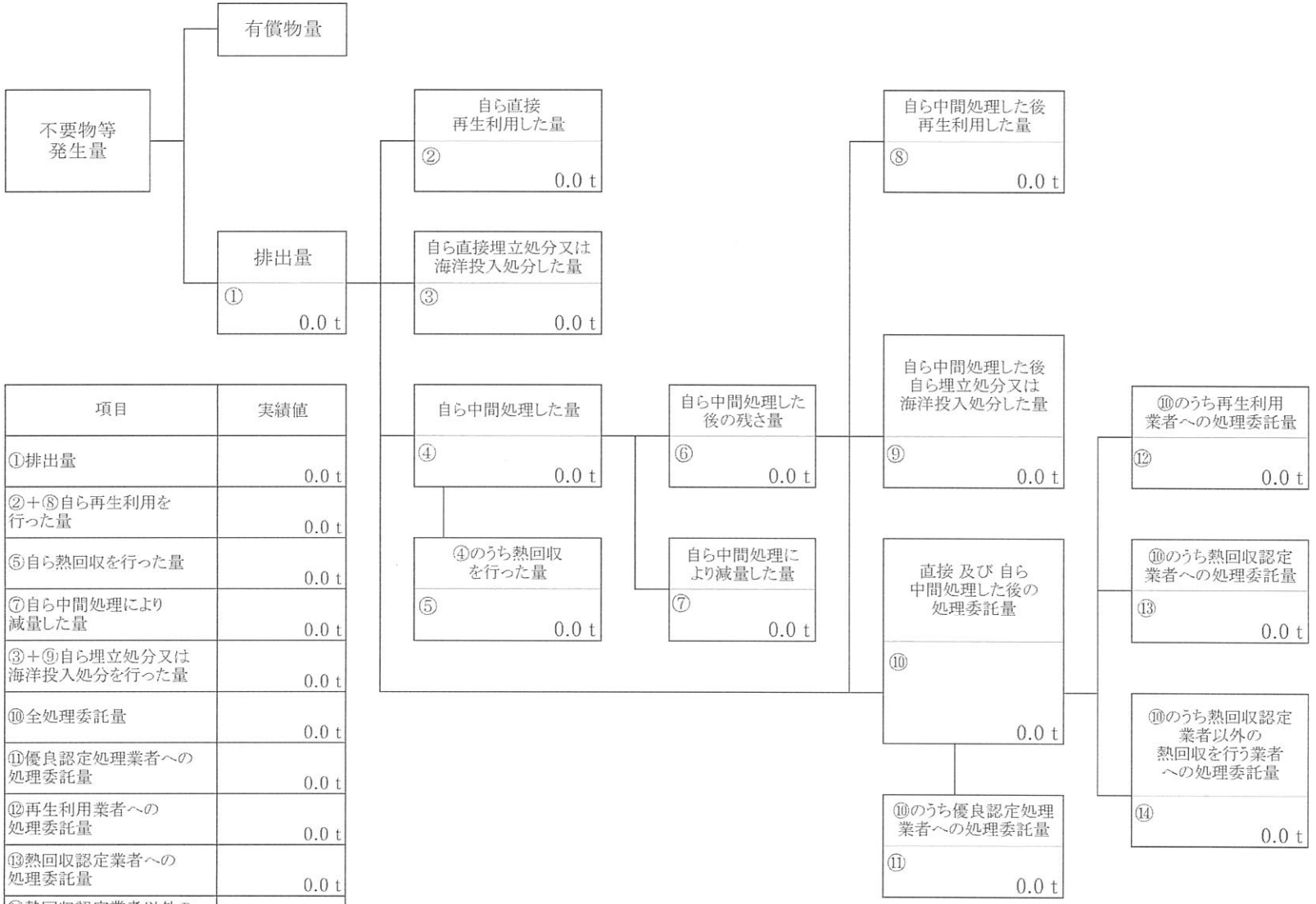


項目	実績値
①排出量	399.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	399.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	399.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	340.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	58.9 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃酸（有害）　　）

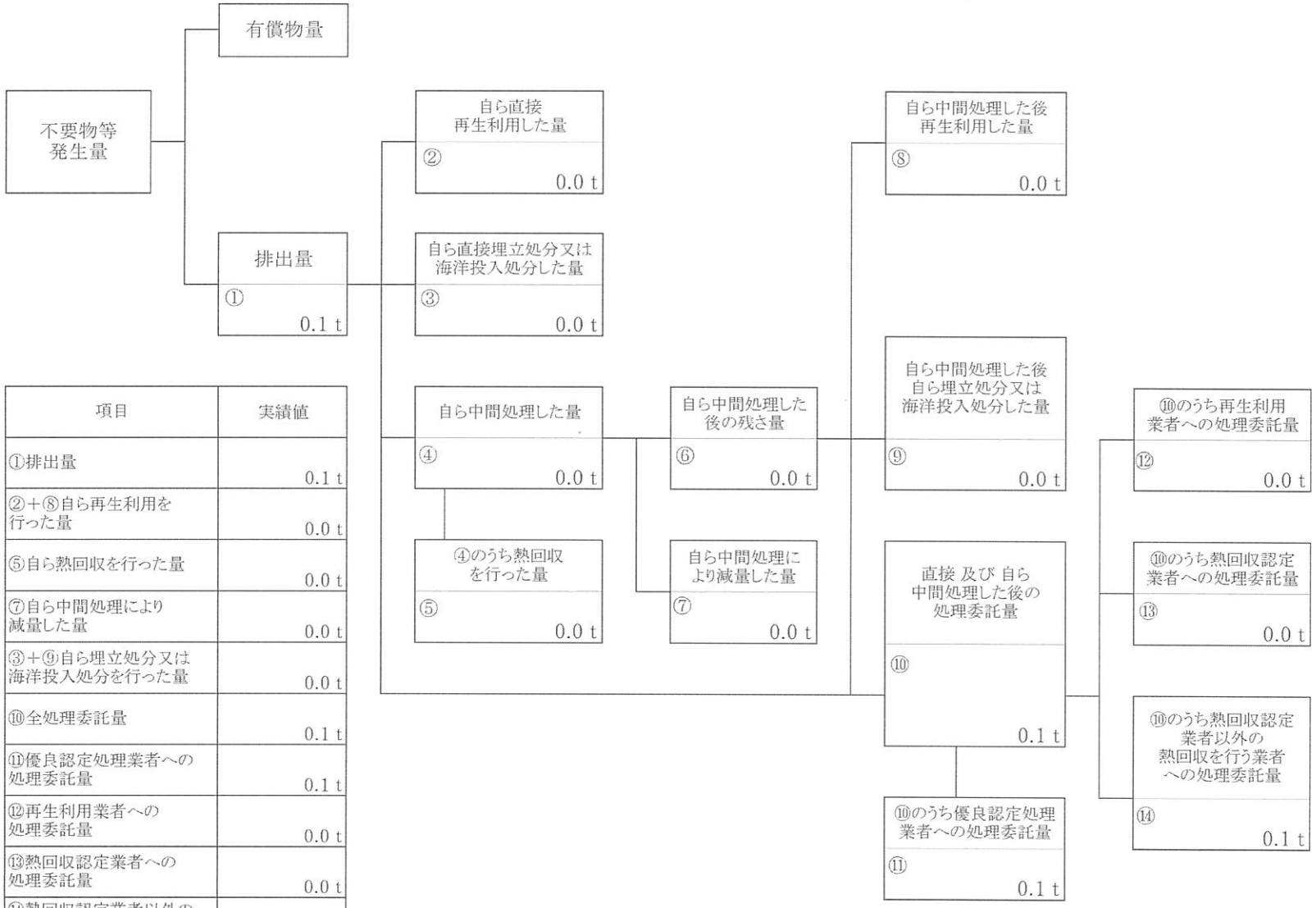


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　感染性廃棄物　）

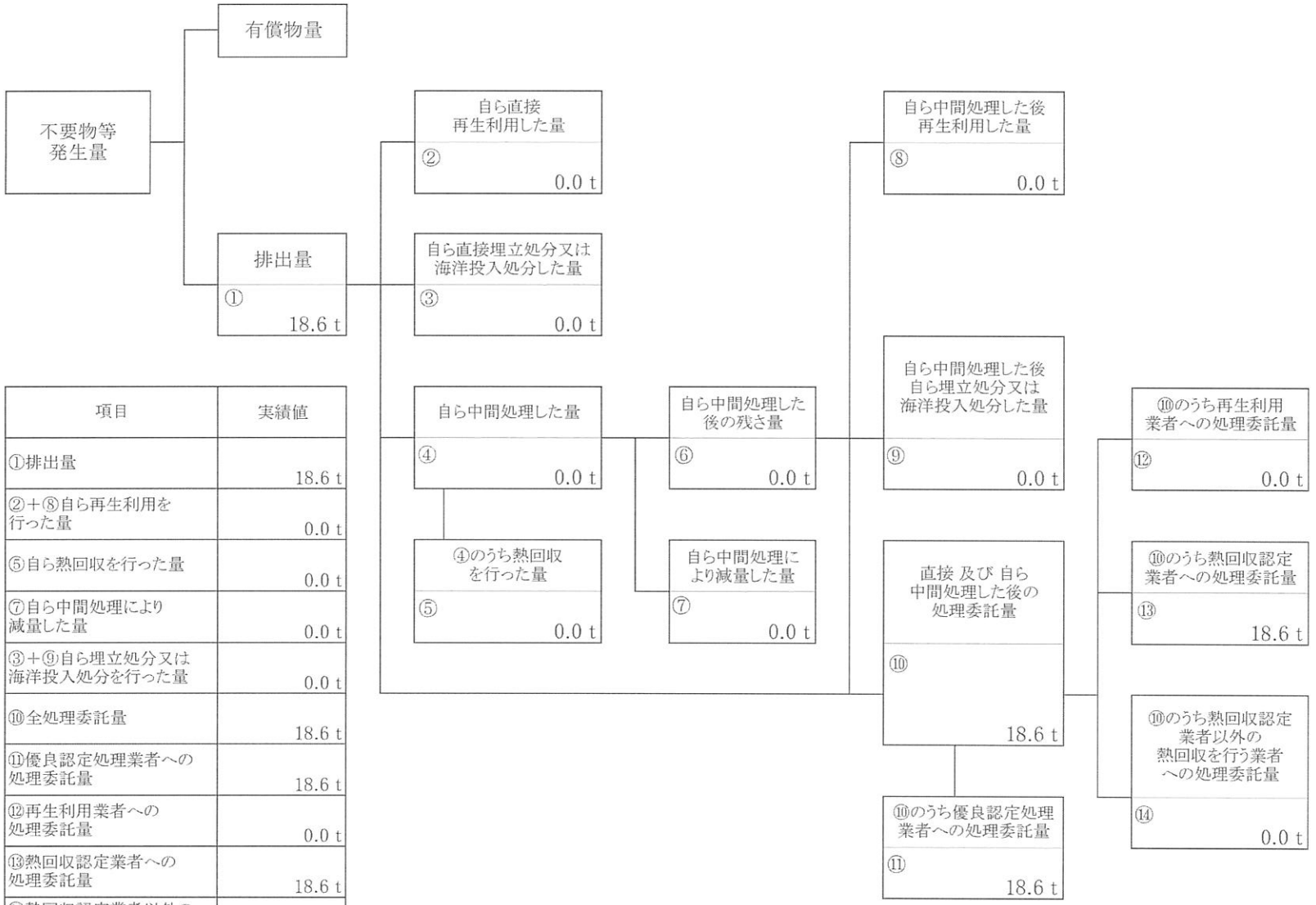


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.1 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB等　）

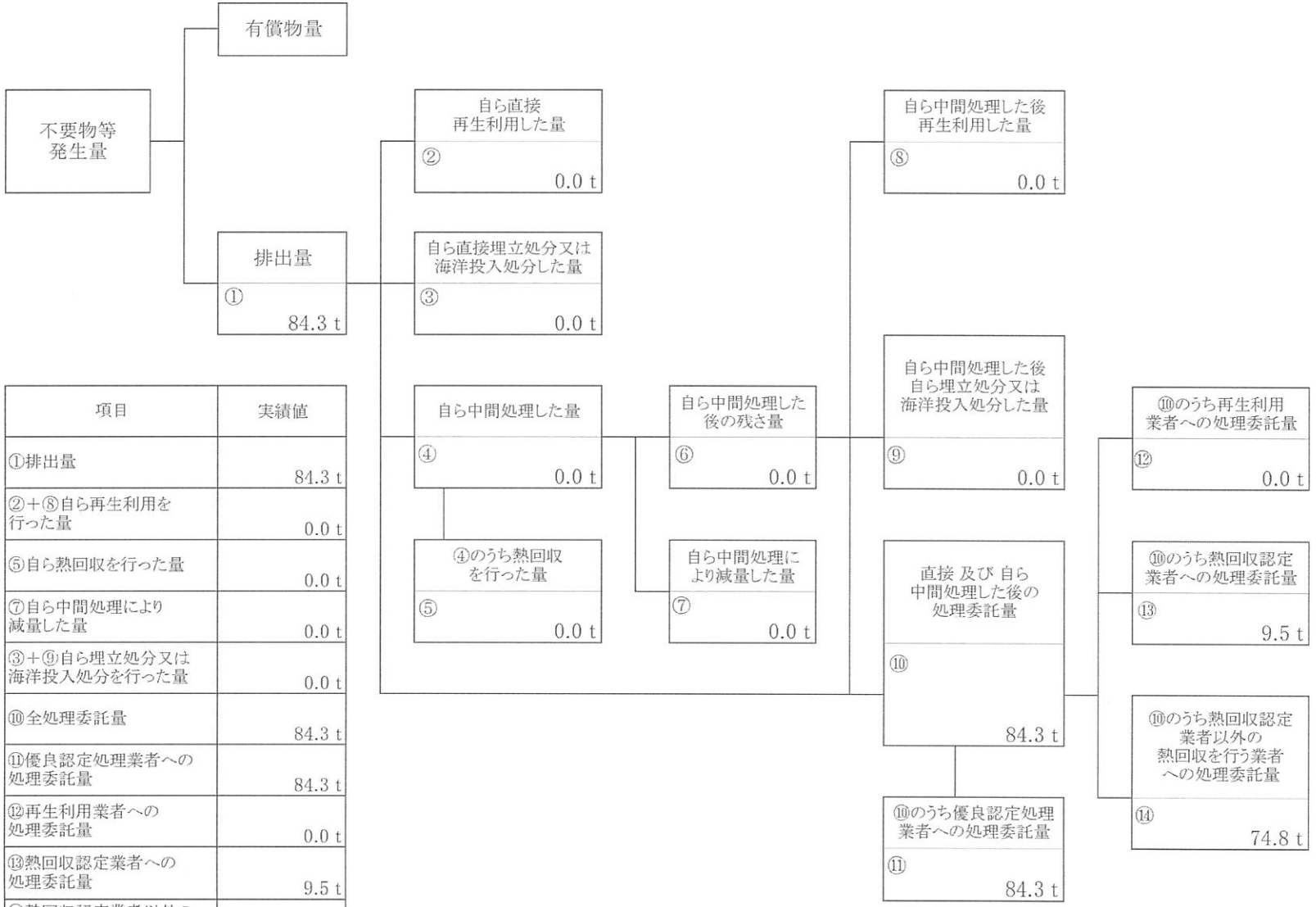


項目	実績値
①排出量	18.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	18.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	18.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）

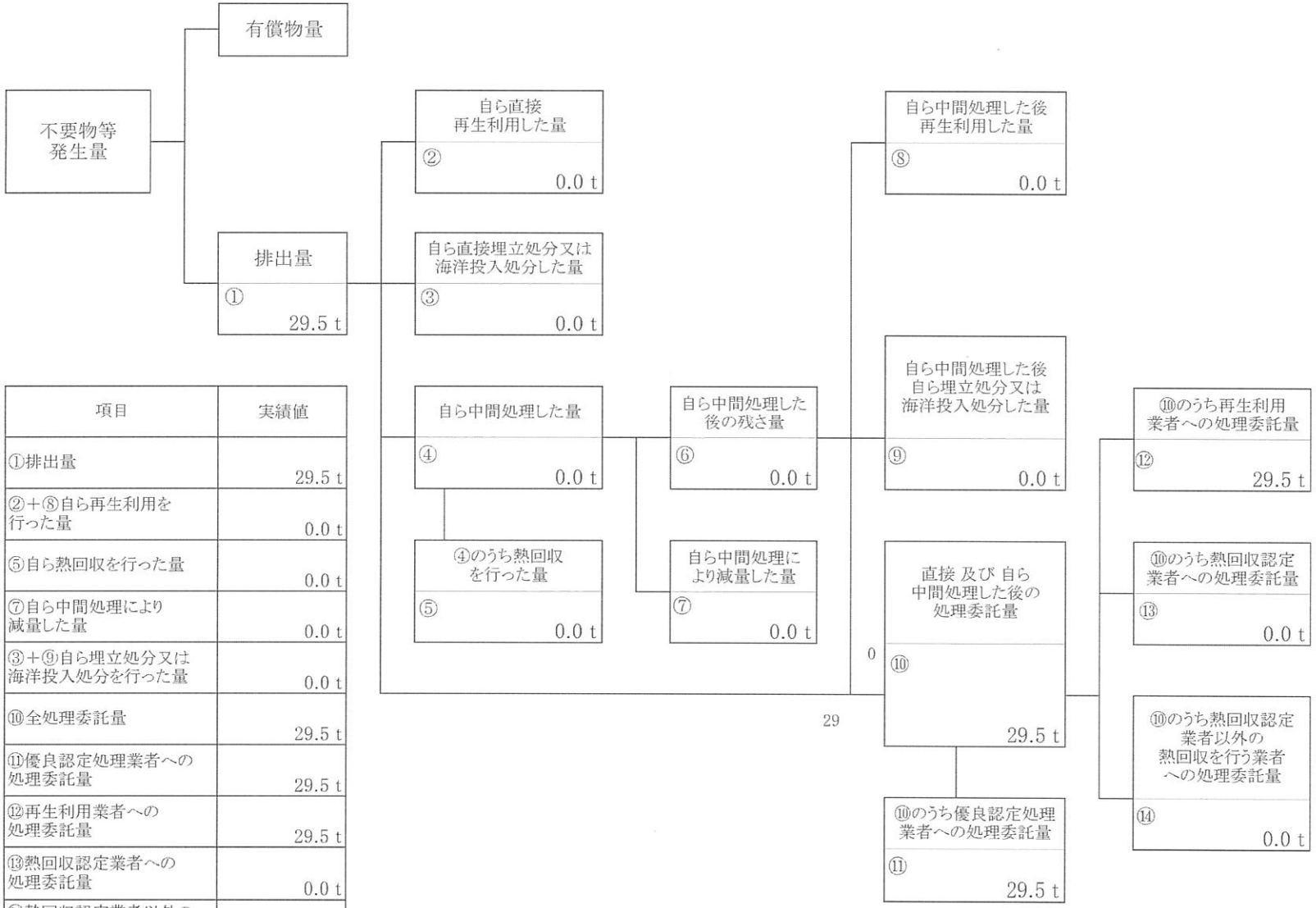


項目	実績値
①排出量	84.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	84.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	9.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	74.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸　）



項目	実績値
①排出量	29.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	29.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	29.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　５月１５日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒273-0128

住　所　千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山3丁目10番20

氏　名　有限会社　伊藤建材

代表取締役　伊藤　好

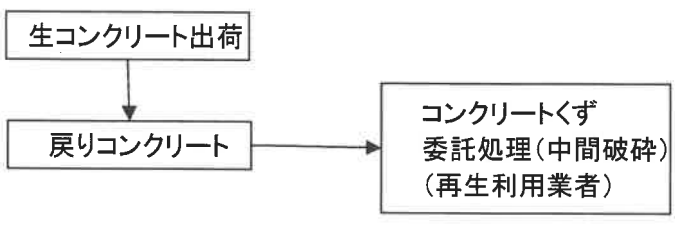
電話番号　047-385-3251

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.5.17 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社　伊藤建材
事業場の所在地	千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山３丁目10番20
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

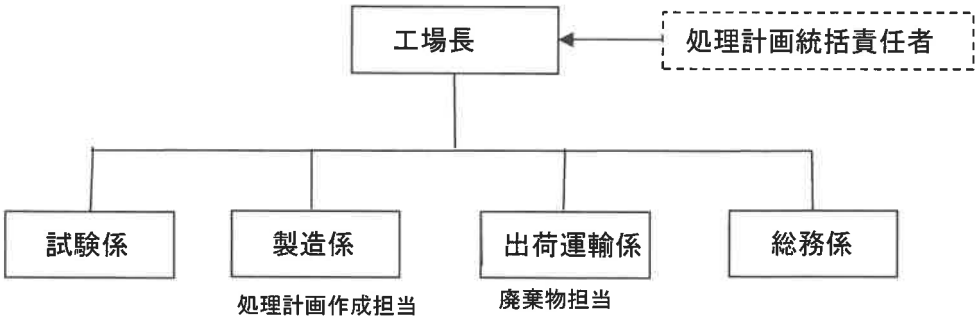
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	E21－窯業・土石製品製造業
②　事業の規模	製造品出荷額　４億円
③　従業員数	１５名
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
排出量	3,479 t	— t

（これまでに実施した取組）
・戻りコンクリートの削減を、お願いしている。
・生コンクリート業界、協同組合の団体規模で削減の、お願いをしている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
排出量	3,500 t	— t

（今後実施する予定の取組）
①産業廃棄物の再利用
②戻りコンクリートの削減を発注の都度，お願いする。
③生コンクリート協同組合の団体規模で削減のお願いを継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

—

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

—

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	— t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	コンクリートくず	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	— t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	— t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	— t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
全処理委託量	3,479 t	— t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	— t
再生利用業者への処理委託量	3,479 t	— t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	— t

（これまでに実施した取組）

マニフェストによる適正処理の確認。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリートくず	—
		全処理委託量	3,500 t	— t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	— t
		再生利用業者への処理委託量	3,500 t	— t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	— t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	— t
		（今後実施する予定の取組） マニフェストによる適正処理の確認を実行する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 15日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒273-0128
住 所　千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山3丁目10番20
氏 名　有限会社 伊藤建材
代表取締役　伊藤 好
電話番号 047－385－3251

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 伊藤建材
事業場の所在地	千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山3丁目10番20
事業の種類	E21－窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

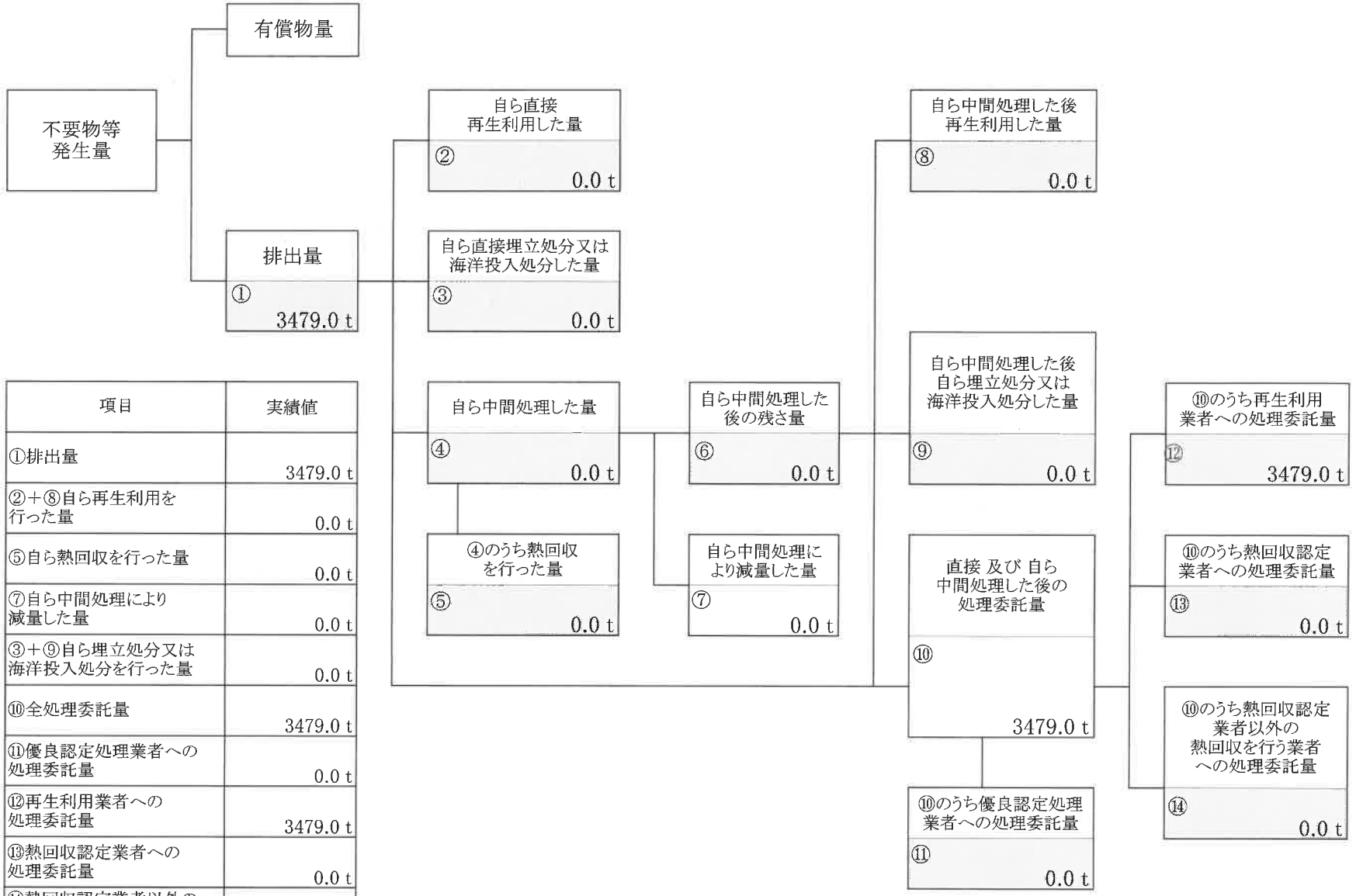
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3500.0 t	全処理委託量	3500.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	3500.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず）



項目	実績値
①排出量	3479.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3479.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3479.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年5月16日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者〒２７１－００６４

住　所　千葉県松戸市上本郷１６７番地

氏　名　イワブチ株式会社
代表取締役社長　内田　秀吾
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

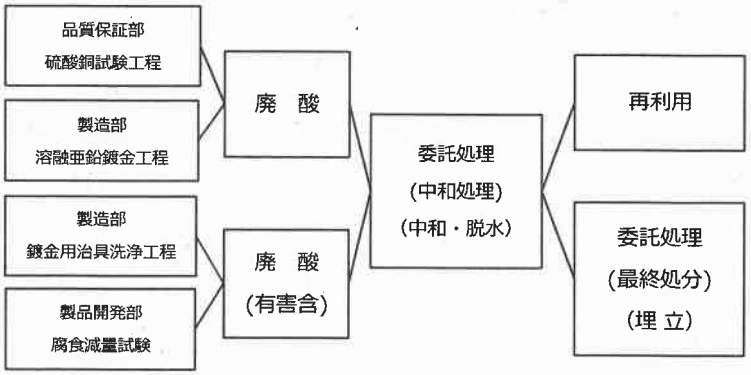
電話番号　０４７－３６８－２２２２

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.5.16 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	イワブチ株式会社　　松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市中根長津町１７６番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

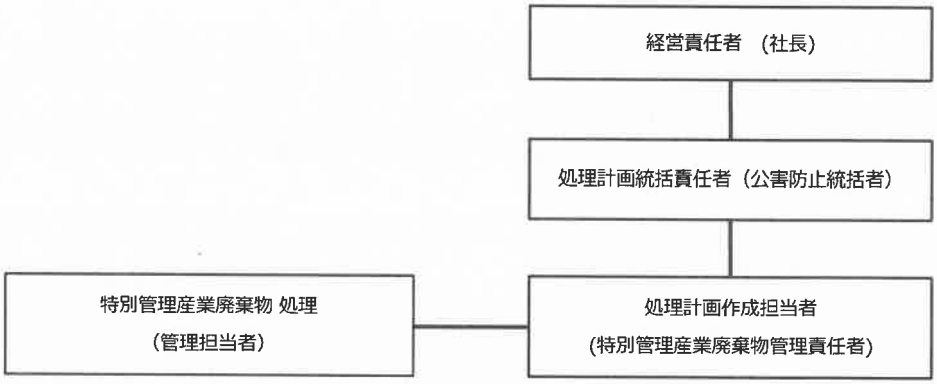
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E24－金属製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額　５５億円
③従業員数	１４８名（正社員１３６名、パート・アルバイト・派遣社員　１２名）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
排　　出　　量	10　　t	168　　t

（これまでに実施した取組）

塩酸槽からフラックス槽に進む際、ワークに付着した塩酸をフラックス槽に持ち込ませないために水洗しているが、その排水を中和し、ろ過することで再利用し、排出抑制している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
排　　出　　量	10　　t	160　　t

（今後実施する予定の取組）

排出抑制する方法を検討していく。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

特別管理産業廃棄物は、工程から各種専用の通路で廃棄用タンクへ移管しており、漏洩や間違ったタンクへの混入がないよう管理している。また、タンクから漏洩しないよう定期的にメモリを確認するなど保管量を把握している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き、漏洩等の問題が発生しないよう設備点検を実施するなど管理していく。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

これまで自社で特別管理産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

今後も自社で特別管理産業廃棄物を再生利用する予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

これまで自社で特別管理産業廃棄物の中間処理を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）

今後も自社で特別管理産業廃棄物の中間処理を行う予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

これまで自社で特別管理産業廃棄物の埋立処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（強酸）	廃酸(有害)
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

今後も自社で特別管理産業廃棄物の埋立処分を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（強酸）	廃酸(有害)
全処理委託量		10 t	168 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	74 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	168 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

中和・脱水処理後のスラッジから金属および非鉄金属を回収し再利用を行っている。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（強酸）</td><td>廃酸(有害)</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>10 t</td><td>160 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>70 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>10 t</td><td>160 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
</table>
・(今後実施する予定の取組)
一部、最終処分で埋立を行っている業者に委託しているが、再生利用ができる業者への変更を検討する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td>【前年度（令和５年度）実績】
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>178 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組等）
平成29年8月より全ての産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理委託について電子マニフェストを使用しており、今後も継続して使用いたします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月16日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒271－0064
住 所　千葉県松戸市上本郷167番地
氏 名　イワブチ株式会社
代表取締役社長　内田 秀吾
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 047－368－2222

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	イワブチ株式会社　松戸工場
事業場の所在地	千葉県松戸市中根長津町176番地
事業の種類	E24－金属製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	170.0 t	全処理委託量	170.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	80.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	170.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　171.5 前 年 度　178.2

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

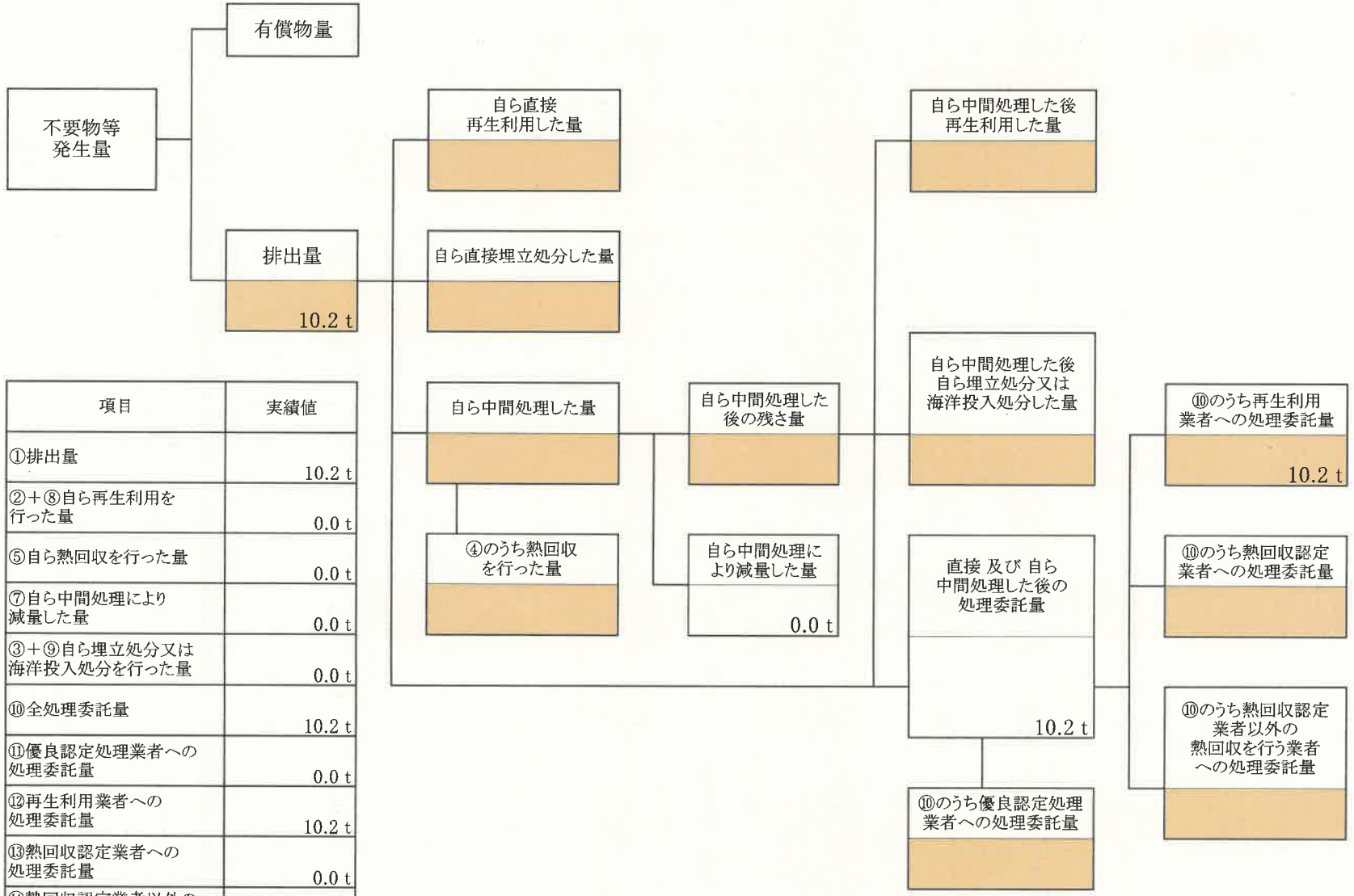
平成29年8月より、全ての産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理委託について、電子マニフェストを使用しており、今後も継続して使用いたします。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：廃酸（強酸））

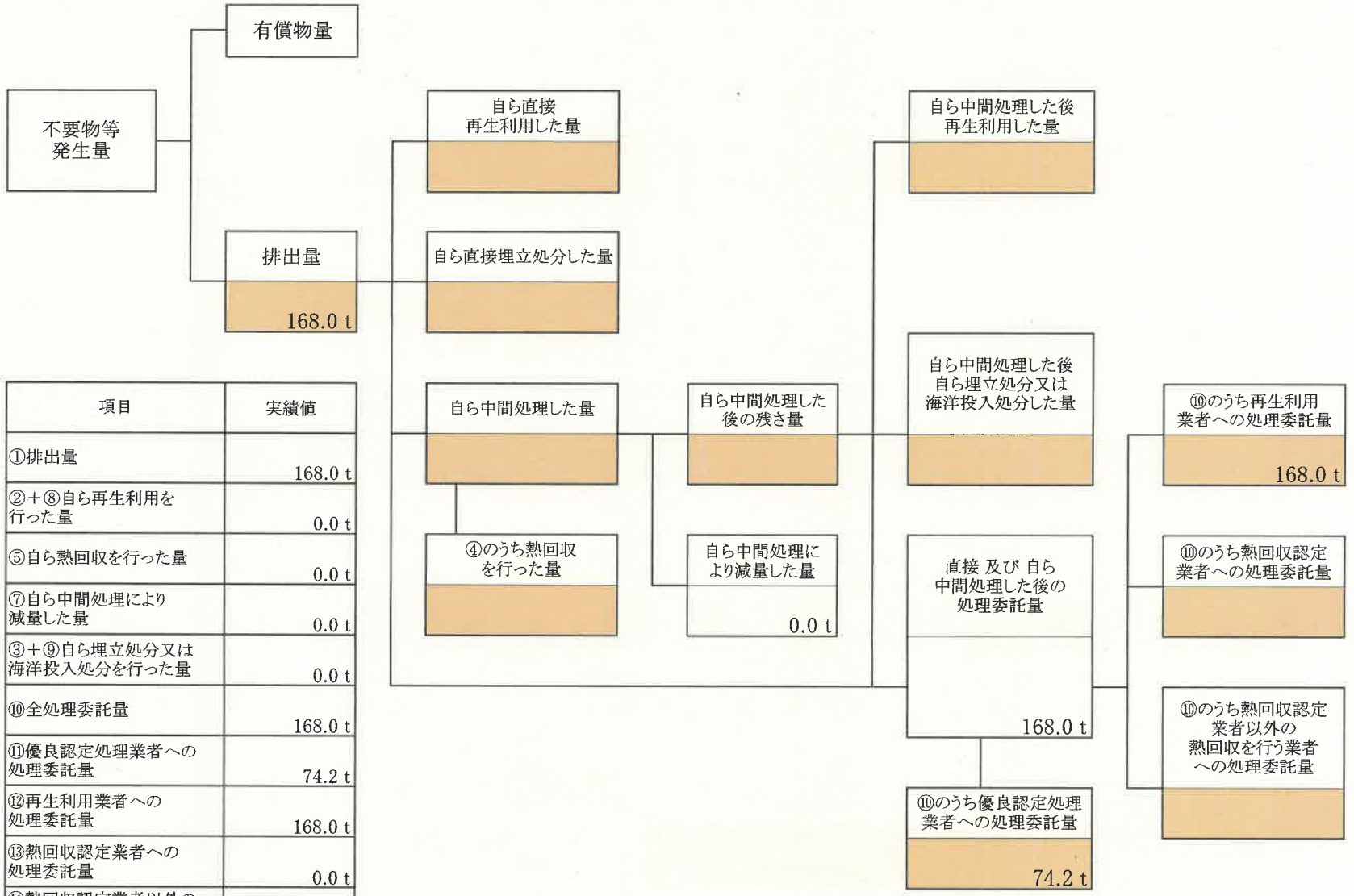


項目	実績値
①排出量	10.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃酸（有害）**）



項目	実績値
①排出量	168.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	168.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	168.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月8日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　270-1616

住　所　千葉県印西市岩戸字古真木台3552番

法人名　印旛菱光株式会社

代表者　皆谷　直人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0476-99-0076

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	印旛菱光株式会社　本社工場
事業場の所在地	千葉県印西市岩戸字古真木台3552番
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額：7億7千万円
③従業員数	7人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製品出荷　→　残コン、戻りコン　→　コンクリートくず　→　中間処理場　→リサイクル製品

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

公害防止統括者：工場長　―　公害防止管理者：工場長　―　公害防止担当者：技術係

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
排出量	4378 t	t

（これまでに実施した取組）

処理委託業者により再生路盤材料として再利用されている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
排出量	4000 t	t

（今後実施する予定の取組）

顧客に対し戻りコンクリート、残コンクリートの削減について協力を求める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

コンクリートくず：戻りコンクリート、残コンクリートは所定の場所で固化し一定量になるまで堆積し保管する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

現状と同じ。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>０ｔ</td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量		4378 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	4378 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

処理委託業者により再生路盤材料として再利用されている。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>4000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>4000 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
今後とも処理委託業者により再生路盤材料として再利用する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月8日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　270-1616

住所 千葉県印西市岩戸字古真木台3552番

法人名 印旛菱光株式会社

代表者 皆谷 直人

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0476-99-0076

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	印旛菱光株式会社 本社工場
事業場の所在地	千葉県印西市岩戸字古真木台3552番
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

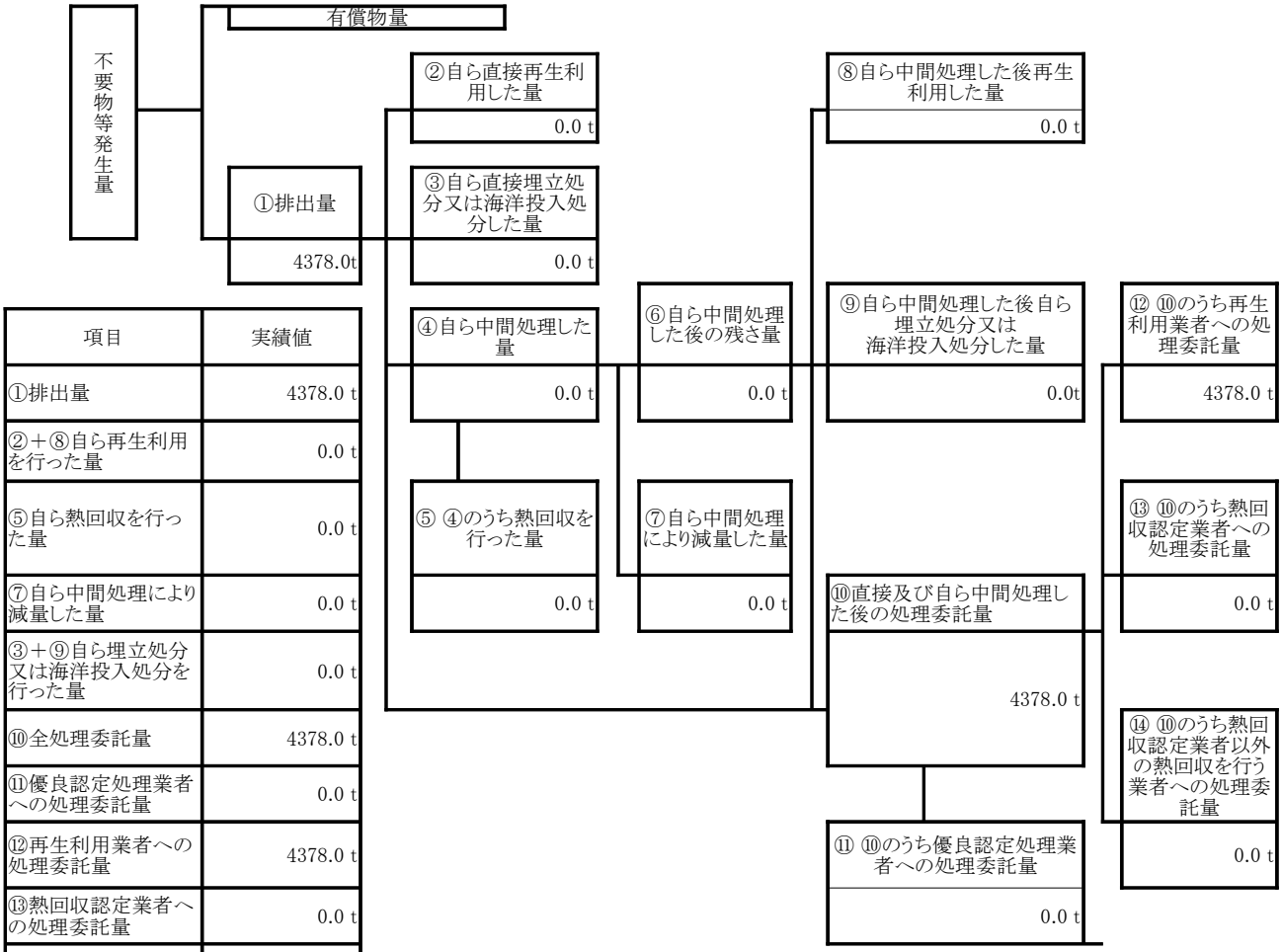
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4500 t	全処理委託量	4500 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　くず、コンクリートくず及び陶磁器）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



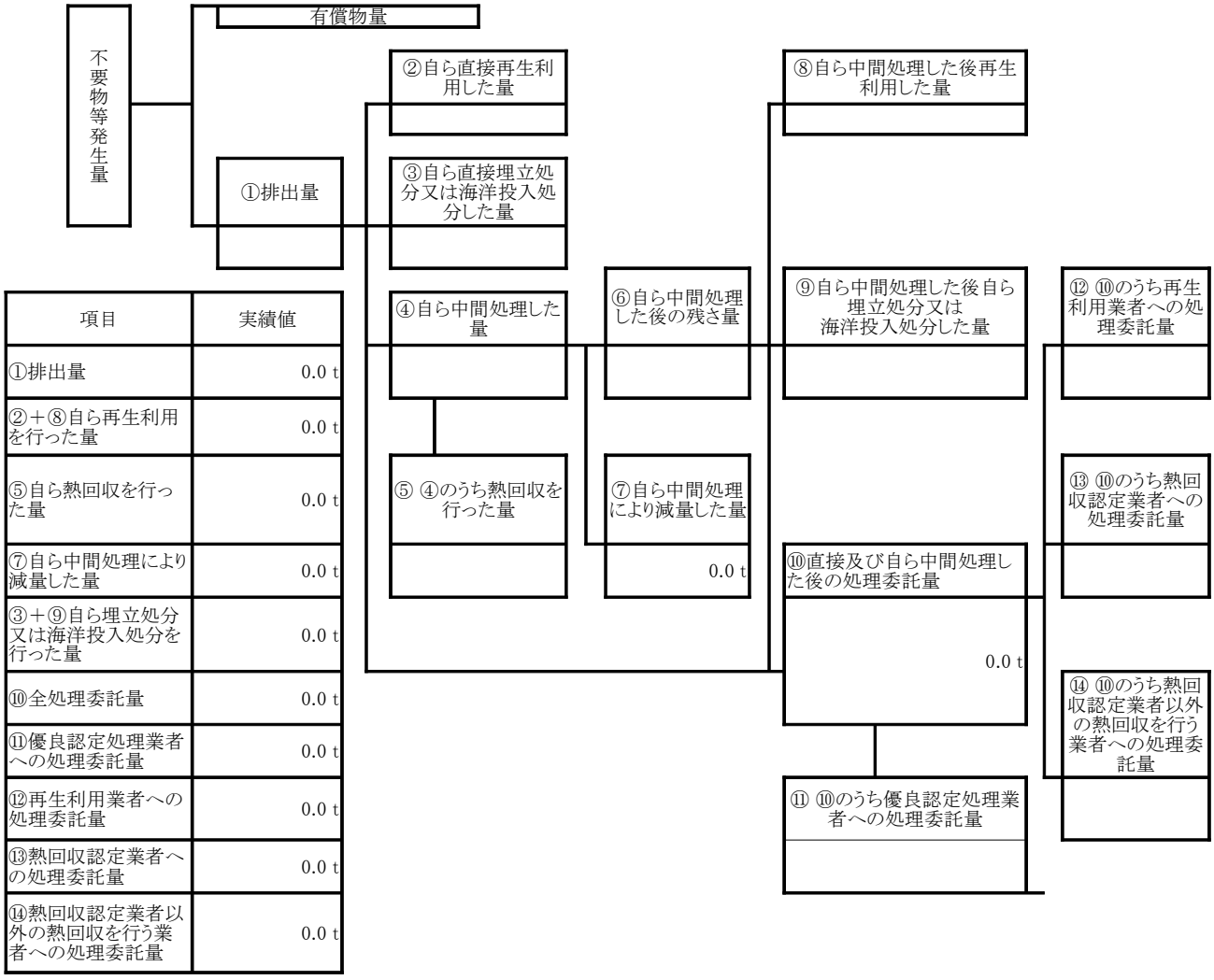
項目	実績値
①排出量	4378.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4378.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4378.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



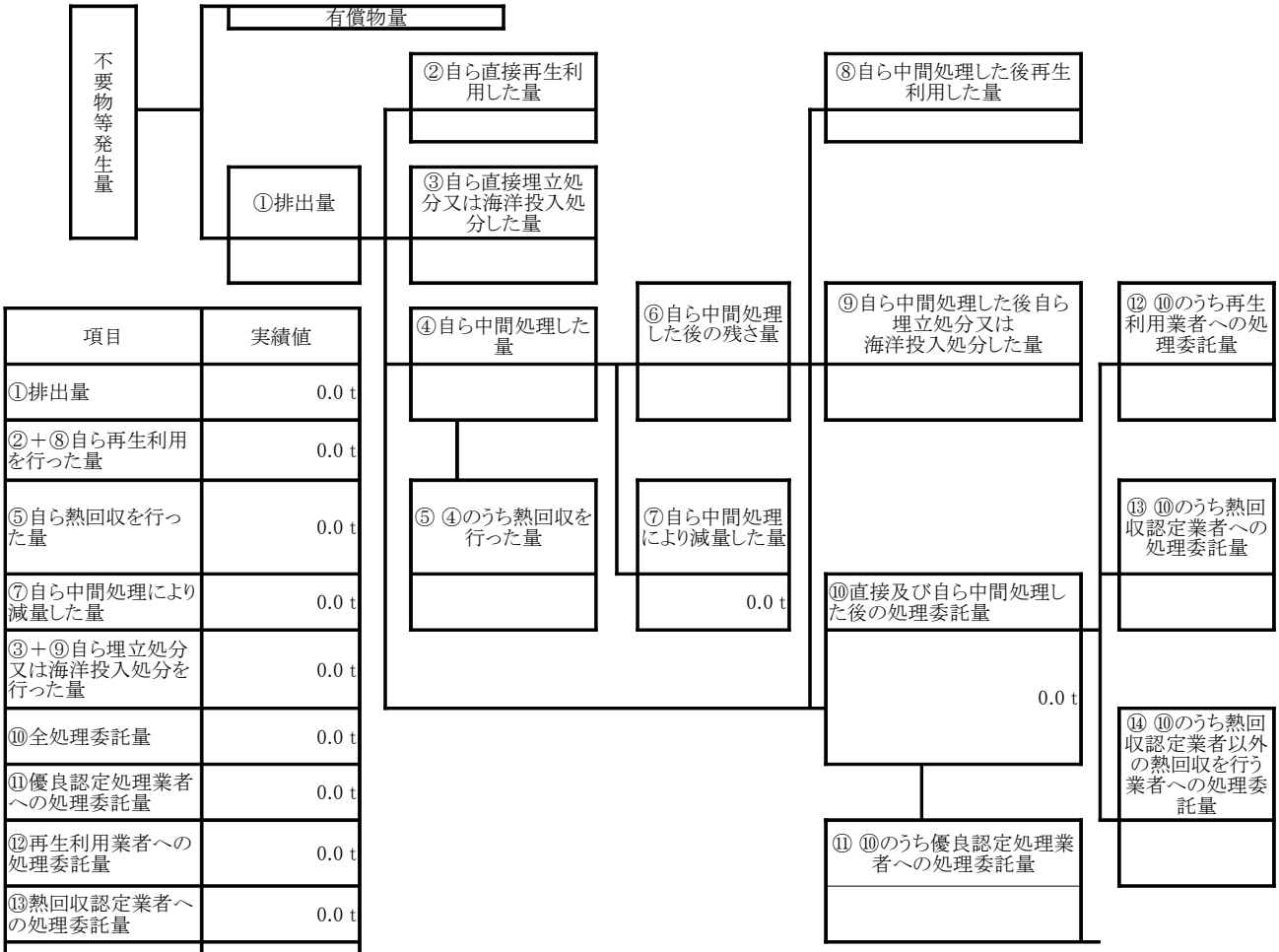
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

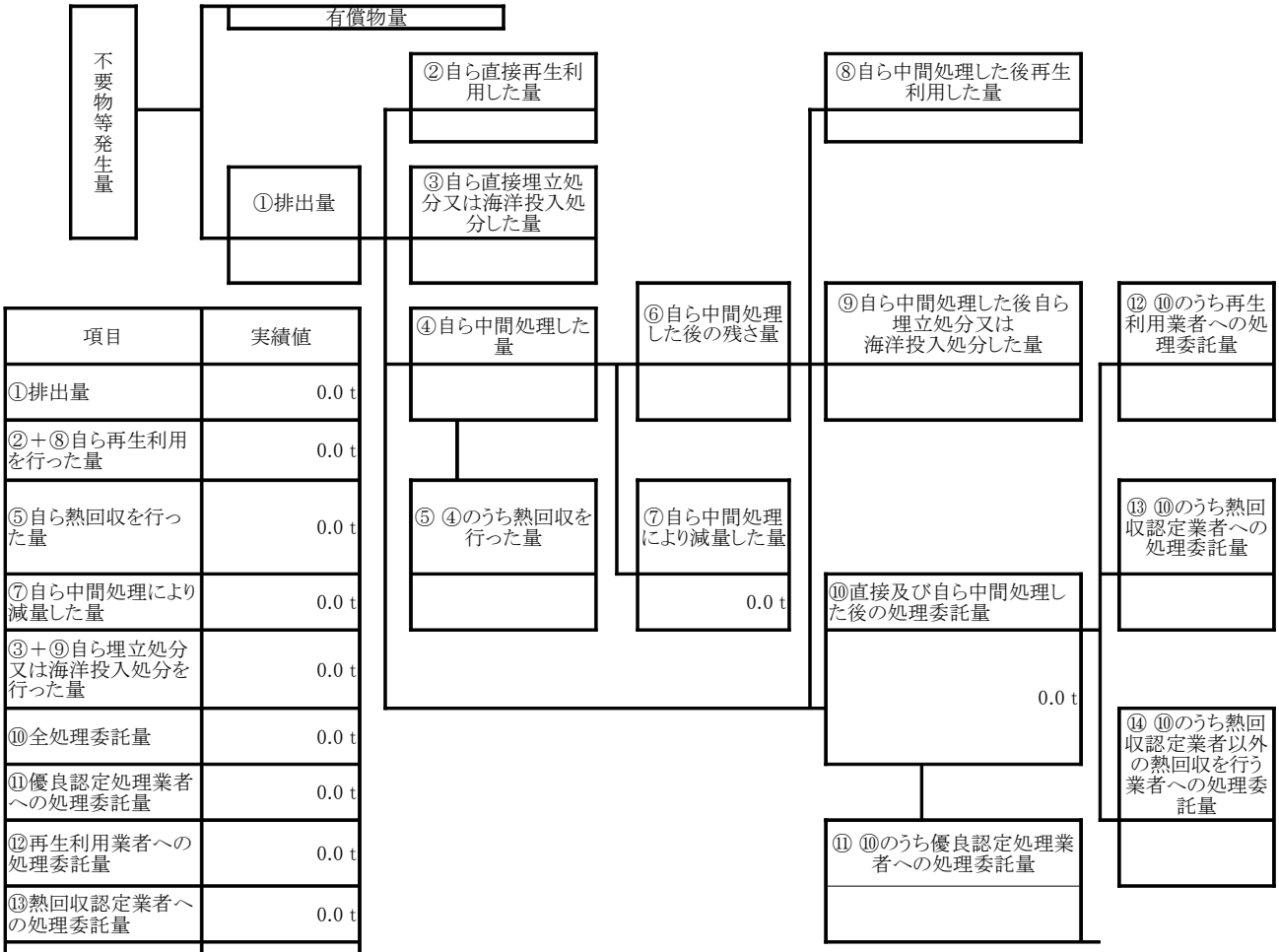


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

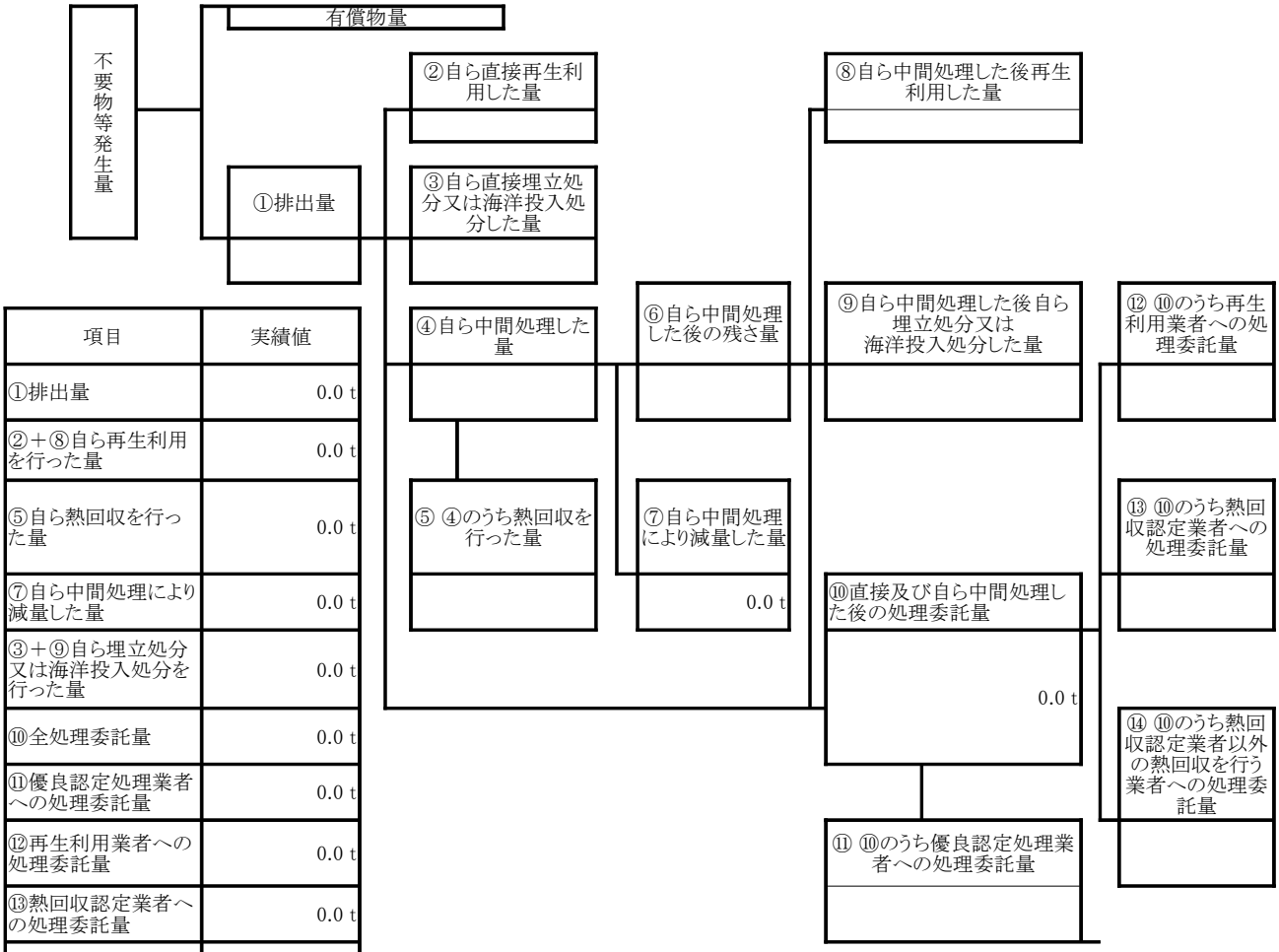


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

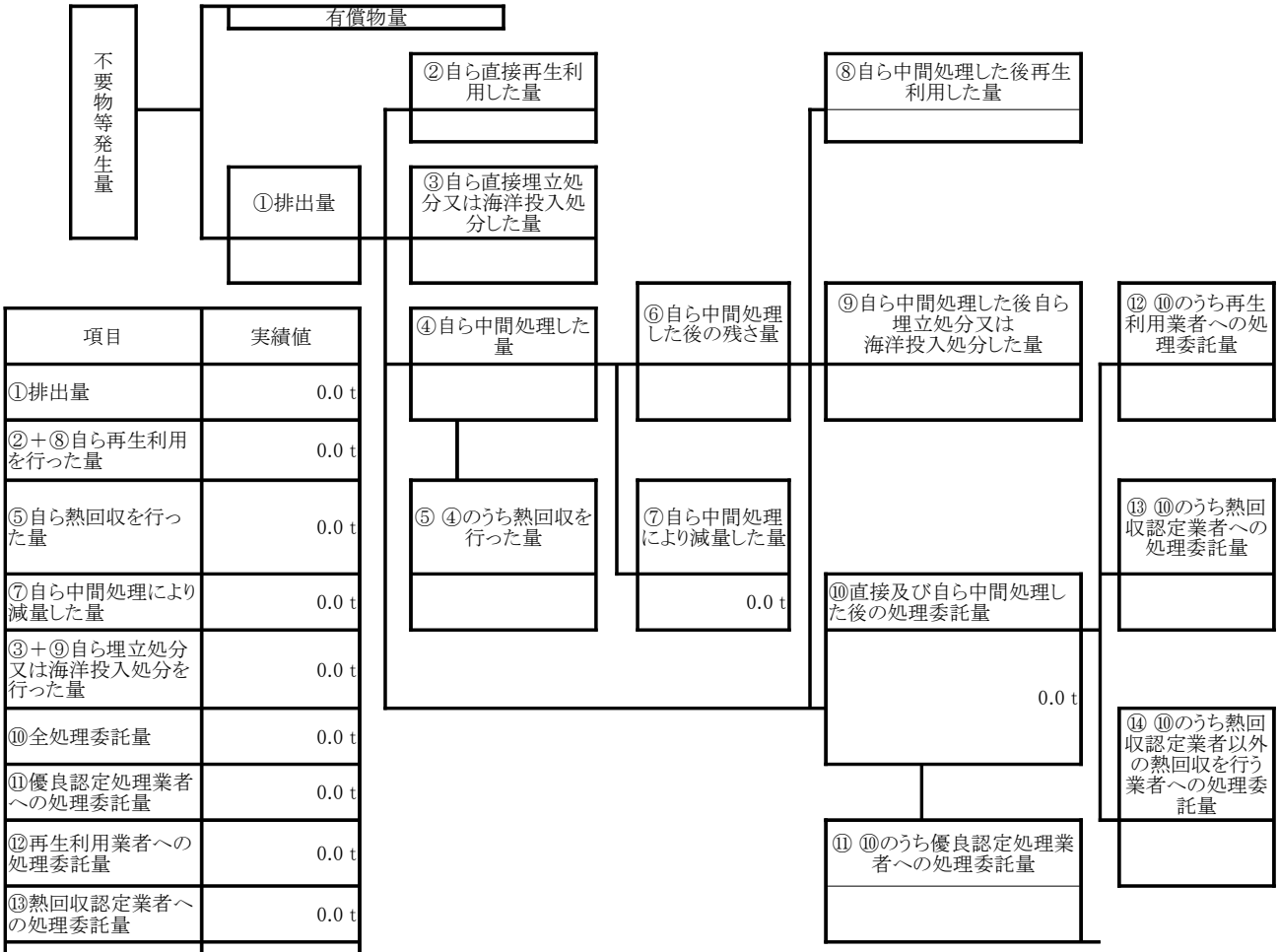


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



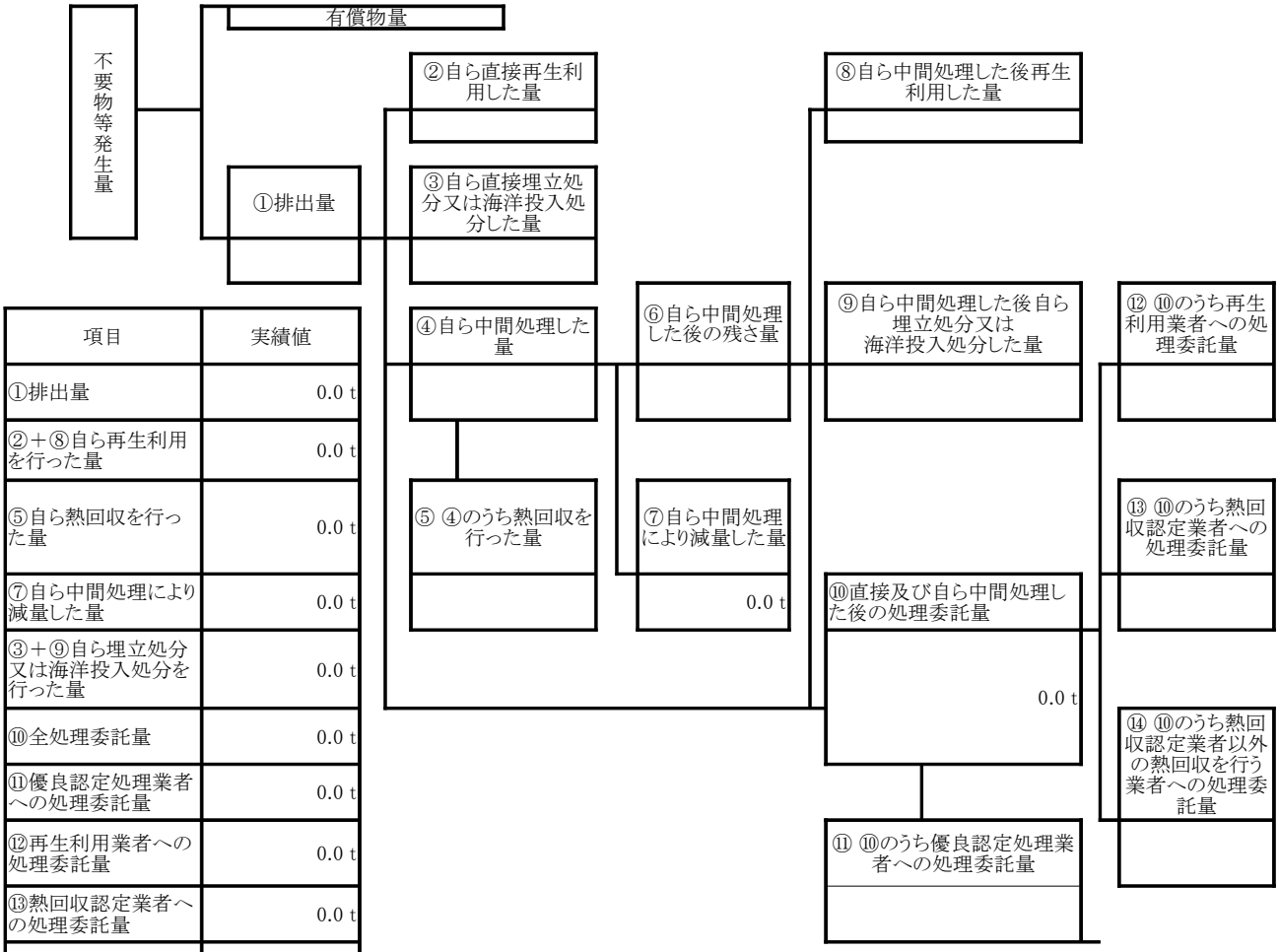
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

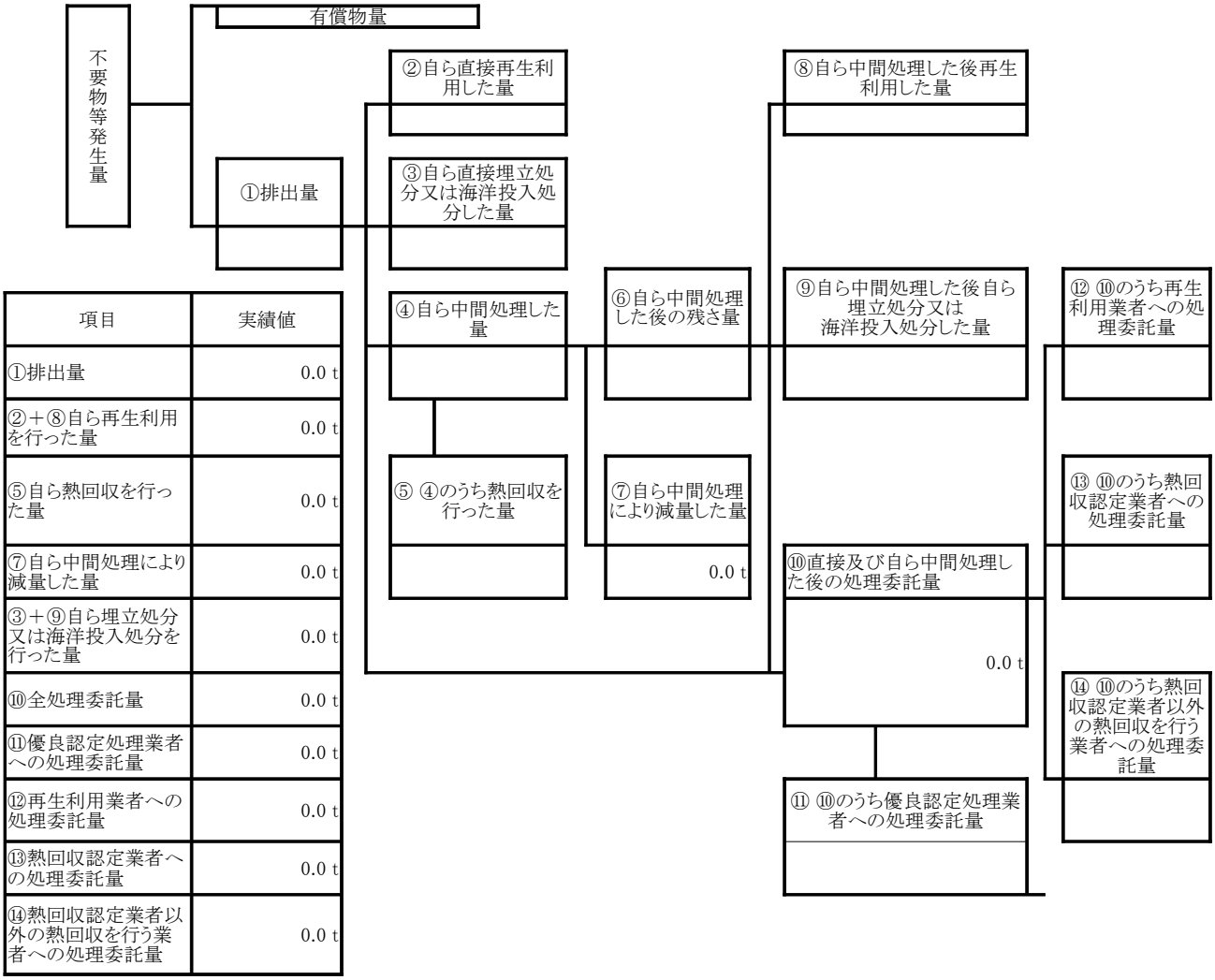


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

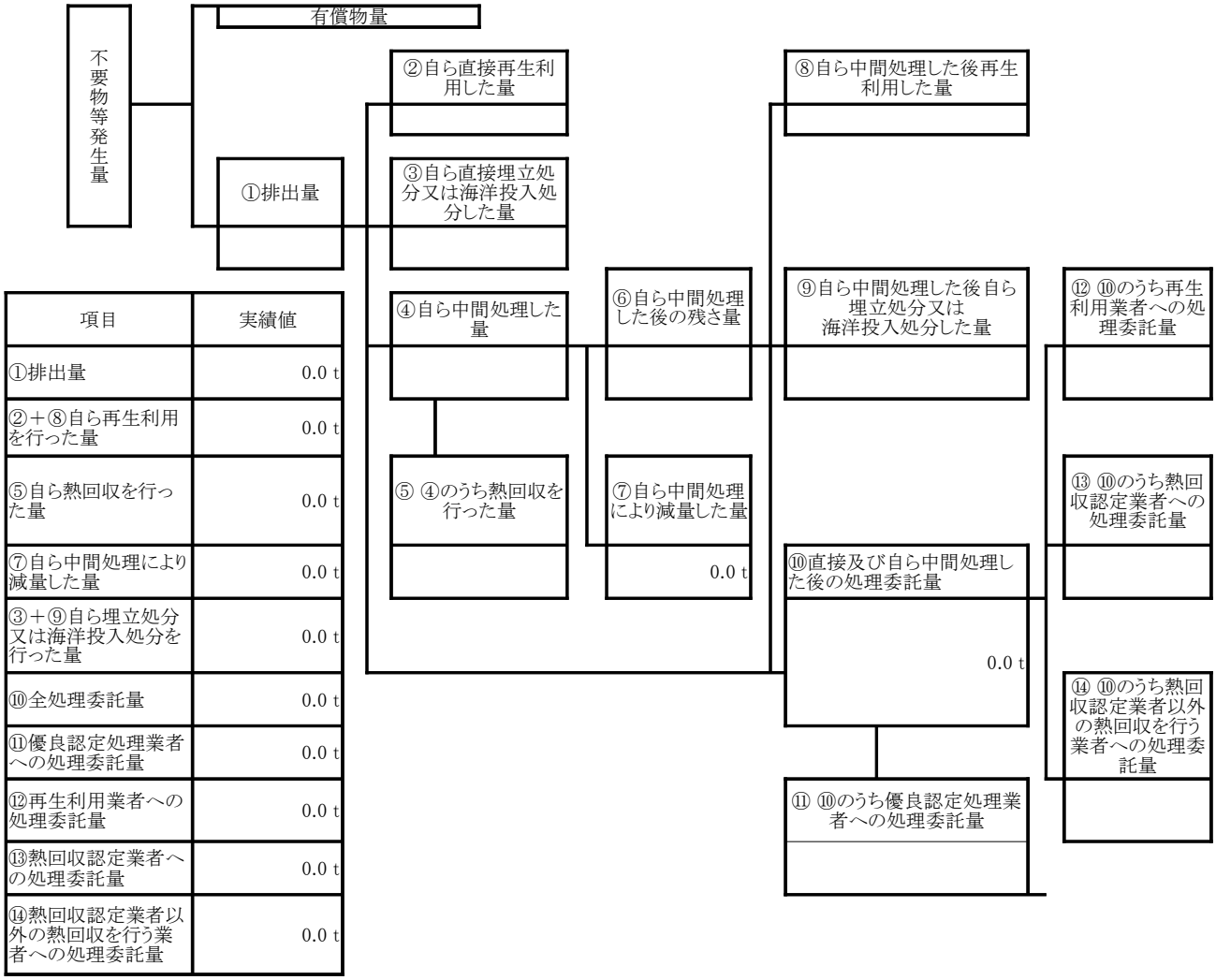


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



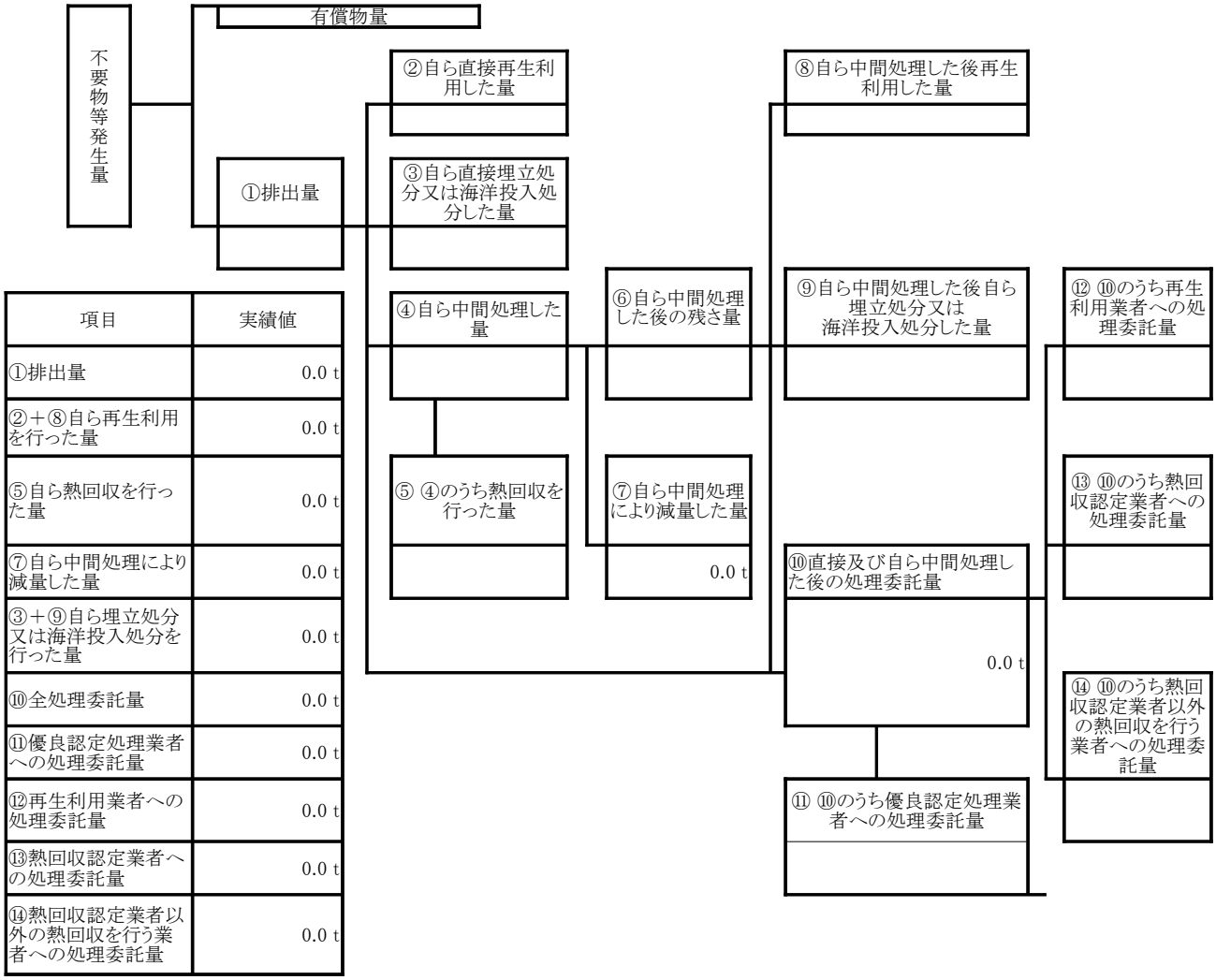
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

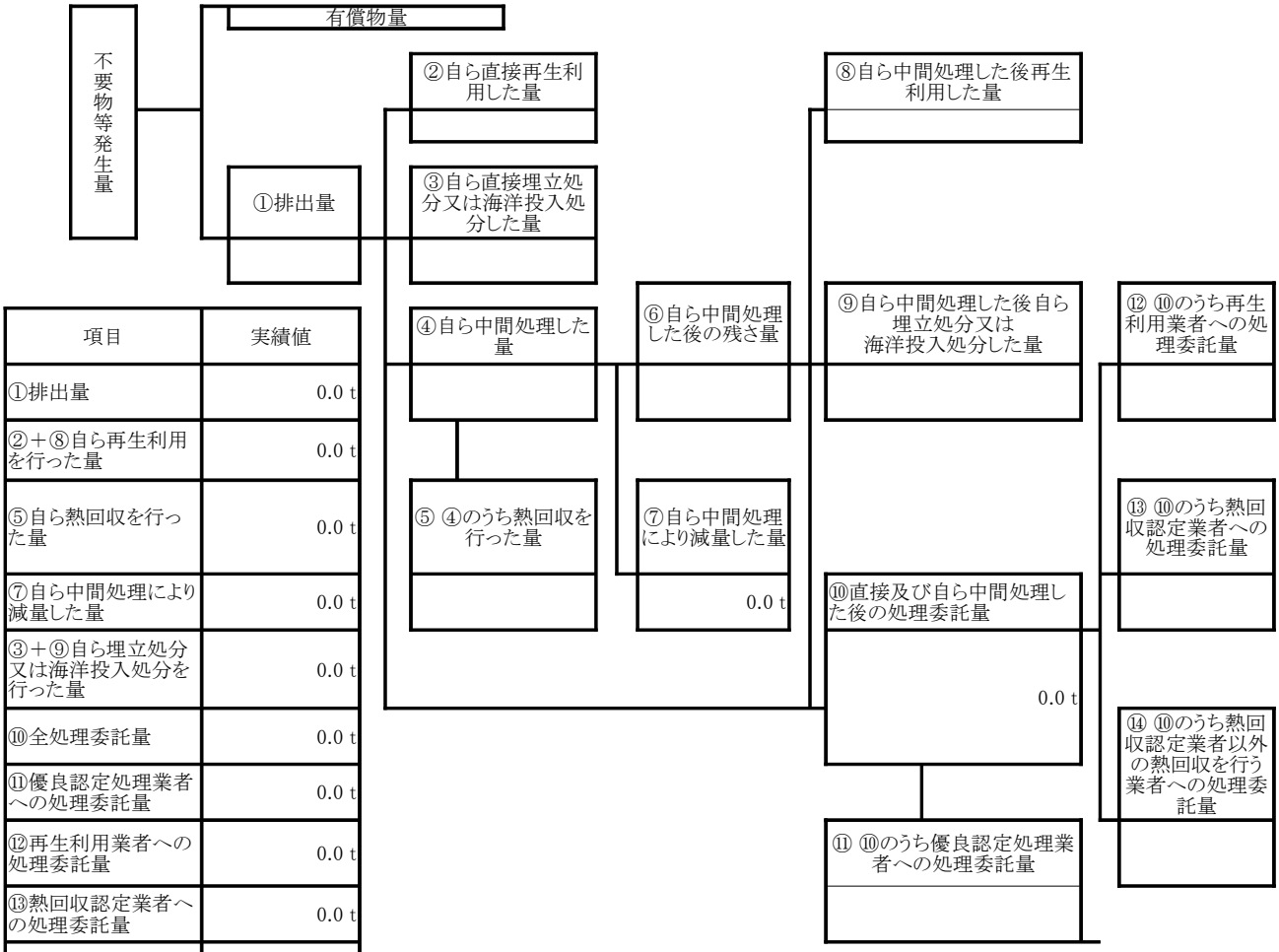


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



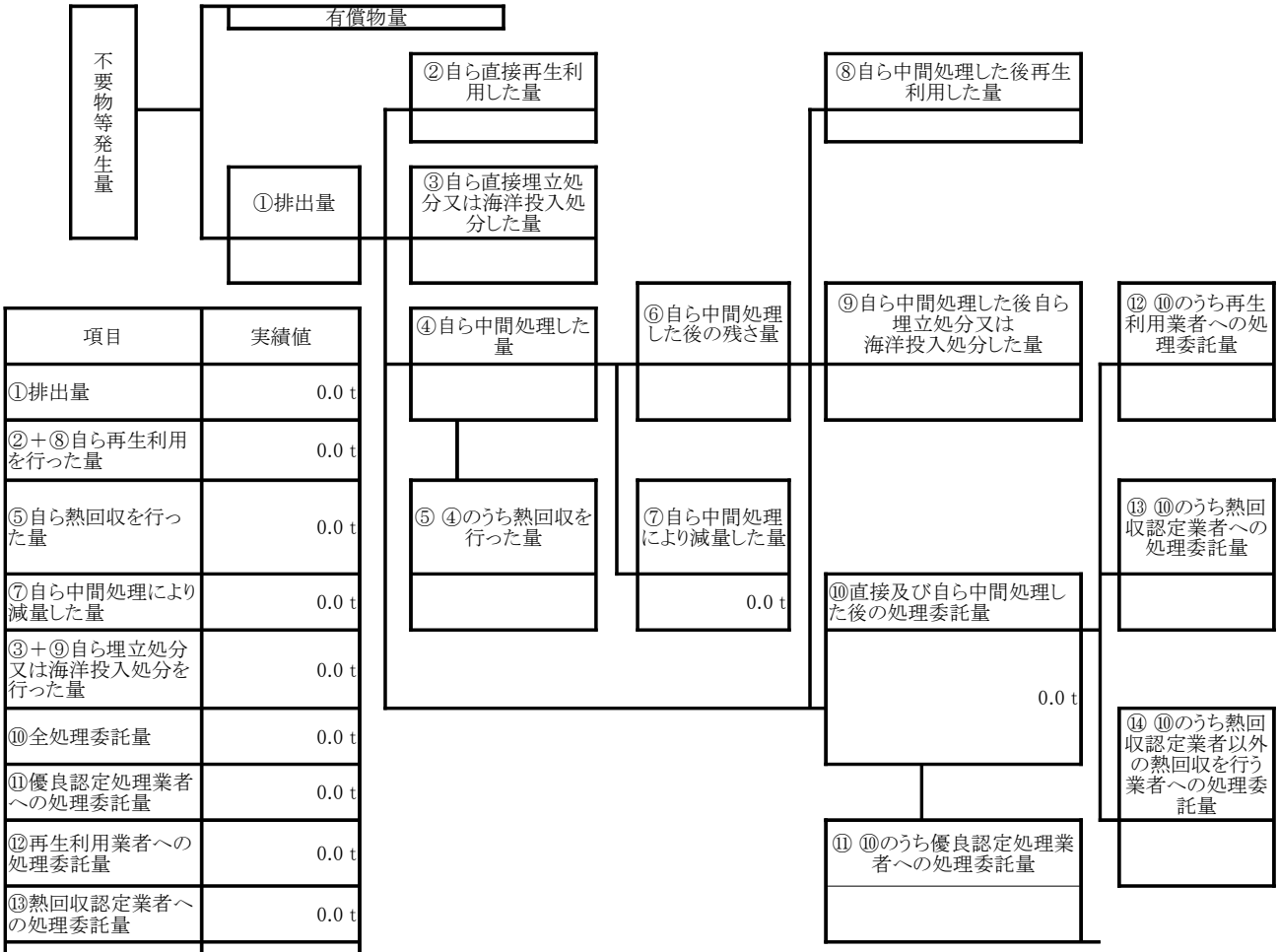
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



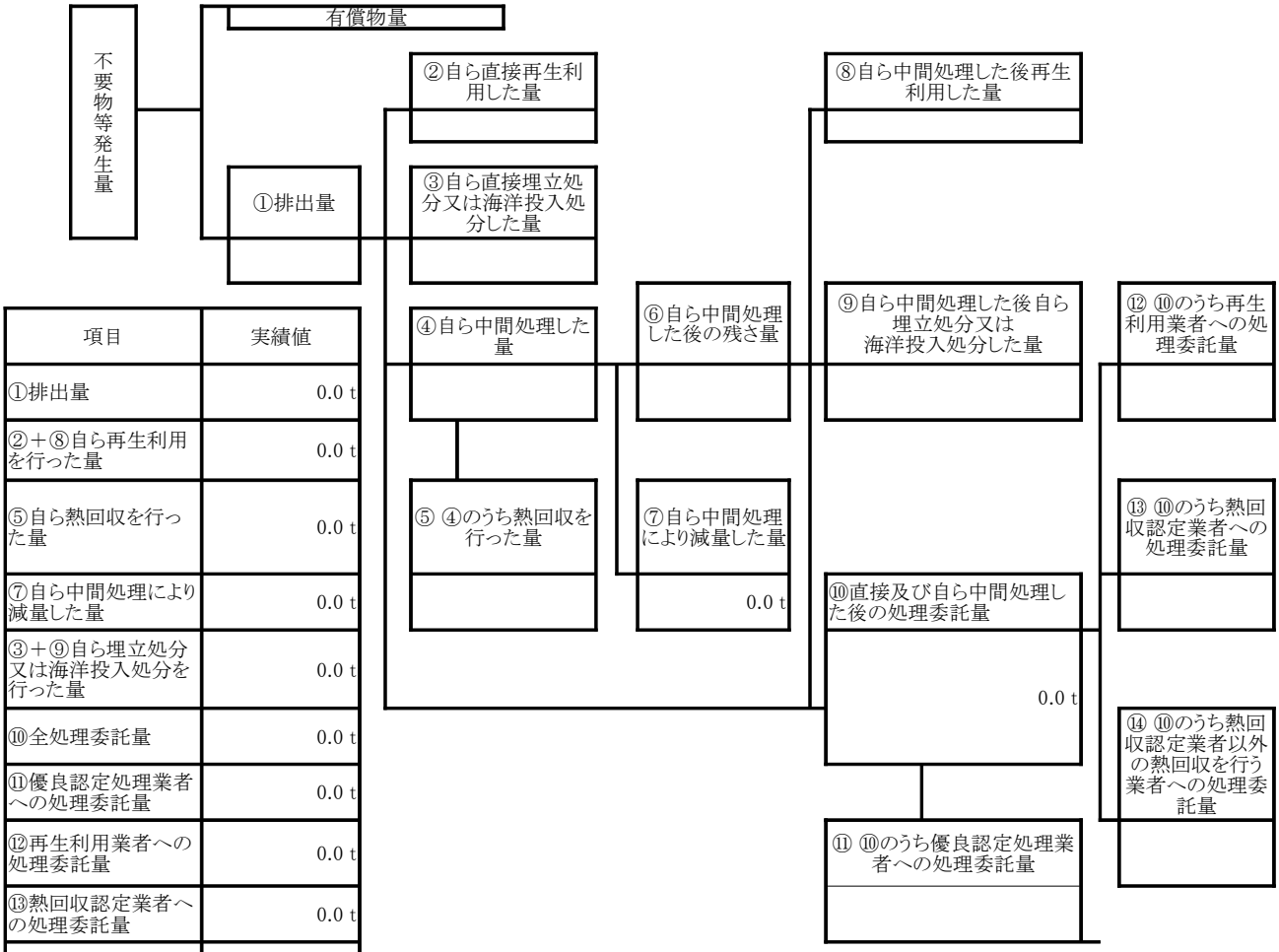
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

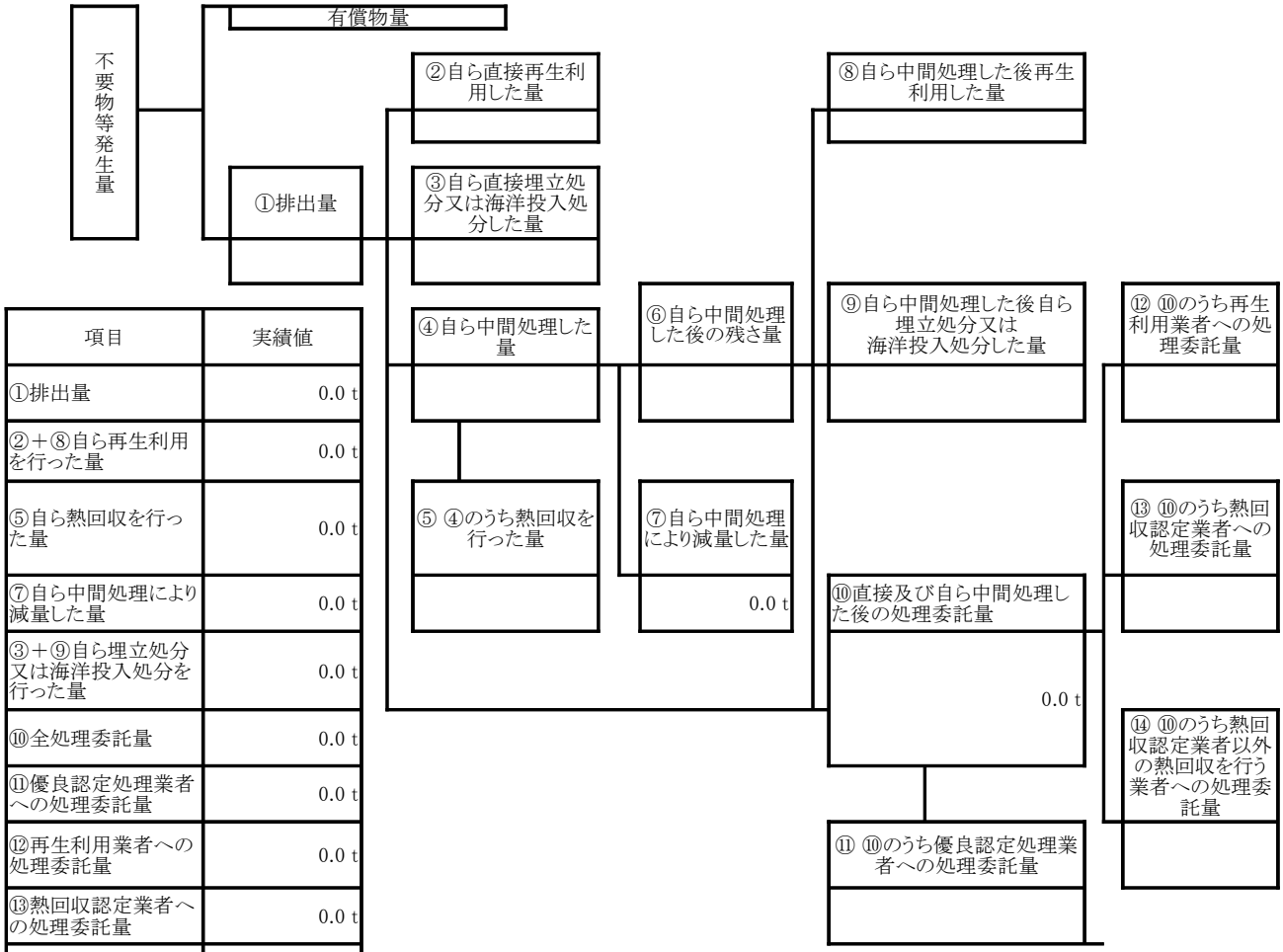


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



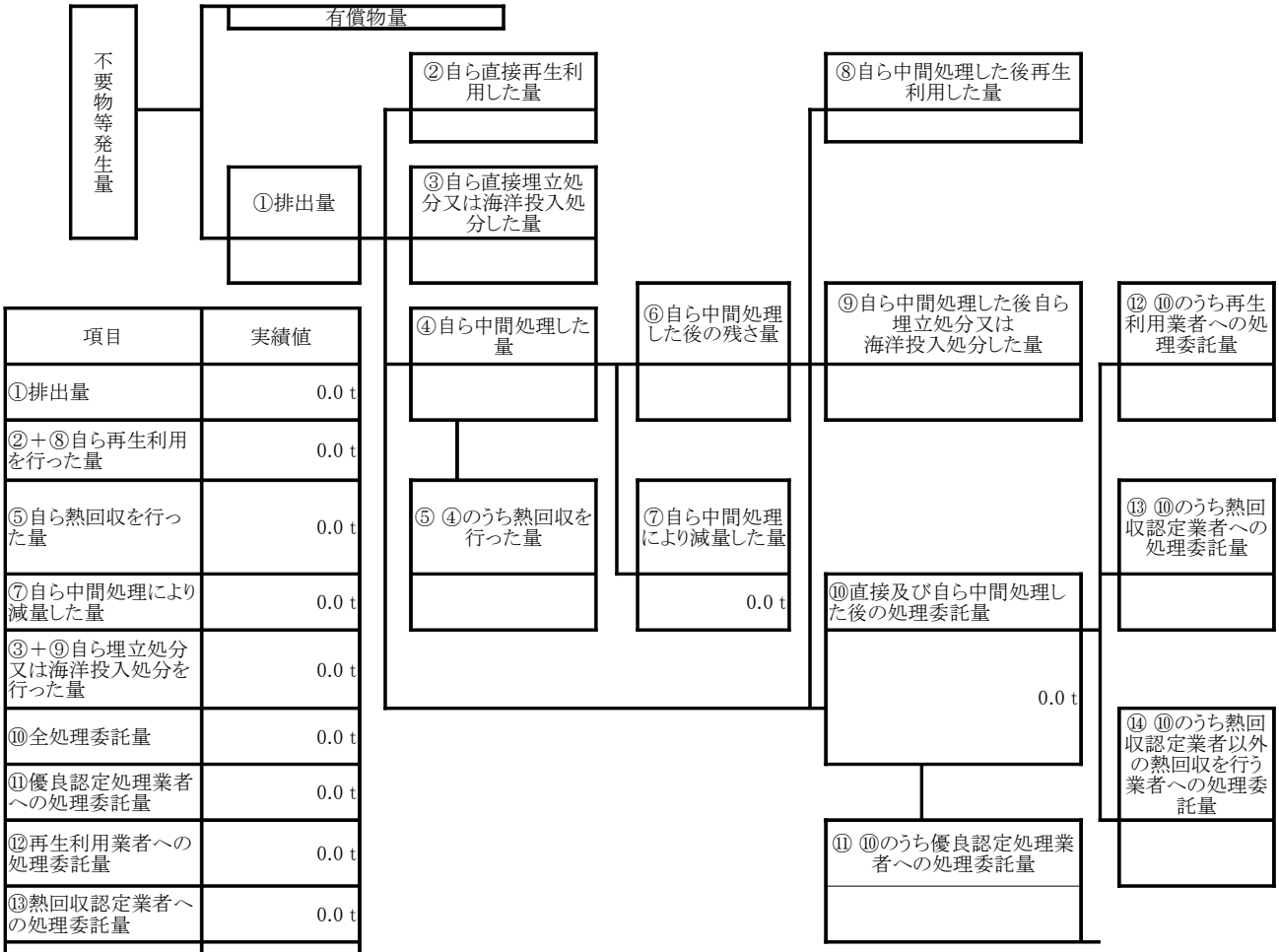
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

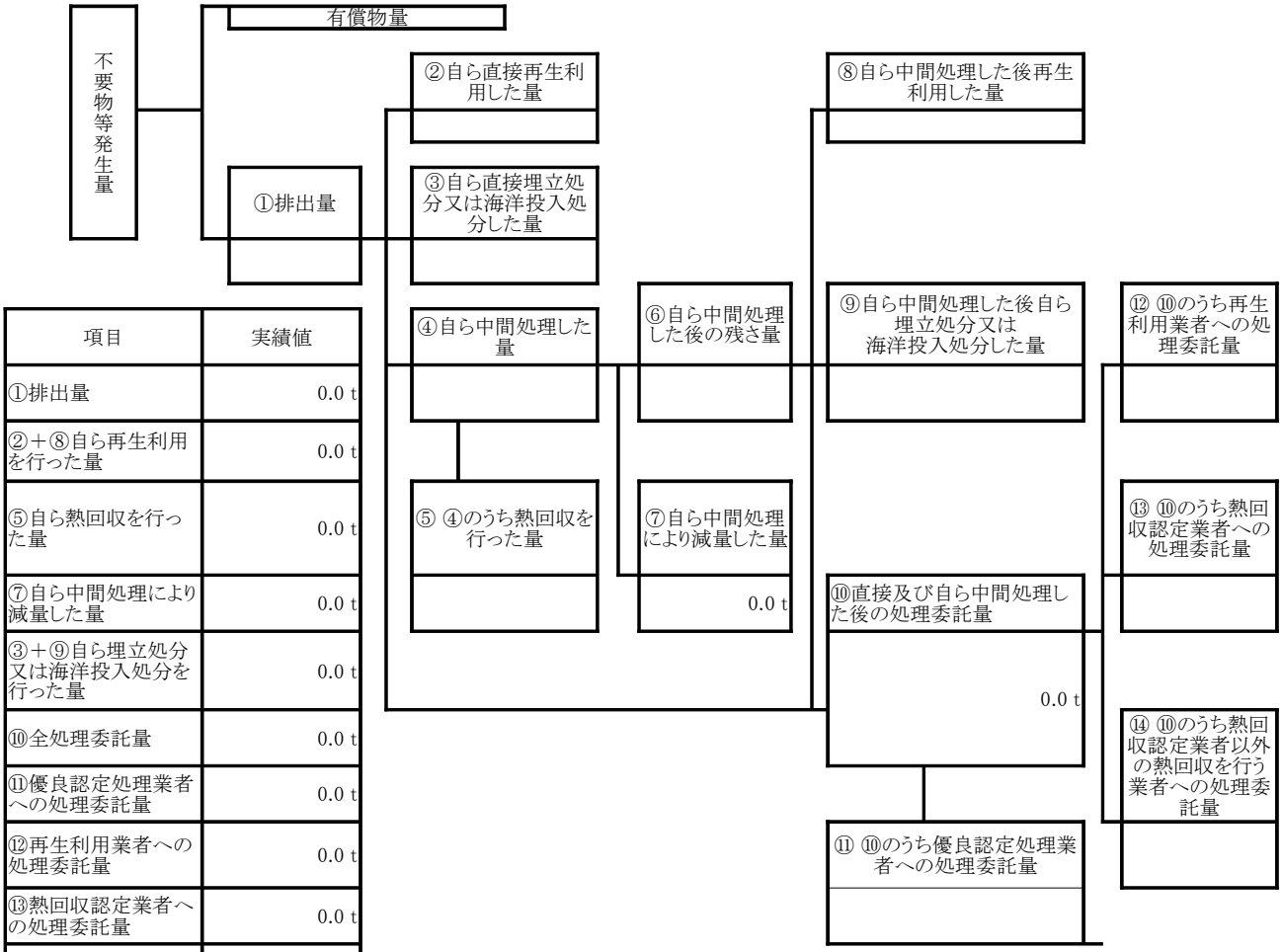


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

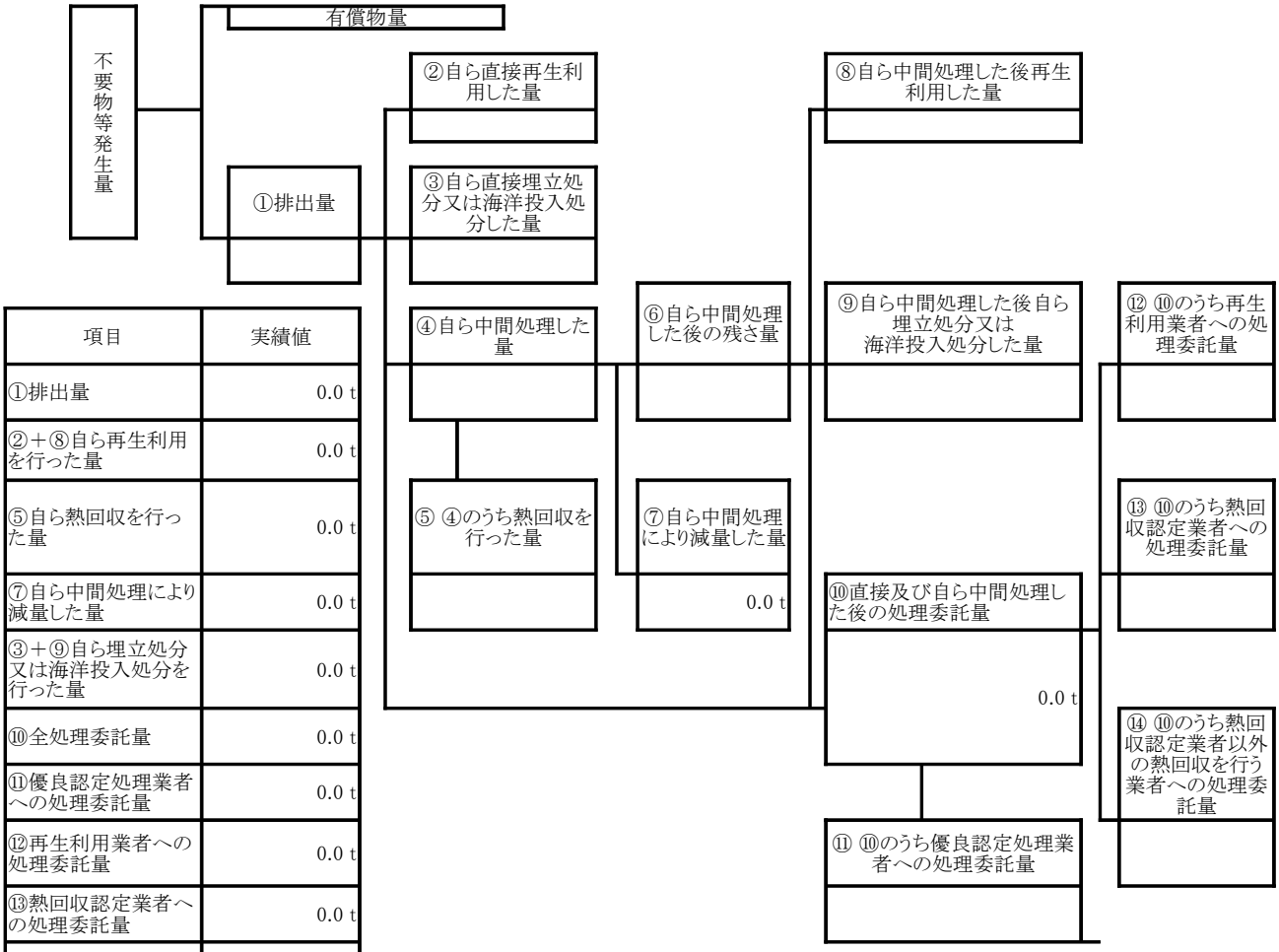


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



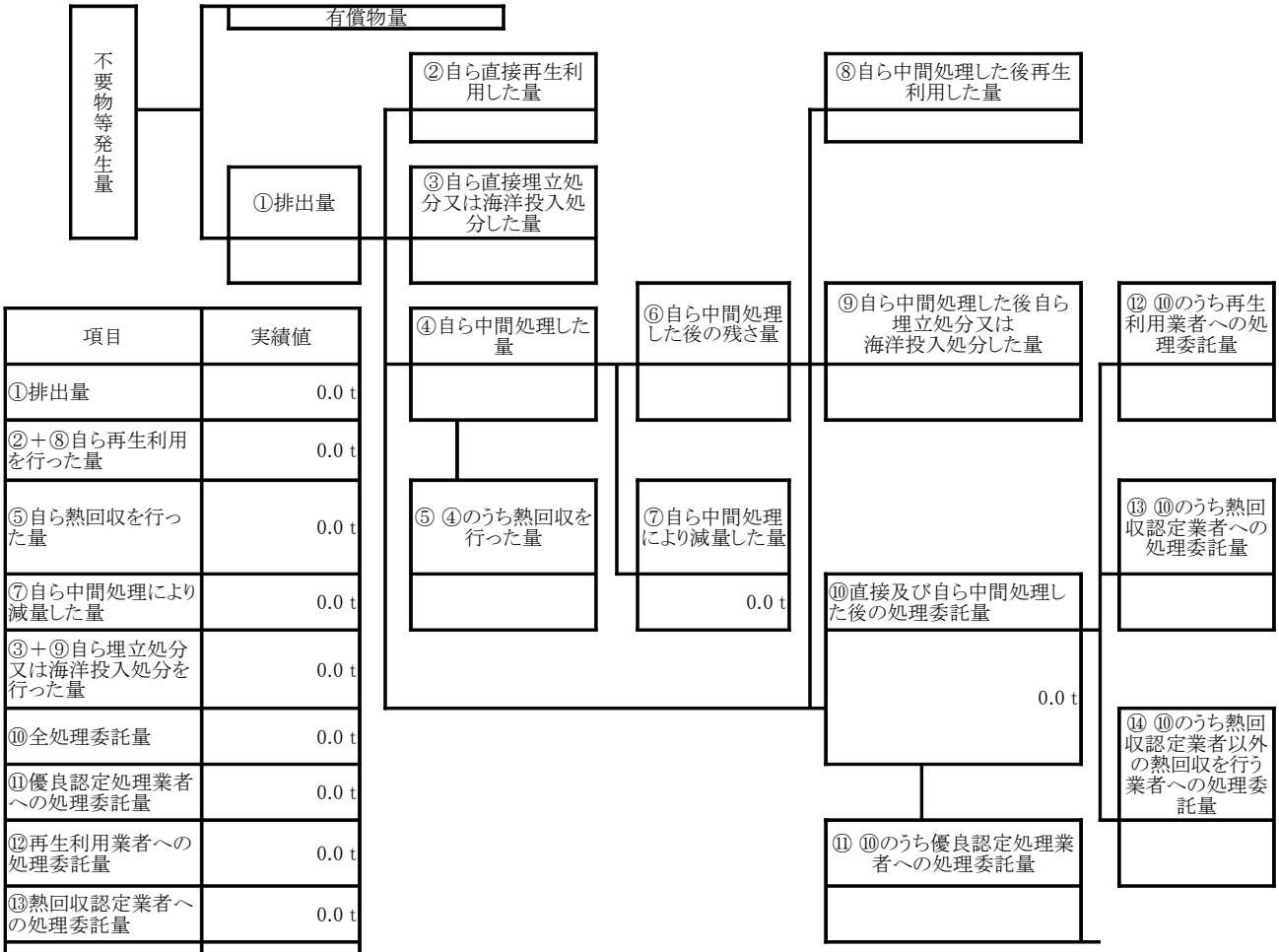
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

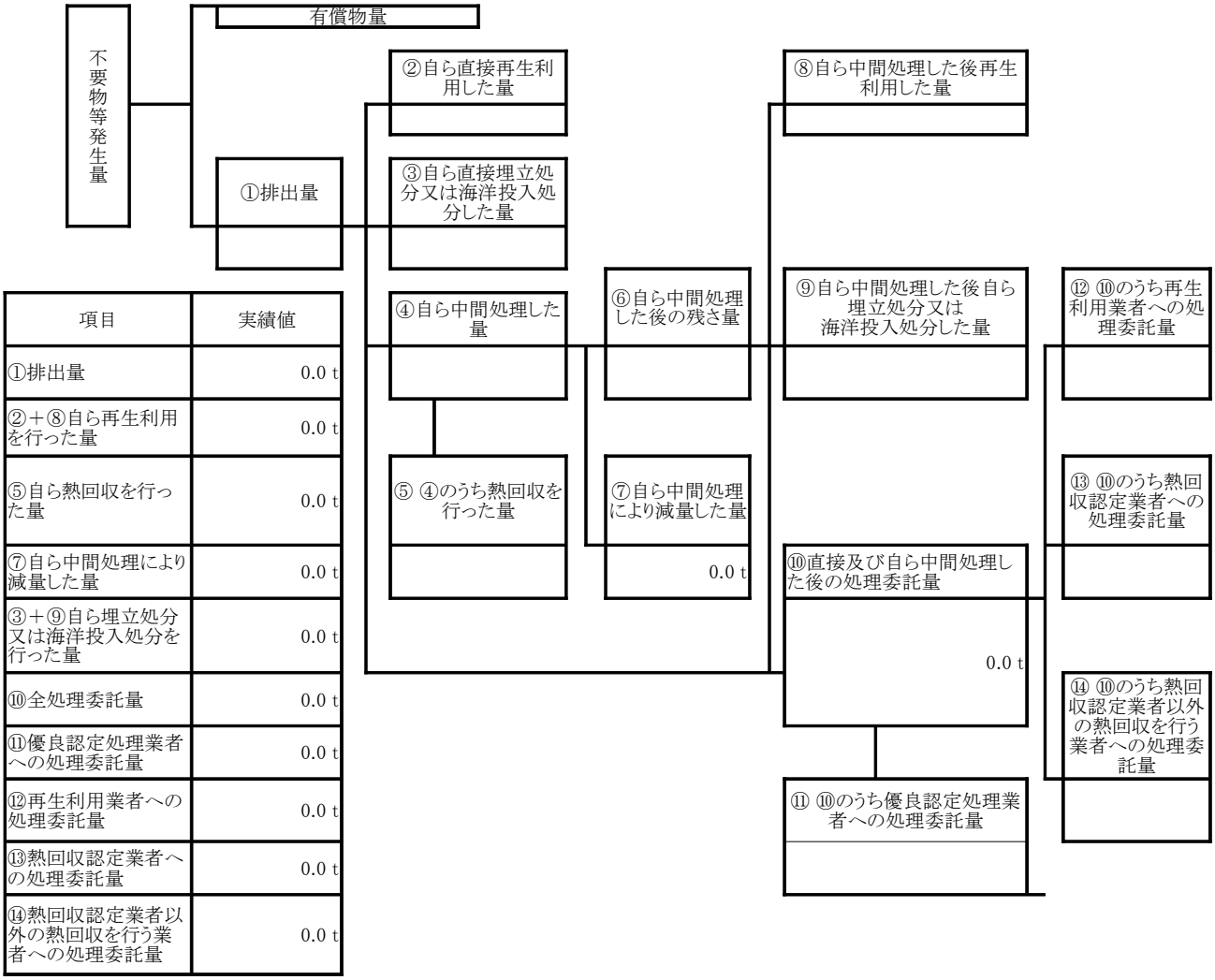


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

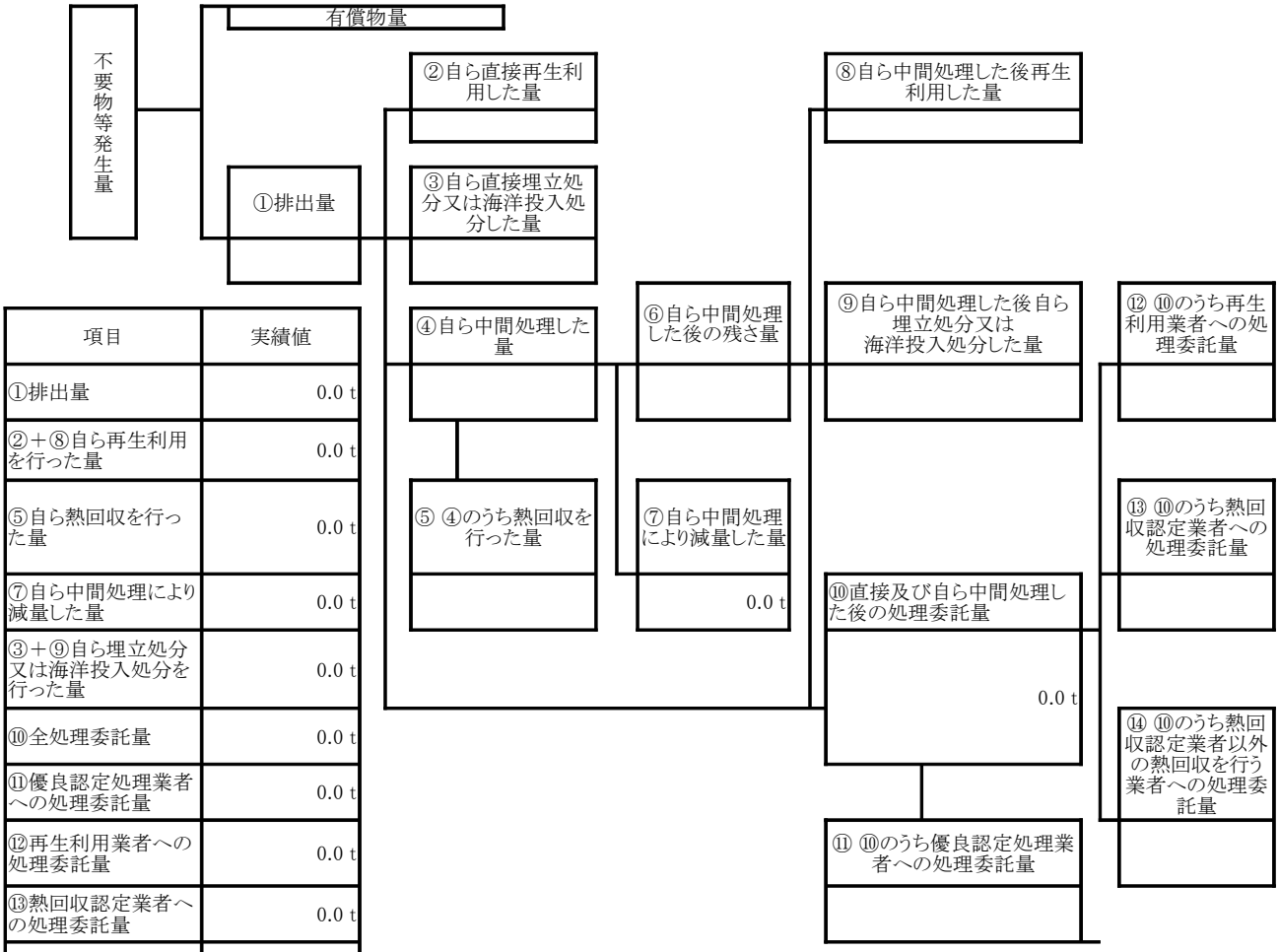


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　6月　6日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者 〒285-0808

住　所　千葉県佐倉市太田2087-4

氏　名　浮間合成株式会社　事業所長　佐藤

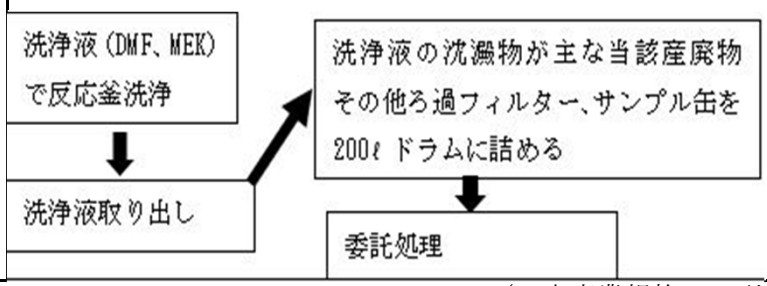
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　043-486-7211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	浮間合成株式会社　佐倉製造事業所
事業場の所在地	千葉県佐倉市太田2087-4
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

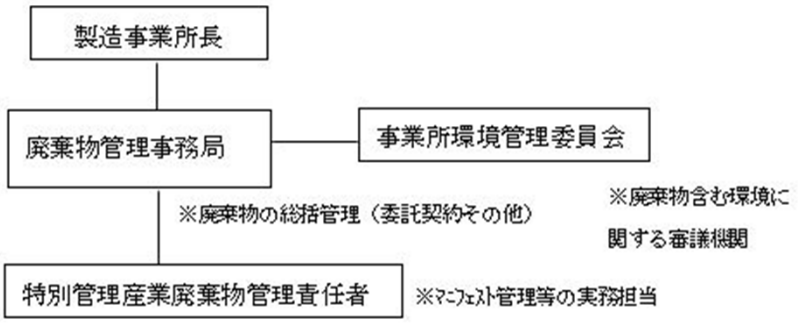
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E16－化学工業
②事業の規模	4,958百万円
③従業員数	211名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本産業規格　Ａ列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	排　　出　　量	276.6　　t	t
	（これまでに実施した取組） ・使用済み洗浄用材の有価物化による廃棄物の削減 ・生産量増加に伴い廃油排出量増加するが、洗浄溶剤の使用量削減等で排出抑制に努める ・長期在庫品の削減 ・B級品の削減		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	排　　出　　量	273.8　　t	t
	（今後実施する予定の取組） ・洗浄溶剤の使用量削減等で排出抑制に努める ・製造工程での収率の改善や不適合品の発生抑制および排水処理での汚泥生成抑制などにより廃棄物発生量の抑制に取り組む ・分別の徹底による外部リサイクル化と社内での再利用を推進し、最終処分量を削減する		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・洗浄液の沈澱物、ろ過フィルター、サンプル缶等を選別し別容器に分別している
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・リサイクル可能な物は分別する

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） ―		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ―		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組 ） ―		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
―

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
―

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	燃えやすい廃油	
全処理委託量	276.6 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	276.6 t	t
再生利用業者への処理委託量	231.9 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	68.4 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	163.5 t	t

（これまでに実施した取組）
・燃料用途にて再生利用可能な処理業者を選定。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>燃えやすい廃油</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">全処理委託量</td><td>273.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>273.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>229.5 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>67.7 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>161.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・燃料用途にて再生利用可能な処理業者を選定推進する</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td colspan="2">276.6 t</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
・今後も引き続き、電子マニフェスト対応の処分業者を選定する</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　6日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒285-0808
住 所　千葉県佐倉市太田2087-4
氏 名　浮間合成株式会社 事業所長 佐藤 浩正
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-486-7211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	浮間合成株式会社
事業場の所在地	千葉県佐倉市太田2087-4
事業の種類	E16－化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	396.6 t	全処理委託量	396.6 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	396.6 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	385.4 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	232.4 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	152.9 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	400.7 t
	前 年 度	276.6 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

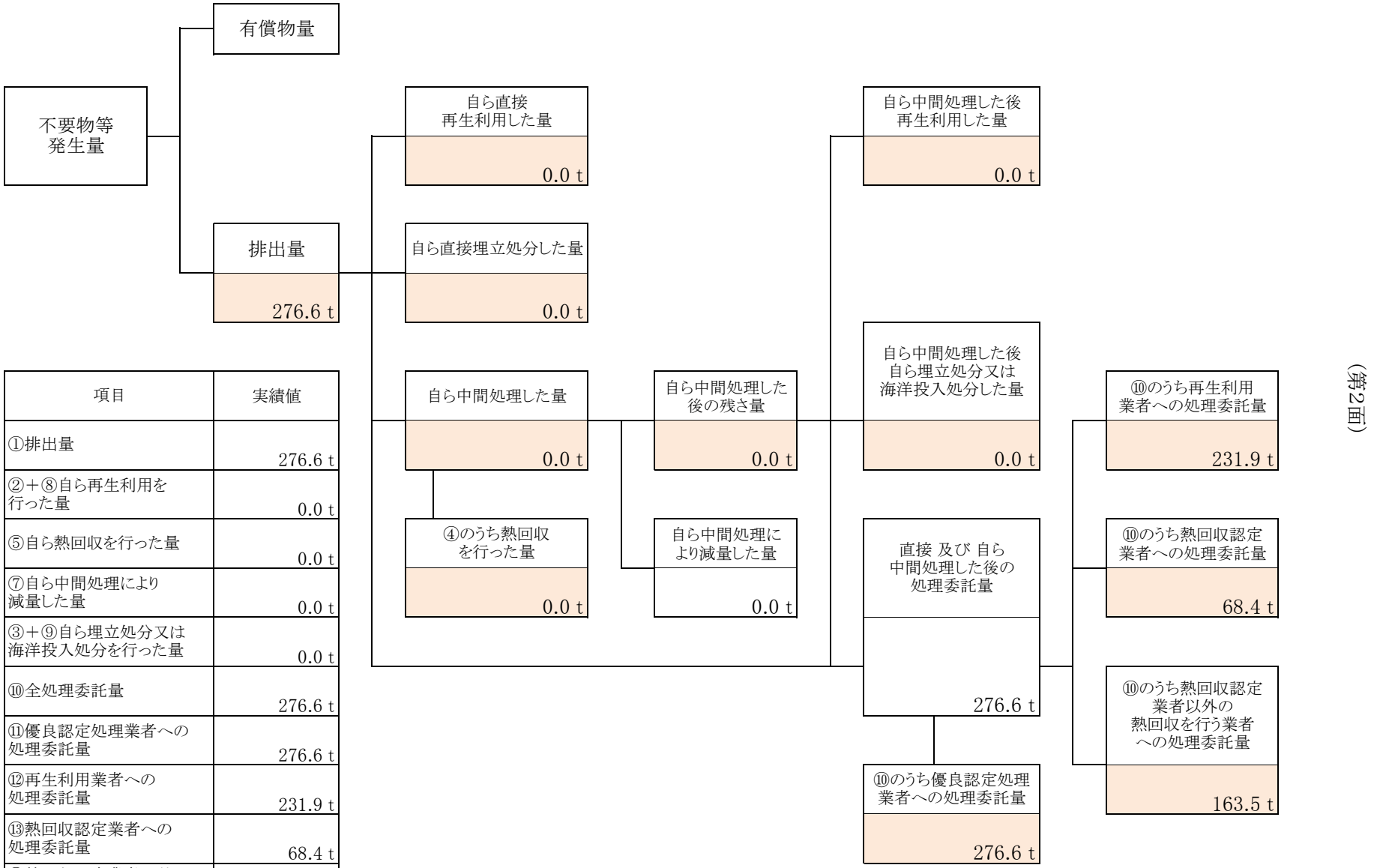
今後も引き続き電子マニフェスト対応の処理業者を選定する。

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類: **燃えやすい廃油** ）



項目	実績値
①排出量	276.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	276.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	276.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	231.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	68.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	163.5 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 4 月 23 日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

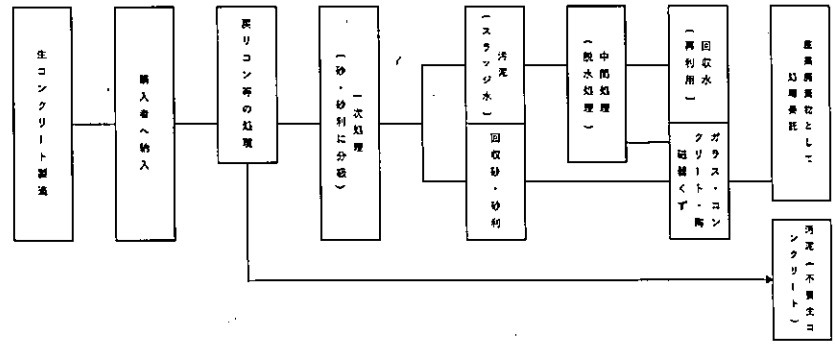
千葉県 葛南地域振興事務所 -6.4.23 収受

提出者　〒279－0002
住　所　千葉県浦安市北栄4丁目１０番１６号
氏　名　株式会社 内山アドバンス　浦安工場
　　工場長　多田　佳史
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０４７－３５１－６２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　内山アドバンス　　浦安工場
事業場の所在地	千葉県浦安市北栄４丁目１０番１６号
計画期間	令和6年4月1日　～　令和7年3月31日

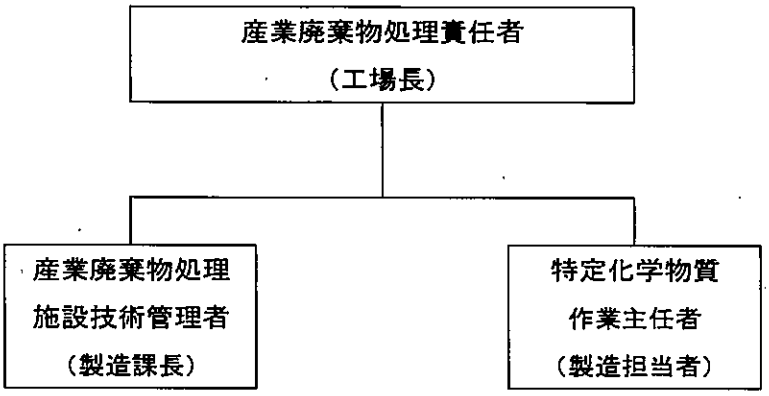
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度製品出荷額　　19.7 億円
③従業員数	34名（自社：12名、下請け輸送会社22名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	1.ガラス・コンクリート・陶磁器くず  2.廃　油 機械設備の潤滑油 剥離用塗り油 → 優良処理業者へ処理委託

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

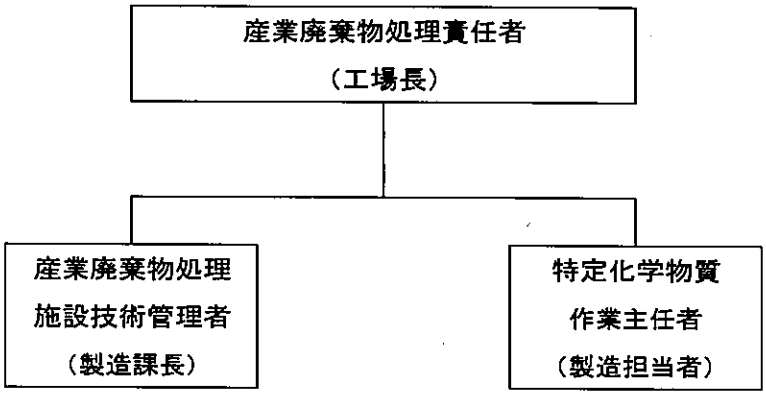
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（不養生コンクリート）	
	排　出　量	449.9 t	
	（これまでに実施した取組） ・出荷当日の購入者との連絡を密に行うことにより、戻りコン及び残コンの発生抑制に努めている。不適合（不合格）を発生させない品質管理の徹底と人的ミスによるミスバッチの抑制。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（不養生コンクリート）	
	排　出　量	449.9 t	
	（今後実施する予定の取組） ・購入者に対し、戻りコンクリート発生実績（約2～3%）を説明し、互いに余りコンクリート発生の抑制意識を高める様に協力依頼を継続して実施する。目標値設定は今年度の計画出荷量を考慮して行う。（今年度出荷見込みは前年度出荷実績の約100%）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ガラス、コンクリート、陶磁器くず及び廃油の表示看板を設け、識別を明確にしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・引続き表示看板を維持し、識別を明確にする。 ・ガラス、コンクリート、陶磁器くずの保管場所の保管最大容量ラインを維持し適正処理を行う。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

③ 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
排　出　量	25,538.02　t	0　t

（これまでに実施した取組）
・出荷当日の購入者との連絡を密に行うことにより、戻りコン及び残コンの発生抑制に努めている。不適合(不合格)を発生させない品質管理の徹底と人的ミスによるミスバッチの抑制。
・廃油に関しては稼働時以外、動力機械を停止させ、節電と共にオイルの老朽を予防している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
排　出　量	25,538.02　t	0　t

（今後実施する予定の取組）
・購入者に対し、戻りコンクリート発生実績（約2～3%）を説明し、互いに余りコンクリート発生の抑制意識を高める様に協力依頼を継続して実施する。目標値設定は今年度の計画出荷量を考慮して行う。（今年度出荷見込みは前年度出荷実績の約100%）
・廃油：引続き稼働時以外は動力機械を停止させ、節電と共にオイルの老朽を予防する。また、その周知教育を充実させる。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・ガラス、コンクリート、陶磁器くず及び廃油の表示看板を設け、識別を明確にしている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・引続き表示看板を維持し、識別を明確にする。
・ガラス、コンクリート、陶磁器くずの保管場所の保管最大容量ラインを維持し適正処理を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

② 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(不養生コンクリート)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） ・汚泥(不養生コンクリート)： これまでに自社で産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(不養生コンクリート)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥(不養生コンクリート)： 引き続き自社で産業廃棄物の再生利用を行う予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

② 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(不養生コンクリート)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	（これまでに実施した取組） ・汚泥(不養生コンクリート)： これまでに自社で産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(不養生コンクリート)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	（今後実施する予定の取組） ・汚泥(不養生コンクリート)： これまでに自社で産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
これまでに自社で産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
引き続き自社で産業廃棄物の再生利用を行う予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	19,075.97 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
戻りコン等の発生時は、スラッジケーキ(脱水処理)及び回収砂・砂利に分級しガラス・コンクリート・陶磁器くずとして委託業者へ委託している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	19,075.97 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
引続き戻りコン等の発生時は、スラッジケーキ(脱水処理)及び回収砂・砂利に分級し、ガラス・コンクリート・陶磁器くずとして委託業者へ委託する。
（今年度出荷見込みは前年度出荷実績の約100%）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥（不養生コンクリート）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	

（これまでに実施した取組）
・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥（不養生コンクリート）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	

（今後実施する予定の取組）
・引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥（不養生コンクリート）	
全処理委託量	449.9 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
再生利用業者への処理委託量	449.9 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	

（これまでに実施した取組）
・汚泥(不養生コンクリート)：
産業廃棄物の再利用ができる委託業者に委託している。
出荷当日の購入者との連絡を密に行うことにより、戻りコン及び残コンの発生抑制に努めている。不適合(不合格)を発生させない品質管理の徹底と人的ミスによるミスバッチの抑制。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

③ 現状

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず及び廃油：
引続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃　油
全処理委託量	6,462.05 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	6,462.05 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
・ガラス・コンクリート・陶磁器くず：
産業廃棄物の再利用ができる委託業者に委託している。残コン及び戻りコンの発生を少しでも減少出来るよう施工者への呼びかけを行っている。今後も排出の抑制への取り組みを継続して行う。
・廃油：優良認定処理業者へ委託している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥(不養生コンクリート)	
		全処理委託量	449.9 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
		再生利用業者への処理委託量	449.9 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
		(今後実施する予定の取組) ・汚泥(不養生コンクリート): 産業廃棄物の再利用ができる委託業者に委託している。 残コン及び戻りコンの発生を少しでも減少出来るよう施工者への呼びかけを行っている。今後も排出の抑制への取り組みを継続して行う。		
※事務処理欄				

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃油
		全処理委託量	6,462.05 t	0 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	6,462.05 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
		（今後実施する予定の取組） ・ガラス・コンクリート・陶磁器くず： 産業廃棄物の再利用ができる委託業者に委託している。残コン及び戻りコンの発生を少しでも減少出来るよう施工者への呼びかけを行っている。今後も排出の抑制への取り組みを継続して行う。 ・廃油：優良認定処理業者へ委託している。 （今年度出荷見込みは前年度出荷実績の約100%）		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 4 月 23 日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　〒279－0002
住　所　千葉県浦安市北栄４丁目１０番１６号
氏　名　株式会社　内山アドバンス 浦安工場
工場長　多田　佳史
電話番号　０４７－３５１－６２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 内山アドバンス　浦安工場
事業場の所在地	千葉県浦安市北栄４丁目１０番１６号
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

産業廃棄物処理計画における目標値

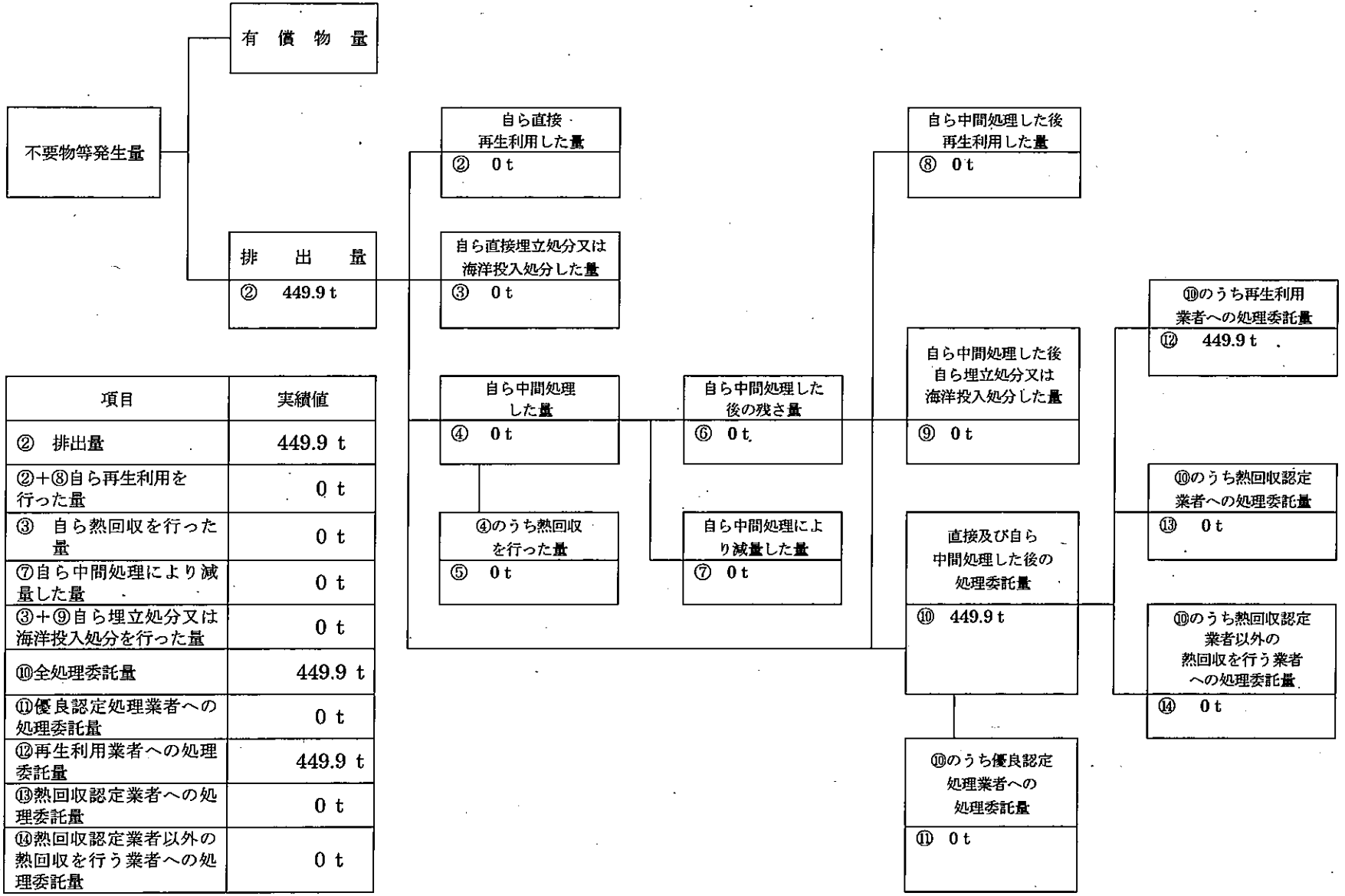
項目	目標値	項目	目標値
排出量	26,806.5ｔ	全処理委託量	8,724.1ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	8,724.1ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	18082.4ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 汚　泥（不養生コンクリート） ）

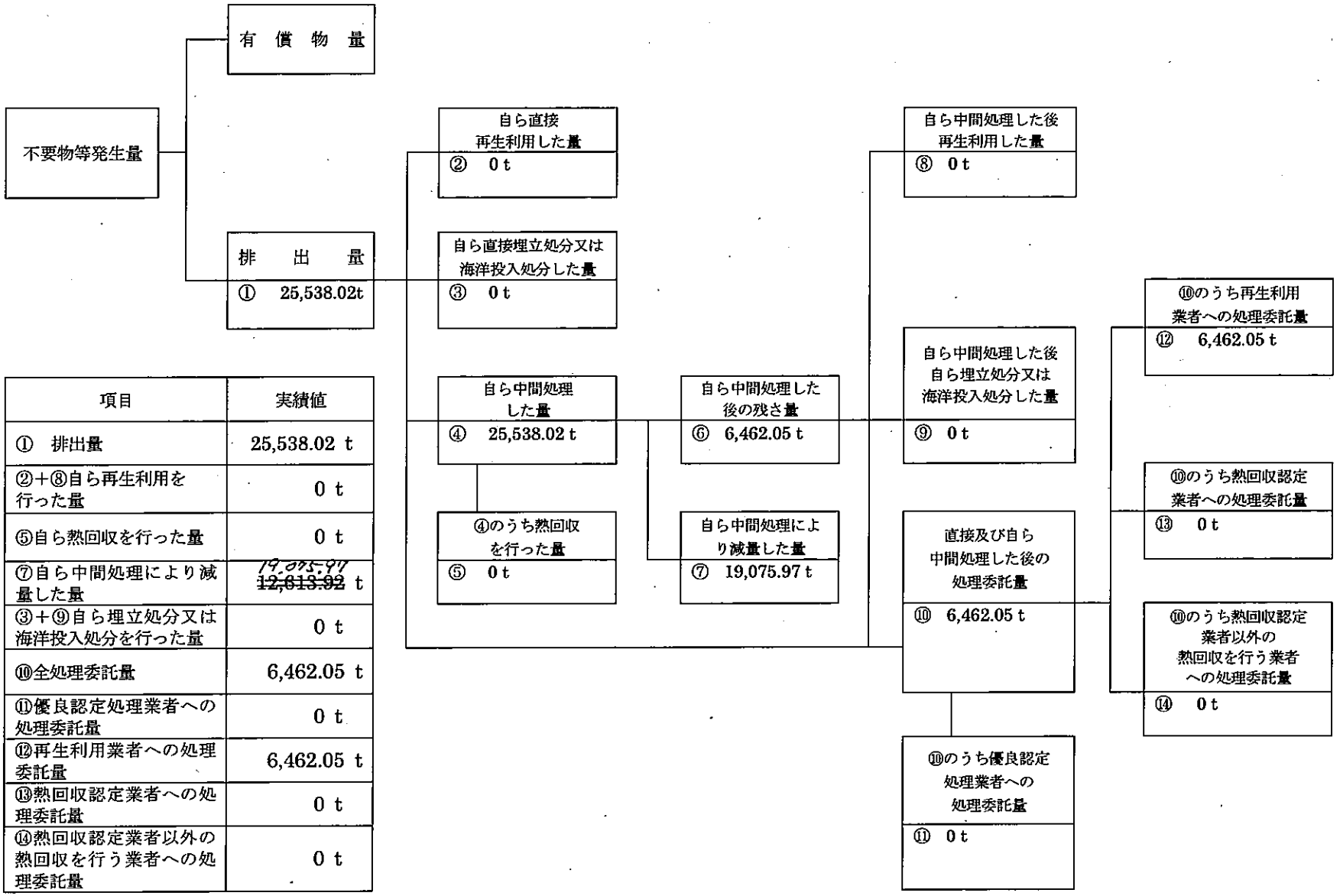


項目	実績値
② 排出量	449.9 ｔ
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 ｔ
③ 自ら熱回収を行った量	0 ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0 ｔ
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 ｔ
⑩全処理委託量	449.9 ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 ｔ
⑫再生利用業者への処理委託量	449.9 ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 ｔ
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 ｔ

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）

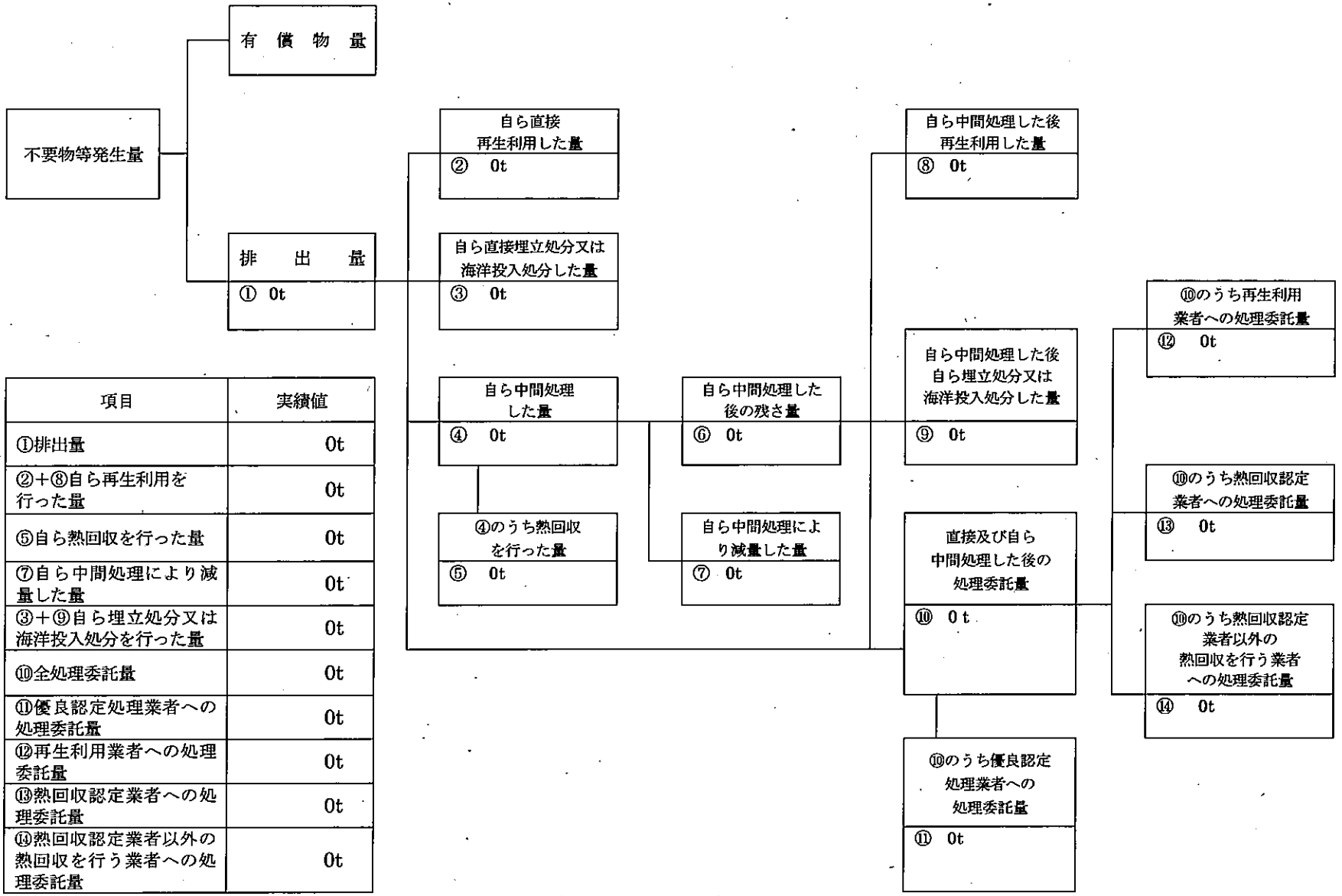


項目	実績値
①　排出量	25,538.02 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	~~19,075.97~~ ~~12,613.92~~ t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	6,462.05 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6,462.05 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃　油　）



項目	実績値
①排出量	0t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

（第２面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 5月 1日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒270-1534

住　所　千葉県印旛郡栄町西字西耕地650番地6

氏　名　内山北総レミコン株式会社
代表取締役　内山　勝弘

電話番号 0476-95-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

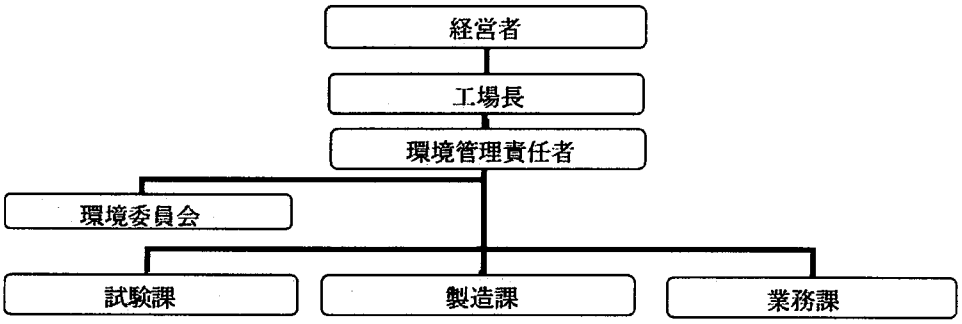
事業場の名称	内山北総レミコン株式会社
事業場の所在地	千葉県印旛郡栄町西字西耕地650番地6
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E21－窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製品出荷額等　1,198百万円
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物の具体的な名称：戻りコンクリート 処理方法：脱水 処理の手段：委託

（日本工業規格　A列4番）

印旛地域振興事務所
6.5.-1
収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	5,270.60 t	t
	（これまでに実施した取組） 戻りコンクリートの減量。 正確なコンクリートの発注を購入者に依頼する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	排出量	3,500 t	t
	（今後実施する予定の取組） 戻りコンクリートの減量。 正確なコンクリートの発注を購入者に依頼する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 適正保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 適正保管

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

なし

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

なし

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
全処理委託量	5270.60 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	5270.60 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

正確なコンクリートの発注を購入者に依頼する。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
		全処理委託量	3,500 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	3,500 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 正確なコンクリートの発注を購入者に依頼する。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴ ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
⑵ ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
⑶ ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 5月 1 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒270-1534
住 所　千葉県印旛郡栄町西字西耕地650番地6
氏 名　内山北総レミコン株式会社
代表取締役 内山 勝弘
電話番号 0476-95-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	内山北総レミコン株式会社
事業場の所在地	千葉県印旛郡栄町西字西耕地650番地6
事業の種類	E21－窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

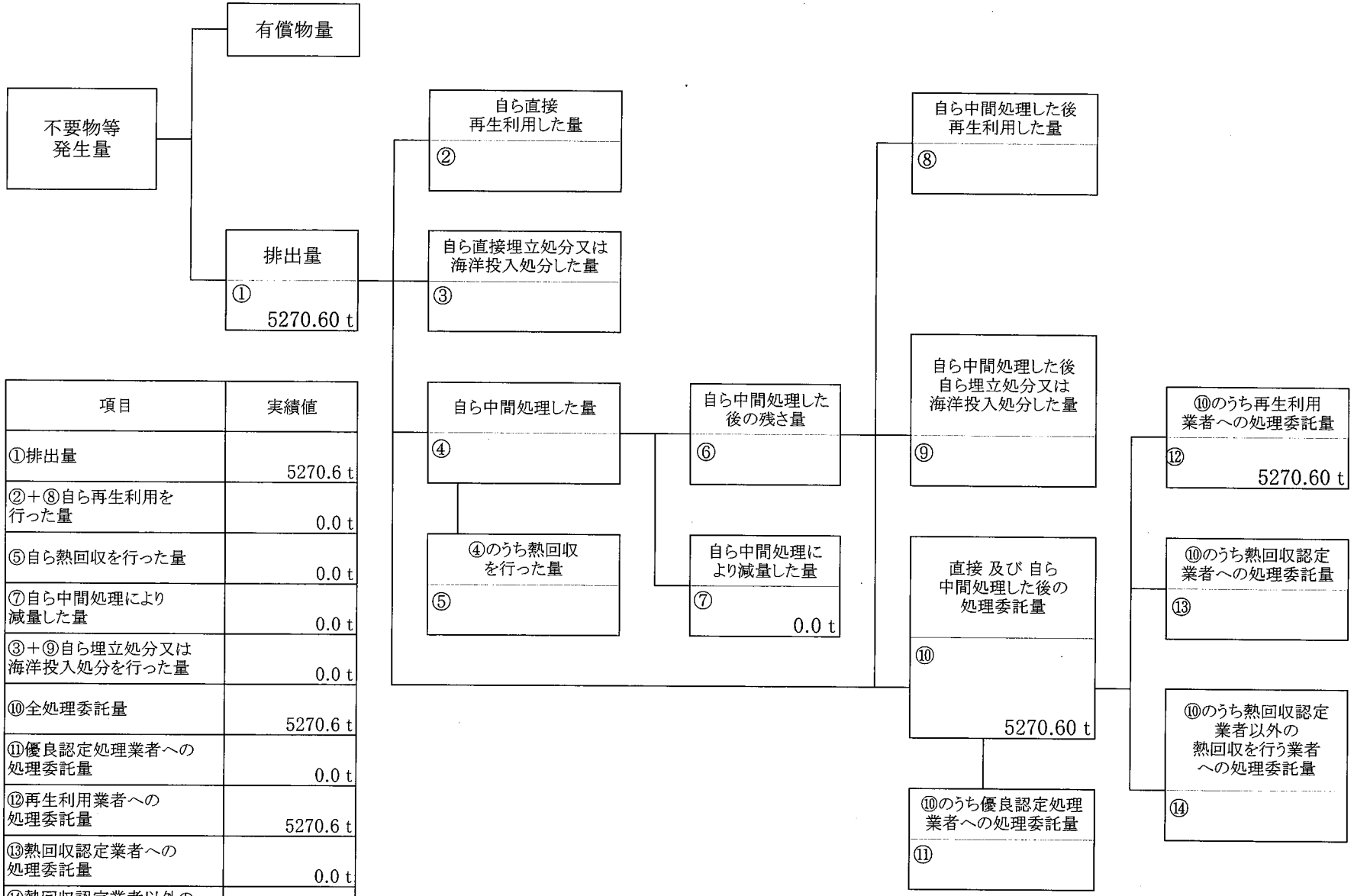
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2800.0 t	全処理委託量	2800.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	2800.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

地域振興事務所
6.5.-1
収受

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ）



項目	実績値
①排出量	5270.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5270.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5270.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年4月18日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　755-8510

住　所　山口県宇部市大字小串1985番地

法人名　宇部マテリアルズ株式会社

代表者　伊藤 芳明

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0836-31-0156

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	宇部マテリアルズ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸8番地2
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	売上金額（出荷ベース）9,830百万円
③従業員数	195名（正社員116名,常駐協力会社員79名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	1291 t	40 t

（これまでに実施した取組）

・汚泥：原料及び製品のベルトからのこぼれを無くす（クリーナーの設置）
・廃プラスチック類：種類毎に分別している

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	1400 t	50 t

（今後実施する予定の取組）

・汚泥：原料及び製品のベルトからのこぼれを無くす（クリーナーの設置）
・廃プラスチック類：種類毎に分別を行う

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・汚泥：生石灰、消石灰、炭カル毎に分別している
・廃プラスチック類：種類毎に分別している

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・汚泥：今後も生石灰、消石灰、炭カル毎に分別していく
・廃プラスチック類：今後も種類毎に分別を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

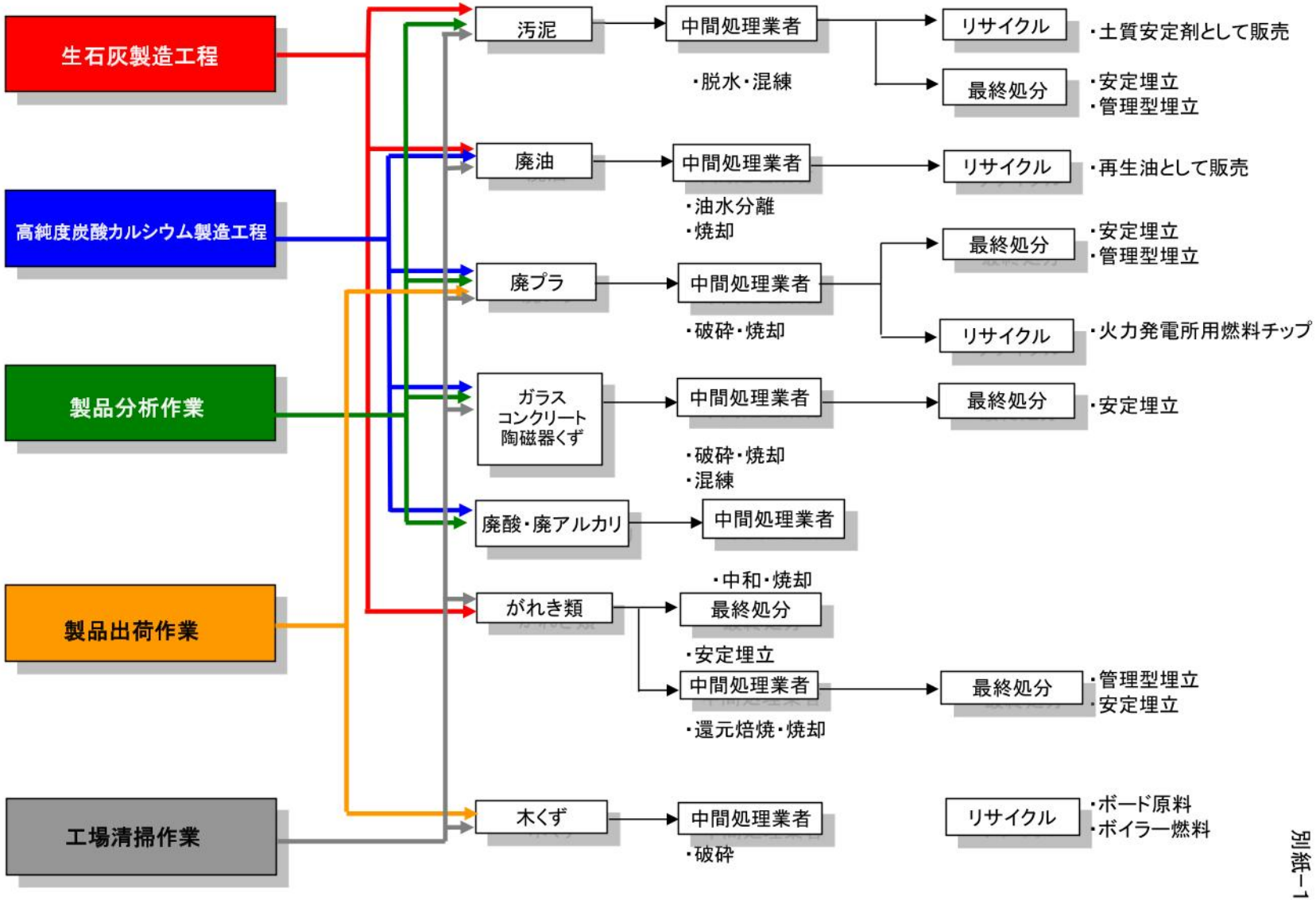
産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量		1291 t	40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	229 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1027 t	40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

・汚泥：生石灰、消石灰、炭カル毎に分別している
・廃プラスチック類：種類毎に分別している

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>1400 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>400 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1000 t</td><td>50 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・汚泥：今後も生石灰、消石灰、炭カル毎に分別していく
・廃プラスチック類：今後も種類毎に分別を行う</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理工程



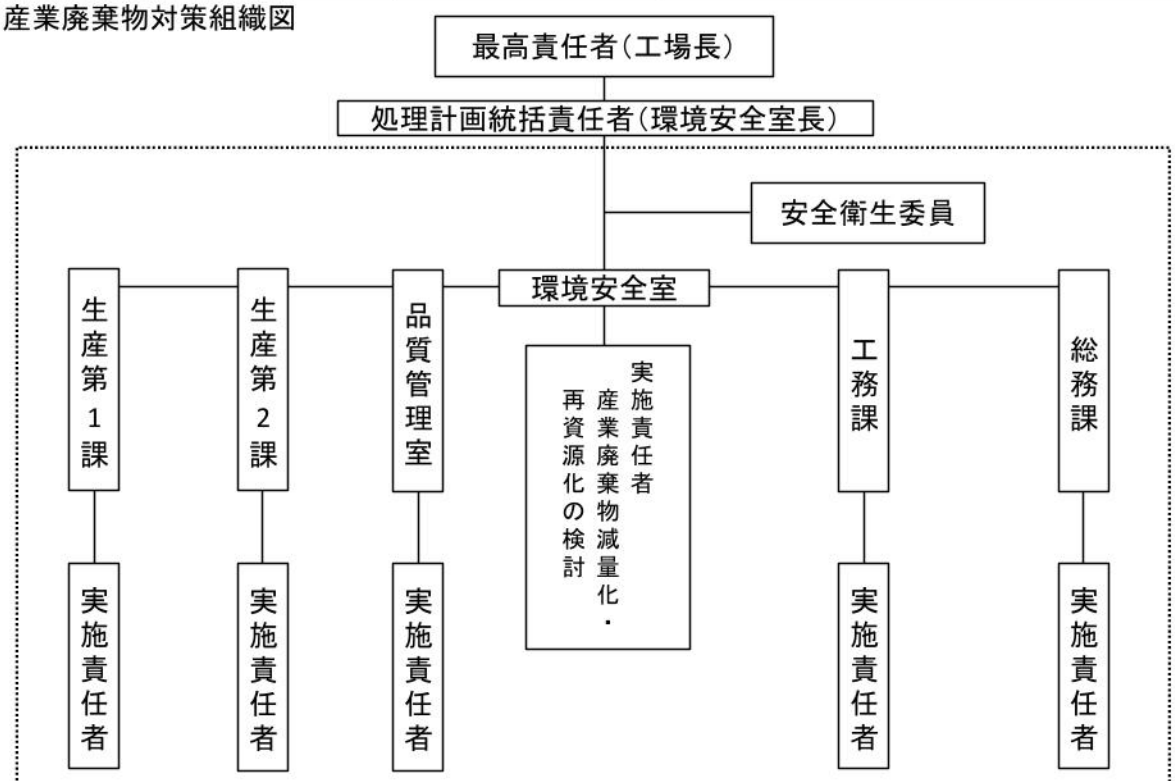
別紙－1

別紙－2

廃棄物管理組織・体制

管理組織責任者	所属　千葉工場	職　工場長
廃棄物担当組織名	組織名　環境安全室	廃棄物担当組織人数　5人
	電話番号　0436－(22)－3566	
処理計画組織規程	名　称	環境マニュアル(EMS)・規程
	概　要	事業場処理計画の最高責任者は工場長とし、工場内全ての廃棄物に関する管理統括を行う。計画の作成・実施に係る管理は環境安全室が担当し、環境安全室長は計画責任者としてその職務を遂行させる。 対策の実施にあたっては、千葉工場の各課長が実施責任者として廃棄物管理を徹底させる。 廃棄物に関わる問題等は安全衛生委員会で検討し、これらの事務局は環境安全室があたる。
	情報管理方法	廃棄物は全て、環境安全室が処理責任部署として担当しており、処理委託契約書の作成、マニフェスト伝票の発行・管理、処理費用伝票発行等、実績記録と工場内関係部署への周知徹底を図っている。

産業廃棄物対策組織図



産業廃棄物対策組織は、工場長を最高責任者とし、環境安全室,生産第1課,生産第2課,工務課,品質管理室,総務課で構成され、安全衛生委員会の運営、及び廃棄物に関する情報管理は環境安全室が行う。環境安全室長は、処理計画統括責任者として事業場処理計画を総合的に管理する。

備考1.　処理計画組織規定の概要では、経営責任者、処理計画統括責任者、処理計画作成機関、処理計画への関与、権限、責任範囲等を明確にする。

備考2.　処理計画組織規定の情報管理方法には、廃棄物処理実態の把握方法、保管・委託に関する情報管理をどのように実施しているかを示す。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		排　出　量	10 t	11 t	3 t	17 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		排　出　量	15 t	20 t	2 t	20 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず，コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃油	ｶﾞﾗくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
	全処理委託量	10 t	11 t	3 t	17 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	11 t	1 t	17 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラ・紙くず	ｶﾞﾗくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず				
	全処理委託量	15 t	20 t	2 t	20 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	15 t	20 t	2 t	20 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年4月18日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　755-8510

住所 山口県宇部市大字小串1985番地

法人名 宇部マテリアルズ株式会社

代表者 伊藤 芳明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0836-31-0156

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	宇部マテリアルズ株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井南海岸8番地2
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1960 t	全処理委託量	1960 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	402 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1558 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

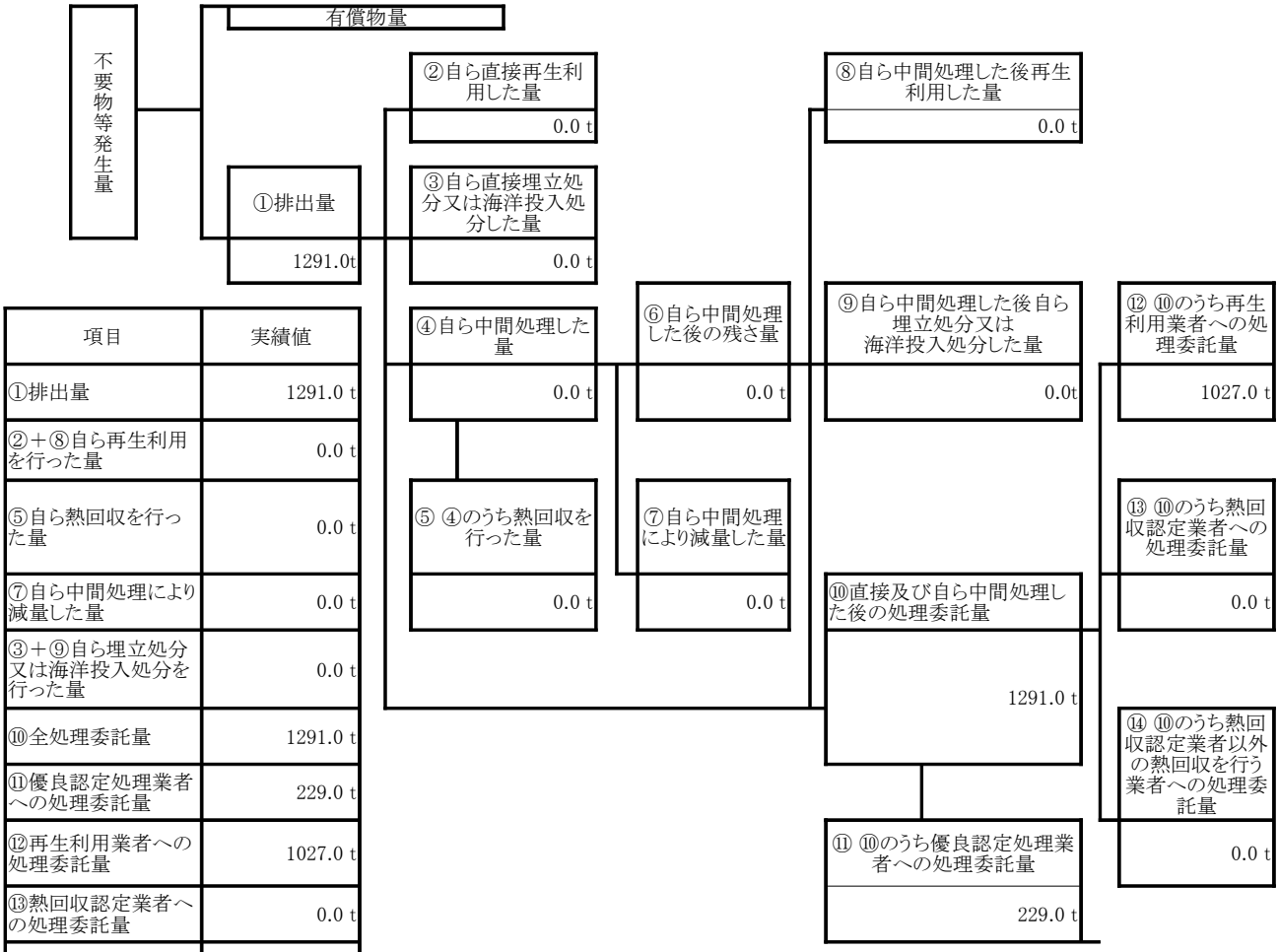
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

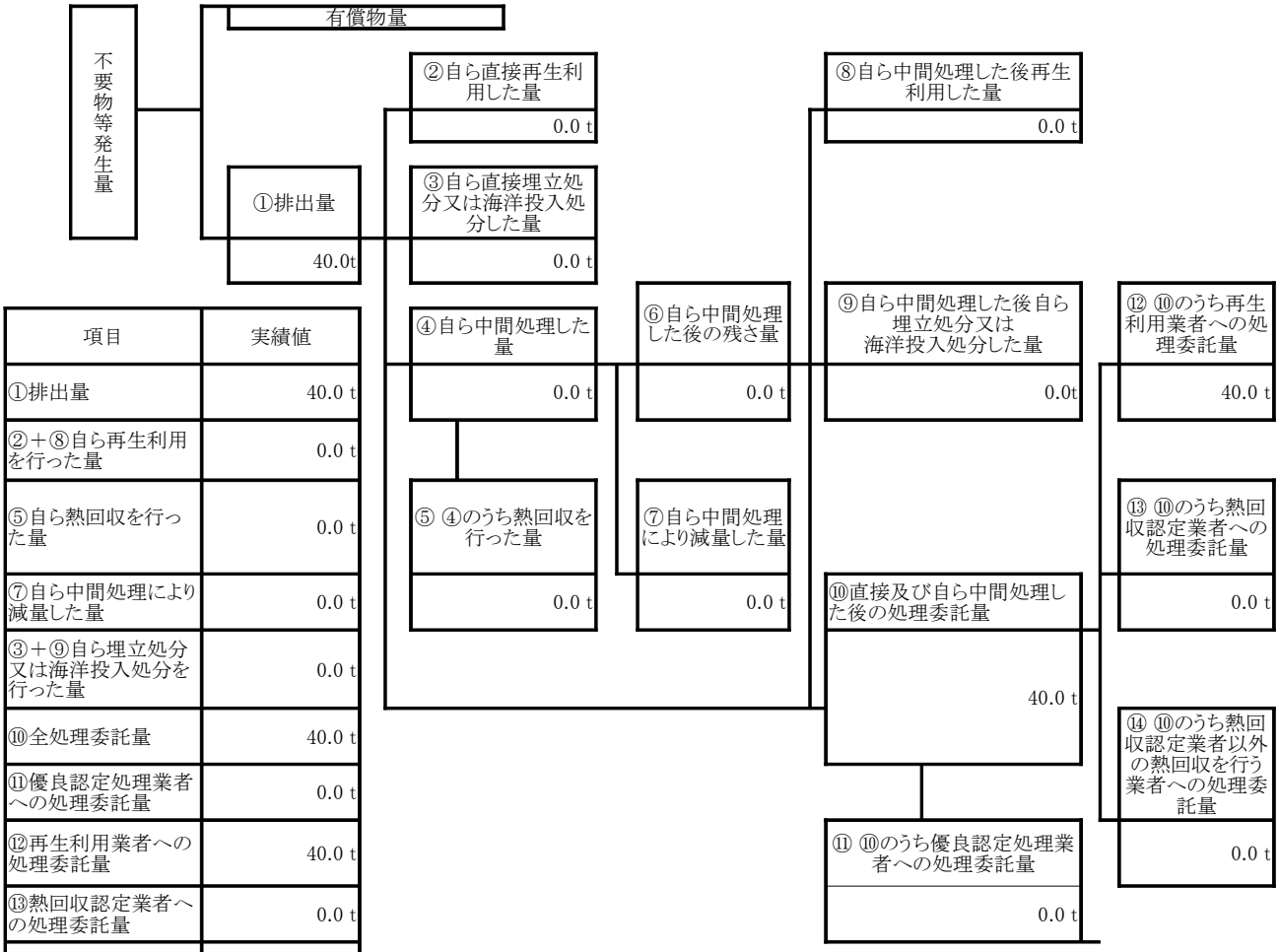


項目	実績値
①排出量	1291.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1291.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	229.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1027.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

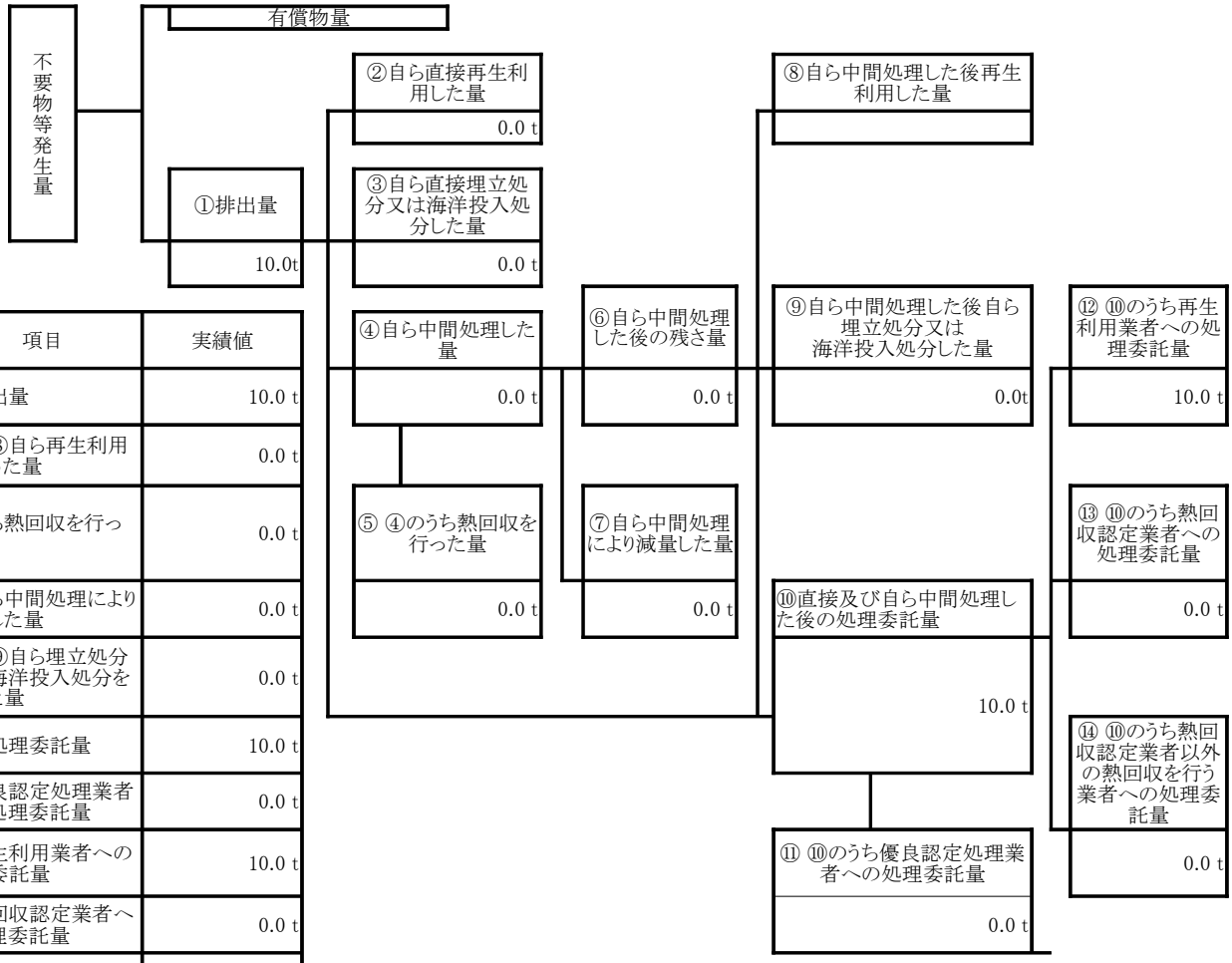


項目	実績値
①排出量	40.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	40.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	40.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃油**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

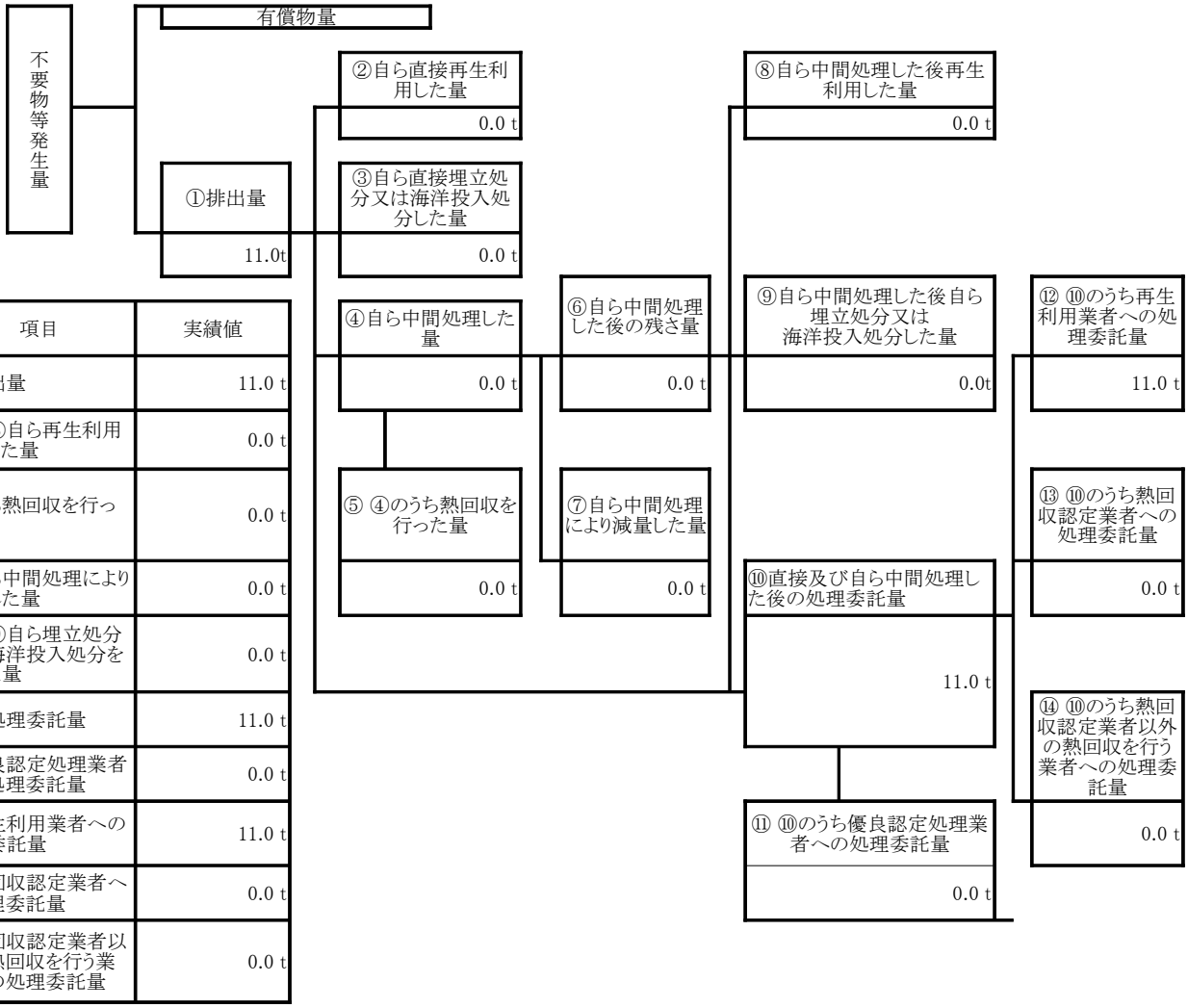


項目	実績値
①排出量	10.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラ・紙くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

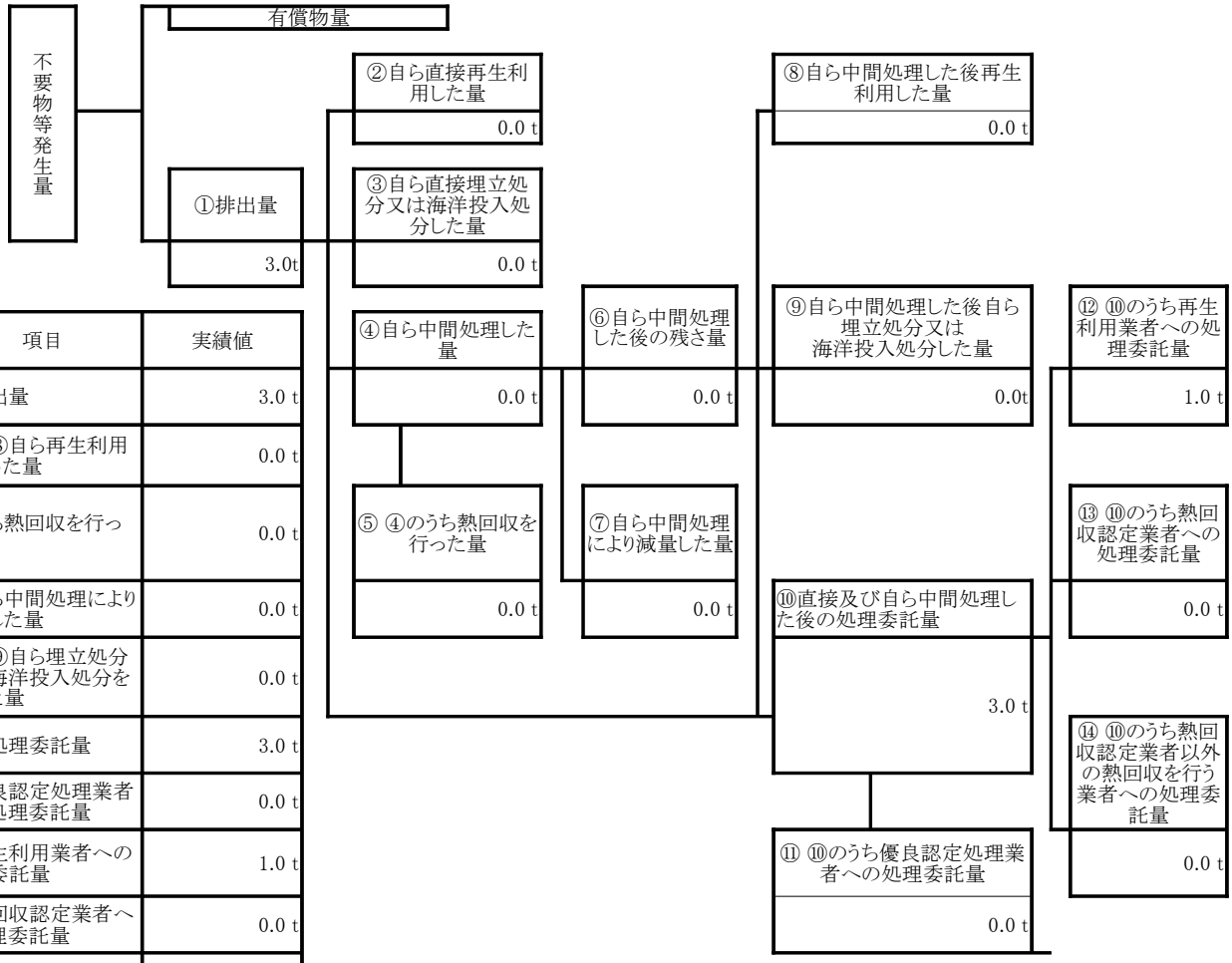


項目	実績値
①排出量	11.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　ガラスくず、コンクリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

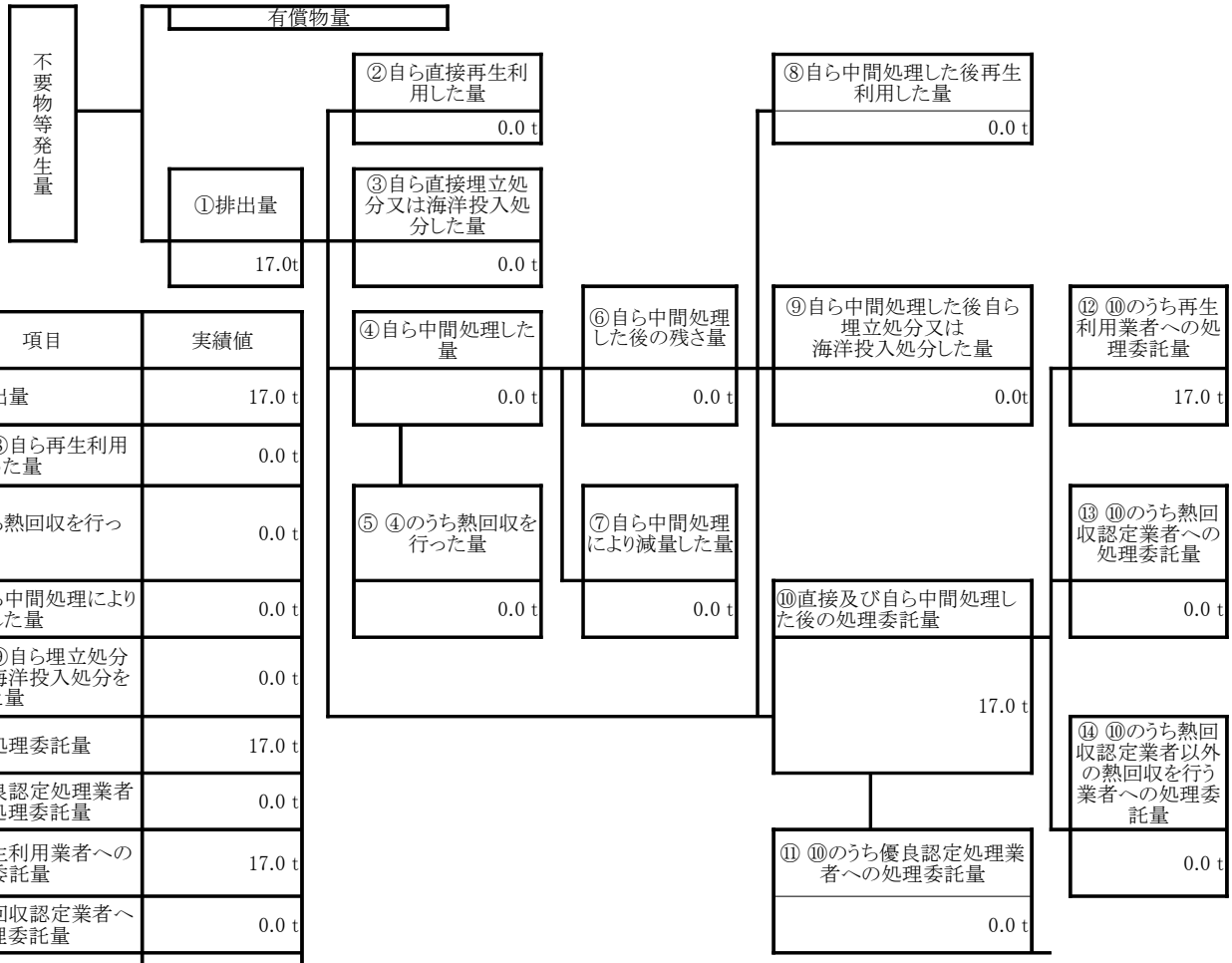


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



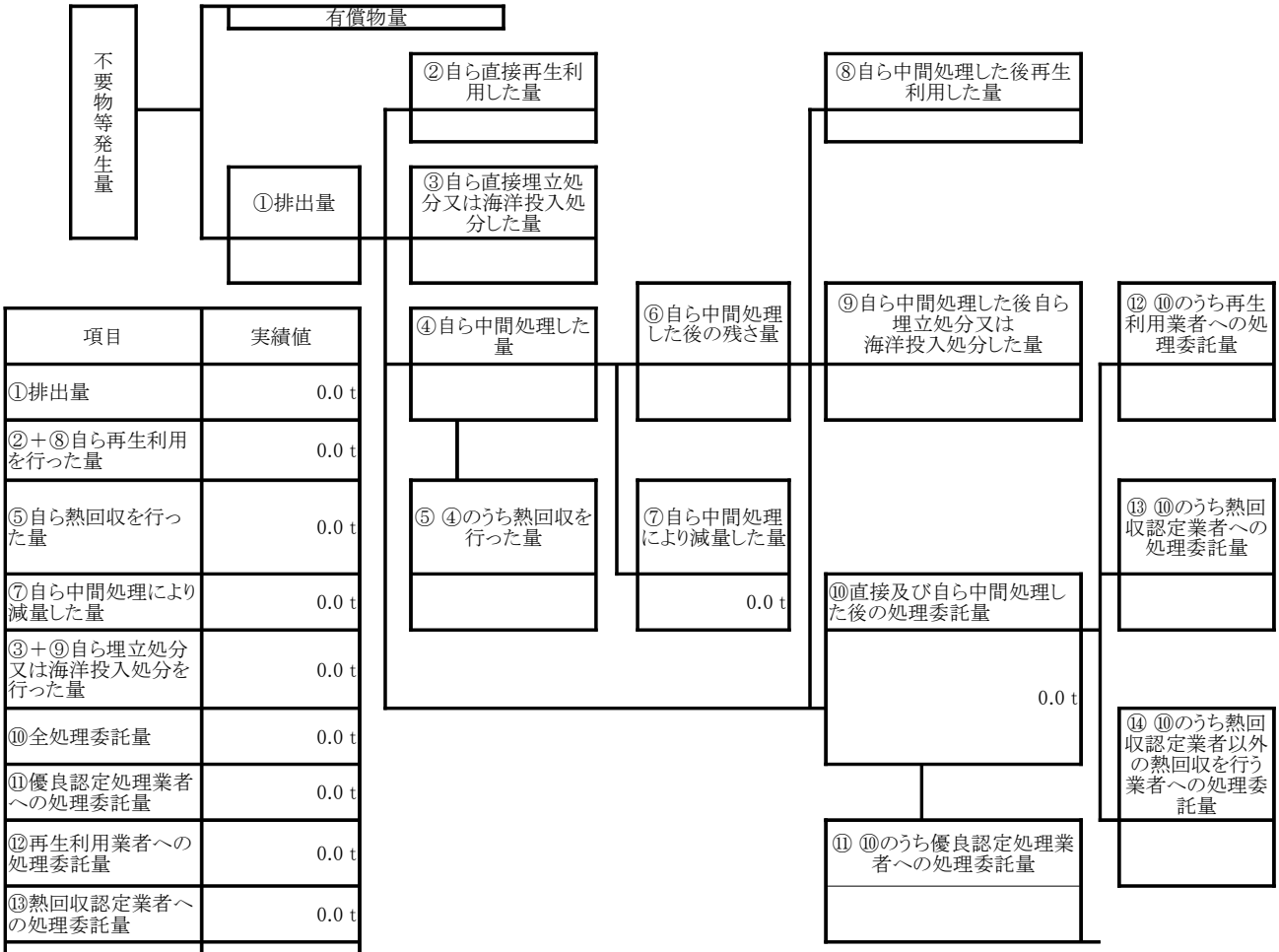
項目	実績値
①排出量	17.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

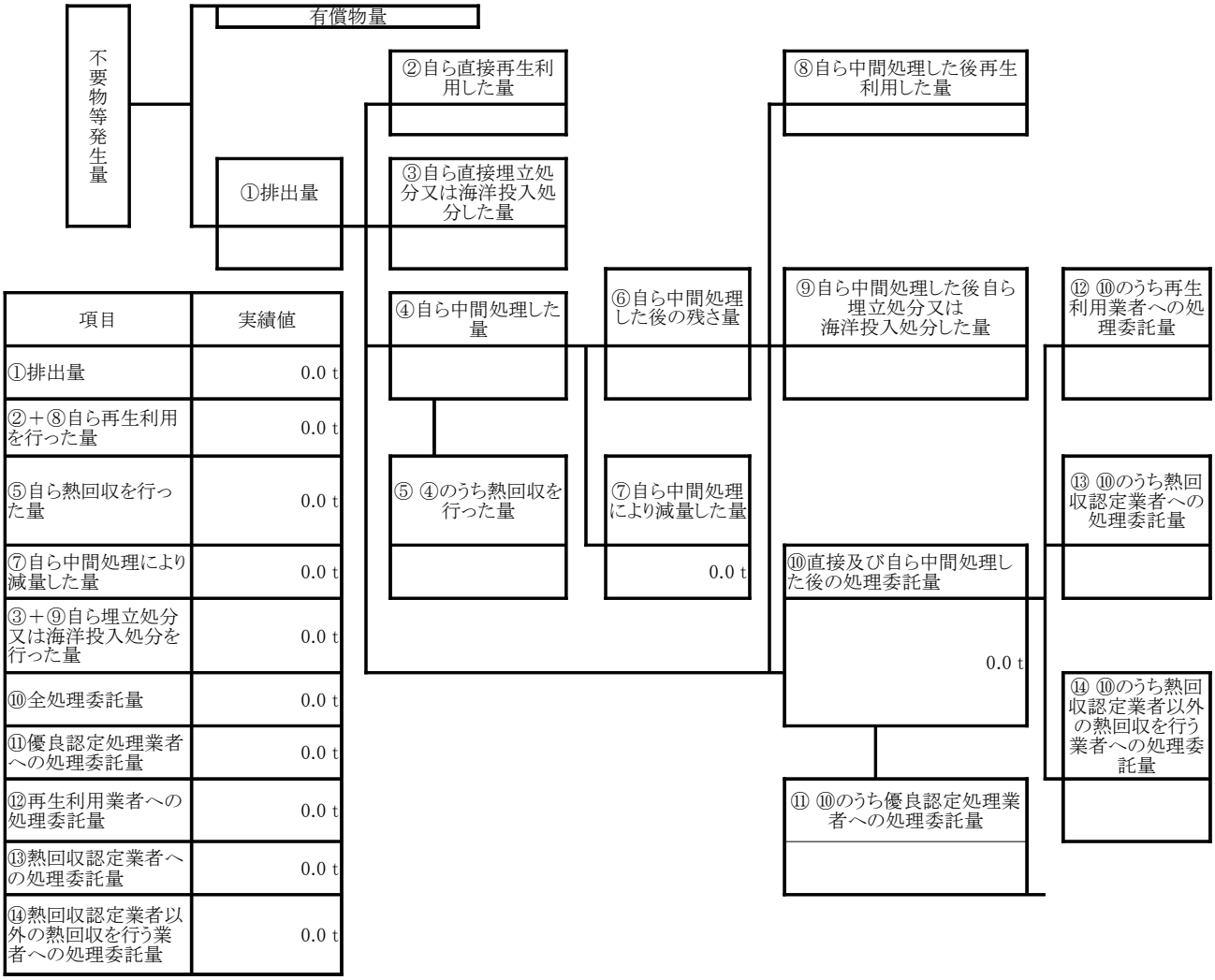


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

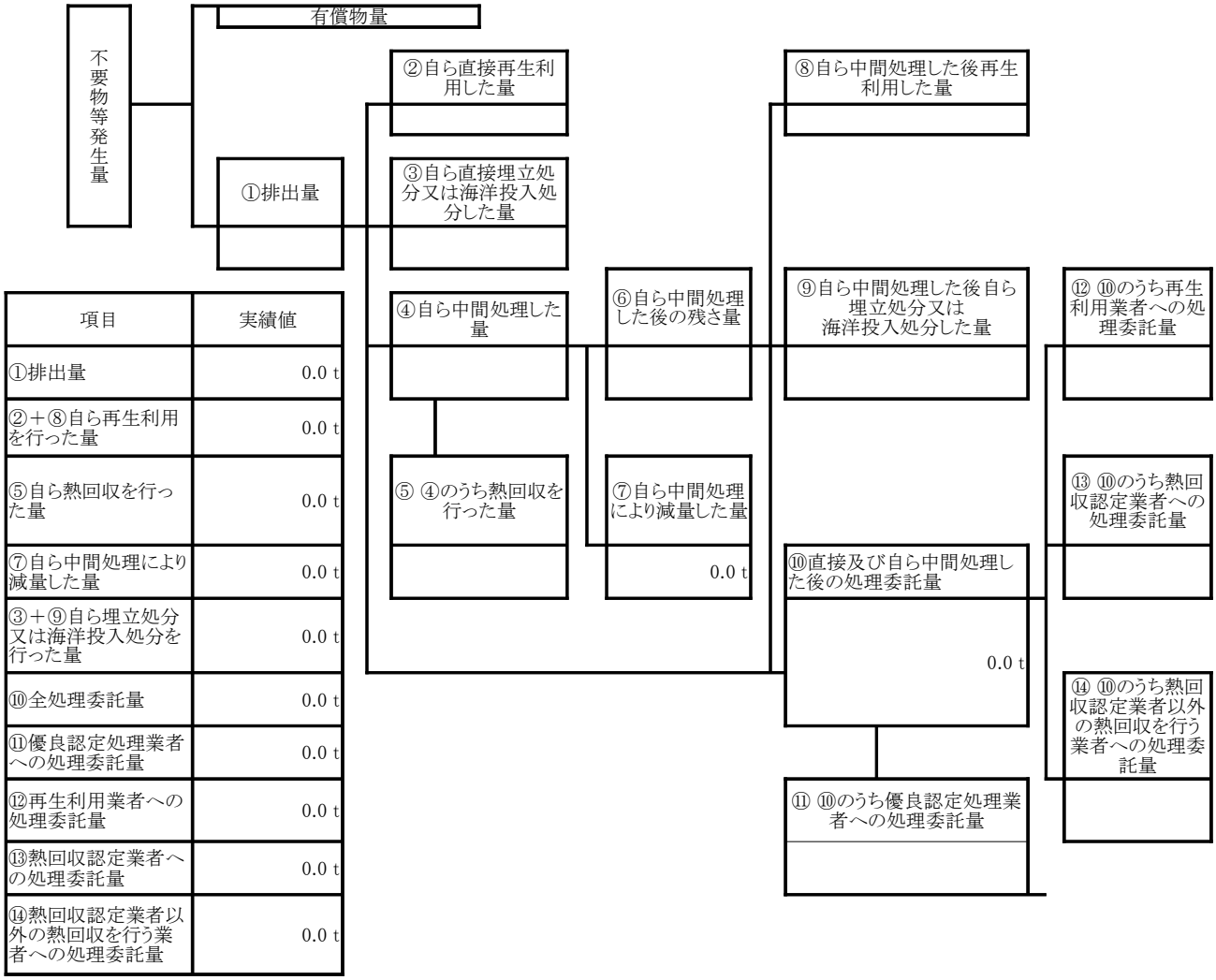


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



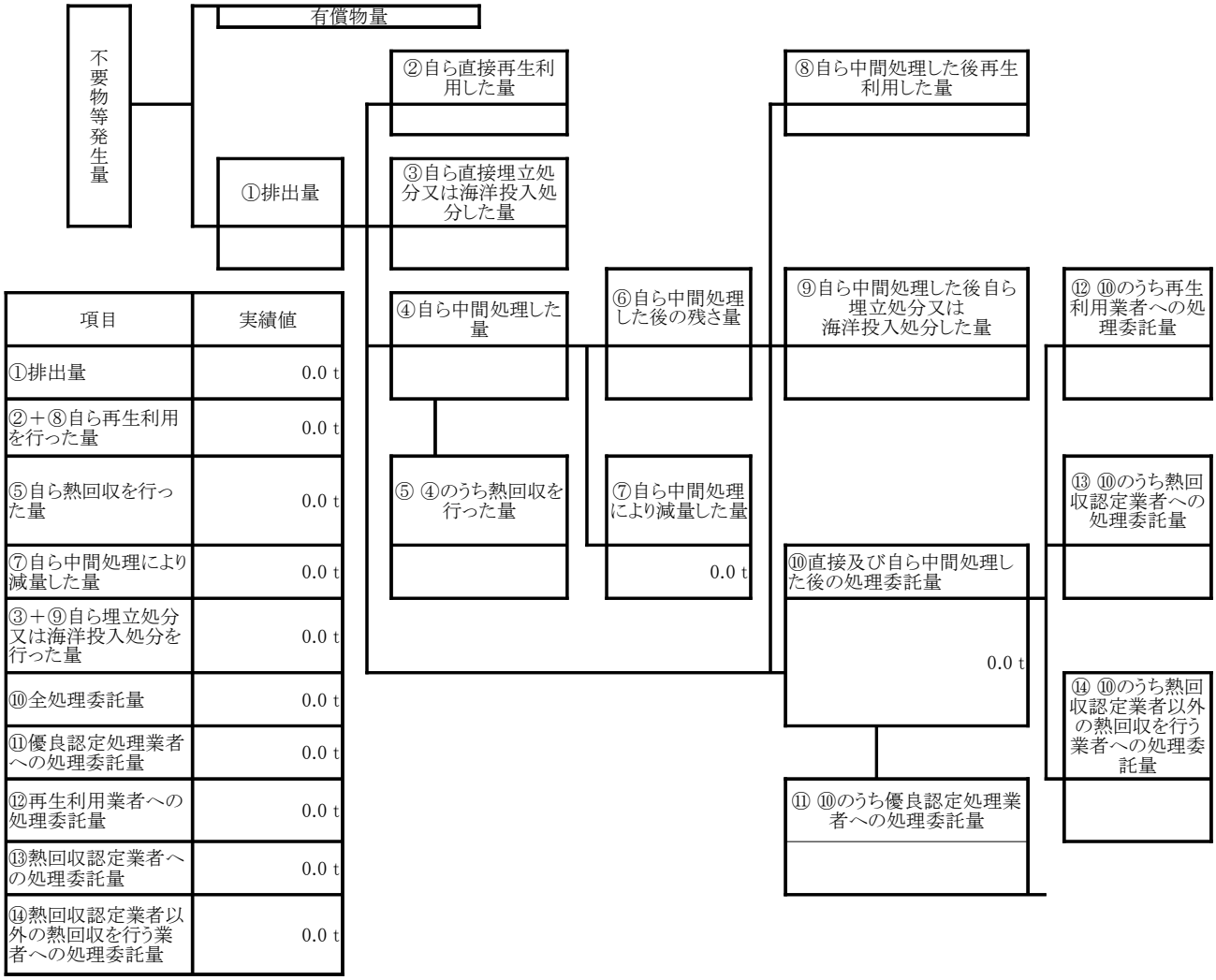
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

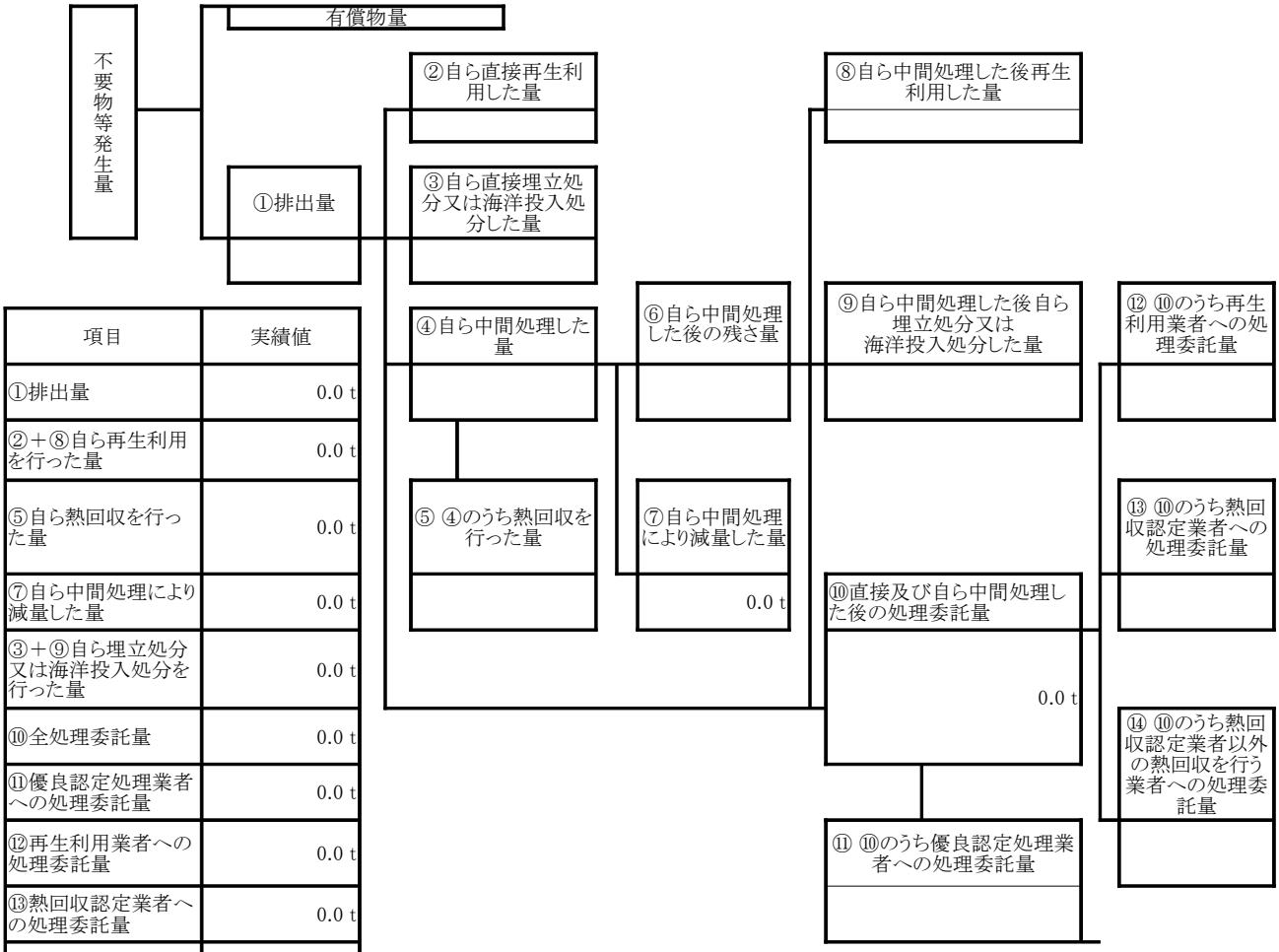


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



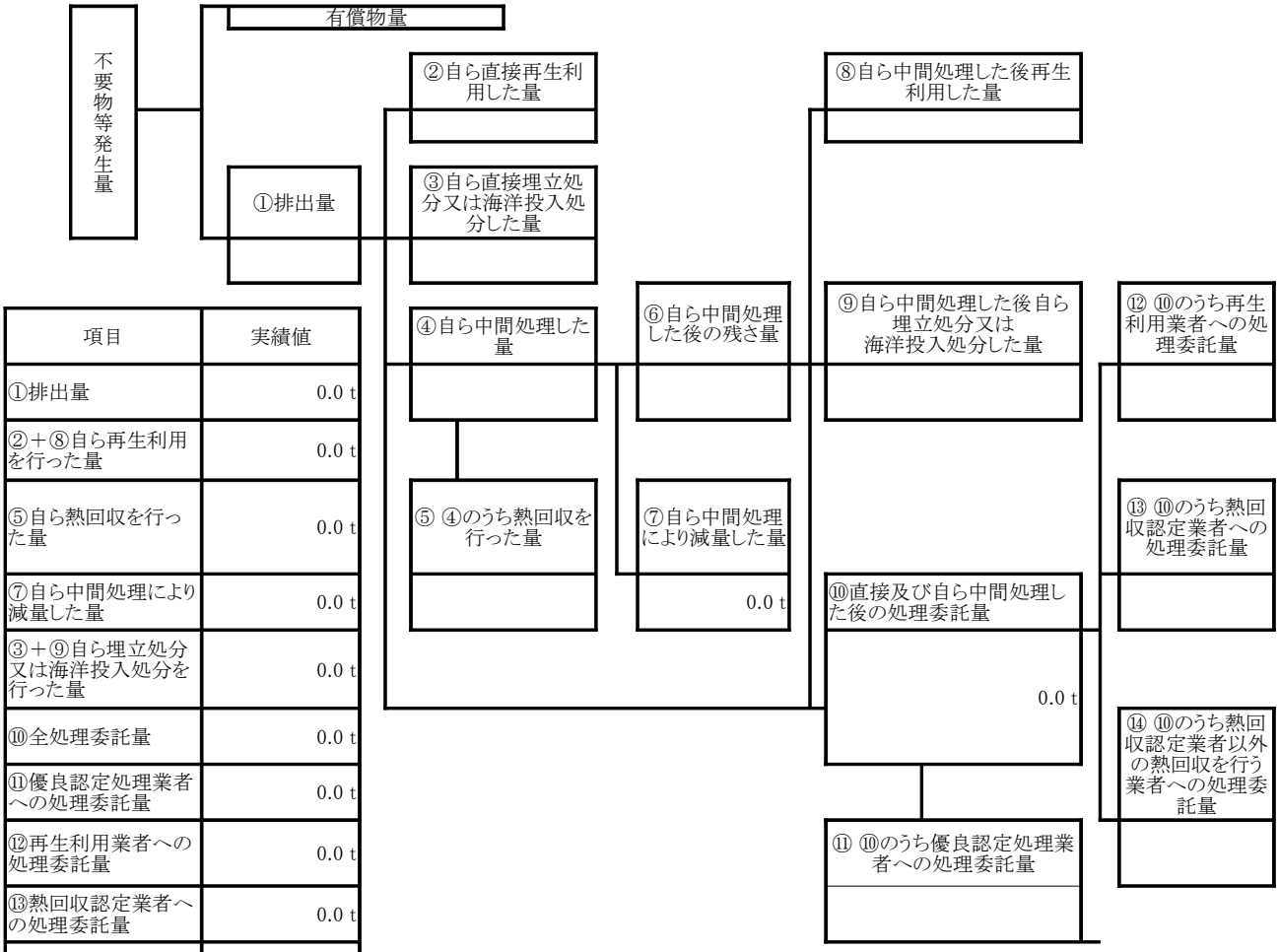
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



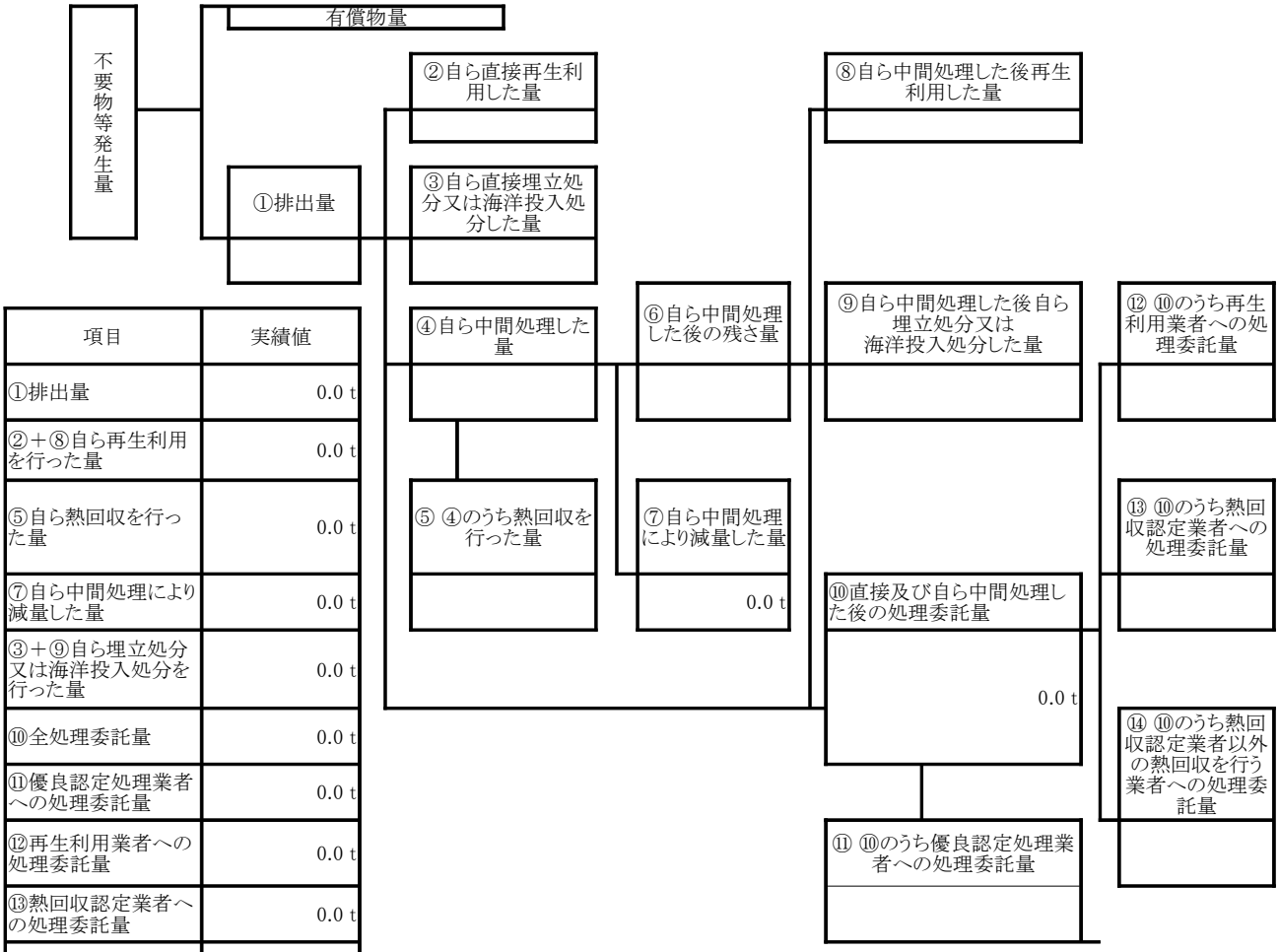
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

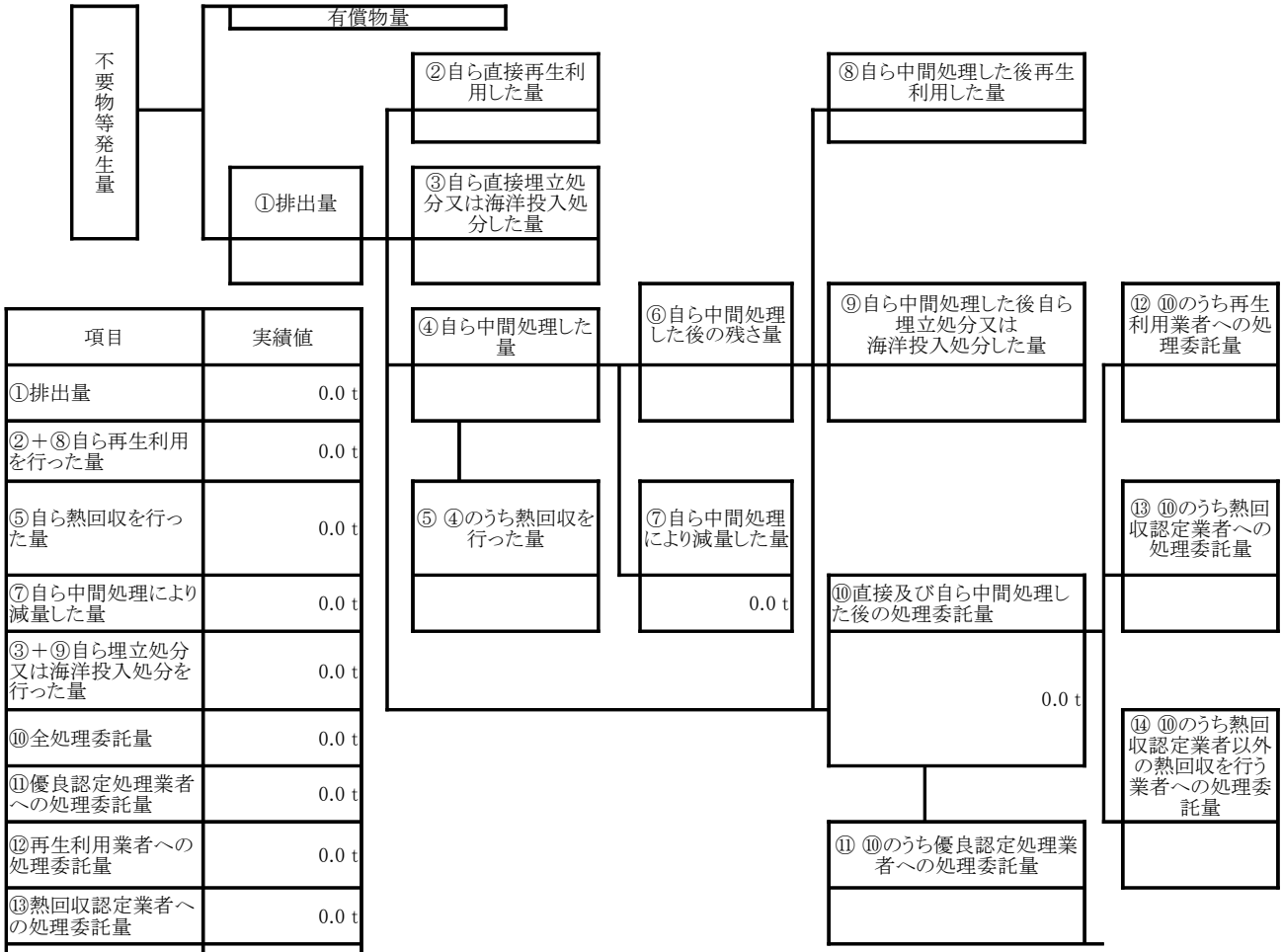


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



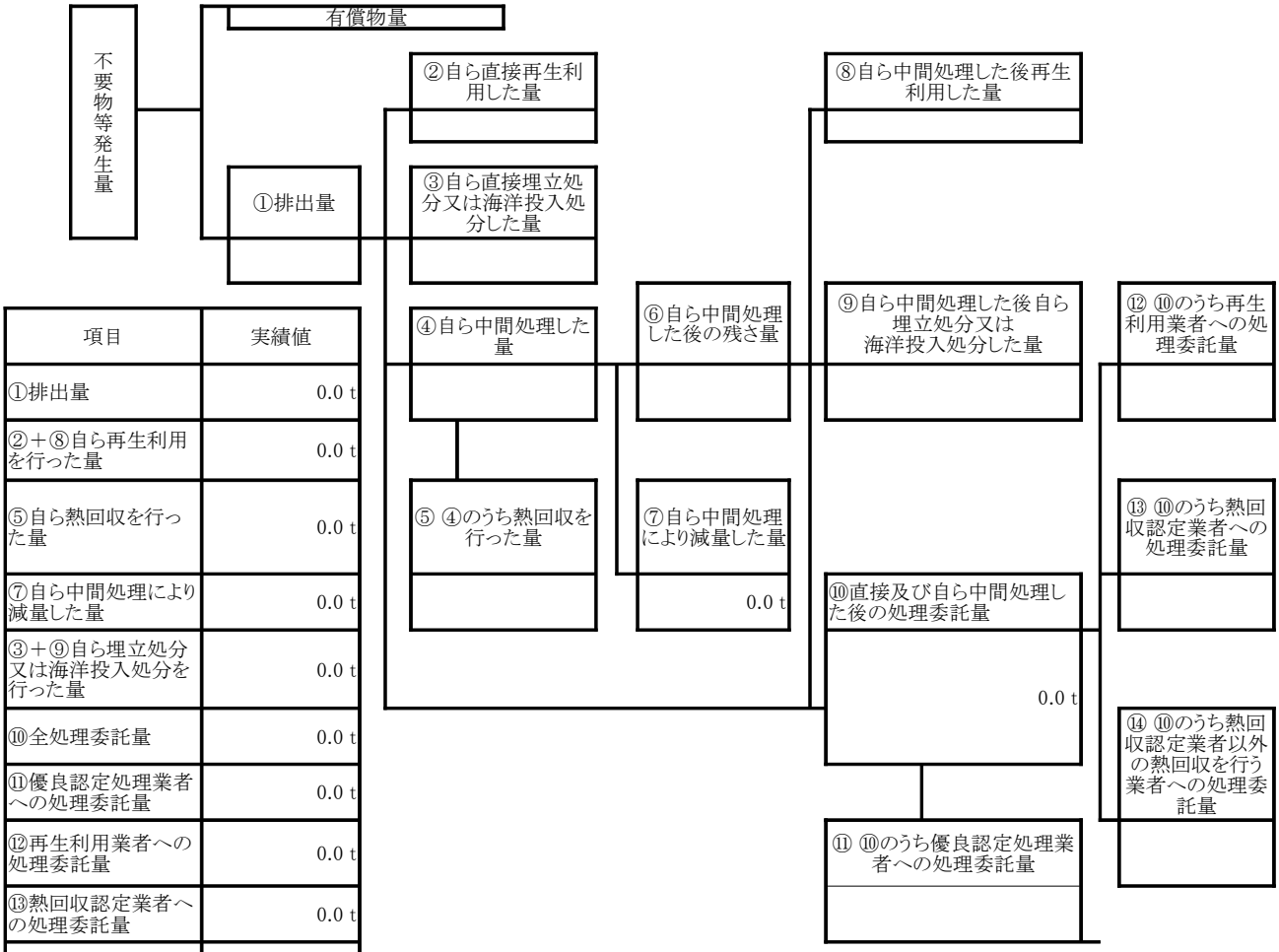
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

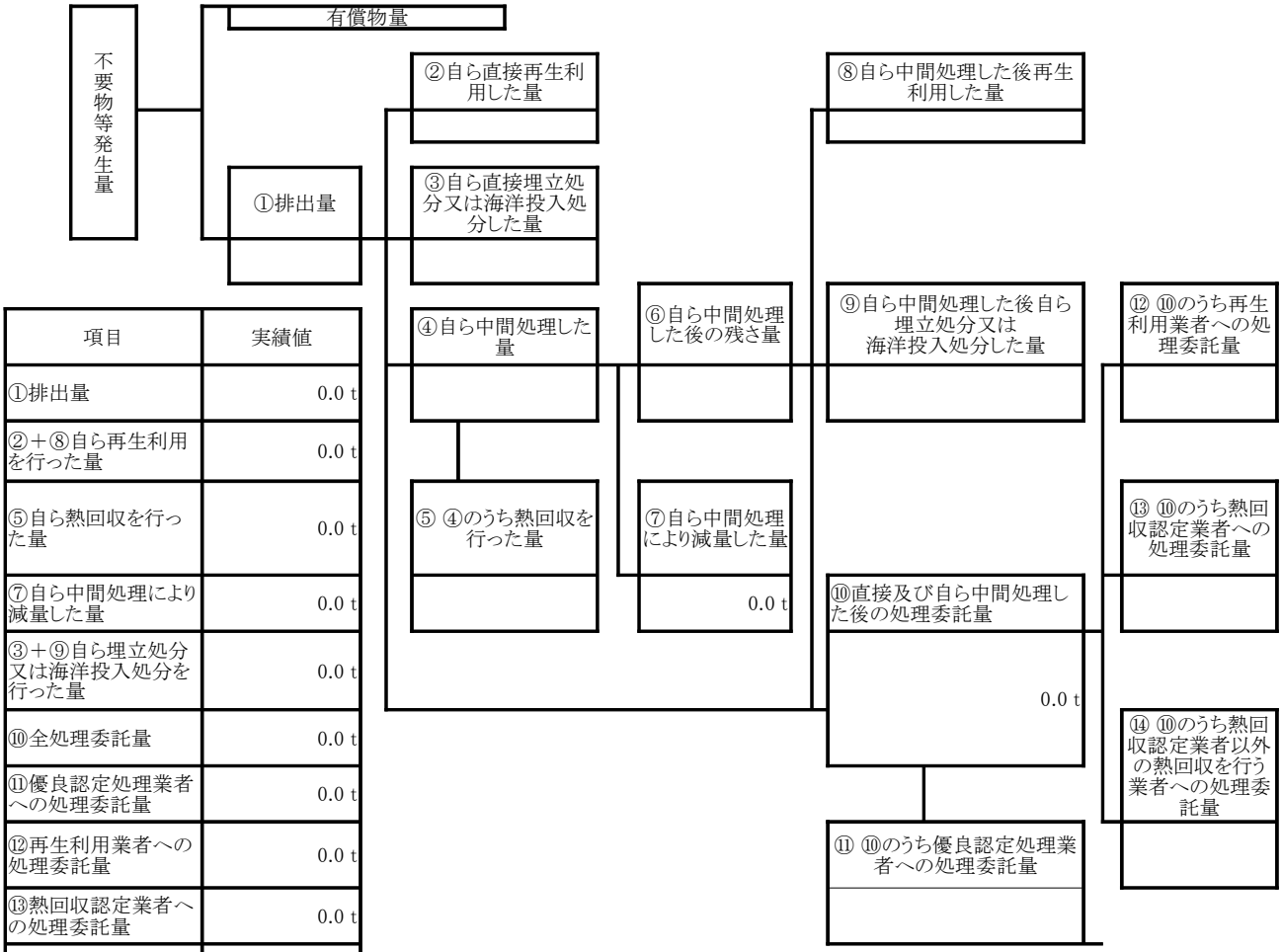


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

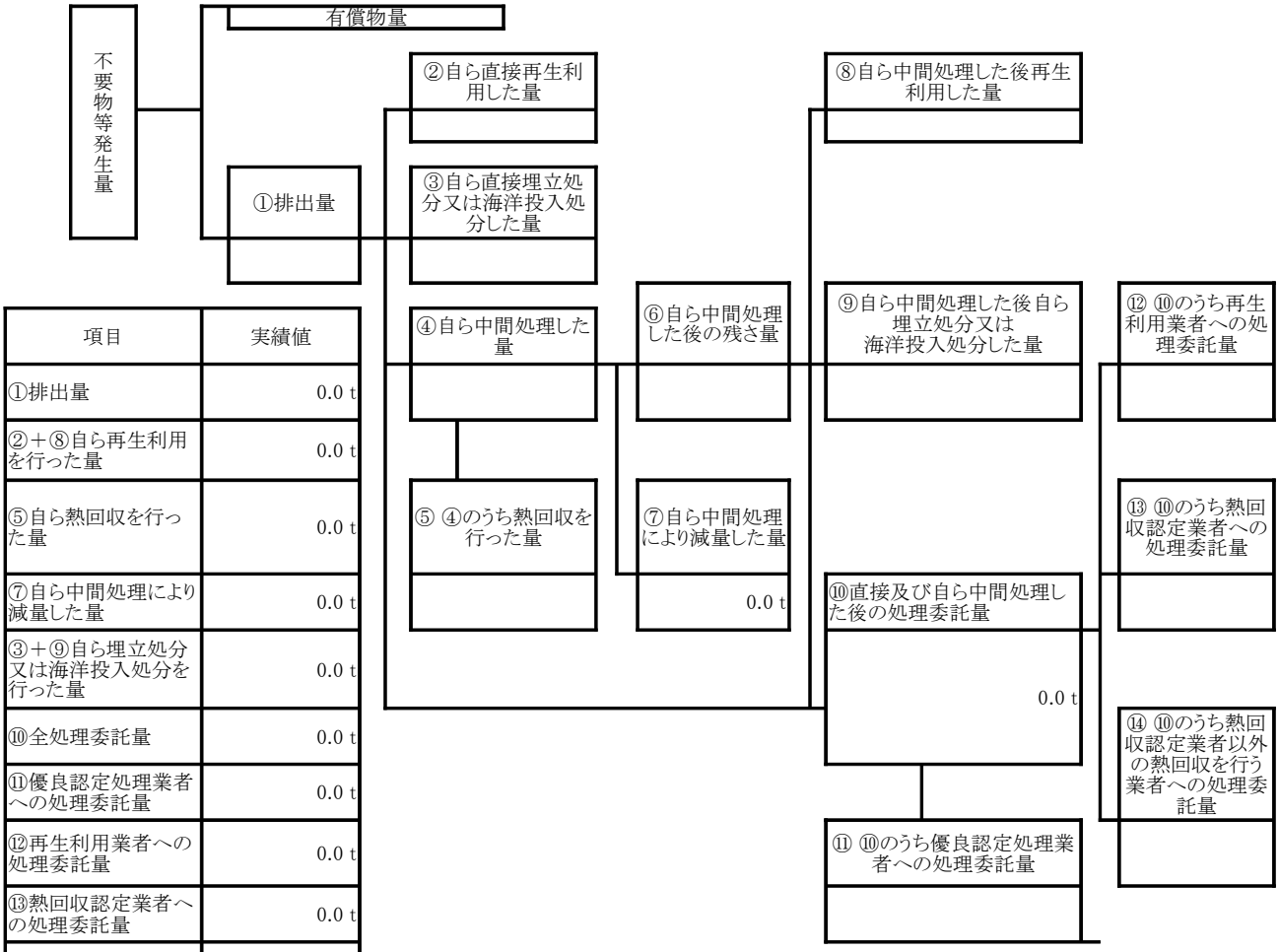


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



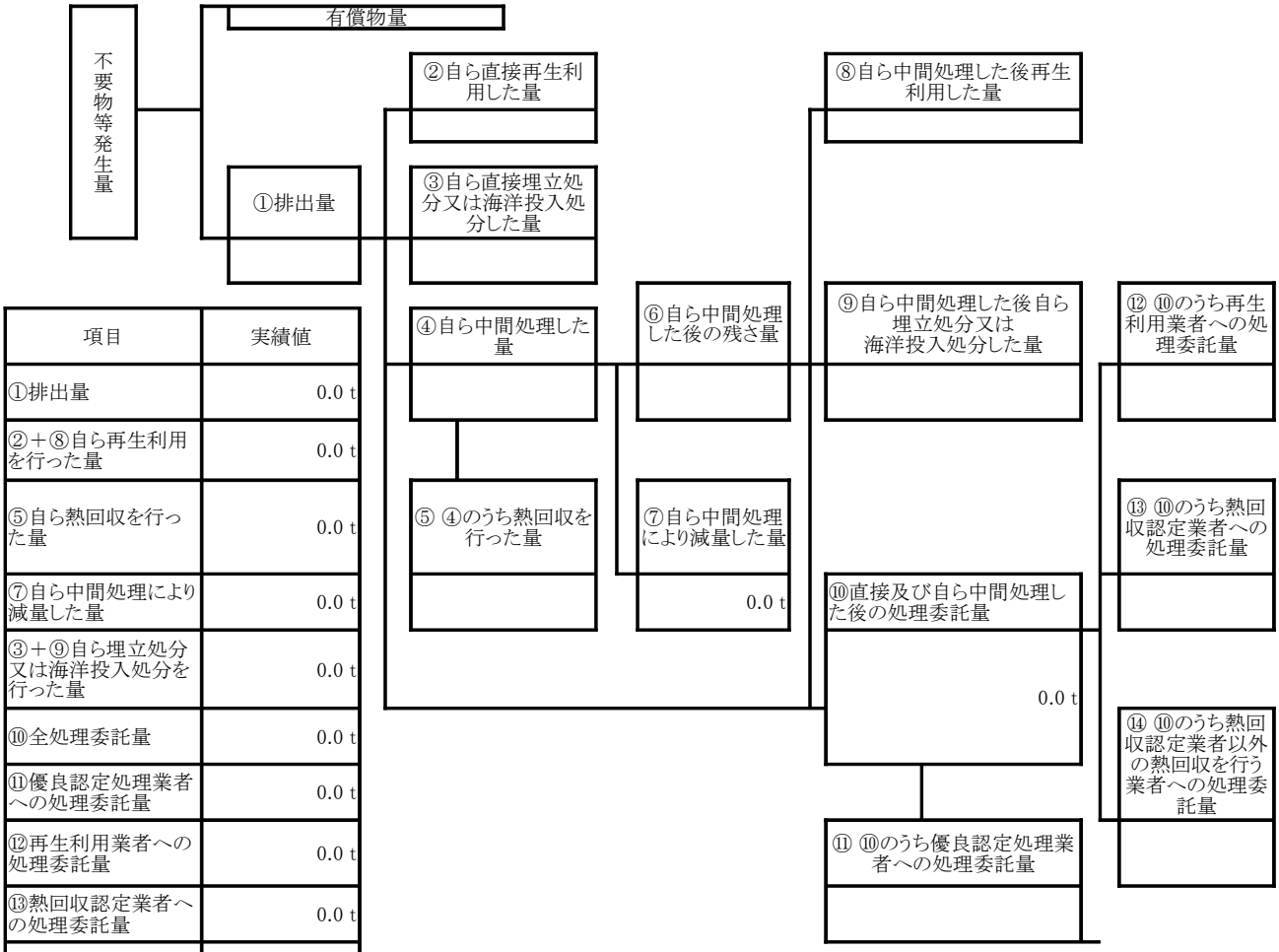
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

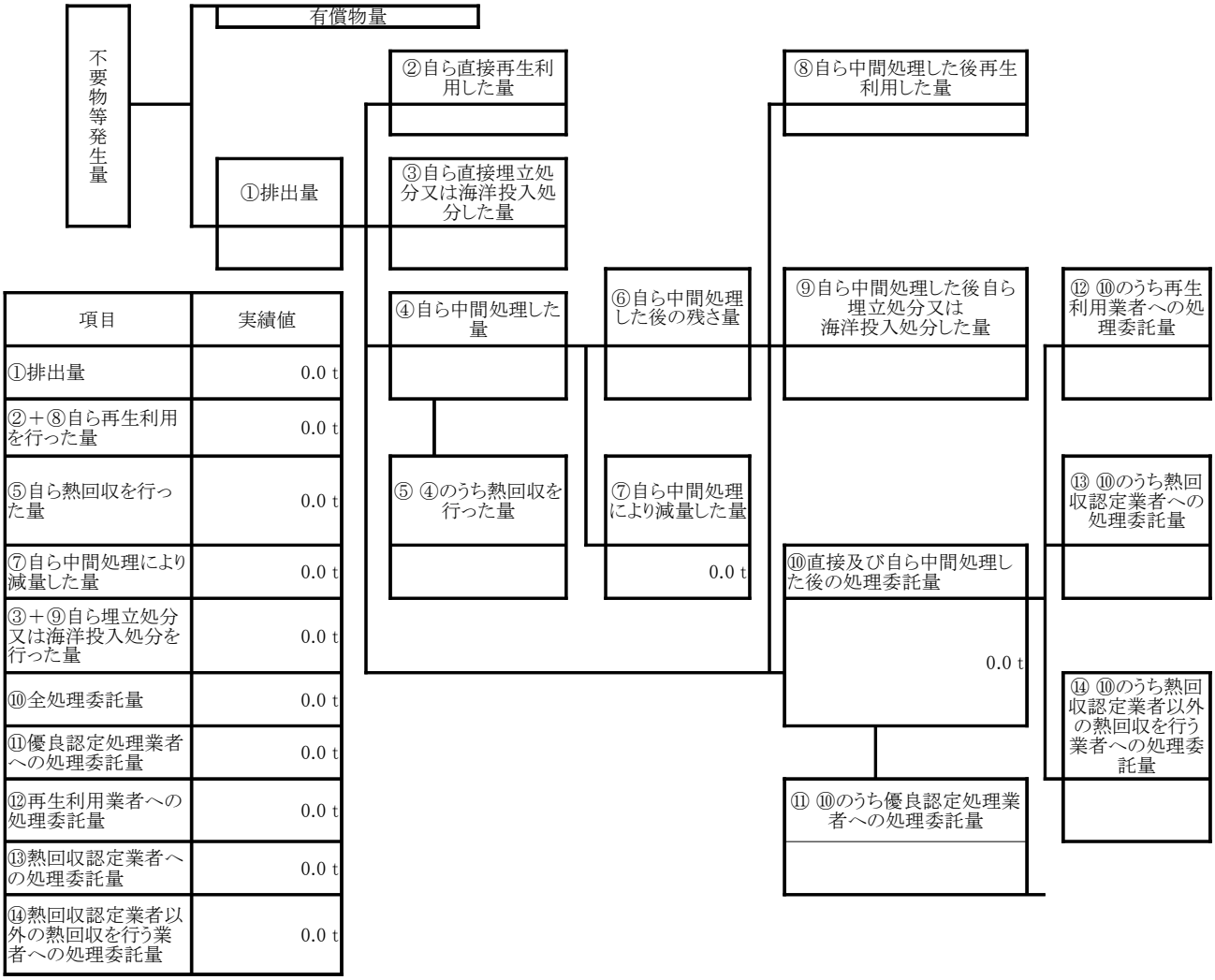


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

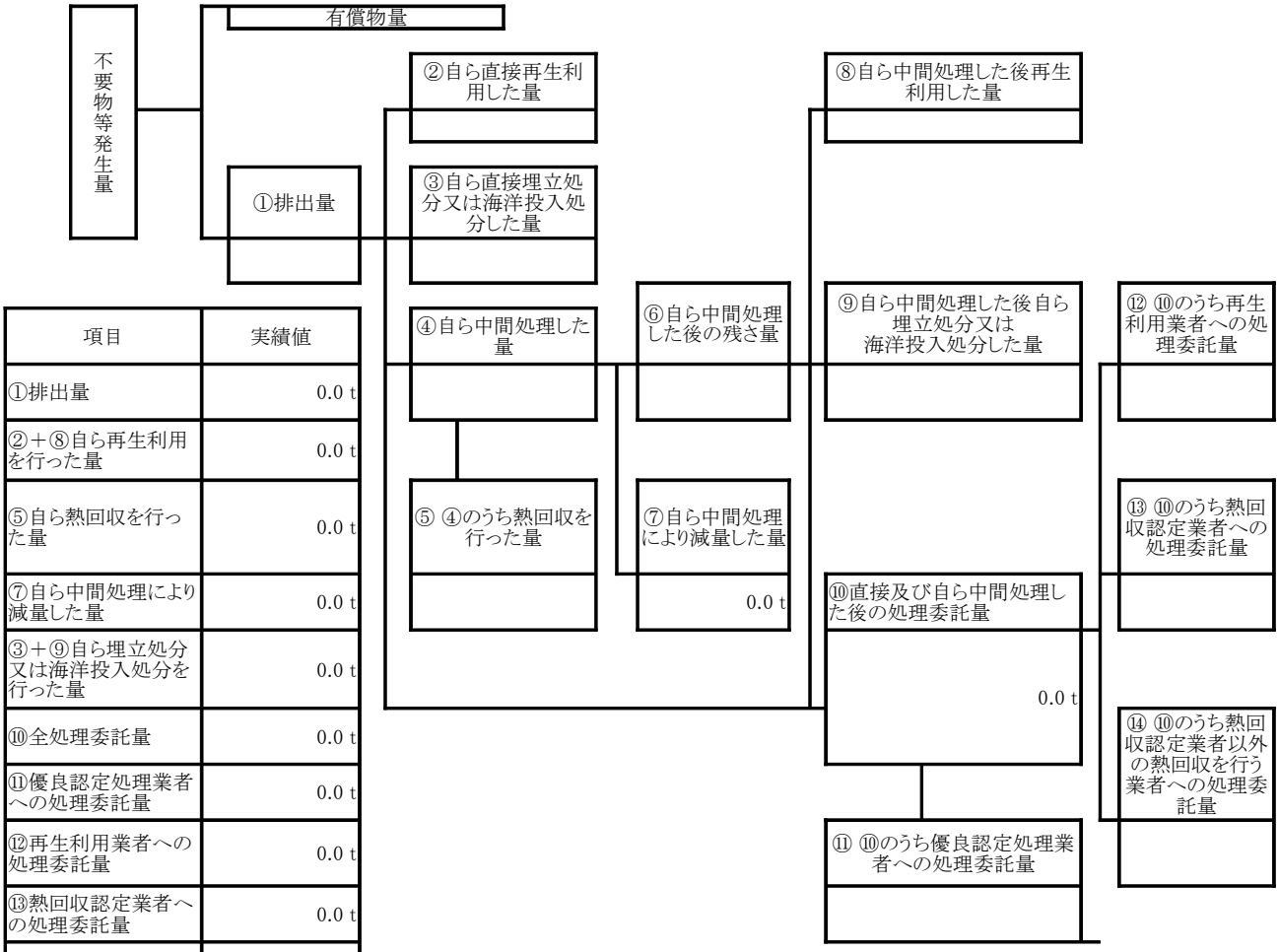


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６ 年　 6 月　 27 日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　千葉県野田市山崎2749

氏　名　梅郷電子株式会社
代表取締役社長　中　村　力
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　 04-7125-0711

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.6.27 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	梅郷電子株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市山崎2749
計画期間	令和５年４月１日から令和６年３月３１日

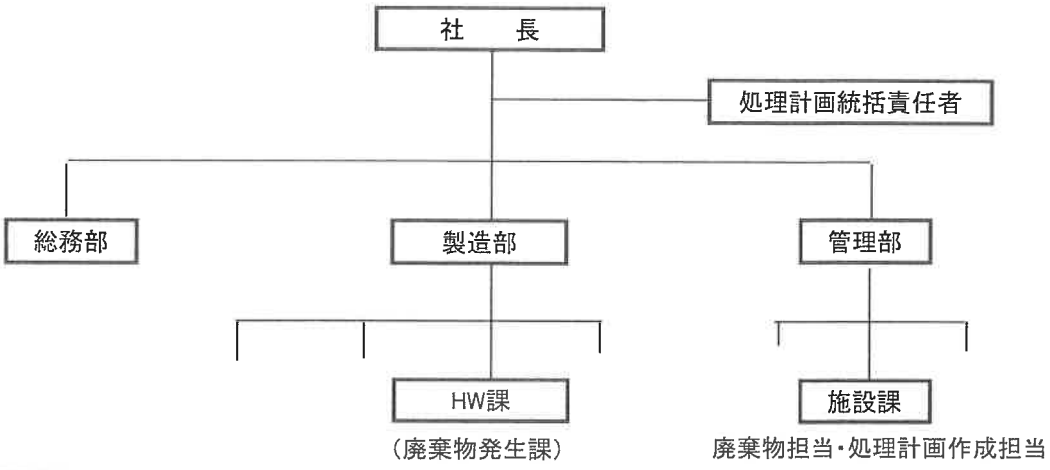
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	大分類：製造業　中分類：電気機械器具製造業
②　事業の規模	前年度の製造品出荷額：１２億円
③　従業員数	１３５人（正社員とその他を含む）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	エッチング工程 → 廃　酸（廃硝・弗酸）→ 新日本環境整備（株）／日本テミテック（株）　委託処理（中間中和処理）

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　令和５　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
排　　出　　量	200　　t	t

（これまでに実施した取組）
生産増量の為、混酸使用量が増量した。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
排　　出　　量	180　　t	t

（今後実施する予定の取組）
加工条件及び、注文に基づく作業のため、抑制は難しい。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃酸：弗酸、硝酸及び酢酸の混合液であり、これ以上の分別不可

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

―――――

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　令和５　　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　令和５　年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組 ）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　　令和５　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸（弗硝酸）	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　令和５　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸（弗硝酸）	
全処理委託量		200 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	200 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

契約書に基いて適正に委託処理を実施している。

<table>
<tr><td rowspan="11"></td><td rowspan="11">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃酸（弗硝酸）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全　処　理　委　託　量</td><td>180　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
契約書に基き、今後も適正に委託処理を実施します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="3">【前年度（　　令和５　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物
排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>200　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組等）
2020年4月より電子媒体による管理に移行した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月27日

千葉県知事　熊谷俊人　　殿

提出者
住　所　千葉県野田市山崎2749番地
氏　名　梅郷電子株式会社
代表取締社長　中村　力
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号:04-7125-0711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	梅郷電子株式会社
事業場の所在地	千葉県野田市山崎2749番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:電気機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	130t	全処理委託量	130t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	149t
	前年度	200t

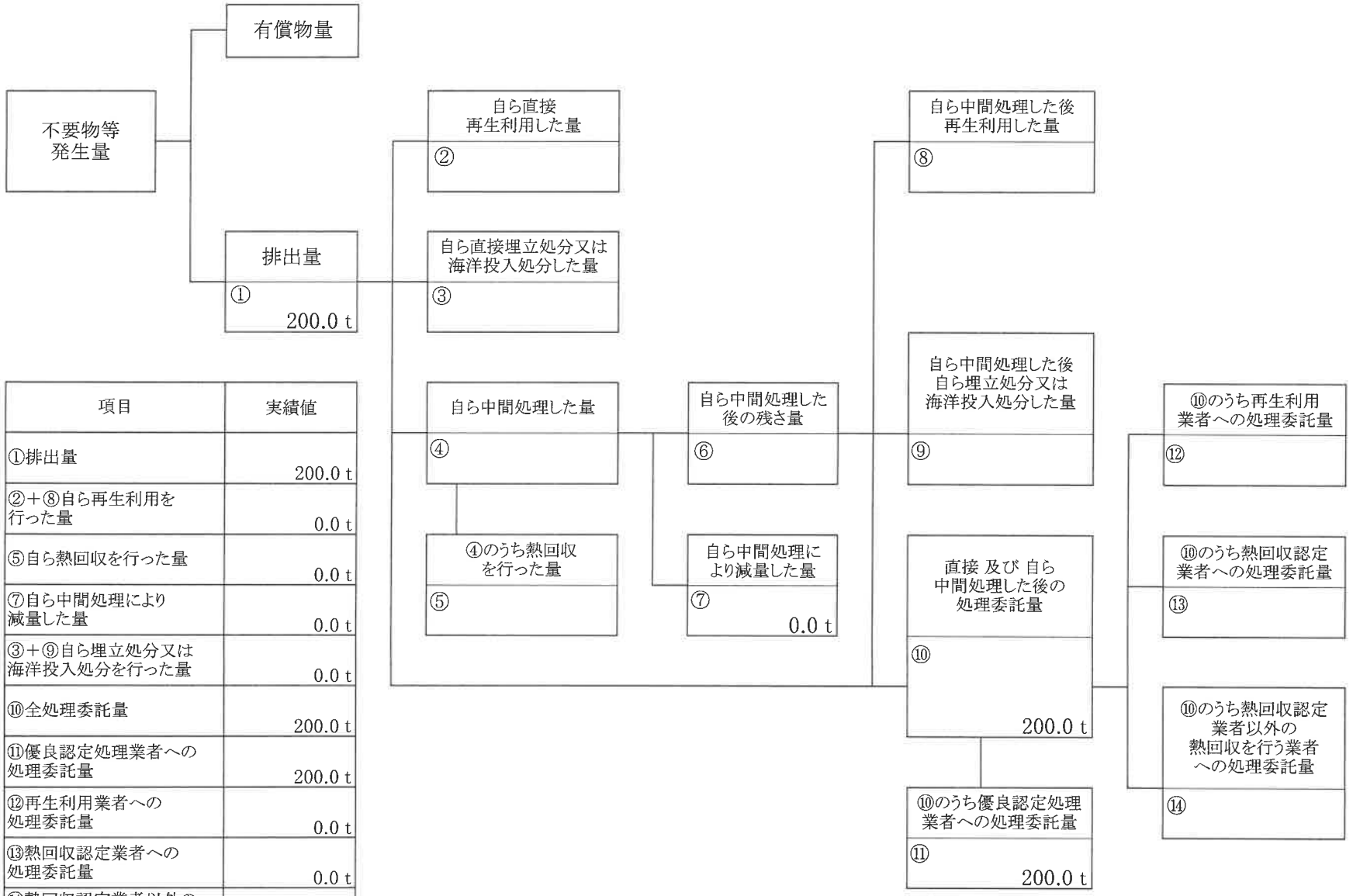
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
2020年4月から電子情報処理に移行した。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸（有害）　）



項目	実績値
①排出量	200.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	200.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	200.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者　〒105-0021

住　所　東京都港区東新橋1-9-3

氏　名　エイブリック株式会社
代表取締役社長　田中　誠司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

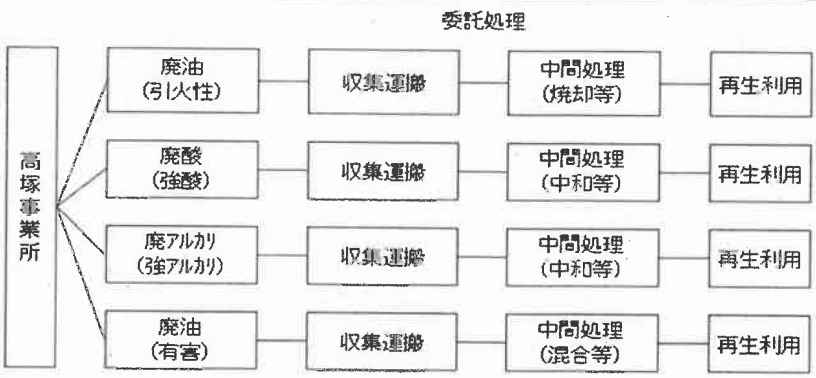
電話番号　03-5877-2018

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.7.-1 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高塚事業所
事業場の所在地	千葉県松戸市高塚新田563
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

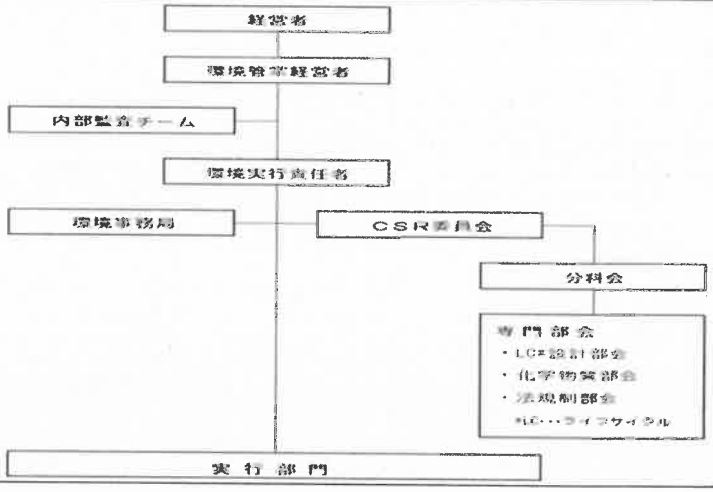
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E28－電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	年間売上高連結 346.75億円（2023年度）
③従業員数	連結 938名（2024年3月31日現在）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	排　　出　　量	別紙参照	156.9　　t
	（これまでに実施した取組） ・廃棄物削減推進 ・歩留り向上の推進		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	排　　出　　量	別紙参照	156.9　　t
	（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物の適正処理の継続的な維持管理		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特別管理産業廃棄物の保管場所である建物内を種類別に区切り、異なる種類の産廃の混在を防止している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 保管場所の区分けの維持・管理を継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	― t	― t
	（今後実施する予定の取組 ）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	― t	― t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	― t	― t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	別紙参照	合計
全処理委託量	別紙参照	156.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照	156.9 t
再生利用業者への処理委託量	別紙参照	156.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	別紙参照	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙参照	0 t

（これまでに実施した取組）

・廃棄物削減推進
・歩留り向上の推進

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td colspan="2">合計</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>別紙参照</td><td>156.9</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>別紙参照</td><td>156.9</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>別紙参照</td><td>156.9</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>別紙参照</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>別紙参照</td><td>0</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・産業廃棄物の適正処理の継続的な維持管理</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>156.9</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
全ての廃棄物処理を電子マニフェストでの処理とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	排　出　量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	排　出　量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0.0 t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0.0 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
全処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
再生利用業者への処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃酸（強酸）	廃ｱﾙｶﾘ（強ｱﾙｶﾘ）	廃油（有害）	—	—	—	合計
全処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
再生利用業者への処理委託量	6.5 t	8.6 t	0.3 t	141.5 t	t	t	t	156.9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	0 t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.7.-1 収受

提出者　〒105-0021
住 所　東京都港区東新橋1-9-3
氏 名　エイブリック株式会社
代表取締役社長 田中 誠司
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-5877-2018

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	高塚事業所
事業場の所在地	千葉県松戸市高塚新田563
事業の種類	E28－電子部品・デバイス・電子回路製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	198.8 t	全処理委託量	198.8 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	－	優良認定処理業者への処理委託量	198.8 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	－	再生利用業者への処理委託量	198.8 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	－	認定熱回収業者への処理委託量	－
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	－	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	215.4 t
	前年度	156.9 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

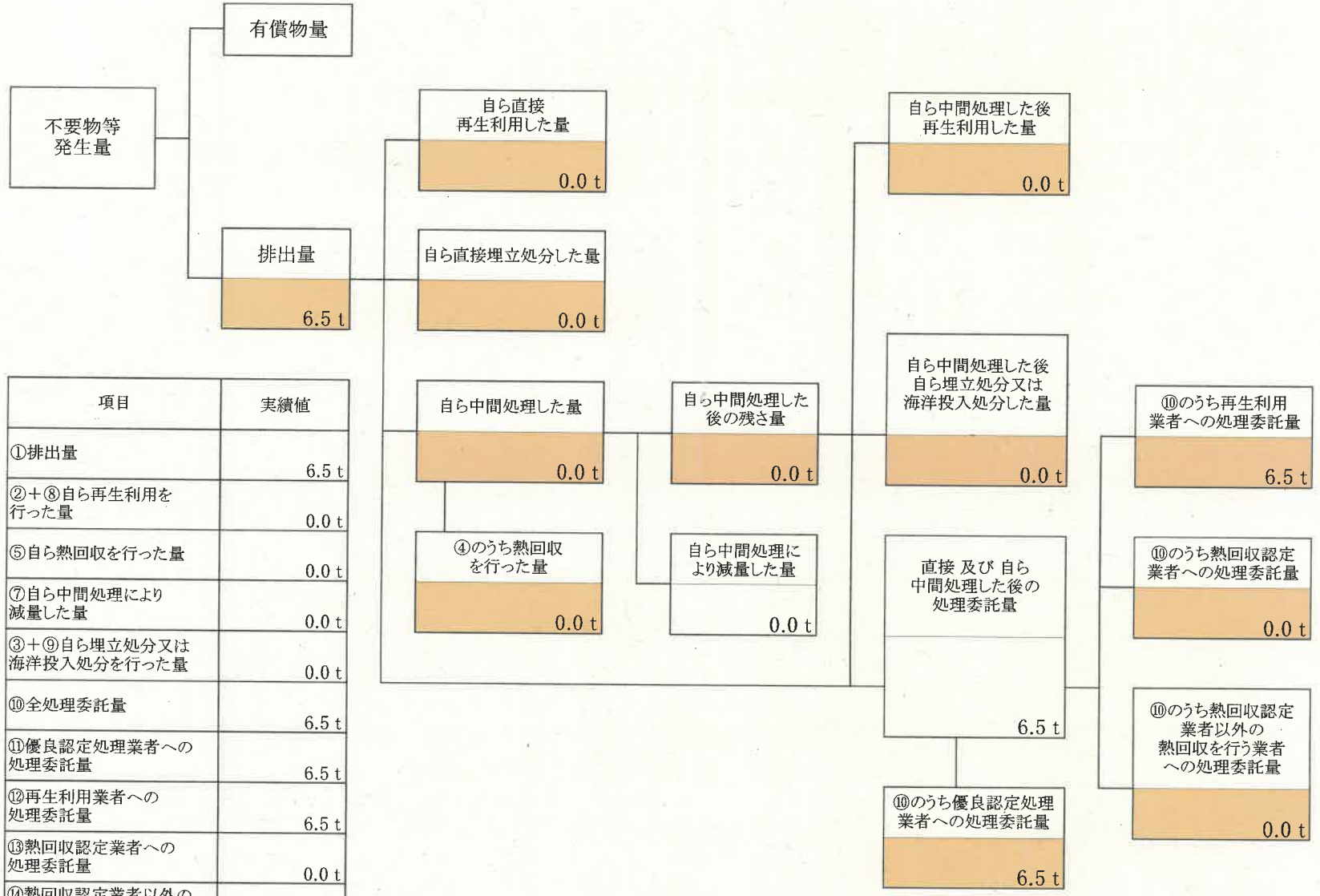
全ての廃棄物処理を電子マニフェストでの処理とする。

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：廃油(引火性)）

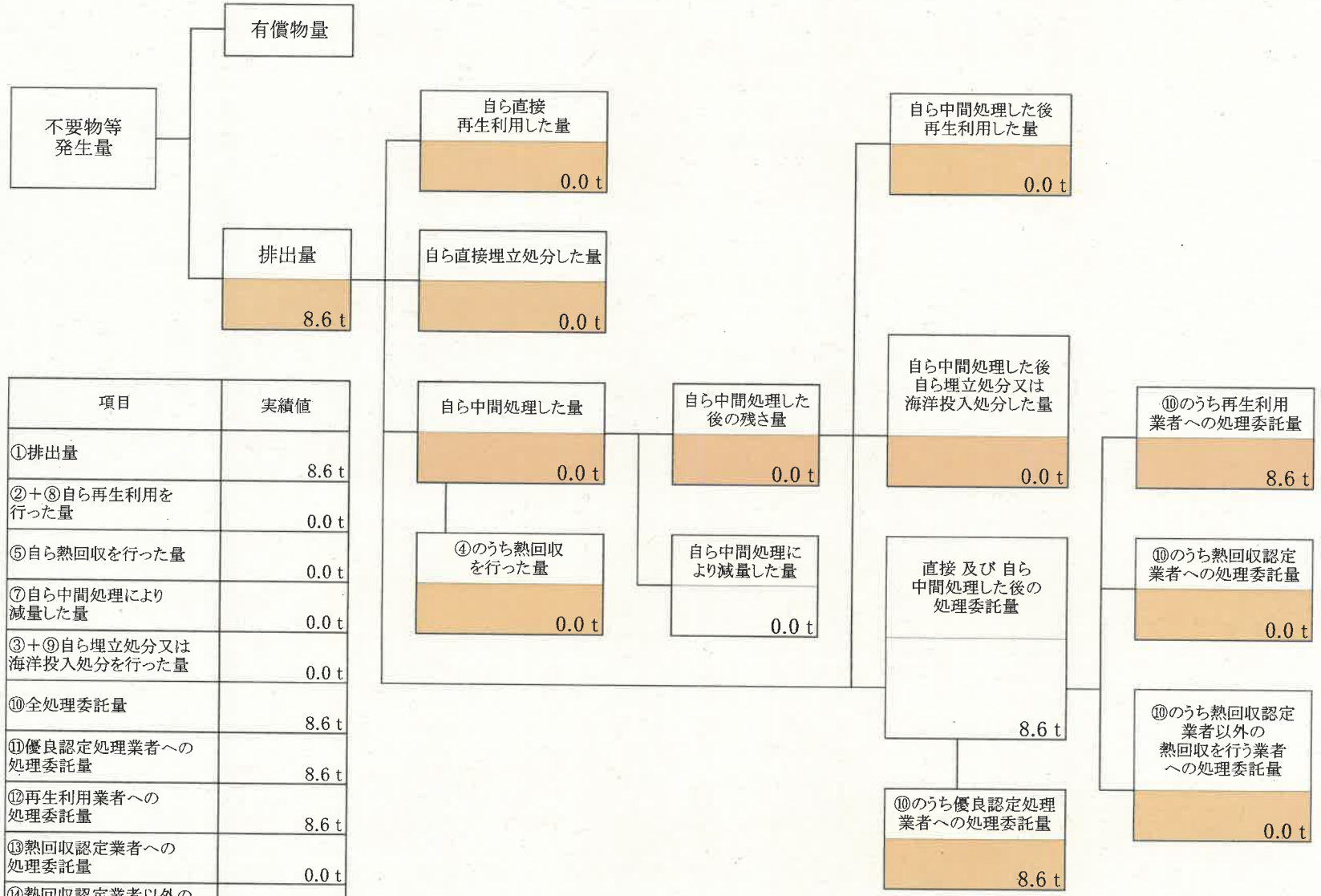


項目	実績値
①排出量	6.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃酸(強酸)**）

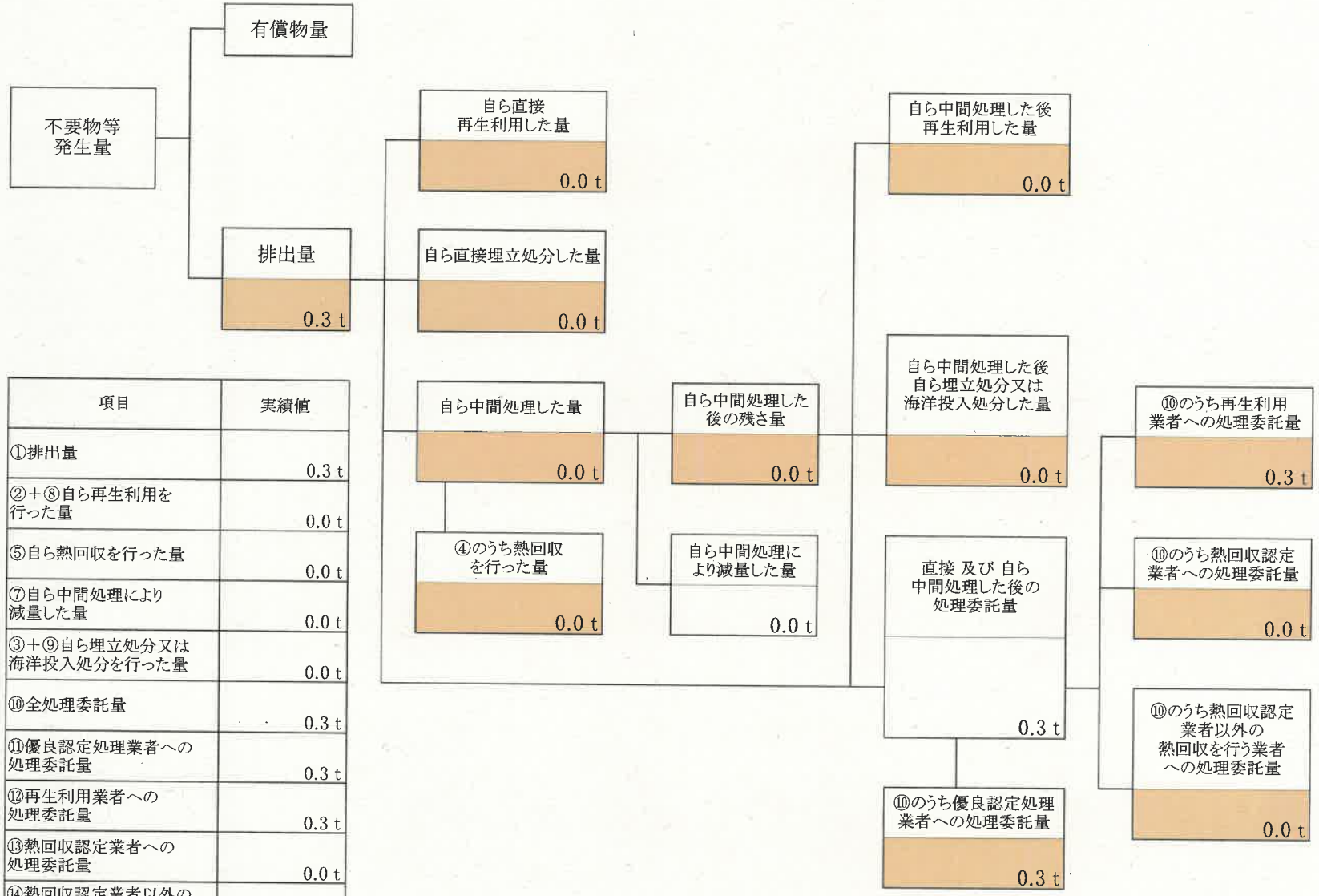


項目	実績値
①排出量	8.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：廃アルカリ(強アルカリ)）

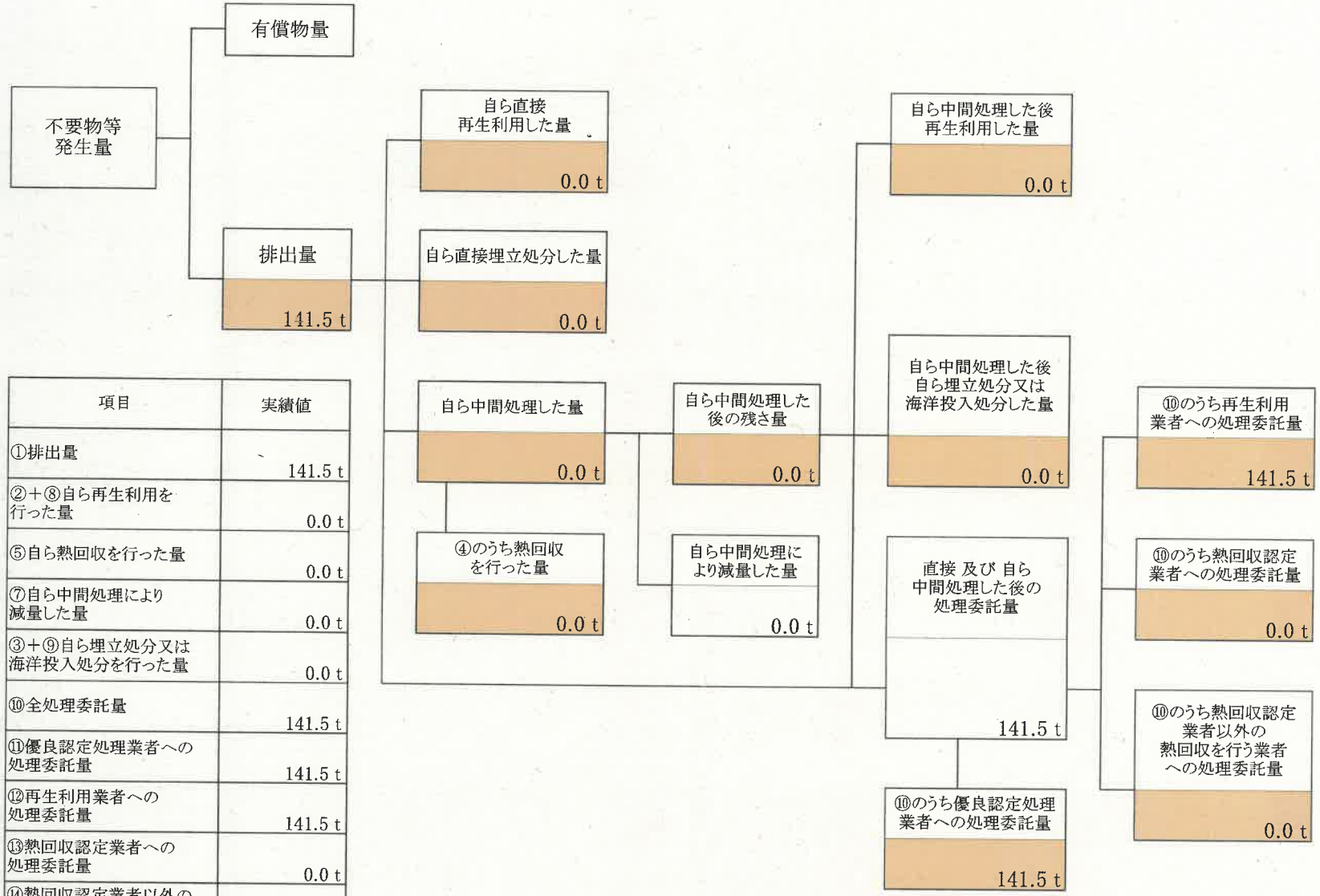


項目	実績値
①排出量	0.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油(有害)**）



項目	実績値
①排出量	141.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	141.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	141.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	141.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　ＡＧＣ株式会社 千葉工場

住　所 千葉県市原市五井海岸１０番地

氏　名 工場長　舛岡　正道

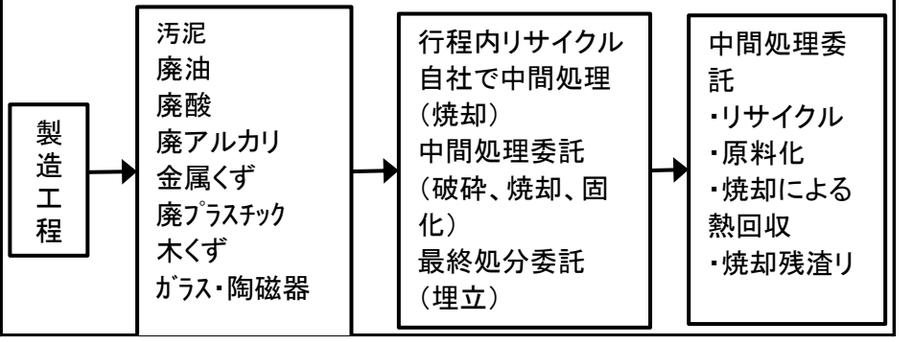
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４３６（２３）３１５０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	AGC株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井海岸10番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

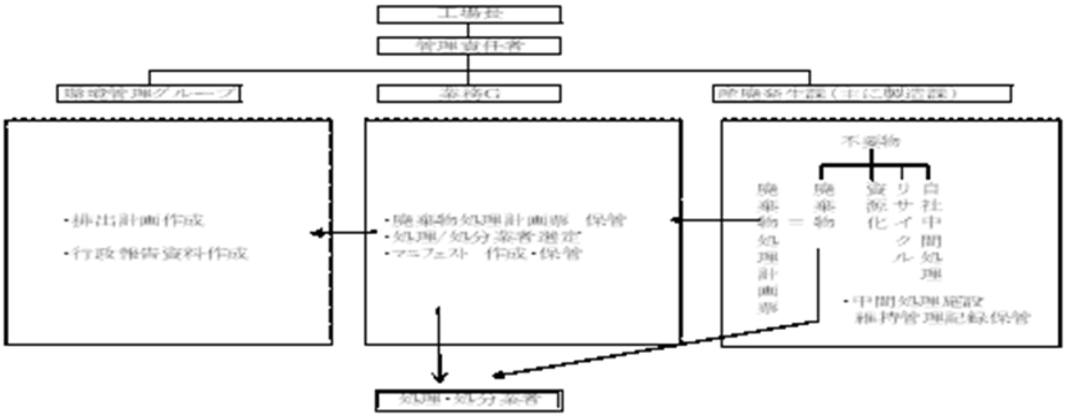
①　事業の種類	大分類　：製造業　　中分類　：化学工業　　小分類　：無機化学工
②　事業の規模	前年度の製造品生産量（ＮａＯＨ換算）　　３９６．４５６千ｔ
③　従業員数	1804
④　産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	5199.1　t	5165.6　t

（これまでに実施した取組）

一部の汚泥、廃プラスチック類の工程内リサイクルによる外部委託処理の削減に努めました

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
排出量	5001.1　t	4968.9　t

（今後実施する予定の取組）

・樹脂の回収利用による外部委託処理の削減を行います

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃プラの仕分け強化により、外部委託埋め立て処理から、外部委託熱回収処理へのシフトに努めました

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

社内教育等で更なる廃プラの仕分け強化を図り、外部委託埋め立て処理から外部委託熱回収処理へのシフトの推進を引き続き行っていきます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃油
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃油
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃油
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	4485.0 t

（これまでに実施した取組）

・廃酸、廃アルカリ、廃油の焼却処理。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	4314.2 t

（今後実施する予定の取組）

・引き続き、可能なものについて焼却処理を推進いたします。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
全処理委託量	5199.1 t	680.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	1943.6 t	420.5 t
再生利用業者への処理委託量	70.6 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	2752.2 t	128.2 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	94.2 t	172.2 t

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者および再生利用業者、認定熱回収業者情報収集に努め、利用してきました。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃油
全処理委託量＿	5001.1 t	654.7 t
優良認定処理業者への処理委託量	1869.6 t	404.5 t
再生利用業者への処理委託量	67.9 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	2647.3 t	123.3 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	90.7 t	165.6 t

（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者および再生利用業者、認定熱回収業者情報収集に努め、利用を増やすように致します。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		排　出　量	2161.6　t	3720.3　t	9.9　t	435.9　t	85.2　t	15.4　t	226.9　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		排　出　量	2079.3　t	3578.6　t	9.5　t	419.3　t	81.9　t	14.8　t	218.3　t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1375.0　t	191.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
	全処理委託量	786.6 t	3529.3 t	9.9 t	435.9 t	85.2 t	15.4 t	226.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	273.7 t	829.4 t	6.6 t	13.5 t	0.0 t	0.2 t	9.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	26.7 t	644.9 t	3.6 t	74.8 t	0.0 t	0.0 t	9.9 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	257.4 t	1072.6 t	3.3 t	74.6 t	0.0 t	15.2 t	0.2 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t	0.0 t	3.0 t	108.7 t	0.0 t	0.0 t	210.2 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	金属くず	廃プラスチック類	木くず	コンクリート・陶	その他混合廃棄物	
	全処理委託量	756.6 t	3394.9 t	9.5 t	419.3 t	81.9 t	14.8 t	218.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	263.3 t	797.8 t	6.3 t	13.0 t	0.0 t	0.2 t	9.6 t	t
	再生利用業者への処理委託量	25.6 t	620.3 t	3.5 t	72.0 t	0.0 t	0.0 t	9.5 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	247.6 t	1031.8 t	3.2 t	71.8 t	0.0 t	14.6 t	0.2 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4 t	0.0 t	2.9 t	104.5 t	0.0 t	0.0 t	202.2 t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　AGC株式会社 千葉工場
住 所　千葉県市原市五井海岸10番地
氏 名　工場長 舛岡 正道
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436(23)3150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	AGC株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井海岸10番地
事業の種類	大分類 :製造業　中分類 :化学工業小分類 :その他無機化学工業、
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

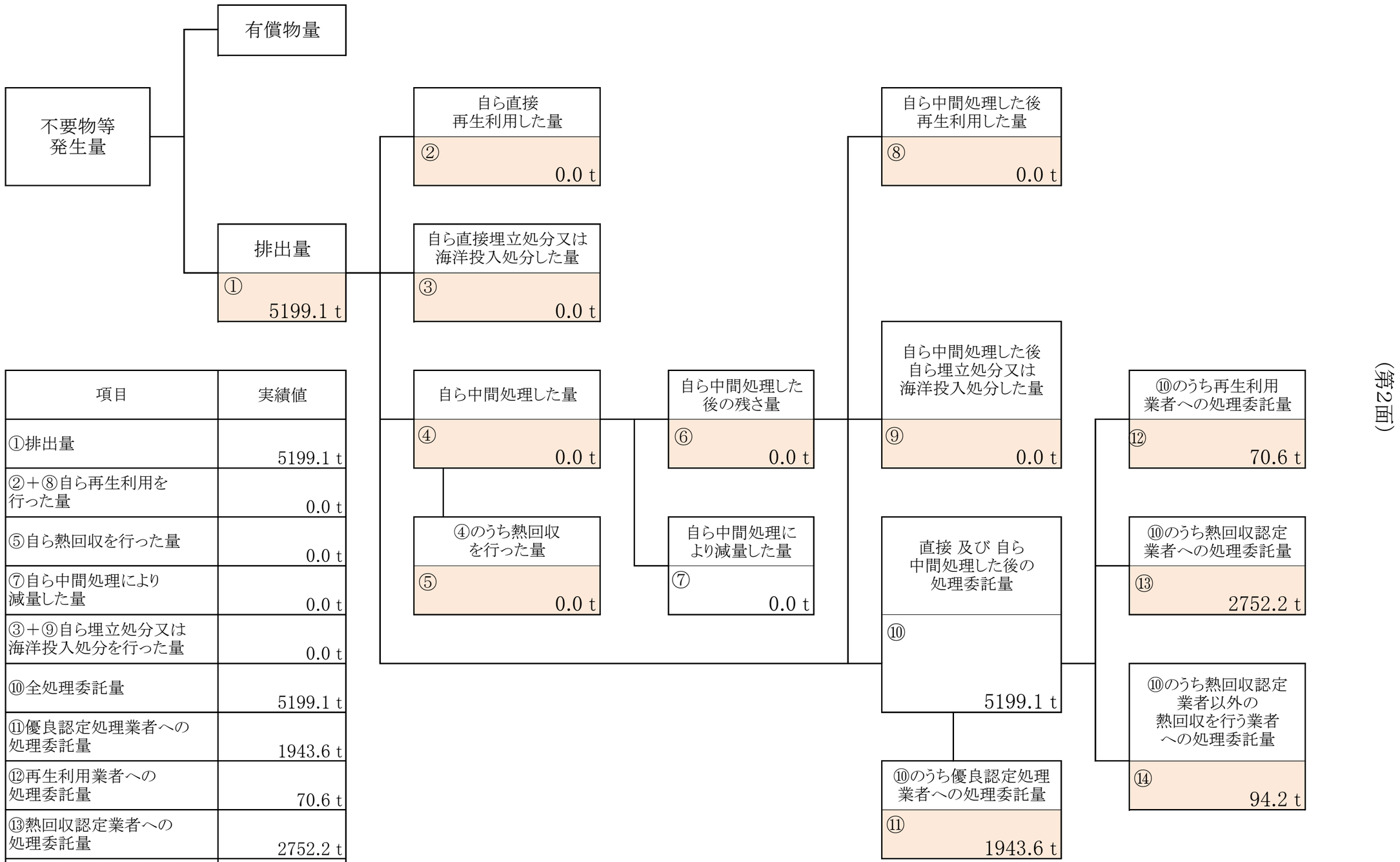
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	11710.0 t	全処理委託量	11704.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	3175.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	4465.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	15.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	640.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

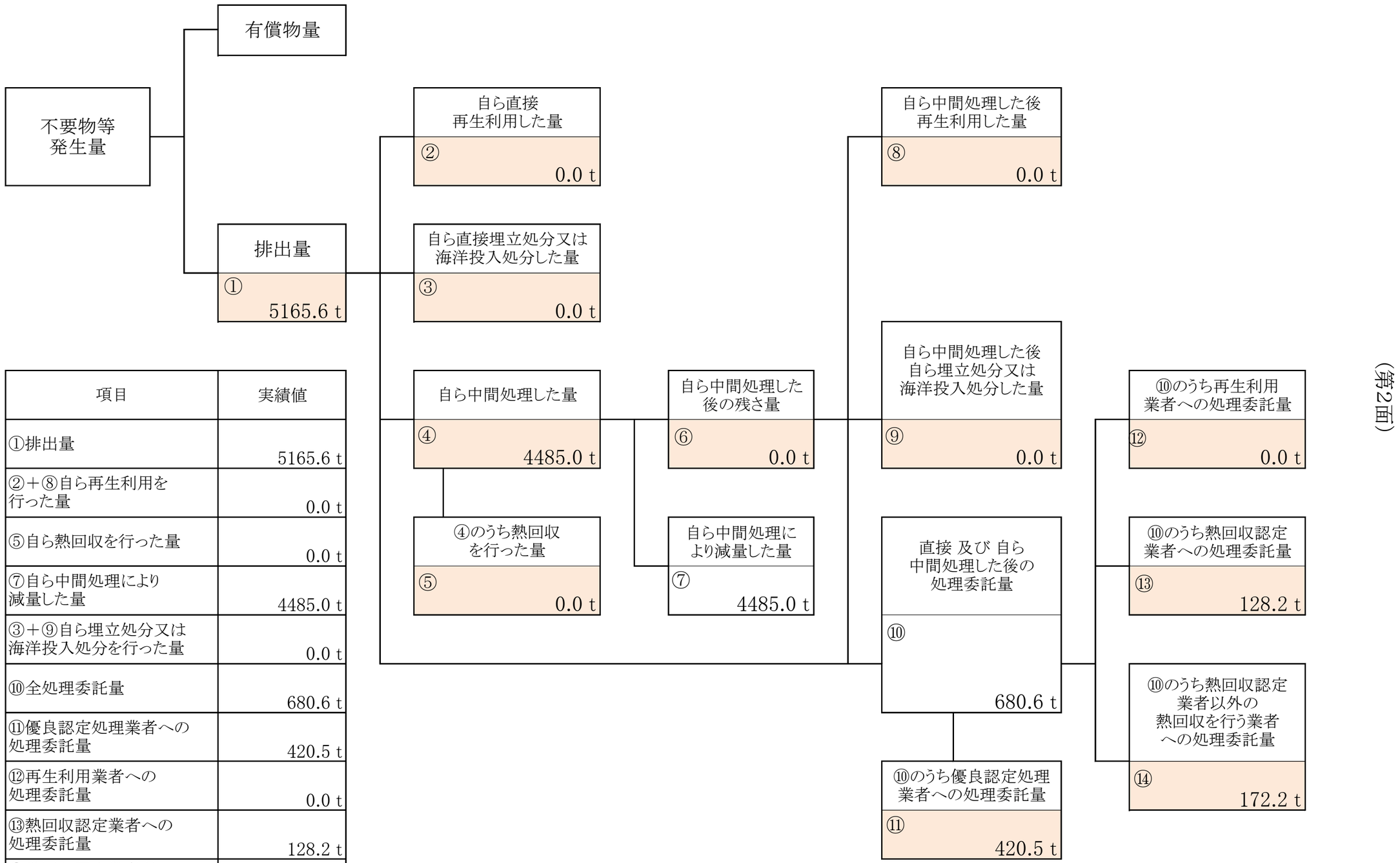


項目	実績値
①排出量	5199.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5199.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1943.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	70.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2752.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	94.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃油**）

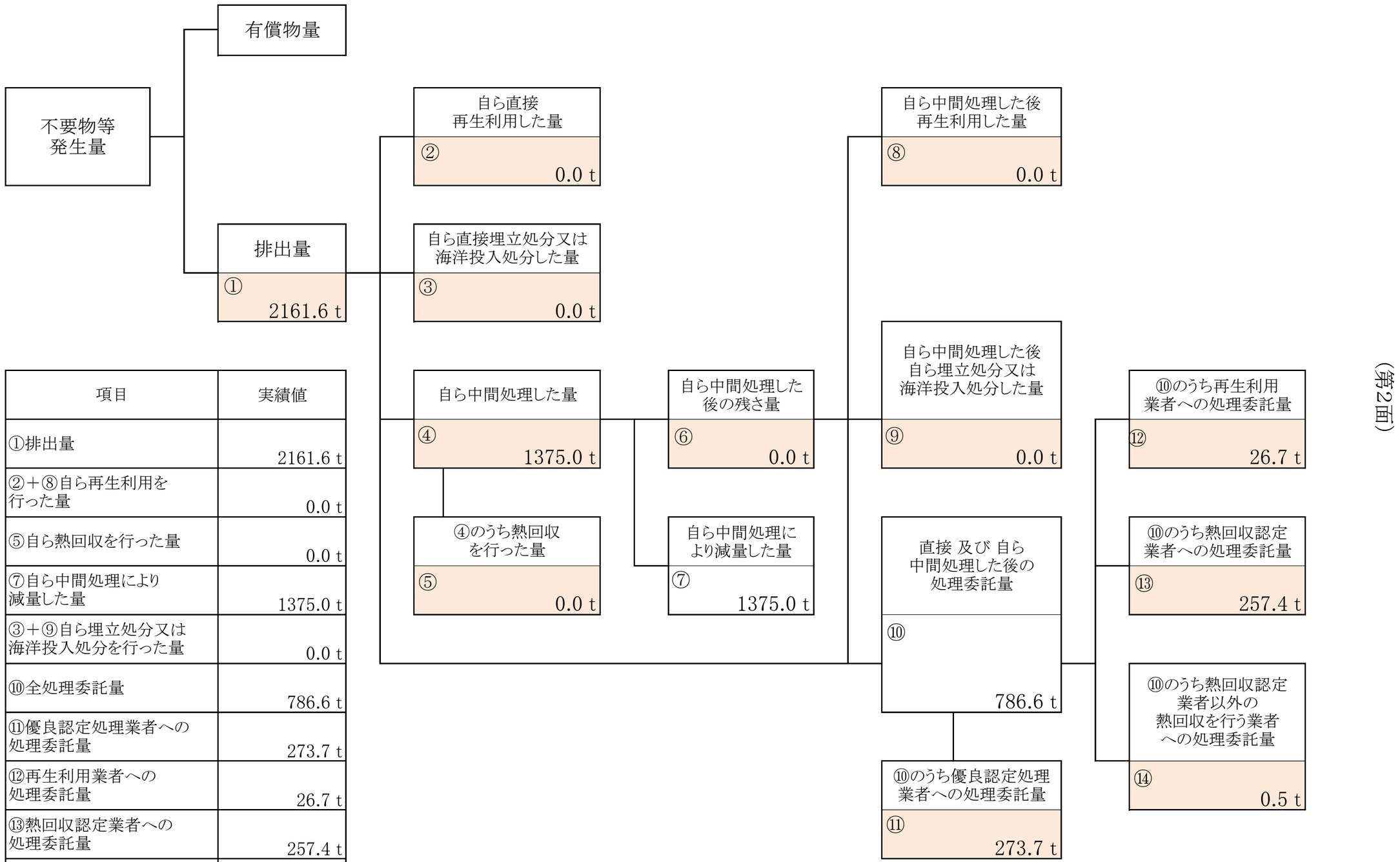


項目	実績値
①排出量	5165.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	4485.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	680.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	420.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	128.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	172.2 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃酸**）

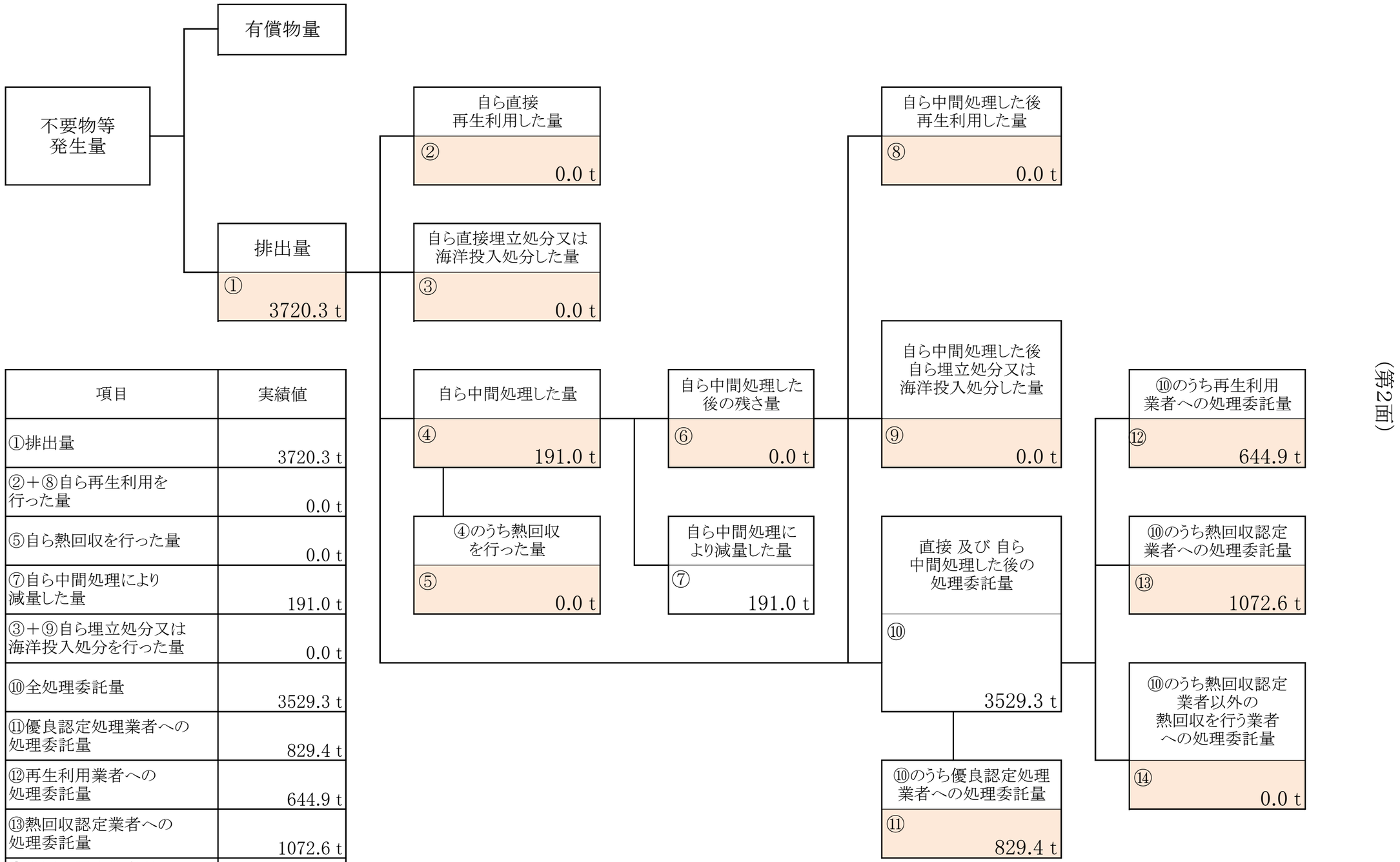


項目	実績値
①排出量	2161.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1375.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	786.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	273.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	257.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃アルカリ**）

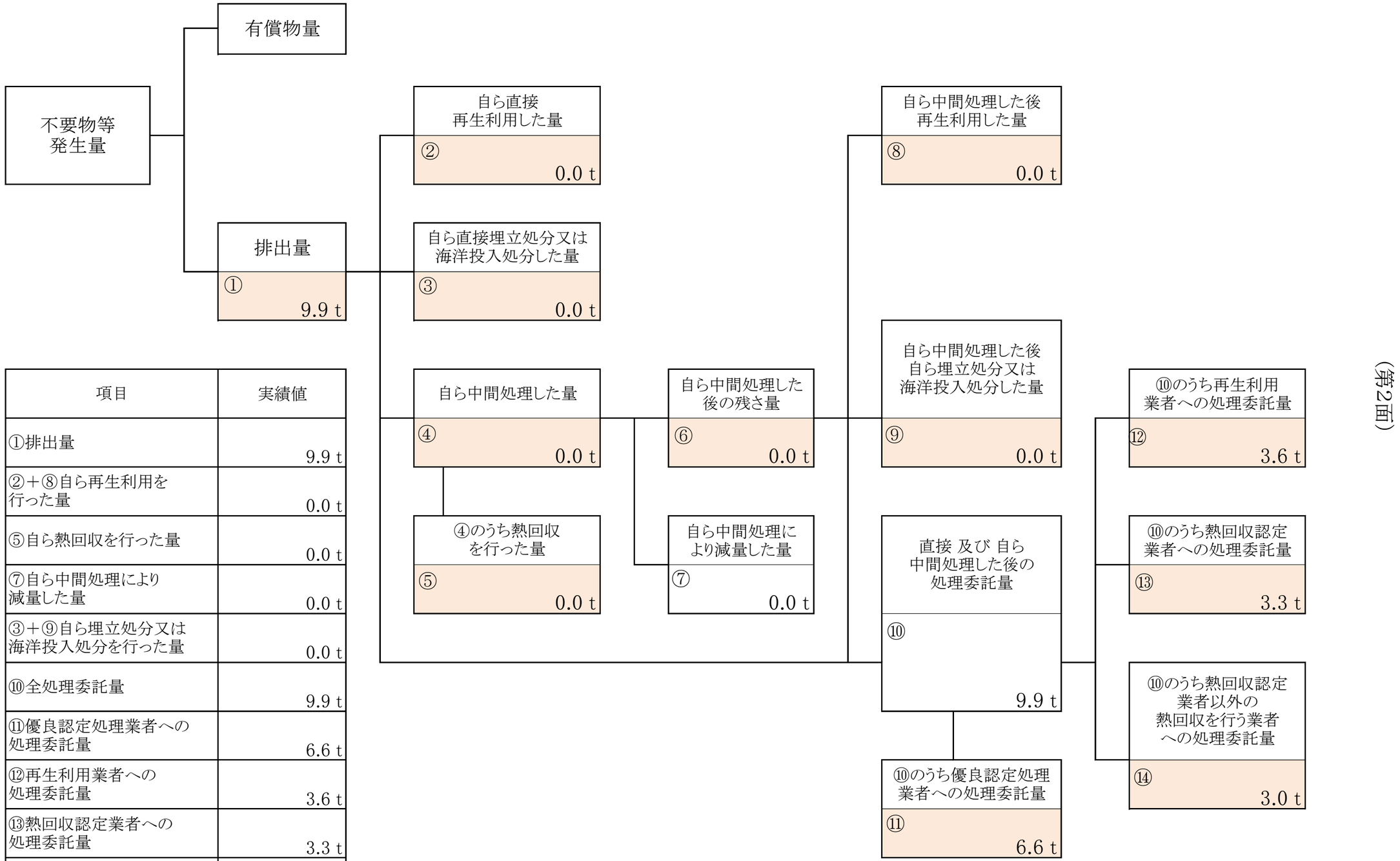


項目	実績値
①排出量	3720.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	191.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3529.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	829.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	644.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1072.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**金属くず**）

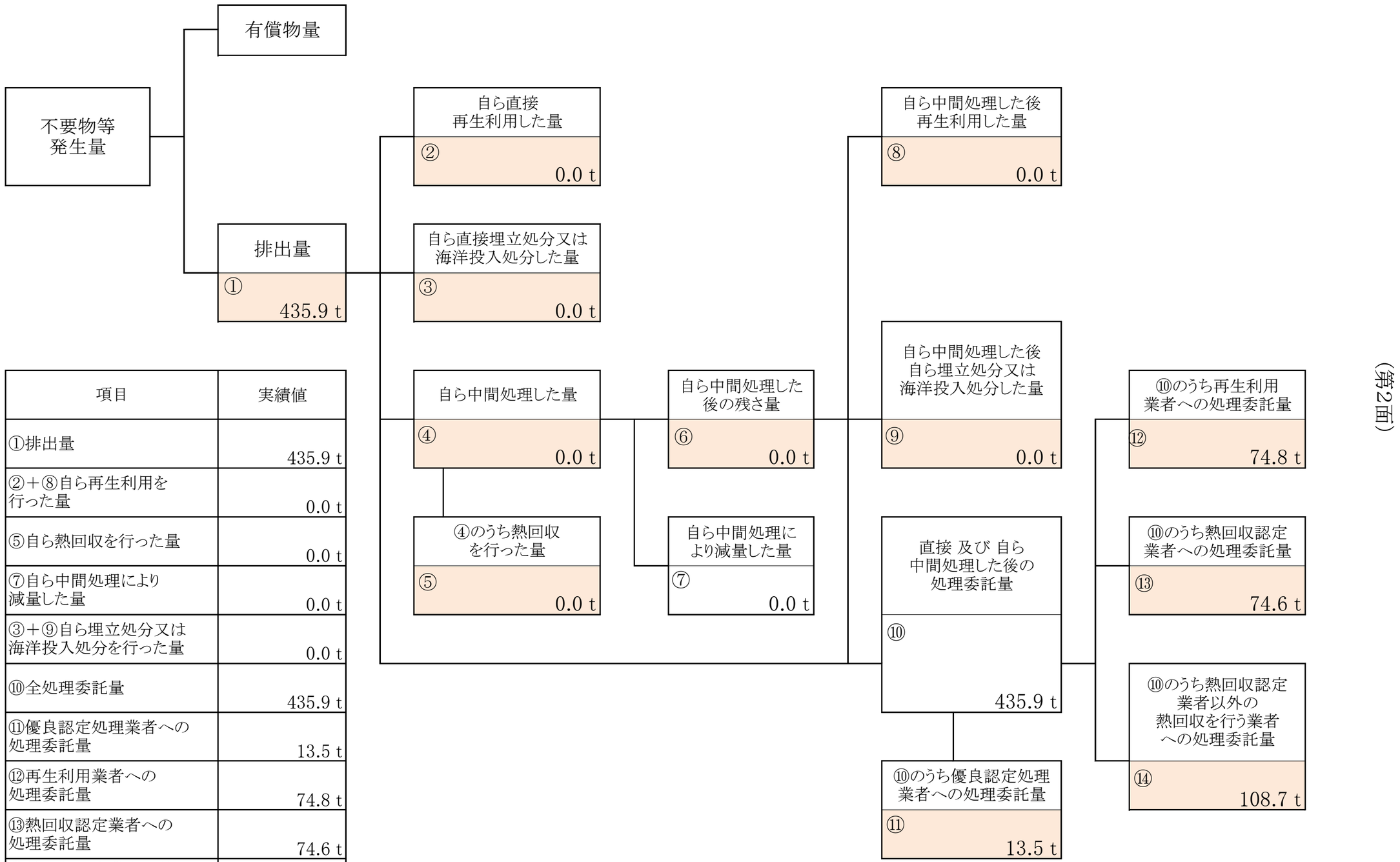


項目	実績値
①排出量	9.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	3.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類**）

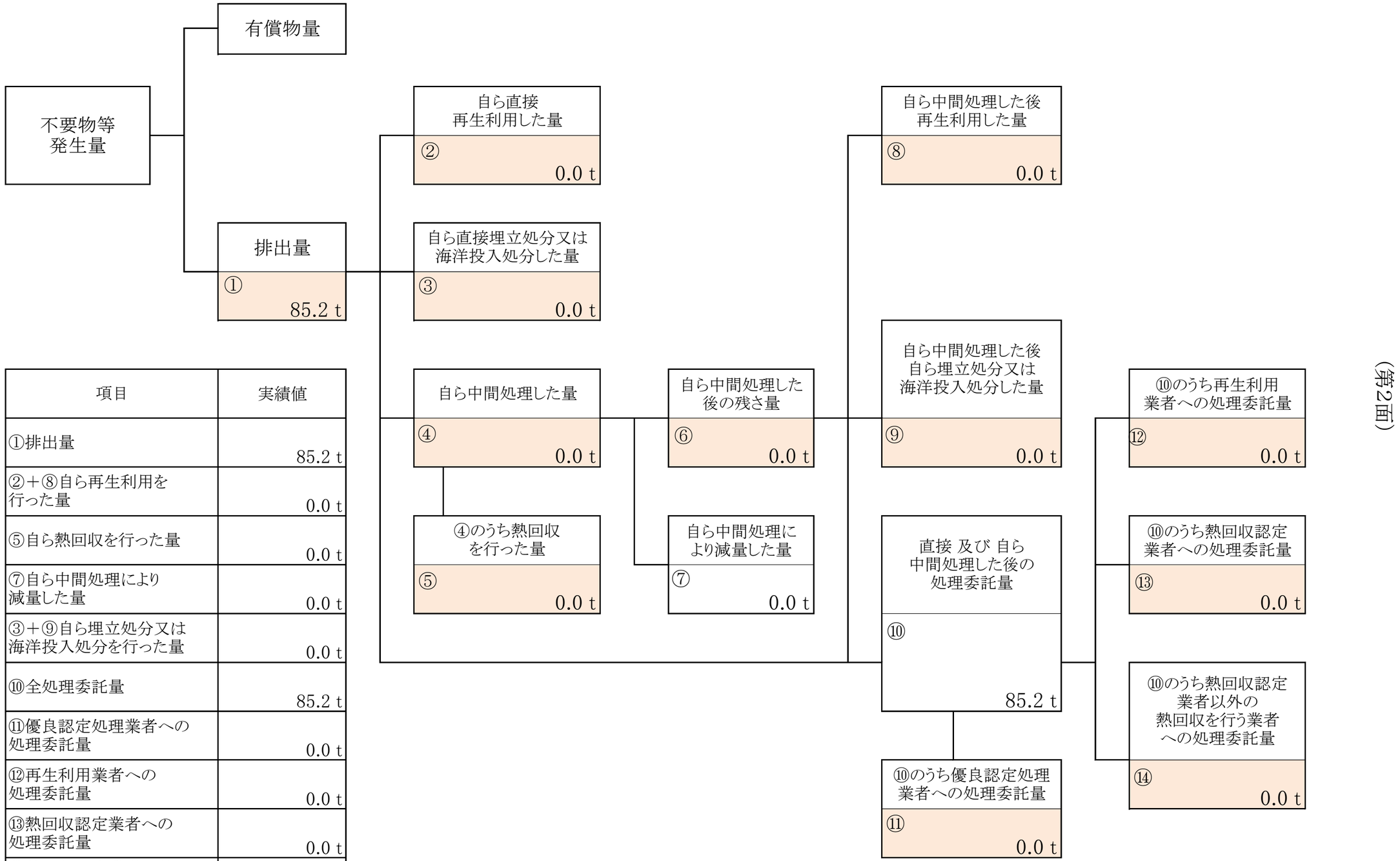


項目	実績値
①排出量	435.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	435.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	74.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	74.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	108.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

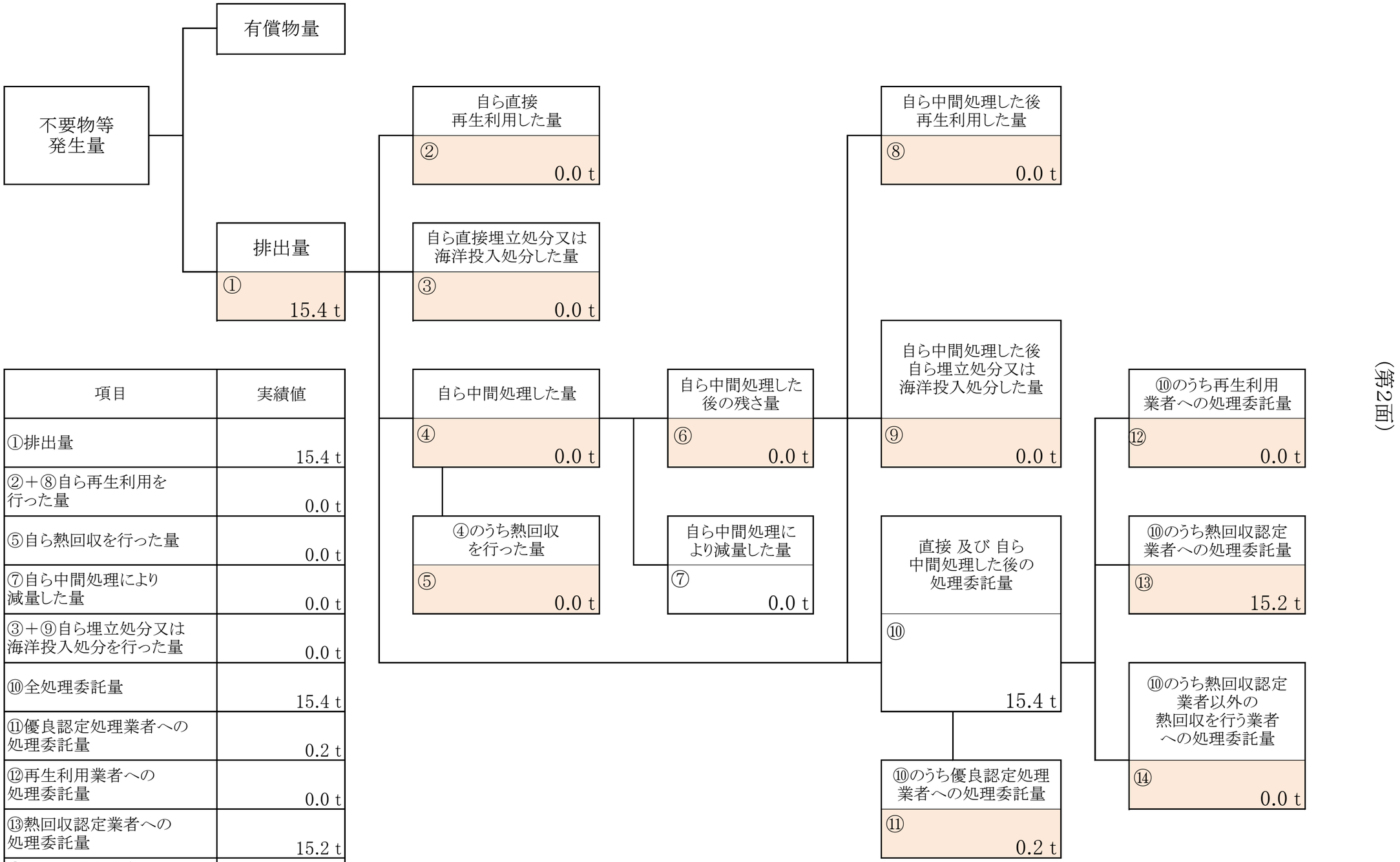


項目	実績値
①排出量	85.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**）

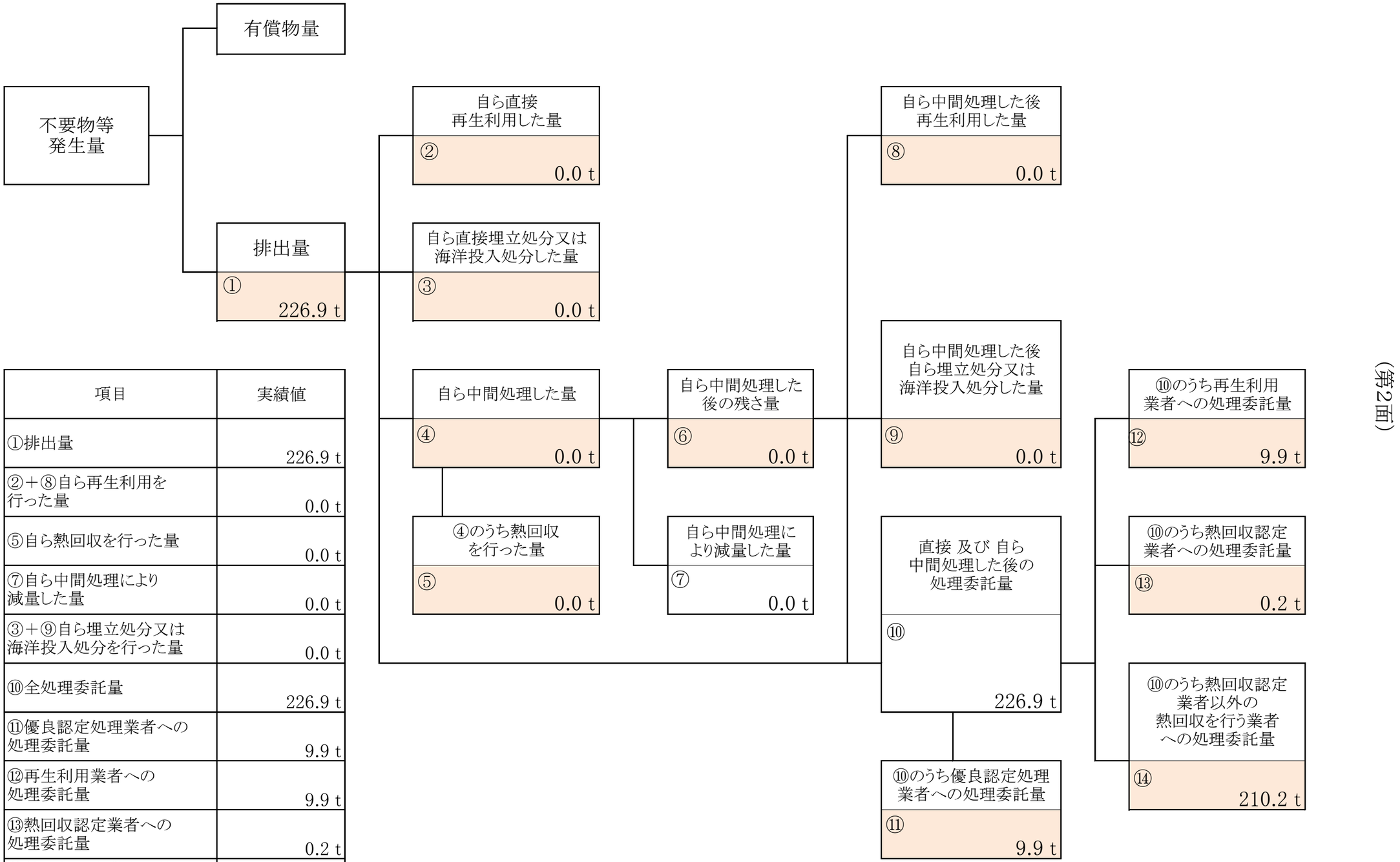


項目	実績値
①排出量	15.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	15.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**その他混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	226.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	226.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	210.2 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者　　ＡＧＣ株式会社　千葉工場

住　所　千葉県市原市五井海岸１０番地

氏　名　工場長　舛岡　正道

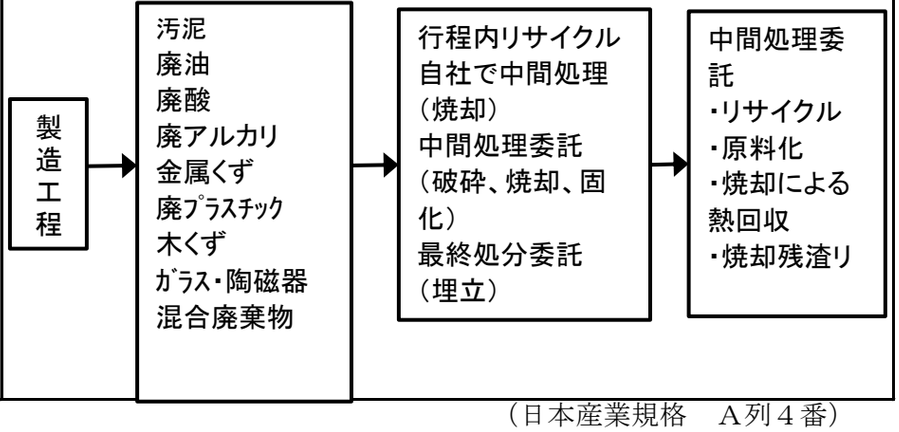
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４３６（２３）３１５０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	AGC株式会社　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井海岸10番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

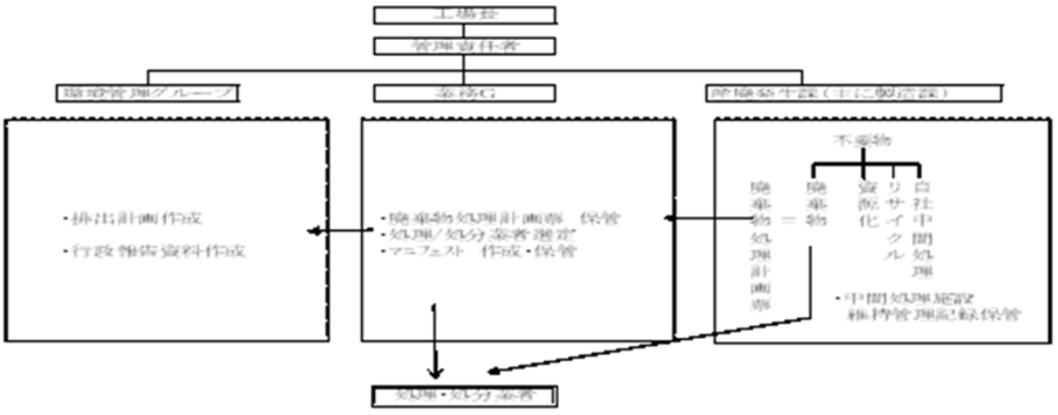
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06－総合工事業
②事業の規模	前年度の製造品生産量（ＮａＯＨ換算）　　３９６．４５６千ｔ
③従業員数	1804
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
排　　出　　量	533.1　　t	513.8　　t

（これまでに実施した取組）
・有価物としての利用先の探索につとめました。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
排　　出　　量	512.8　　t	494.2　　t

（今後実施する予定の取組）
・有価物としての利用先の探索を継続して行います

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・廃酸について、分別を行い、一部、有価物としての利用を　可能としまし

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・引き続き廃酸について、利用先の探索を行います。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	483.0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	483.0 t

（これまでに実施した取組）
・廃油の焼却処理。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	464.6 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	464.6 t

（今後実施する予定の取組 ）
・引き続き、可能なものについて焼却処理を推進いたします。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	廃油（有害）
全処理委託量	533.1 t	30.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	329.4 t	30.7 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	38.9 t	0.1 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	155.4 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

優良認定処理業者および再生利用業者、認定熱回収業者情報収集に努め、利用してきました。

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】
<table>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油（引火性）</td><td>廃油（有害）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>512.8 t</td><td>29.6 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>316.9 t</td><td>29.5 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td><td>0.0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>37.4 t</td><td>0.1 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>149.5 t</td><td>0.0 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者および再生利用業者、認定熱回収業者情報収集に努め、利用を増やすように致します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td>【前年度（令和５年度）実績】
<table>
<tr><td>特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）</td><td>6583.5 t</td></tr>
</table>
（今後実施する予定の取組等）
電子マニュフェストの使用を継続してまいります</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	廃アルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
①現状	排出量	582.8 t	1432.1 t	3095.1 t	0.0 t	3.1 t	0.7 t	329.9 t	44.1 t	23.9 t	7.7 t	17.2 t

【目標】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
②計画	排出量	560.6 t	1377.6 t	2977.2 t	0.0 t	3.0 t	0.7 t	317.3 t	42.4 t	23.0 t	7.4 t	16.6 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
①現状	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
②計画	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
①現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
②計画	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（令和５年度）実績】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
①現状	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

【目標】

	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
②計画	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和５年度）実績】											
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
	全処理委託量	582.8 t	1432.1 t	3095.1 t	0.0 t	3.1 t	0.7 t	329.9 t	44.1 t	23.9 t	7.7 t	17.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	233.1 t	725.3 t	1139.0 t	0.0 t	1.7 t	0.0 t	329.9 t	34.1 t	6.8 t	0.0 t	1.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	669.8 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2.9 t	0.0 t	1.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	143.6 t	364.8 t	660.3 t	0.0 t	1.5 t	0.7 t	0.0 t	10.0 t	1.2 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	98.5 t	0.0 t	16.8 t	0.0 t	1.7 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	12.4 t	0.0 t	15.5 t
②計画	【目標】											
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	ルカリ（強アルカ	廃酸（強酸）	感染性廃棄物	金属くず（有害）	ｸﾘｰﾄくず及び陶磁	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	木くず(有害)	混合廃棄物
	全処理委託量	560.6 t	1377.6 t	2977.2 t	0.0 t	3.0 t	0.7 t	317.3 t	42.4 t	23.0 t	7.4 t	16.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	224.2 t	697.6 t	1095.7 t	0.0 t	1.6 t	0.0 t	317.3 t	32.8 t	6.5 t	0.0 t	1.7 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	644.3 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	2.8 t	0.0 t	1.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	138.2 t	350.9 t	635.2 t	0.0 t	1.4 t	0.7 t	0.0 t	9.7 t	1.2 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	94.7 t	0.0 t	16.2 t	0.0 t	1.6 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	11.9 t	0.0 t	14.9 t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月30日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　AGC株式会社 千葉工場
住 所　千葉県市原市五井海岸10番地
氏 名　工場長 舛岡 正道
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436(23)3150

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	AGC株式会社 千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市五井海岸10番地
事業の種類	大分類 :製造業　中分類 :化学工業小分類 :その他無機化学工業、
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5150.0 t	全処理委託量	5080.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2445.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.5 t	再生利用業者への処理委託量	2215.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.5 t	認定熱回収業者への処理委託量	1625.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	620.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　4789.7	t
	前 年 度　6583.5	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

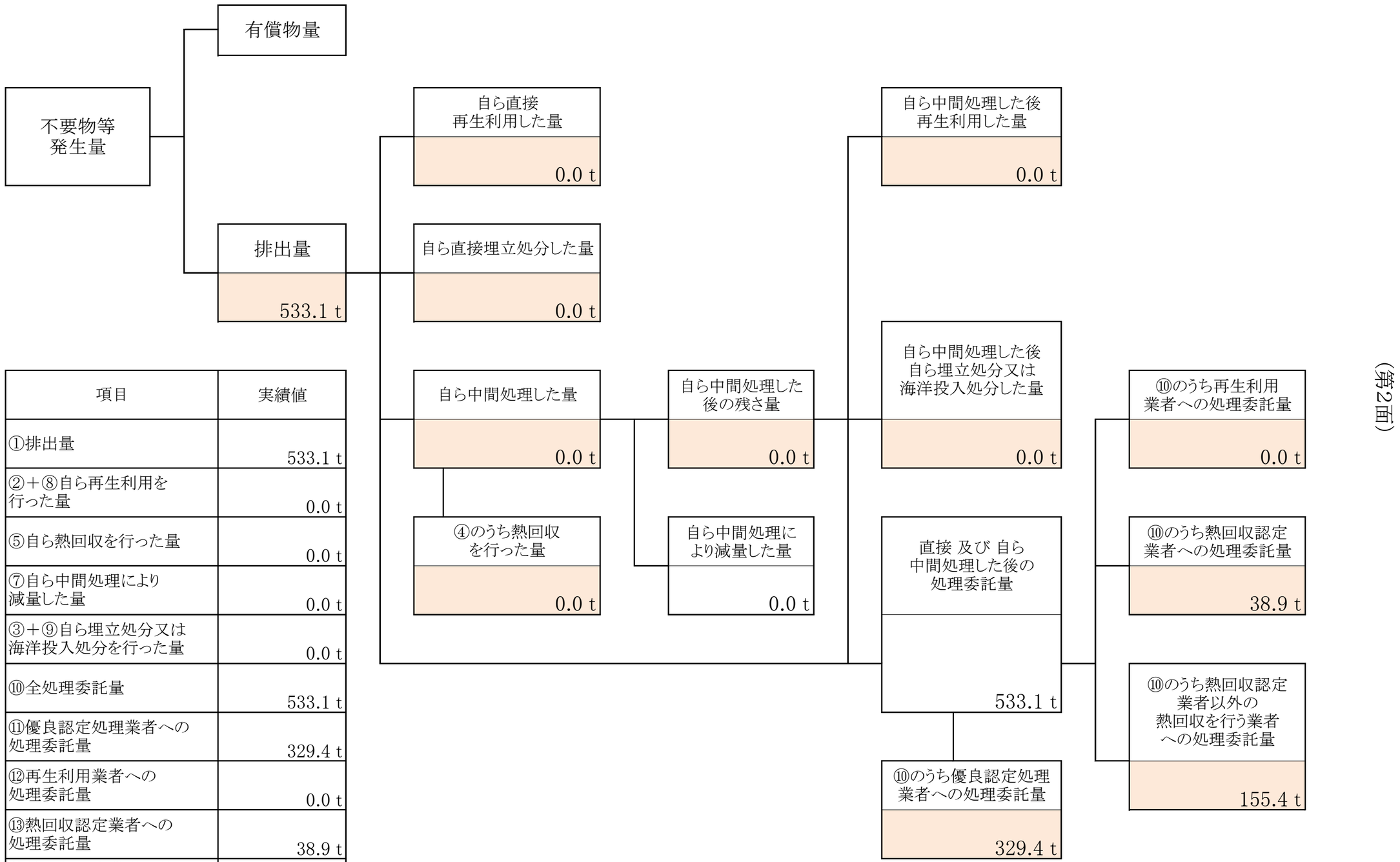
既に電子マニフェストを導入済み

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油（引火性）**）

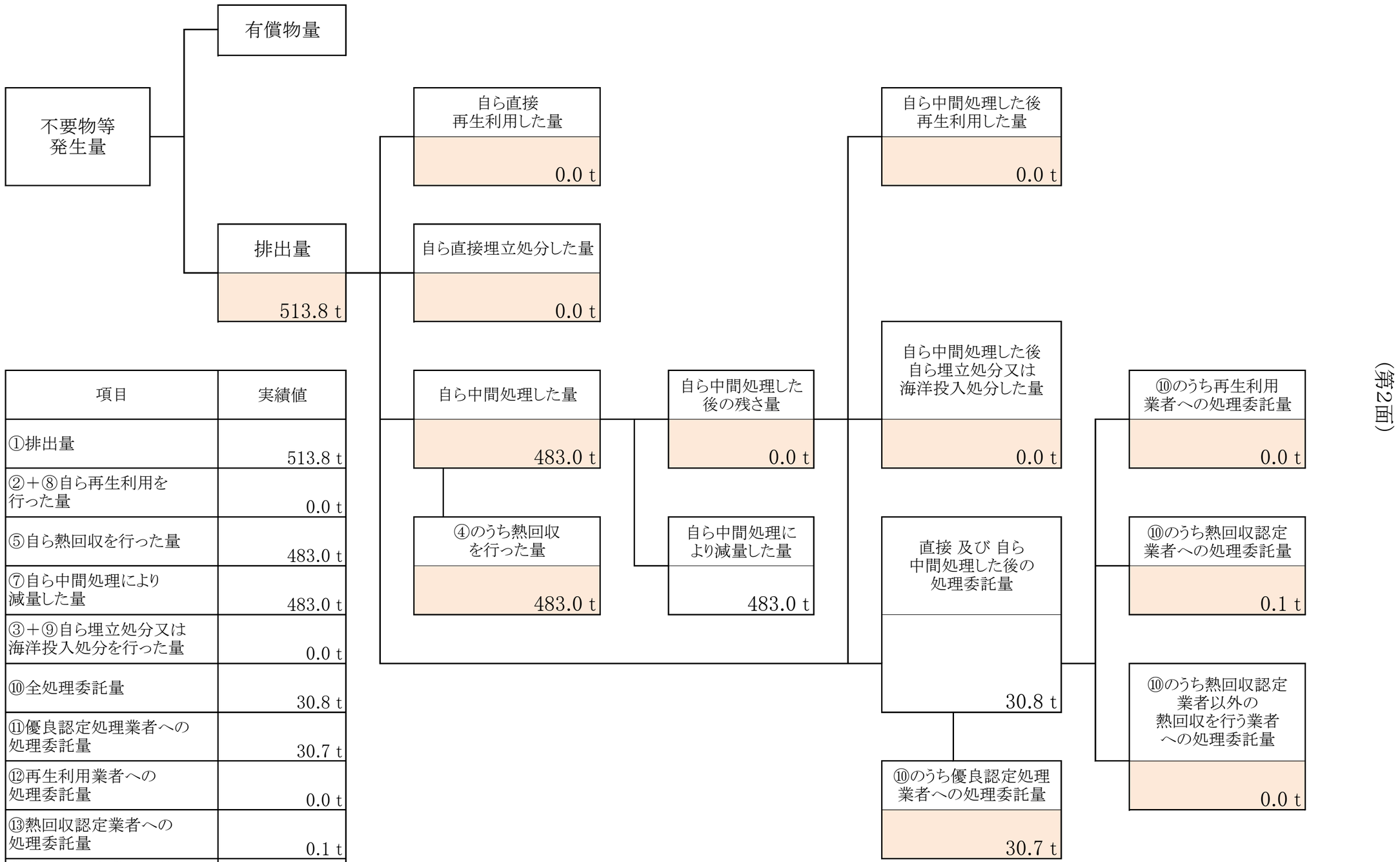


項目	実績値
①排出量	533.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	533.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	329.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	38.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	155.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃油（有害）**）

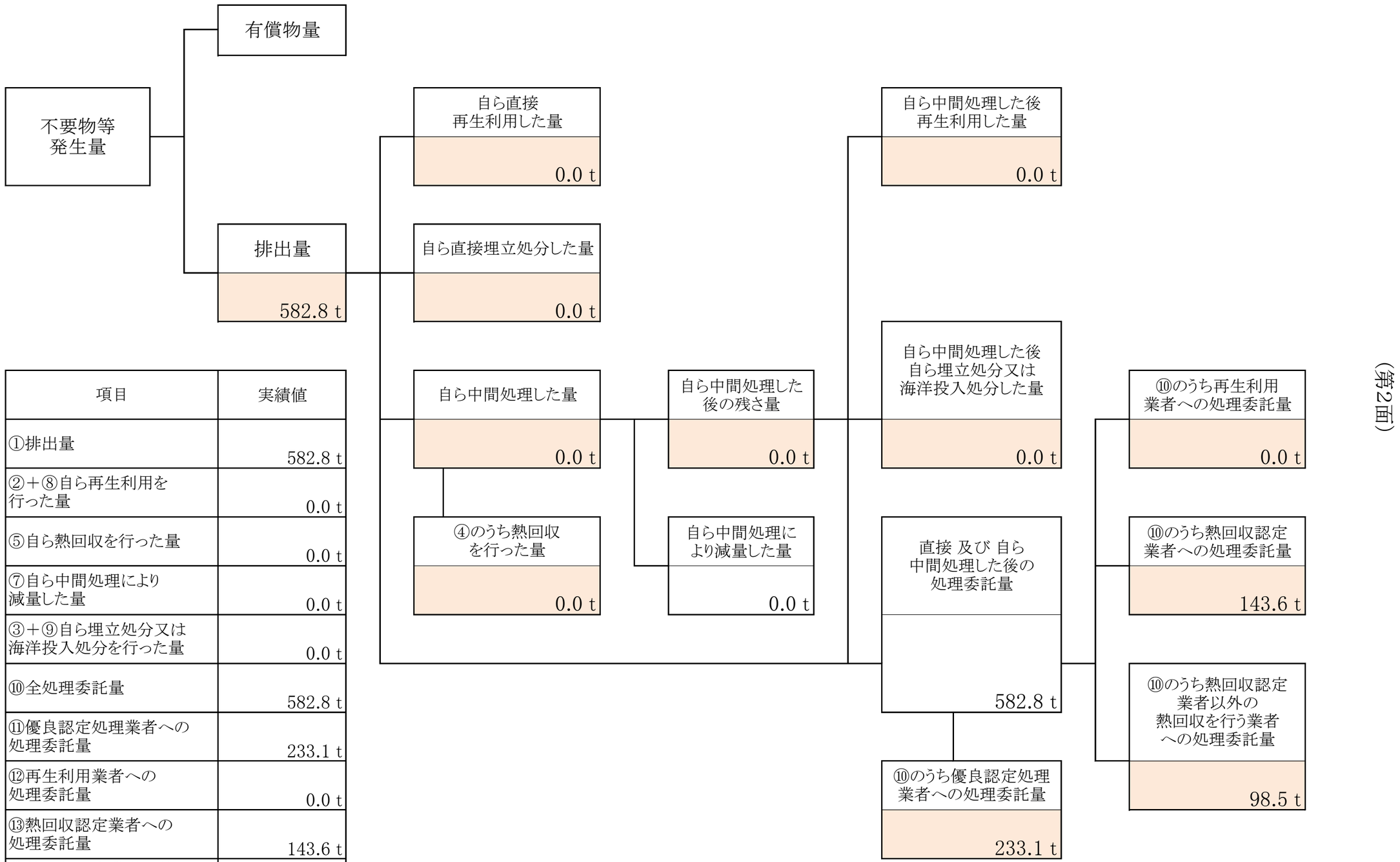


項目	実績値
①排出量	513.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	483.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	483.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	30.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	30.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**汚泥（有害）**）

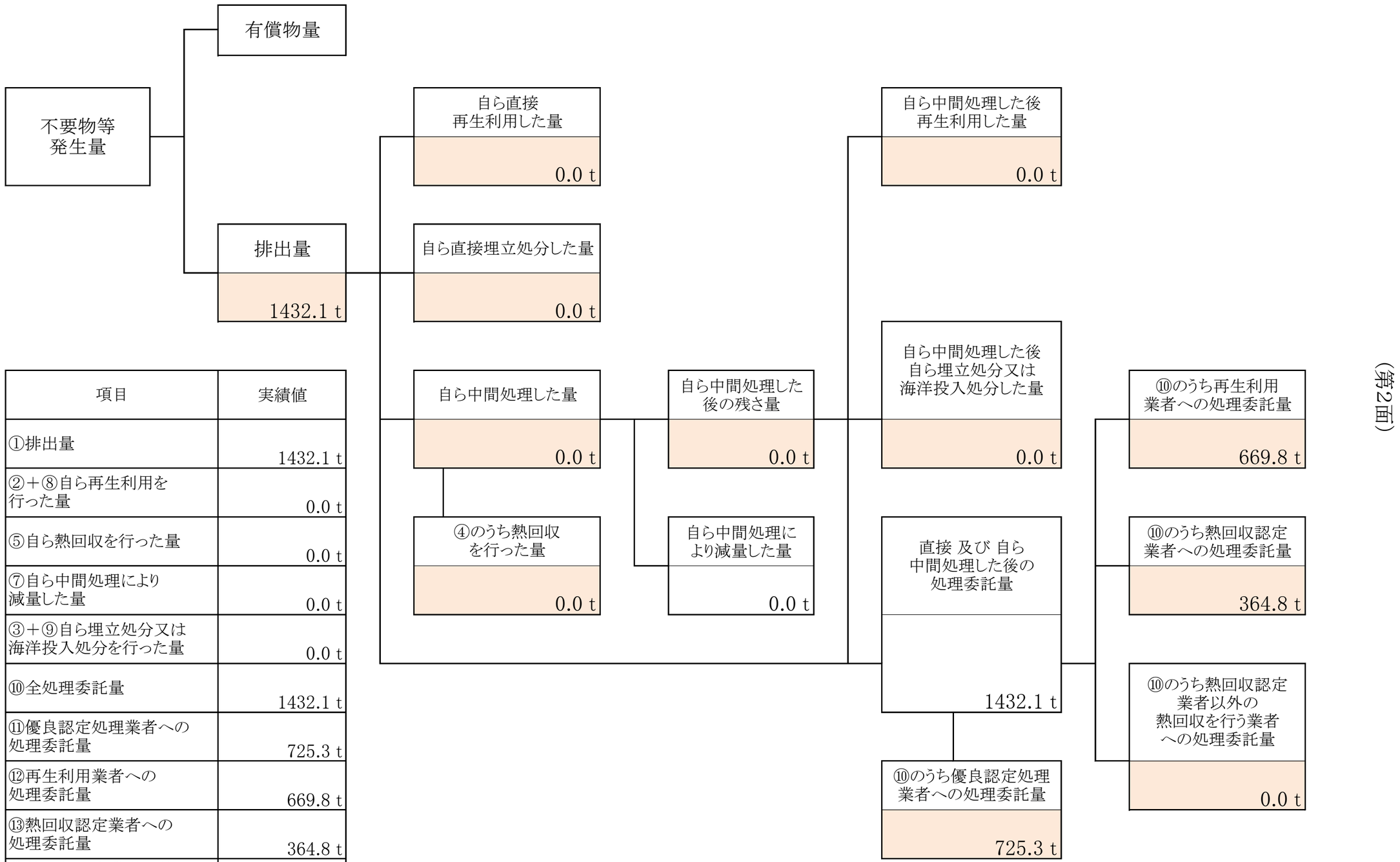


項目	実績値
①排出量	582.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	582.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	233.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	143.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	98.5 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃アルカリ（強アルカリ）**）

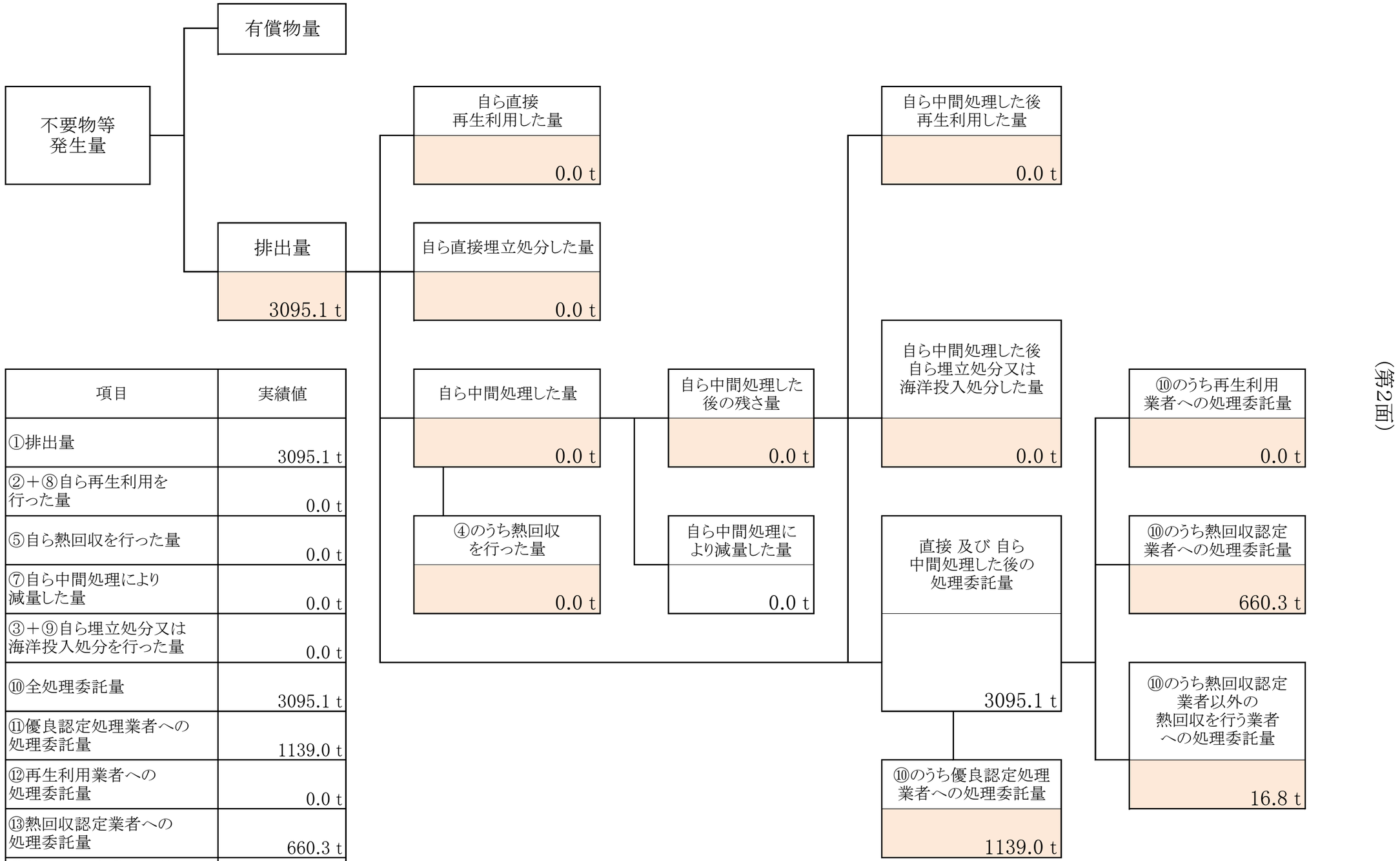


項目	実績値
①排出量	1432.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1432.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	725.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	669.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	364.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃酸（強酸）**）

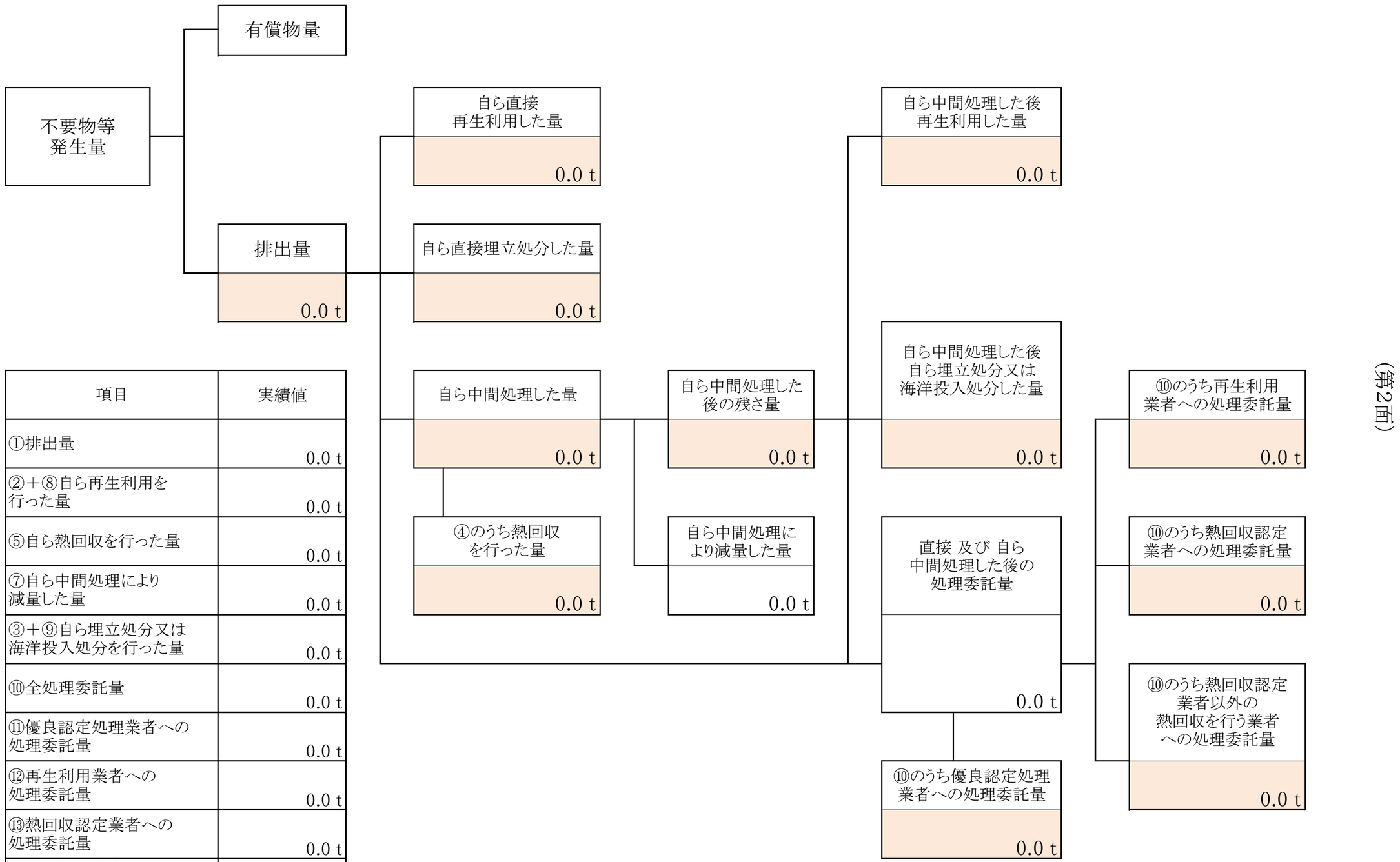


項目	実績値
①排出量	3095.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3095.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1139.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	660.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.8 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**感染性廃棄物**）

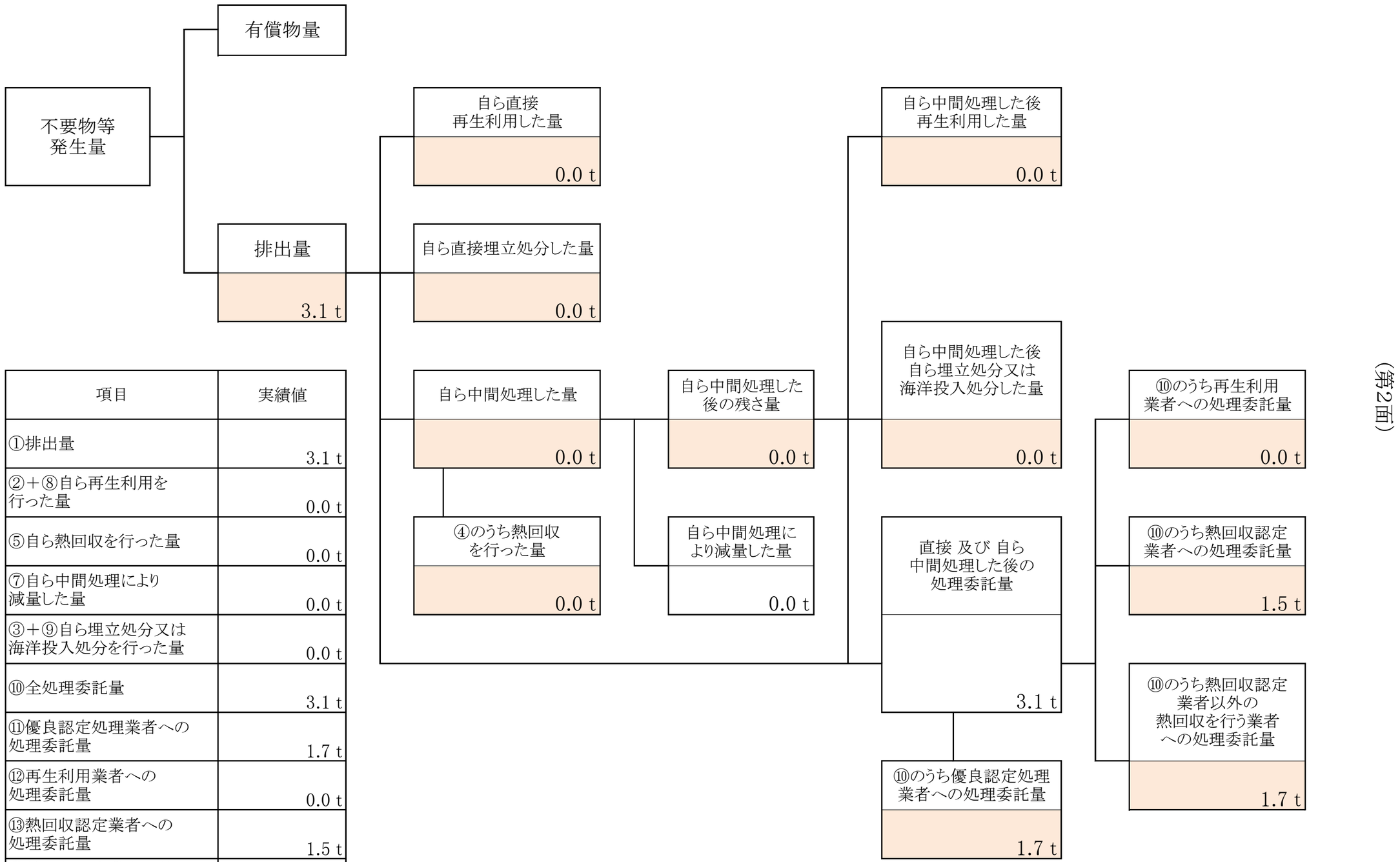


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第２面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**金属くず（有害）**）

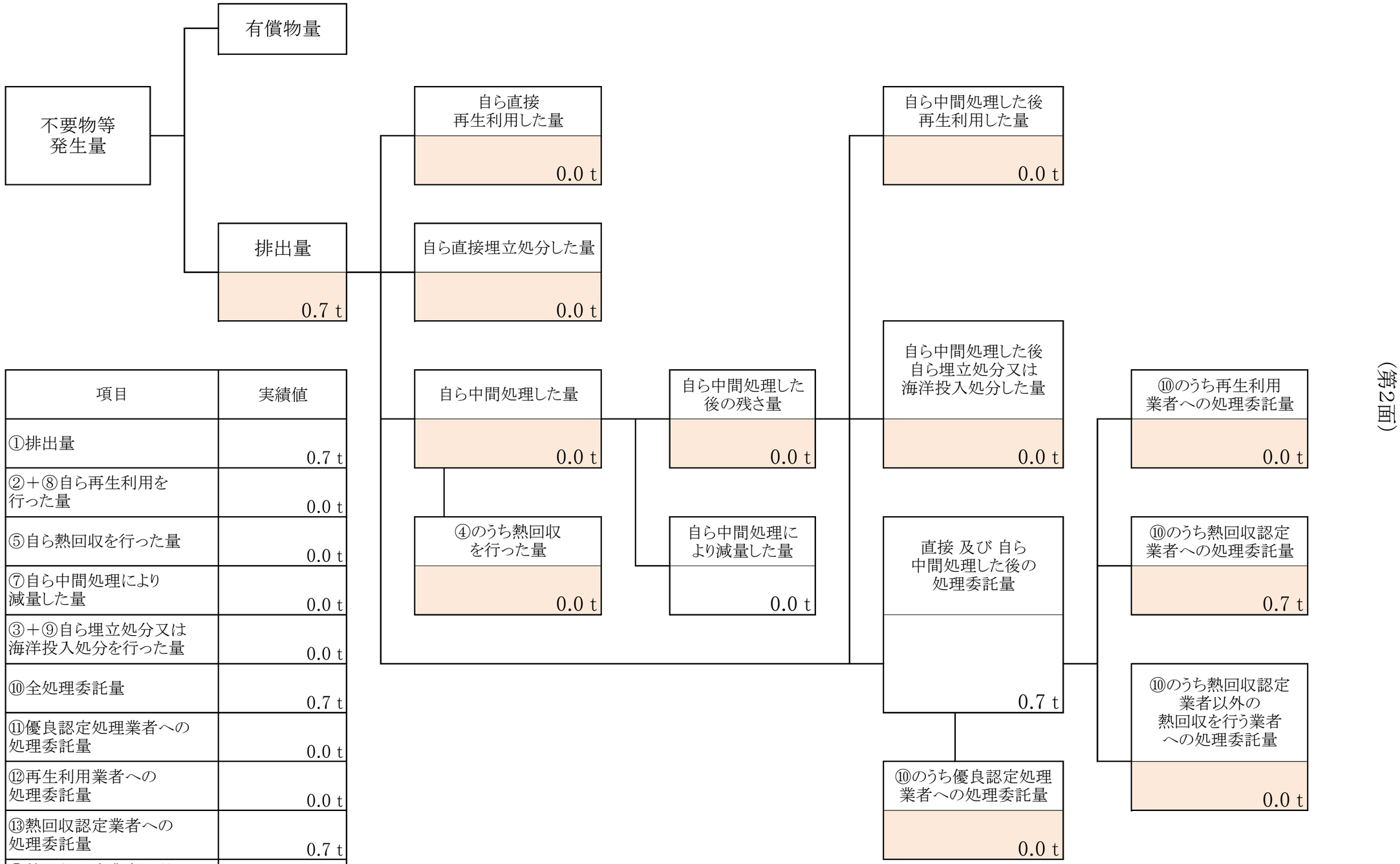


項目	実績値
①排出量	3.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.7 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（有害））

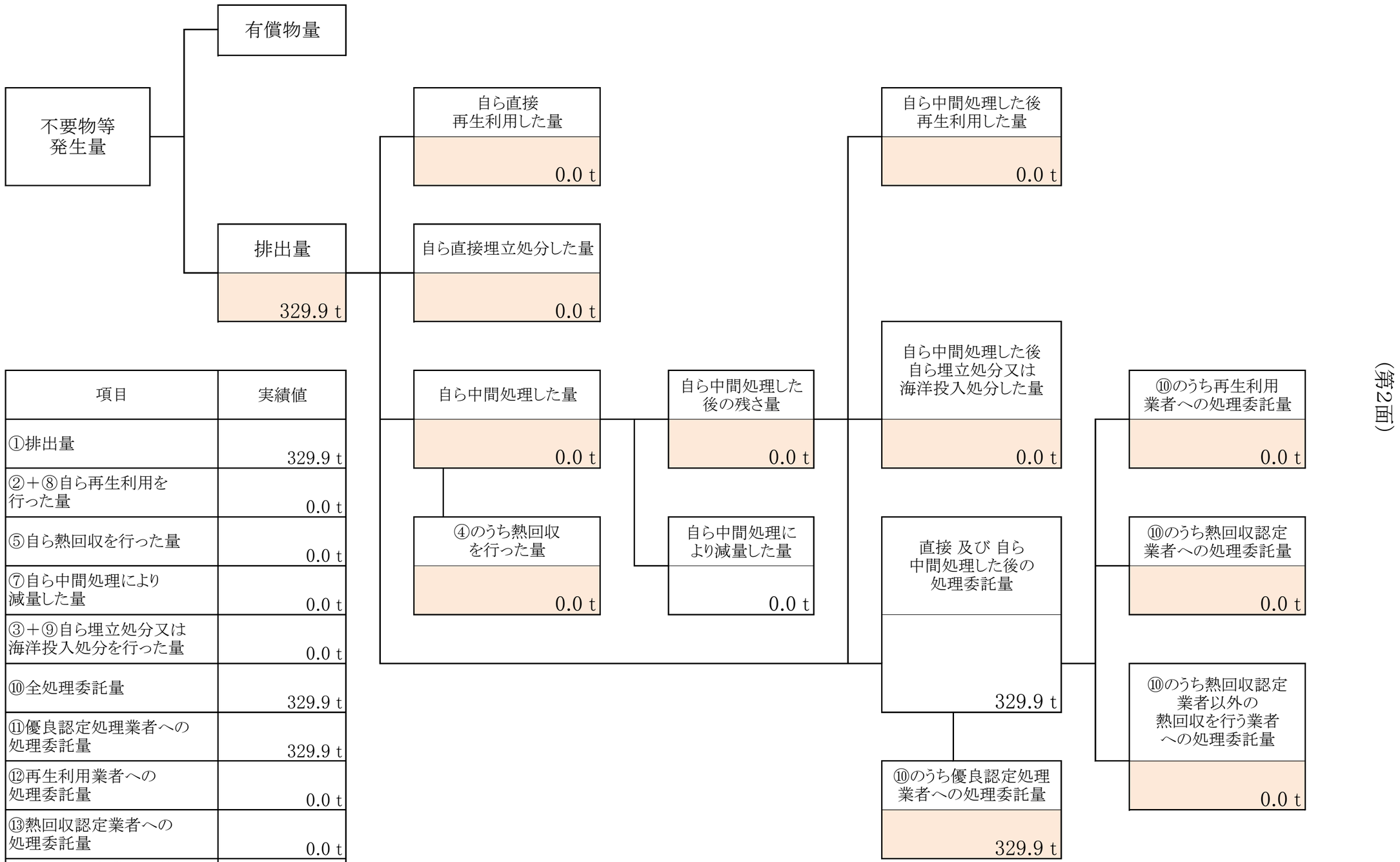


項目	実績値
①排出量	0.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃酸（有害）**）

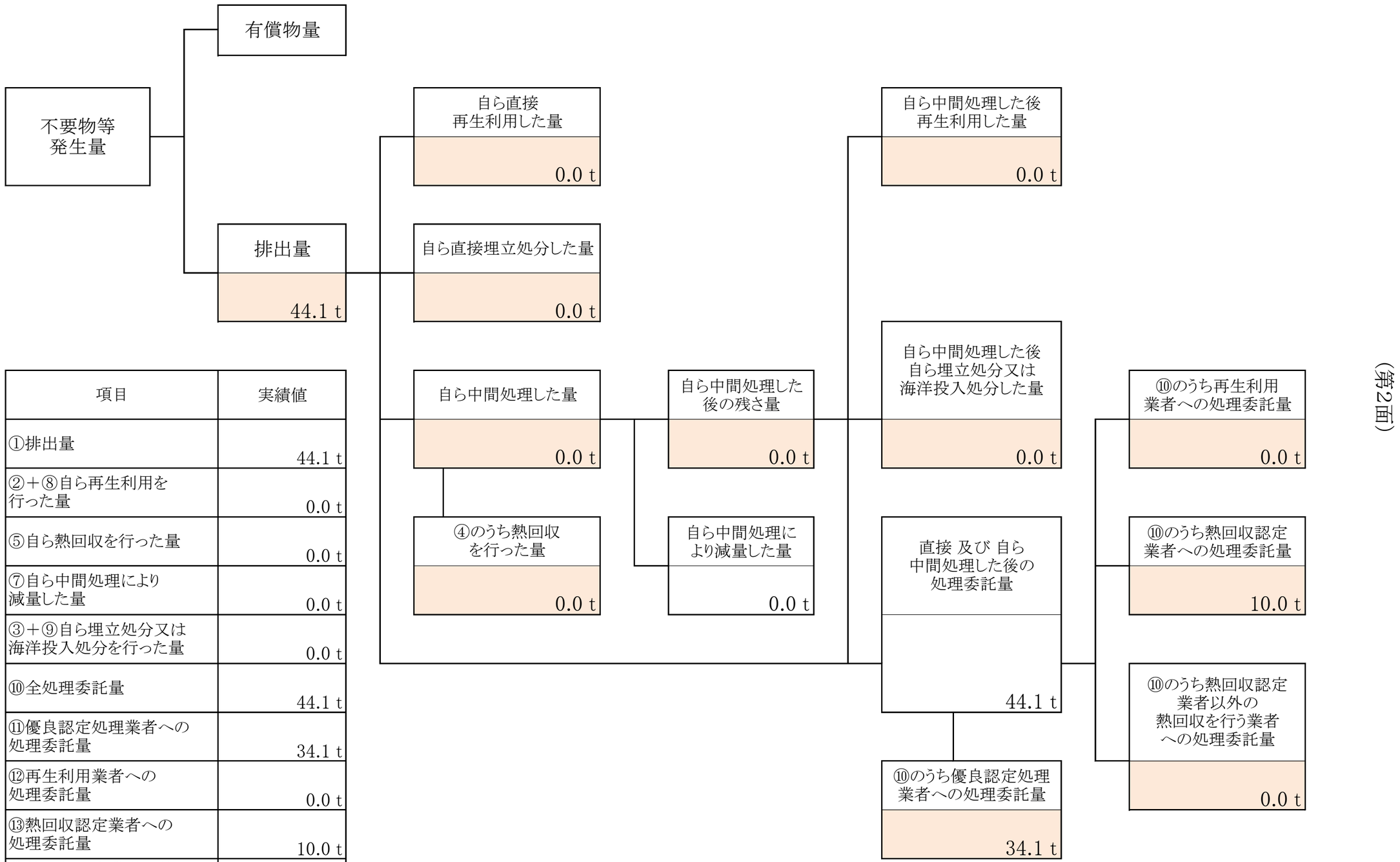


項目	実績値
①排出量	329.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	329.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	329.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃アルカリ（有害）**）

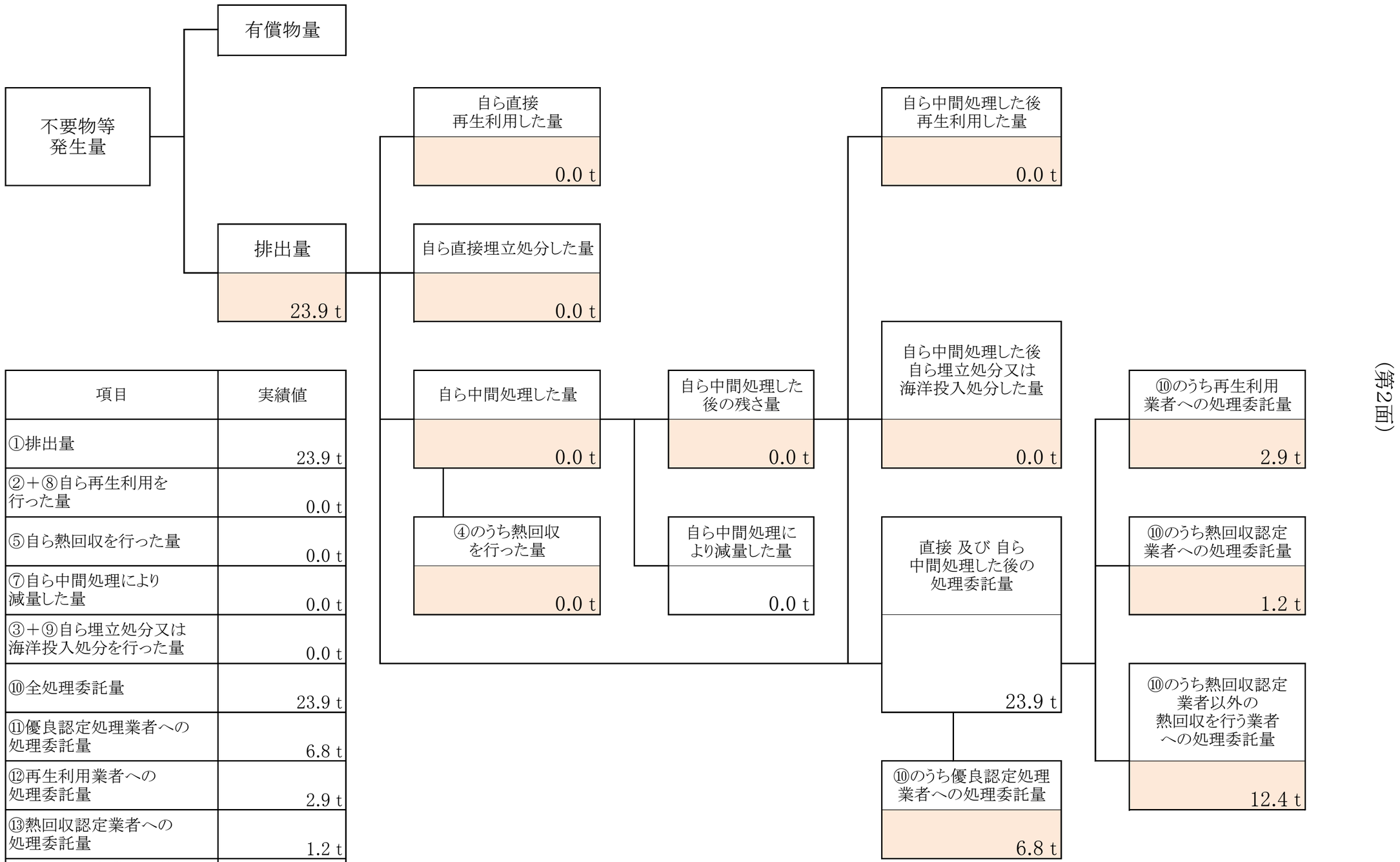


項目	実績値
①排出量	44.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	10.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**廃プラスチック類（有害）**）

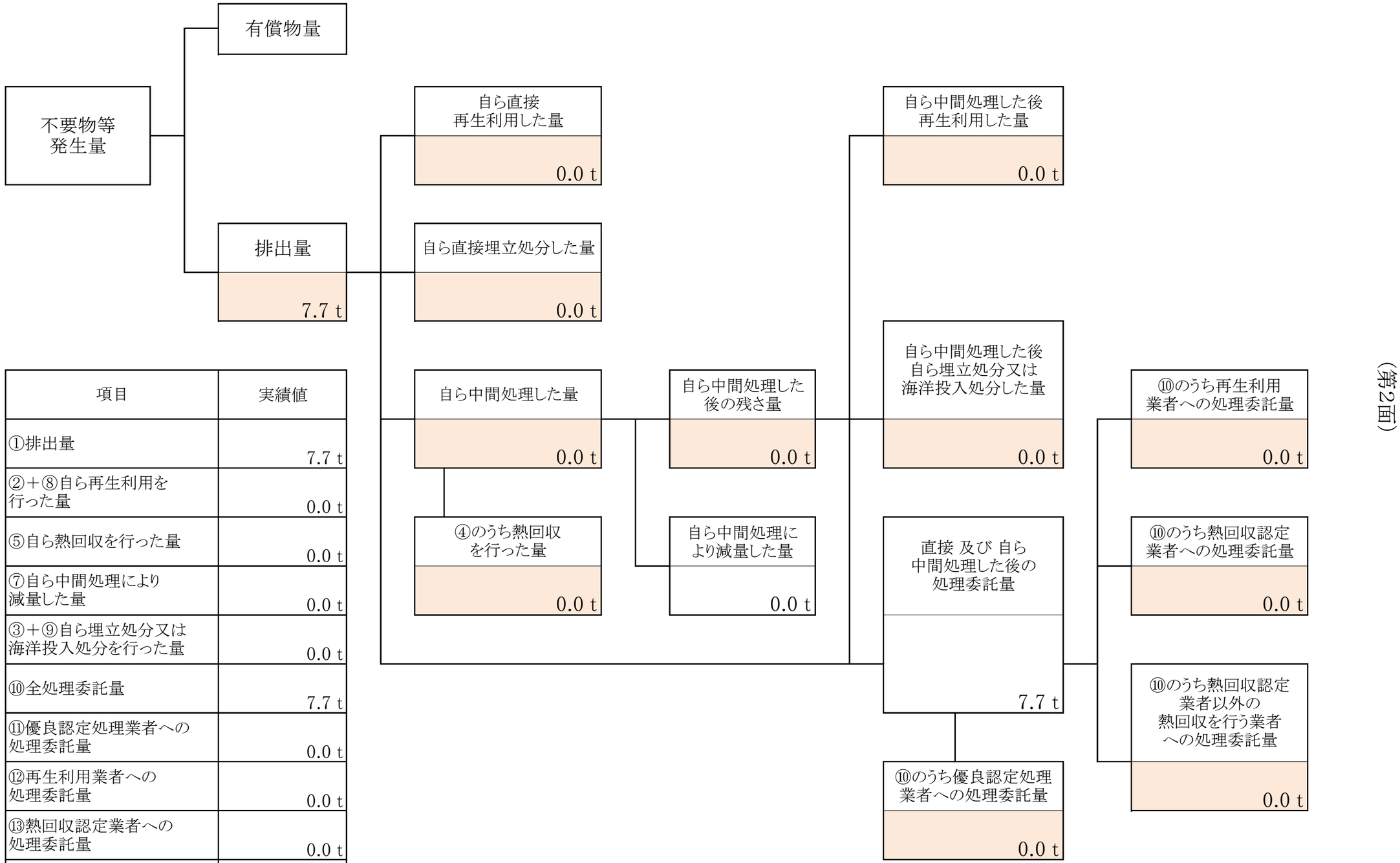


項目	実績値
①排出量	23.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	23.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.2 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	12.4 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：木くず（有害））

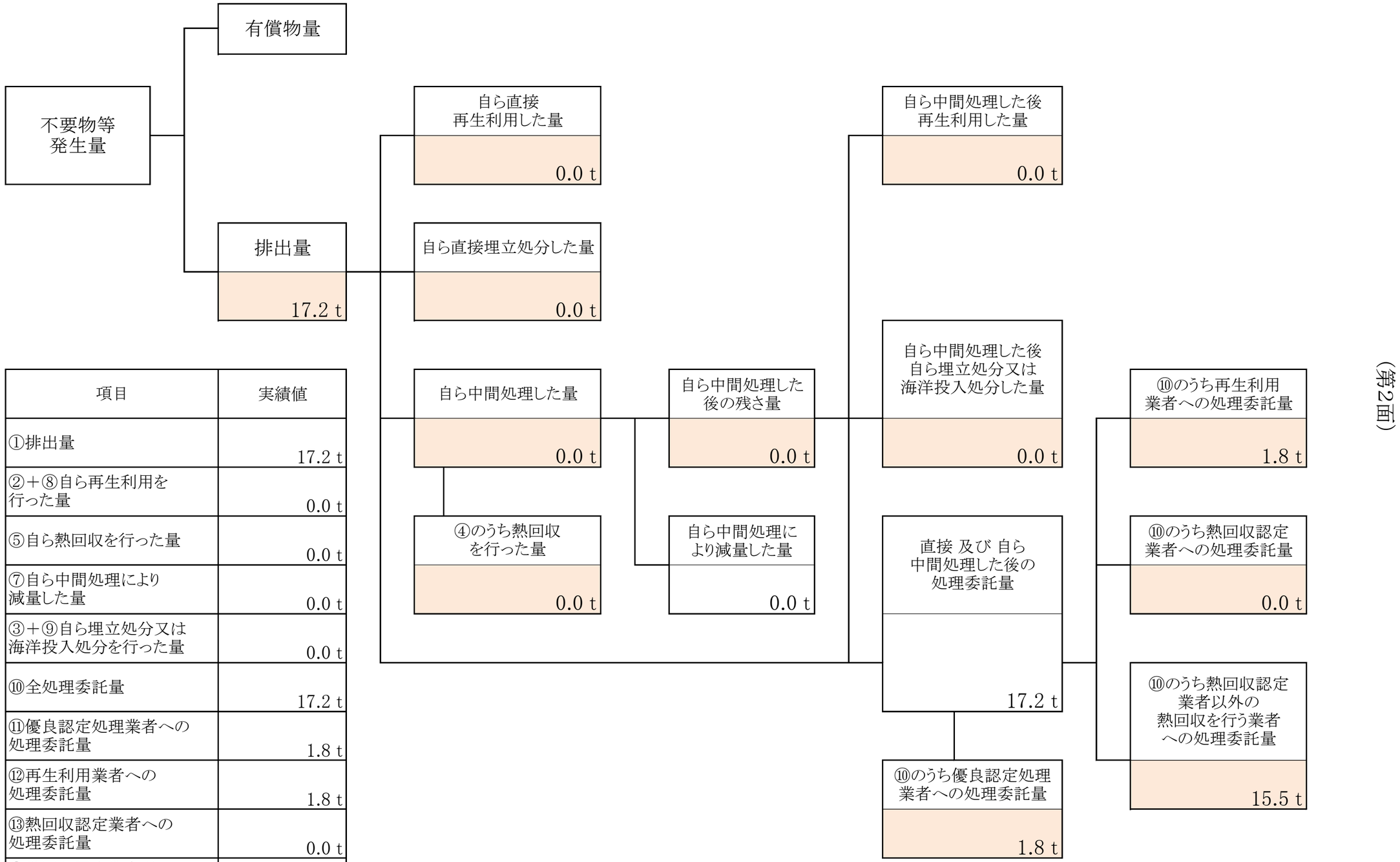


項目	実績値
①排出量	7.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	7.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：**混合廃棄物**）



項目	実績値
①排出量	17.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	17.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	15.5 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画書

2024　年　8　月　1　日

千葉県知事

熊谷　俊人　殿

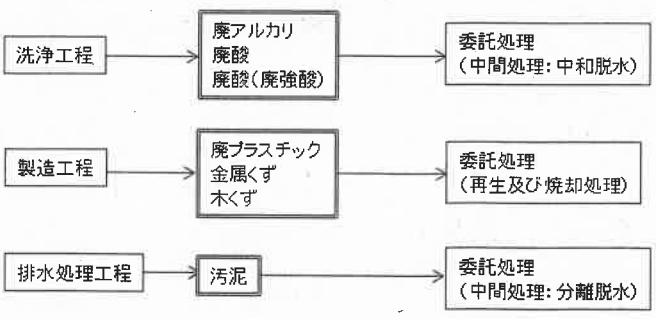
千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.8.-1 収受

提出者　エコラボ合同会社野田工場
住　所　千葉県野田市尾崎2398-1
氏　名　工場長　安田　正也
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　04-7129-4542

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エコラボ合同会社　野田工場
事業場の所在地	千葉県野田市尾崎2398-1
計画期間	2024/4/1-2025/3/31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

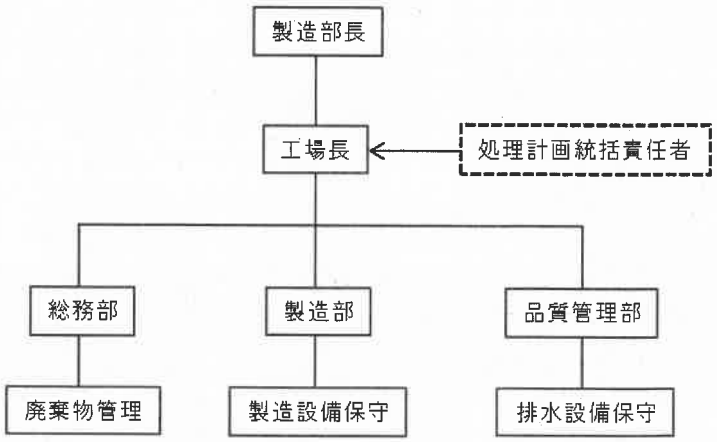
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業
②事業の規模	前年度製品出荷額：　**4，198，269，994円**
③従業員数	40名(正社員33名、業務委託7名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格　A列４番）

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（　令和5　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり		

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和5　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和5　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
別紙の通り</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類(R5実績)	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	排出量(単位トン)	1375.5	198.6	46.2	0.1	73.0	79.3	0.1
	これまで実施した取組	洗浄工程の見直しを実施						
②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	排出量(単位トン)	1239.4	178.9	41.6	0.1	65.8	71.4	0.1
	今後実施する取組	洗浄工程の適正化、自社処理設備運用改善により排出量を抑制する						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組	金属くず/廃プラスチック類:再生可能なものは有価物としてリサイクルしている	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み)	廃プラスチック類:再生可能なものはさらに分別を図る。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	これまで実施した取組	これまでに自社で再生利用を行ったことはない						
②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	今後実施する予定の取組	引き続き自社で再生利用を行う予定はない						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	これまで実施した取組	これまでに自社で中間処理を行ったことはない						
②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	今後実施する予定の取組	引き続き自社で中間処理を行う予定はない						

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	これまで実施した取組	これまでに自社で埋め立て処分又は海洋投入処分を行ったことはない						
②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	自ら埋め立て処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(単位トン)	0	0	0	0	0	0	0
	今後実施する予定の取組	引き続き埋め立て処分又は海洋投入処分を行う予定はない						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	全処理委託量(R5実績単位ト	1375.5	198.6	46.2	0.1	73.0	79.3	0.1
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	これまで実施した取組	適切な業者を選択している						
②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック類	廃油	汚泥	木くず	ガラスくず・コンクリ
	全処理委託量(単位トン)	1239.4	178.9	41.6	0.1	65.8	71.4	0.1
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
	今後実施する予定の取組	優良認定処理業者への切り替えを検討している						

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024 年 8月 1 日

千葉県知事 熊谷俊人 殿

提出者 エコラボ合同会社 野田工場
住 所 千葉県野田市尾崎2398-1
氏 名 工場長 安田 正也
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 04-7129-4542

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エコラボ合同会社 野田工場
事業場の所在地	千葉県野田市尾崎2398-1
事業の種類	大分類:製造業 中分類:化学工業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2023/4/1-2024/3/31

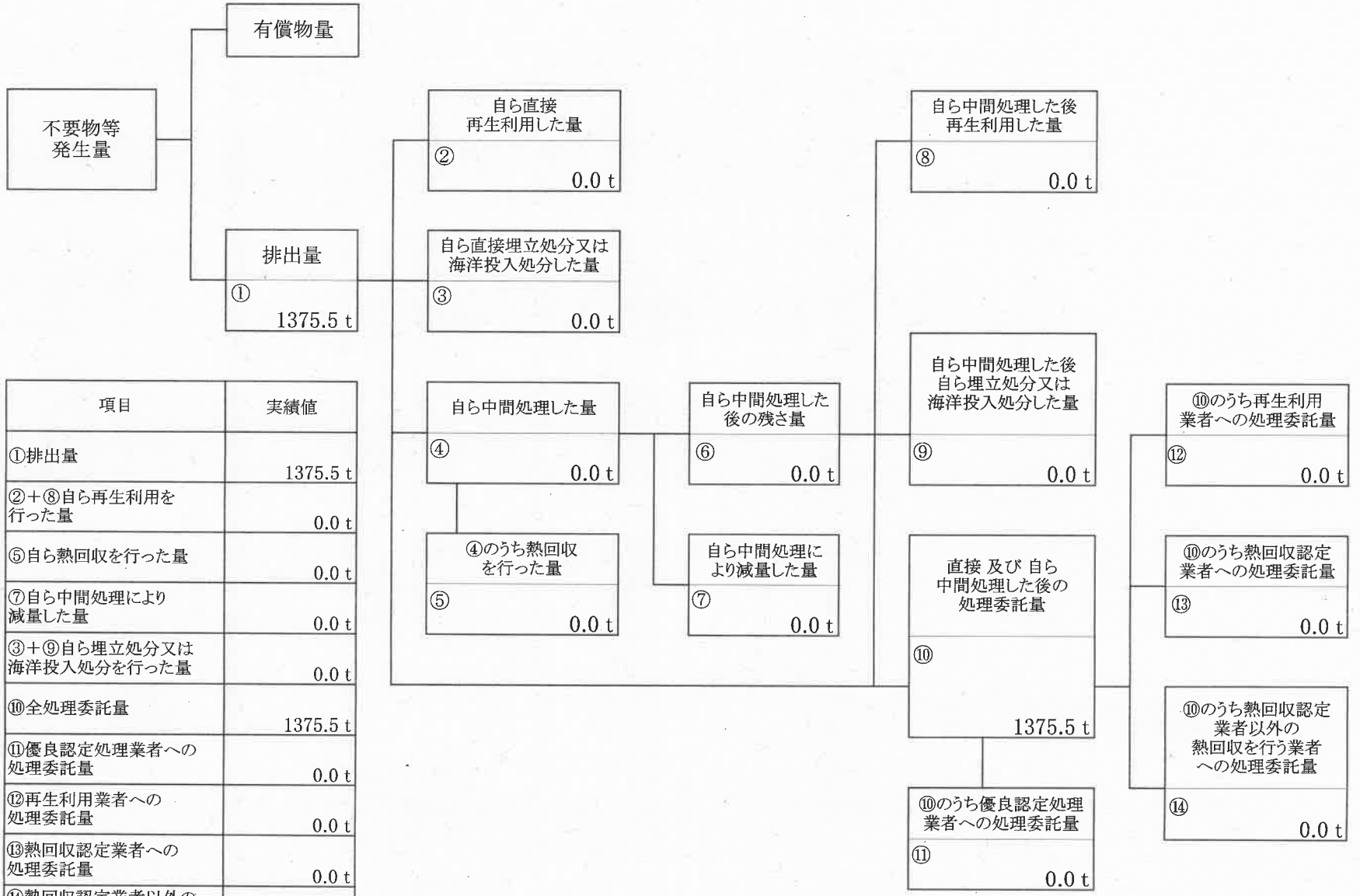
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1482.5 t	全処理委託量	1482.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

業廃棄物の種類:廃アルカリ　　）

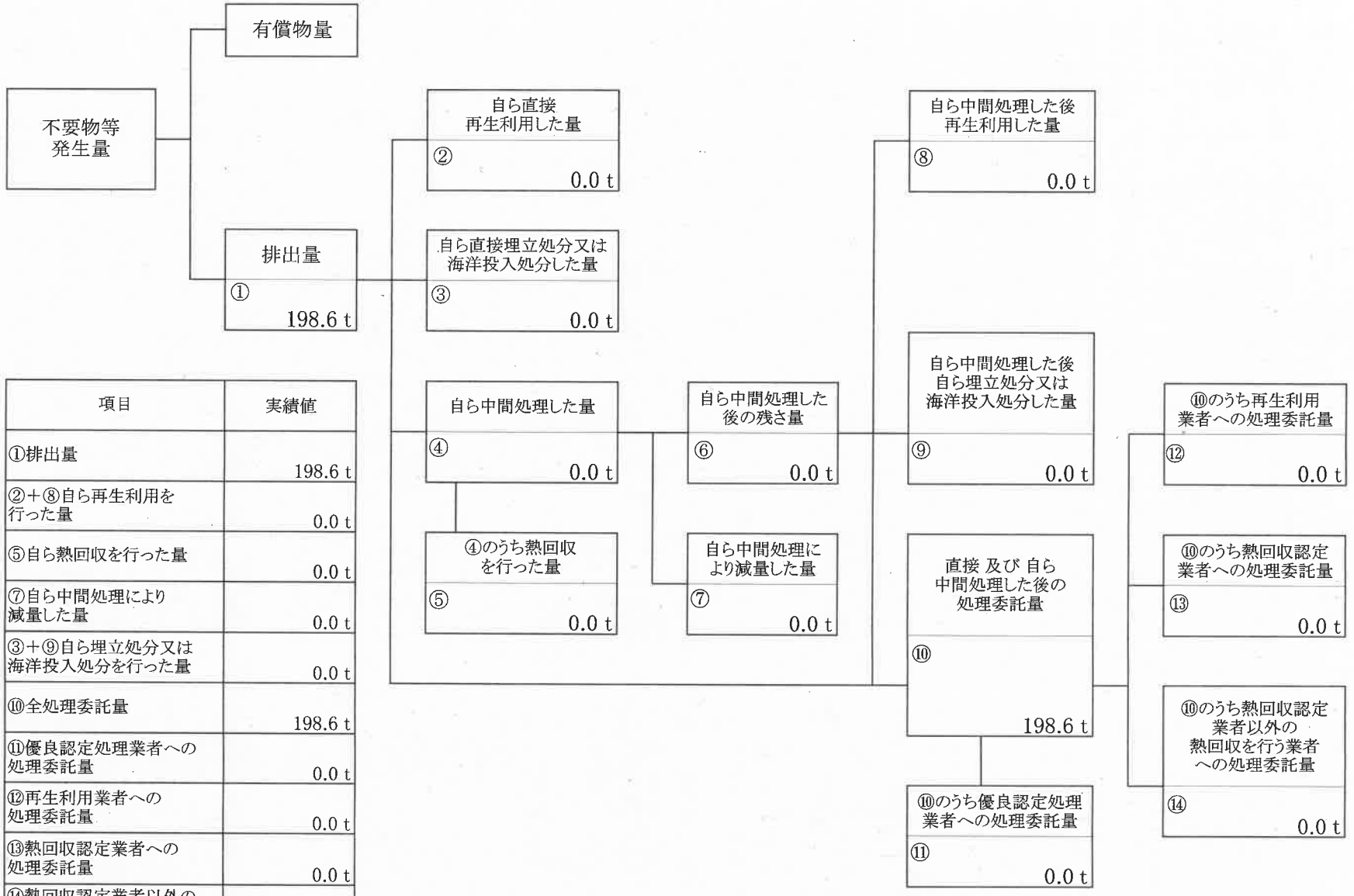


項目	実績値
①排出量	1375.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1375.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃酸　　）

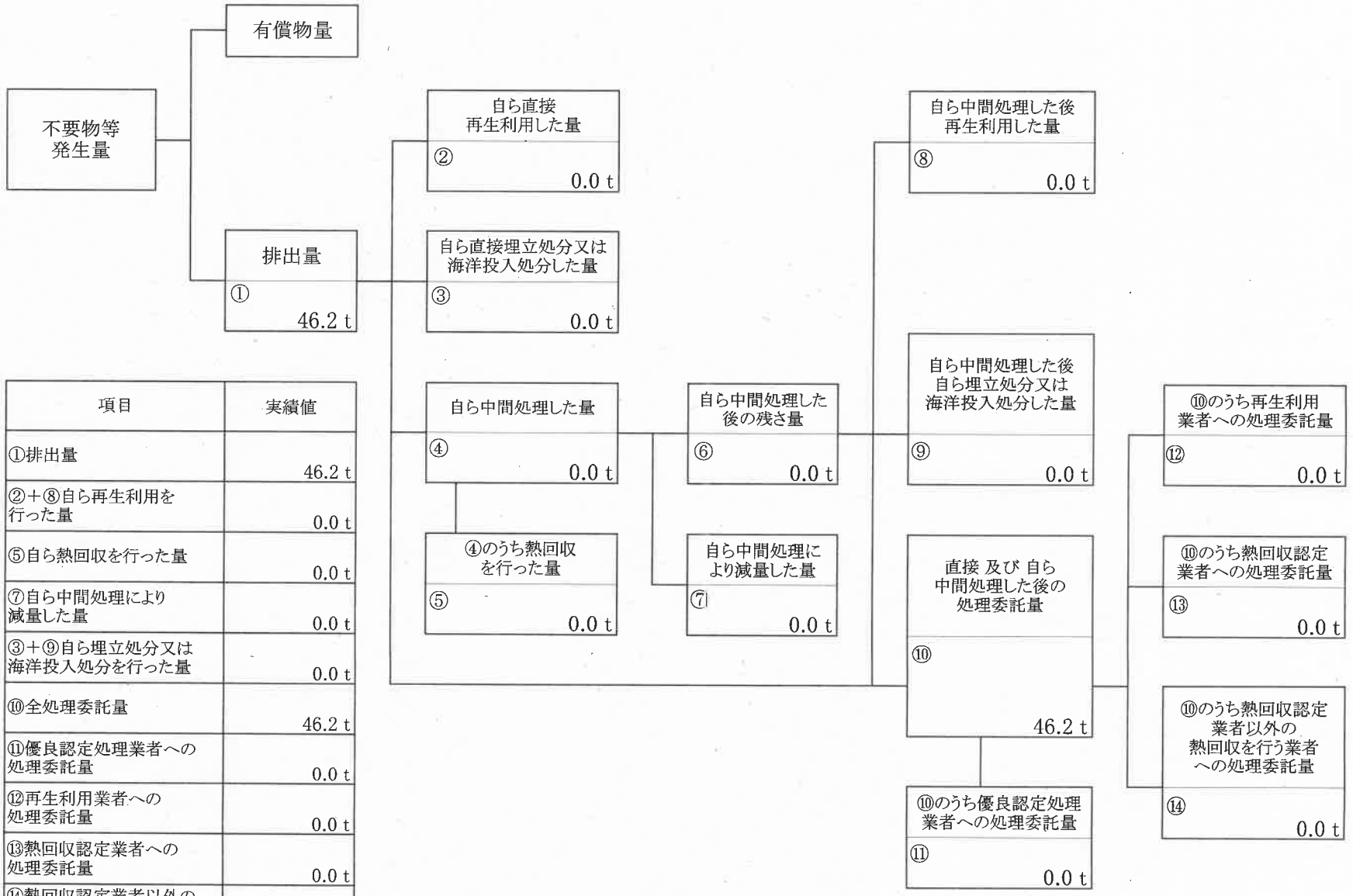


項目	実績値
①排出量	198.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	198.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

棄物の種類:廃プラスチック　　）

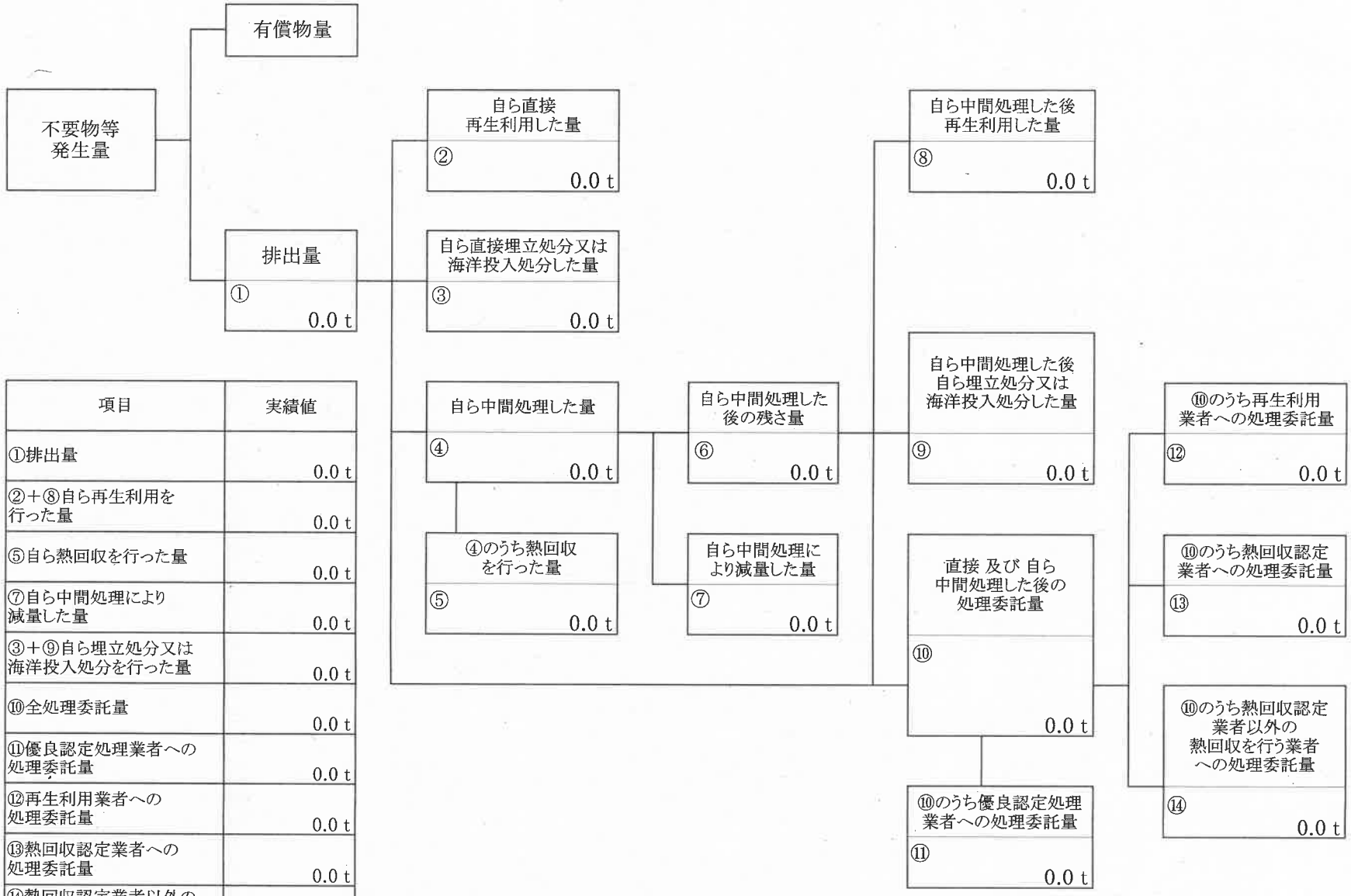


項目	実績値
①排出量	46.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	46.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

:業廃棄物の種類:金属くず　　)

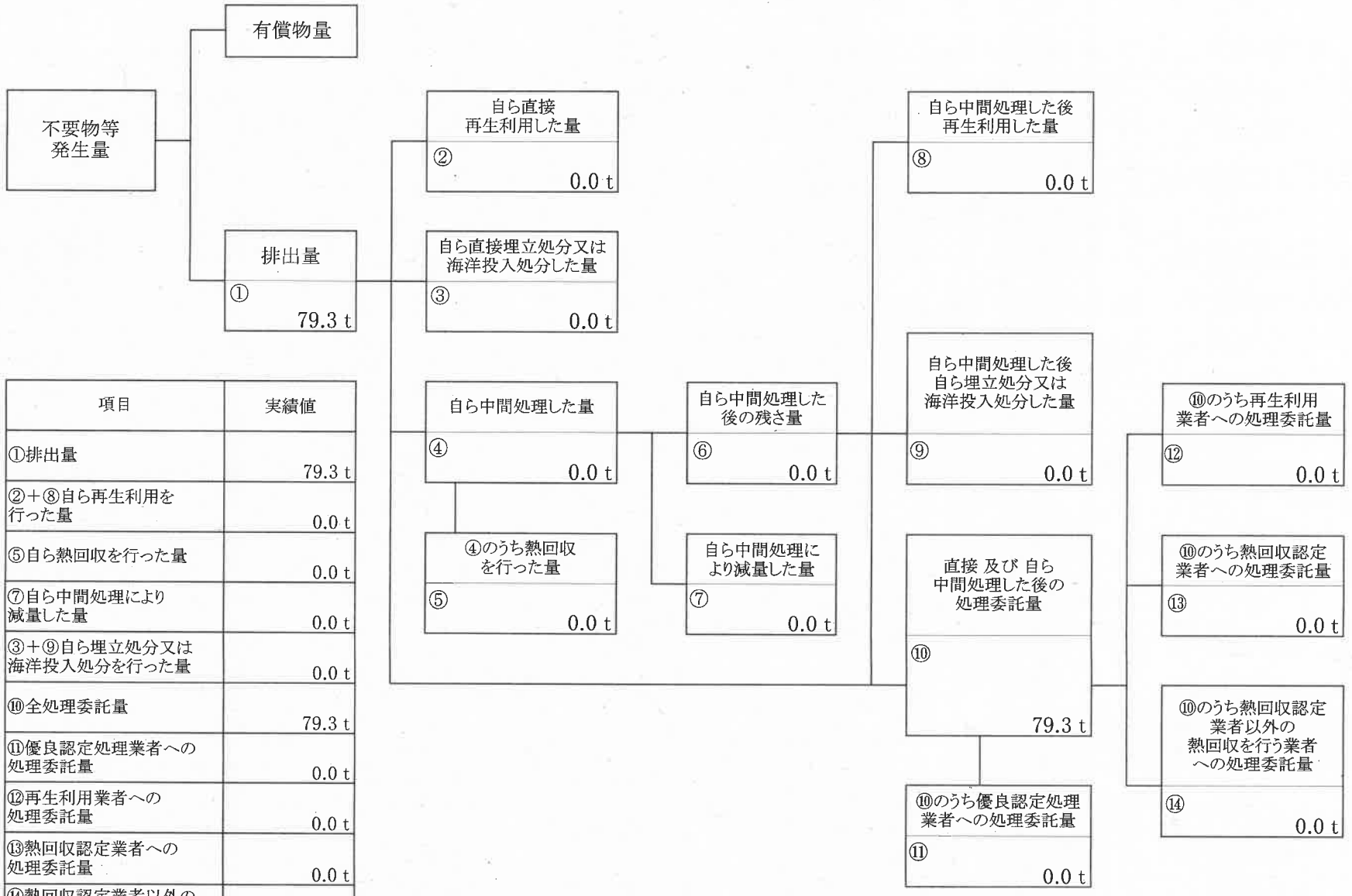


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず　　）

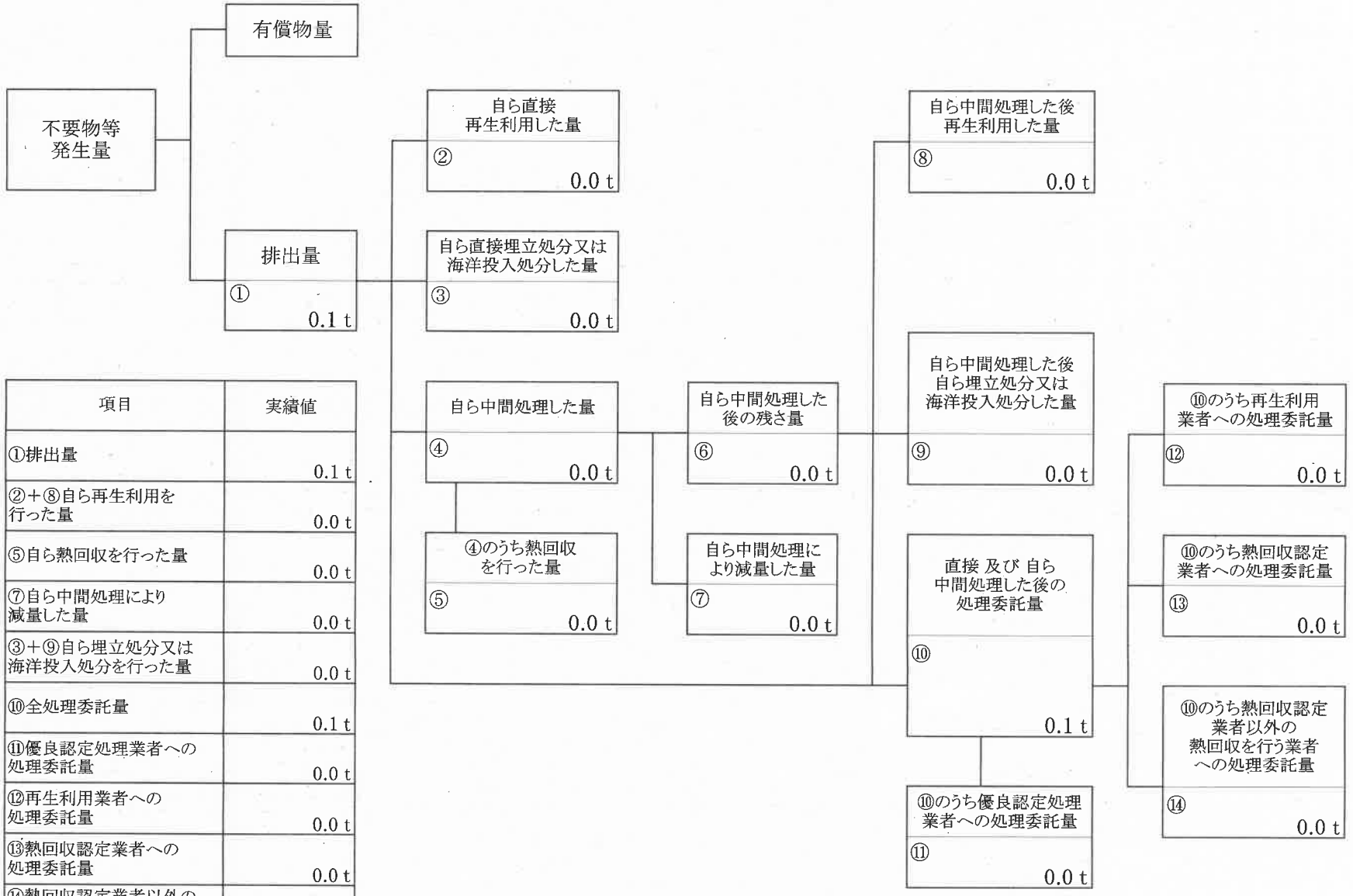


項目	実績値
①排出量	79.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず**　）

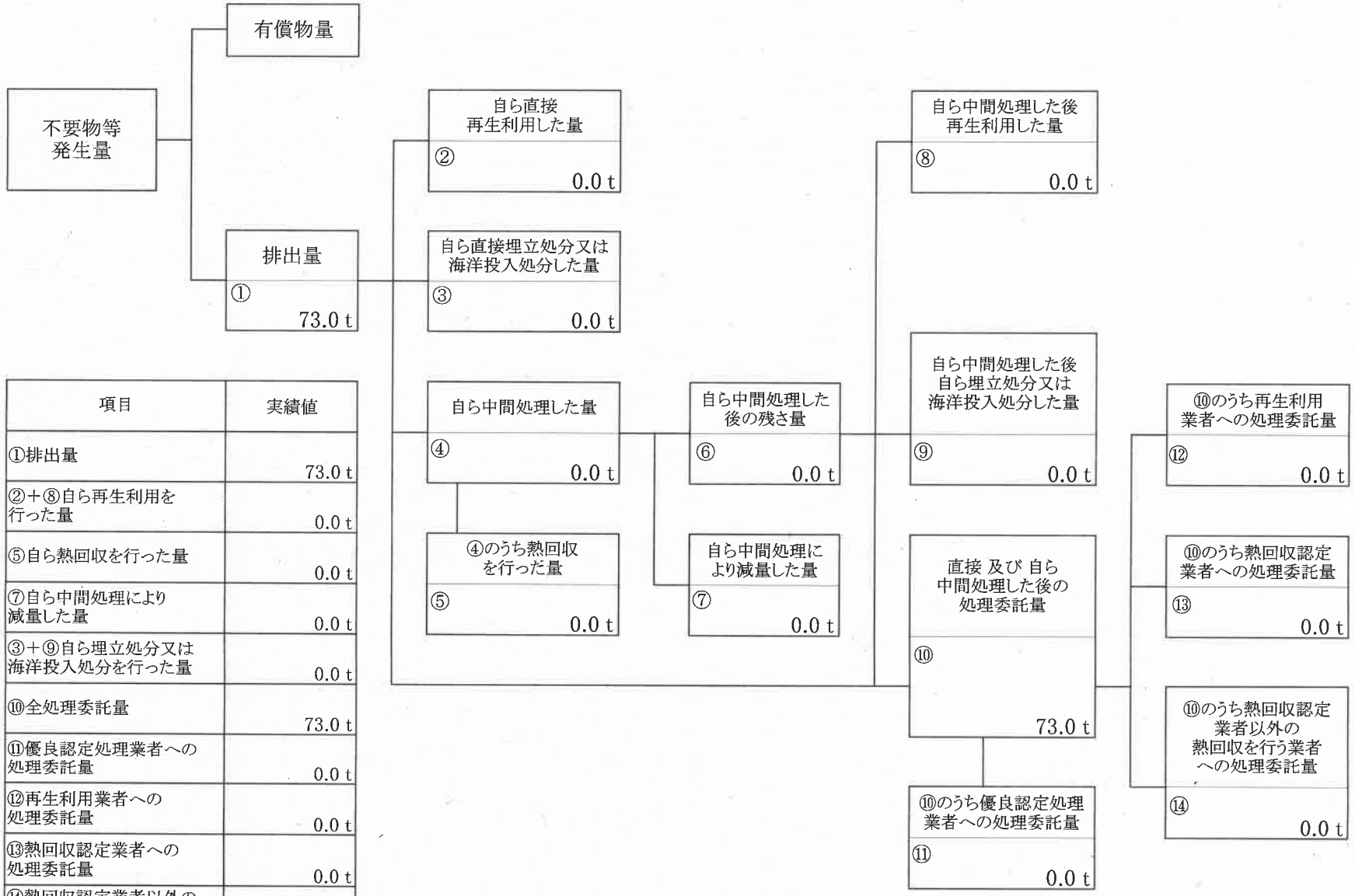


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

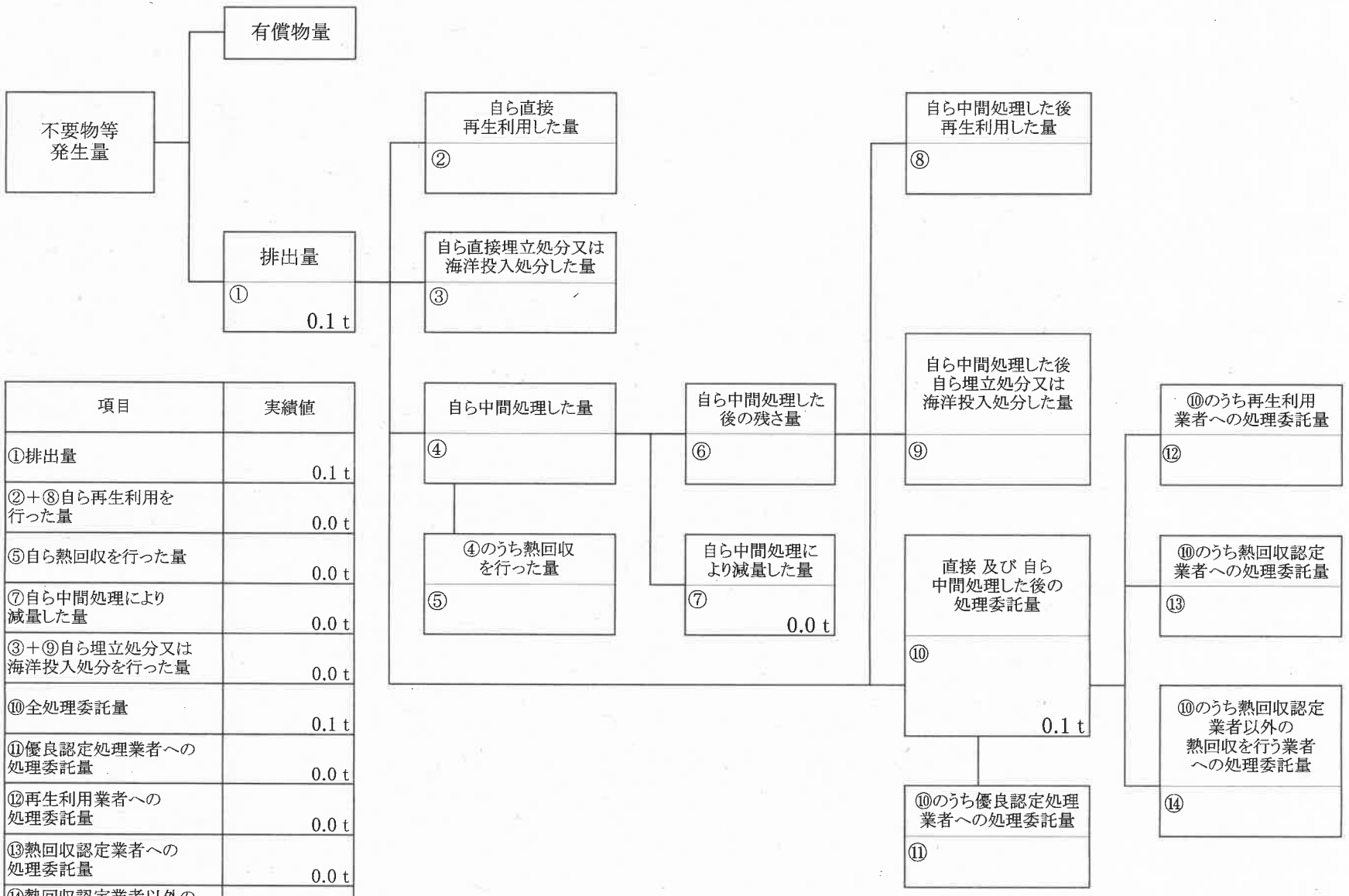


項目	実績値
①排出量	73.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	73.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃油　　）

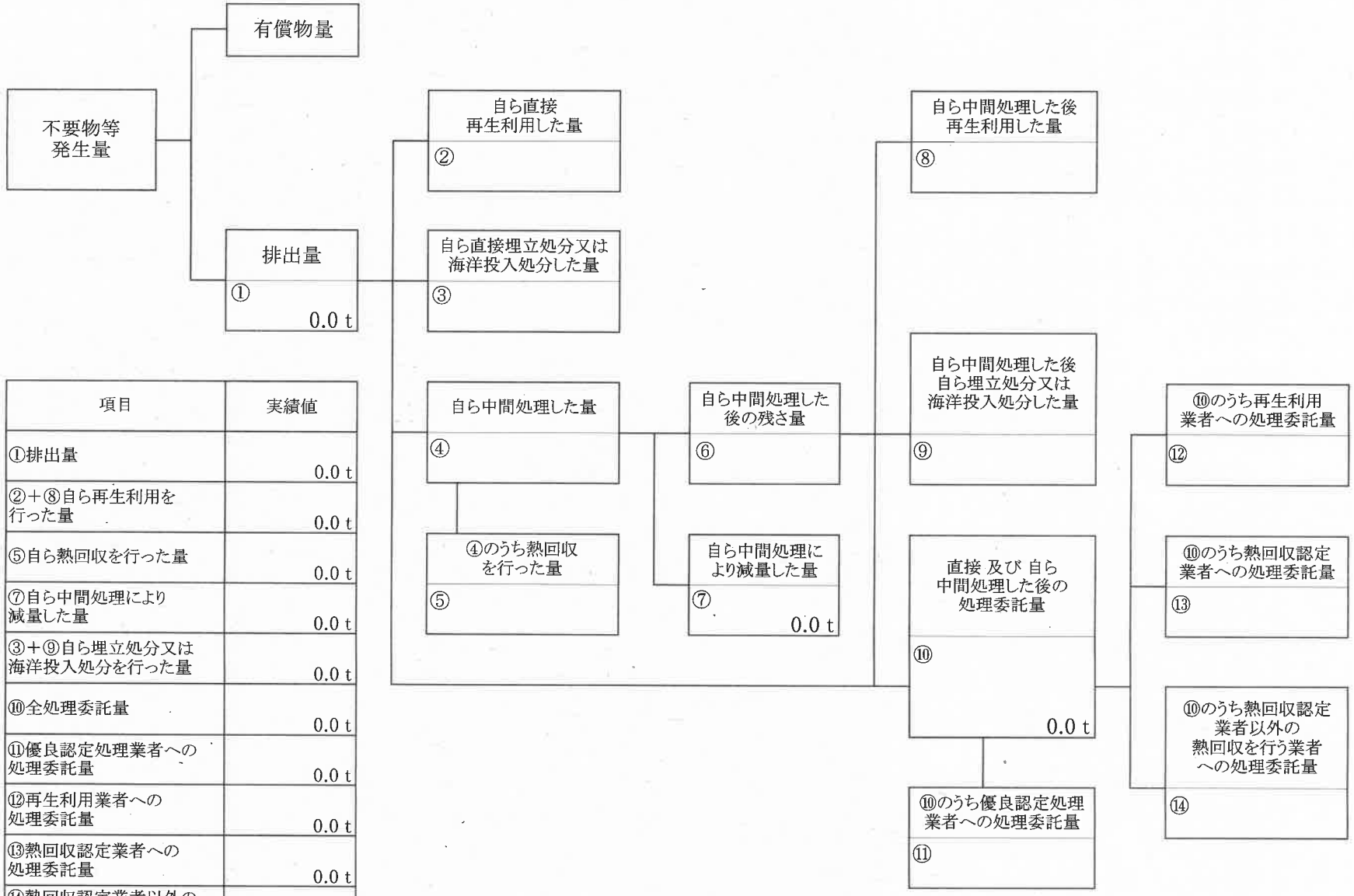


項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

業廃棄物の種類:がれき類　　）

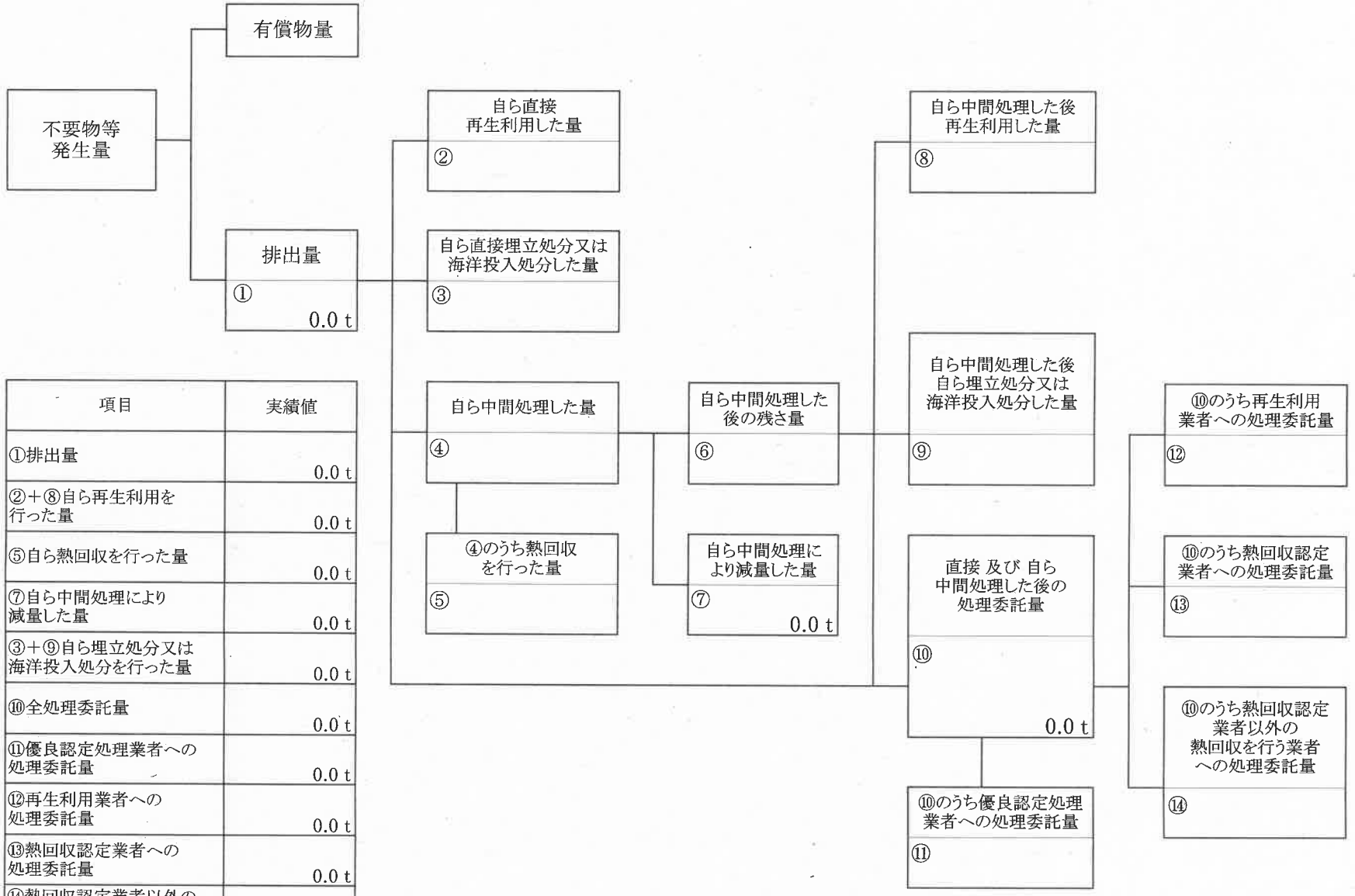


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

○種類:pH2．0以下の廃酸　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月 28 日

千葉県知事
　　熊谷 俊人　殿

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.6.28 収受

提出者
住　所　流山市おおたかの森西三丁目440番地
氏　名　株式会社ｴｽｼｰ・ﾌﾟﾚｺﾝ本社工場
　　取締役工場長　川辺　秀治
電話番号　04-7158-3101

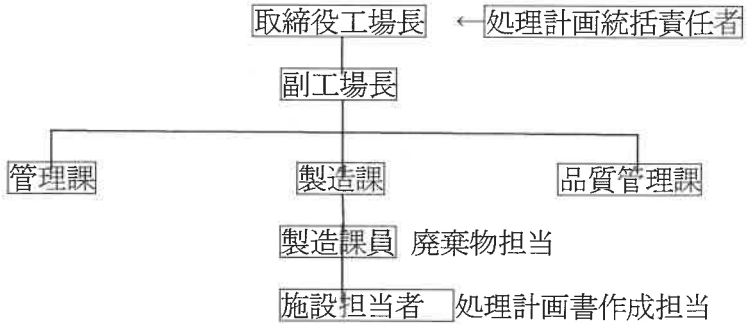
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社エスシー・プレコン本社工場
事業場の所在地	千葉県流山市おおたかの森西三丁目440番地
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品売上高　５４．８億円
③従業員数	６２名（正社員６２名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１

（日本工業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和５年度）実績】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	全体
排　出　量	1,629.6ｔ	4,162.911ｔ

高速道路床板の新規事業の試験の為、高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくずが令和4年度934.5t→令和5年度1,629.6tと増加。高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずが令和4年度3,170 t→令和5年度2,470tと減少。汚泥が令和4年度36t→令和5年度57.2tと増加。木くずが令和4年度5.95t→令和5年度1.52tと減少。廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類が令和4年度5.54t→令和5年度4.491tと減少。ｶﾞﾗｽ・陶磁器くずが0.1t発生した。総排出量令和4年度4,151.99t→令和5年度4,162.911tと増加した。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	全体	
排　出　量	4,162.911ｔ	

ｺﾝｸﾘｰﾄ製品製作時に発生する、余りｺﾝｸﾘｰﾄを少なくするために、生産管理担当者による必要ｺﾝｸﾘｰﾄm3数の再計算を行い、余りｺﾝｸﾘｰﾄを減少させる。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

高強度及び高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくず：破砕機(ﾌﾞﾚｰｶｰ)にて人頭大以下の高強度及び高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずと鉄筋等金属とに破砕分類し、高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずは、再生砕石として再利用しています。鉄筋等金属は有価物としてｽｸﾗｯﾌﾟ材再生をしています。

② 計画

引き続き、破砕機(ﾌﾞﾚｰｶｰ)にて人頭大以下の高強度及び高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずと鉄筋等金属とに破砕分類し、高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずは、再生砕石として再利用します。鉄筋等金属は有価物としてｽｸﾗｯﾌﾟ材再生をします。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（令和５年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず/高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくず/汚泥/木くず/廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ類/がれき類</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>4,162.911 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>1629.600 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>2533.311 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずは、再生砕石として再利用しています。汚泥/木くず/廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ類/がれき類も中間処理場による再生を行います。</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず/高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくず/汚泥/廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ類	
		全処理委託量	4,162.911ｔ	ｔ
		優良認定処理業者への処理委託量	1629.600ｔ	ｔ
		再生利用業者への処理委託量	2533.311ｔ	ｔ
		認定熱回収業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ	ｔ
		現状と同じく、高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくずは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくずは、再生砕石として再利用しています。汚泥/木くず/廃ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ類/がれき類も中間処理場による再生を行います。		
※事務処理欄				

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
排出量	1,629.60 t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.520 t	0.000 t	0.10 t	4.491 t	0.000 t	0.00 t

(これまでに実施した取組)

コンクリート製品製作時に発生する余りコンクリートを少なくするために、生産管理担当者による必要コンクリートm3数の再計算を行い、余りコンクリートを減少させます。新事業として高速道路床板を製作開始しているので、試験体製作の為に高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず、洗い水処理後の汚泥が増加しています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
排出量	1,629.60 t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.520 t	0.000 t	0.10 t	4.491 t	0.000 t	0.00 t

(今後実施する予定の取組)

引き続き、コンクリート製品製作時に発生する余りコンクリートを少なくするために、生産管理担当者による必要コンクリートm3数の再計算を行い、余りコンクリートを減少させます。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
コンクリートガラ:破砕機(ブレーカー)にて廃棄製品をコンクリートガラと鉄筋等金属とに破砕分類し、コンクリートガラは再生砕石に加工できるように人頭大以下に破砕し、鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をしています。鋼繊維入りの高強度コンクリートガラは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
引き続き、破砕機(ブレーカー)にて廃棄製品をコンクリートガラと鉄筋等金属とに破砕分類し、コンクリートガラは再生砕石に加工できるように人頭大以下に破砕し、鉄筋等金属は有価物としてスクラップ材再生をします。鋼繊維入りの高強度コンクリートガラは再生砕石としての再利用が出来ないので、埋立処分を致します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

(これまでに実施した取組)
製造工程で生じる木ﾊﾟﾚｯﾄ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾟﾚｯﾄ(ﾀｲﾙ・石材・埋込金物搬入)は搬入業者に次回搬入時に引き取らせています。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

(今後実施する予定の取組)
引き続き、製造工程で生じる木ﾊﾟﾚｯﾄ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾟﾚｯﾄ(ﾀｲﾙ・石材・埋込金物搬入)は搬入業者に次回搬入時に引き取らせます。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）
なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）
なし。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	高強度コンクリートくず	コンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	廃油	混合廃棄物
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）
引き続き埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
全処理委託量	1,629.60 t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.52 t	0.000 t	0.10 t	4.49 t	0.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,629.60 t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
再生利用業者への処理委託量	0t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.52 t	0.000 t	0.10 t	4.49 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（これまでに実施した取組）

鋼繊維入りの高強度ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗを除き、100％再生利用できる処理業者への委託を行っています。

②計画

【目標】

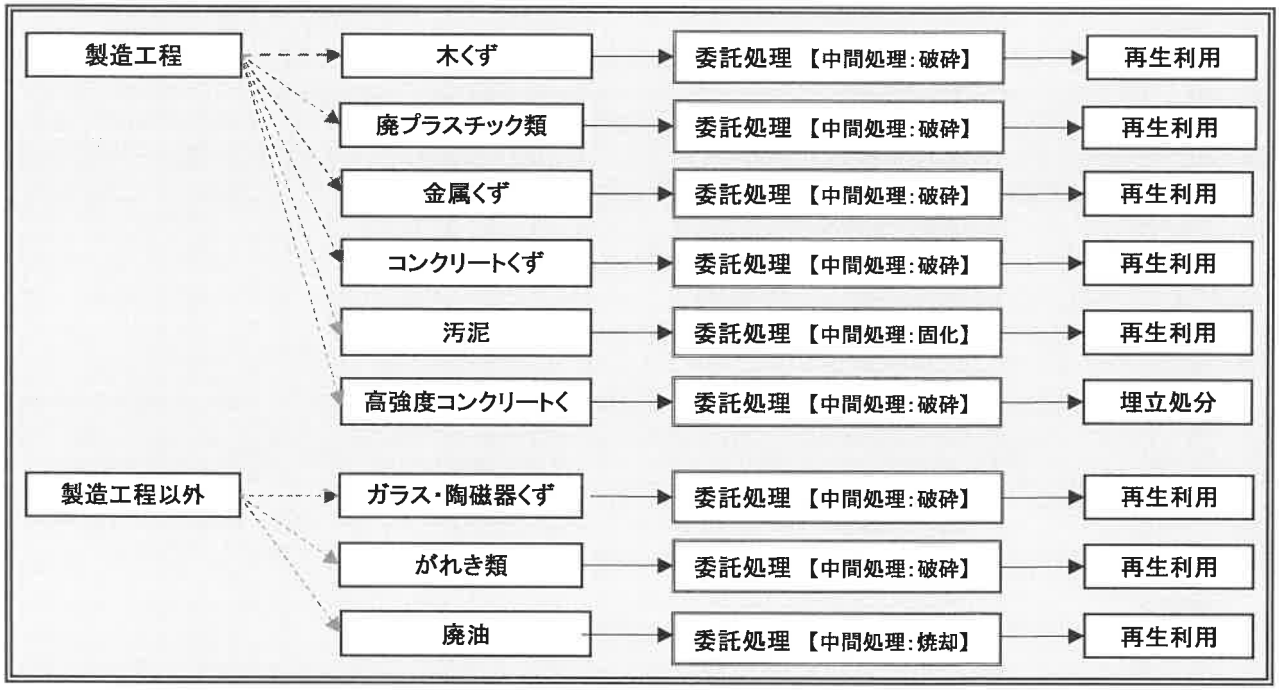
産業廃棄物の種類	高強度ｺﾝｸﾘｰﾄくず	ｺﾝｸﾘｰﾄくず	汚泥	金属くず	木くず	がれき類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	廃油	混合廃棄物
全処理委託量	1,629.60 t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.52 t	0.00 t	0.10 t	4.49 t	0.00 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	1,629.60 t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
再生利用業者への処理委託量	0t	2,470.00 t	57.20 t	0.00 t	1.52 t	0.000 t	0.10 t	4.49 t	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

（今後実施する予定の取組）

今迄通り、鋼繊維入りの高強度ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗを除き、100％再生利用できる処理業者への委託を目指します。

産業廃棄物処理計画書

書面内項目　④産業廃棄物の一連の処理工程



株式会社エスシー・プレコン

産業廃棄物排出量の推移

	高強度コンクリートくず	高強度以外のコンクリートくず	汚泥	金属くず	木くず	廃プラスチック類	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	がれき類	廃油	混合廃棄物	合計
平成28年度実績	42.000 t	3,210.000 t	112.200 t	0.720 t	16.375 t	11.870 t	0.060 t	2.000 t	1.590 t		3,396.815 t
平成29年度目標	42.000 t	3,020.220 t	112.200 t	0.720 t	16.375 t	11.870 t	0.060 t	2.000 t	1.590 t		3,207.035 t
平成29年度実績	140.00t	2,380.000 t	132.000 t	0.000 t	0.000 t	10.781 t	0.000 t	0.160 t	0.228 t	7.000 t	2,530.169 t
平成30年度目標	140.00t	2,889.000 t	132.000 t	0.000 t	0.000 t	10.781 t	0.000 t	0.160 t	0.228 t	7.000 t	3,039.169 t
平成30年度実績	259.000 t	2,680.000 t	324.000 t	0.000 t	7.008 t	12.860 t	0.000 t	0.000 t	0.212 t	0.000 t	3,283.080 t
平成31年(令和元年度)目標	259.000 t	2,680.000 t	110.920 t	0.000 t	7.008 t	12.860 t	0.000 t	0.000 t	0.212 t	0.000 t	3,070.000 t
平成31年(令和元年度)実績	310.000 t	4,090.000 t	118.800 t	0.000 t	18.780 t	12.420 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,550.000 t
令和2年度目標	310.000 t	4,090.000 t	118.800 t	0.000 t	18.800 t	12.400 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,550.000 t
令和2年度実績	315.000 t	3,640.000 t	151.800 t	0.000 t	3.560 t	10.140 t	0.000 t	0.008 t	0.000 t	0.000 t	4,120.508 t
令和3年度目標	315.000 t	4,019.500 t	151.800 t	0.000 t	3.560 t	10.140 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,500.000 t
令和3年度実績	747.500 t	3,393.200 t	44.600 t	0.000 t	0.000 t	3.480 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,188.780 t
令和4年度目標	747.500 t	3,393.200 t	44.600 t	0.000 t	0.000 t	3.480 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,188.780 t
令和4年度実績	934.500 t	3,170.000 t	36.000 t	0.000 t	5.950 t	5.540 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,151.990 t
令和5年度目標	934.500 t	3,170.000 t	36.000 t	0.000 t	5.950 t	5.540 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,151.990 t
令和5年度実績	1,629.600 t	2,470.000 t	57.200 t	0.000 t	1.520 t	4.491 t	0.100 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,162.911 t
令和6年度目標	1,629.600 t	2,470.000 t	57.200 t	0.000 t	1.520 t	4.491 t	0.100 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	4,162.911 t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月 28 日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県流山市おおたかの森西三丁目440番地
氏 名　株式会社エスシー・プレコン本社工場
取締役工場長　川辺 秀治

電話番号　04-7158-3101

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社エスシー・プレコン本社工場
事業場の所在地	千葉県流山市おおたかの森西三丁目440番地
事業の種類	大分類:製造業　中分類:窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

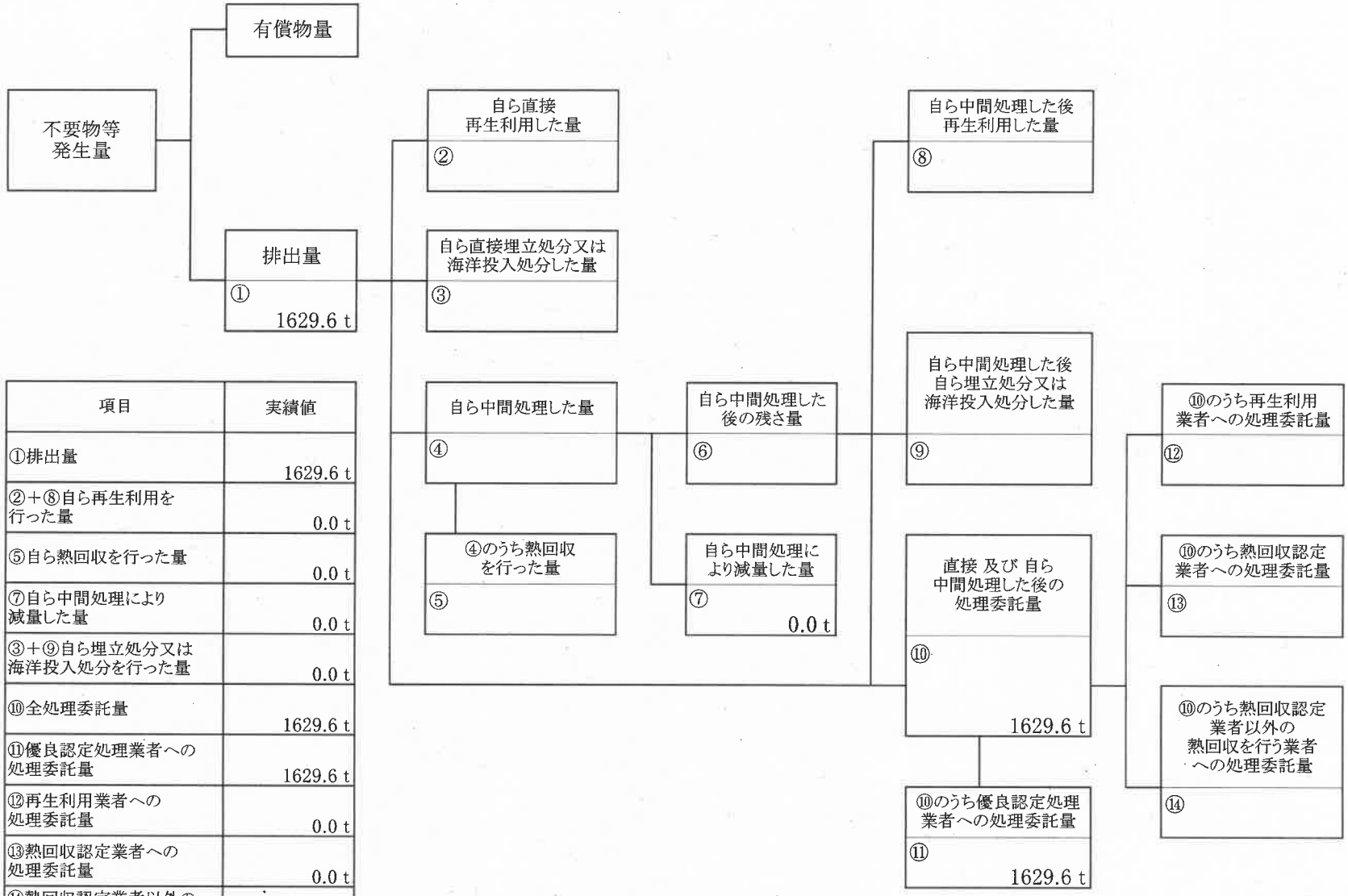
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4151.99 t	全処理委託量	4151.99 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	934.50 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3217.49 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　高強度コンクリートくず　）

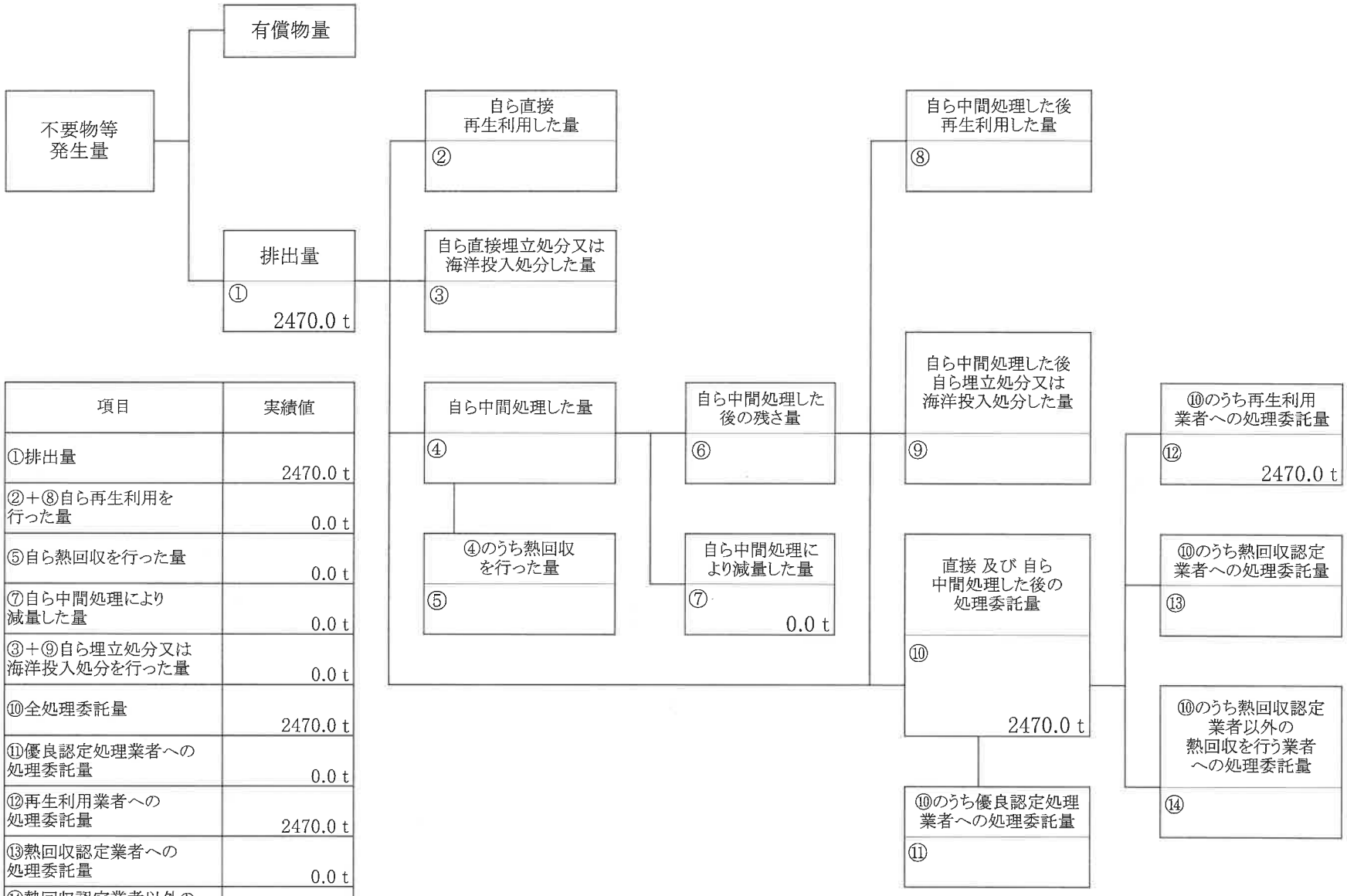


項目	実績値
①排出量	1629.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1629.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1629.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　高強度以外のｺﾝｸﾘｰﾄくず　）

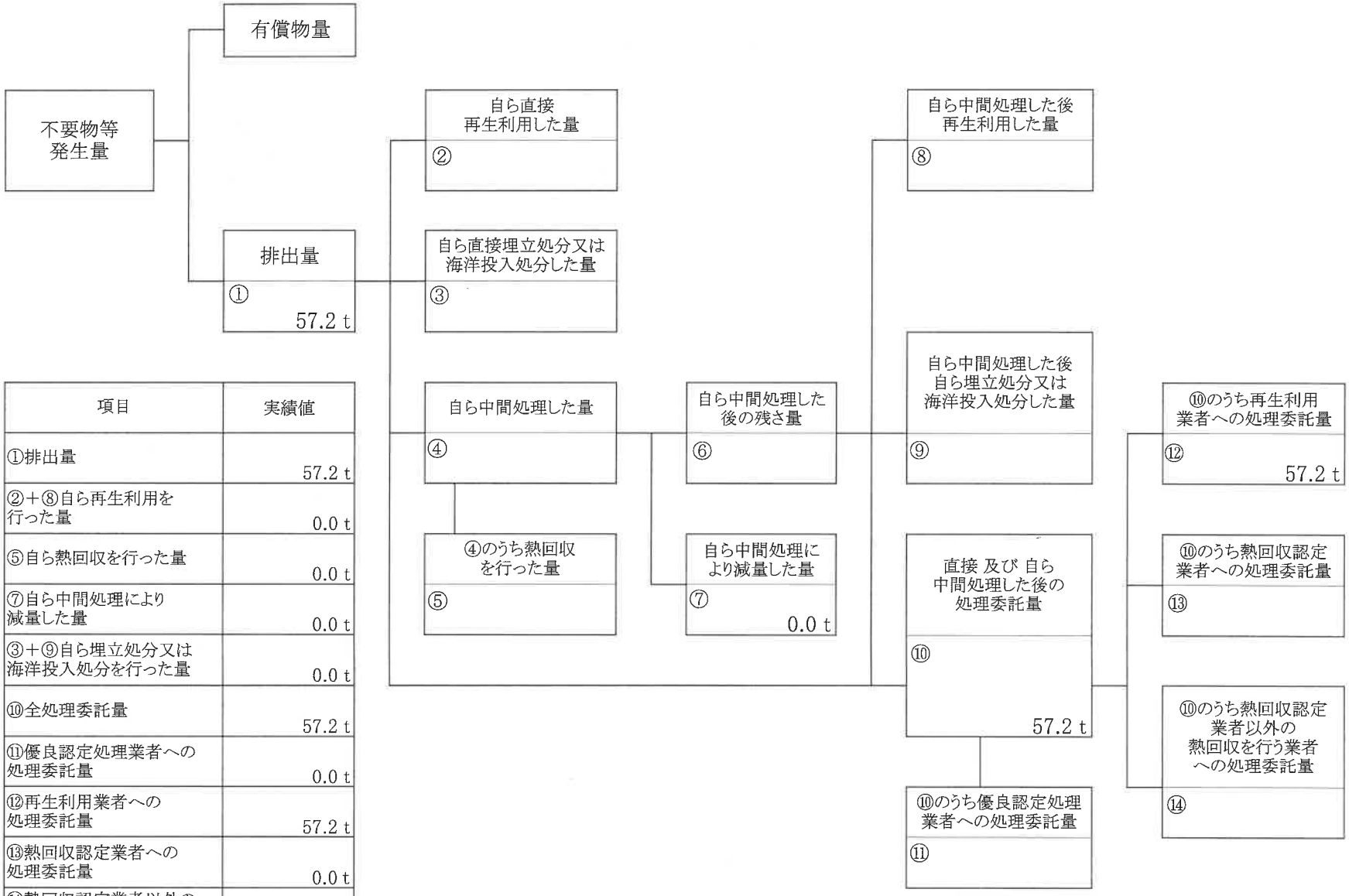


項目	実績値
①排出量	2470.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2470.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2470.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　汚泥　）

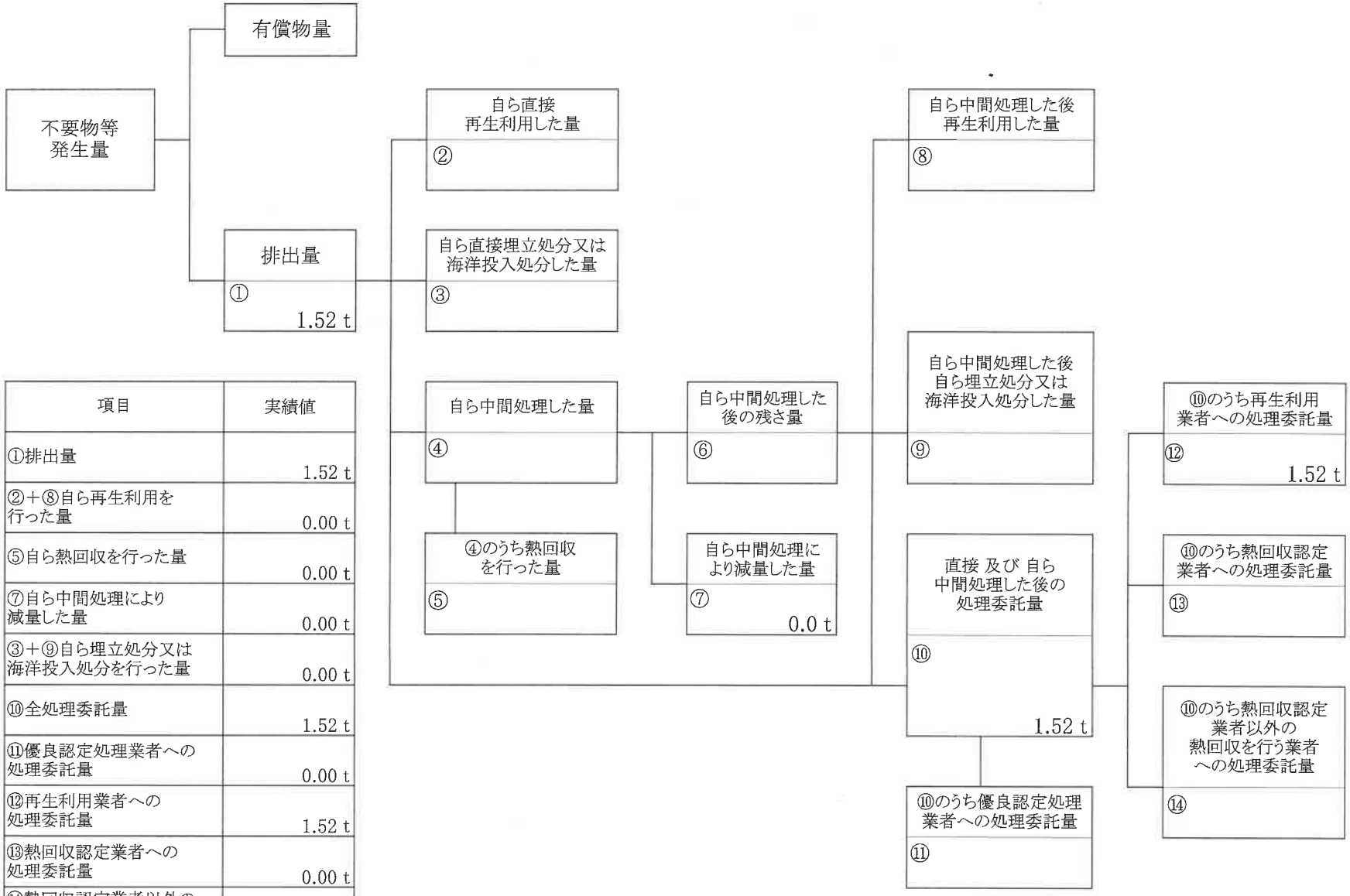


項目	実績値
①排出量	57.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	57.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	57.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）

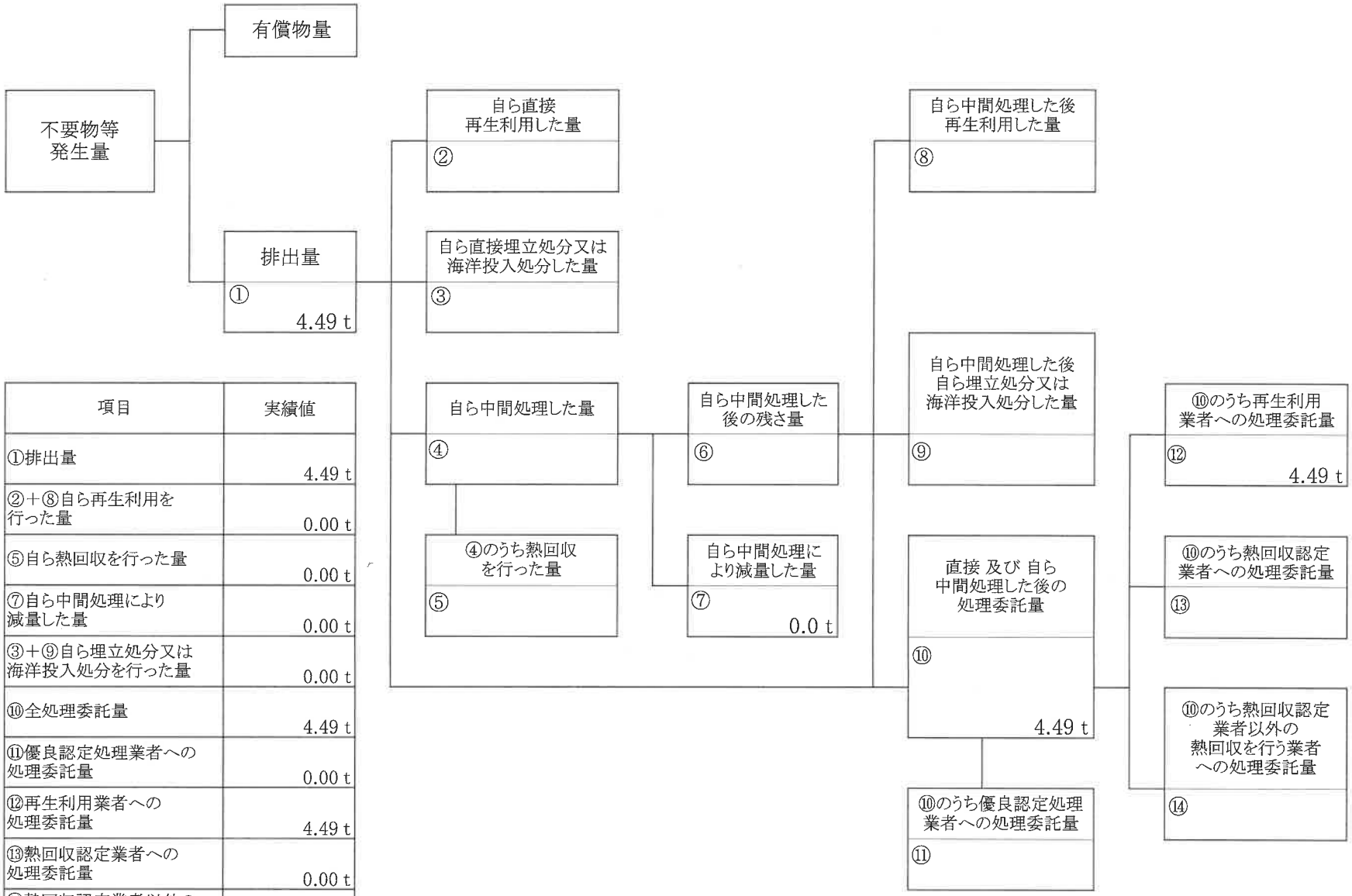


項目	実績値
①排出量	1.52 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.52 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.52 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　）

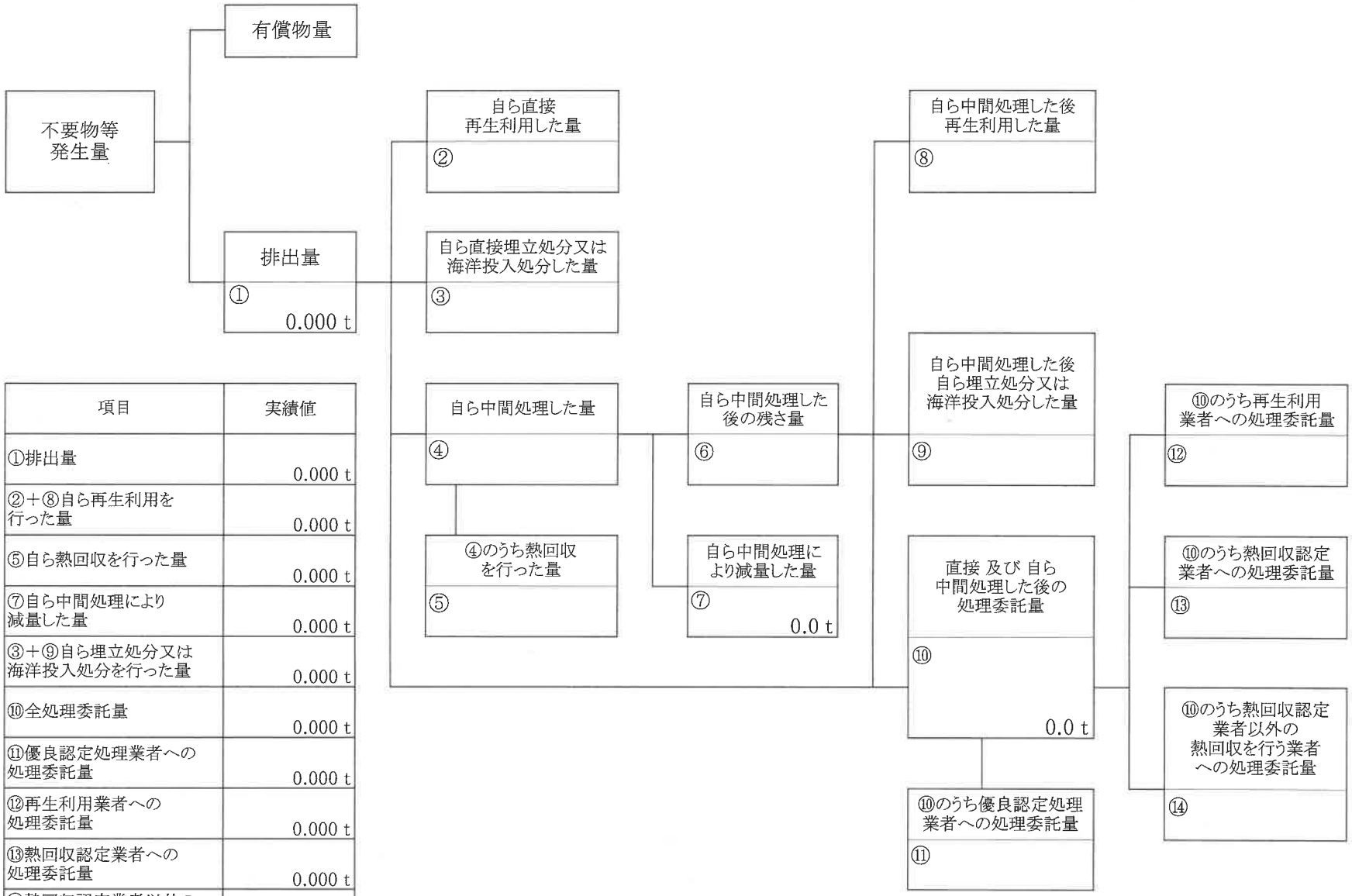


項目	実績値
①排出量	4.49 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	4.49 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.49 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　がれき類　）

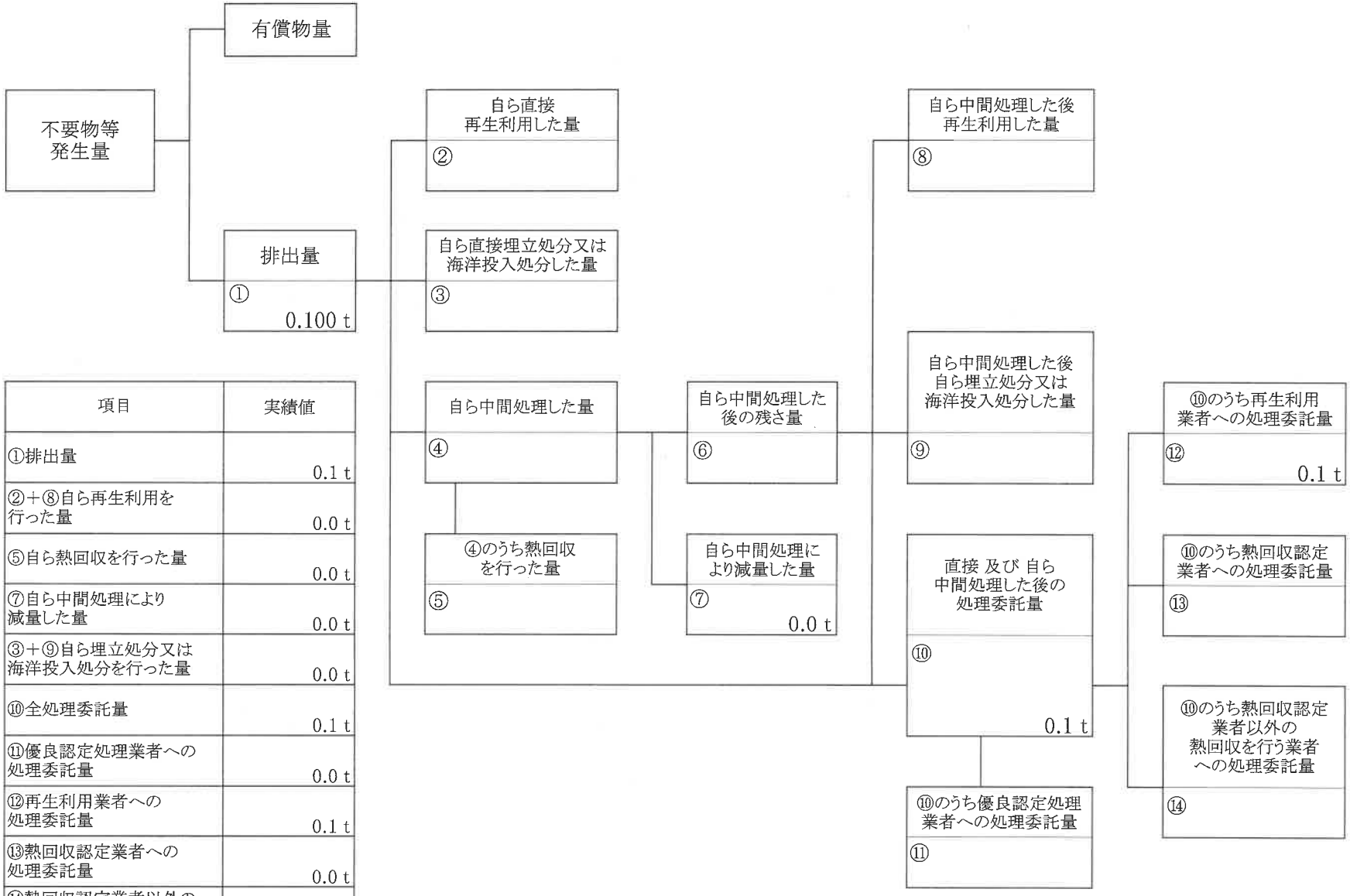


項目	実績値
①排出量	0.000 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000 t
⑩全処理委託量	0.000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　ガラス・陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月24日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　561-0845

住所 大阪府豊中市利倉1丁目1番1号

法人名 株式会社NSC

代表者 西山 翔一郎

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6862-5025

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社NSC 茂原工場
事業場の所在地	千葉県茂原市早野3300
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	559.37 t	全処理委託量	559.37 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	559.37 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	4.56 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1 t

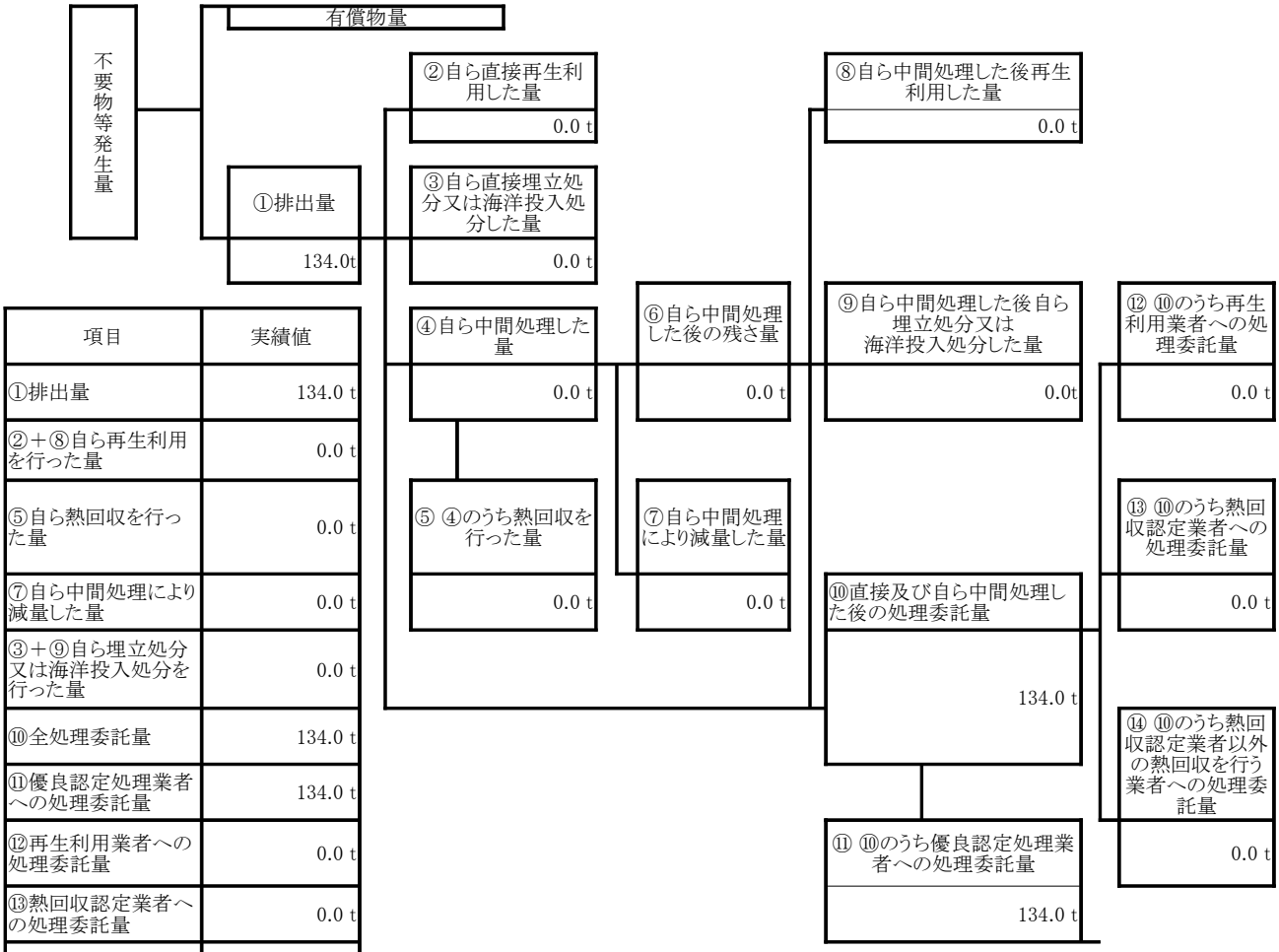
(日本産業規格　A列4番)

N0.1

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	134.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	134.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	134.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

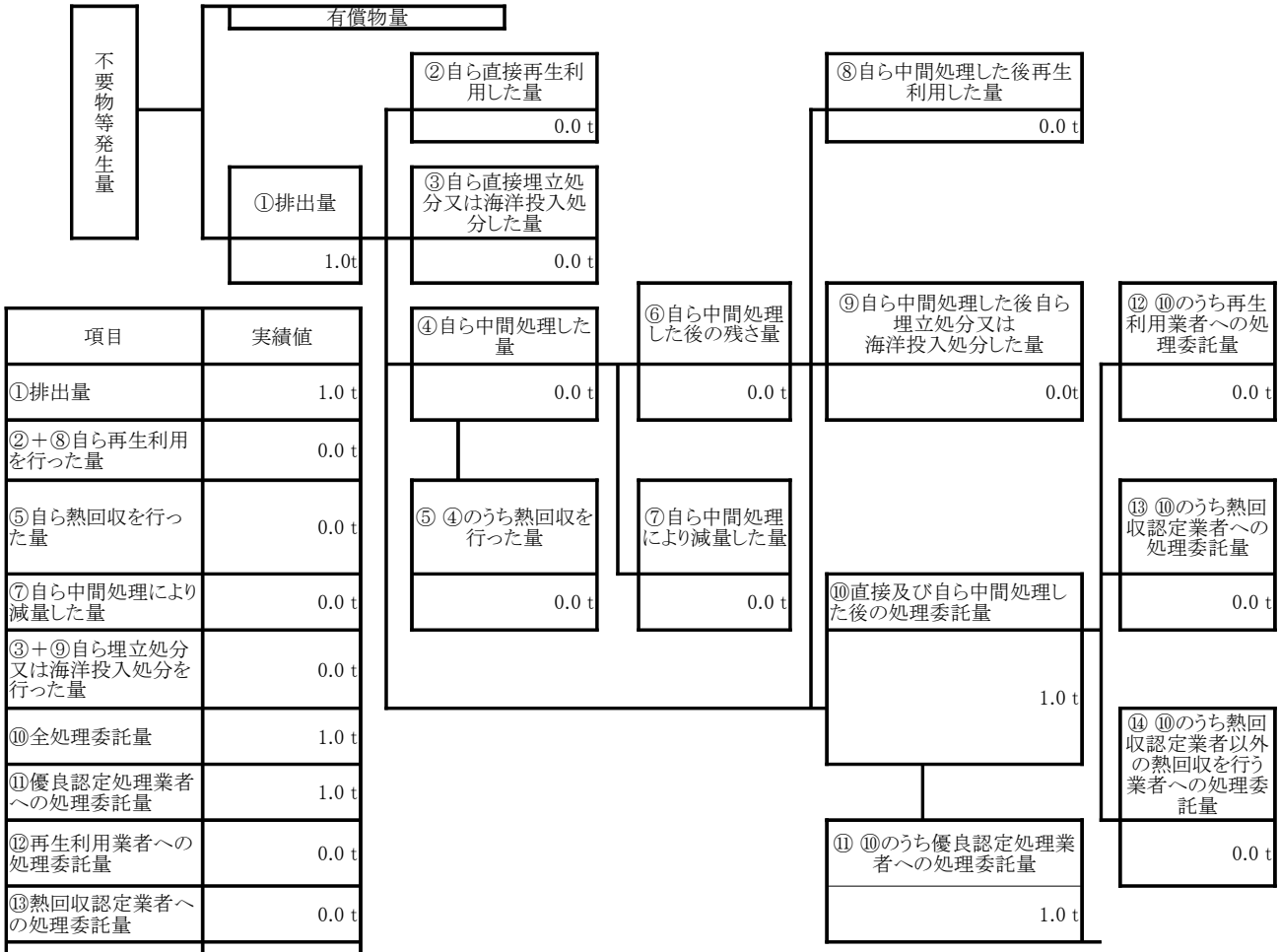
N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類:　布「廃プラスチック類(廃酸性濾布)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

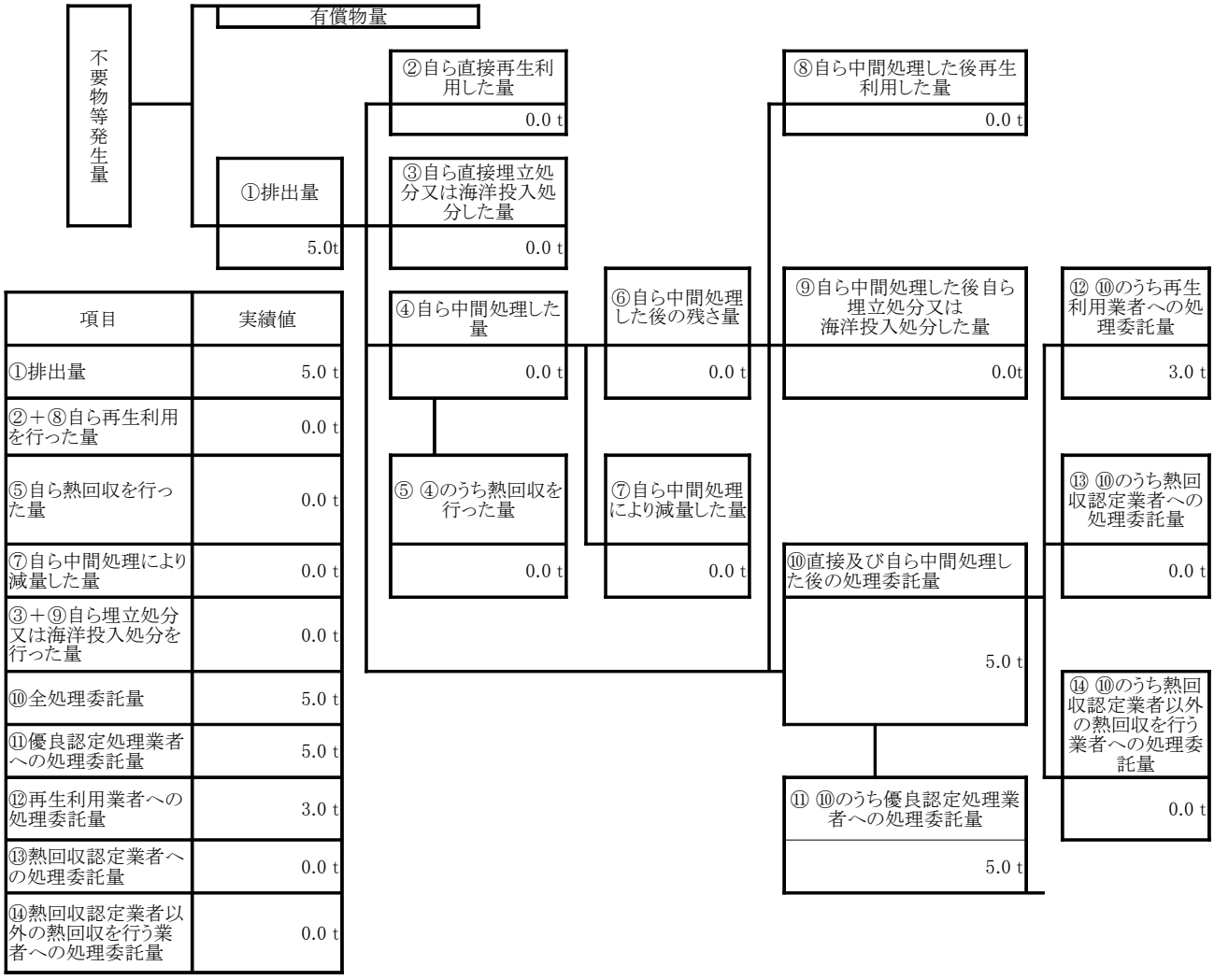


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　廃プラ　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

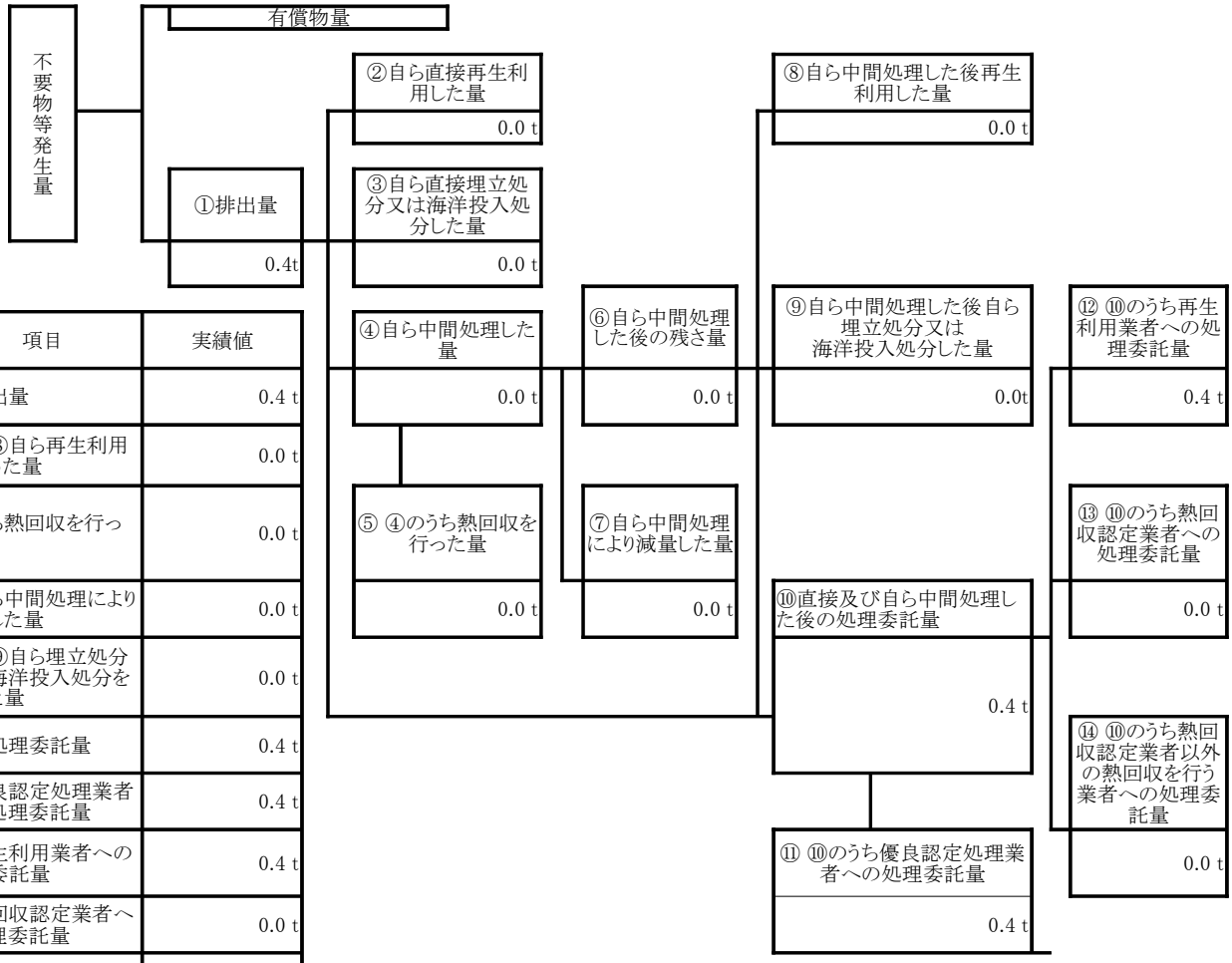


項目	実績値
①排出量	5.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラスくず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



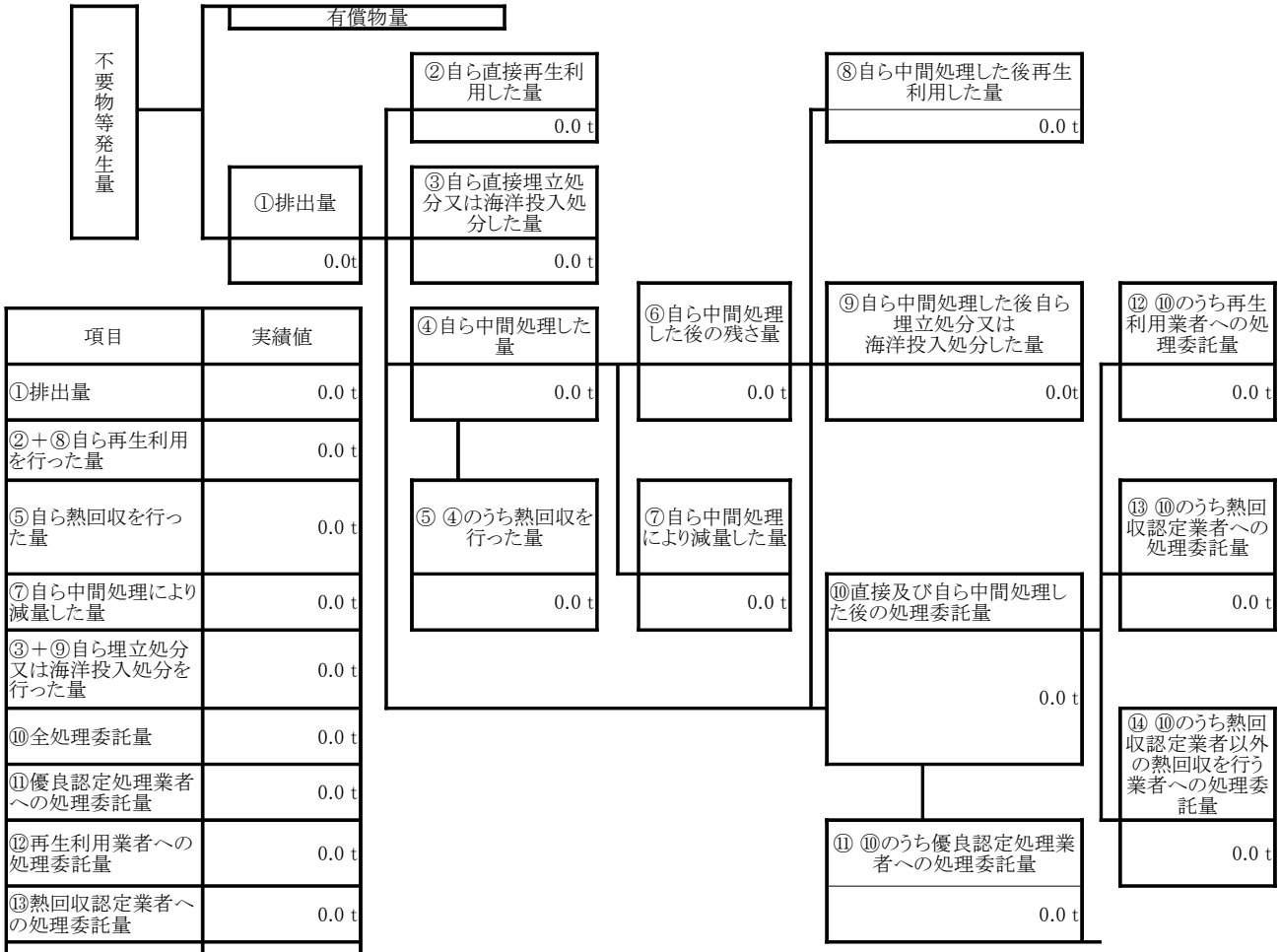
項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

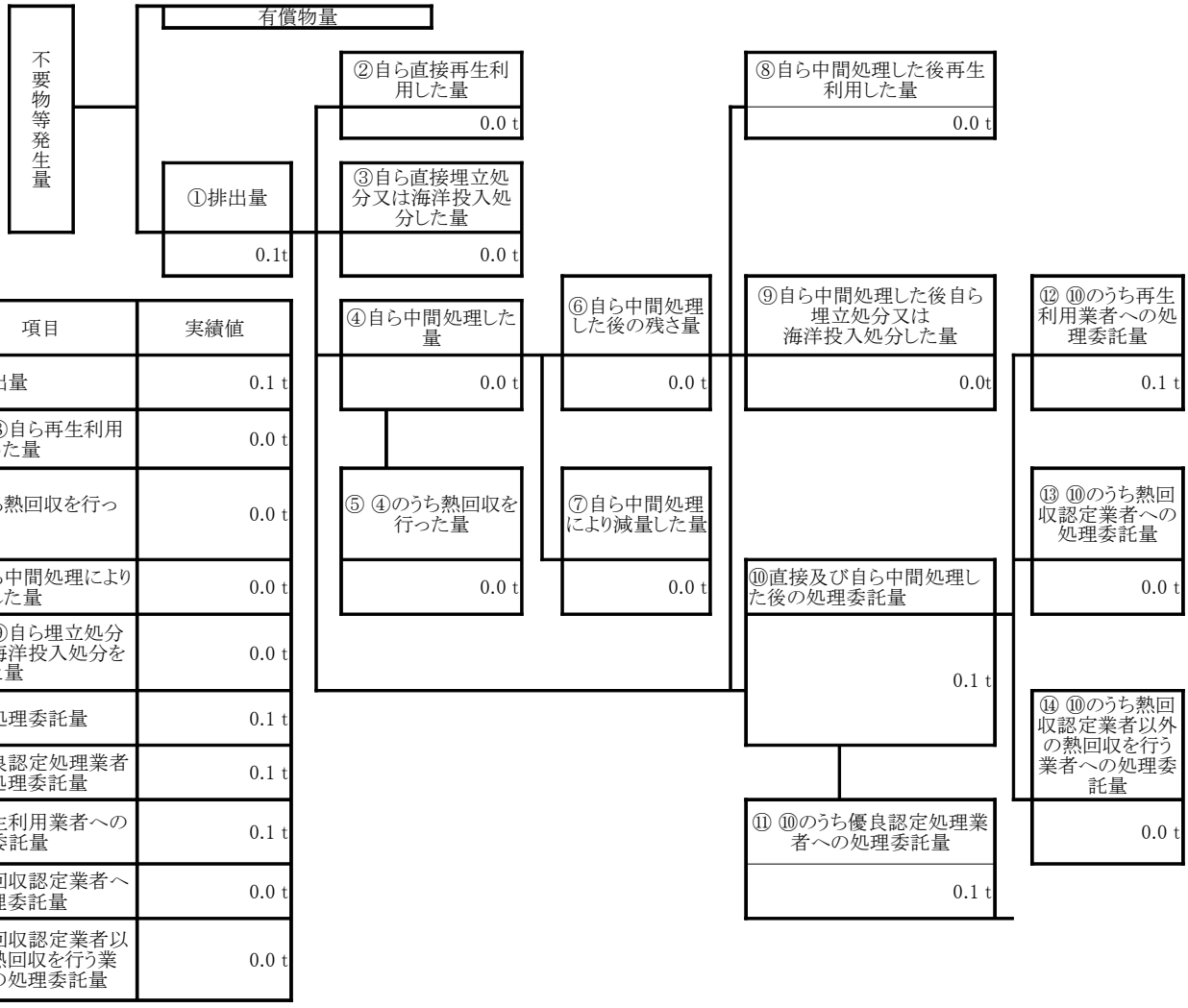


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



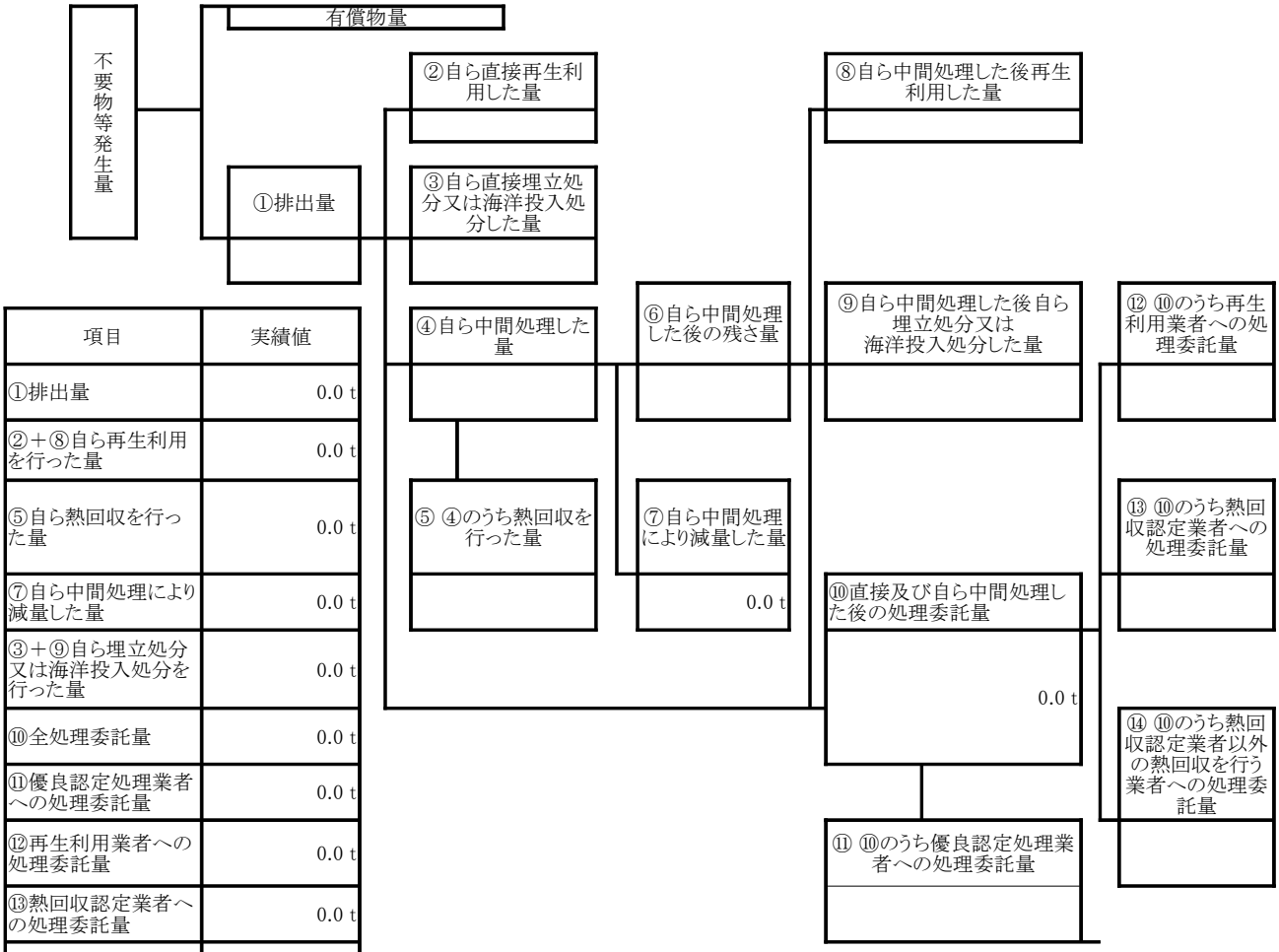
項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

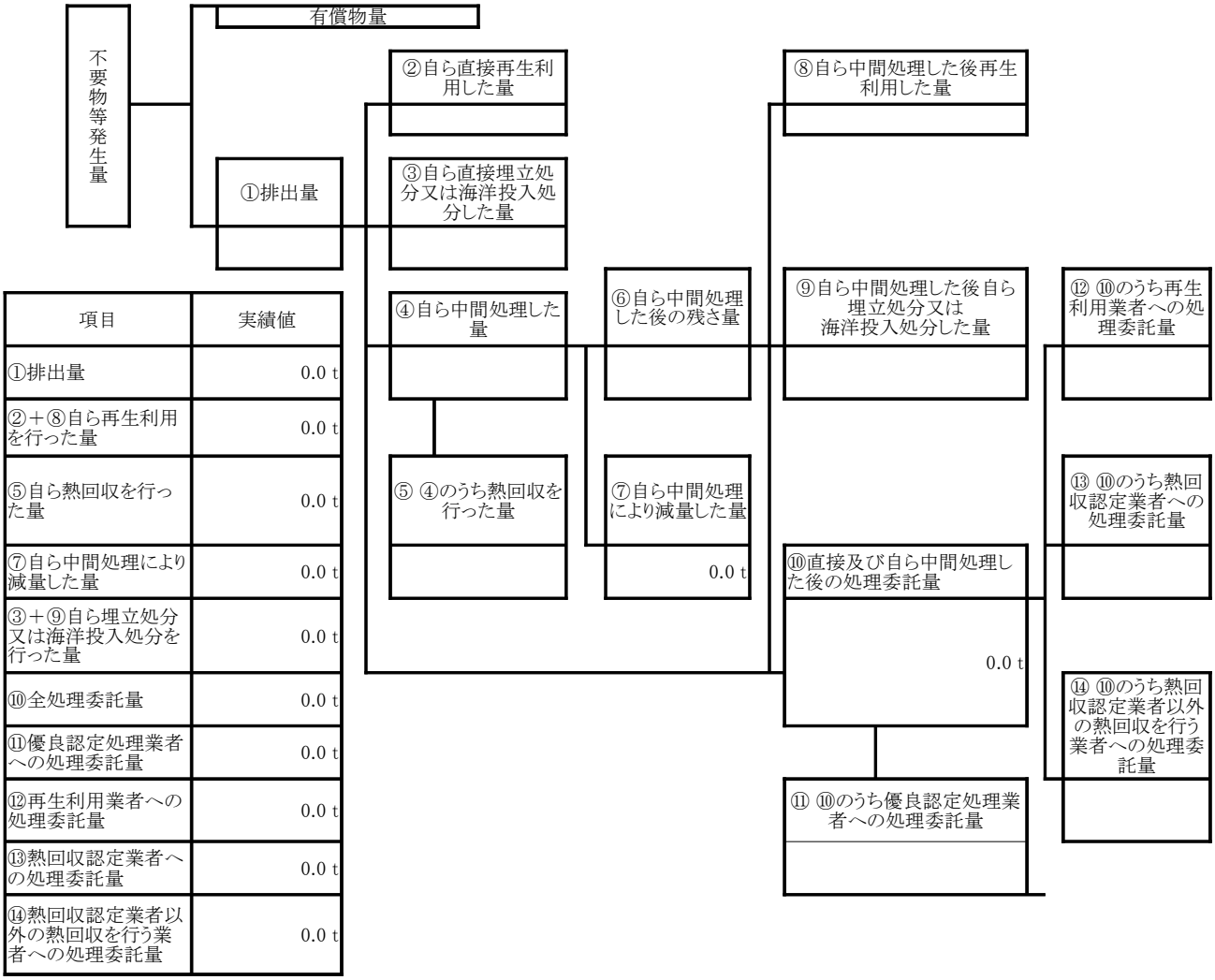


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

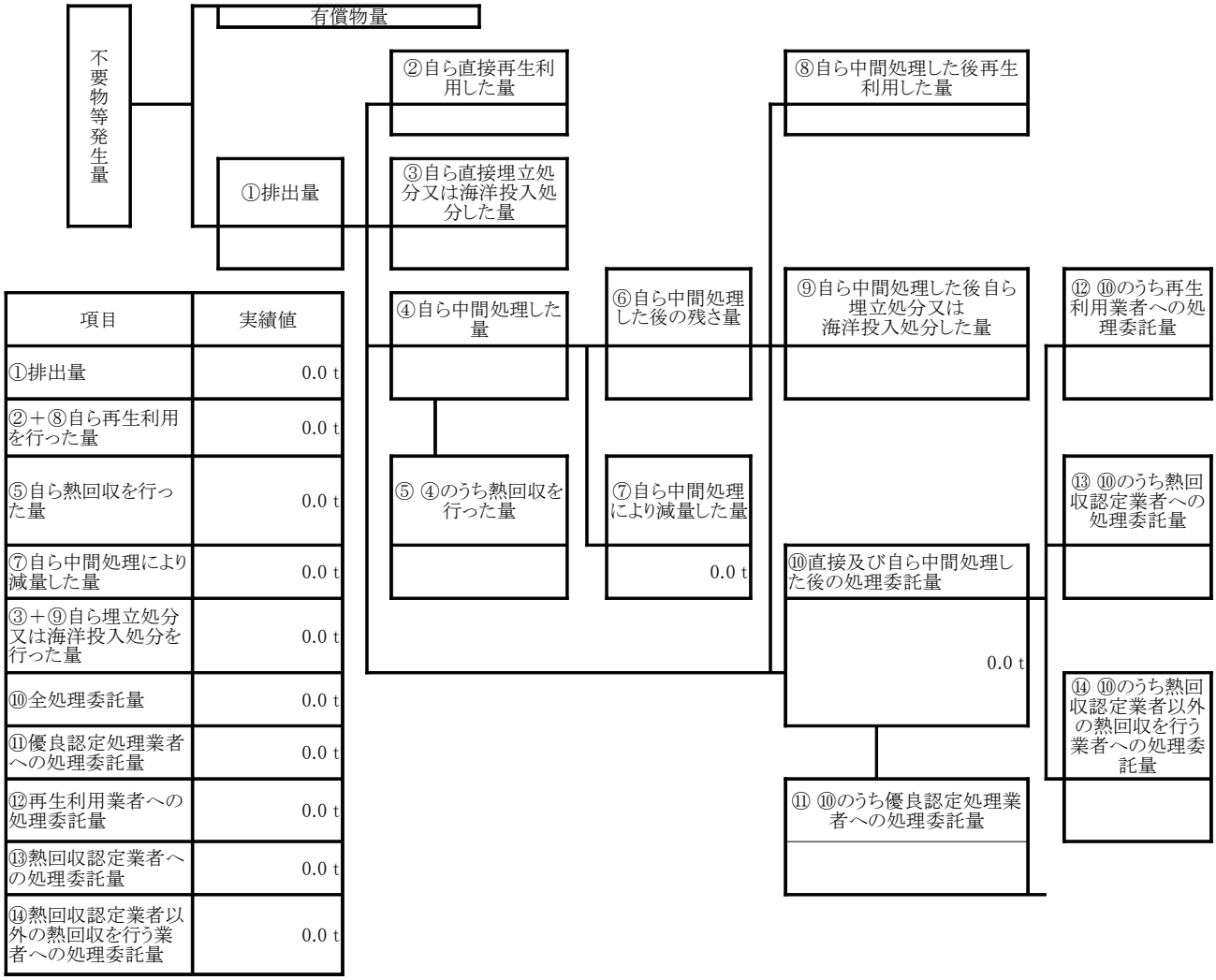


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



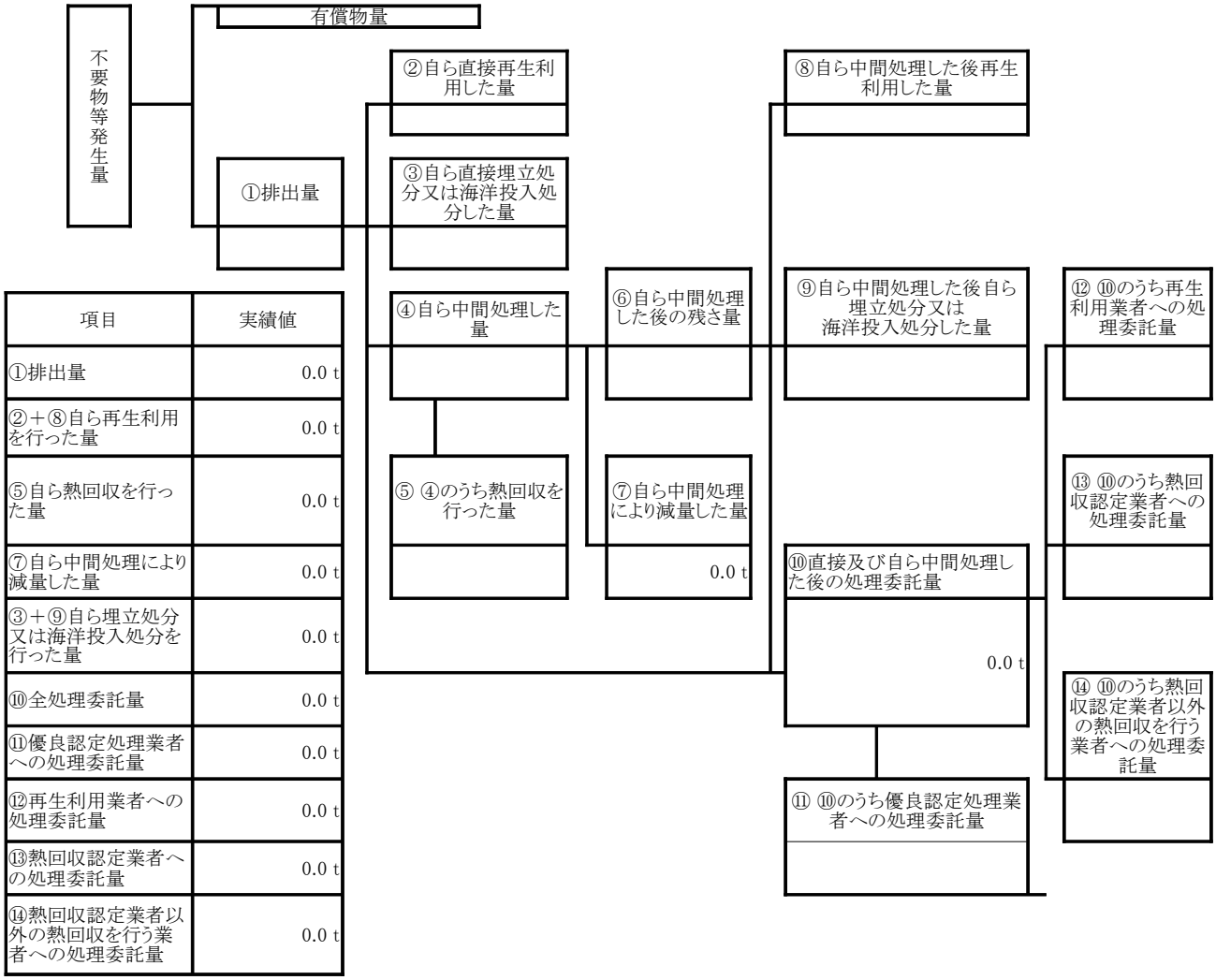
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

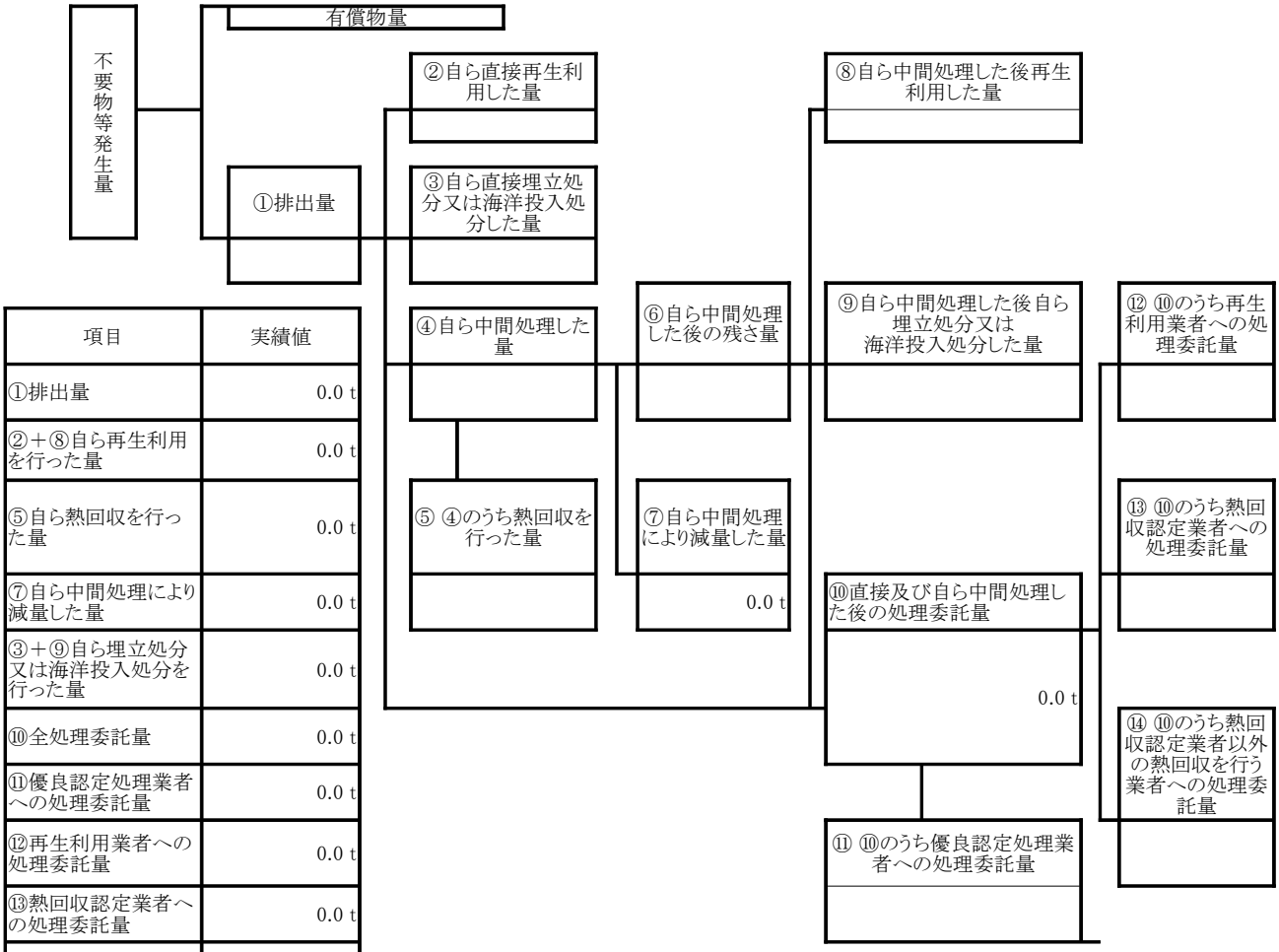


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



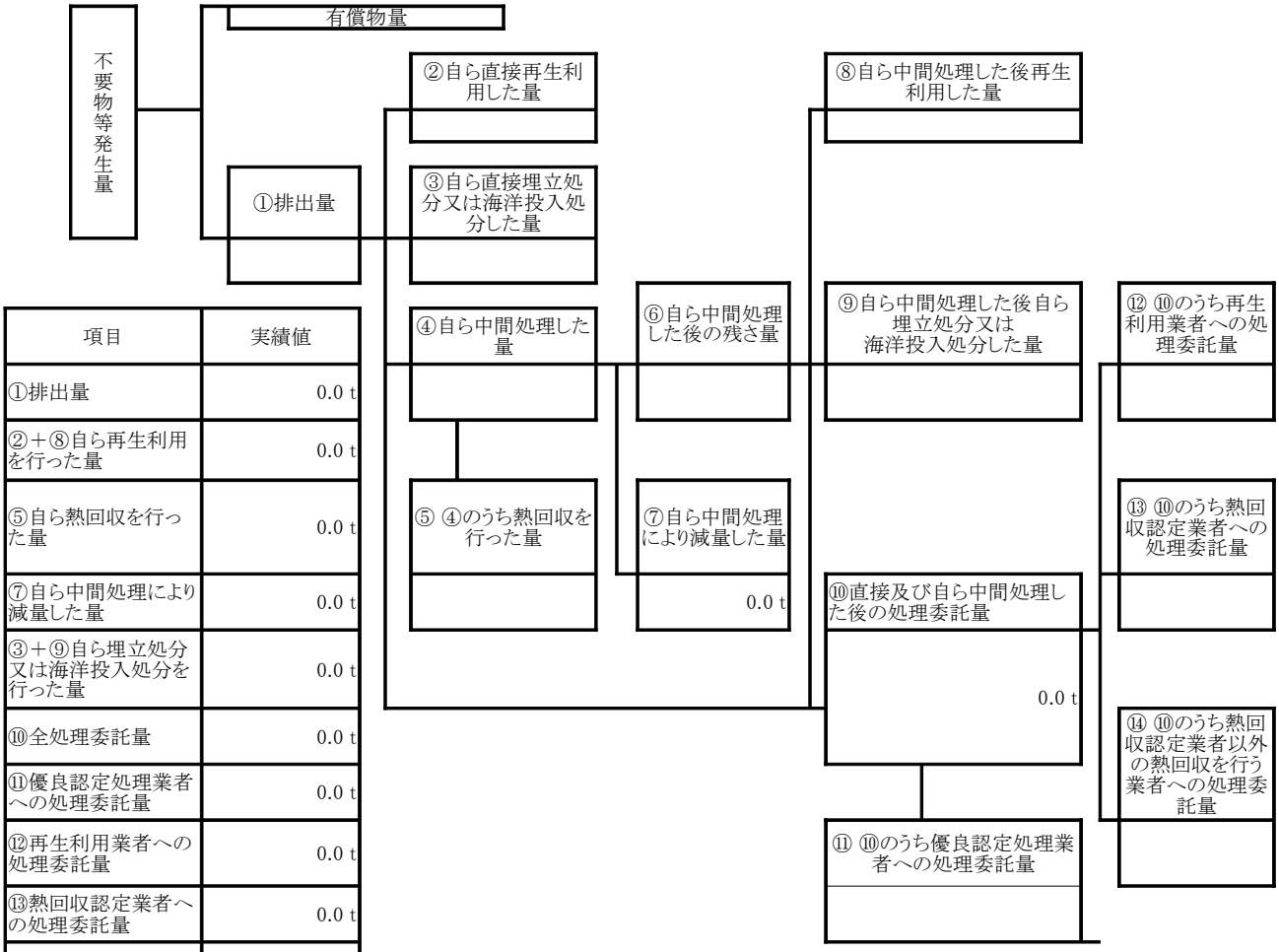
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



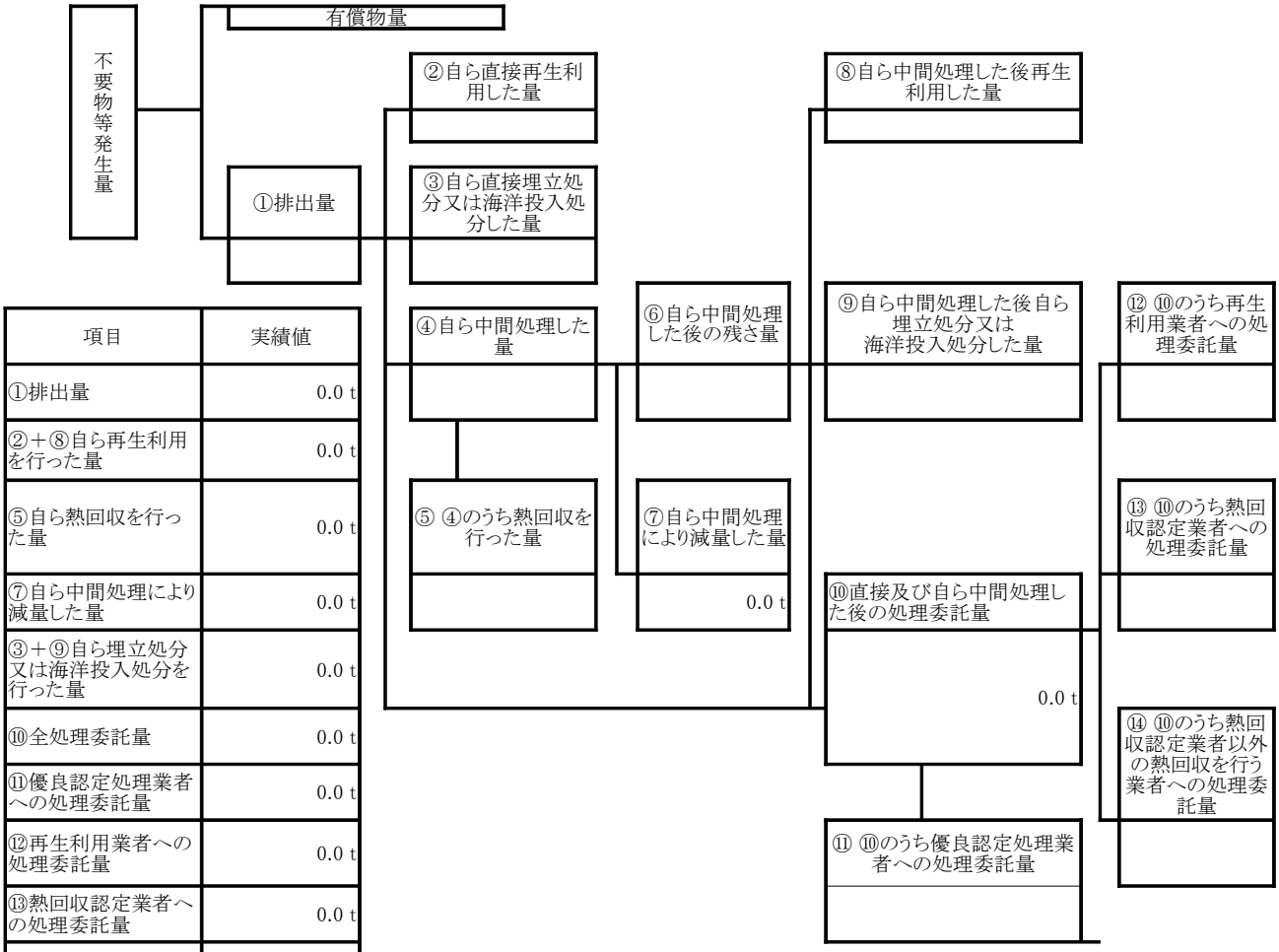
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

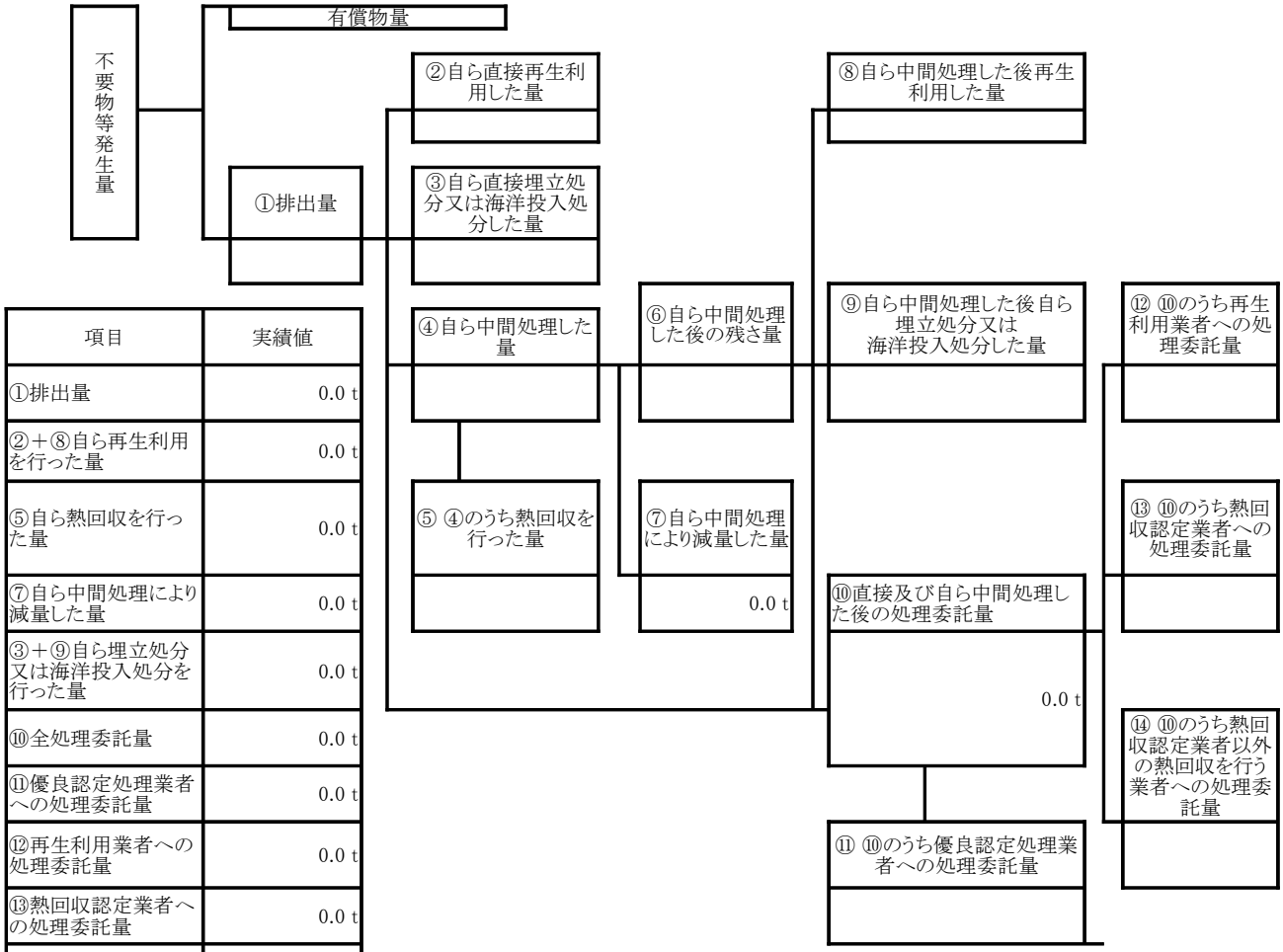


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



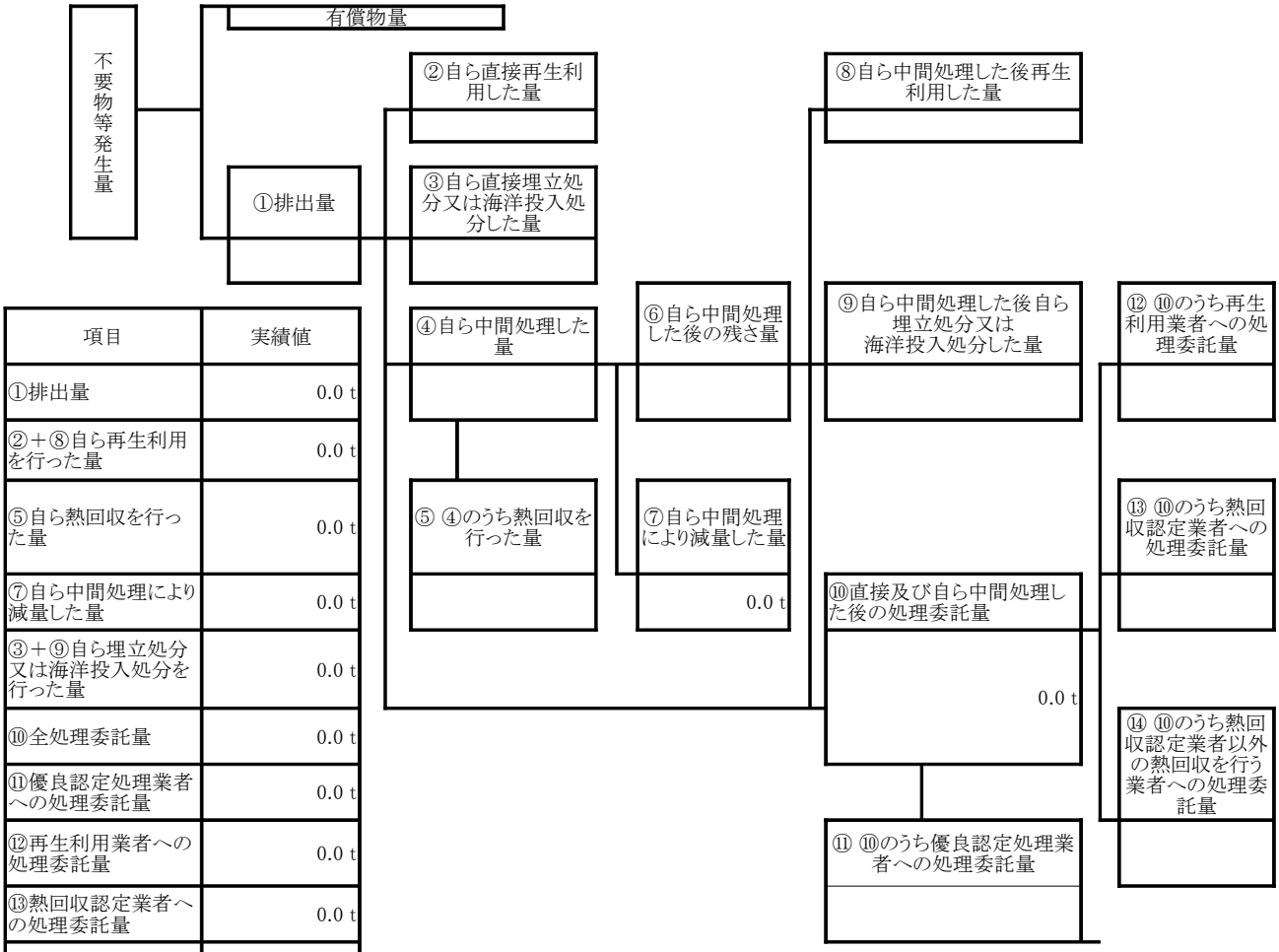
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

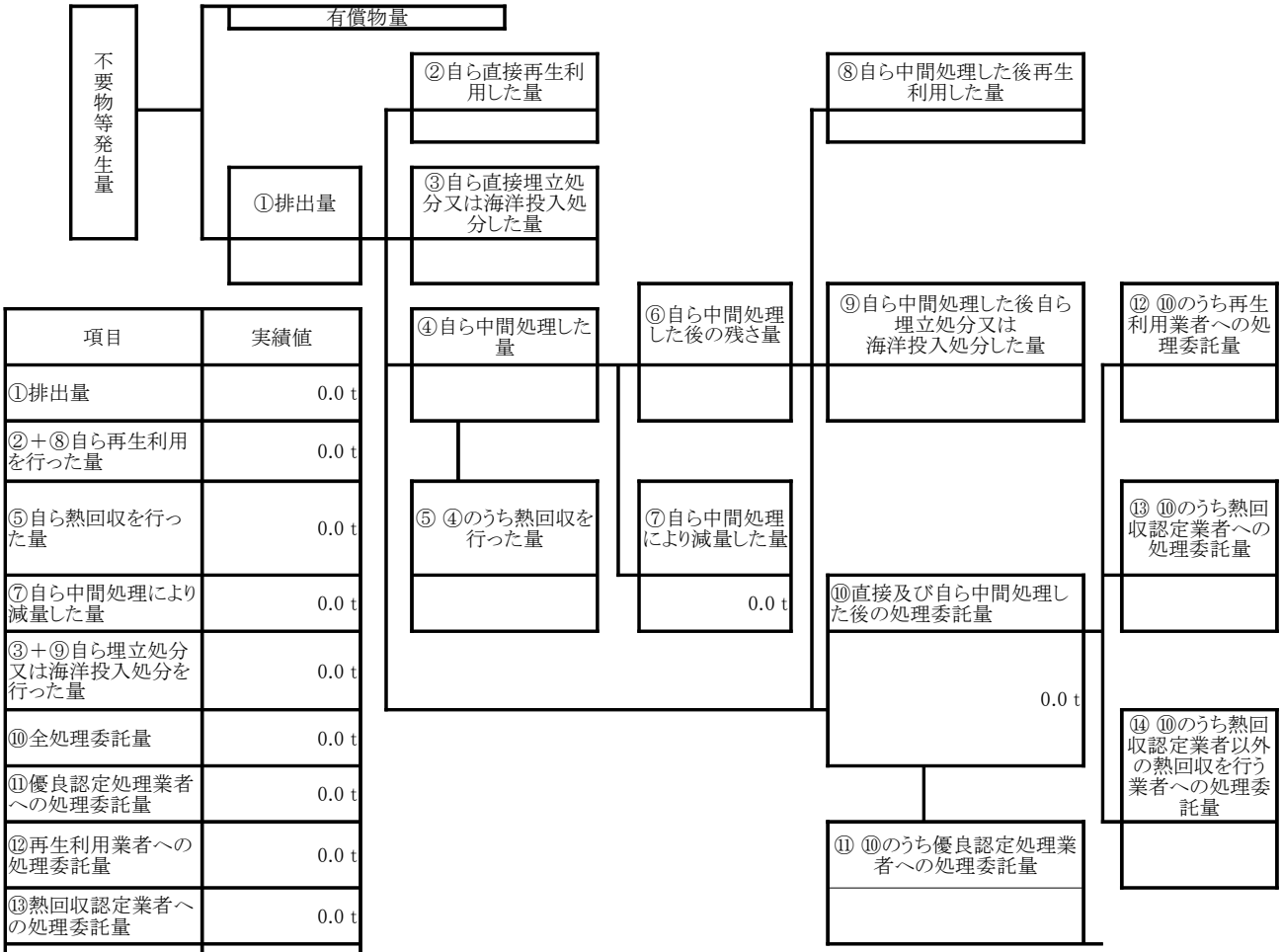


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

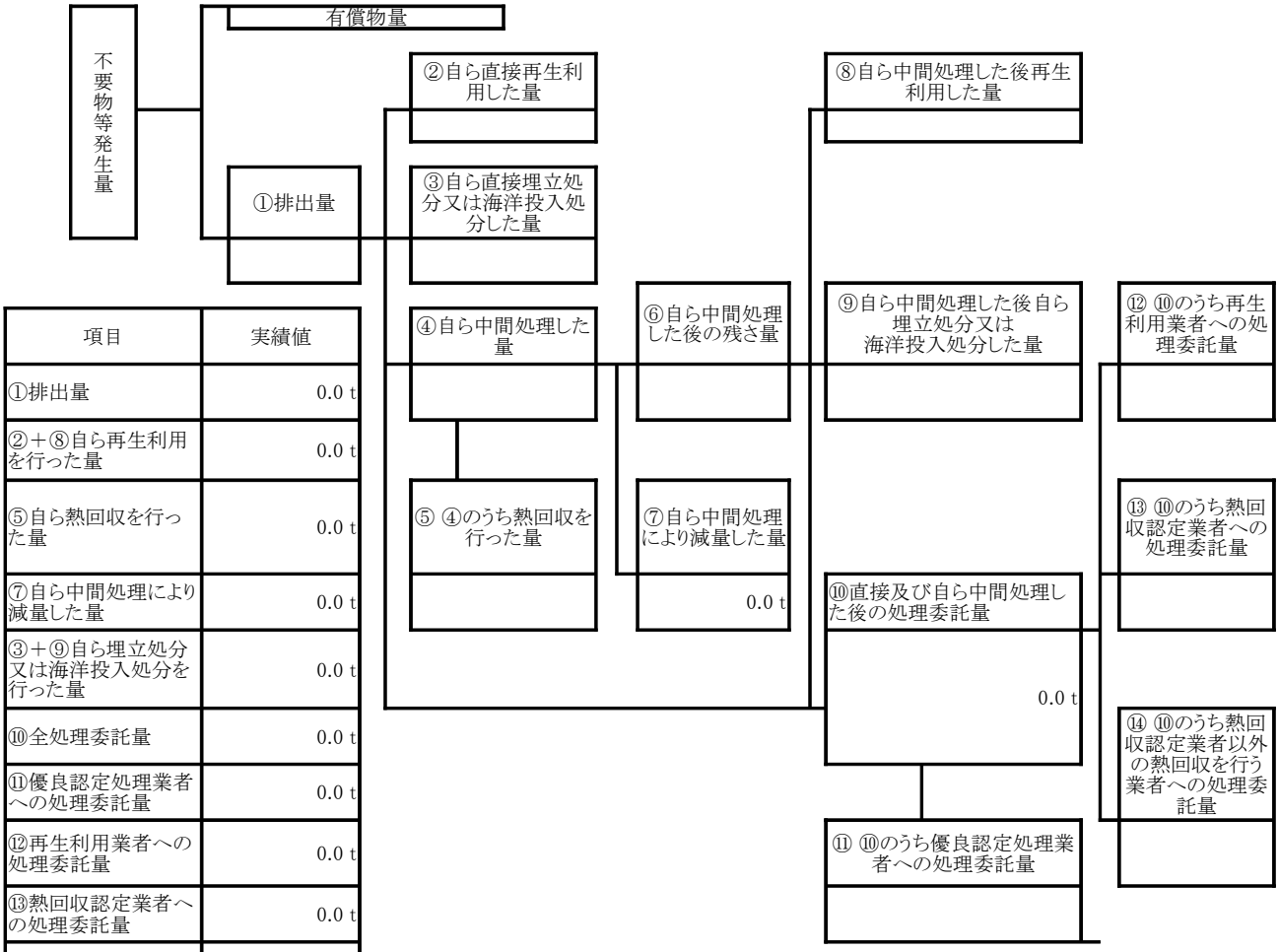


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



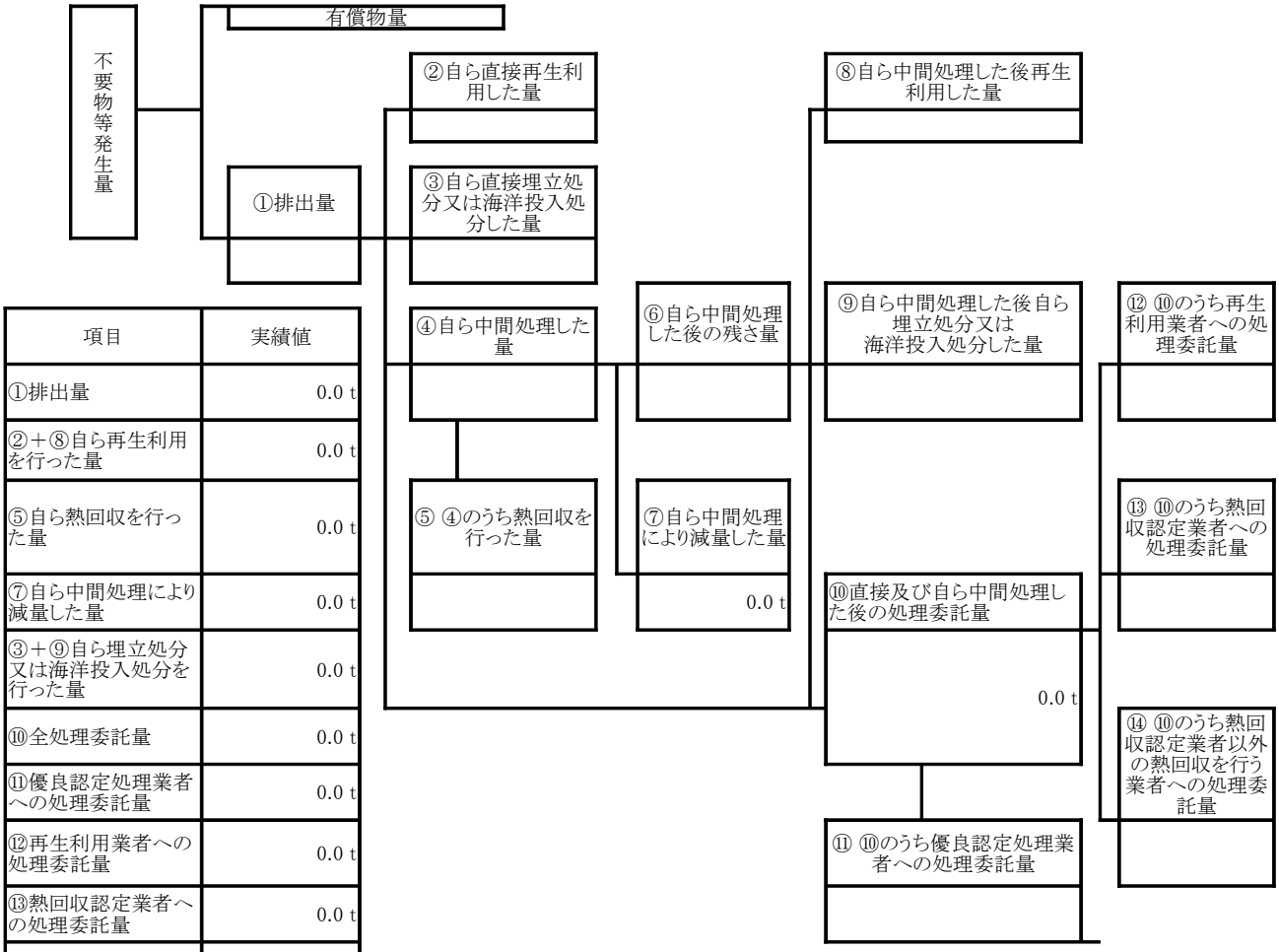
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

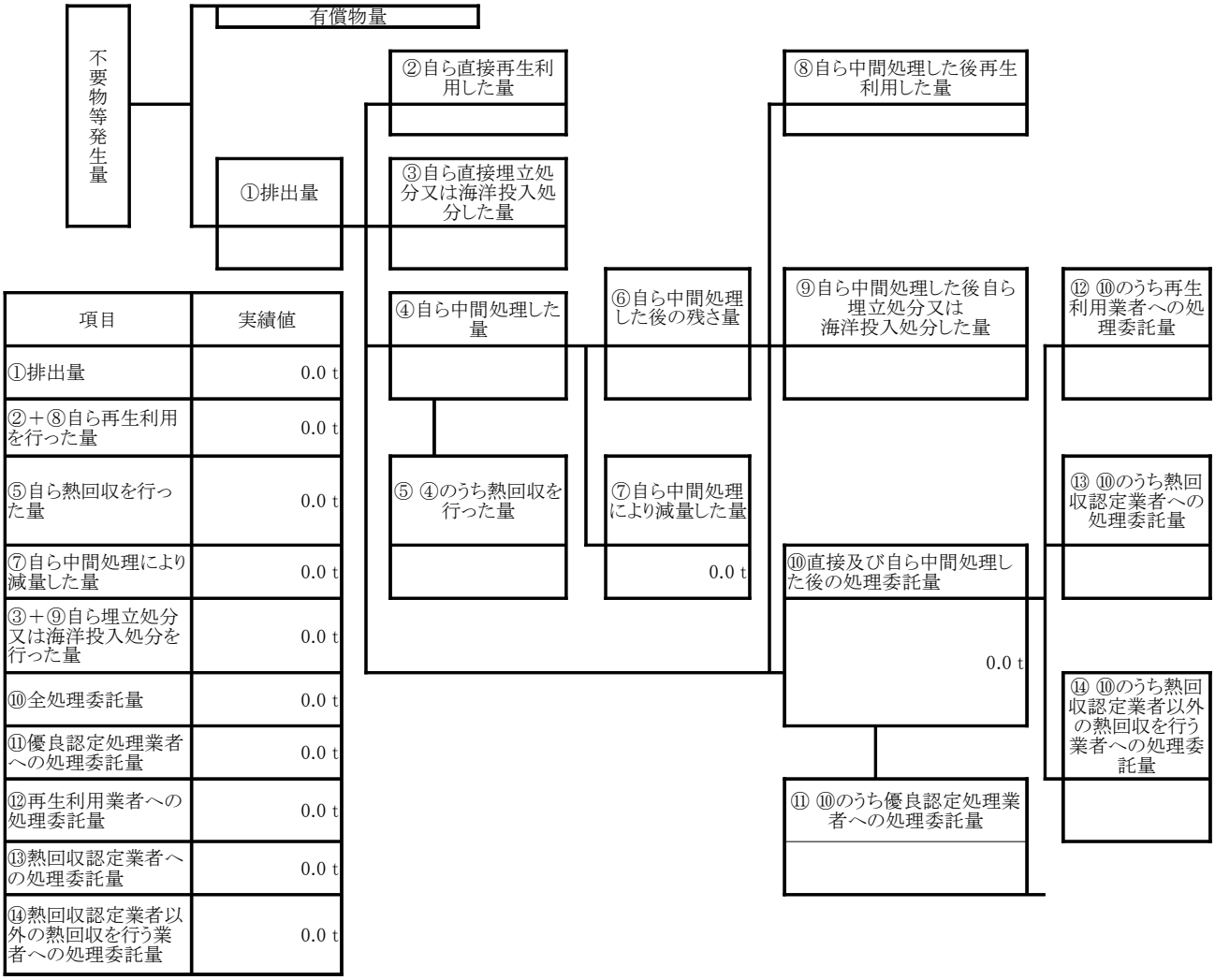


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

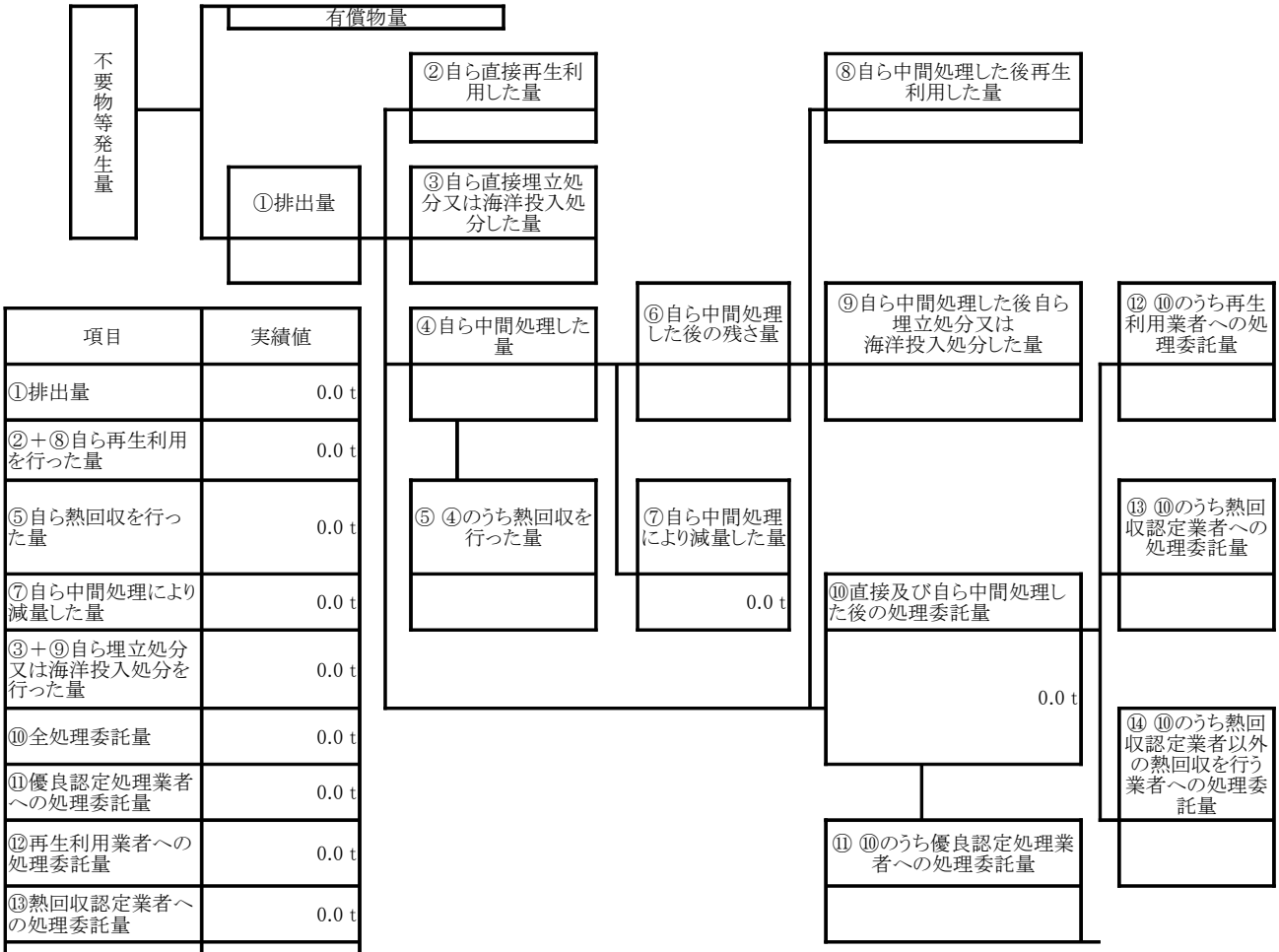


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月21日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　561-0845

住　所　大阪府豊中市利倉１丁目１番１号

法人名　株式会社NSC

代表者　西山　翔一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　06-6862-5025

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社NSC 茂原工場
事業場の所在地	千葉県茂原市早野3300
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　窯業・土石製品製造業
②事業の規模	500,000,000円
③従業員数	45人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙(処理工程)

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙(管理体制)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
排出量	3445 t	t

（これまでに実施した取組）
・エッチング液のリサイクル(他事業での使用)
・エッチング時の水使用量削減

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
排出量	3000 t	t

（今後実施する予定の取組）
・装置洗浄液の削減

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
特に無し

②計画

(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
特に無し

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	733 t	t
	（これまでに実施した取組） ・装置内フラッシング液の2回利用		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	700 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・装置内フラッシング液の2回利用		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定無し		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特に無し		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施予定無し		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	
	全処理委託量	2712 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 電子マニフェストによる排出量管理		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>強酸</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>2300 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
・定期的に処理状況の現地確認を行なう</td></tr>
<tr><td rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）　3445 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
・引き続き電子マニフェストによる排出量管理</td></tr>
<tr><td>※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

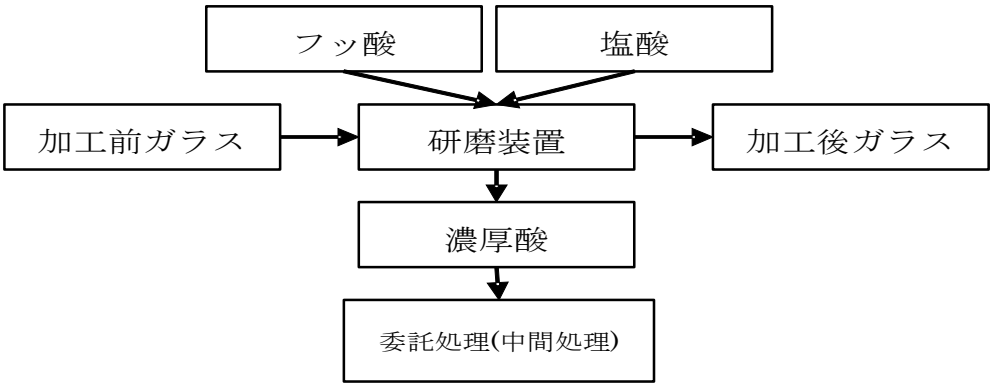
５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

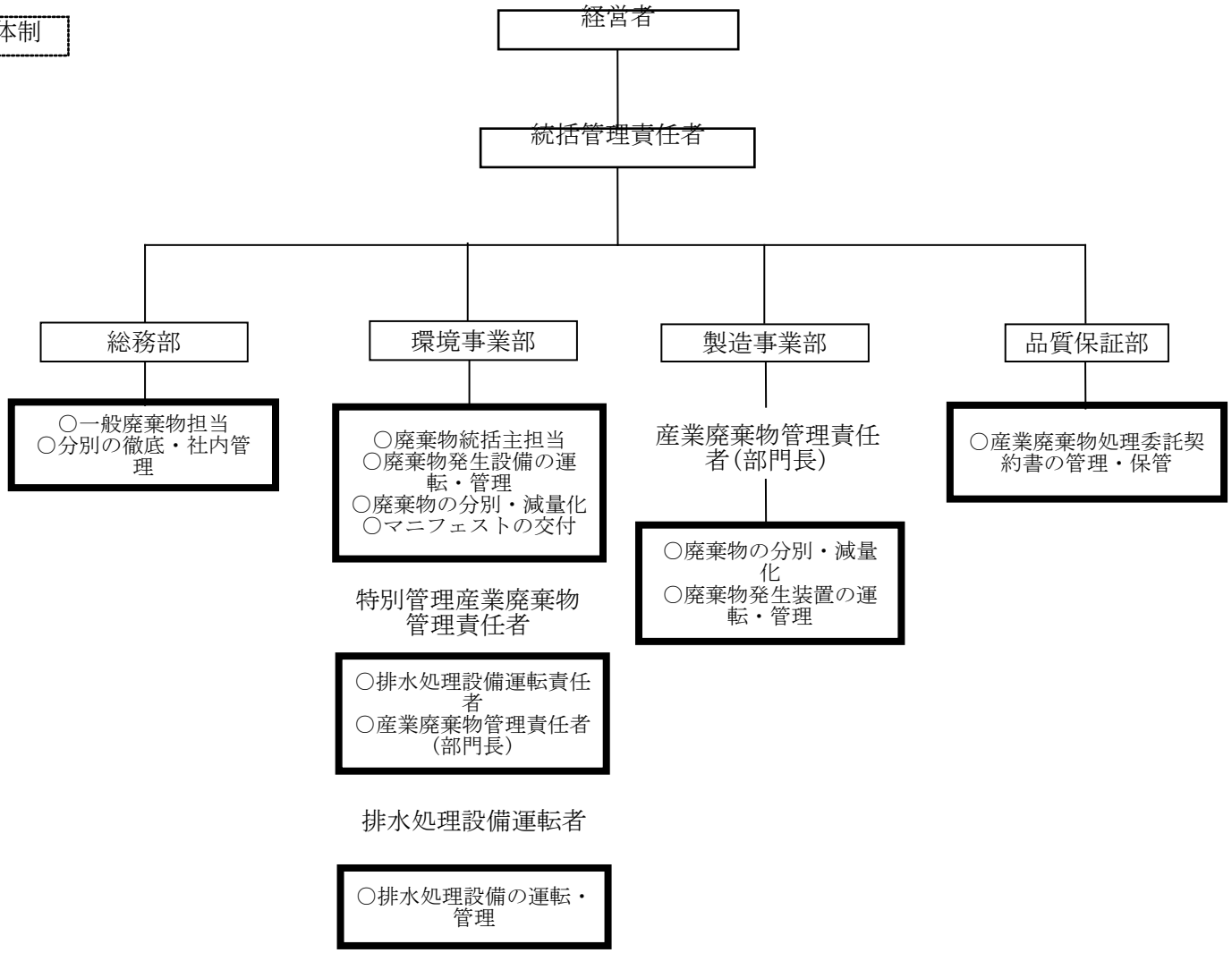
８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

〇処理工程



【別紙2】

産業廃棄物管理体制



様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月21日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　561-0845

住所 大阪府豊中市利倉1丁目1番1号

法人名 株式会社NSC

代表者 西山 翔一郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6862-5025

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社NSC 茂原工場
事業場の所在地	千葉県茂原市早野3300
事業の種類	大分類　製造業　中分類 窯業・土石製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2966 t	全処理委託量	1350 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	1616 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	5932 t
	前年度（令和5年度）	3445 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
引き続き電子マニフェストによる排出量管理

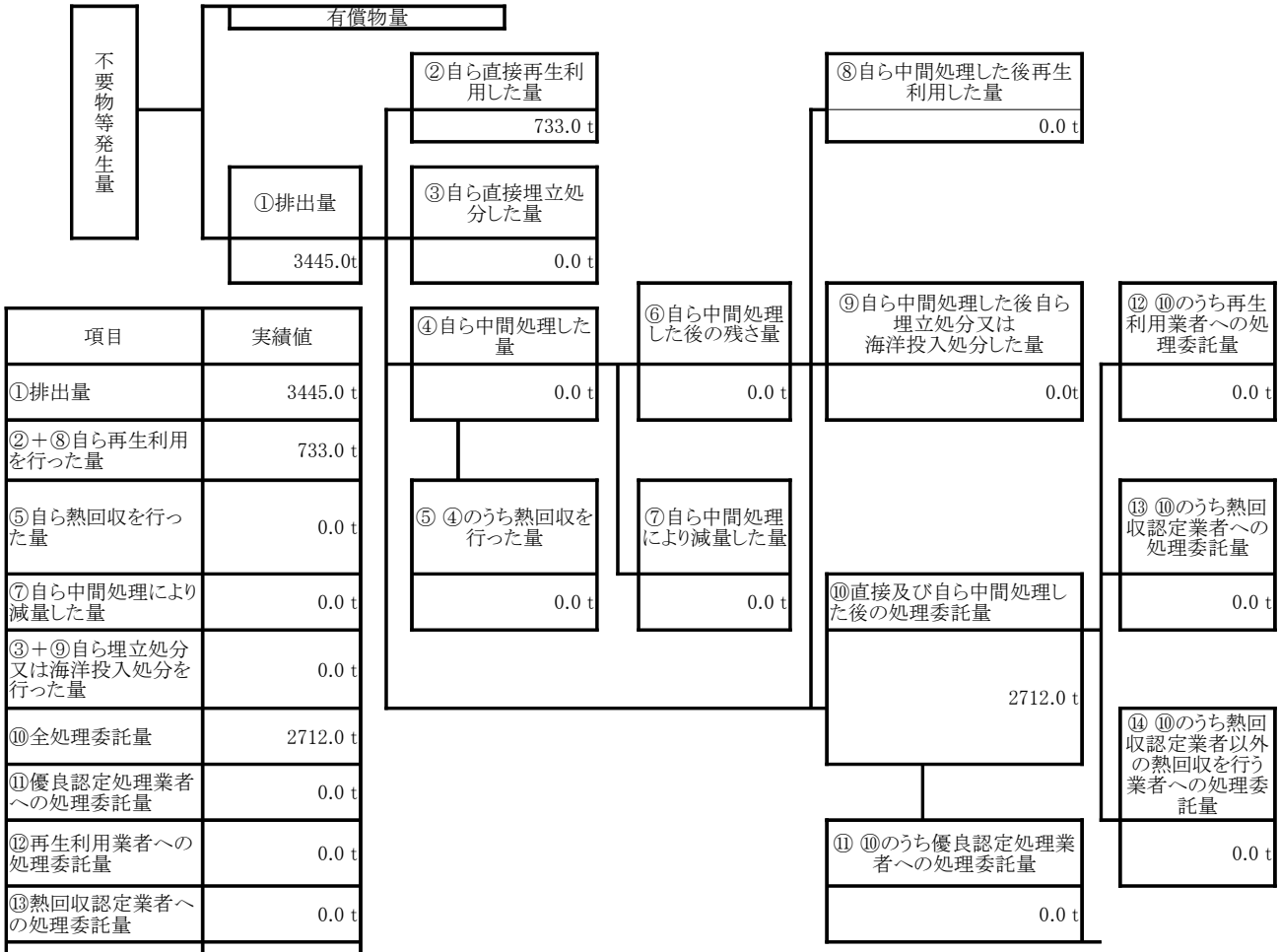
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

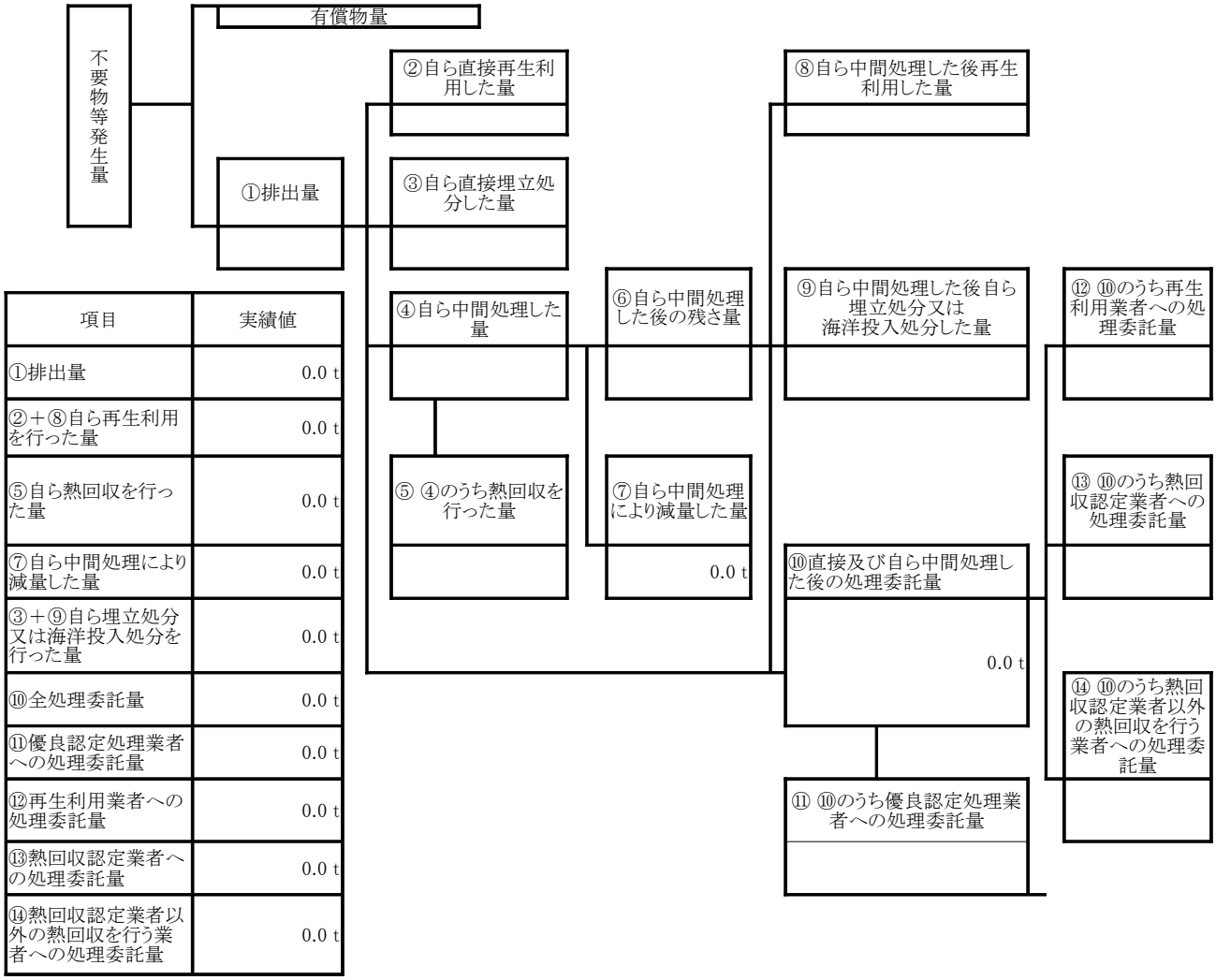
（特別管理産業廃棄物の種類:　**強酸**　）



項目	実績値
①排出量	3445.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	733.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2712.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

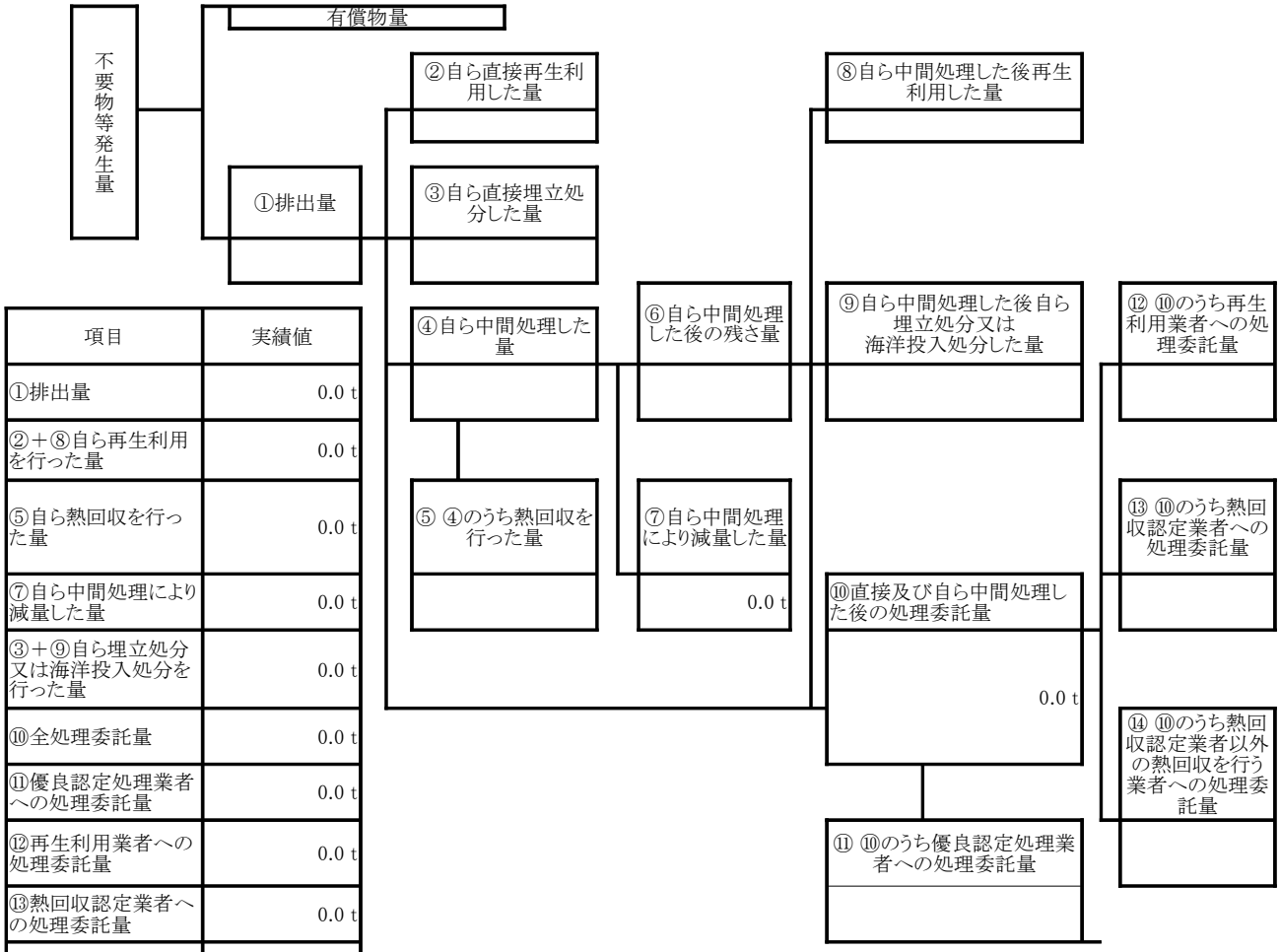


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



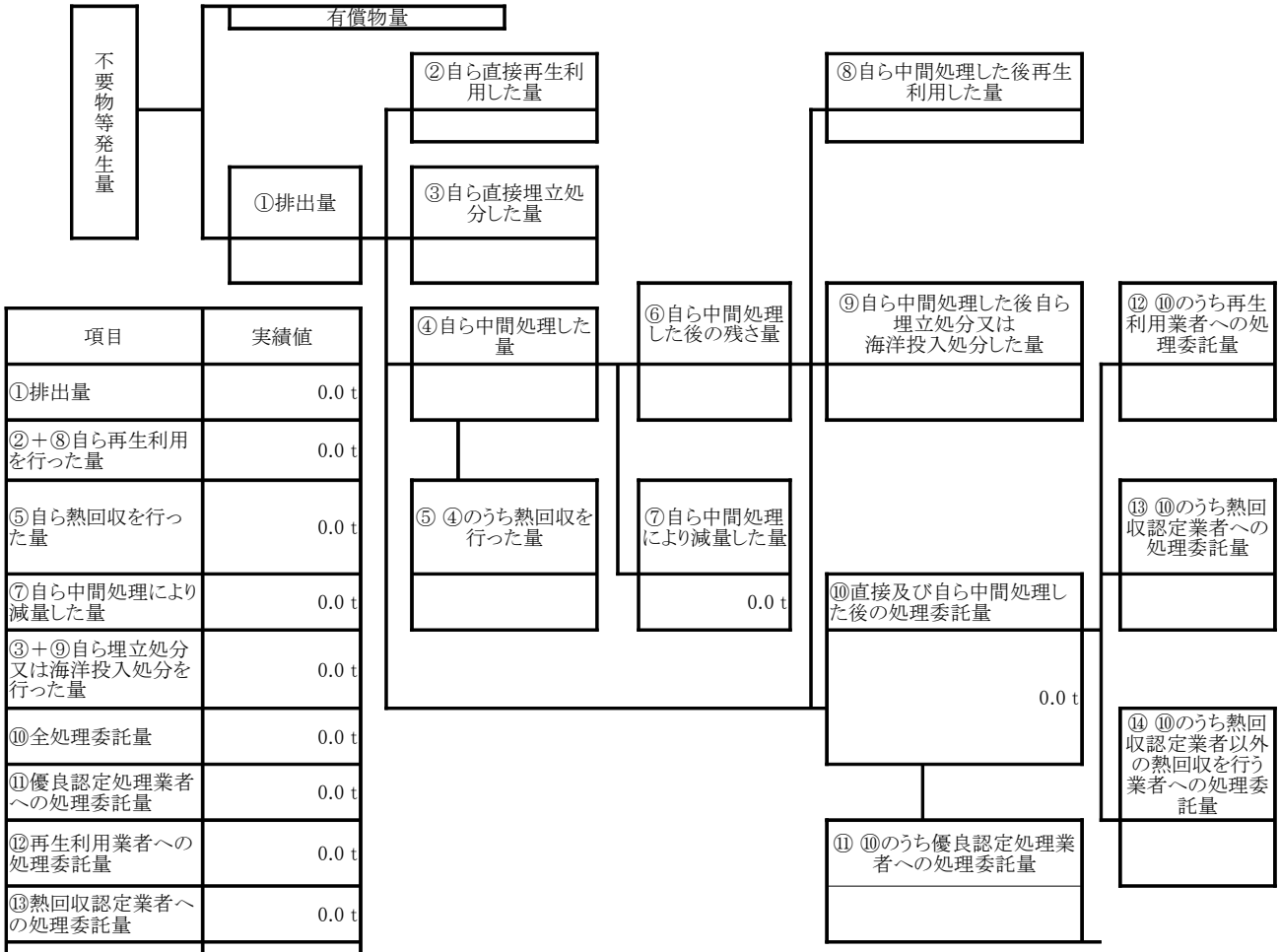
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

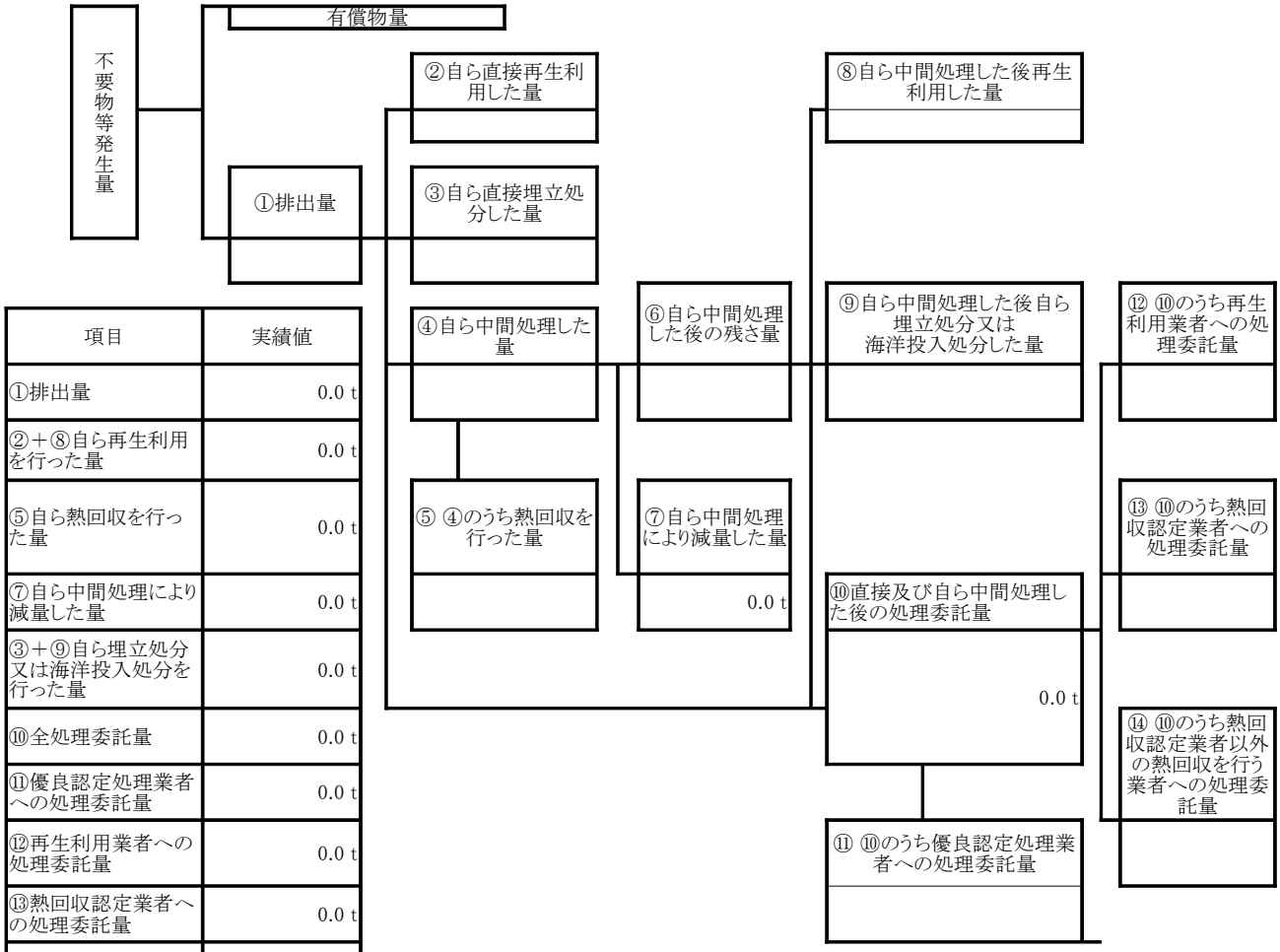


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

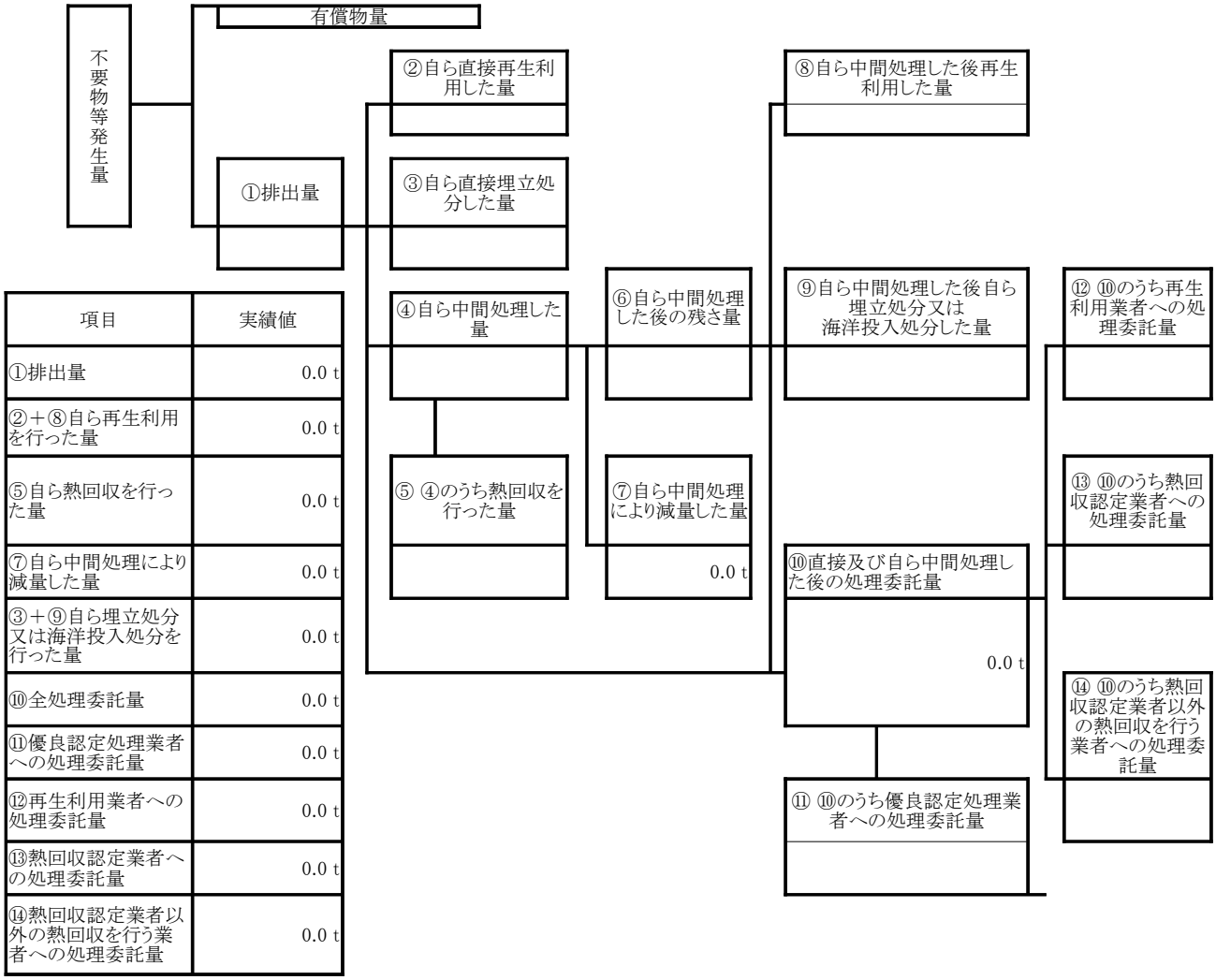


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

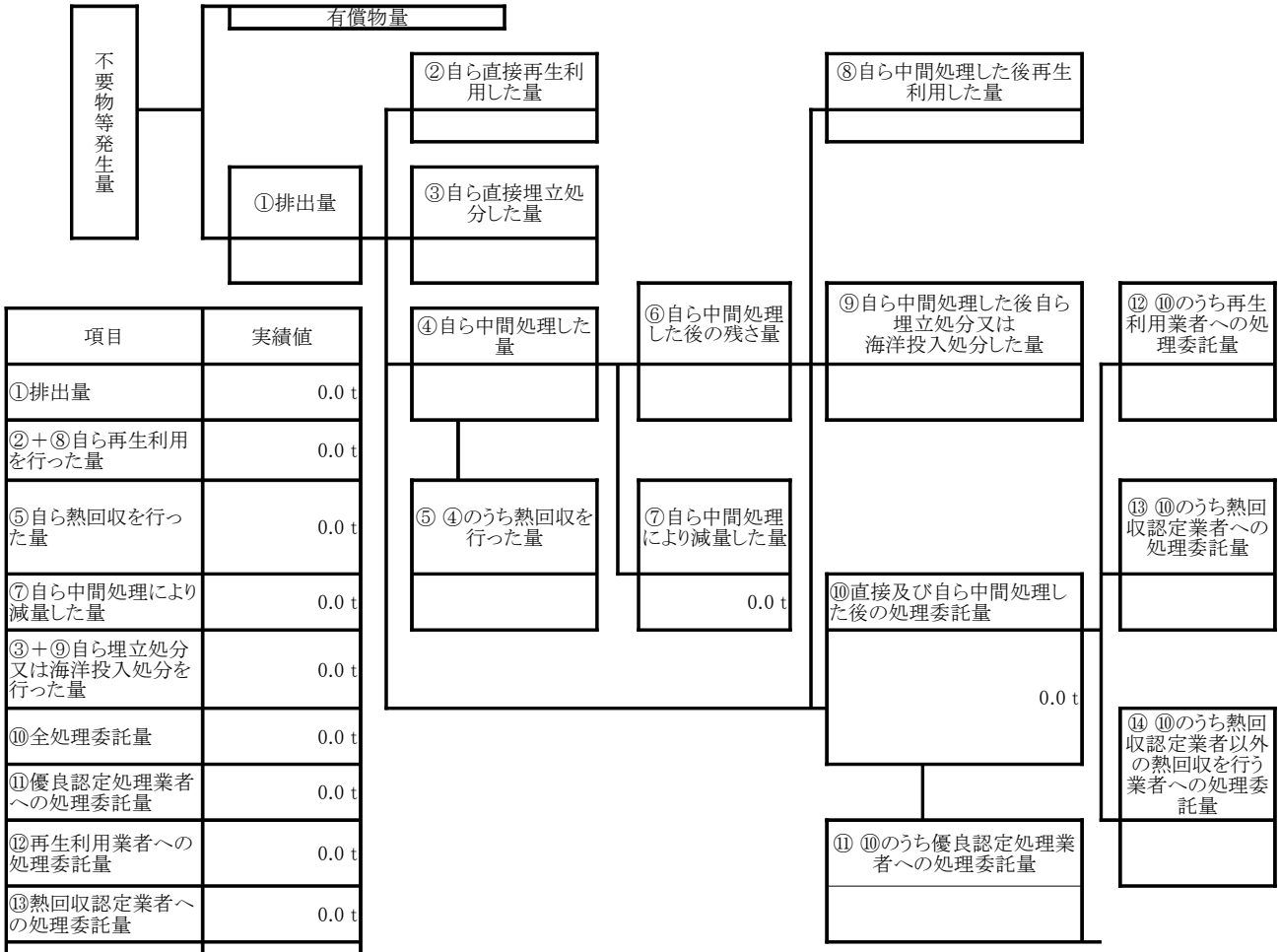


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

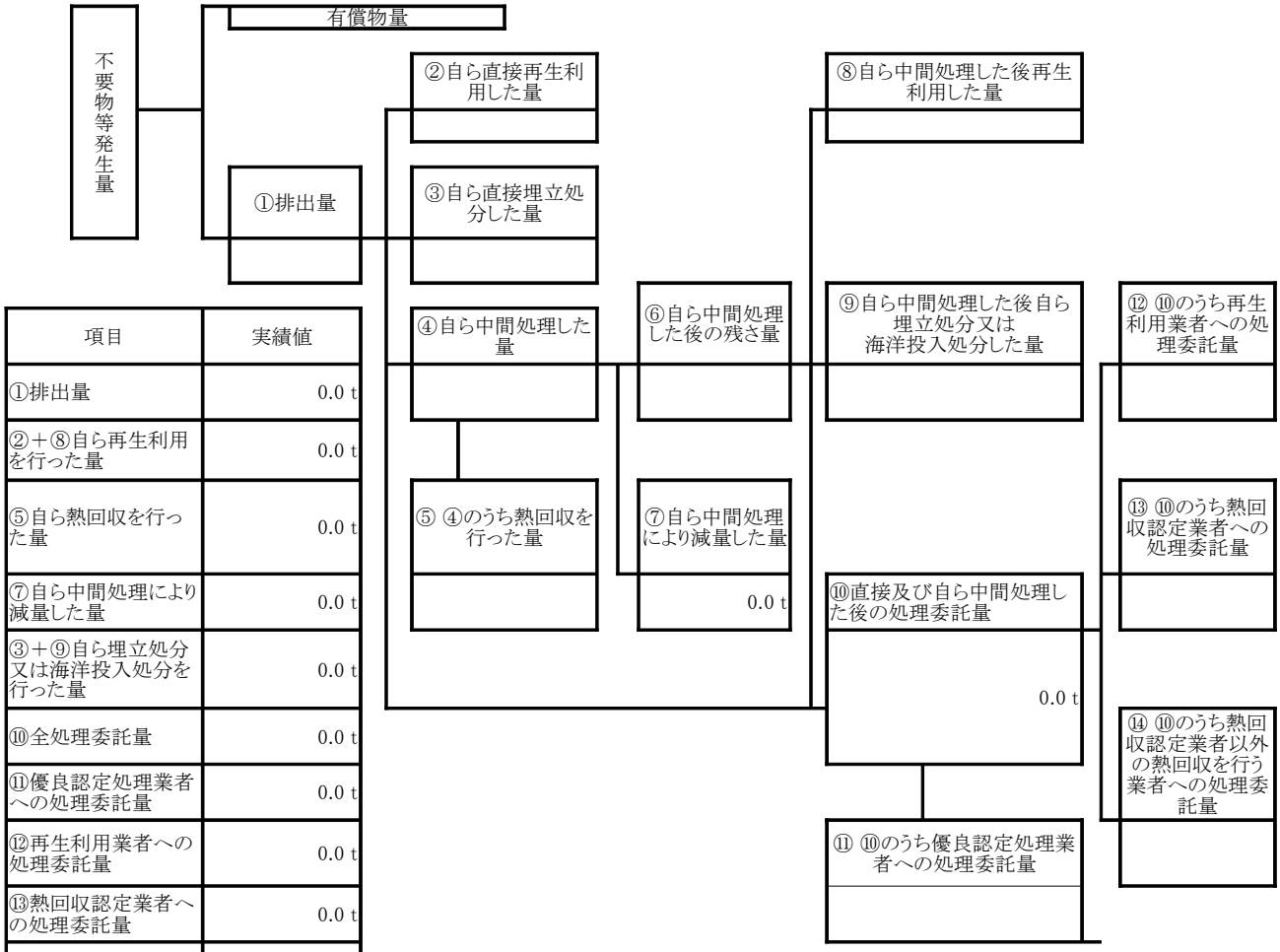


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

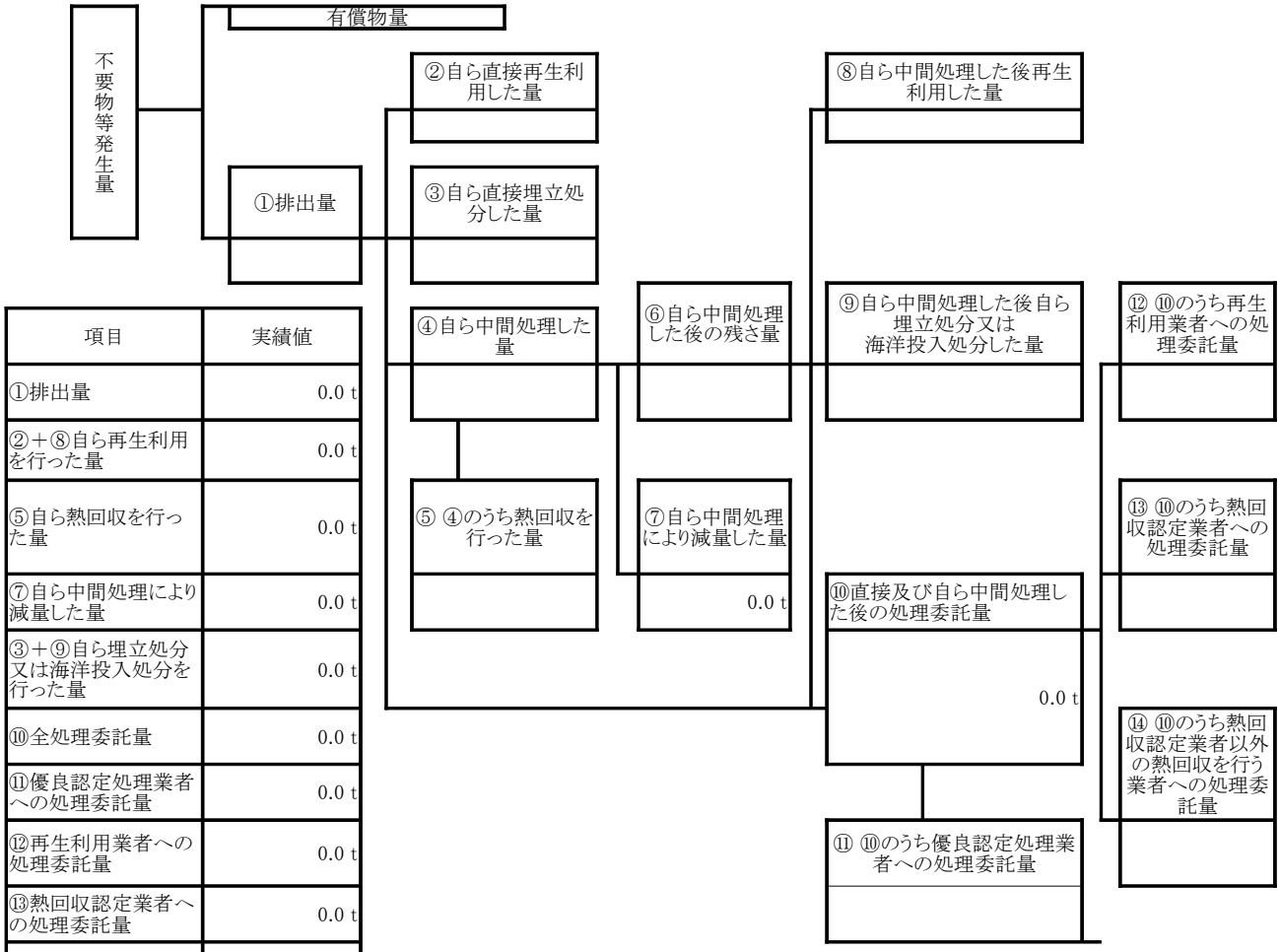


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

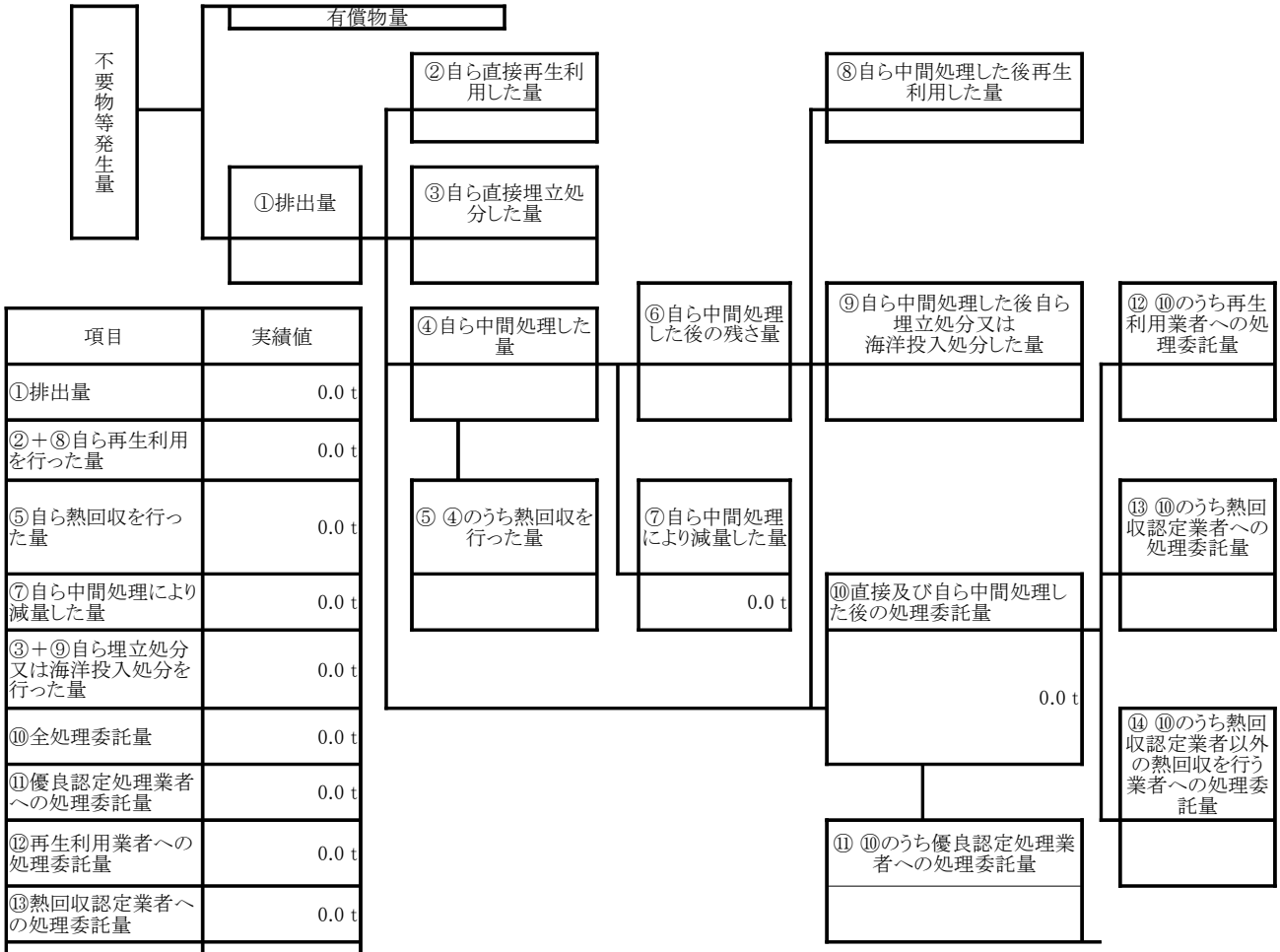


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



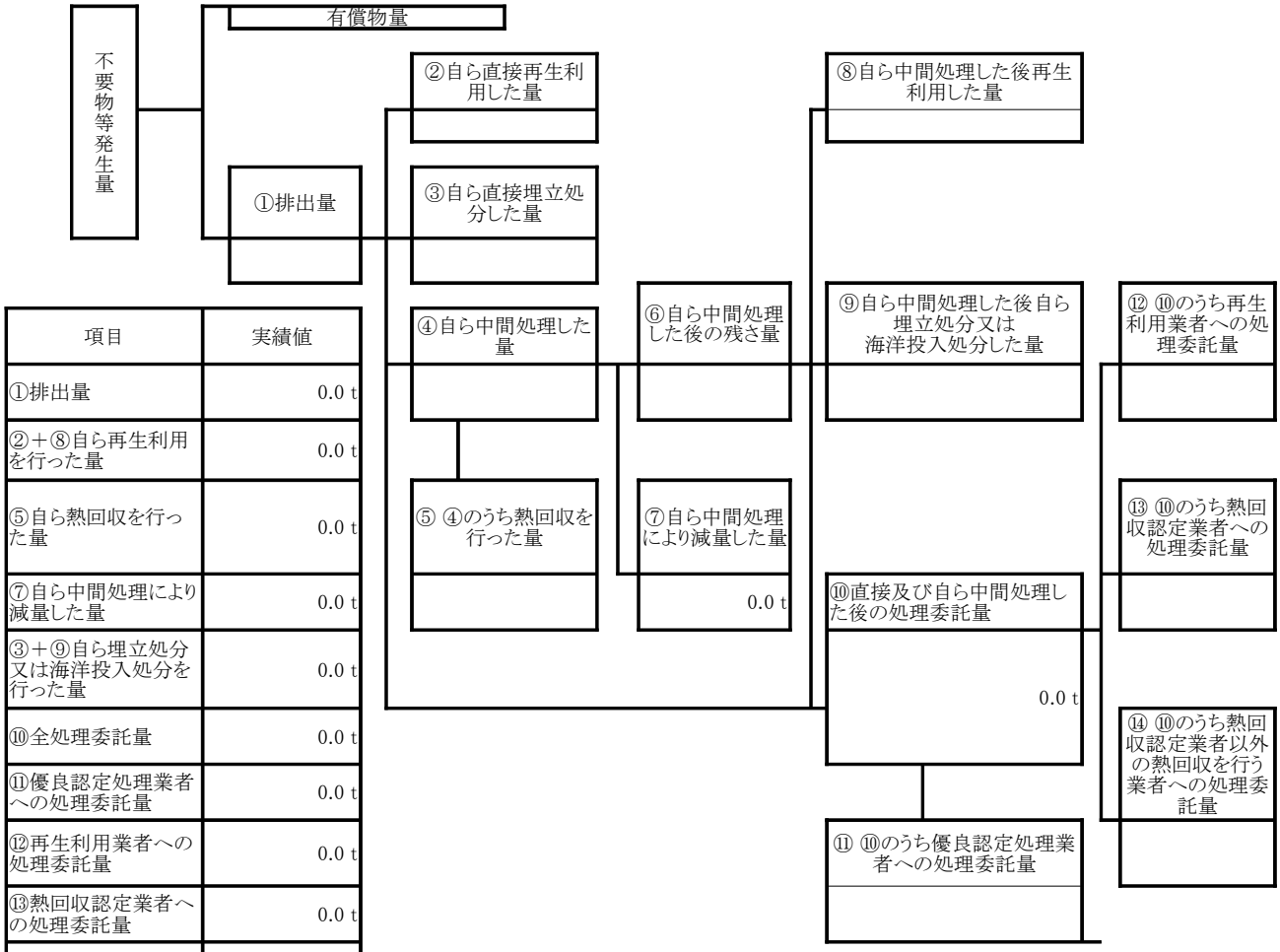
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

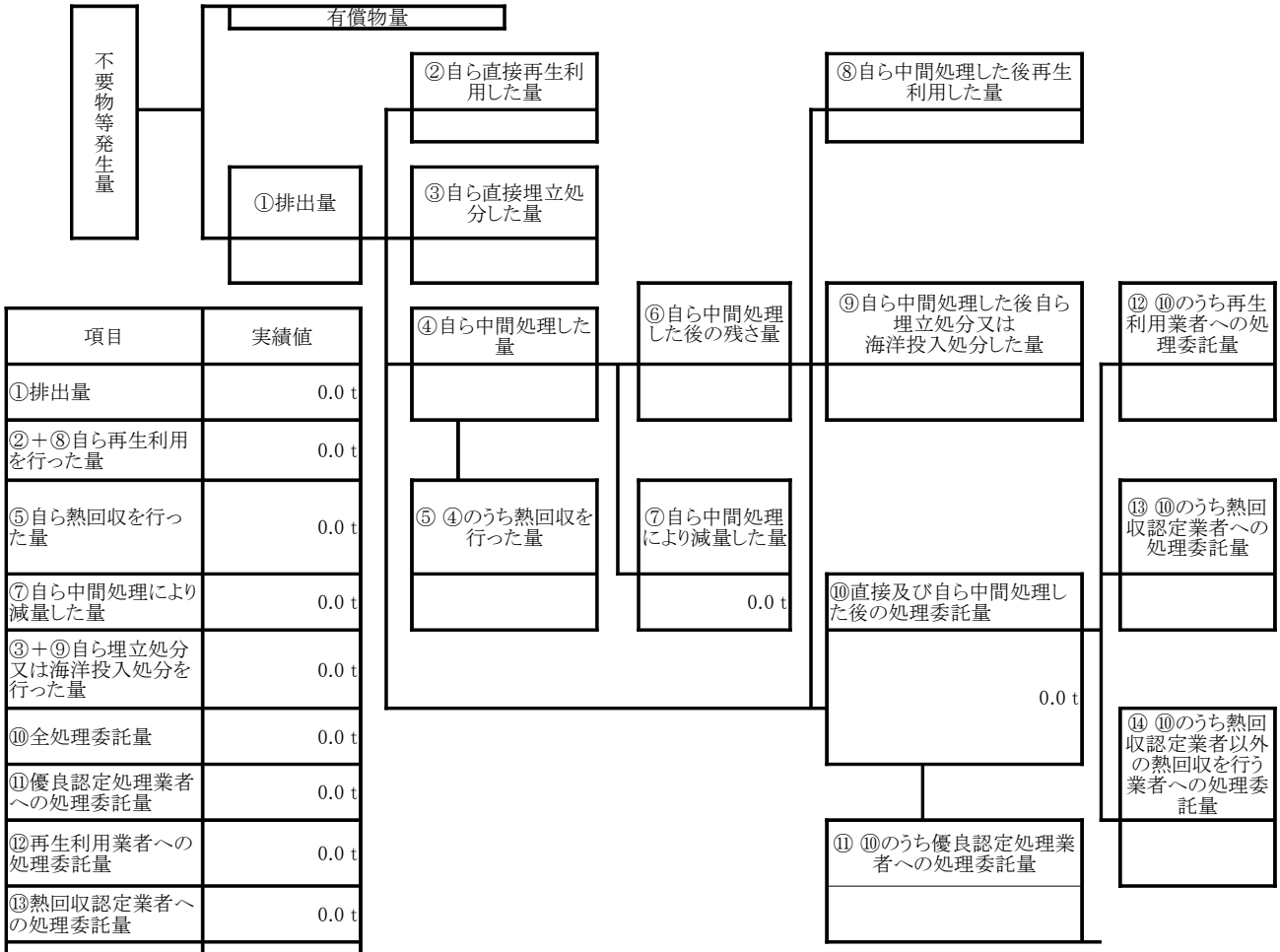


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

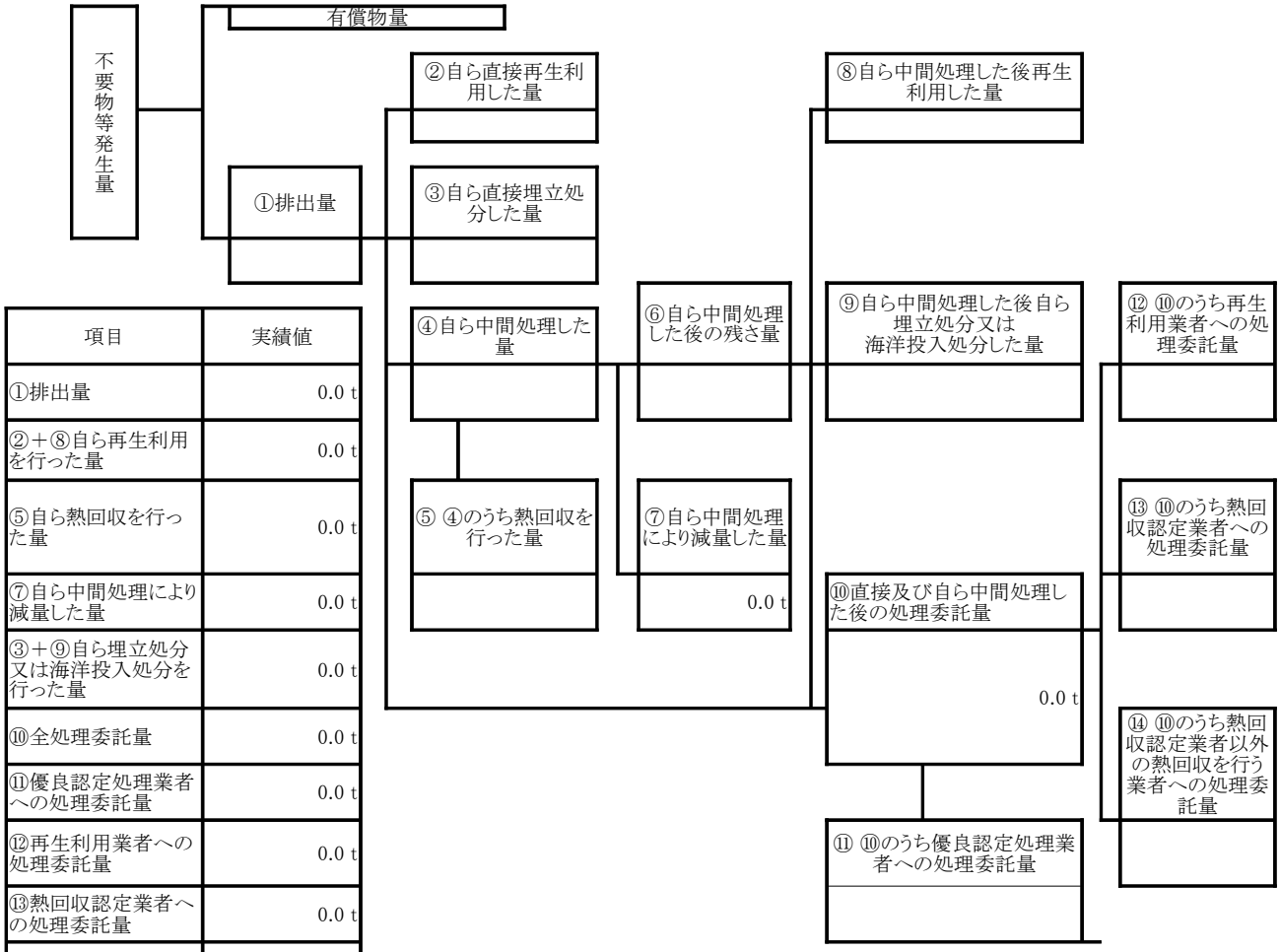


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

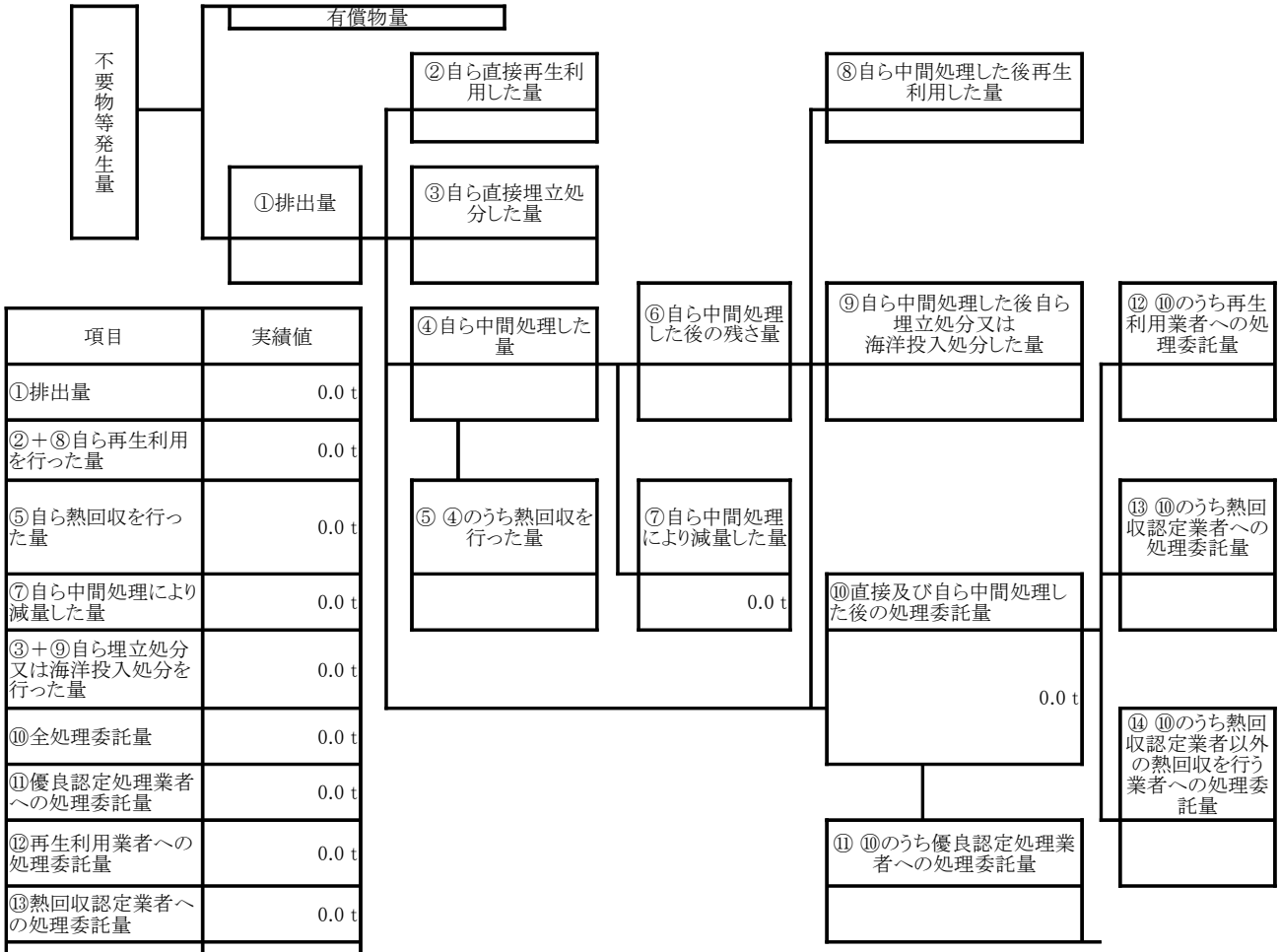


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



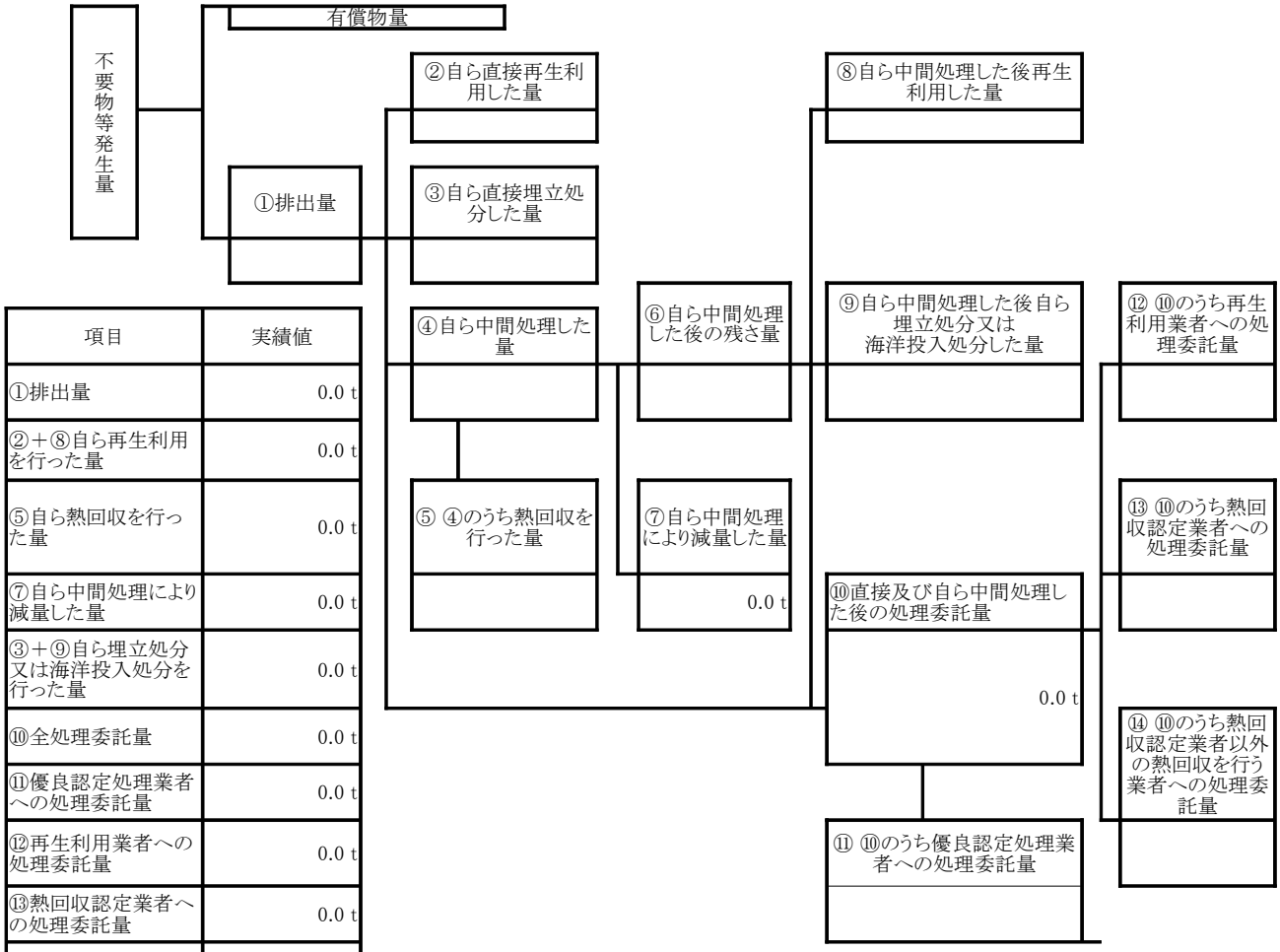
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



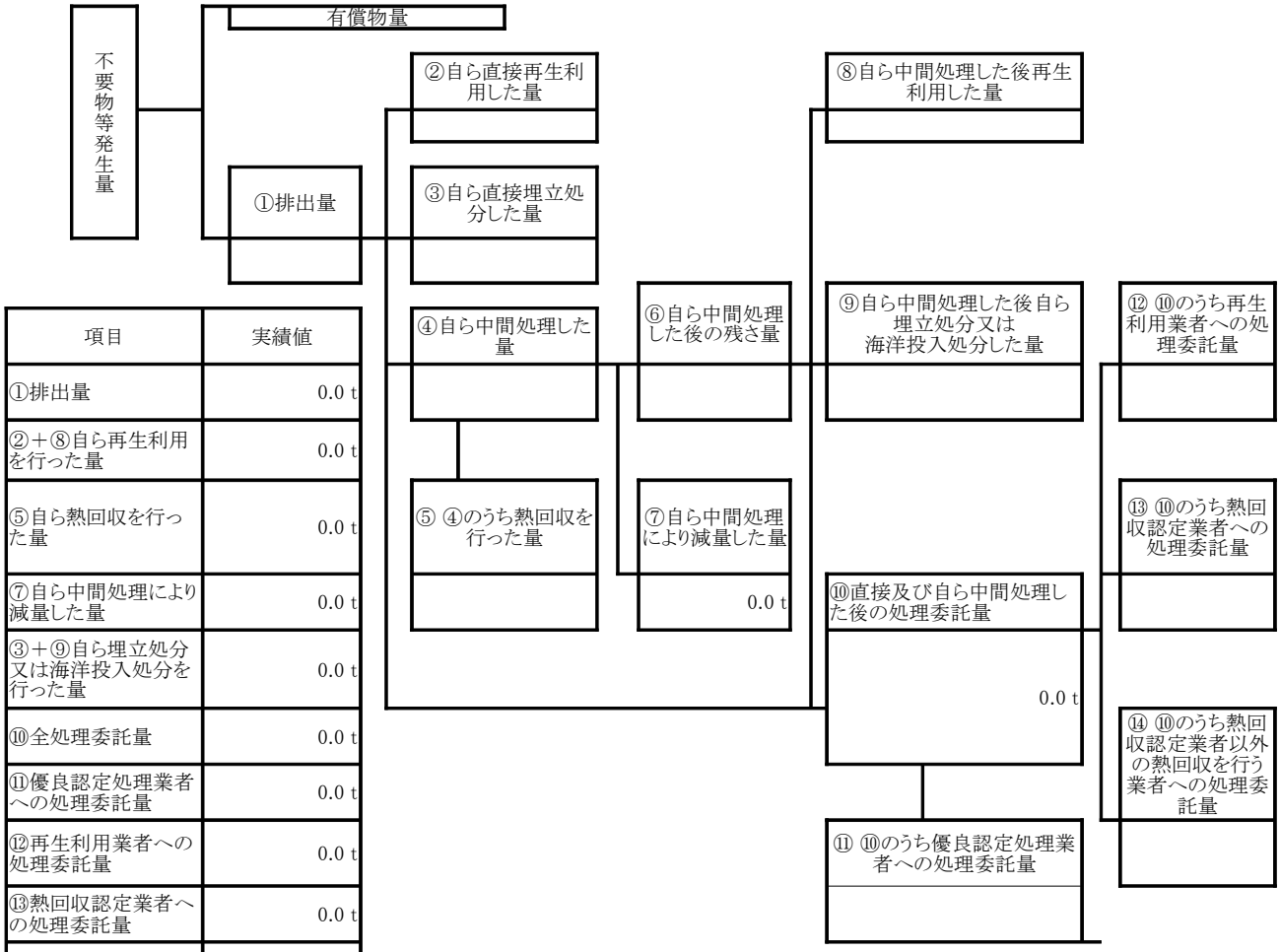
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

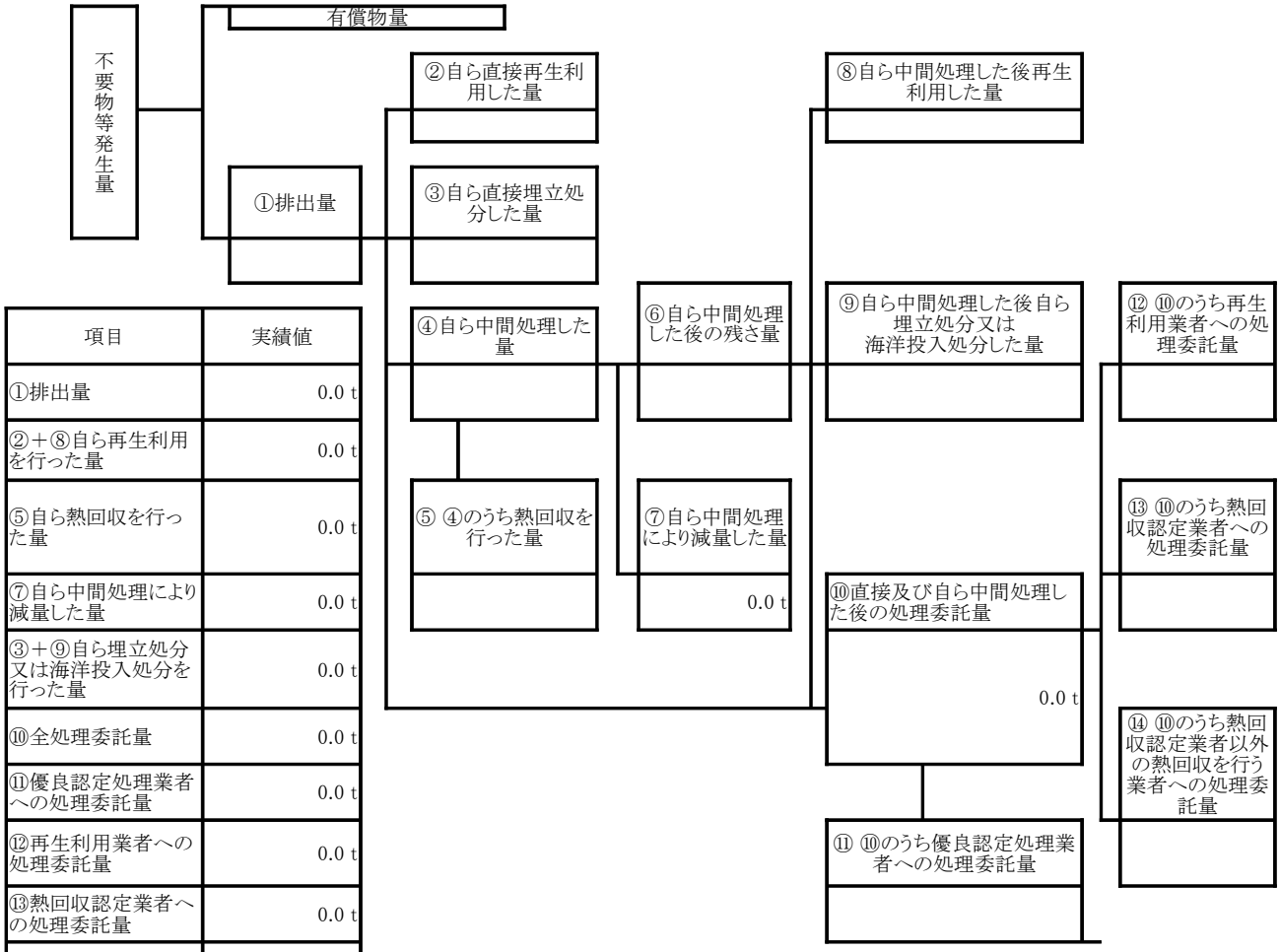


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

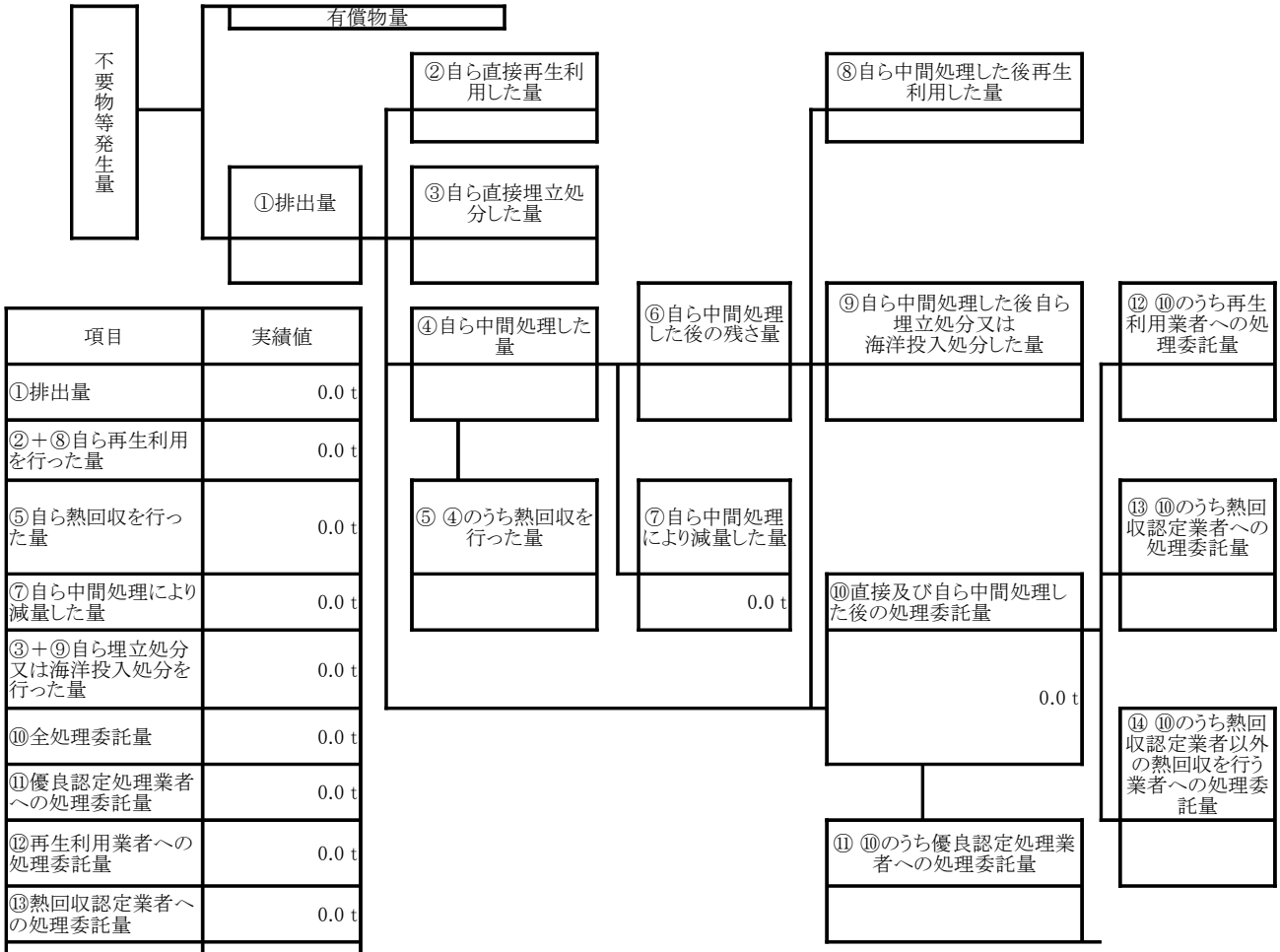


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

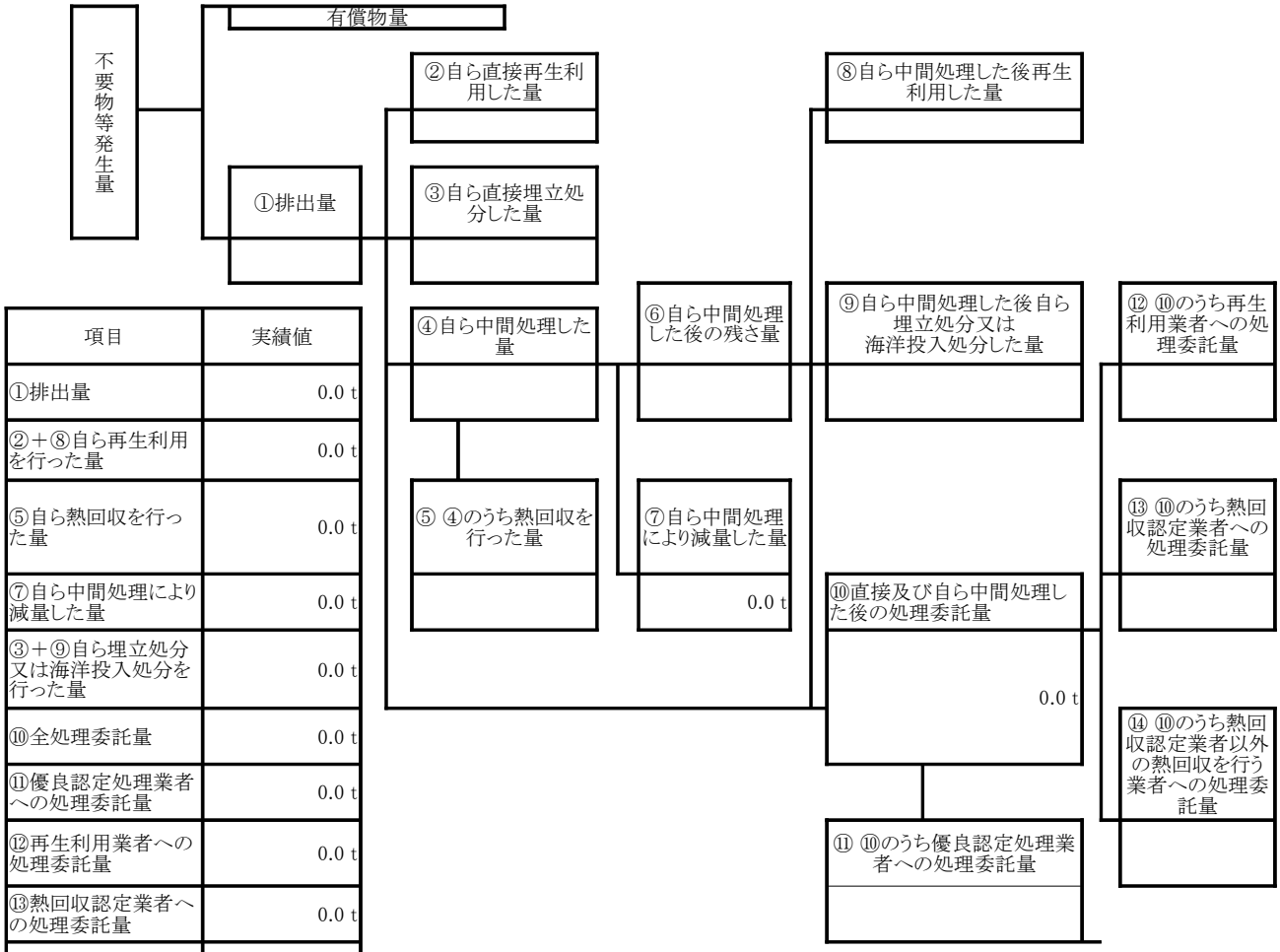


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

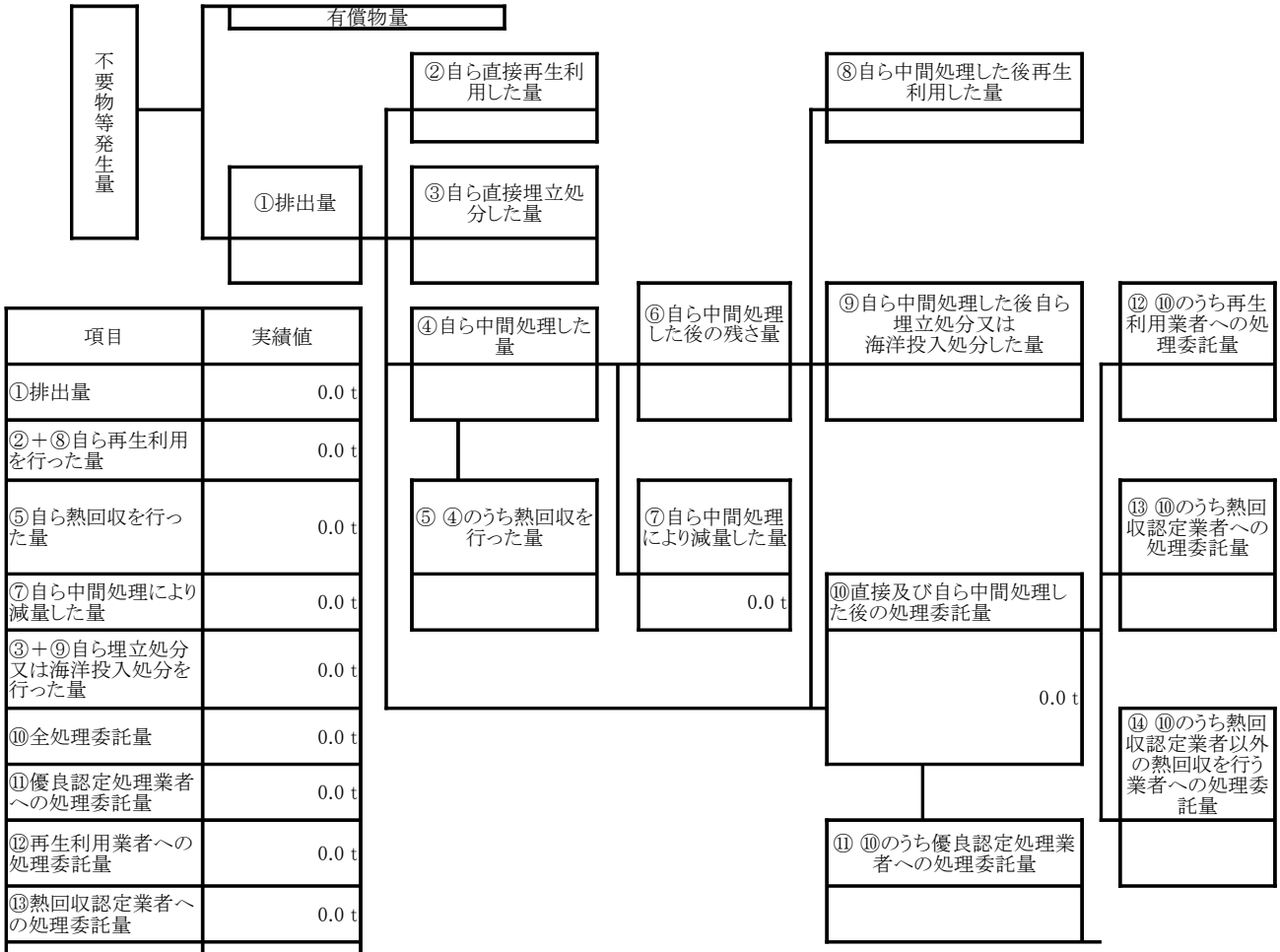


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月18日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖１４番地

法人名　ＮＣ東京ベイ株式会社

代表者　谷本 健二

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0438-62-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＮＣ東京ベイ株式会社
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖１４番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　中分類：　化学工業
②事業の規模	製造品出荷額　2,059百万円
③従業員数	43人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙（管理体制）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排出量	4272.9 t	22.5 t

（これまでに実施した取組）

排水処理工程の中和剤（炭カル）添加方法・量等見直しによる汚泥発生量の削減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
排出量	450 t	30 t

（今後実施する予定の取組）

排水処理工程の中和剤（炭カル）添加方法・量等見直しによる汚泥発生量の削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

汚泥・廃プラスチック類・木くず・がれき類・ガラスコンクリート陶磁器くず等分別。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

汚泥・廃プラスチック類・木くず・がれき類・ガラスコンクリート陶磁器くず等分別。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	418.1 t	0 t

（これまでに実施した取組）

汚泥について増量材としての販売。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1963.7 t	0 t

（これまでに実施した取組）

汚泥の脱水・乾燥により、汚泥発生量低減。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	200 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

汚泥の脱水・乾燥により、汚泥発生量低減。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

これまでなし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

これまでなし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類		汚泥	廃プラスチック
全処理委託量		1891 t	22.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	28.9 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	44 t	22.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

再生利用できるものは、再生利用業者に委託処理実施。
優良認定処理業者での処理実施。

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>廃プラスチック</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>250 t</td><td>30 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>10 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>20 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>0 t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
再生利用できるものは、再生利用業者に委託処理検討。
優良認定処理業者での処理検討。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月　５日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒299-0266

住　所　千葉県袖ケ浦市北袖１４番地

氏　名　ＮＣ東京ベイ株式会社
代表取締役社長　　谷本　健二

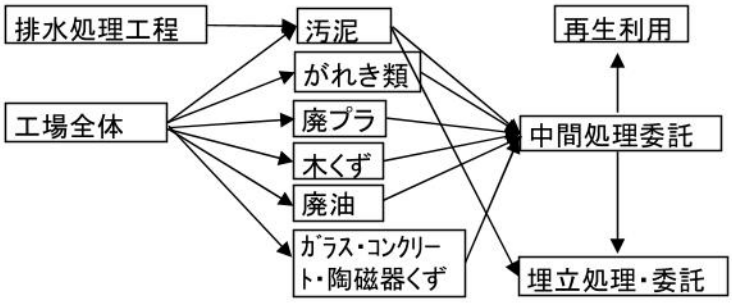
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４３８－６２－０６１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＮＣ東京ベイ株式会社
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖１４番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

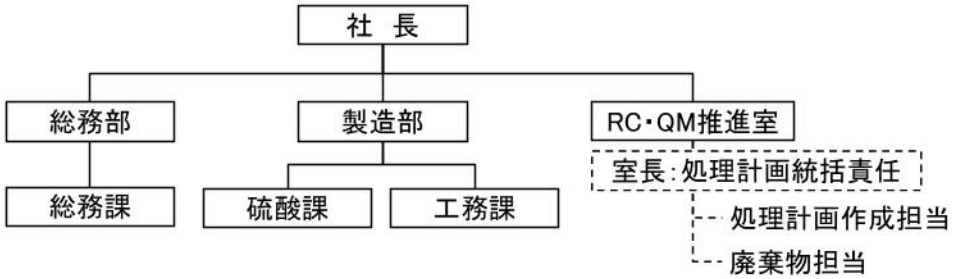
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E16－化学工業
② 事業の規模	製品出荷額　２０５９　百万円
③ 従業員数	４３人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	4272.9　t	22.5　t

（これまでに実施した取組）
　排水処理工程の中和剤（炭カル）添加方法・量等見直しによる汚泥発生量の削減。

②計画

【目標】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	450.0　t	30.0　t

（今後実施する予定の取組）
　排水処理工程の中和剤（炭カル）添加方法・量等見直しによる汚泥発生量の削減。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
　汚泥・廃プラスチック類・木くず・がれき類・ガラスコンクリート陶磁器くず
等分別。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
　汚泥・廃プラスチック類・木くず・がれき類・ガラスコンクリート陶磁器くず
等分別。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	418.1 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

・汚泥について増量材としての販売。

②計画

【目標】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

・なし

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1963.7 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

汚泥の脱水・乾燥により、汚泥発生量低減。

②計画

【目標】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	200.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

汚泥の脱水・乾燥により、汚泥発生量低減。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

これまでなし。

②計画

【目標】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

これからもなし。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】　３種類目以降は別紙のとおり

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量	1891.0 t	22.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	28.9 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	44.0 t	22.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

再生利用できるものは、再生利用業者に委託処理実施。
優良認定処理業者での処理実施。

	②計画	【目標】	３種類目以降は別紙のとおり		
		産業廃棄物の種類＿		汚泥	廃プラスチック類
		全処理委託量＿		250.0 t	30.0 t
			優良認定処理業者への処理委託量	10.0 t	0.0 t
			再生利用業者への処理委託量	0.0 t	20.0 t
			認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
		（今後実施する予定の取組） 再生利用できるものは、再生利用業者に委託処理検討。 優良認定処理業者での処理検討。			
※事務処理欄					

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		排　出　量	4.2 t	1.7 t	4.8 t	0.0 t	0.4 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		排　出　量	10.0 t	5.0 t	50.0 t	5.0 t	1.0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
	全処理委託量	4.2 t	1.7 t	4.8 t	0.0 t	0.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.2 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4.2 t	0.5 t	4.8 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器くず	がれき類	がれき類（石綿含有）	廃油			
	全処理委託量	10.0 t	5.0 t	50.0 t	5.0 t	1.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10.0 t	2.0 t	25.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0266

住所 千葉県袖ケ浦市北袖14番地

法人名 NC東京ベイ株式会社

代表者 谷本 健二

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0438-62-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	NC東京ベイ株式会社
事業場の所在地	千葉県袖ケ浦市北袖14番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 化学工業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

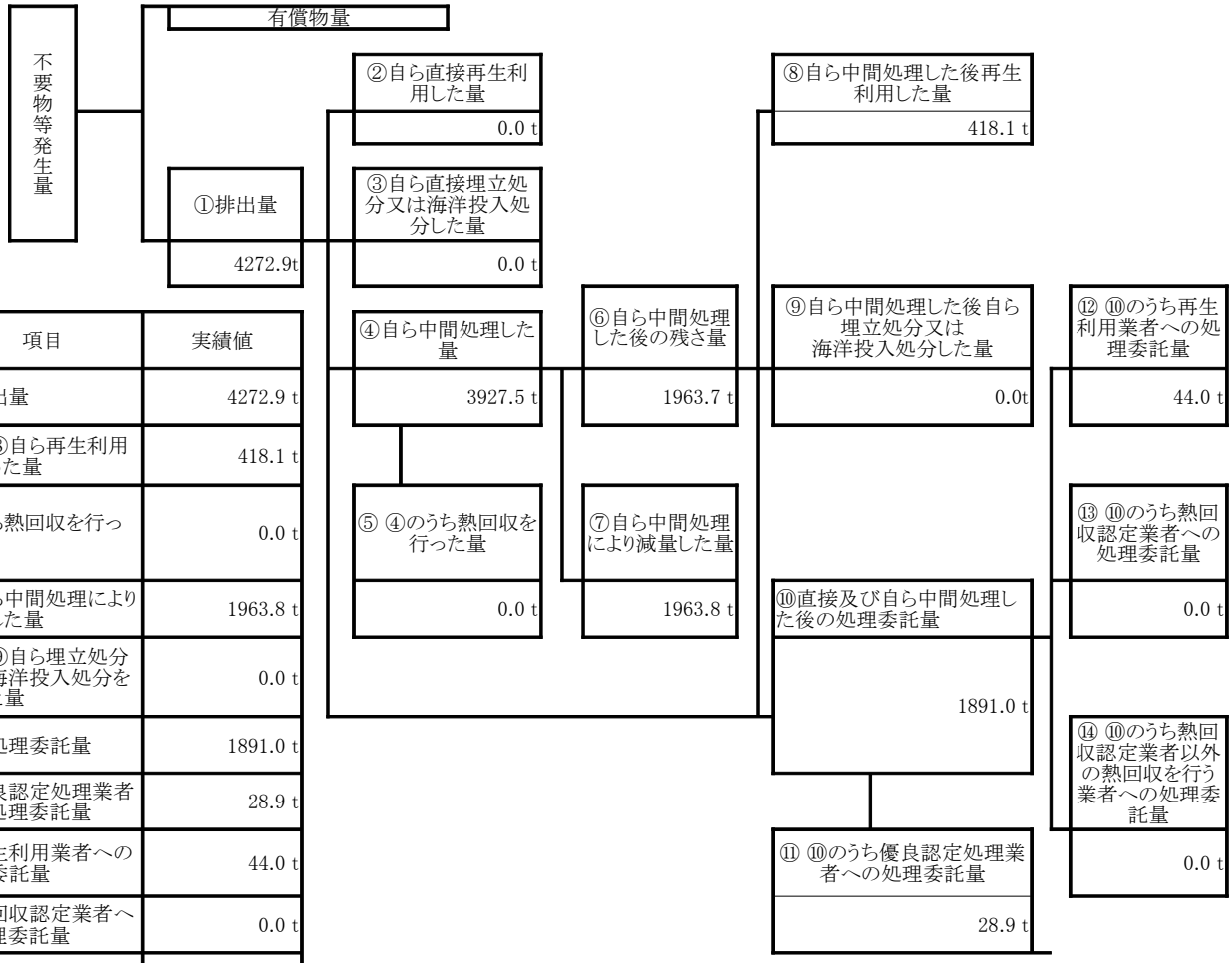
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5151 t	全処理委託量	1651 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2500 t	優良認定処理業者への処理委託量	50 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	132 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

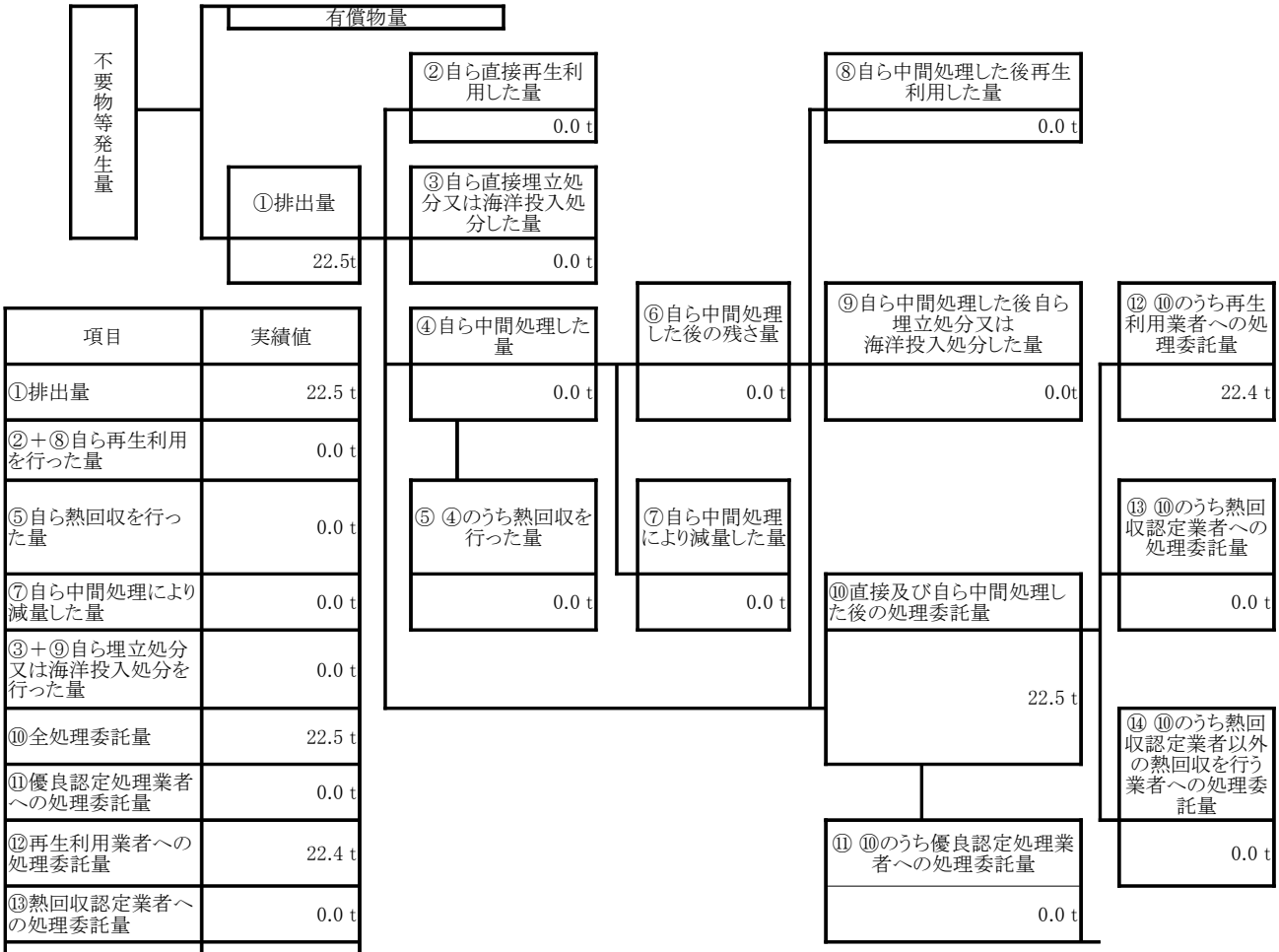


項目	実績値
①排出量	4272.9 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	418.1 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	1963.8 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1891.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	28.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**廃プラスチック類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

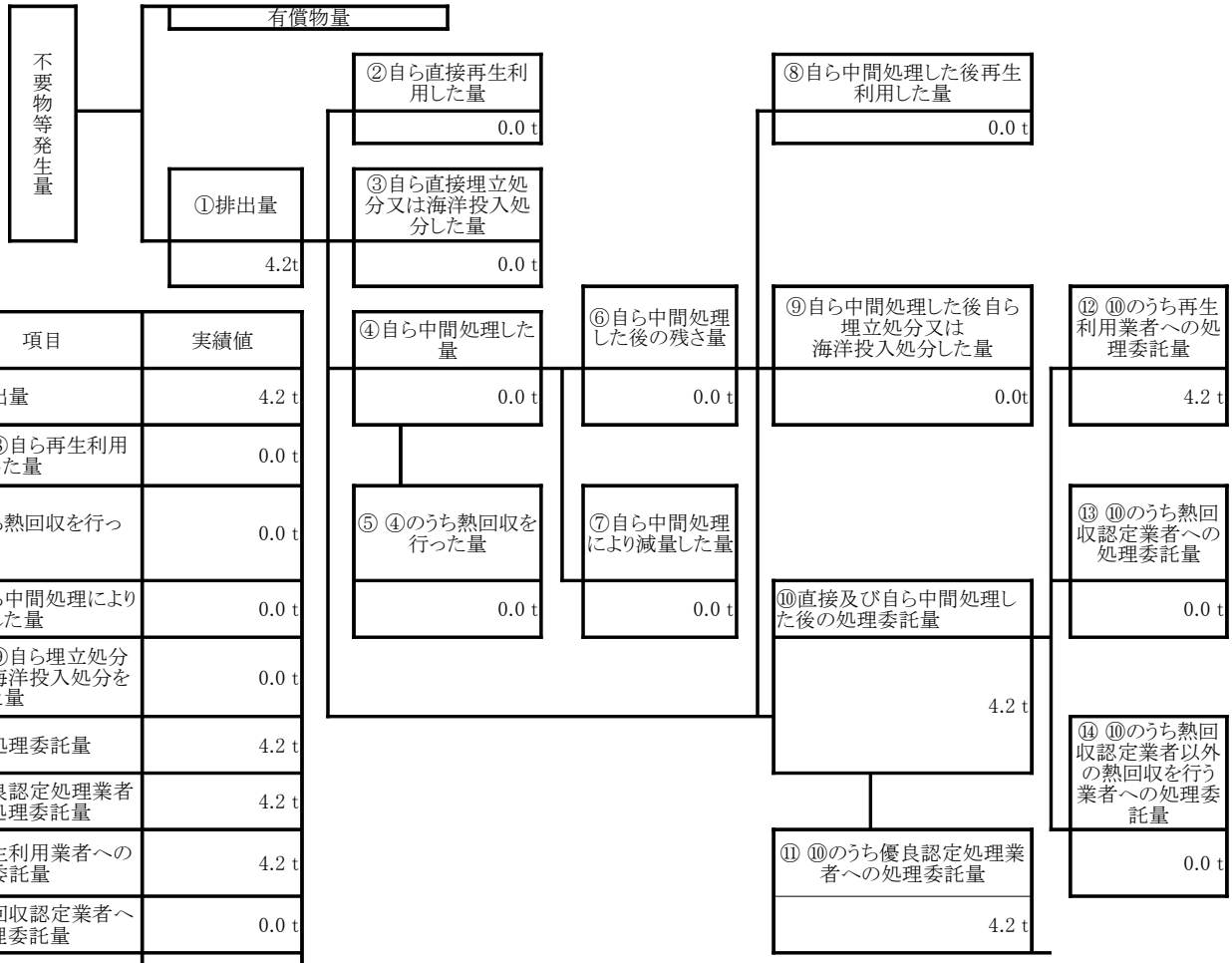


項目	実績値
①排出量	22.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　木くず　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

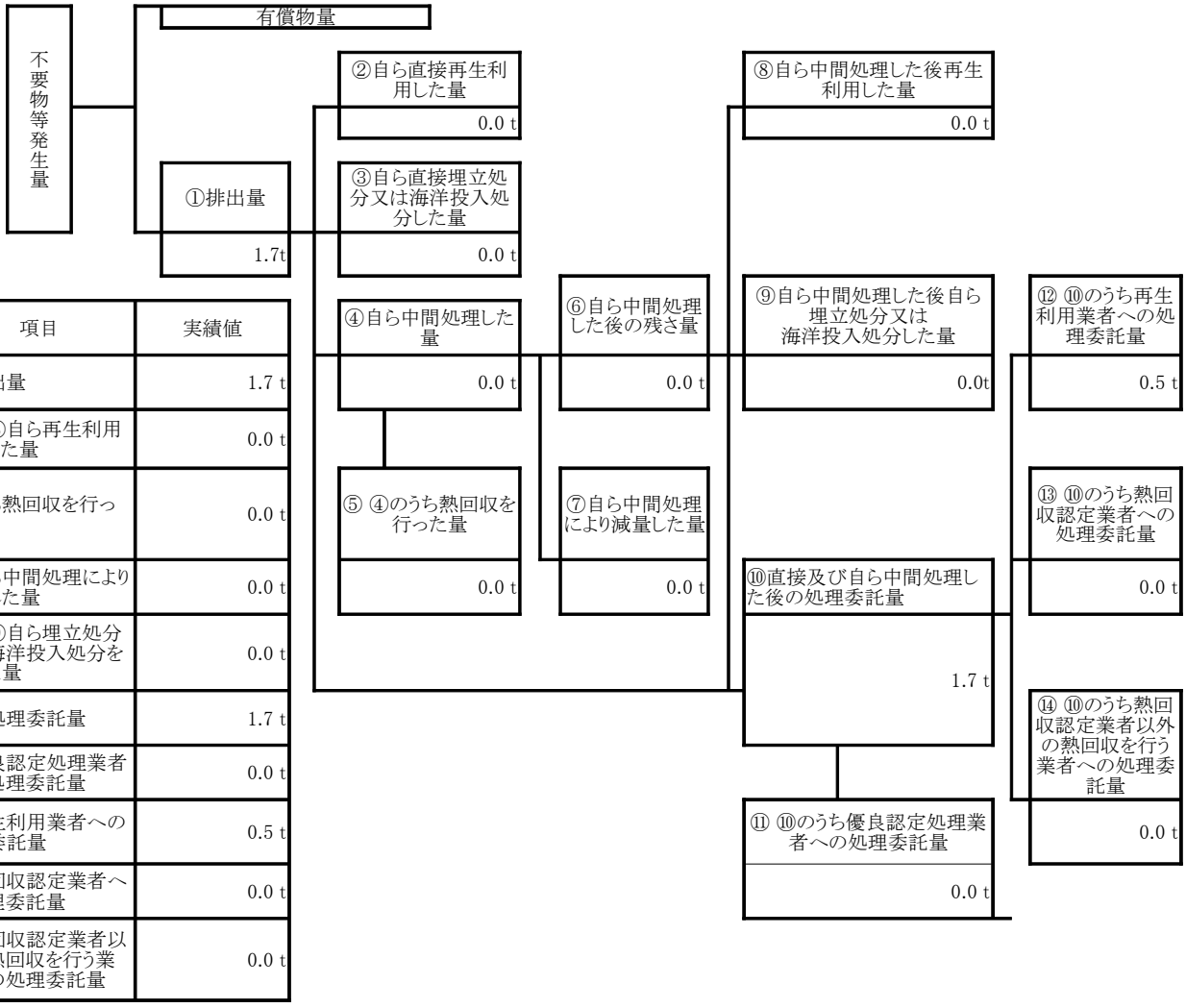


項目	実績値
①排出量	4.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**ガラス・コンクリート・陶磁器くず** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

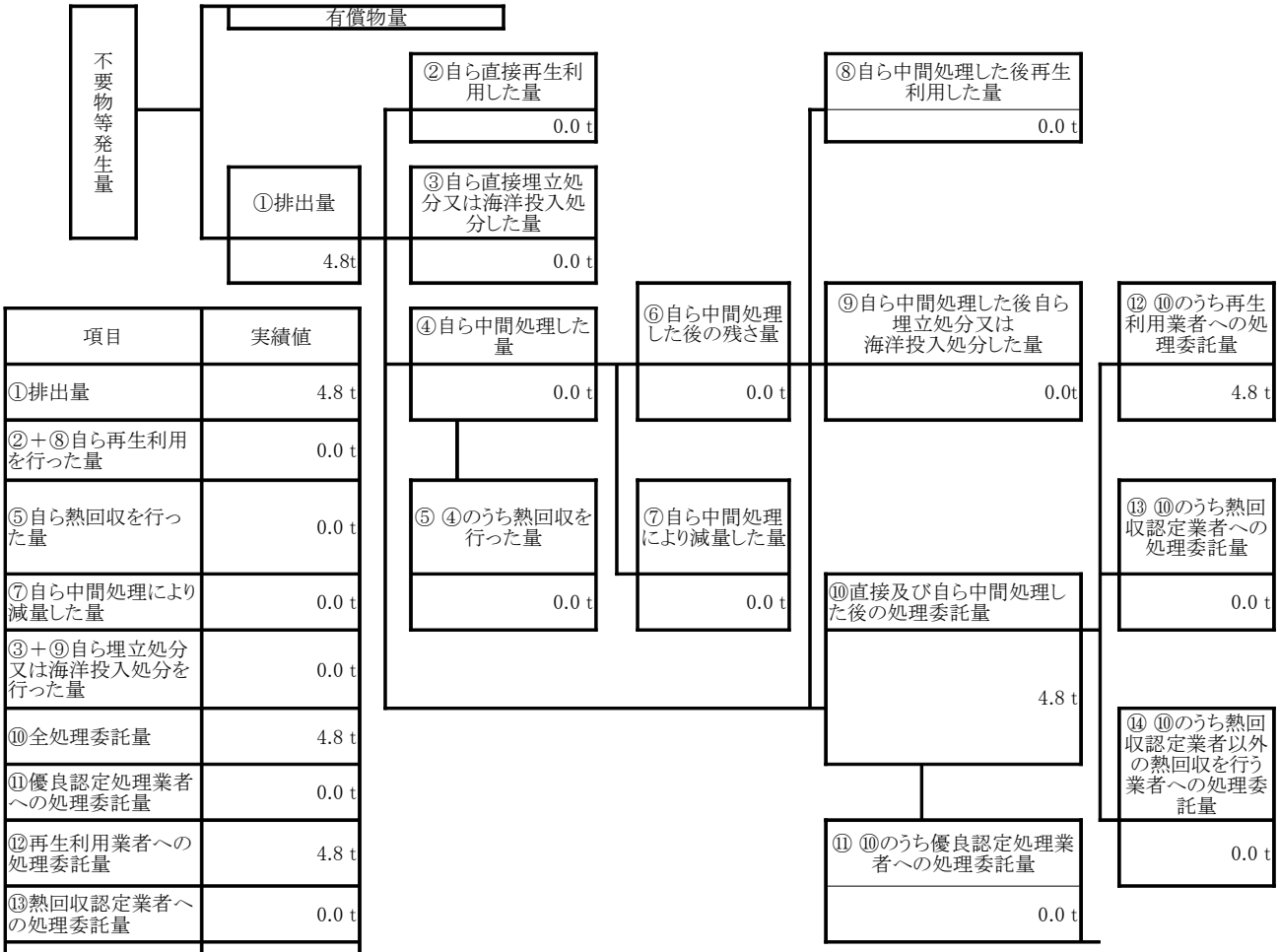


項目	実績値
①排出量	1.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

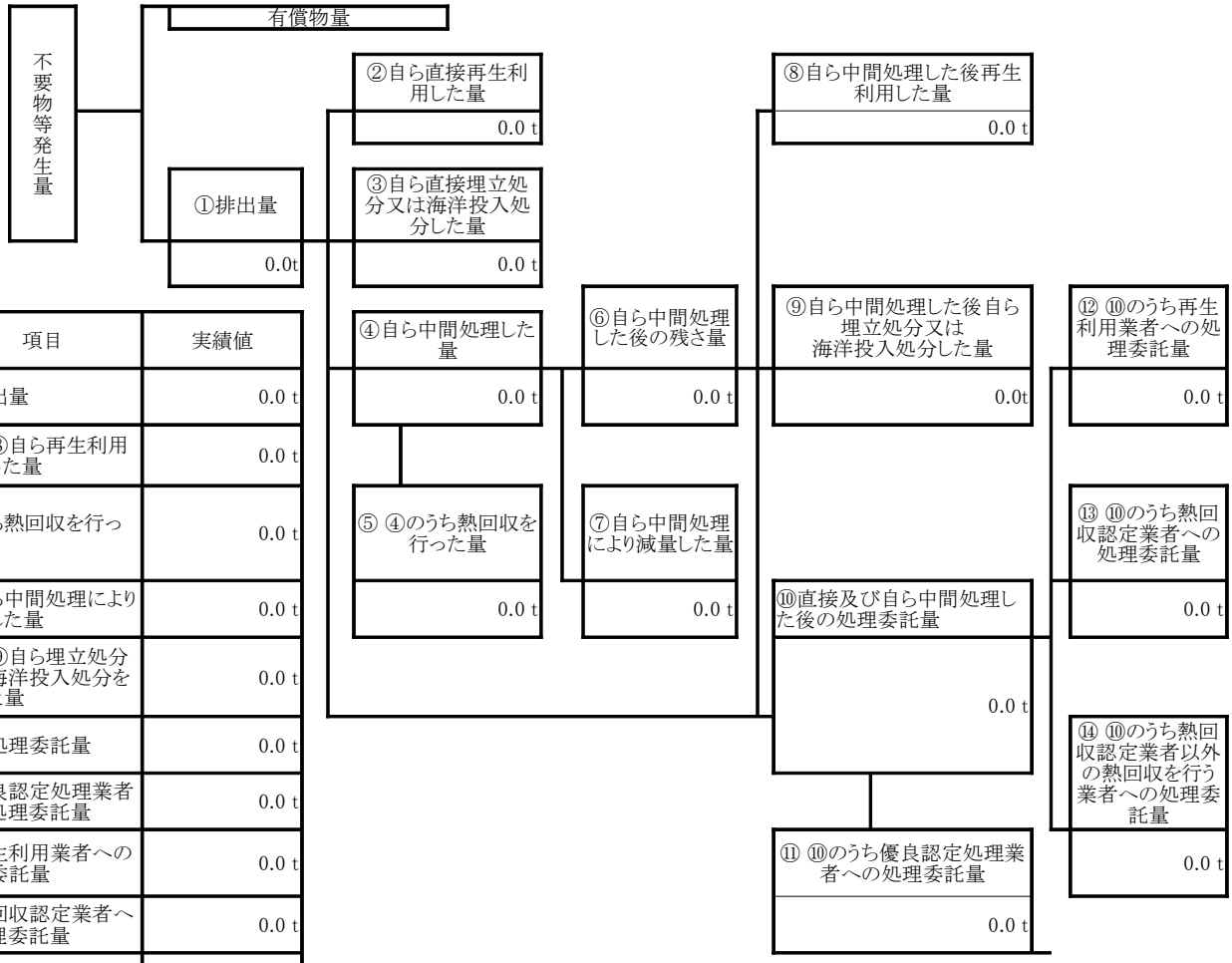


項目	実績値
①排出量	4.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類（石綿含有）**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

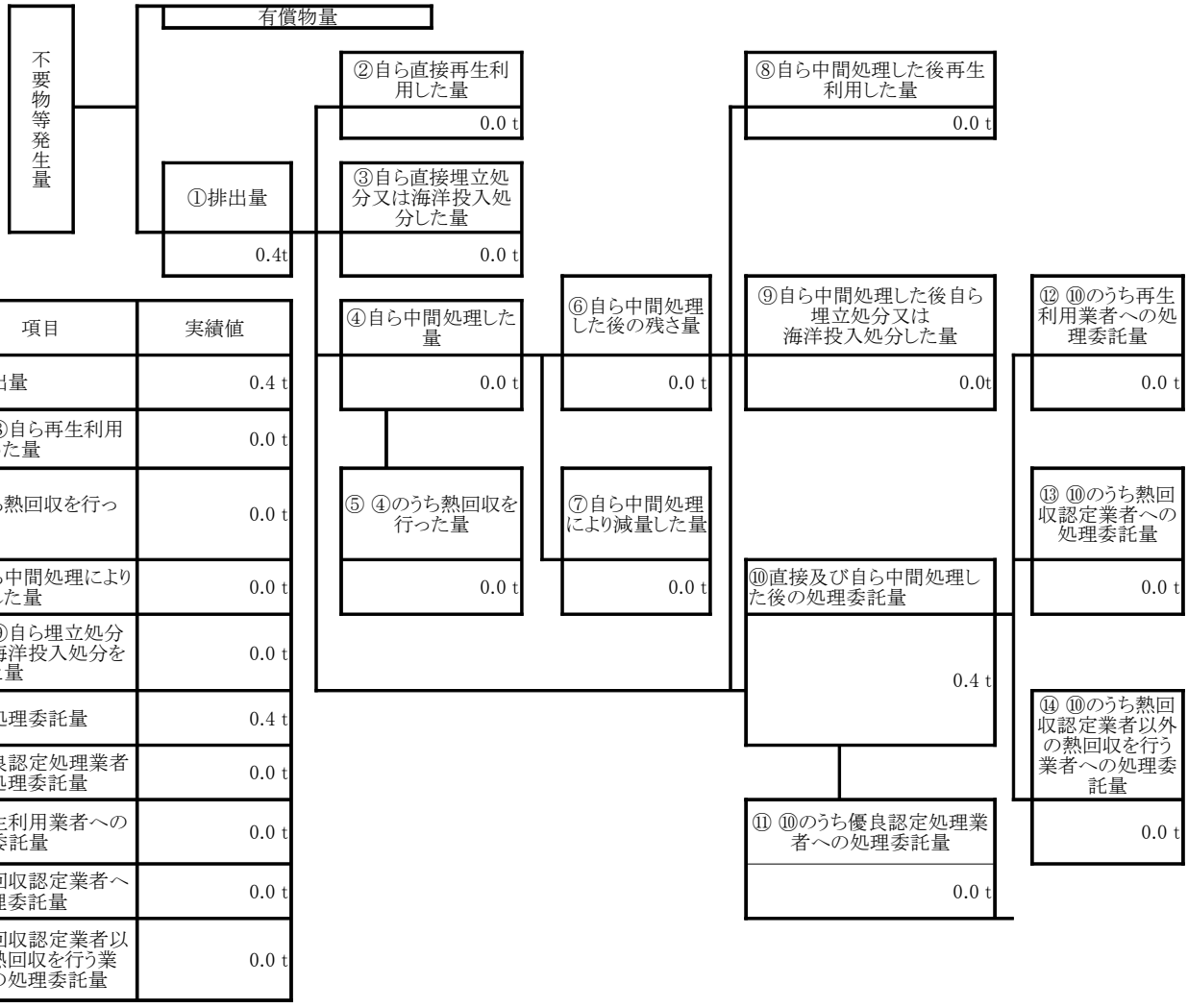


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

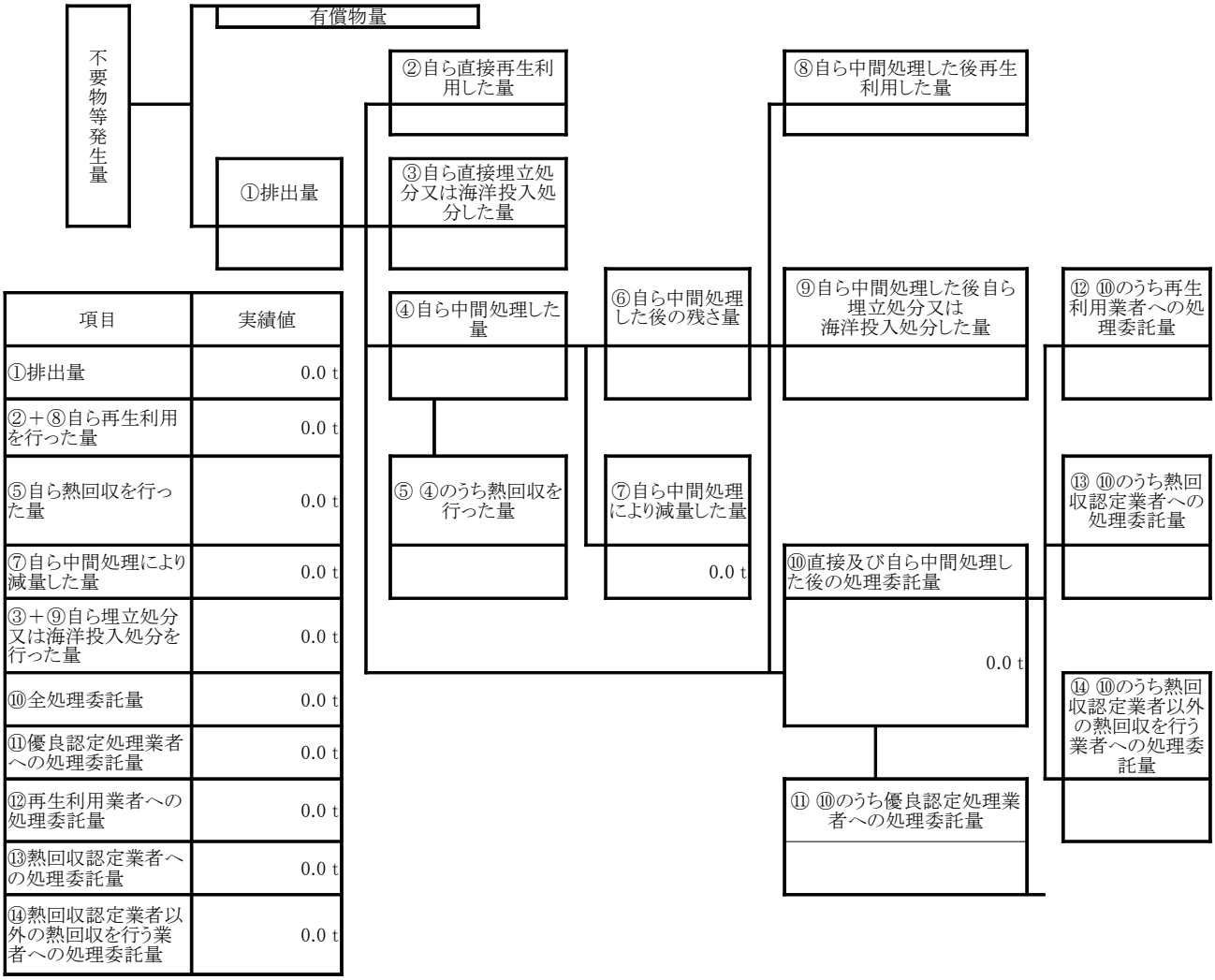


項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

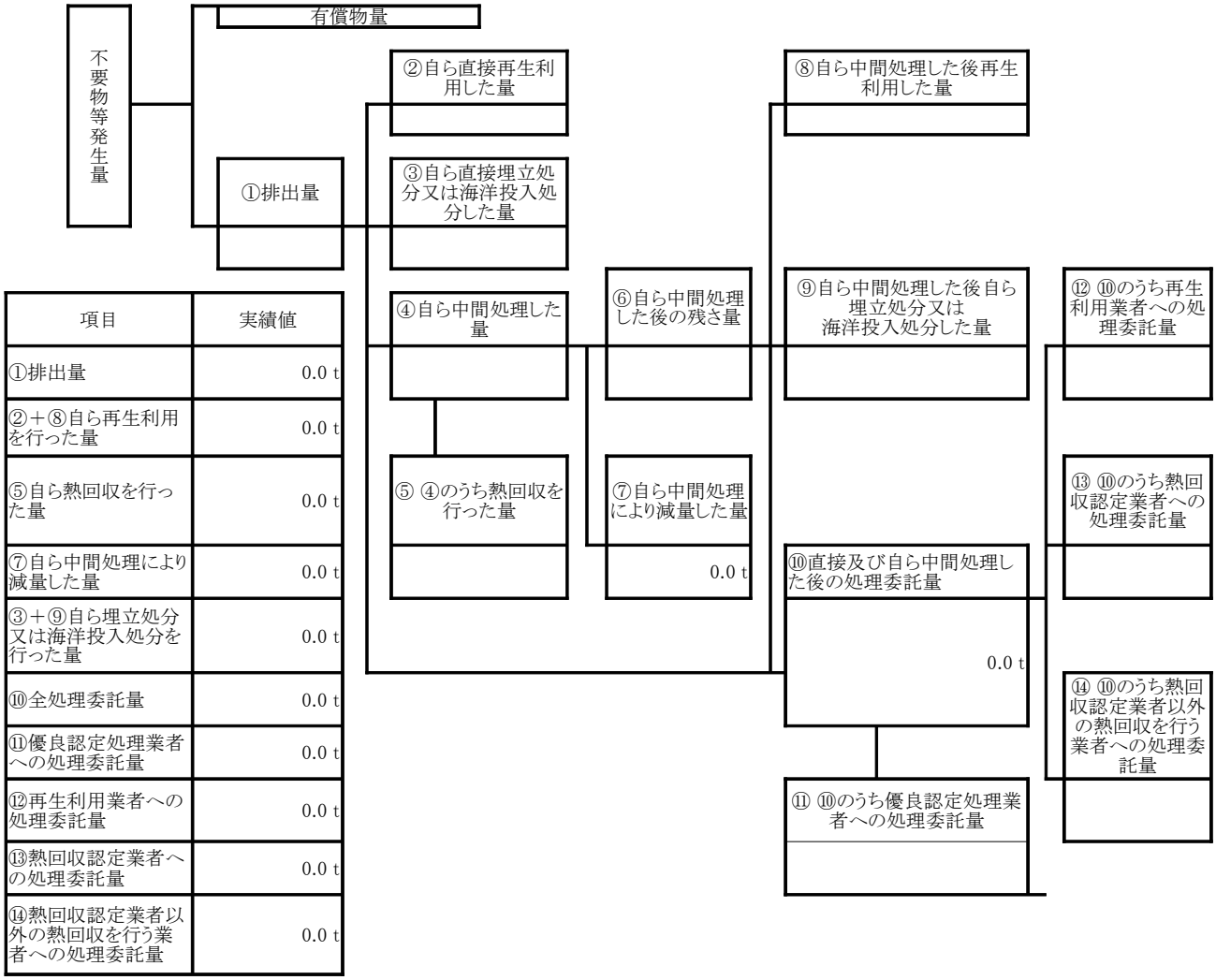


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



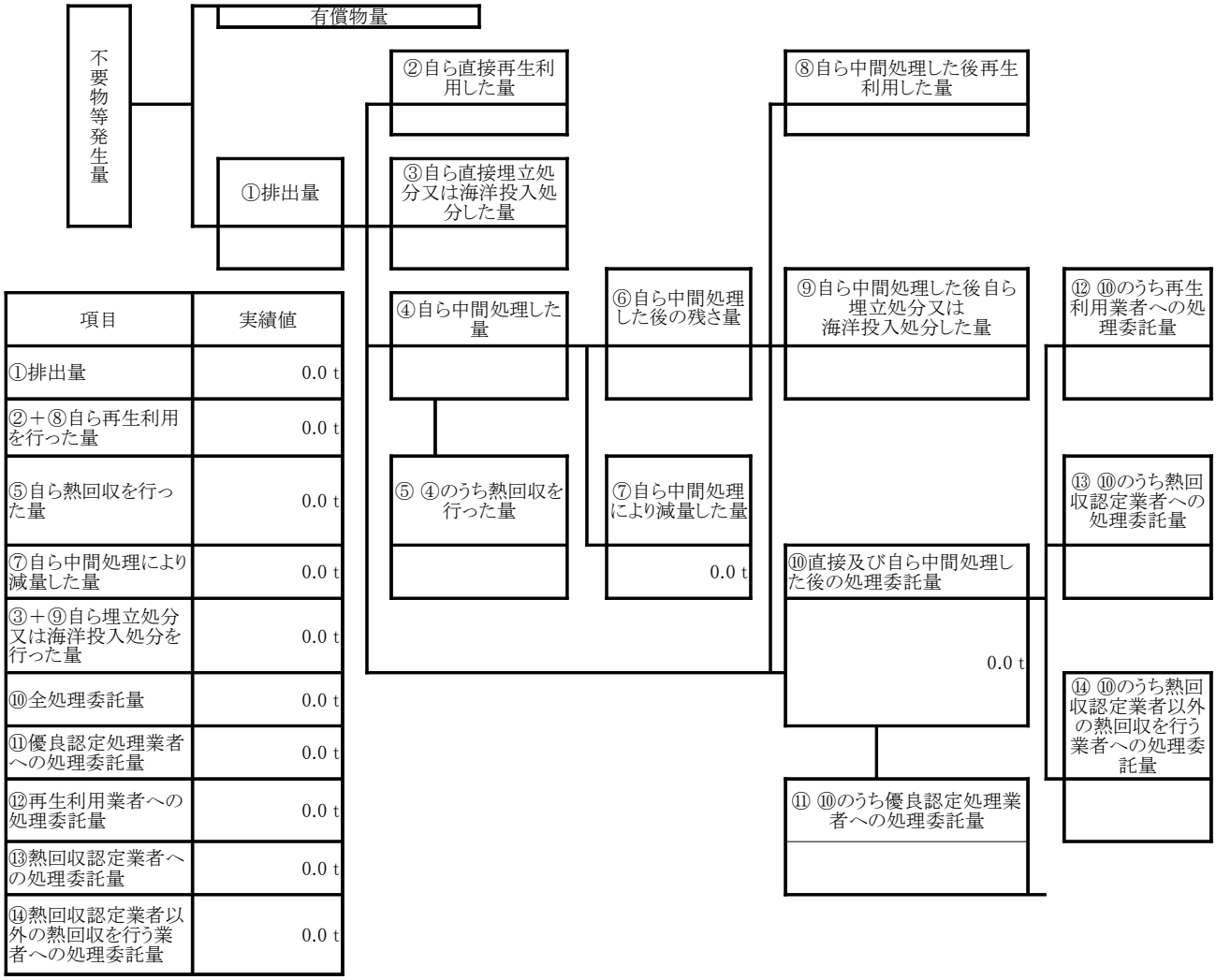
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

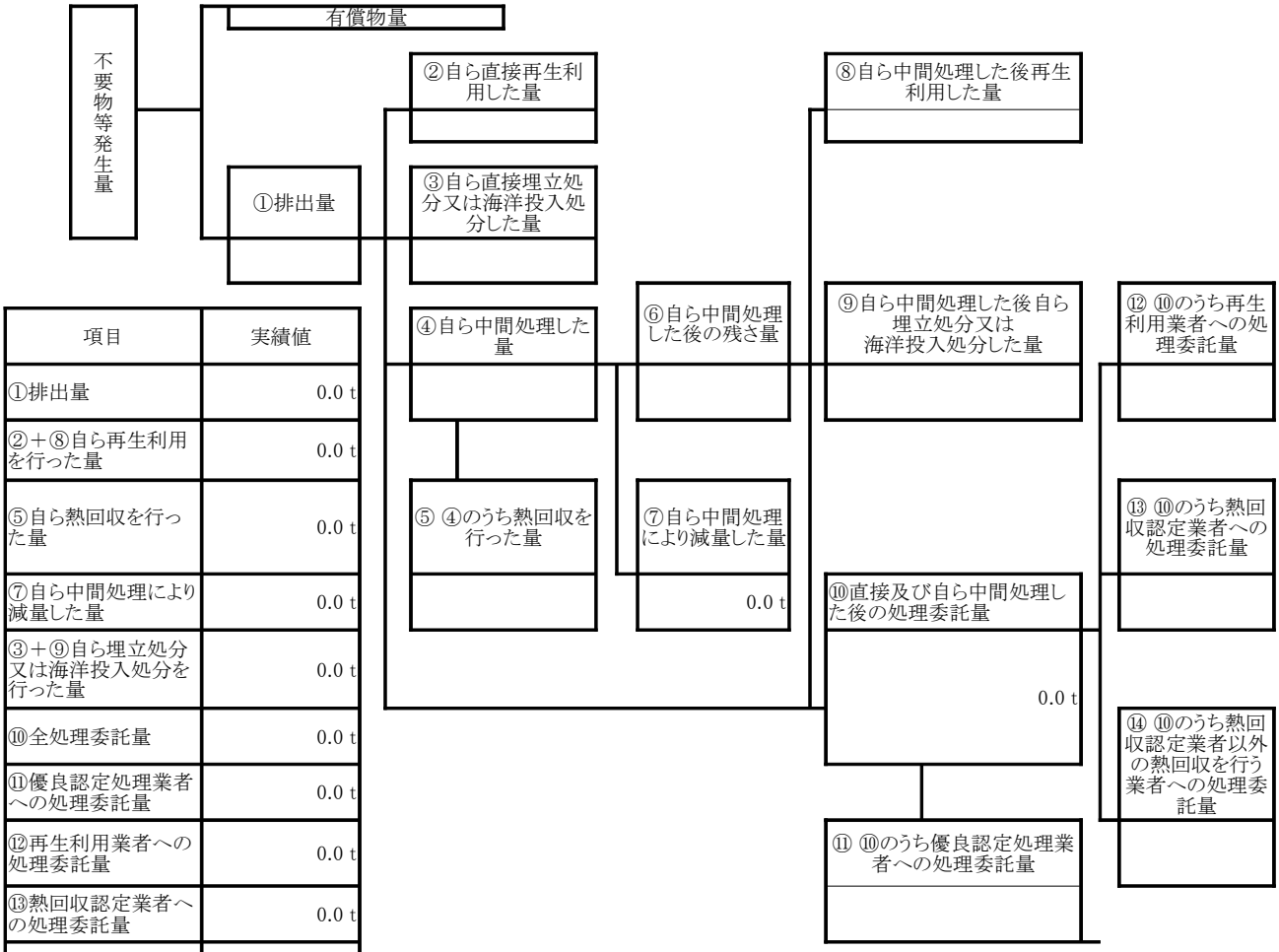


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



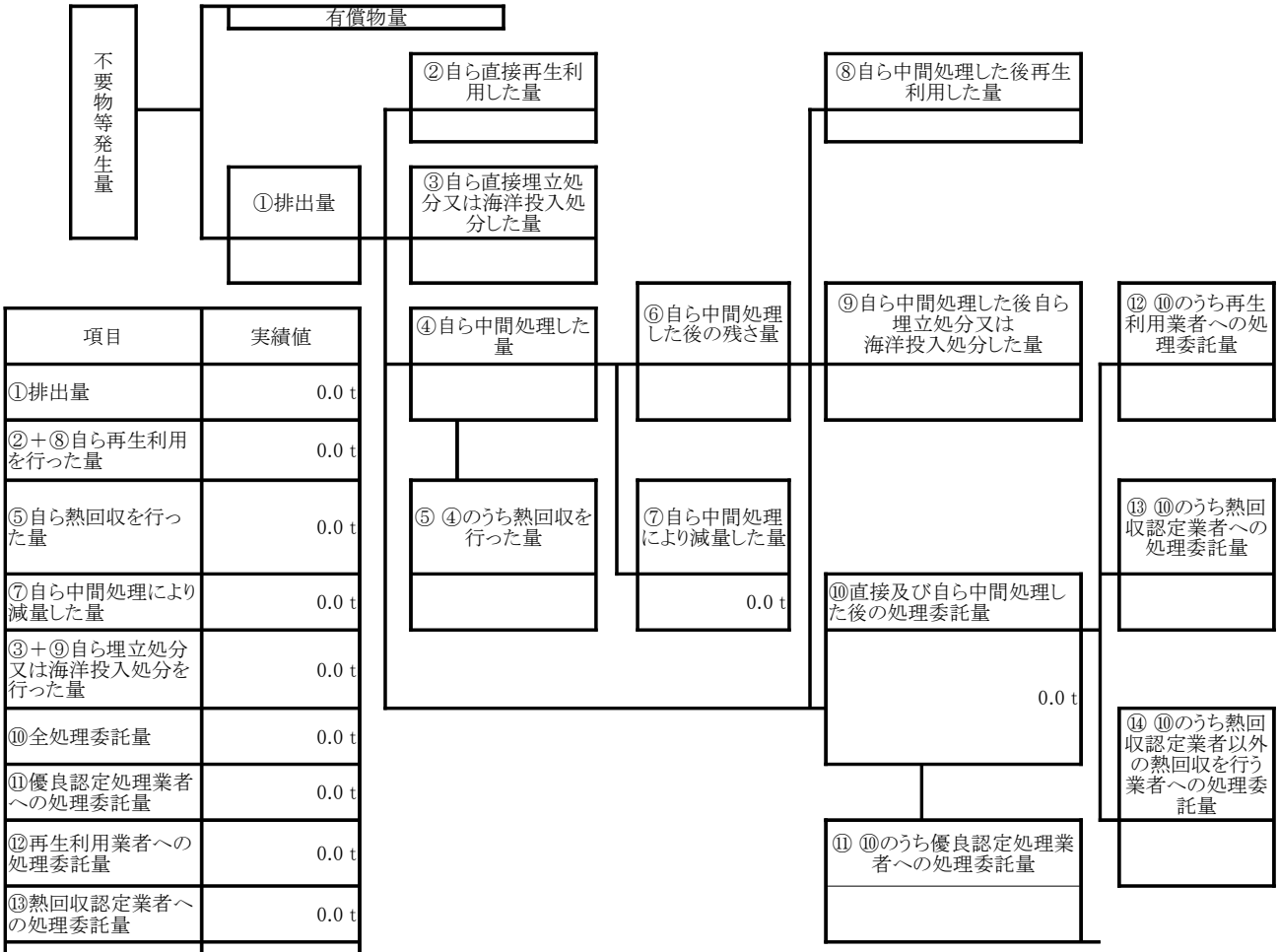
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



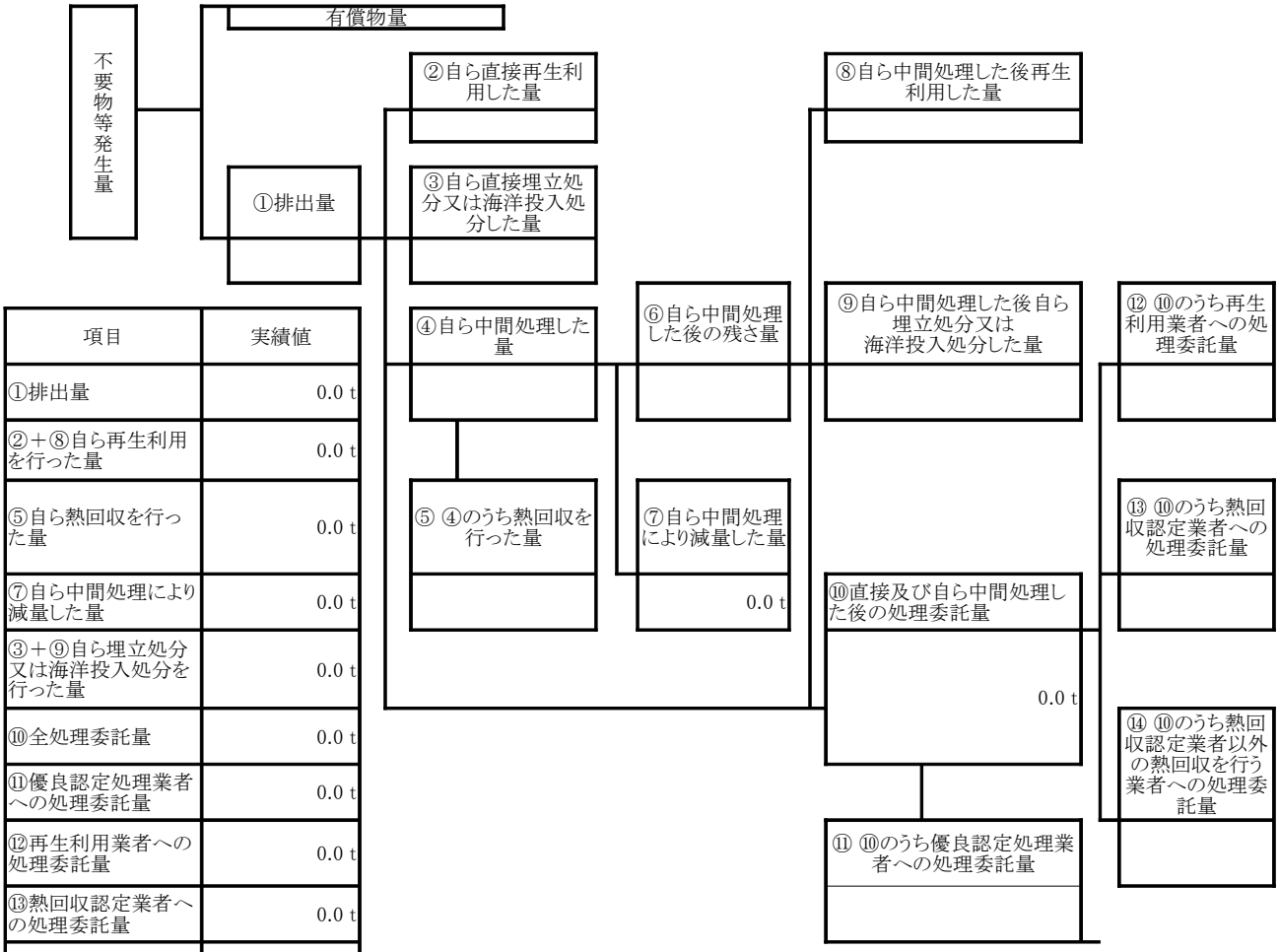
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

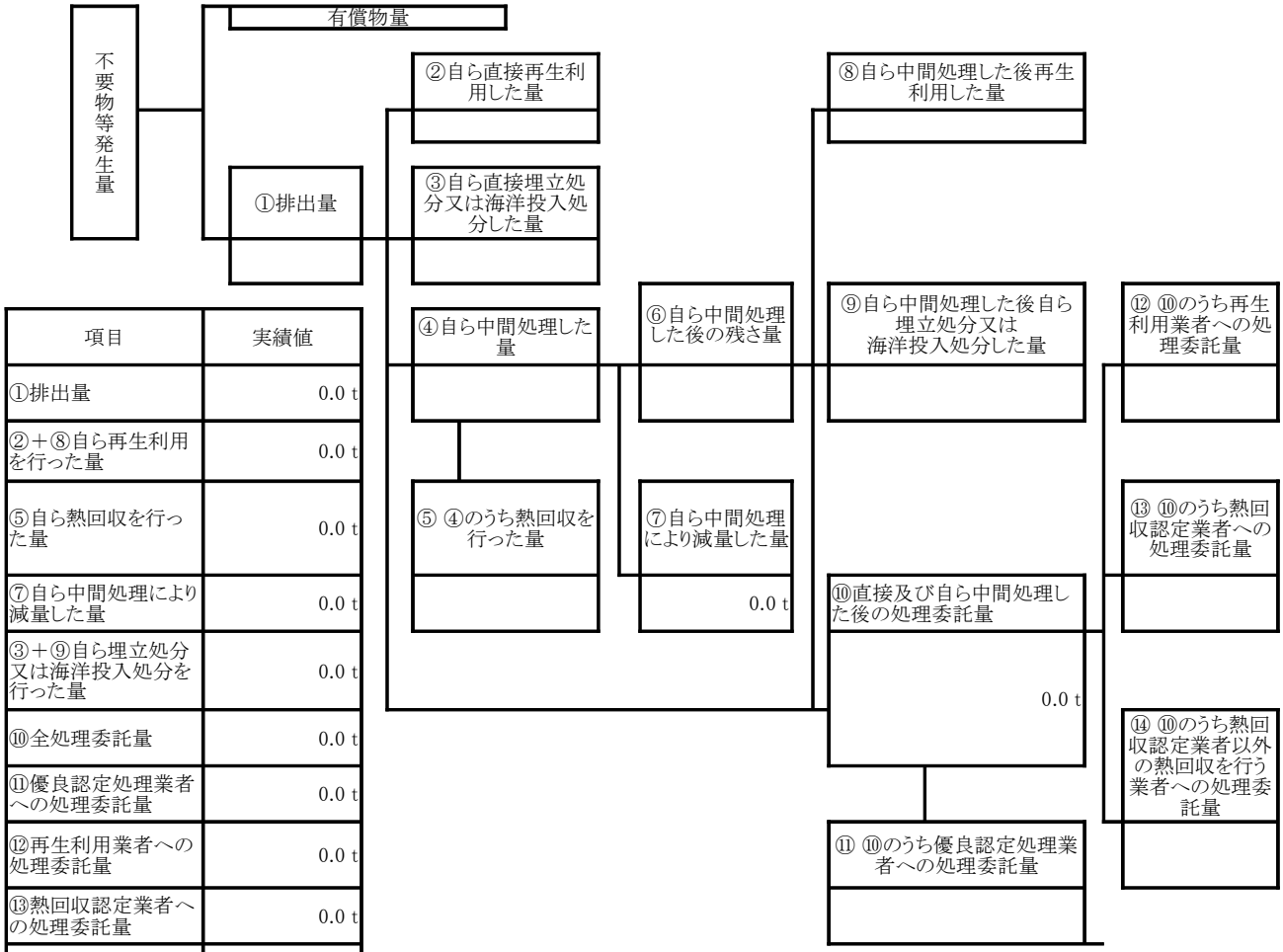


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



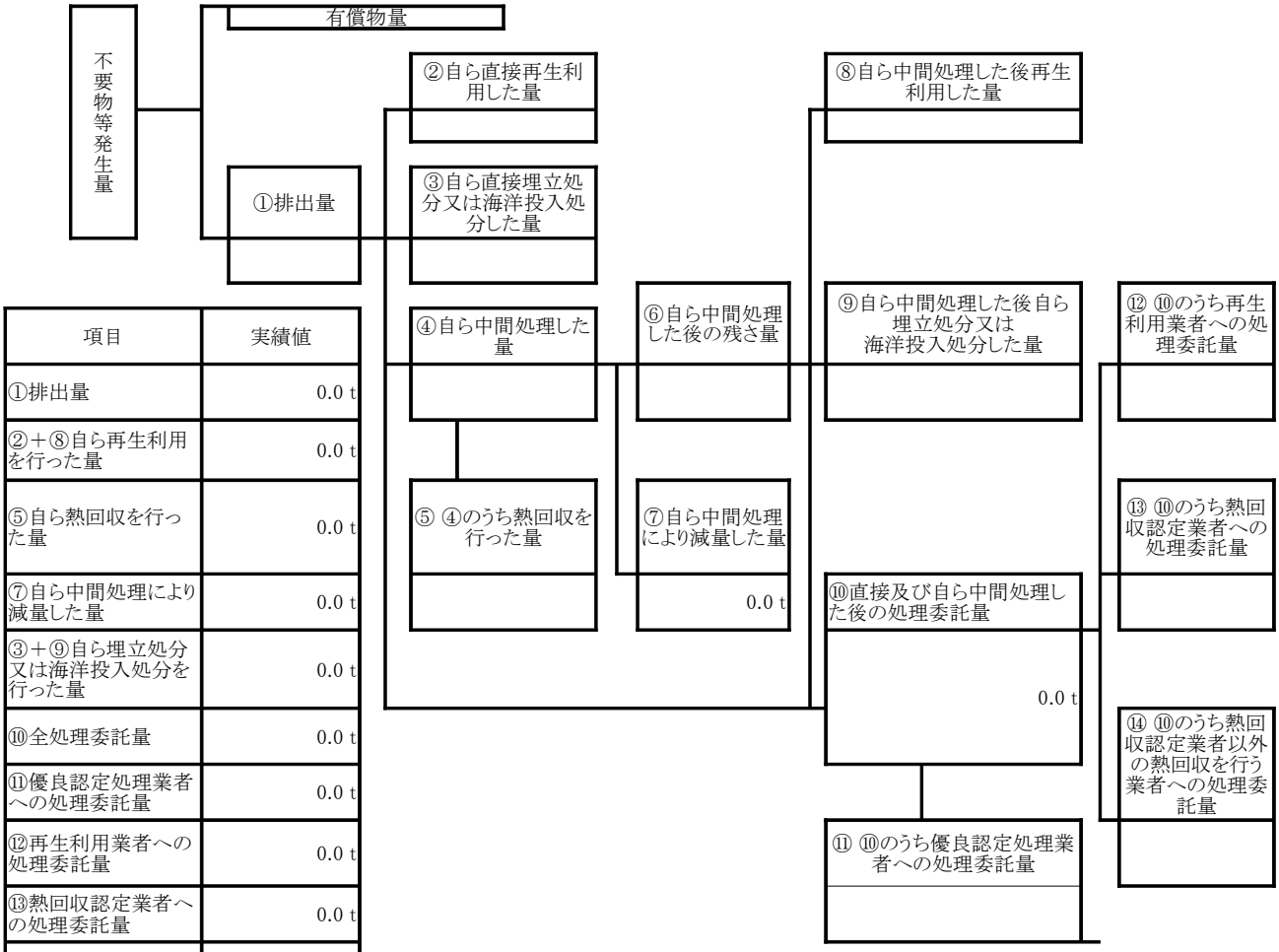
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

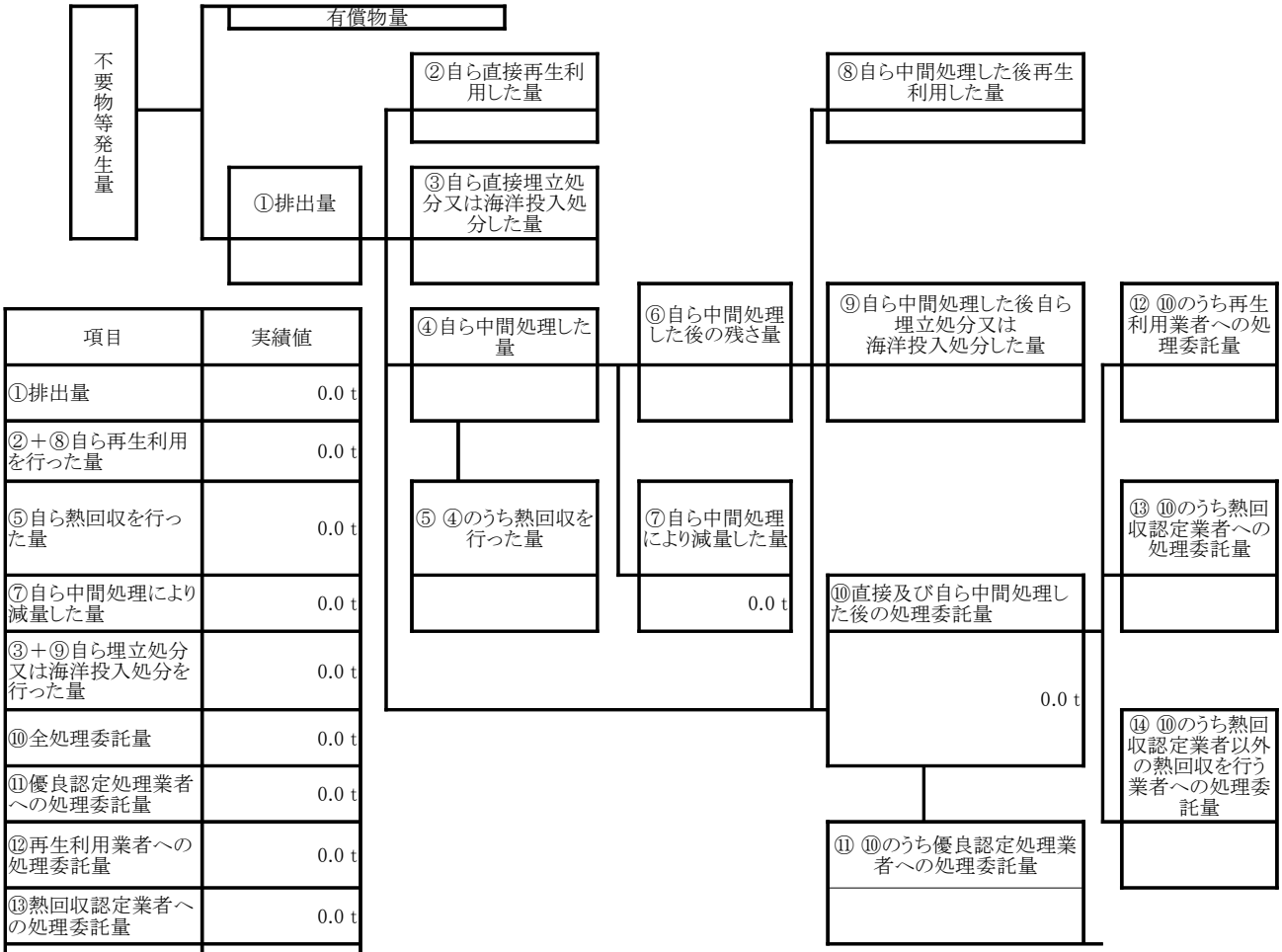


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

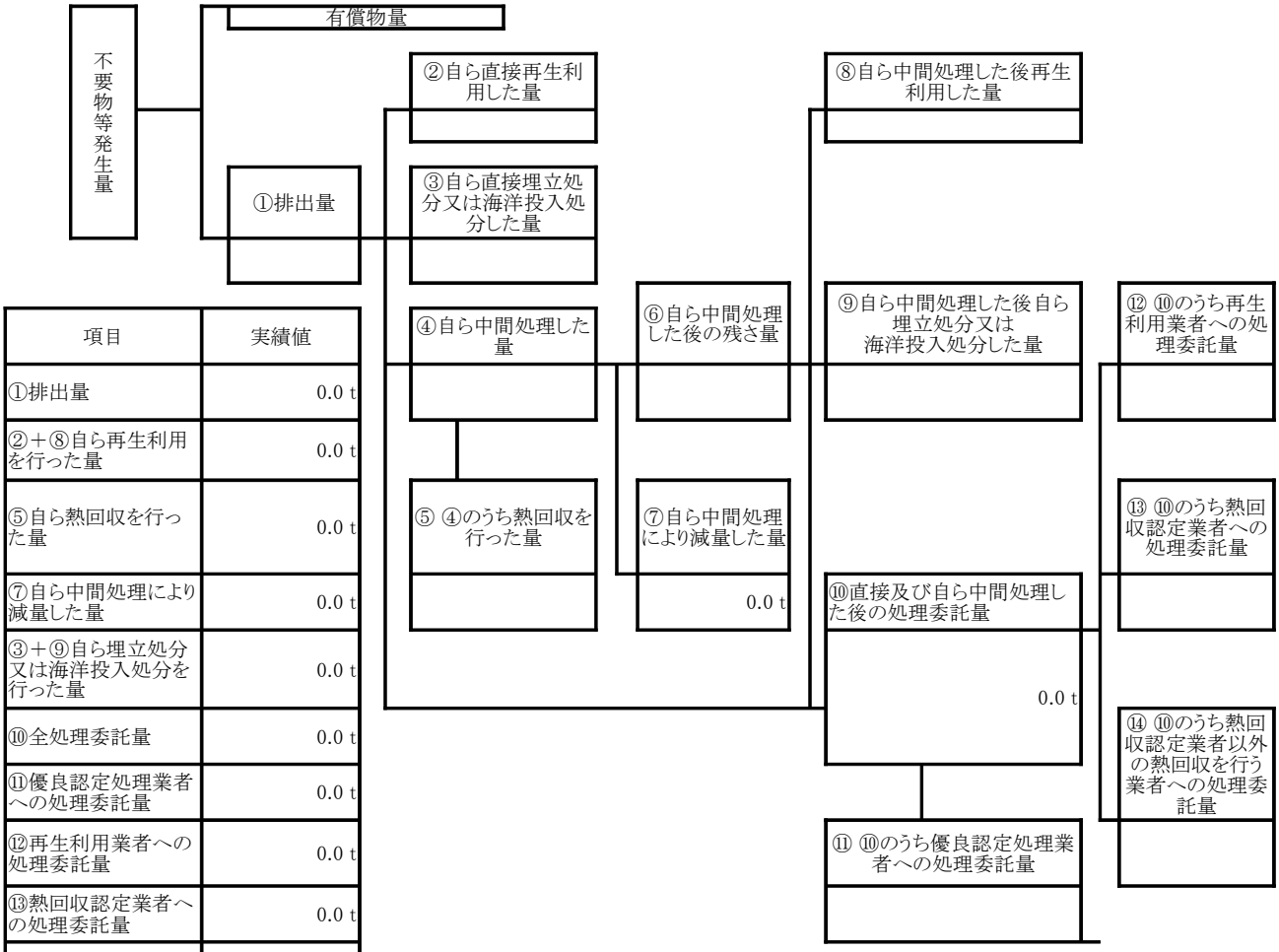


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



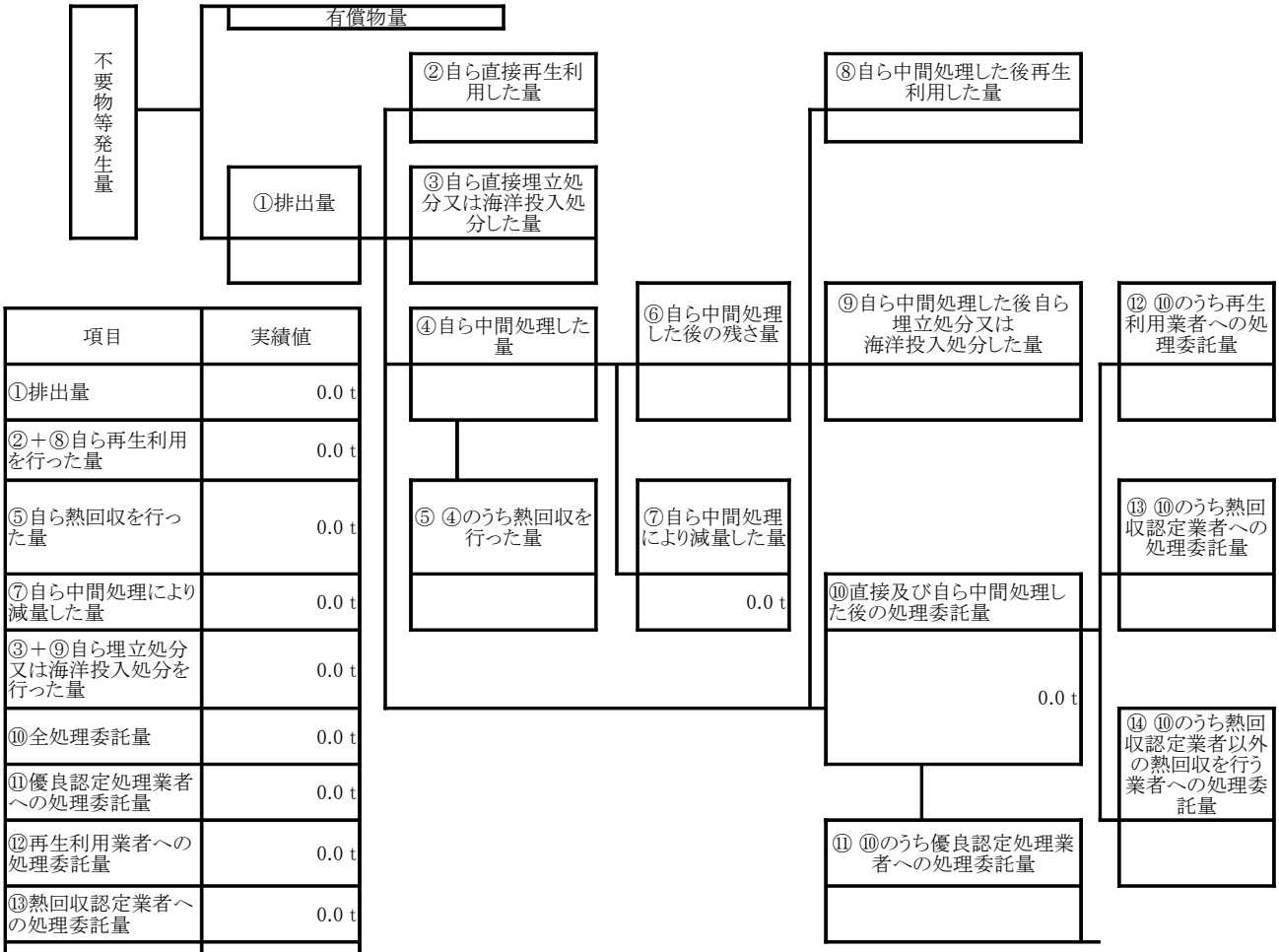
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

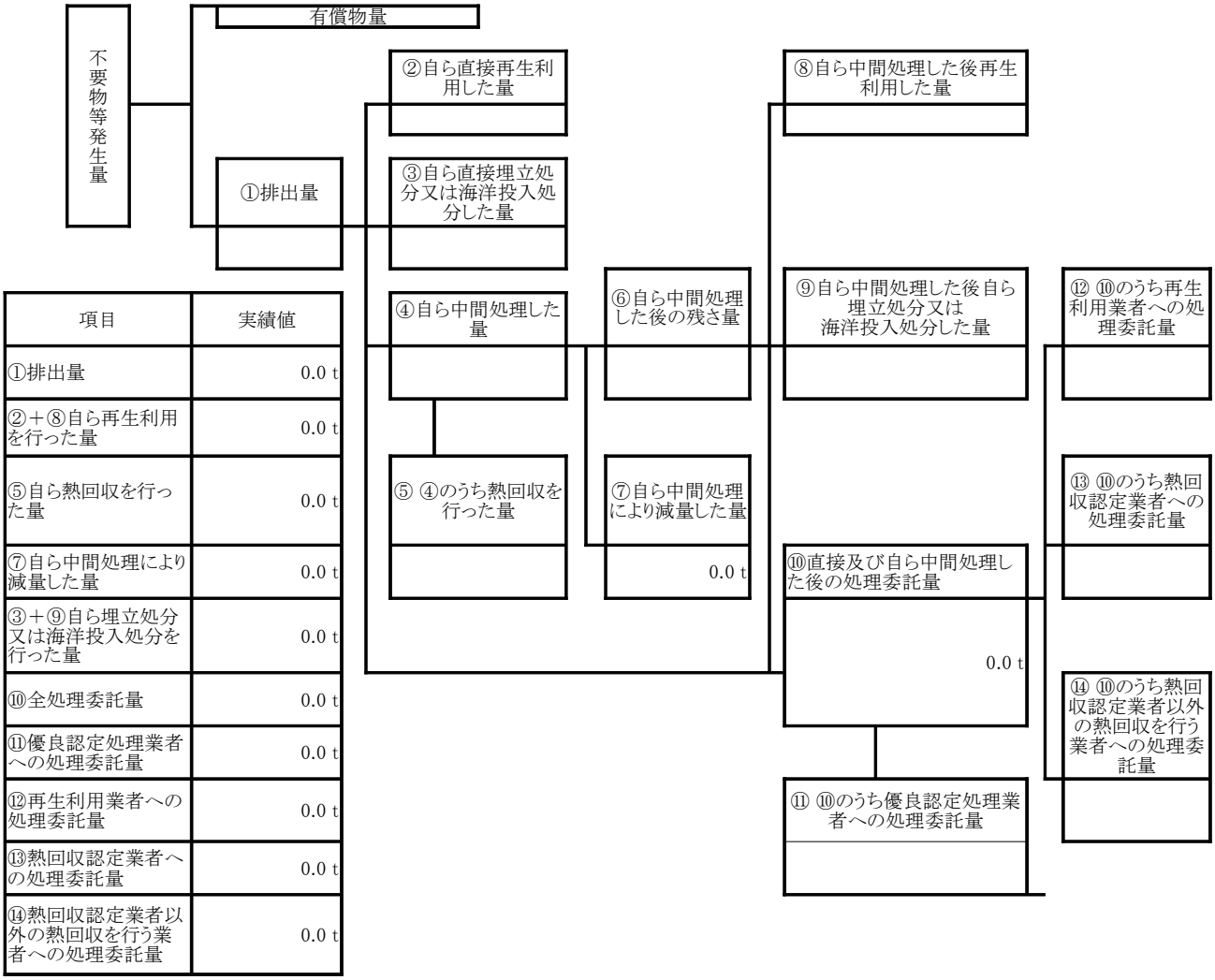


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

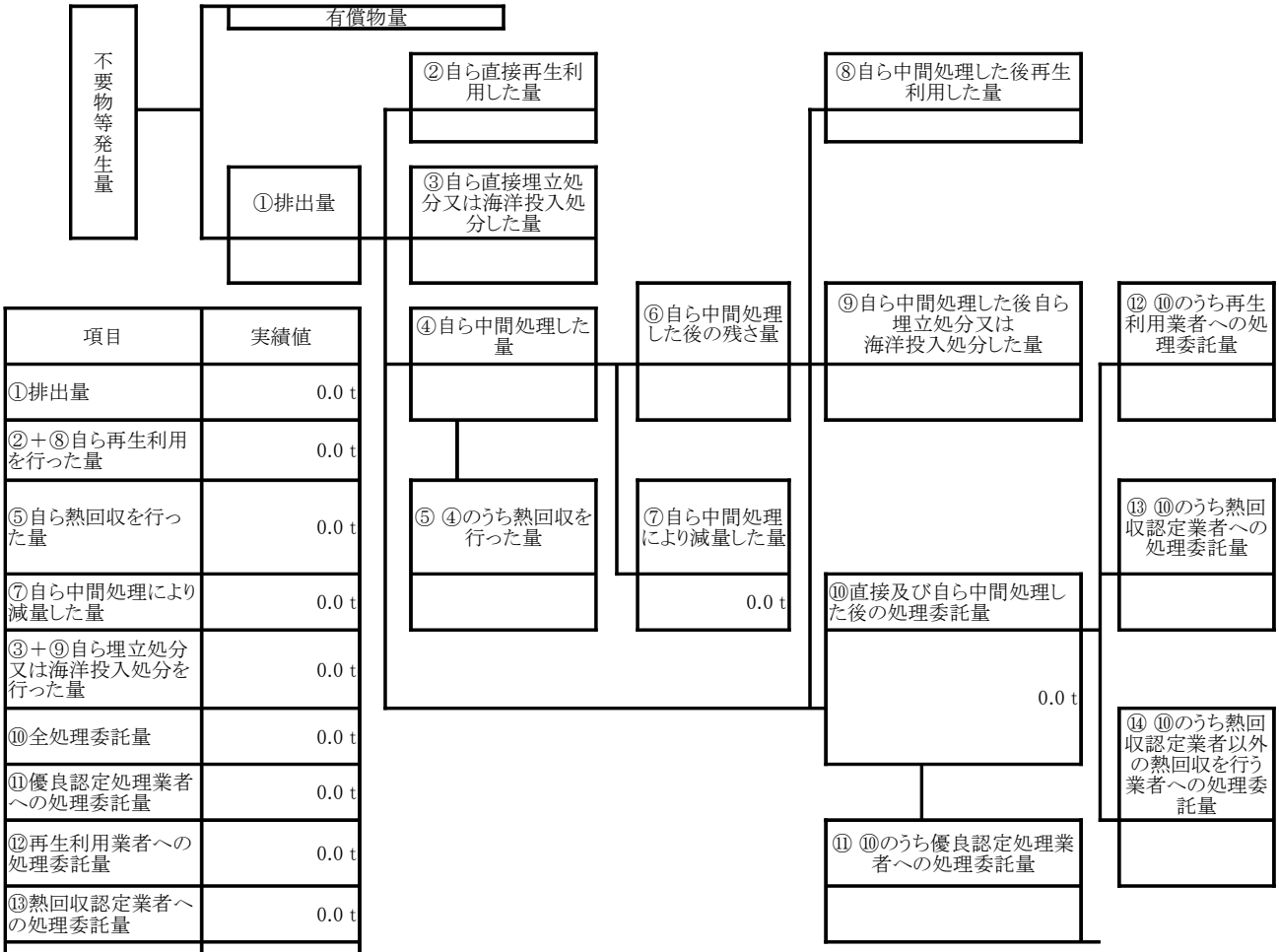


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者 〒275-0002

住　所　千葉県習志野市実籾2-39-1

氏　名　エヌデーシー株式会社
代表取締役社長　澁谷　泰
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　047-477-1123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	エヌデーシー株式会社　習志野工場
事業場の所在地	千葉県習志野市実籾2丁目39番地1号
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

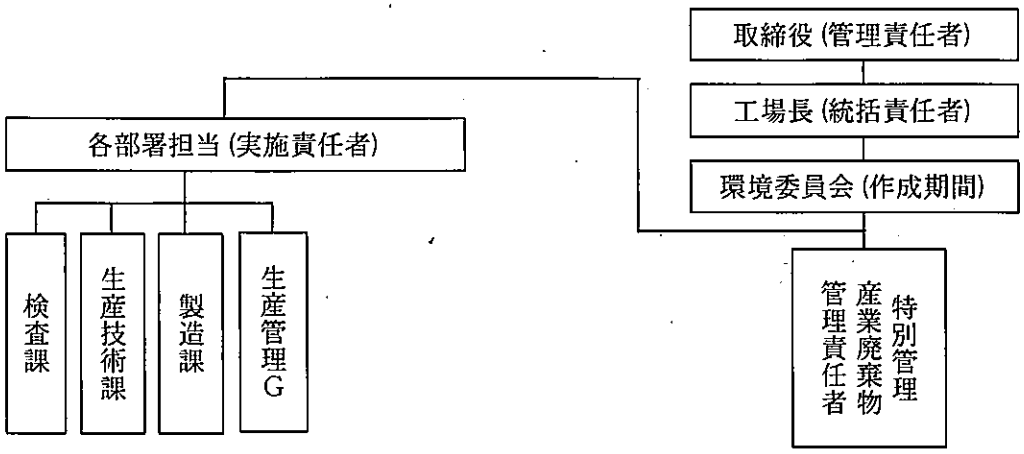
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E31－輸送用機械器具製造業
②事業の規模	前年度の売上高　81.3億円
③従業員数	421名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	製品製造工程 → ・汚泥 ・廃酸 → 委託処理 (中間処理：溶解) コンクリート固形化、 中和、焼却)

(日本産業規格　A列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
排出量	79.8 t	12.8 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
排出量	67.8 t	3.6 t

（今後実施する予定の取組）
廃棄物の平準化を行い、削減を図る。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
発生場所にて分別している。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
特になし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自社で再生処理を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
自社で再生処理を行う予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自社で熱回収及び中間処理を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
自社で熱回収及び中間処理を行う予定はない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0. t	0 t

（これまでに実施した取組）
自社で埋立処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
自社で埋立処分を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
全処理委託量	79.8 t	12.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	79.8 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
特になし

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	汚泥
全処理委託量	67.8 t	3.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	67.8 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
優良認定処理業者への委託を優先、
社内での再生利用を検討。

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	92.6 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストを利用している。

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　6月　30日

千葉県知事　熊谷　俊人　　殿

提出者　〒275-0002
住　所　千葉県習志野市実籾2丁目39番地1号
氏　名　エヌデーシー株式会社
代表取締役社長　澁谷　泰
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-477-1123

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	エヌデーシー株式会社 習志野工場
事業場の所在地	千葉県習志野市実籾2丁目39番地1号
事業の種類	E31－輸送用機械器具製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	59.5 t	全処理委託量	59.5 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	54.9 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　74.5t 前年度　92.6t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

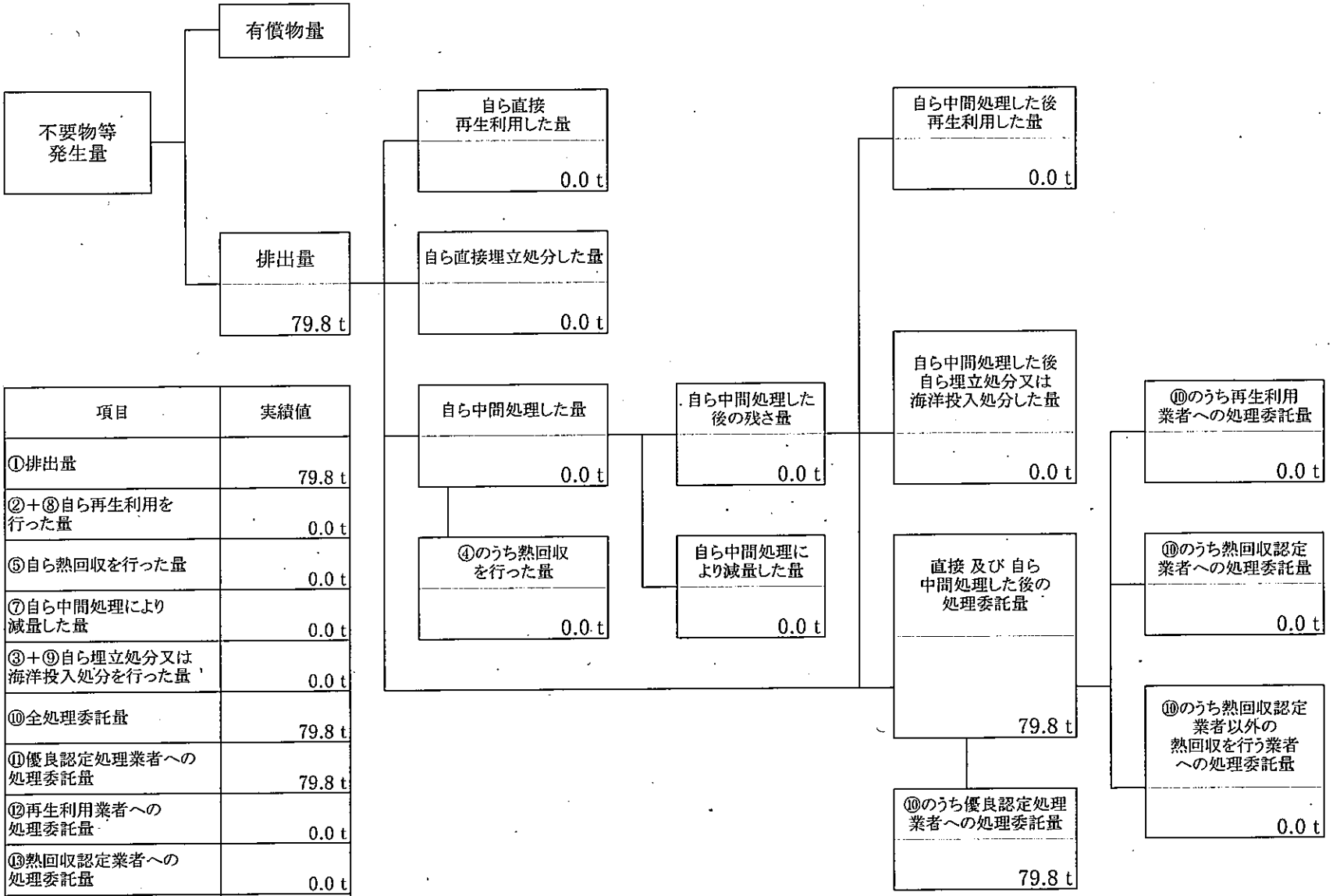
電子マニフェスト運用の実績あり。

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃酸　）

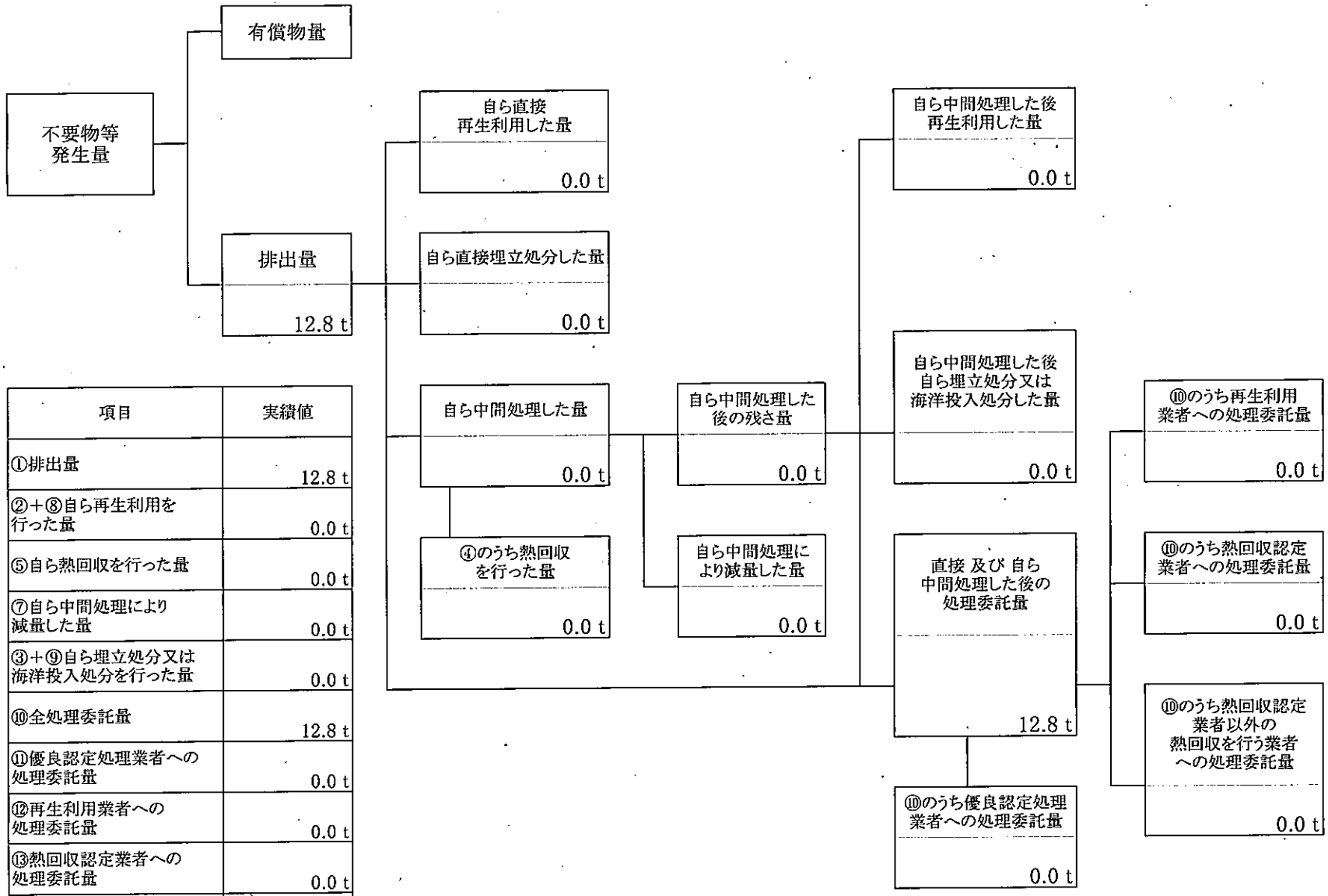


項目	実績値
①排出量	79.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	79.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	79.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	12.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	12.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第１面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 Nテック株式会社

住 所 〒276-0047
千葉県八千代市吉橋1085-5

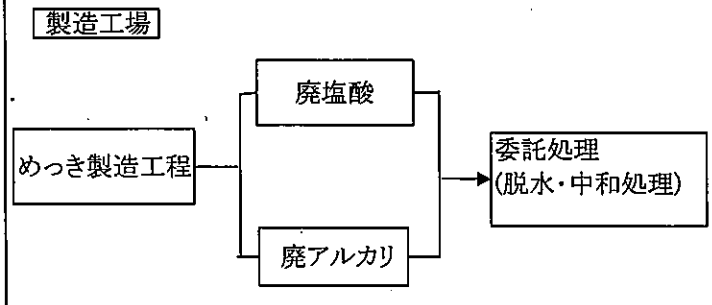
氏 名 盛永 康文 (㊞)
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-459-0577

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	Nテック株式会社
事業場の所在地	千葉県八千代市吉橋1085-5
計画期間	2024年4月～2025年3月

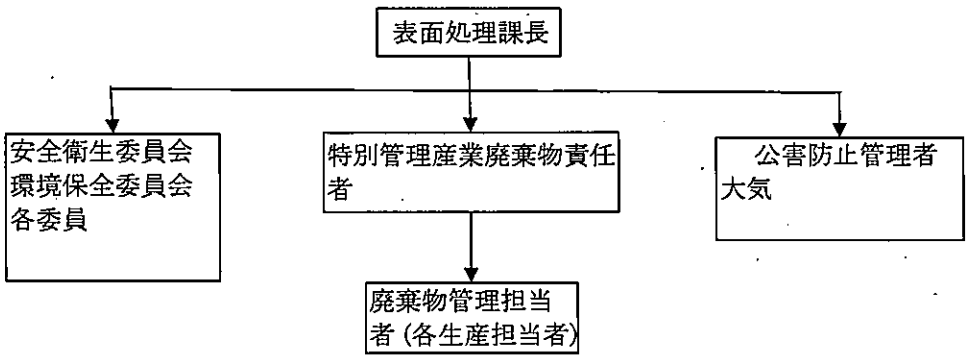
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類:製造業 中分類:金属製品製造業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 27億円
③ 従業員数	176名(社員70名、協力会社106名)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

(日本工業規格 A列４番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排出量	662.7 t	0 t

（これまでに実施した取組）

(1) 塩酸槽に前工程からの液の持ち込み減少に取り組んだ。

(2) 脱脂槽にめっき素材に付着している油分の持ち込み減少に取り組んだ。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
排出量	900.0 t	80.0 t

（今後実施する予定の取組）

めっき品の再加工等の減少及び
脱脂槽への付着油分の持ち込みが現状より減少するよう管理を徹底する。
新工場棟の稼働が予定されており塩酸槽の運用に伴い、塩酸槽５槽（240ｔ）、アルカリ槽２槽（80ｔ）を廃液する予定。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃棄物の種類毎に各槽に保管管理してあり、分別は出来ている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃棄物の種類毎に分別の徹底を実施し、混合の無いように保管する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自社での再生利用を行た事は無い。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自社での中間処理実施は無し。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
予定なし。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
自ら埋め立て処分を行ったことはない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
予定なし

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　2023　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
全処理委託量	662.~~6~~7 t	0 t
優良認定処理業者への処理委託量	662.~~6~~7 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
委託先の信用度、企業の経営力が十分であるかを確認した。
また、許可証等の書類審査を実施した。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		廃酸	廃アルカリ
全処理委託量		900.0 t	80.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	900.0 t	80.0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
(1) コスト低減が可能な委託先の調査を行い、積極的に採用する。
(2) 優良認定業者または過去の取引で問題の無かった業者に委託する。

【前年度（ 2023 年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	662.7 ~~646.8~~ t

電子情報処理組織の使用に関する事項

（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストの登録は、特別管理産業廃棄物のみであったが、一般管理廃棄物も電子マニュフェスト化へ移行中。

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年 6月 28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　Nテック株式会社
住 所　〒276-0047
千葉県八千代市吉橋1085-5
氏 名　代表取締役 盛永 康文
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　047-459-0577

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2023年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	Nテック株式会社
事業場の所在地	千葉県八千代市吉橋1085-5
事業の種類	大分類:製造業　中分類:金属製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月～2024年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	732.0 t	全処理委託量	732.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	732.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	700.5 t
	前年度	662.7 t

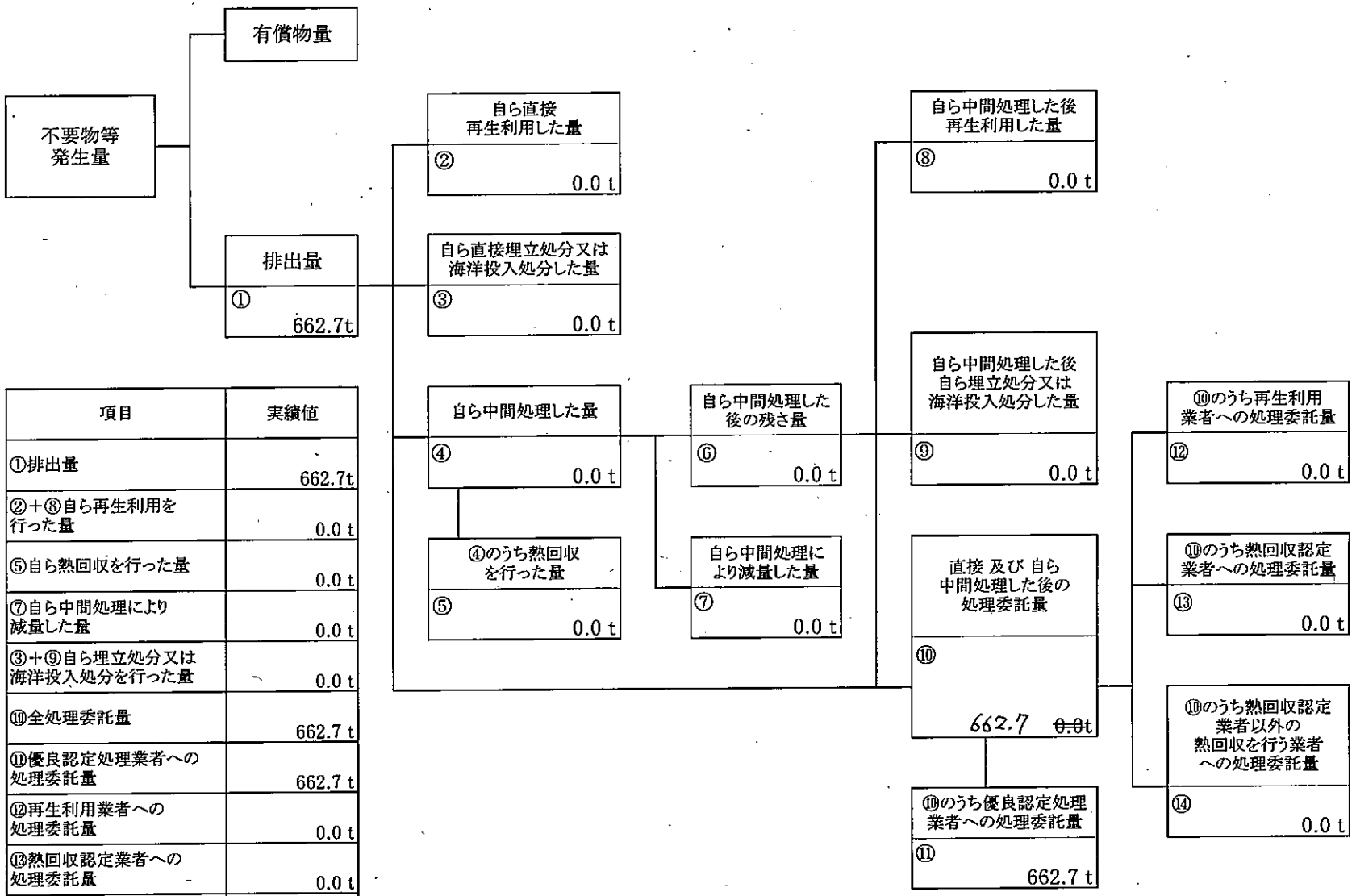
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子マニフェストが問題なく運用できた。

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:　廃酸(強酸)　)

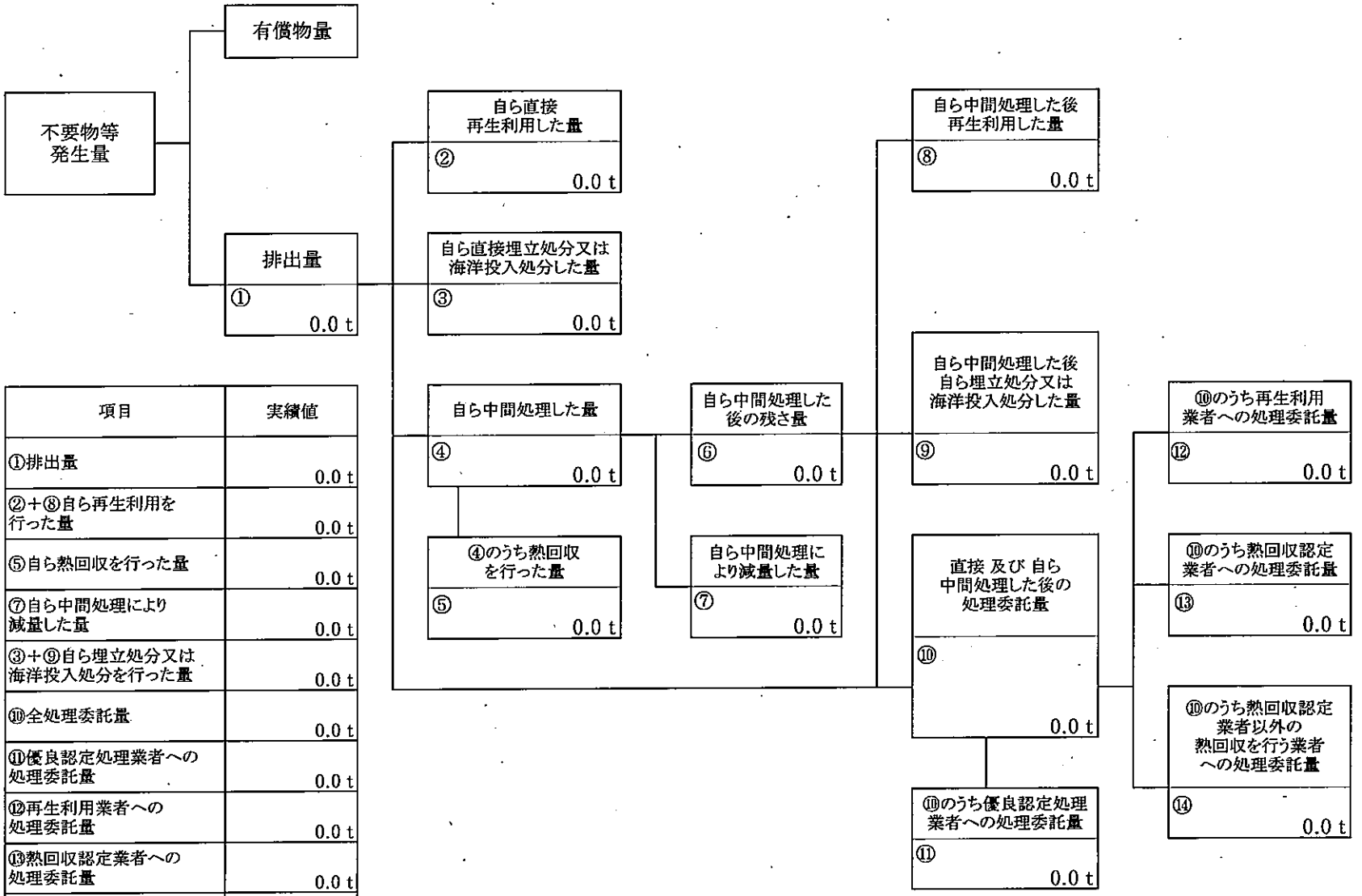


項目	実績値
①排出量	662.7t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	662.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	662.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

(第2面)

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　　廃アルカリ（強アルカリ）　　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和　6年　4月　18日

千葉県知事
熊谷　俊人　　殿

提出者〒272-0103

住　所　千葉県市川市本行徳2554-1

氏　名　ＥＮＥＯＳ株式会社 市川油槽所

所長　　岩野　博文

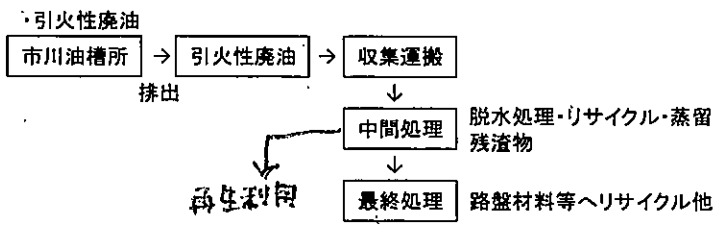
電話番号　047-396-3131

千葉県 葛南地域振興事務所 -6.4.23 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ＥＮＥＯＳ株式会社　市川油槽所
事業場の所在地	千葉県市川市本行徳2554-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	貯蔵能力：112,265トン　　取扱数量：1,842,345トン／年 製品出荷額：不明
③従業員数	24人（社員：1名、業務委託会社：23名）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　A列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

市川油槽所所長
↓
[redacted]市川営業所所長（業務委託会社）
↓
[redacted]業務担当者（廃棄物関連）　処理計画担当
↓
[redacted]業務スタッフ

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
排　出　量	127.4 t	0.4 t

（これまでに実施した取組）
・危険物タンクの開放点検や油種変更のためにタンクを空にする時は、タンク内の残油を極力回収するように努めている。タンク底部に残った油分・スラッジ（錆類）や内部の洗浄水を廃油としてリサイクル処分している。
・ローリー残油を地下タンクに回収し、これを廃油として中間処理業者へ委託しリサイクル処分とした。
・ＰＣＢ廃棄物は令和5年度ですべて処分完了。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	
排　出　量	110.0 t	t

（今後実施する予定の取組）
・事業活動において引火性廃油の排出は避けられないため。100％リサイクルできる処理業者に委託する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・引火性廃油（ガソリン・灯油・軽油）の発生時は通常混合された状態で回収される。排出時の分別は不可能であることから実施していない。
（中間処理にて油水分離または蒸留にて再生している）
・分別された状態での廃油は、混合せずそのままの状態で排出し再生しやすくしている。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・上記の理由により今後も分別予定はなし

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和　5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0　t	t
	（今後実施する予定の取組 ）		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
全処理委託量		127.4　t	0.4　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0　t	t
	再生利用業者への処理委託量	127.4　t	0.4　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0　t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	t

（これまでに実施した取組）

毎年「産業廃棄物処理先における処理状況視察」を実施し、排出された廃棄物が適正に処理されているか確認している。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	ＰＣＢ廃棄物
全処理委託量	110.0 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
再生利用業者への処理委託量	110.0 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）

・石油製品貯蔵タンクの開放が発生した場合、できる限り製品として回収を行い、特別産業廃棄物の排出量を減少させる。
・「産業廃棄物処理先における処理状況視察」を実施し、排出された廃棄物が適正に処理されているか確認をおこなう。

電子情報処理組織の使用に関する事項

【前年度（ 令和　5 年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	127.4 t

（今後実施する予定の取組等）

・2019年7月より電子マニフェストを利用。

※事務処理欄

備考

1　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

7　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年4月18日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒272-0103
住 所　千葉県市川市本行徳2554-1
氏 名　ENEOS株式会社 市川油槽所
所長 岩野 博文
電話番号　047-396-3131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ENEOS株式会社 市川油槽所
事業場の所在地	千葉県市川市本行徳2554-1
事業の種類	大分類:製造業　中分類:石油製品・石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月～令和6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	70.0 t	全処理委託量	70.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	70.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度　72.7	t
	前年度　127.4	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

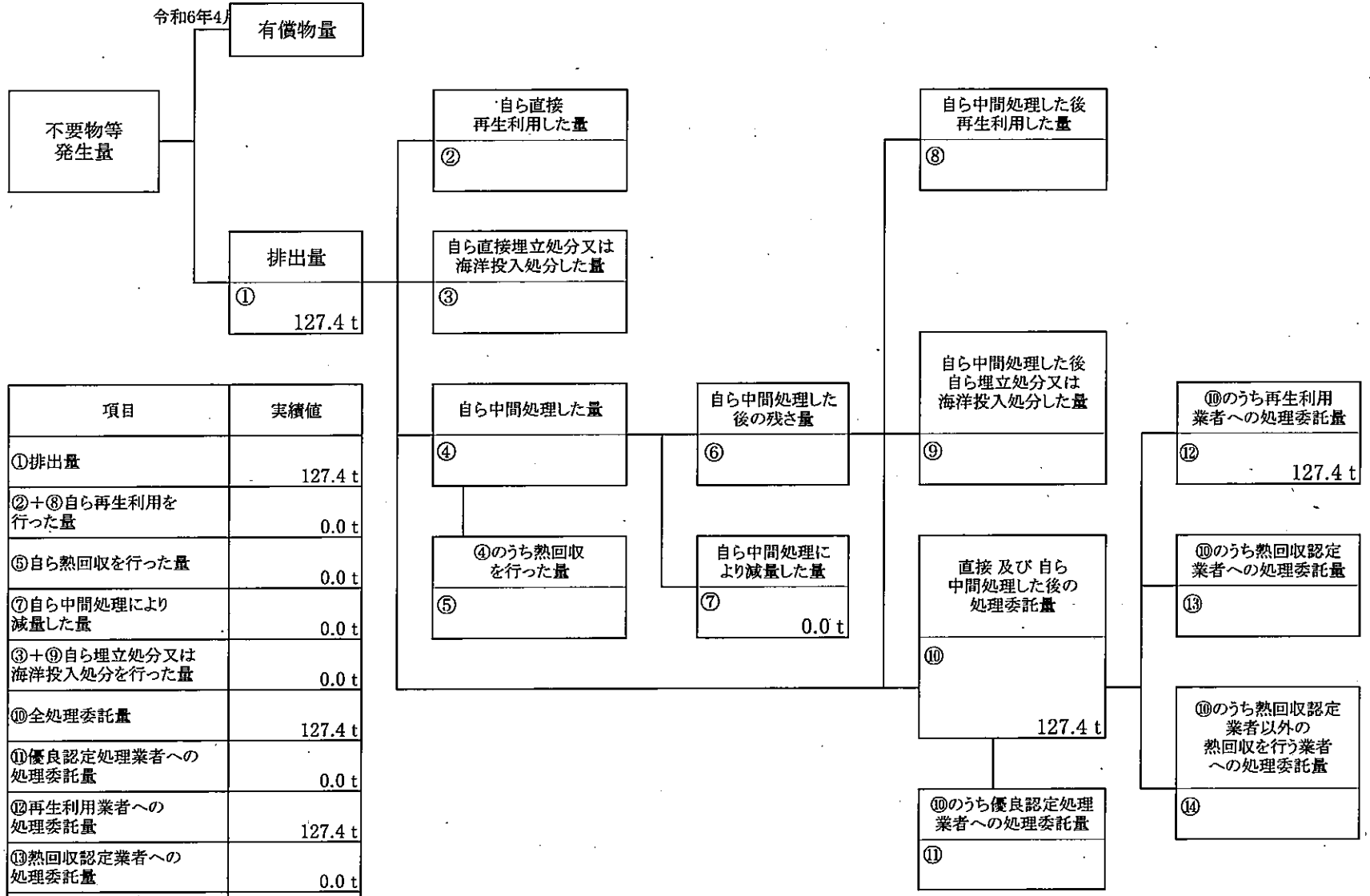
2019年7月から電子マニフェストを運用継続

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃油（引火性）　）

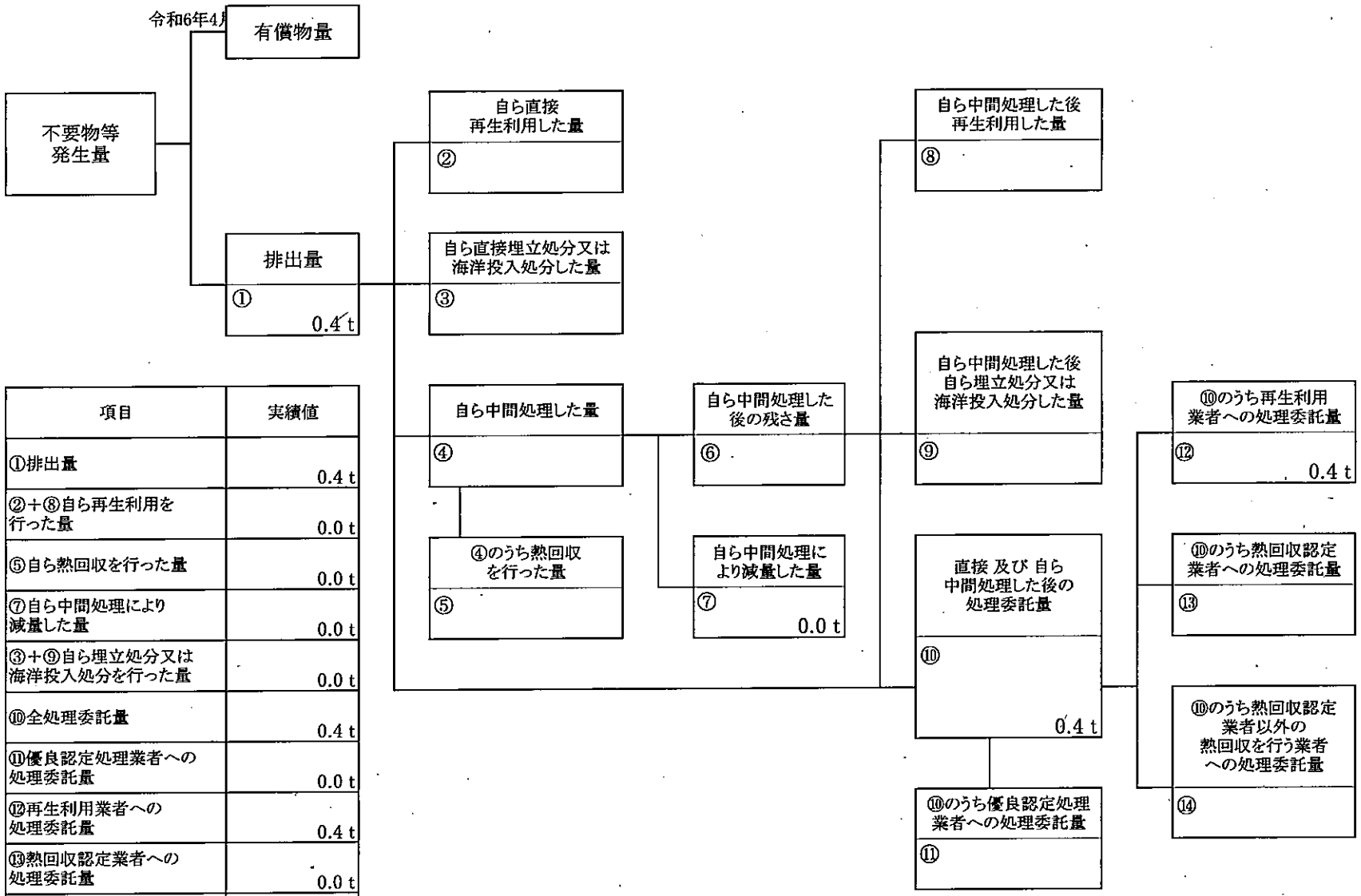


項目	実績値
①排出量	127.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	127.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	127.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　特別管理産業廃棄物の種類が２以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６ 年　　5 月　　31 日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者

住　所　　千葉県市原市千種海岸５

氏　名　株式会社ＥＮＥＯＳマテリアル　千葉工場

工場長　　山口　智大

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　０４３６－６２－４１６１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ENEOSマテリアル　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸５
計画期間	令和６年４月１日から令和７年３月３１日

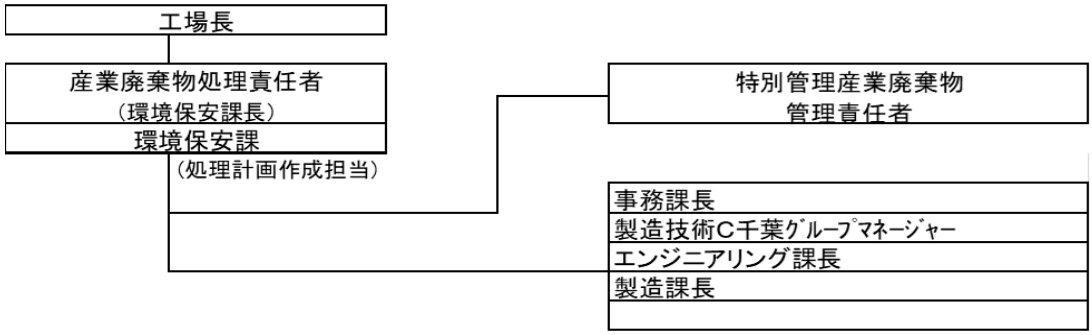
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業　　中分類：化学工業 小分類：有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	前年度の工場製造品出荷額　２２８億円
③ 従業員数	１６９人（社員１６８人　出向者１人）
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　5　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
排　　出　　量	102　　t	t

（これまでに実施した取組）
有価物化(数量)拡大。製造工程安定化。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
排　　出　　量	80　　t	t

（今後実施する予定の取組）
製造工程安定化。
(引火性廃油は製品の生産量に比例して発生するため発生数量の削減ではなく原単位削減を目標としている。)

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引火性廃油の性状に応じて、再生油として処理する業者への委託を優先に選定。

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引火性廃油の性状に応じて、再生油として処理する業者への委託を優先に選定。有価売買の推進。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>（特管物全体）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
全量外部処理委託</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>（特管物全体）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
全量外部処理委託（継続）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　5　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>（特管物全体）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
全量外部処理委託</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>（特管物全体）</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量</td><td>0　　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組 ）
全量外部処理委託（継続）</td></tr>
</table>

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（　　5　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0　t	t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋め立て処理を行った事はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0　t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き埋め立て処理を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　5　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
全処理委託量	102　t	t
優良認定処理業者への処理委託量	96　t	t
再生利用業者への処理委託量	81　t	t
認定熱回収業者への処理委託量	21　t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	t

（これまでに実施した取組）
引火性廃油を燃料油として調製する処理業者と、焼却処理を行う処理業者に委託をおこなっている。

	②計画	【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	（特管物全体）	
全処理委託量	80 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	69 t	t
再生利用業者への処理委託量	55 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	25 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、引火性廃油を燃料油として調製する処理業者と、焼却処理を行う処理業者に委託を行う予定。及び　有価売買の推進。

電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（　　5　　年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	101 t

（今後実施する予定の取組等）
電子マニフェストの登録を実施し運用中。（継続）

※事務処理欄	

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

９　※欄は記入しないこと。

別紙ー1

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
排　　出　　量	91　t	1　t	8　t	2　t	0（2.7kg）t	t

（これまでに実施した取組）
有価物化(数量)拡大。製造工程安定化。
前年度は､継続して引火性廃油の有価物化により廃棄物発生を抑制した。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
排　　出　　量	75　t	5　t	0　t	0　t	0　t	t

（今後実施する予定の取組）
有価物化(数量)拡大。製造工程安定化。
(引火性廃油は製品の生産量に比例して発生するため発生数量の削減ではなく原単位削減を目標としている。)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（これまでに実施した取組）
全量外部処理委託

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
全量外部処理委託（継続）

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（これまでに実施した取組）
全量外部処理委託

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
全量外部処理委託（継続）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋め立て処理又は海洋投入処分を行った事はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き埋め立て処理又は海洋投入処分を行う予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　　５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
全処理委託量	91 t	1 t	8 t	2 t	0（2.7kg） t	t
優良認定処理業者への処理委託量	86 t	－ t	8 t	2 t	0（2.7kg） t	t
再生利用業者への処理委託量	69 t	1 t	8 t	2 t	0（2.7kg） t	t
認定熱回収業者への処理委託量	22 t	－ t	－ t	－ t	－ t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	－ t	－ t	－ t	－ t	t

（これまでに実施した取組）
引火性廃油を燃料油として調製する処理業者と、焼却処理を行う処理業者に委託をおこなっている。
ＰＣＢ処理をH24年度より実施。

②計画

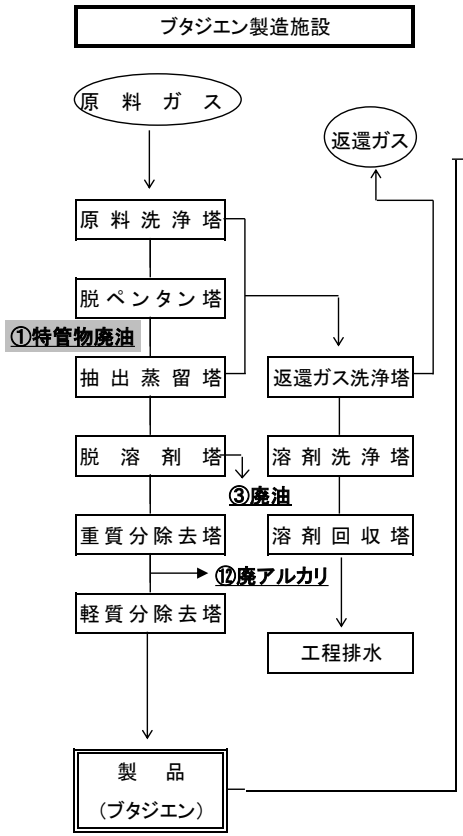
【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油（引火性）	PCB廃棄物	廃酸（強酸）	廃アルカリ（強ｱﾙｶﾘ）	汚泥（有害物質含有）	
全処理委託量	75 t	5 t	0 t	0 t	0 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	69 t	－ t	－ t	－ t	－ t	t
再生利用業者への処理委託量	50 t	5 t	－ t	－ t	－ t	t
認定熱回収業者への処理委託量	25 t	－ t	－ t	－ t	－ t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t	－ t	t

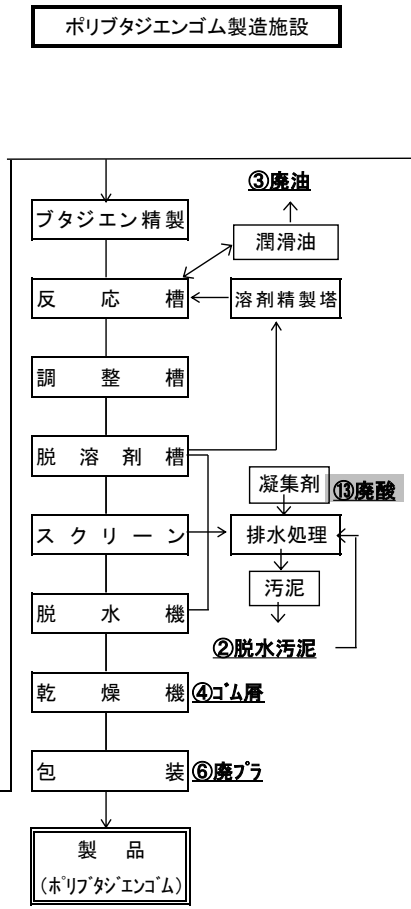
（今後実施する予定の取組）
引き続き、引火性廃油を燃料油として調製する処理業者と、焼却処理を行う処理業者に委託を行う予定。
スポットで発生する強酸，強アルカリ，汚泥，有害物質含有の廃油・酸アルカリは、再生処理業者への委託を行う。
令和６年度は、高濃度・低濃度PCBの最終処理を計画。

④ 一連の処理の工程図

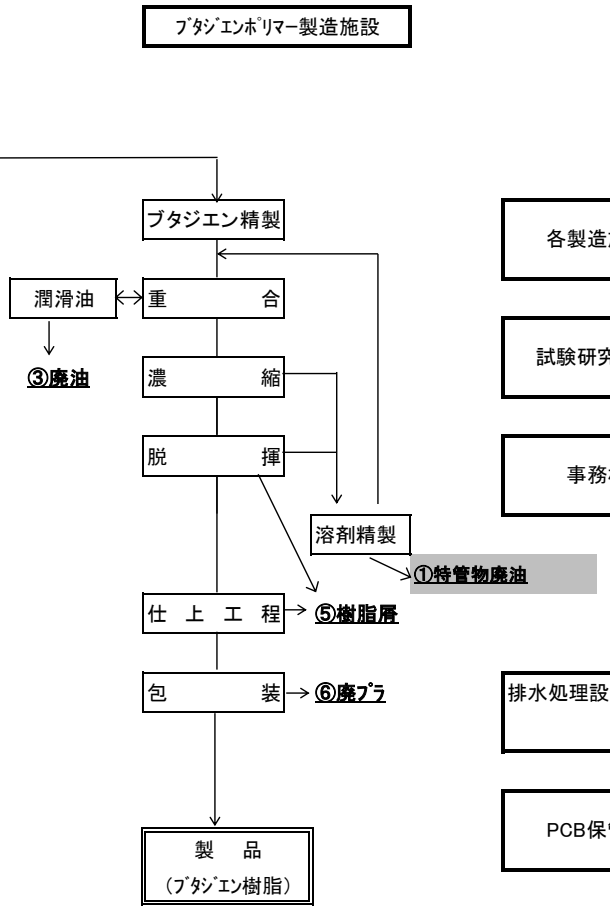
1 ブタジエン製造工程図



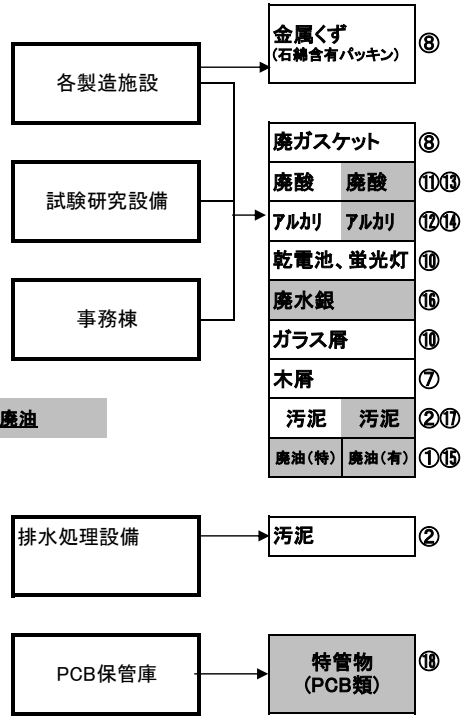
2 ポリブタジエンゴム製造工程図



3 ブタジエン樹脂製造工程図



4 製造及び製造以外の工程図



番号	呼び名	種類	処理方法（焼却・脱水等）	処理の手段 自己・委託・売却
①	特管物廃油	引火性廃油	再利用・焼却	委託
②	汚泥	汚泥	再利用・焼却	委託
③	廃油（潤滑油）	廃油	再利用・焼却	委託
④	ゴム屑	廃プラ	再利用・焼却	委託
⑤	樹脂屑	廃プラ	再利用・焼却	委託
⑥	廃プラスチック	廃プラ	再利用・焼却	委託
⑦	木パレット	木屑	再利用	委託
⑧	廃ガスケット	金属屑	再利用	委託
⑨	乾電池、蛍光灯	水銀使用製品	再利用	委託
⑩	ガラス屑	ガラス屑	再利用	委託
⑪	廃酸	廃酸	再利用	委託
⑫	廃アルカリ	廃アルカリ	再利用	委託
⑬	廃酸	廃酸	再利用	委託
⑭	廃アルカリ	廃アルカリ	再利用	委託
⑮	廃油（有害）	廃油（有害）	再利用	委託
⑯	廃水銀	汚泥(特管物)	焙焼	委託
⑰	特管物汚泥	汚泥(特管物)	再利用・焼却	委託
⑱	特管物(PCB類)	PCB類	化学処理、焼却	委託

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　5月31日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者
住 所　千葉県市原市千種海岸5
氏 名　株式会社ENEOSマテリアル　千葉工場
工場長　山口　智大
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0436－62－4161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ENEOSマテリアル　千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸5
事業の種類	大分類:製造業　　中分類:化学工業 小分類:有機化学工業製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月から令和6年3月

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	115.0 t	全処理委託量	115.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	88.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	90.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	25.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度	108 t
	前年度	101 t

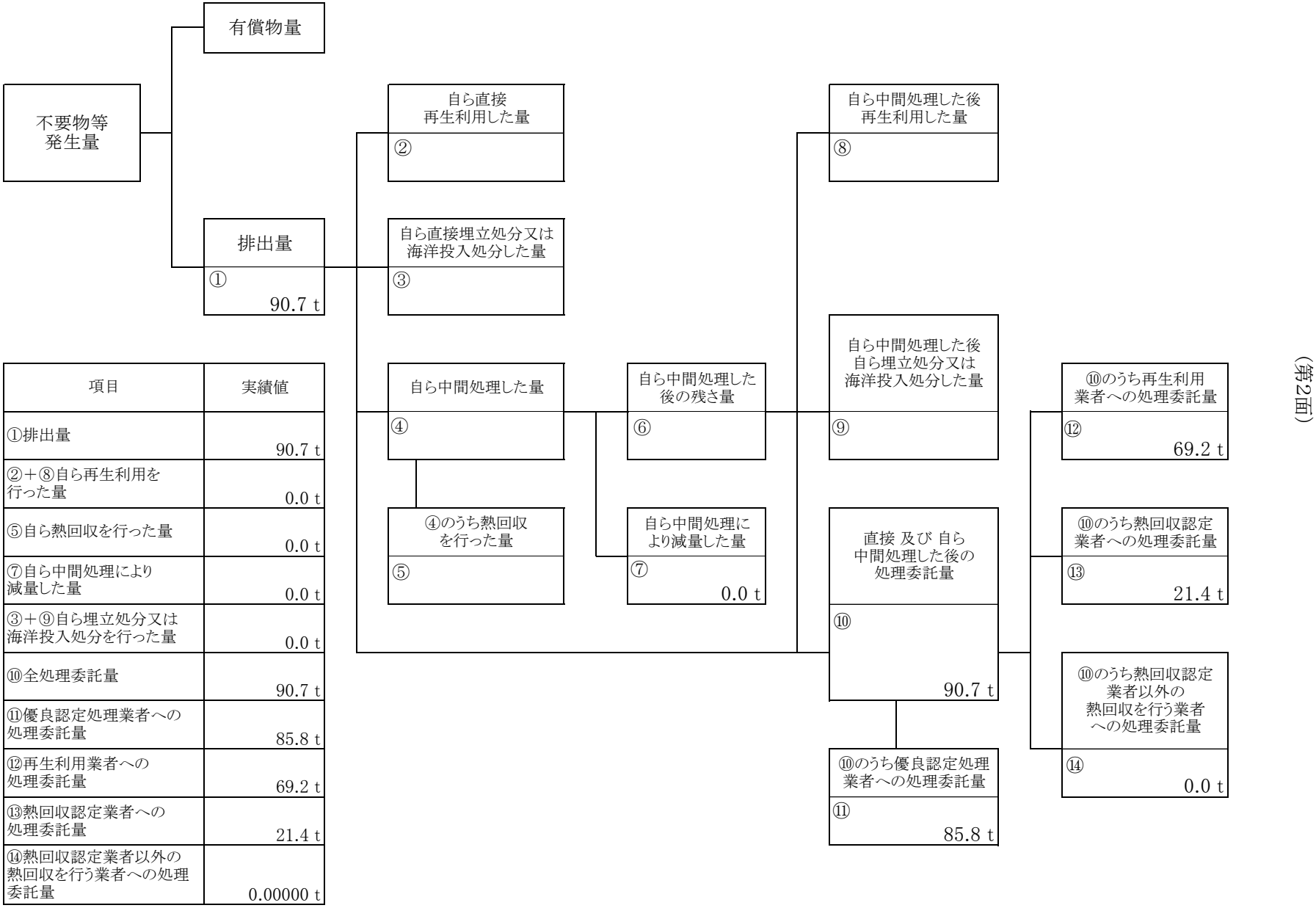
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）
電子マニフェストの登録を実施し運用中（継続）

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃油（引火性）**　）

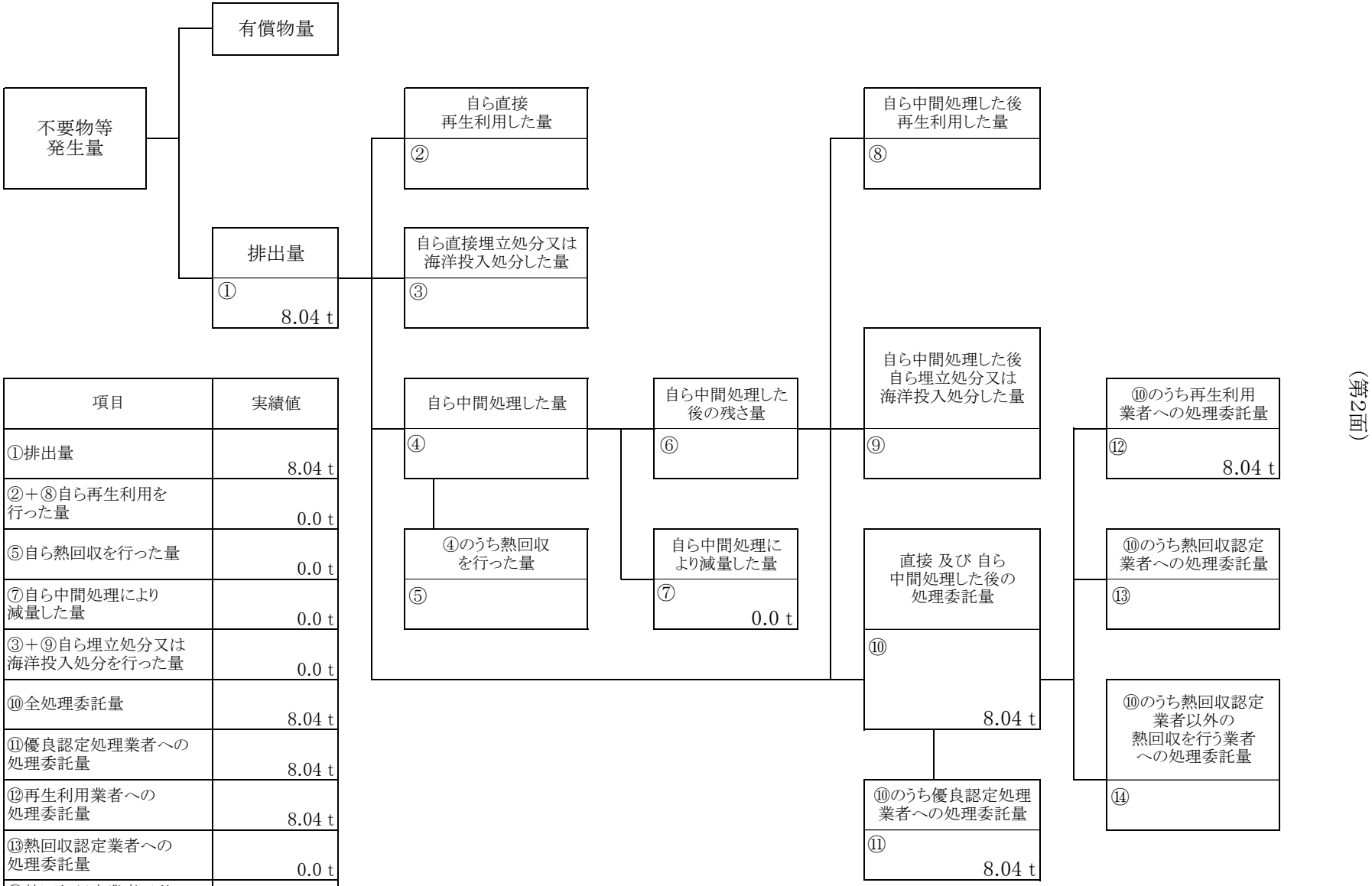


項目	実績値
①排出量	90.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	90.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	85.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	69.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	21.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00000 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃酸（強酸）**　）

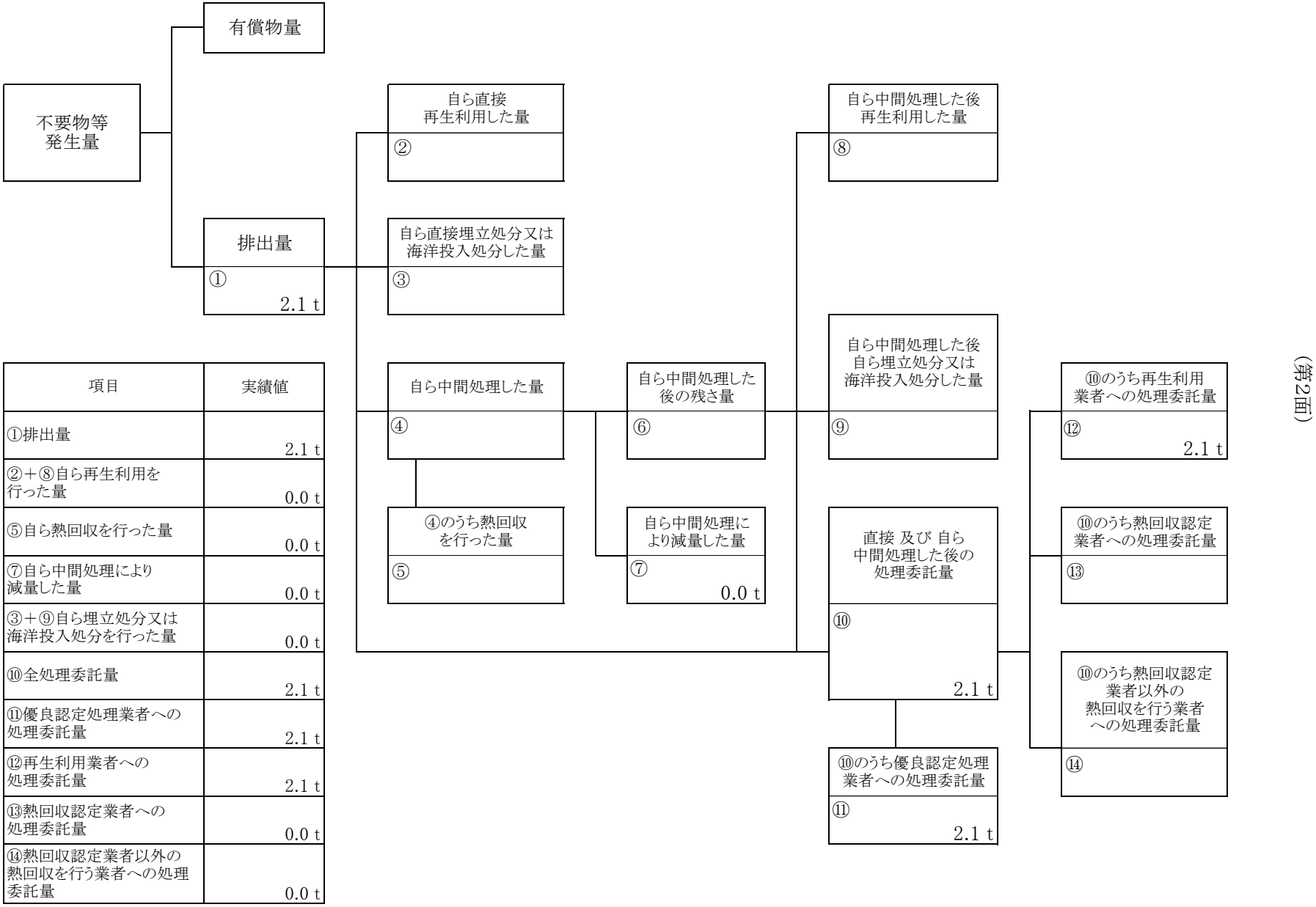


項目	実績値
①排出量	8.04 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.04 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.04 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.04 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**廃アルカリ（強アルカリ）**　）

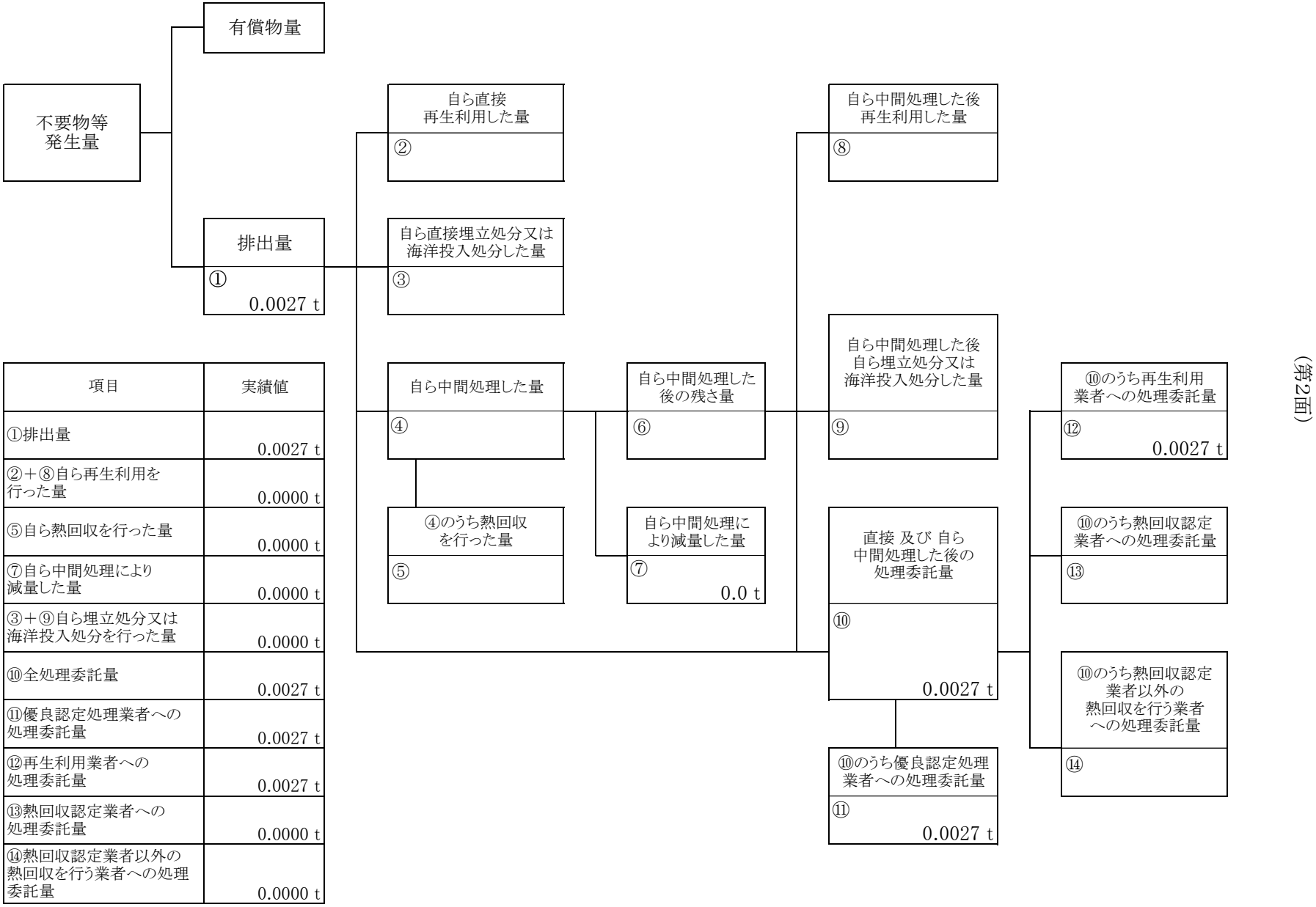


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**汚泥（有害）**　）

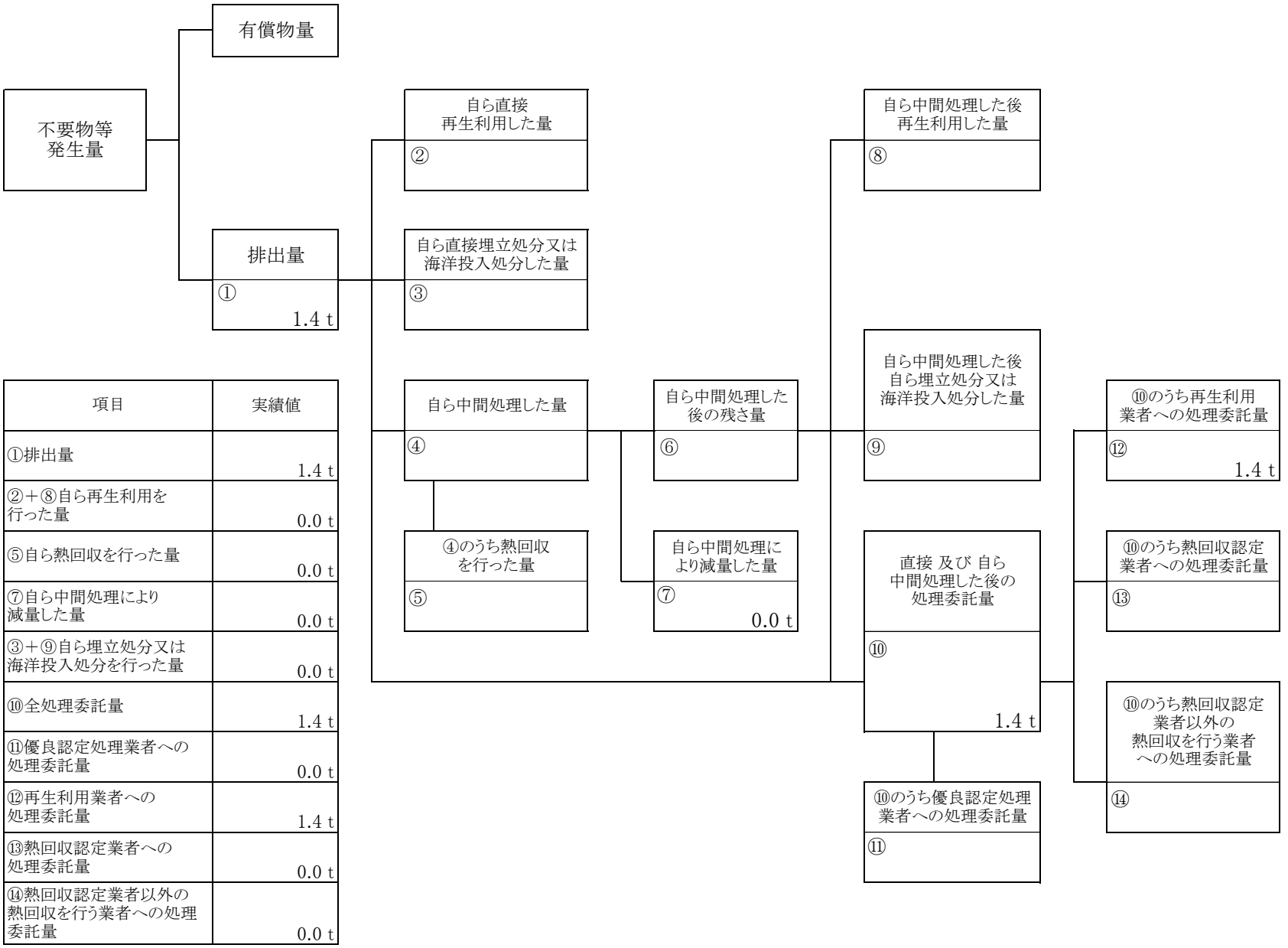


項目	実績値
①排出量	0.0027 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0000 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000 t
⑩全処理委託量	0.0027 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0027 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0027 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　PCB廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	1.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年　６月２８日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　〒290-0067

住　所　千葉県市原市八幡海岸通９番地

氏　名　王子コーンスターチ株式会社千葉工場

千葉工場長　　安藤　浩之

電話番号　　0436-41-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	王子コーンスターチ株式会社千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通９番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

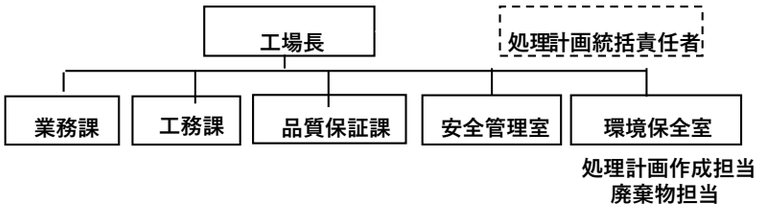
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①　事業の種類	E09－食料品製造業
②　事業の規模	前年度の製造品出荷額　70億円
③　従業員数	８５人（正社員５５人、常勤関係職員３０人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	41585 t	72 t

（これまでに実施した取組）

汚泥の廃珪藻土については、一部牧場などへ堆肥原料として販売する割合が年々増加しており、廃棄物量を削減している。
令和4年度については凝沈汚泥乾燥機が故障して、余剰汚泥乾燥機で乾燥したため、本来ならば余剰汚泥は有価物であったが産業廃棄物として処理せざるを得なかった。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
排出量	41000 t	70 t

（今後実施する予定の取組）

生産量に応じた製造工程の効率的な操業管理を行い、廃棄物の排出抑制に努める。汚泥の廃珪藻土については、一部牧場などへ堆肥原料としての販売を継続し、廃棄物量の削減を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

廃プラスチック類：プラスチックの種類や形状ごとに分別し、再資源化の可能なものを選別して、廃棄物発生量を削減した。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

汚泥：汚泥については種類で分別し、有償処理の可能なものは有価物とし、さらに廃棄物としての発生量を削減する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

排水工程から生じる余剰汚泥を全量、自社の中間処理施設で乾燥後、有機肥料として売却している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

排水管理の適正化に努め、発生した余剰汚泥について脱水・乾燥処理による有機肥料への再生利用を継続する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	39994.3 t	0 t

（これまでに実施した取組）

排水工程から生じる余剰汚泥、及び凝沈汚泥について、脱水・乾燥処理を行い減量化している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	39000 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

生産量に応じた排水工程の適正管理に努め、余剰汚泥および凝沈汚泥の脱水・乾燥処理による減量化を継続する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量＿	1590.7 t	72 t
優良認定処理業者への処理委託量	483 t	39 t
再生利用業者への処理委託量	1085 t	39 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	31 t

（これまでに実施した取組）

廃プラスチック類のうち糖化工程から生じる廃イオン樹脂については、排水工程から生じる凝沈汚泥とともにセメント原料として再資源化できる業者に処理を委託している。廃珪藻土の処分業者の一部が処分取り消しになった影響で埋立処理する業者に依頼せざるを得なくなった。

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類＿	汚泥	廃プラスチック類
全処理委託量＿	1300 t	70 t
優良認定処理業者への処理委託量	350 t	40 t
再生利用業者への処理委託量	1100 t	40 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	30 t

（今後実施する予定の取組）

廃プラスチック類のうち廃イオン樹脂は、再利用できる業者へ引き続き処理を委託する。　動植物性残渣については逆有償での契約も取り付けているので産業廃棄物の削減に寄与していきたい。

※事務処理欄	

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		排　　出　　量	47　t	16　t	0.13　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		排　　出　　量	45　t	15　t	0.2　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0　t	0　t	0　t	t	t	t	t	t

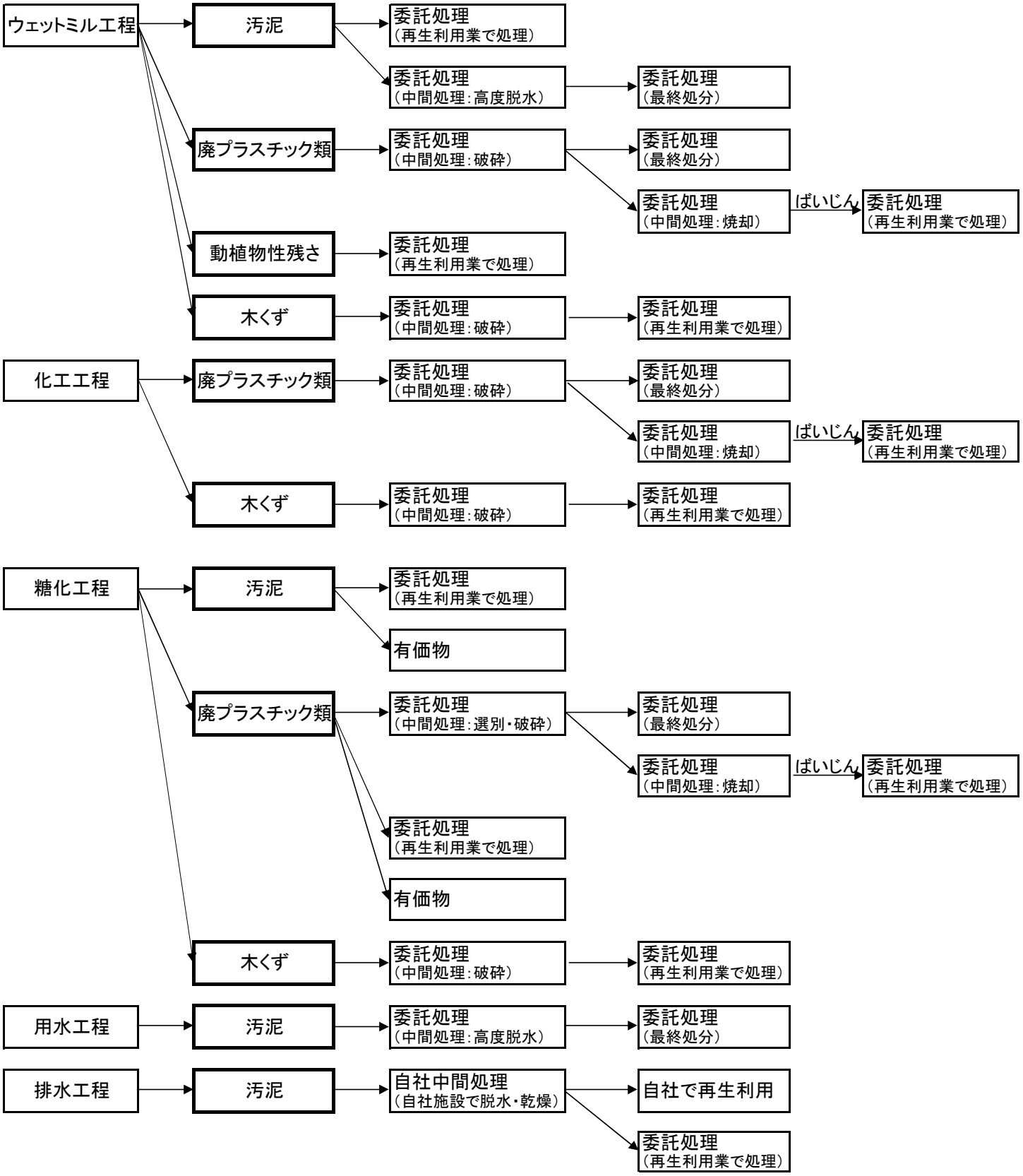
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

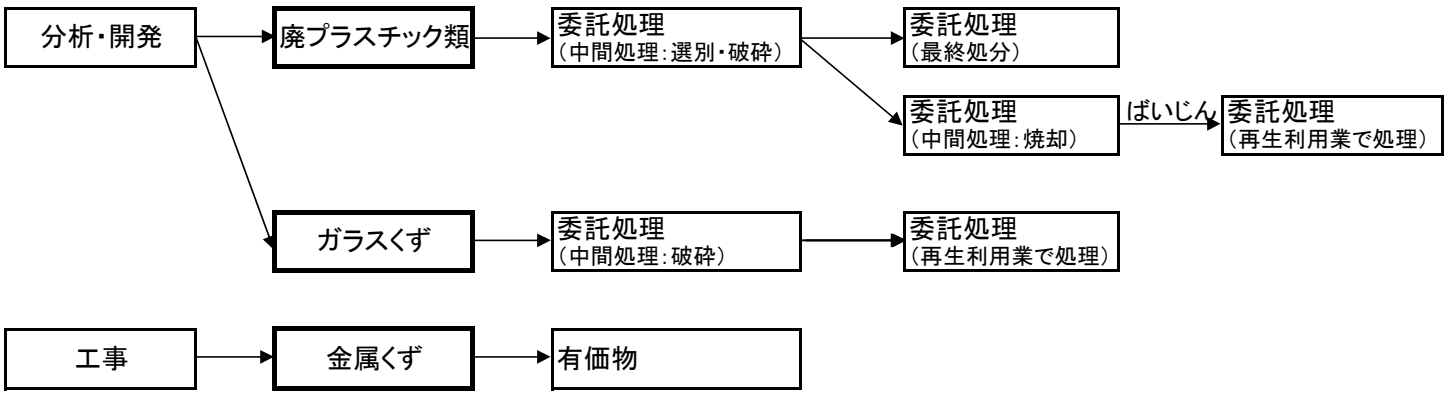
①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
	全処理委託量	47 t	16 t	0.13 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	47 t	16 t	0.13 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	木くず	ガラスくず					
	全処理委託量	45 t	15 t	0.2 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	45 t	15 t	0.2 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の一連の処理の工程（別紙）




分析・開発
廃プラスチック類
委託処理
（中間処理：選別・破砕）
委託処理
（最終処分）
委託処理
（中間処理：焼却）
ばいじん
委託処理
（再生利用業で処理）
ガラスくず
委託処理
（中間処理：破砕）
委託処理
（再生利用業で処理）
工事
金属くず
有価物

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6 月28日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒290-0067
住 所　千葉県市原市八幡海岸通9番地
氏 名　王子コーンスターチ(株)千葉工場
千葉工場長 安藤 浩之
電話番号　0436-41-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	王子コーンスターチ(株)千葉工場
事業場の所在地	千葉県市原市八幡海岸通9番地
事業の種類	E09－食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

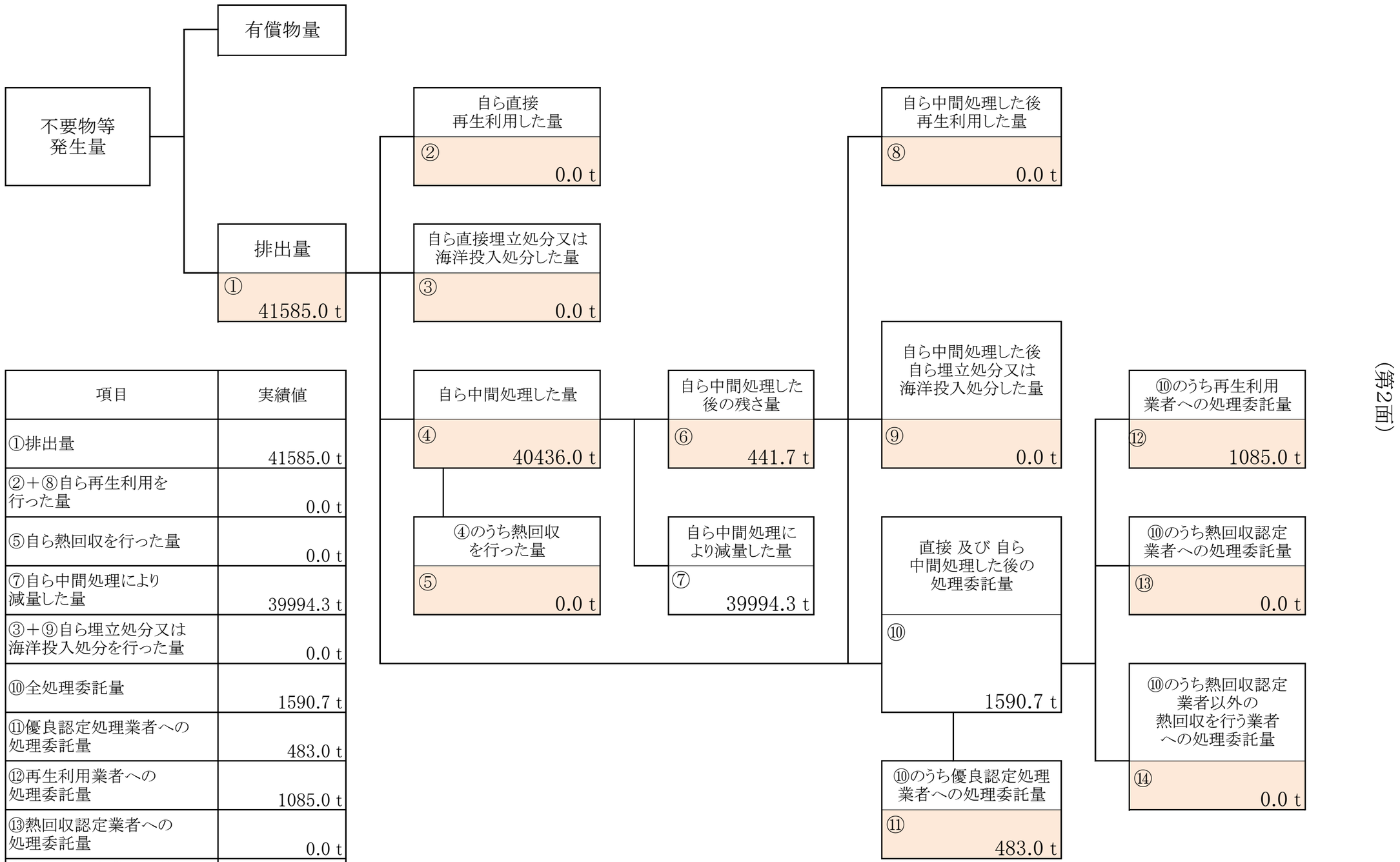
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	41093.0 t	全処理委託量	1743.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	350.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	142.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	1608.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	34100.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**汚泥**）

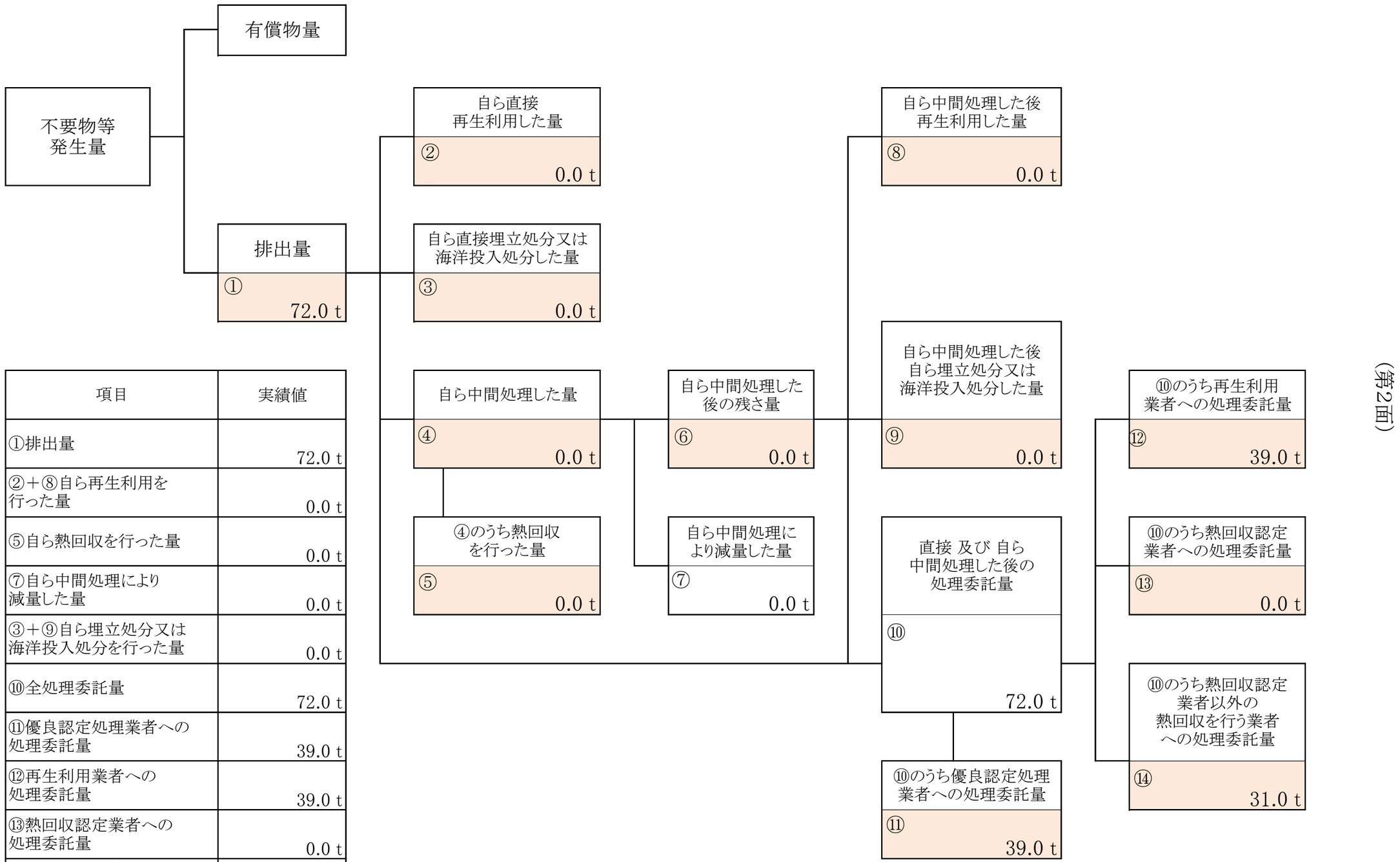


項目	実績値
①排出量	41585.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	39994.3 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1590.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	483.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1085.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**廃プラスチック**）

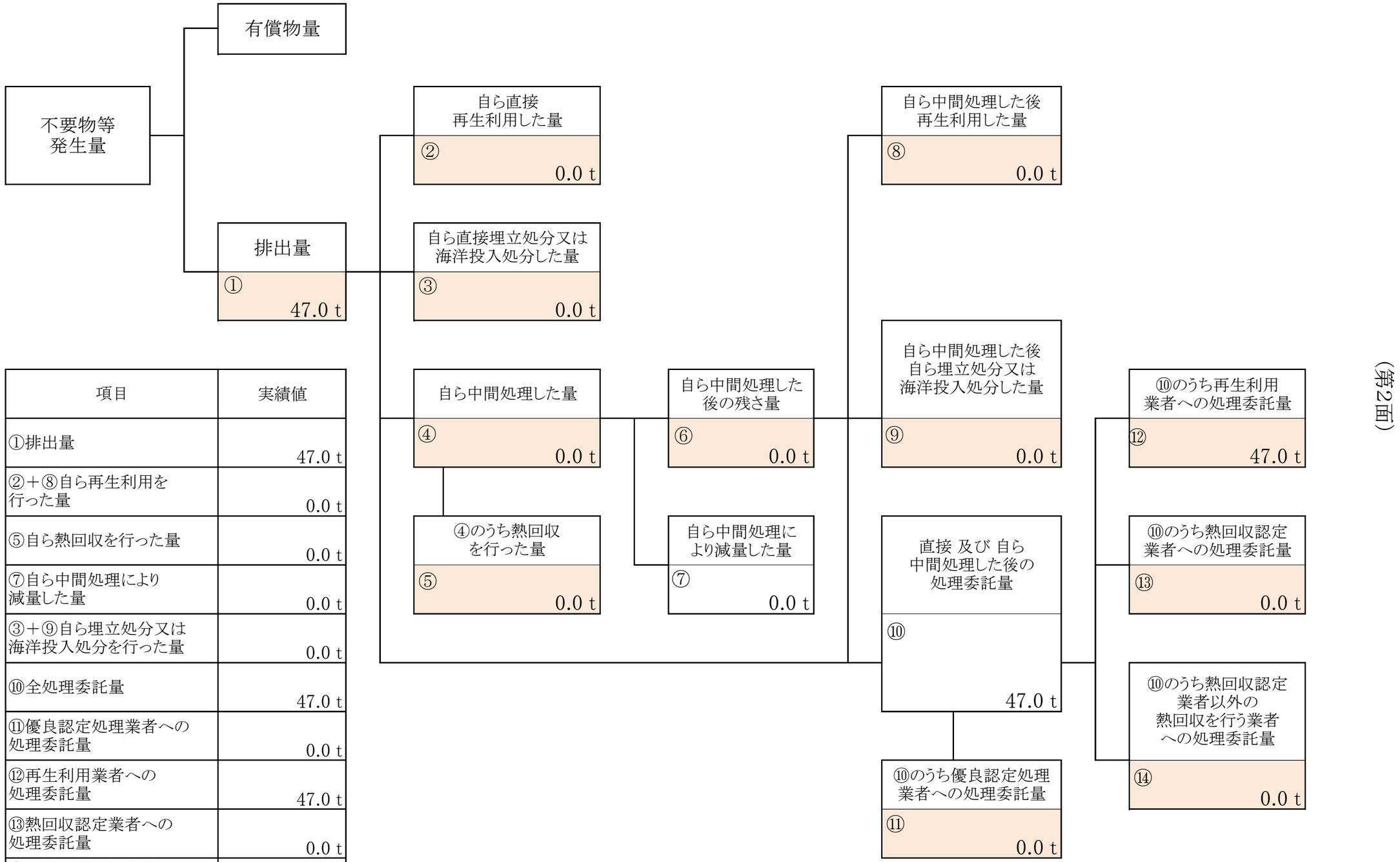


項目	実績値
①排出量	72.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	72.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	39.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	31.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**動植物性残渣**）

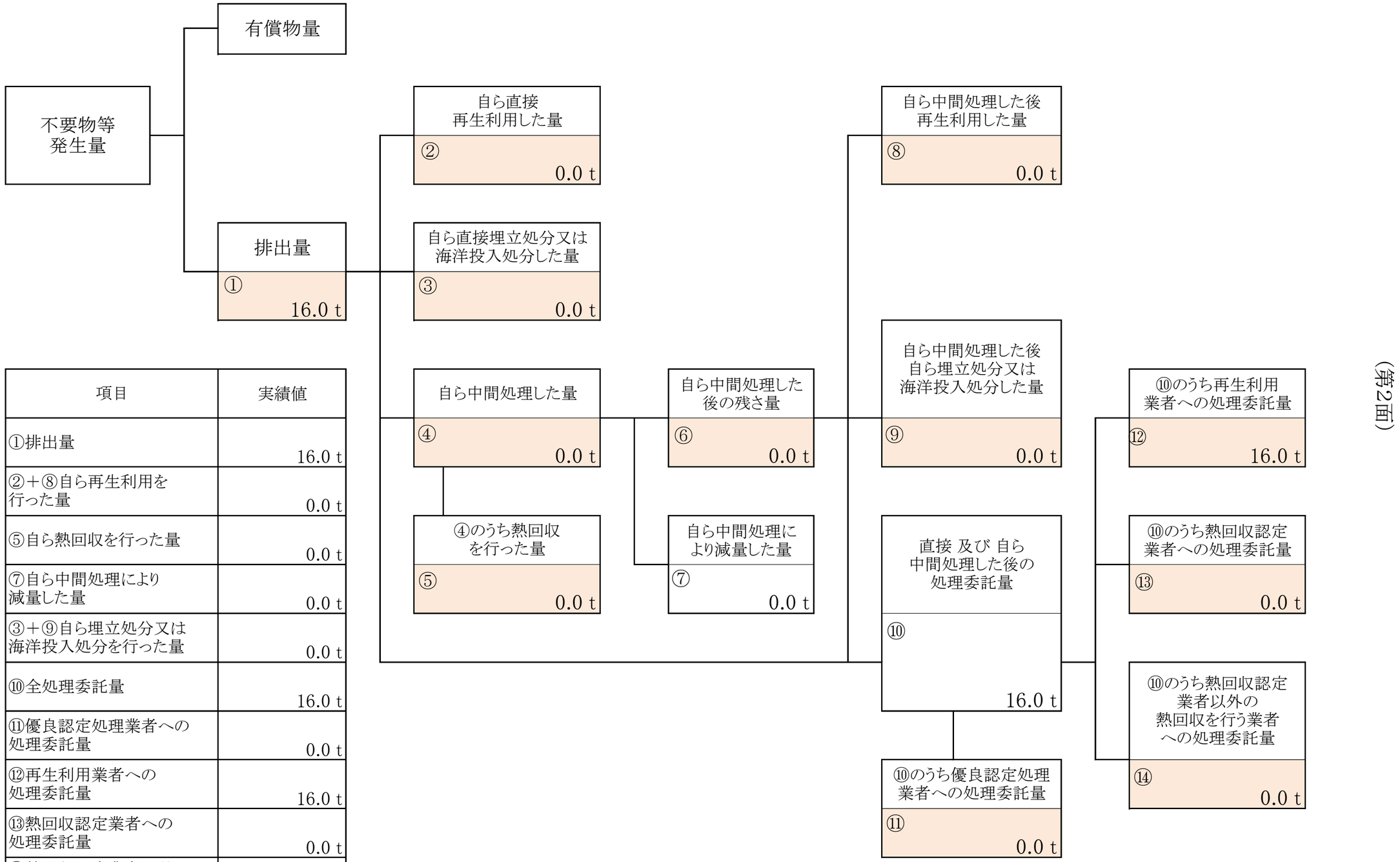


項目	実績値
①排出量	47.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	47.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず）

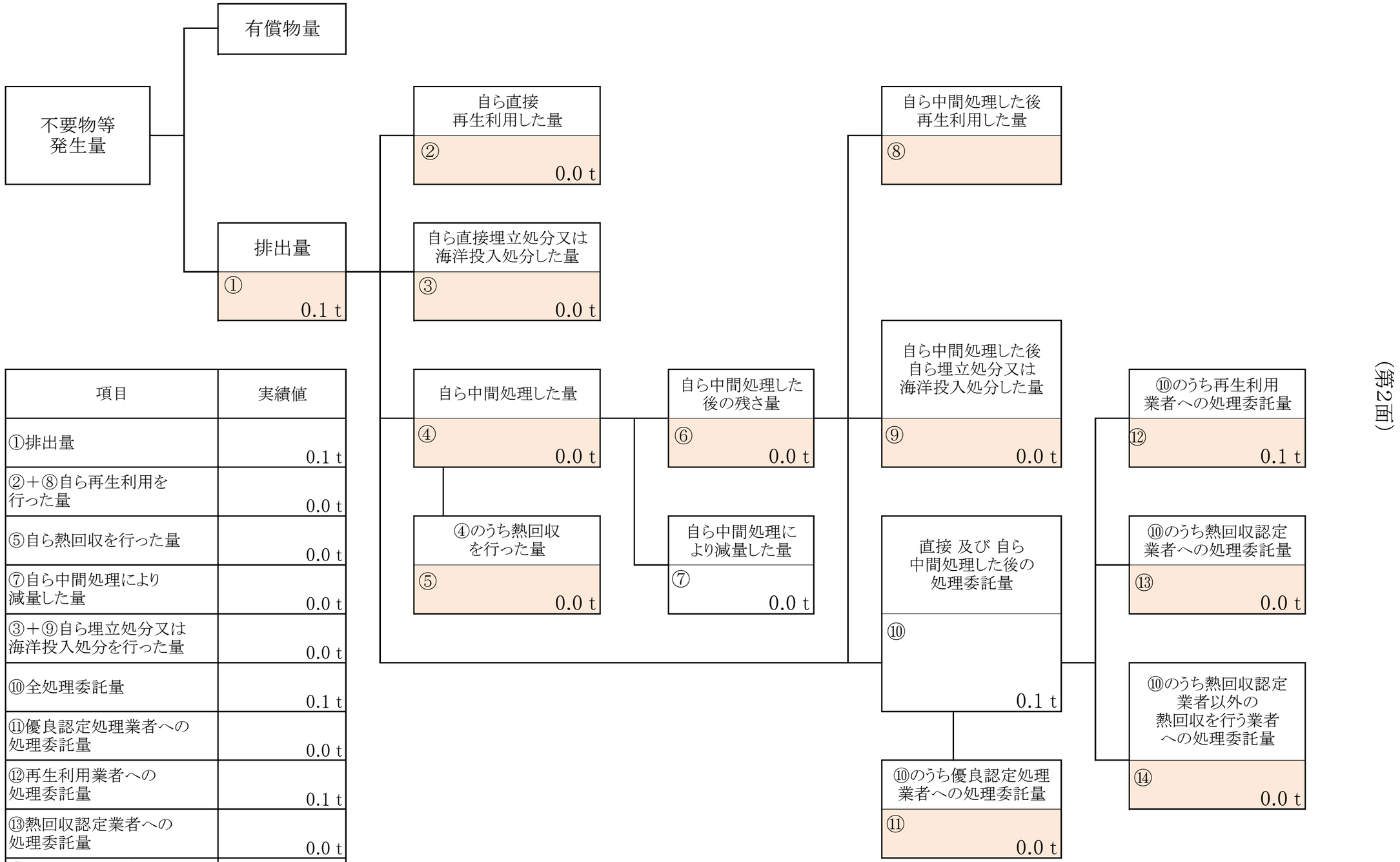


項目	実績値
①排出量	16.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	16.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：**ガラスくず**）



項目	実績値
①排出量	0.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0108

住　所　千葉県市原市千種海岸1

法人名　大阪国際石油精製株式会社

代表者　天本 忍

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-23-9736

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大阪国際石油精製株式会社　千葉製油所
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸1番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　　製造業　　中分類：　石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	２０２３年度出荷額　５，０８３億円
③従業員数	３８９名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	－ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とした取組を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今年度も廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とした取組を行っていく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状で発生する廃棄物は、別紙（処理工程）1-4 廃棄物分類・委託処理方法表にある通り、出来るだけ再利用に向けた分別/処分を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状では焼却後の残渣を再利用している廃棄物(廃油・廃アルカリ・汚泥)について、直接再利用出来るような分別を行う。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
廃棄物とした後には、自ら行う産業廃棄物の再生利用は実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
引き続き、今後も全量委託にて処理する予定。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>9941.8 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
排水処理工程で発生した汚泥(別紙（処理工程）1-2,引抜汚泥)を汚泥脱水装置(産業廃棄物処理施設非該当)にて脱水・減量化している。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>13500 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も脱水処理を実施する。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も引き続き、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定は無い。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

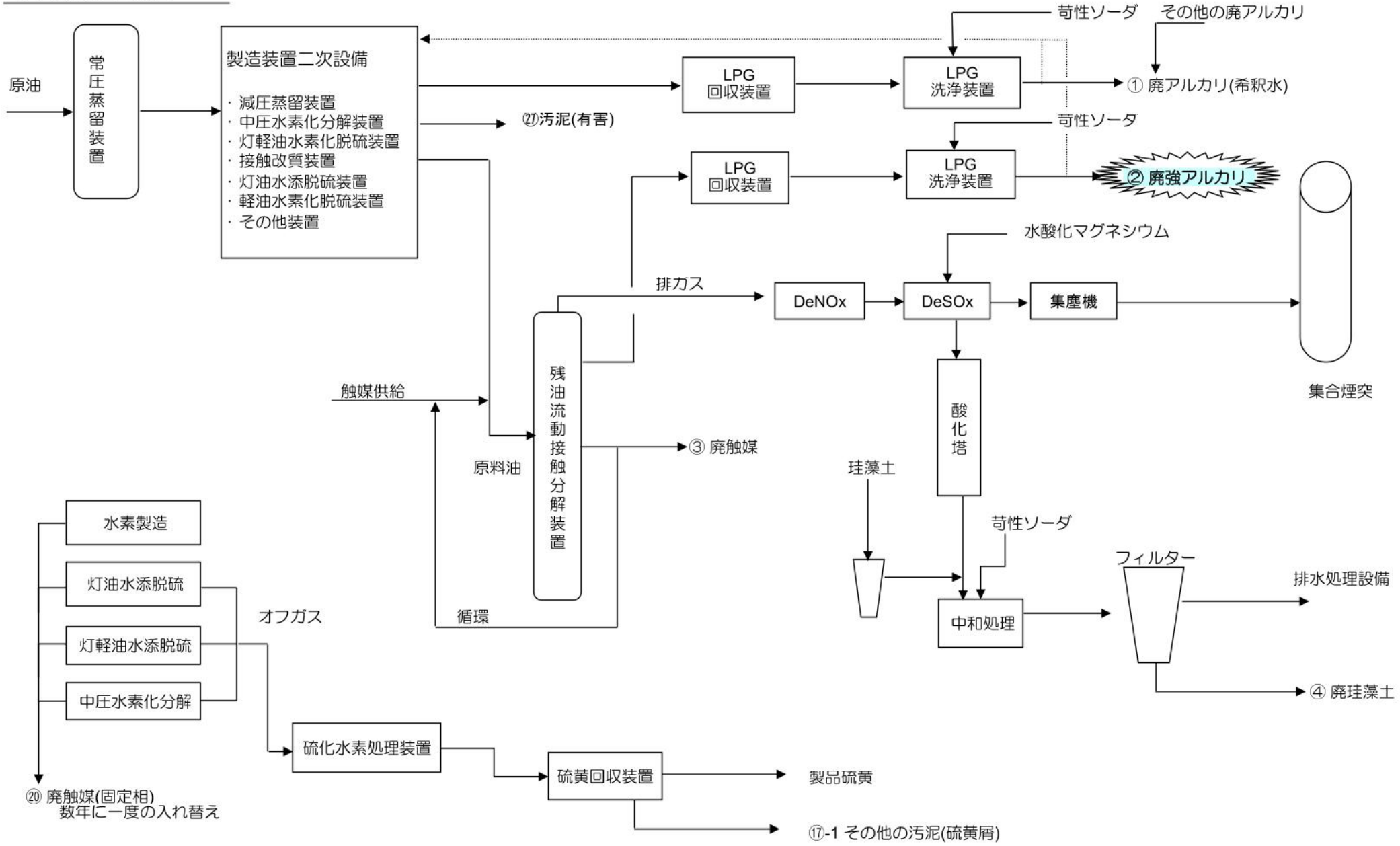
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とし埋め立て処分の委託を可能な限り行わない。		

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今年度も廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とし、埋め立て処分の委託を可能な限り行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考
１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。
２　当該年度の６月30日までに提出すること。
３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
７　※欄は記入しないこと。

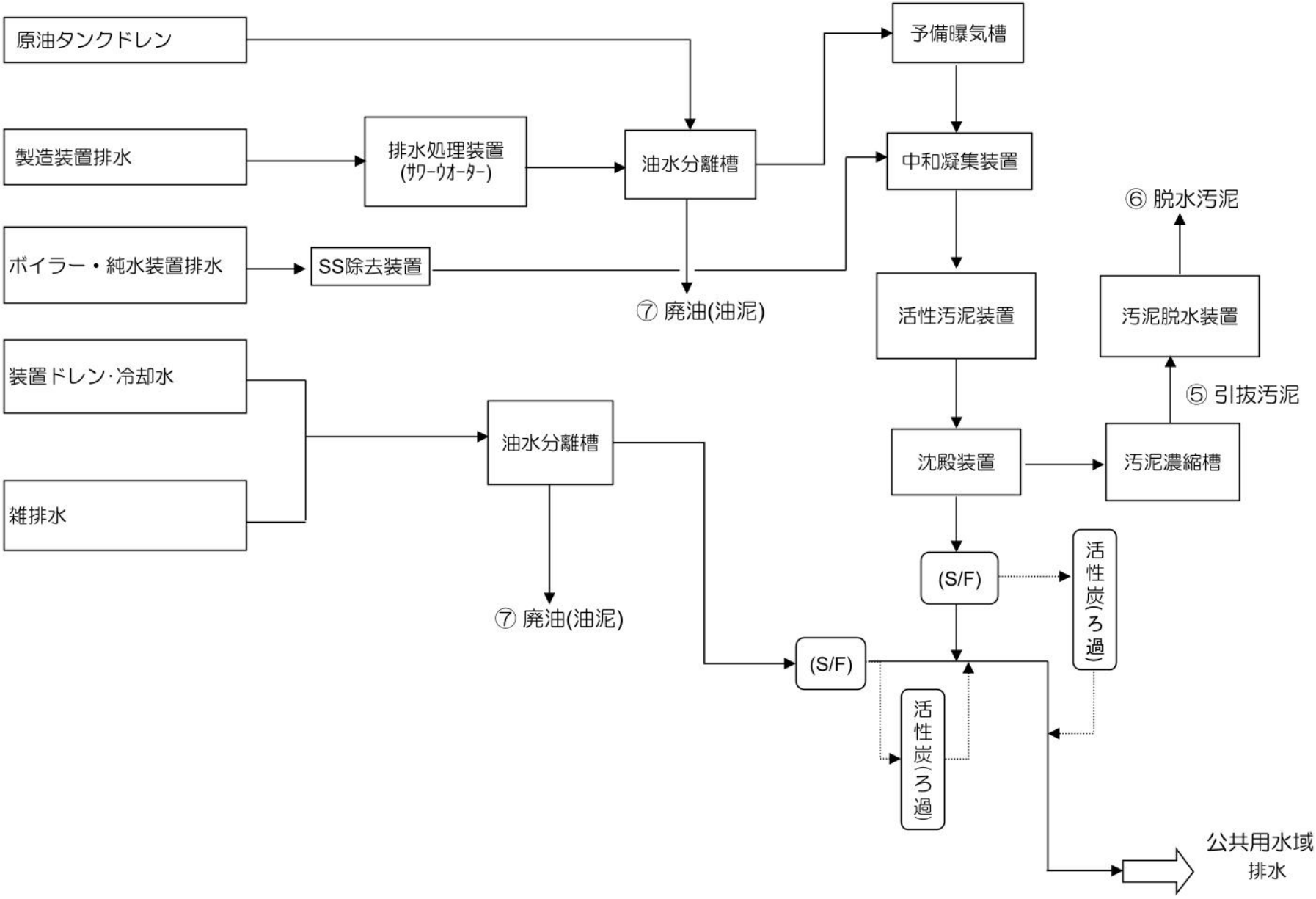
1-1　廃棄物発生工程

1. 石油製造工程図



1-2　廃棄物発生工程

2. 排水処理工程図



1-3　廃棄物発生工程

3. 保全工事工程図

保全工事

- タンク開放検査
- 配管補修工事
- 装置メンテナンス工事
- 機器設置、補修工事
- 定期整備工事
- その他

7. 廃油(油泥)
8. 保温材(ケイ酸カルシウム等)
9. 保温材(飛散性石綿含有)
10. 燃え殻
11. 廃プラスチック(紙･ウエス類含む)
12. がれき類
13. ガラス陶磁器屑
14. 廃蛍光管類(廃電機機械器具)
15. 金属屑
16. 廃油(引火性廃油)
17. その他の汚泥(ガーネット、硫黄屑 等)
18. ガスケット類(非飛散性石綿含有)
20. 廃触媒（固定相）
21. 廃木材
30.PCB汚染物

4.4. その他

所内事務所等

- 所内医務室
- 所内試験室

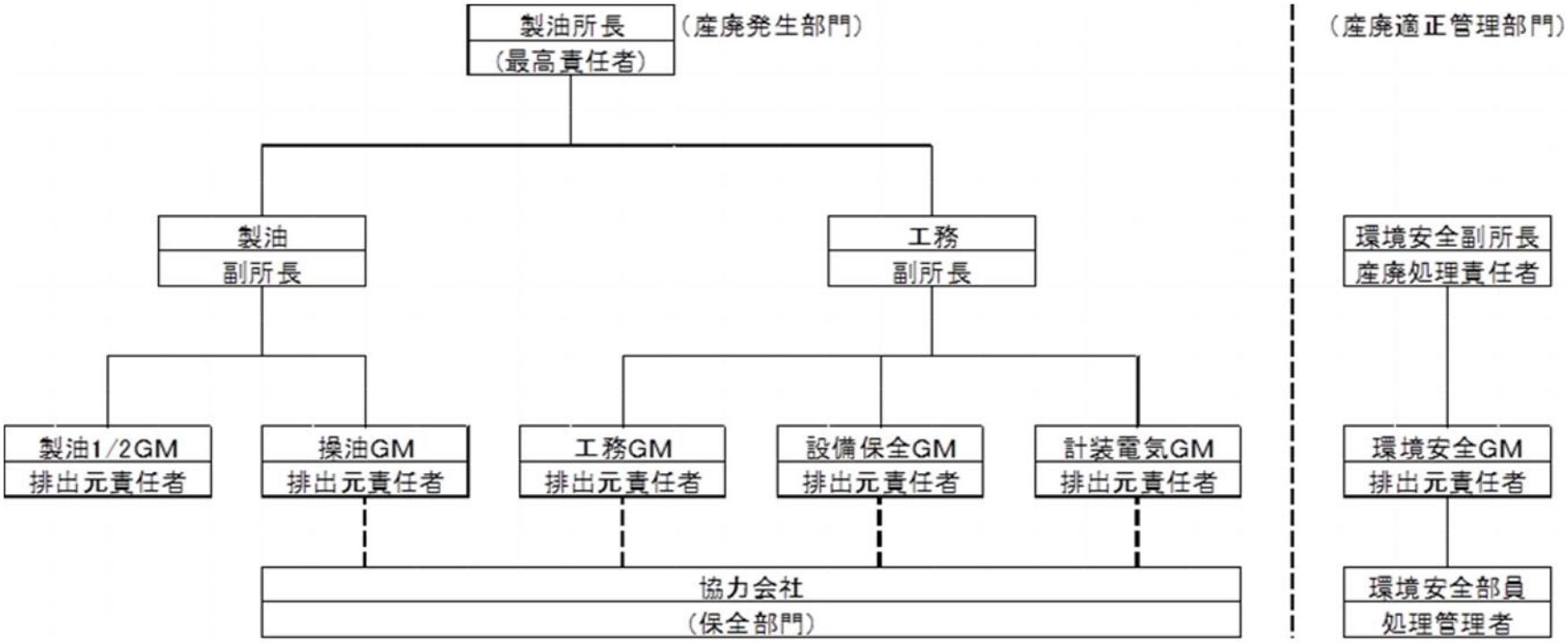
19. 感染性廃棄物
22. 廃乾電池類(廃電機機械器具)
23. OA機器類(廃電機機械器具)
24. 廃酸
25. 廃酸(強酸)
26. 廃酸(有害)
27. 廃油(有害)
28. 汚泥(有害)
29. 廃アルカリ(有害)

1-4 廃棄物分類・委託処理方法表

番号	呼び名	廃棄物の種類	成分	有害物質		特管該当有無	保管場の確保	処理の手段	委託処理方法（焼却・脱水等）	備考
				有無	物質名、濃度			自己・委託・売却		
1	廃アルカリ(希釈水)	廃アルカリ	希釈廃アミン等	無		無	適	委託	焼却	
2	廃強アルカリ	強アルカリ	廃苛性ソーダ	有	PH 12.5以上	有	適	委託	焼却、中和･高温酸化	
3	廃触媒	汚泥	シリカ	無		無	適	委託	焼成、薬注固化	
4	廃珪藻土	汚泥	珪藻土	無		無	適	委託	焼却・固型化	
5	引抜汚泥	汚泥	有機汚泥	無		無	適	自己	脱水	
6	脱水汚泥	汚泥	有機汚泥	無		無	適	委託	焼却・固型化、薬注固化	
7	廃油(油泥)	廃油	廃油、油泥、油分を含む廃プラ等	無		無	適	委託	焼却	
8	保温材	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器屑	ケイ酸カルシウム等	無		無	適	委託	破砕	
9	保温材(飛散性石綿含有)	廃石綿等	石綿	有	飛散性石綿	有	適	委託	溶融	
10	燃え殻	燃え殻	コークス	無		無	適	委託	薬注固化	
11	廃プラスチック	廃プラ	廃プラ･紙等	無		無	適	委託	焼却、破砕	
12	がれき類	がれき類	砂やコンクリートを含むがれき類	無		無	適	委託	破砕	
13	ガラス陶磁器屑	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器屑	ガラス・コンクリート類	無		無	適	委託	破砕	
14	廃蛍光管類	廃電機機械器具	ガラス類	無		無	適	委託	破砕・選別	
15	金属屑	金属屑	鉄屑	無		無	適	委託	破砕	
16	廃油(引火性廃油)	引火性廃油	ペンキ	有	引火点70℃以下の廃油	有	適	委託	混合・油水分離、焼却	
17-1	その他の汚泥	汚泥	硫黄屑	無		無	適	委託	埋立	
17-2	その他の汚泥	汚泥	ガーネット他	無		無	適	委託	焼却、薬注固化	
18	ガスケット類(非飛散性石綿含有)	その他混合廃棄物	非飛散性石綿を含有する金属、廃プラ等	有	非飛散性石綿	無	適	委託	埋立	
19	感染性廃棄物	感染性廃棄物	医療廃棄物	無		有	適	委託	焼却	
20	廃触媒(固定相)	汚泥	シリカ、アルミナ	無		無	適	委託	金属原料化、混練	
21	廃木材	廃木材	木	無		無	適	委託	破砕	
22	廃乾電池類	廃電機機械器具	金属屑･汚泥	無		無	適	委託	破砕	
23	OA機器類	廃電機機械器具	金属屑･廃プラ	無		無	適	委託	破砕	
24	廃酸	廃酸	廃試薬	無		無	適	委託	焼却	
25	廃酸	廃酸(強酸)	廃試薬	有	pH 2以下	有	適	委託	脱水・中和	
26	廃酸(有害)	廃酸(有害)	廃試薬	有	pH 2以下 ヒ素、鉛	有	適	委託	焼却・中和	
27	廃油(有害)	廃油(有害)	廃試薬	有	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ/ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	有	適	委託	焼却	
28	汚泥(有害)	汚泥(有害)	廃試薬	有	水銀/シアン	有	適	委託	焼却・分解	
29	廃アルカリ(有害)	廃アルカリ(有害)	廃試薬	有	ｱﾙｶﾘ有害ｼｱﾝ	有	適	委託	分解・焼却	
30	PCB	PCB汚染物	変圧器６台リアクトル２台	有	PCB	有	適	委託	焼却	
99	混合	その他混合廃棄物	金属屑･汚泥・廃プラ他	無		無	適	委託	破砕･埋立	

注） 番号は工程図の番号と連動

管理体制図


製油所長
（最高責任者）
（産廃発生部門）
（産廃適正管理部門）
製油
副所長
工務
副所長
環境安全副所長
産廃処理責任者
製油1/2GM
排出元責任者
操油GM
排出元責任者
工務GM
排出元責任者
設備保全GM
排出元責任者
計装電気GM
排出元責任者
環境安全GM
排出元責任者
協力会社
（保全部門）
環境安全部員
処理管理者

添付２

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		排　出　量	22.5　t	13343.8　t	229.2　t	74.4　t	108.8　t	0.0　t	0.5　t	2.1　t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		排　出　量	240.0　t	17057.5　t	775.0　t	113.0　t	120.0　t	6.0　t	5.0　t	1.0　t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	9941.8　t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	13500　t	t	t	t	t	t	t

添付３

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
	全処理委託量	22.5 t	3402.0 t	229.2 t	74.4 t	108.8 t	0.0 t	0.5 t	2.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	22.5 t	2325.9 t	115.9 t	74.4 t	34.7 t	0.0 t	0.5 t	0.9 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	2274.1 t	83.6 t	5.3 t	107.8 t	0.0 t	0.5 t	1.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	22.5 t	234.3 t	31.9 t	0.0 t	1.0 t	0.0 t	0.0 t	0.7 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	824.9 t	113.6 t	69.1 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	汚泥	廃油	廃プラ	ガラスコンクリート陶磁器屑	燃え殻	蛍光灯	金属屑
	全処理委託量	240.0 t	3557.5 t	775.0 t	113.0 t	120.0 t	6.0 t	5.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	240.0 t	2432.2 t	391.9 t	113.0 t	38.3 t	6.0 t	5.2 t	0.4 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	2378.0 t	282.7 t	8.0 t	118.9 t	0.0 t	5.2 t	0.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	240.0 t	245.0 t	107.9 t	0.0 t	1.1 t	0.0 t	0.0 t	0.3 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	862.6 t	384.1 t	105.0 t	0.0 t	6.0 t	0.1 t	0.0 t

添付２

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		排　出　量	63.3　t	1.0　t	5.6　t	42.8　t	4.4　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		排　出　量	150.0　t	5.0　t	5.0　t	2.0　t	15.0　t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

添付３

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	**【目標】**								
	産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
	産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
	全処理委託量	63.3 t	1.0 t	5.6 t	42.8 t	4.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	1.0 t	5.6 t	42.8 t	4.4 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	63.3 t	1.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	5.6 t	42.8 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	4.4 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	電池	廃電気機械器具	廃酸	がれき類			
	全処理委託量	150.0 t	5.0 t	5.0 t	2.0 t	15.0 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	5.0 t	5.0 t	2.0 t	15.0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	150.0 t	5.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	5.0 t	2.0 t	0.0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	15.0 t	t	t	t

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月26日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0108

住所 千葉県市原市千種海岸1

法人名 大阪国際石油精製株式会社

代表者 天本 忍

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0436-23-9736

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大阪国際石油精製株式会社　千葉製油所
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸1番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 石油製品・石炭製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

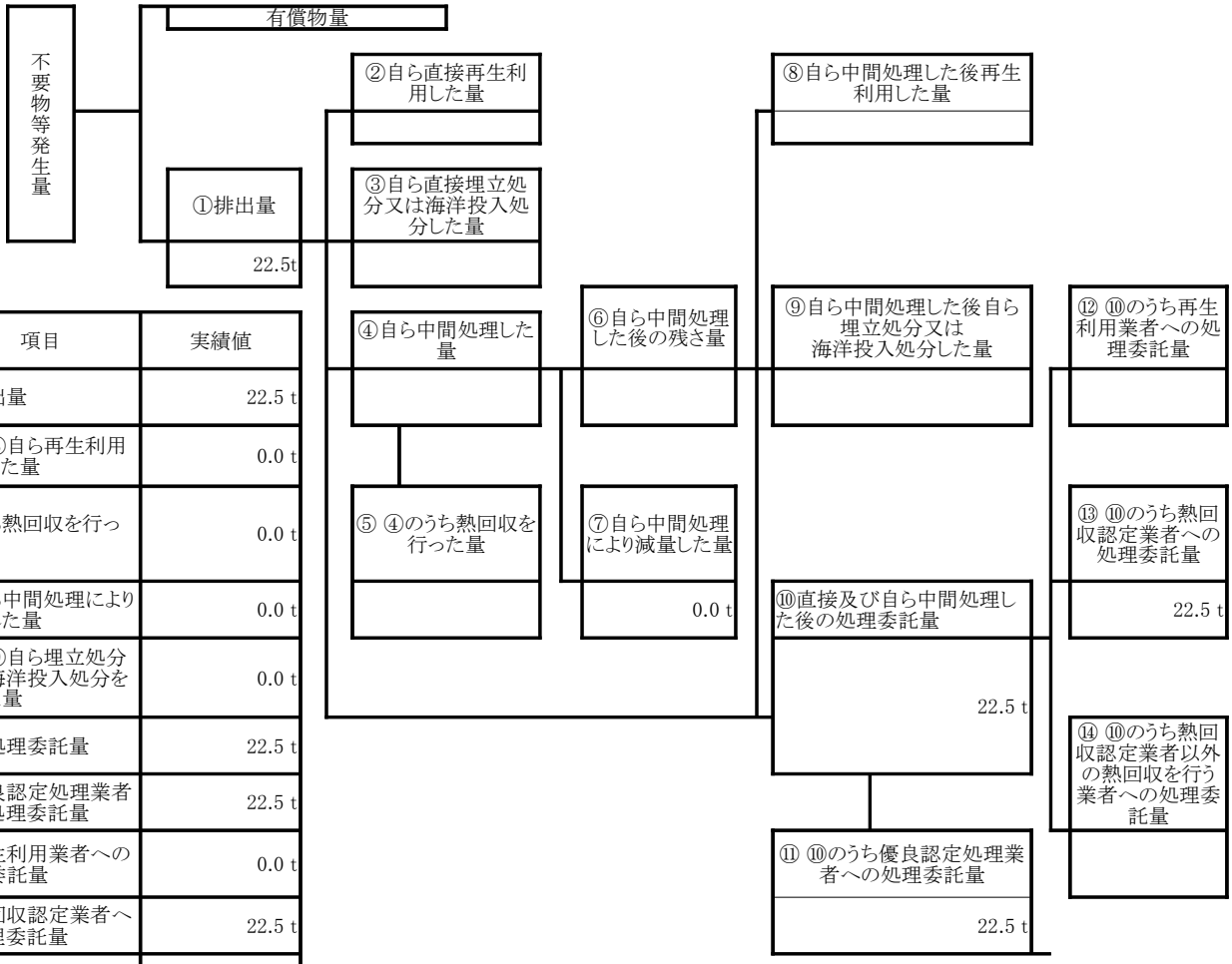
項目	目標値	項目	目標値
排出量	17729.3 t	全処理委託量	4229.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2185.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2509.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13500 t	認定熱回収業者への処理委託量	970.1 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	749.6 t

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃アルカリ　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

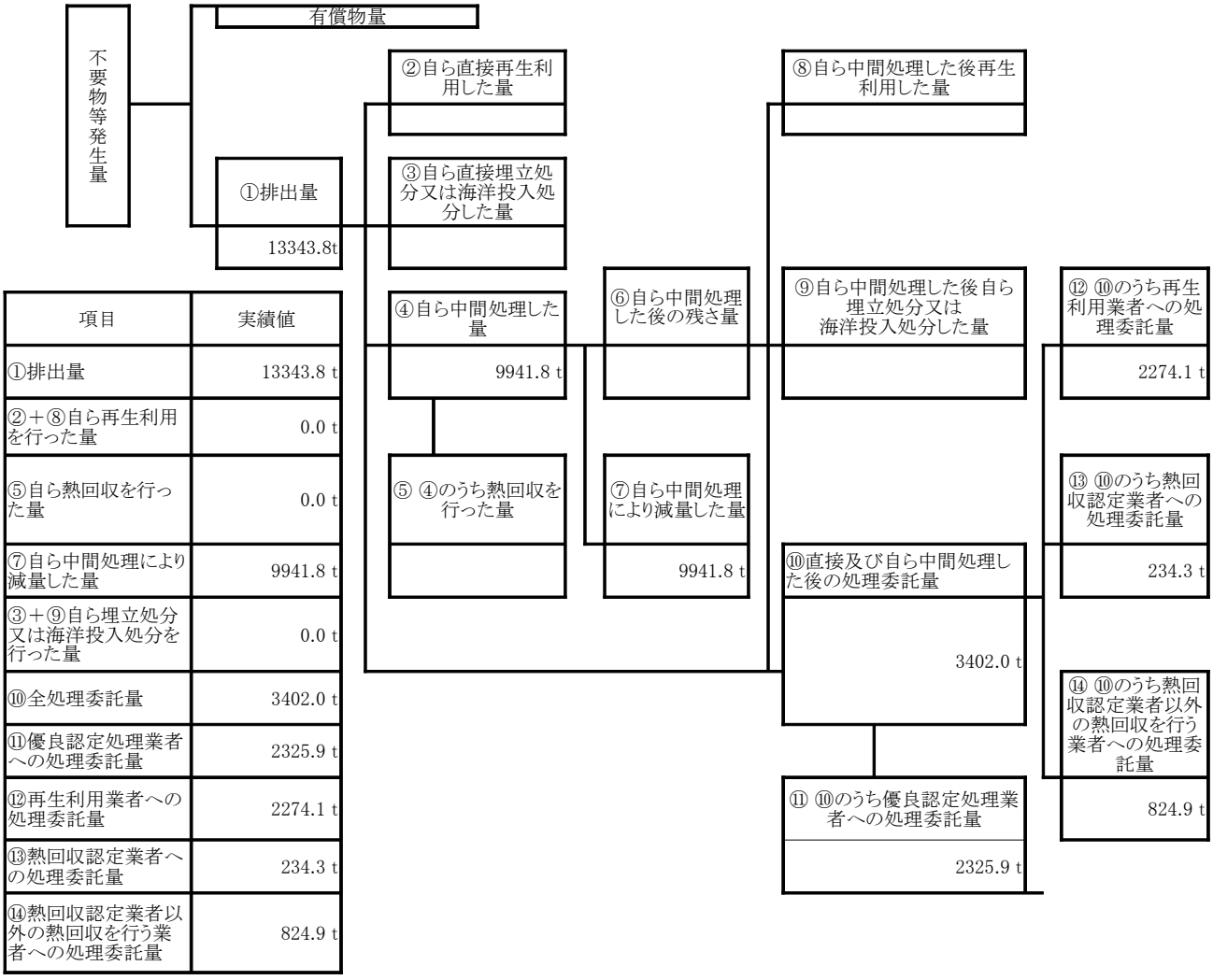


項目	実績値
①排出量	22.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	22.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　汚泥　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

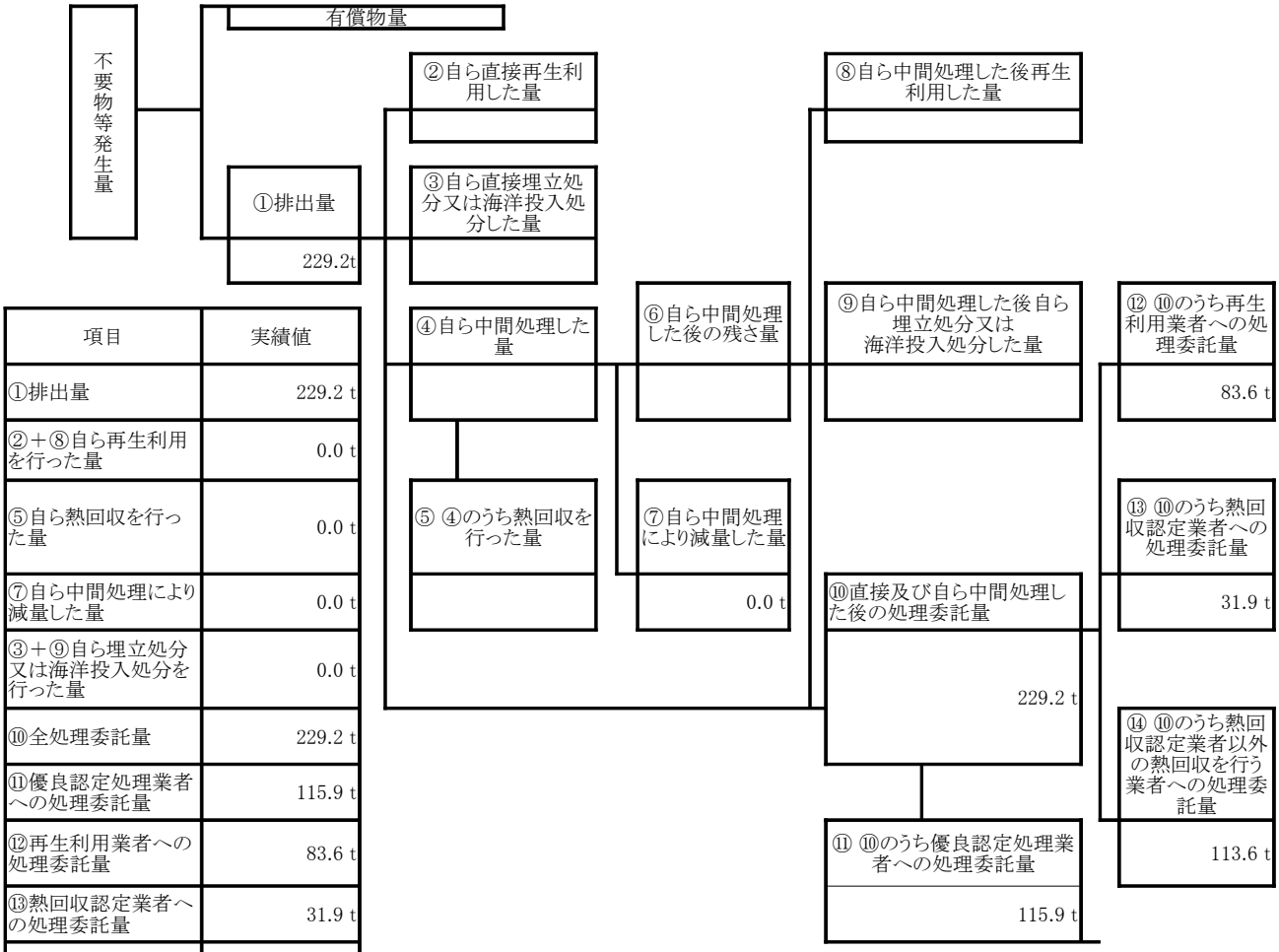


項目	実績値
①排出量	13343.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	9941.8 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3402.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2325.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2274.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	234.3 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	824.9 t

N0.3

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: **廃油** ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

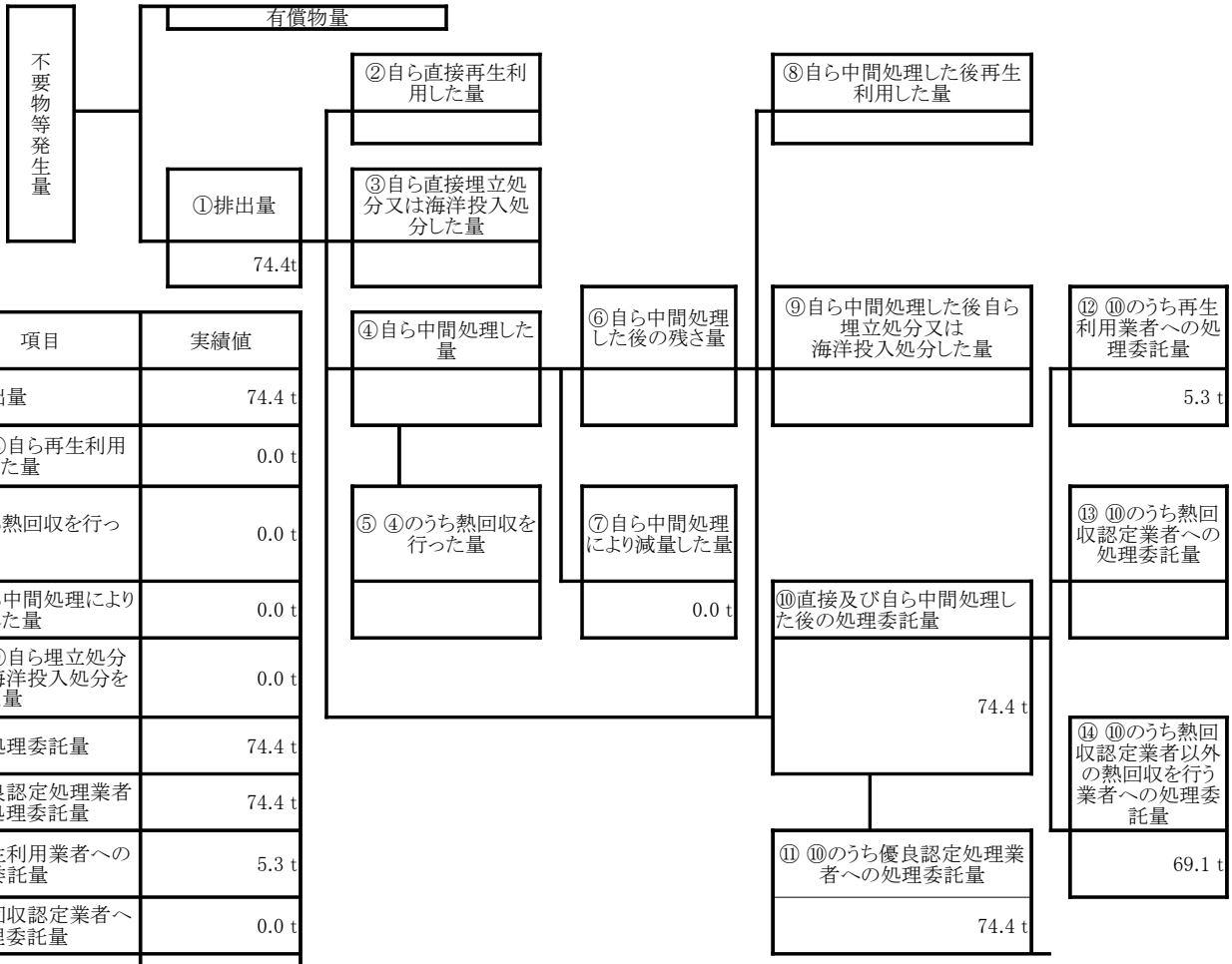


項目	実績値
①排出量	229.2 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	229.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	115.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	83.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	31.9 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	113.6 t

N0.4

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　廃プラスチック　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



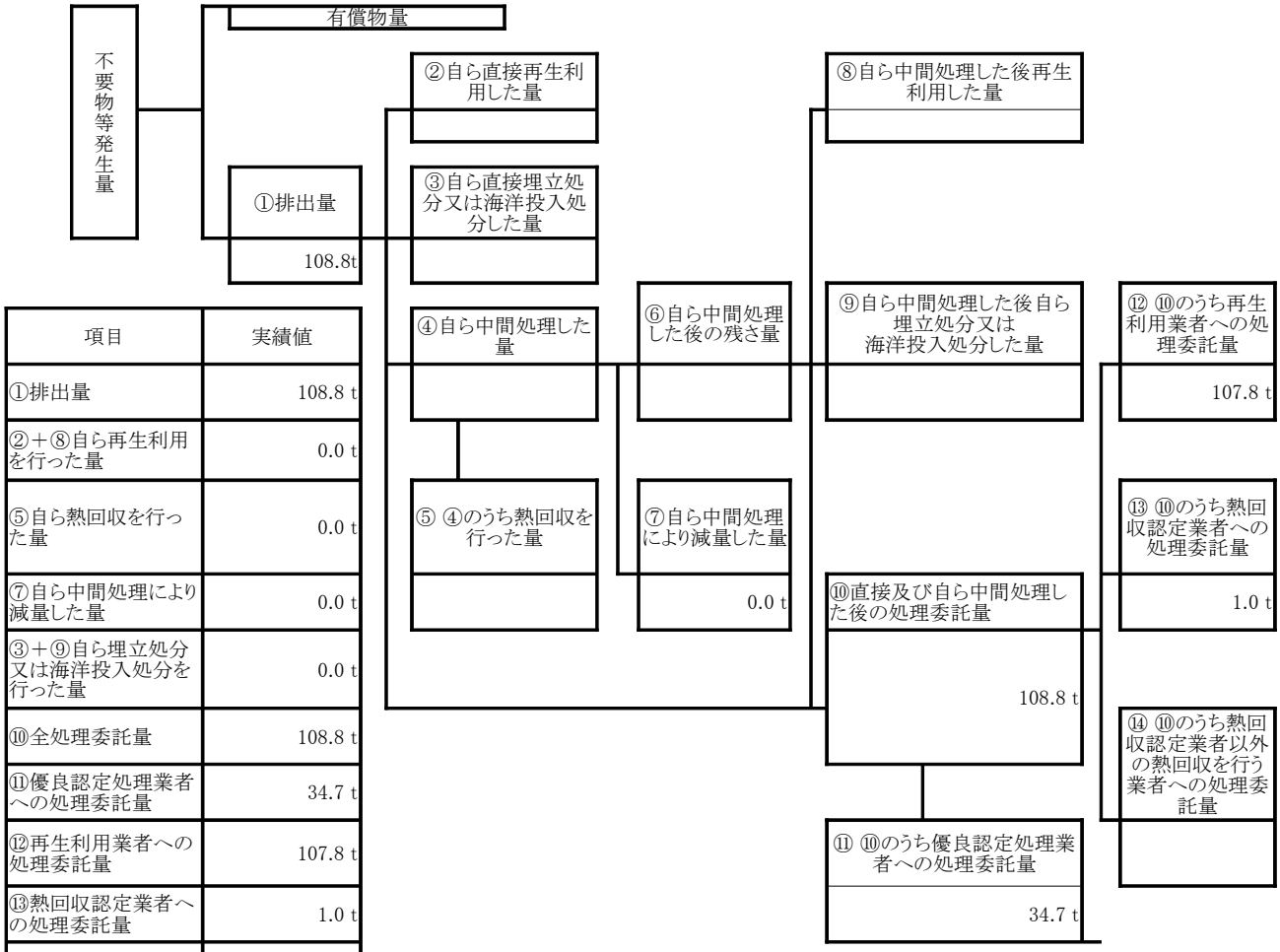
項目	実績値
①排出量	74.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	74.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	69.1 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　ガラスコンクリート屑　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

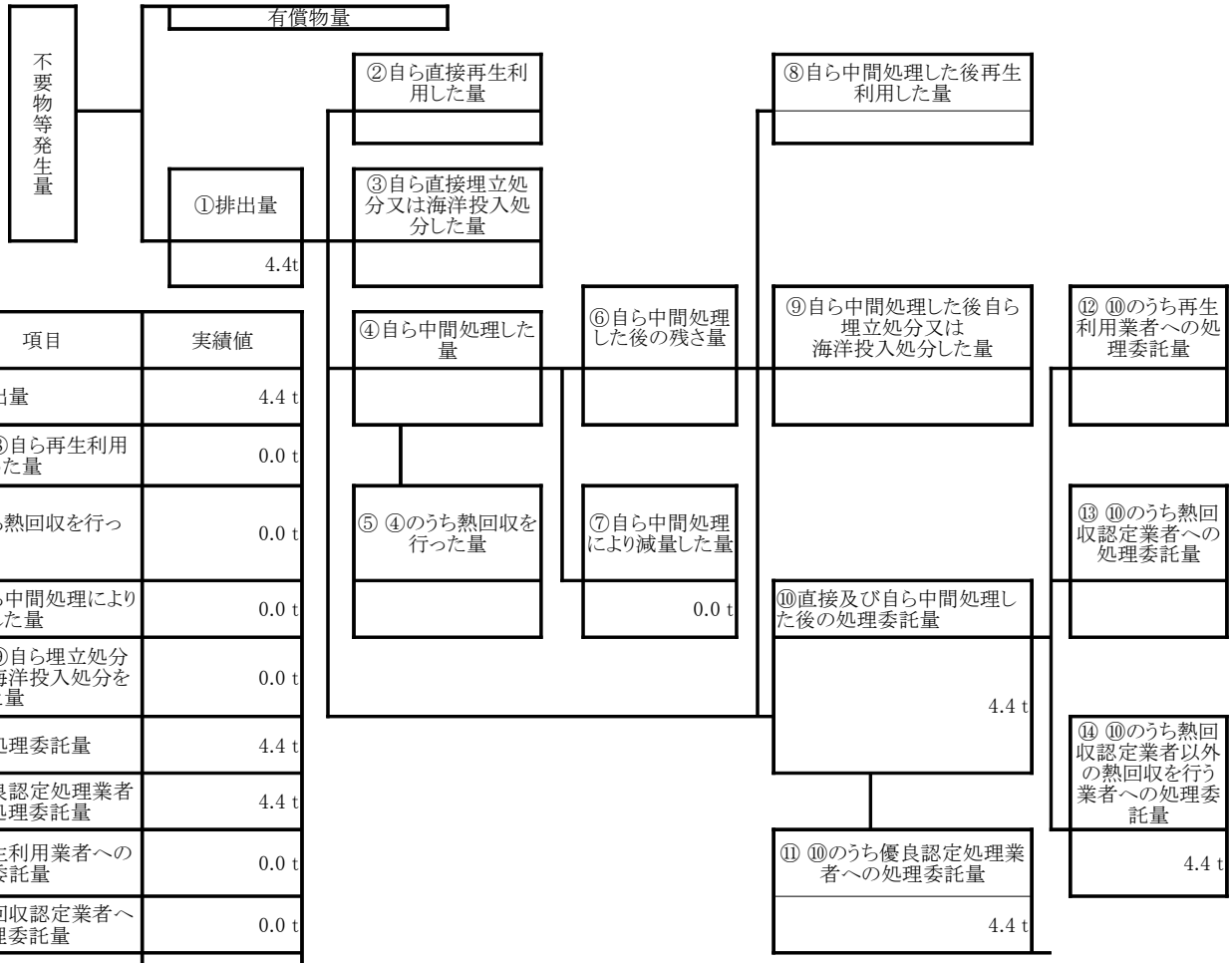


項目	実績値
①排出量	108.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	108.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	107.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**がれき類**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

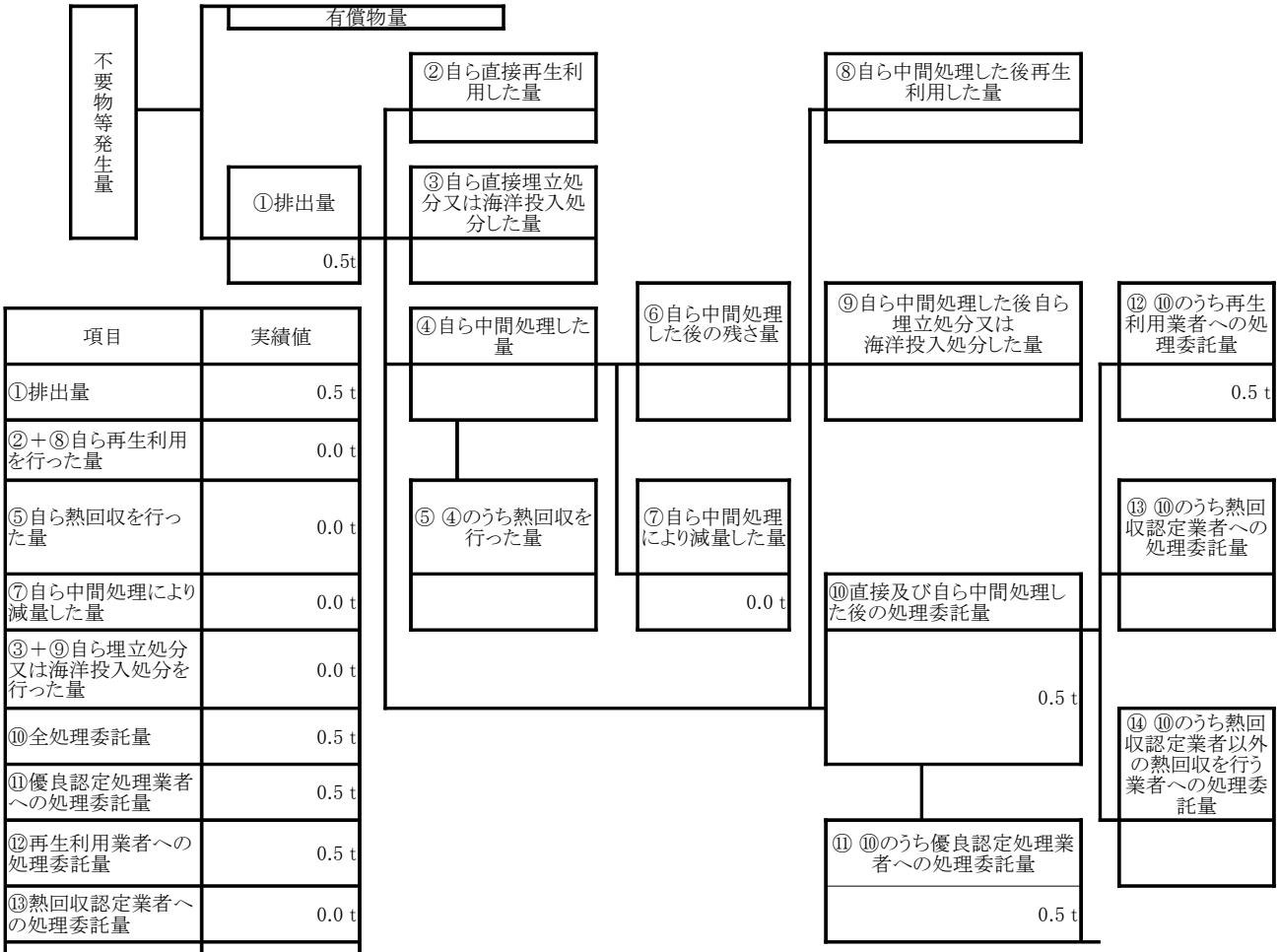


項目	実績値
①排出量	4.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.4 t

N0.7

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　蛍光灯　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



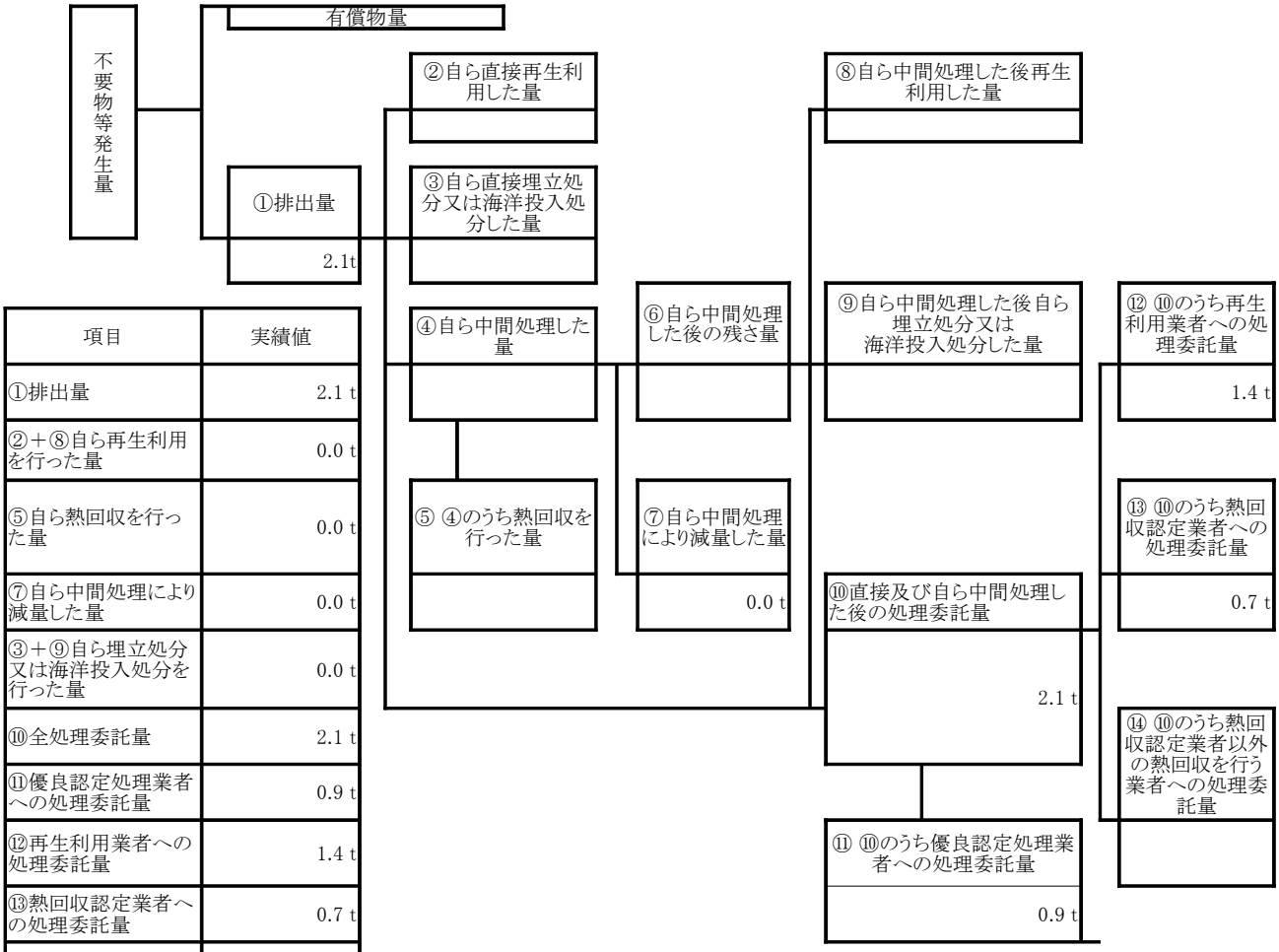
項目	実績値
①排出量	0.5 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　**金属くず**　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

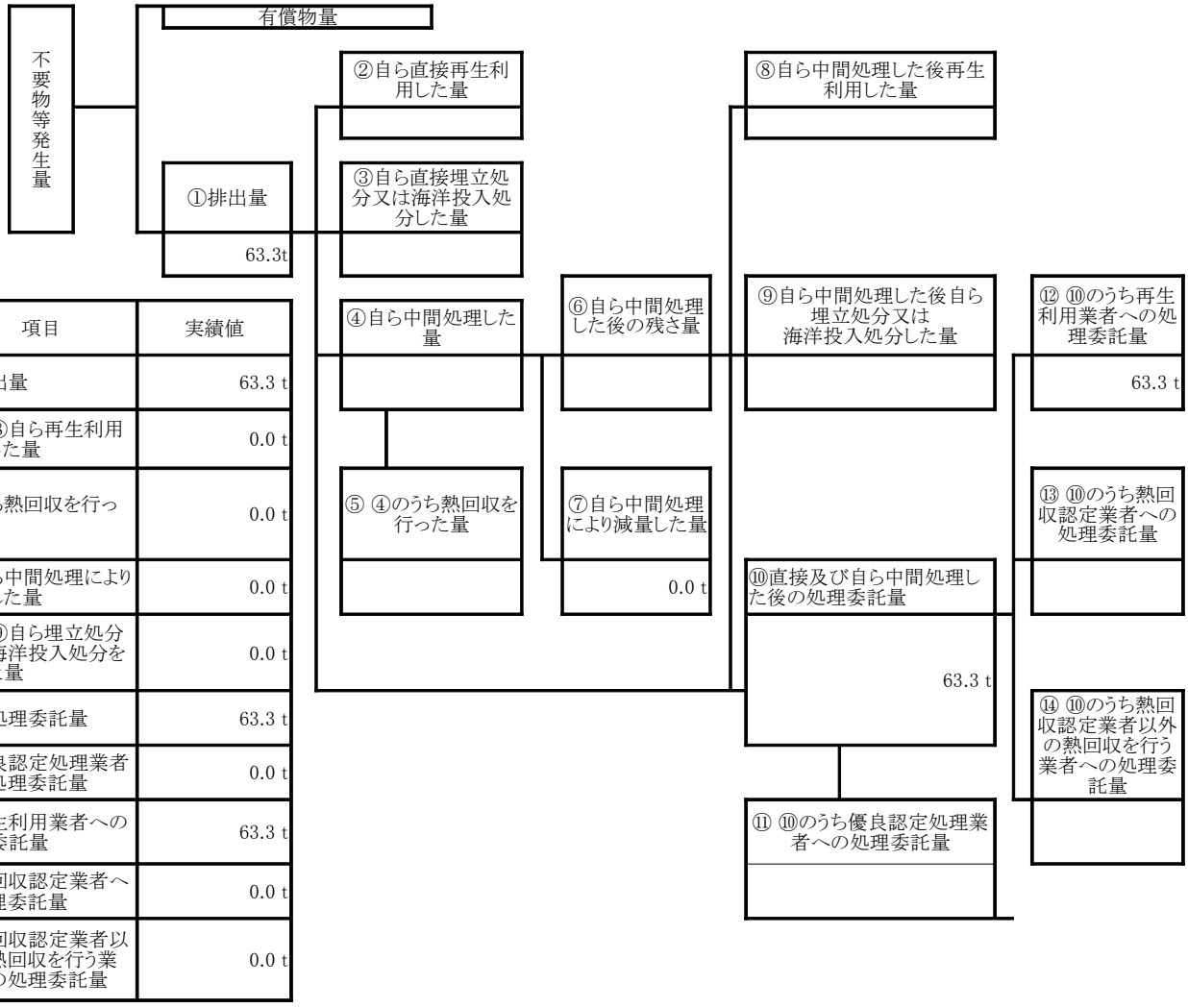


項目	実績値
①排出量	2.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.7 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類: 木くず ）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

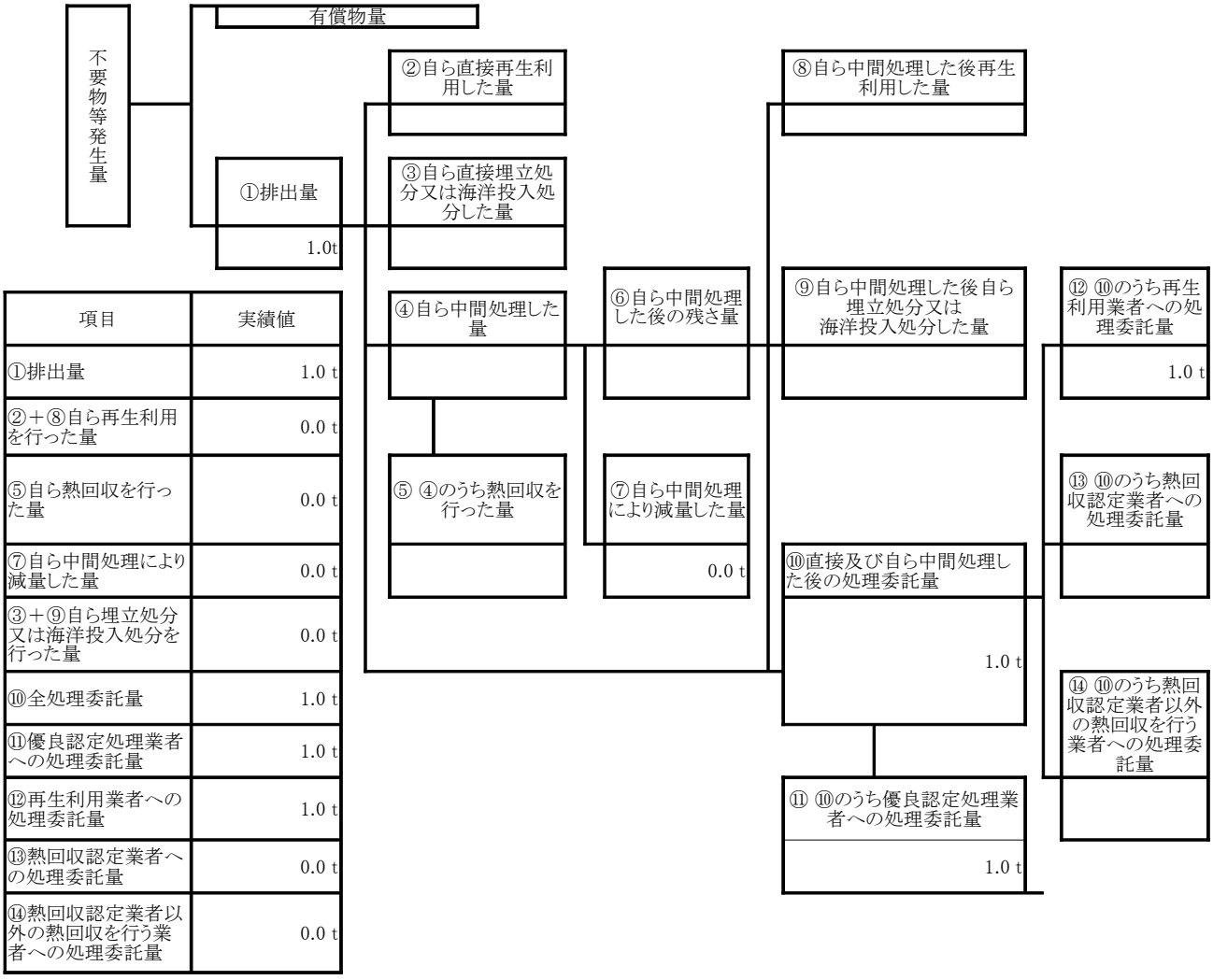


項目	実績値
①排出量	63.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	63.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	63.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　**電池**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

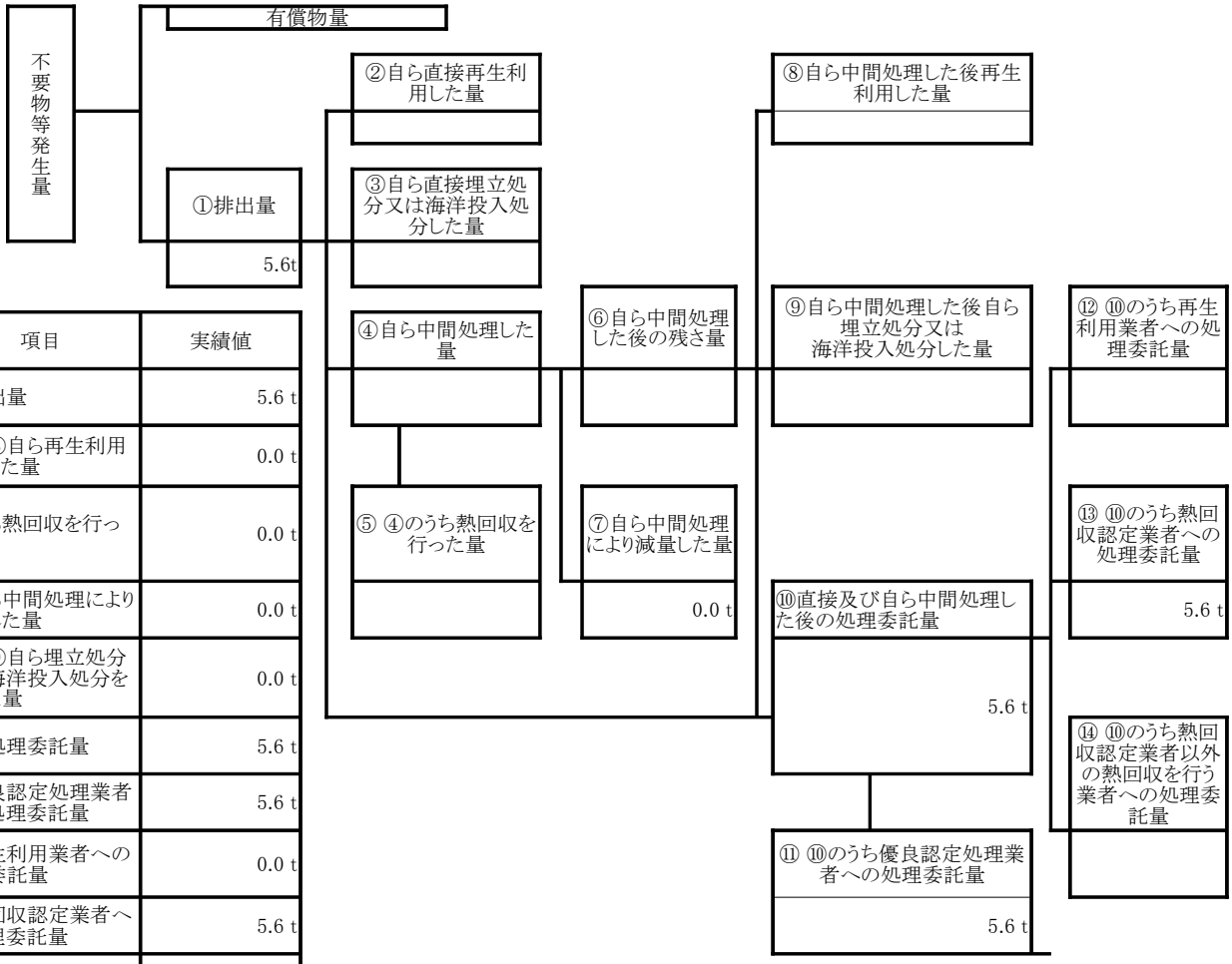


項目	実績値
①排出量	1.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類:　**廃電気機械器具**　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

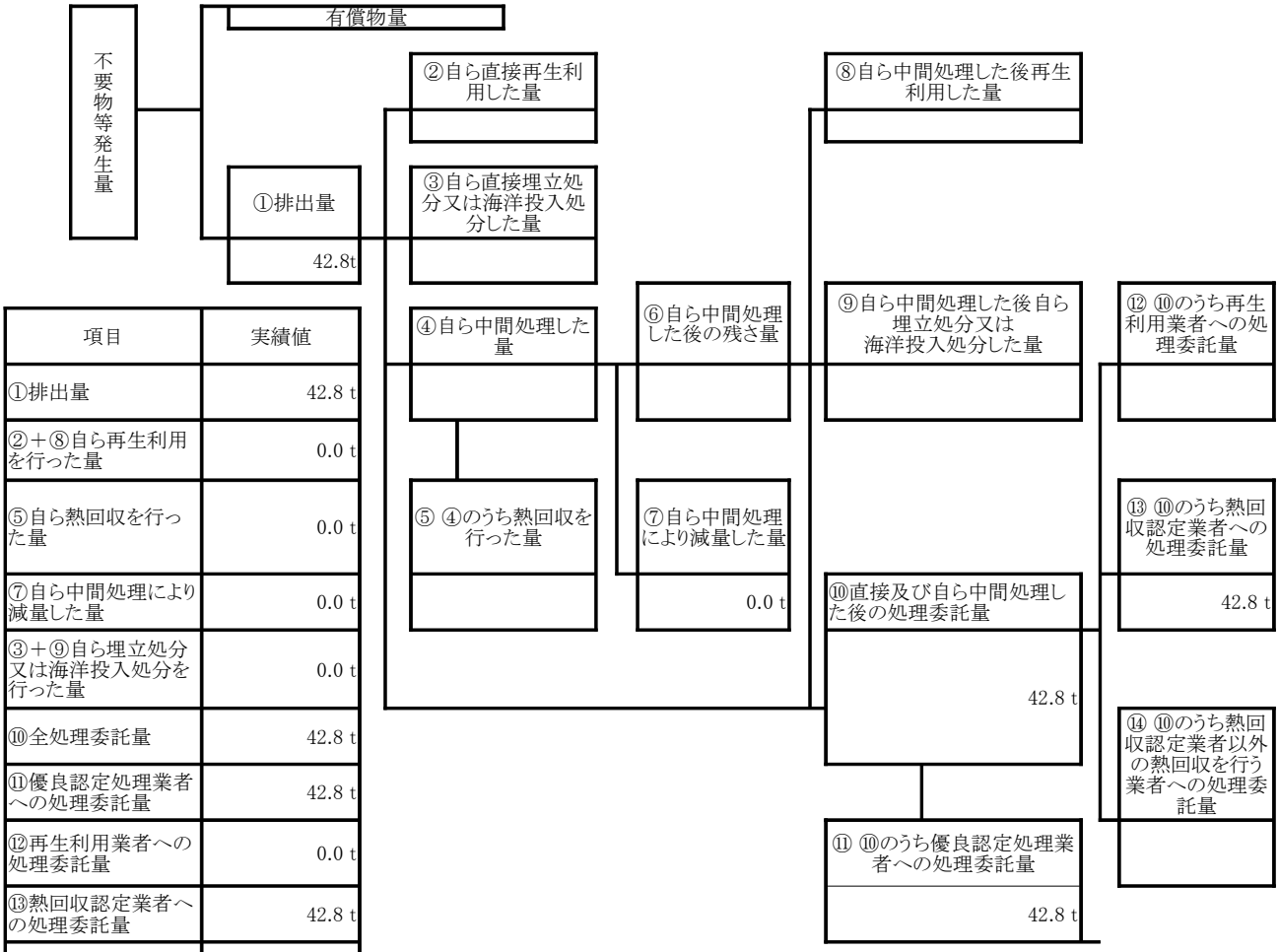


項目	実績値
①排出量	5.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　廃酸　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



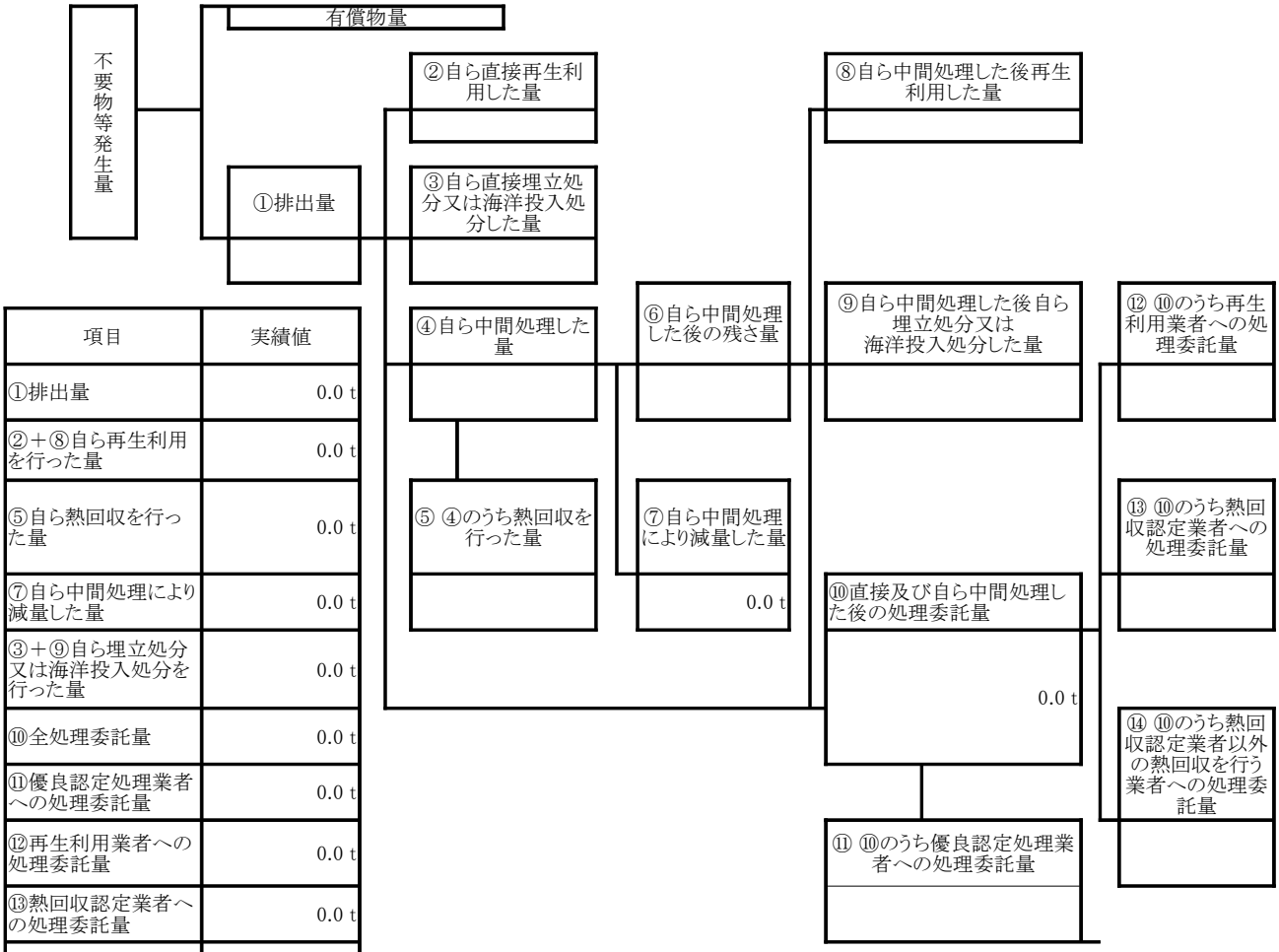
項目	実績値
①排出量	42.8 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	42.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	42.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	42.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

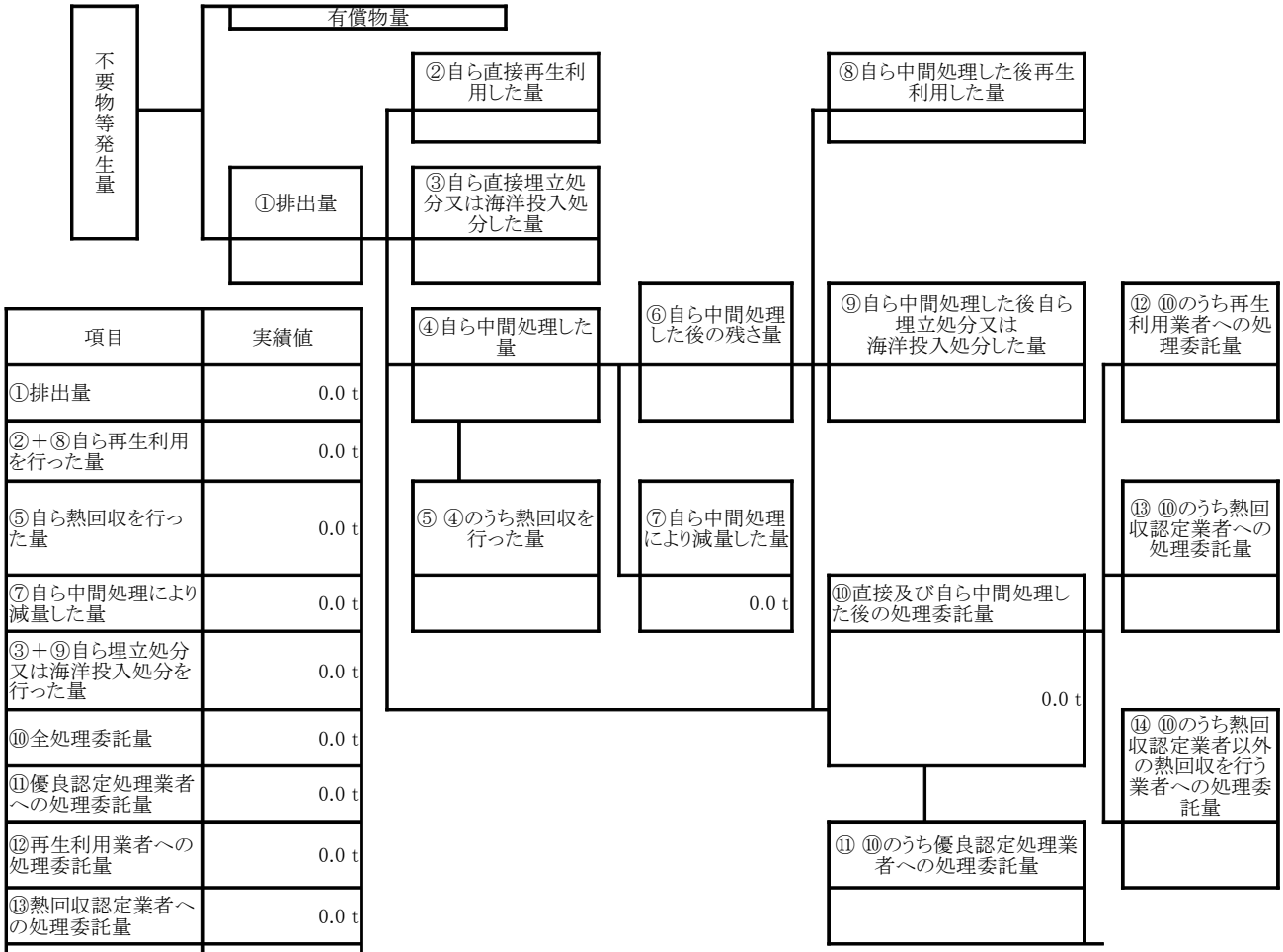


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



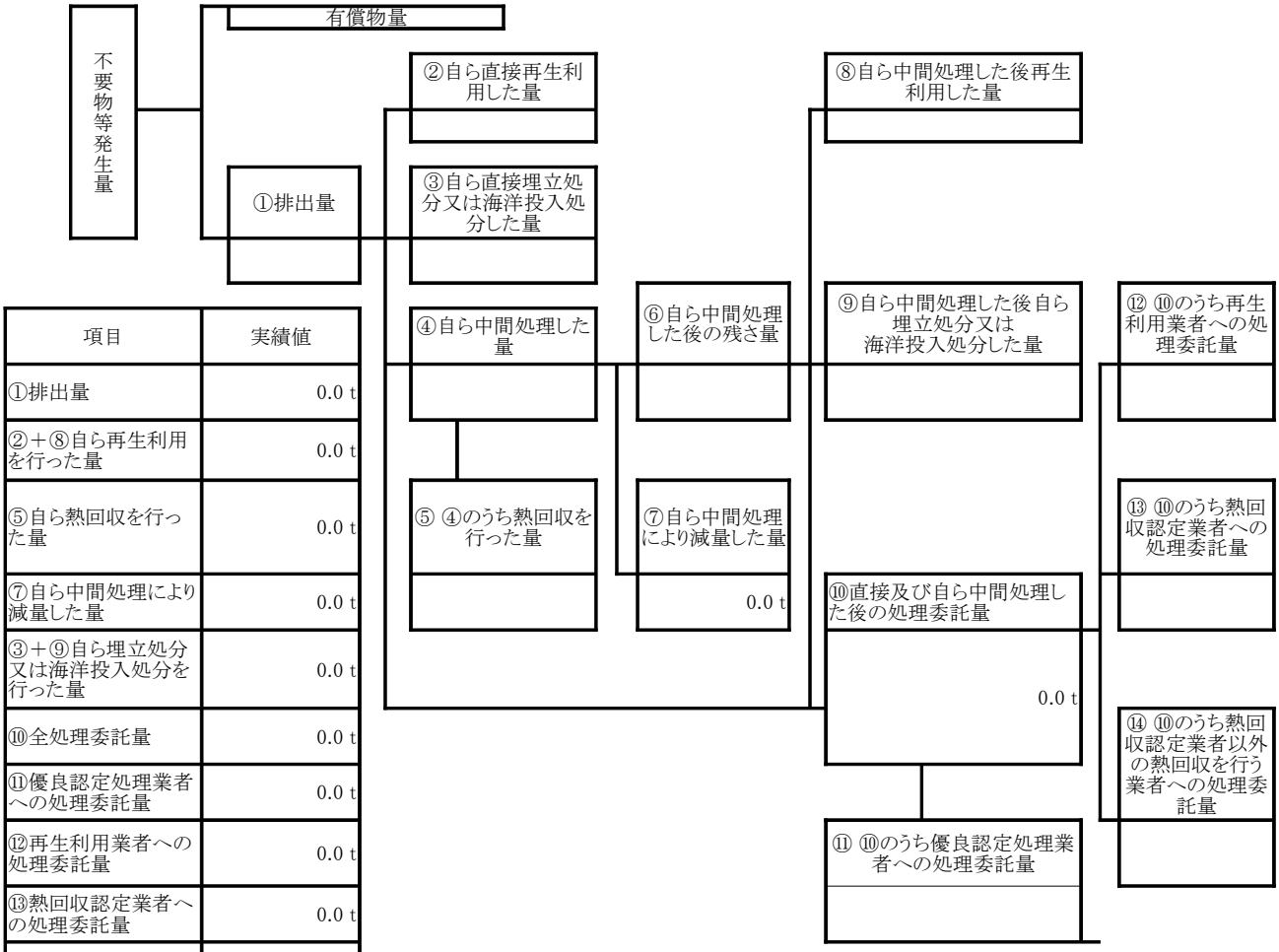
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

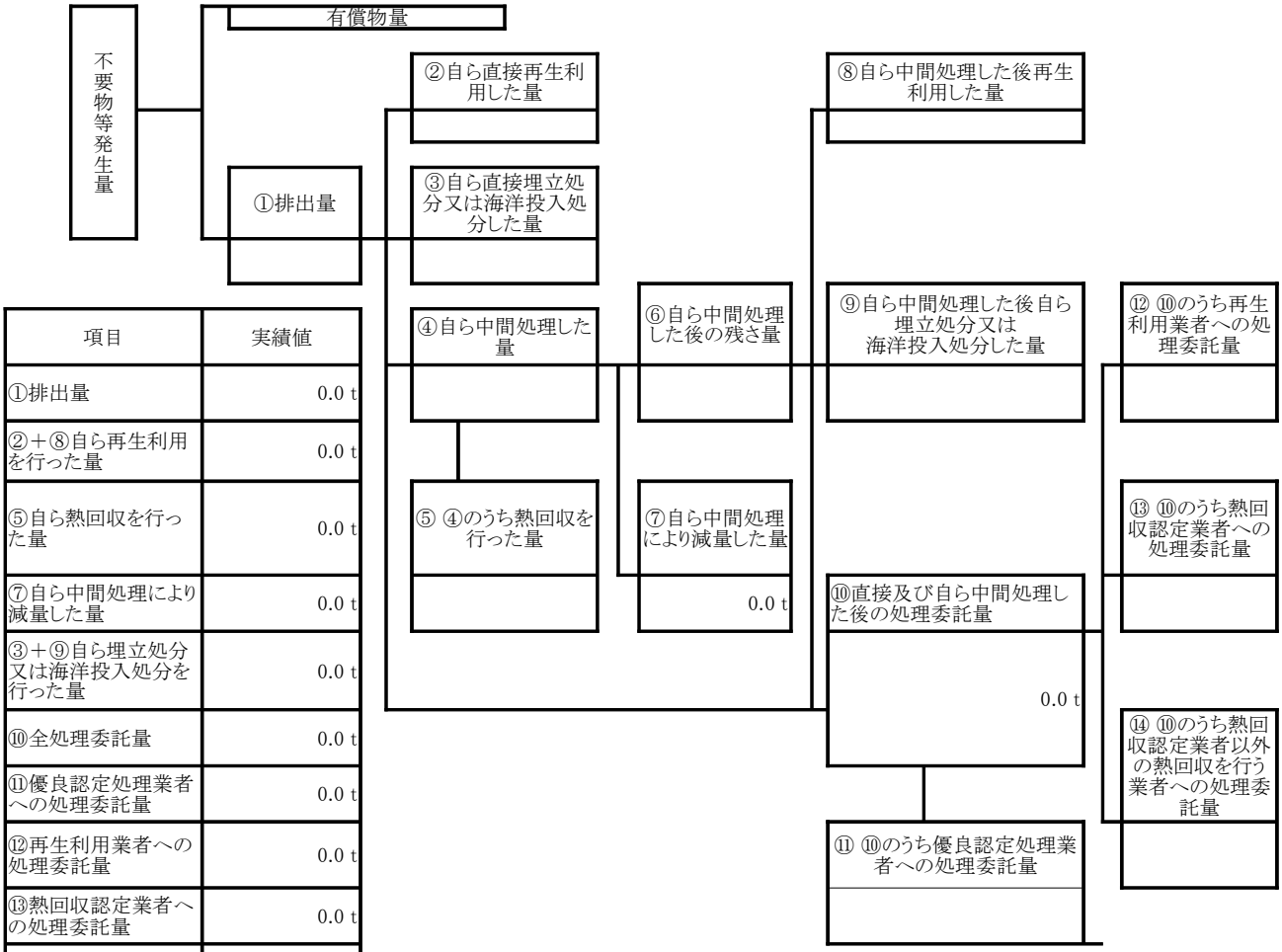


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

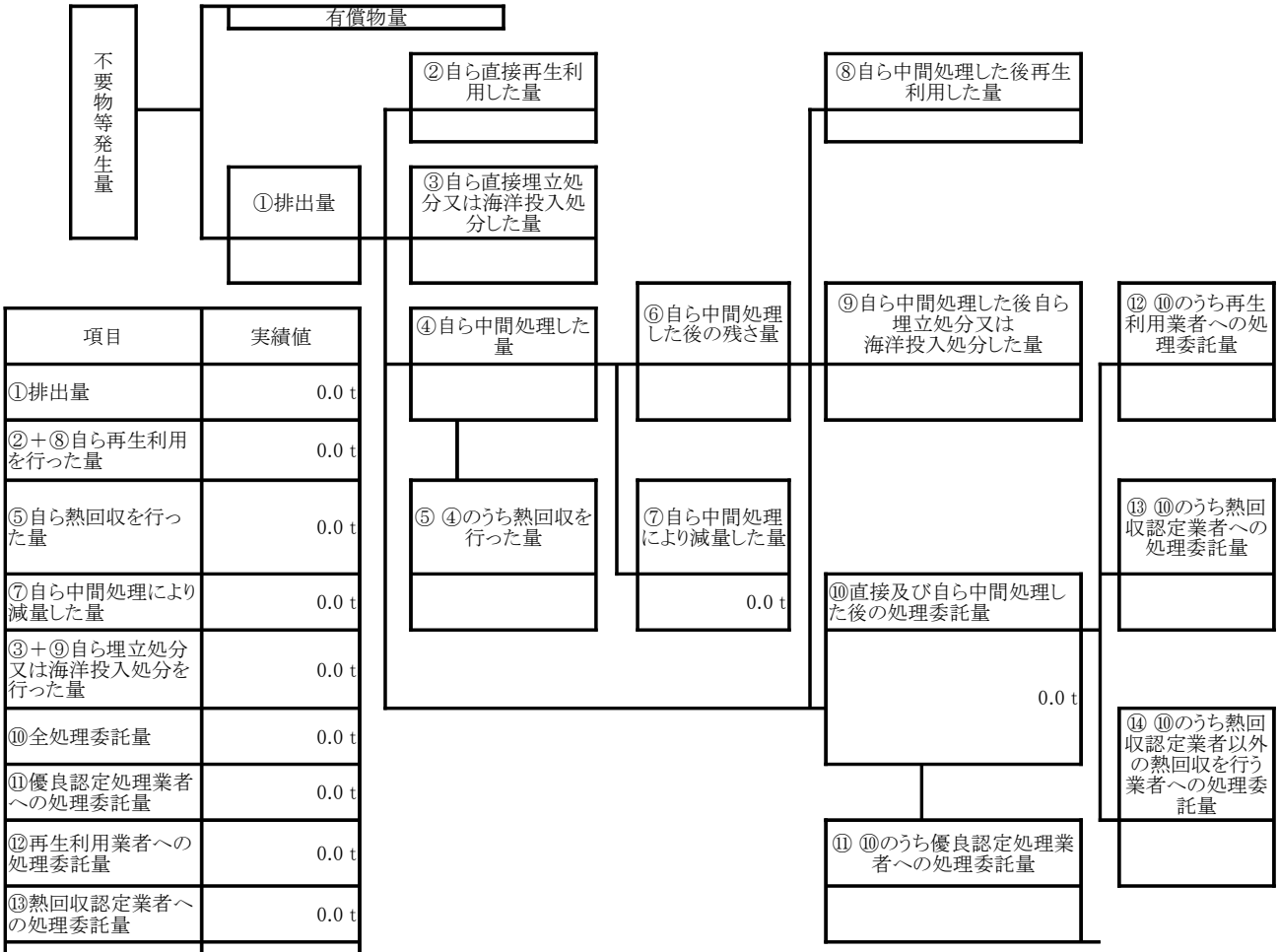


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



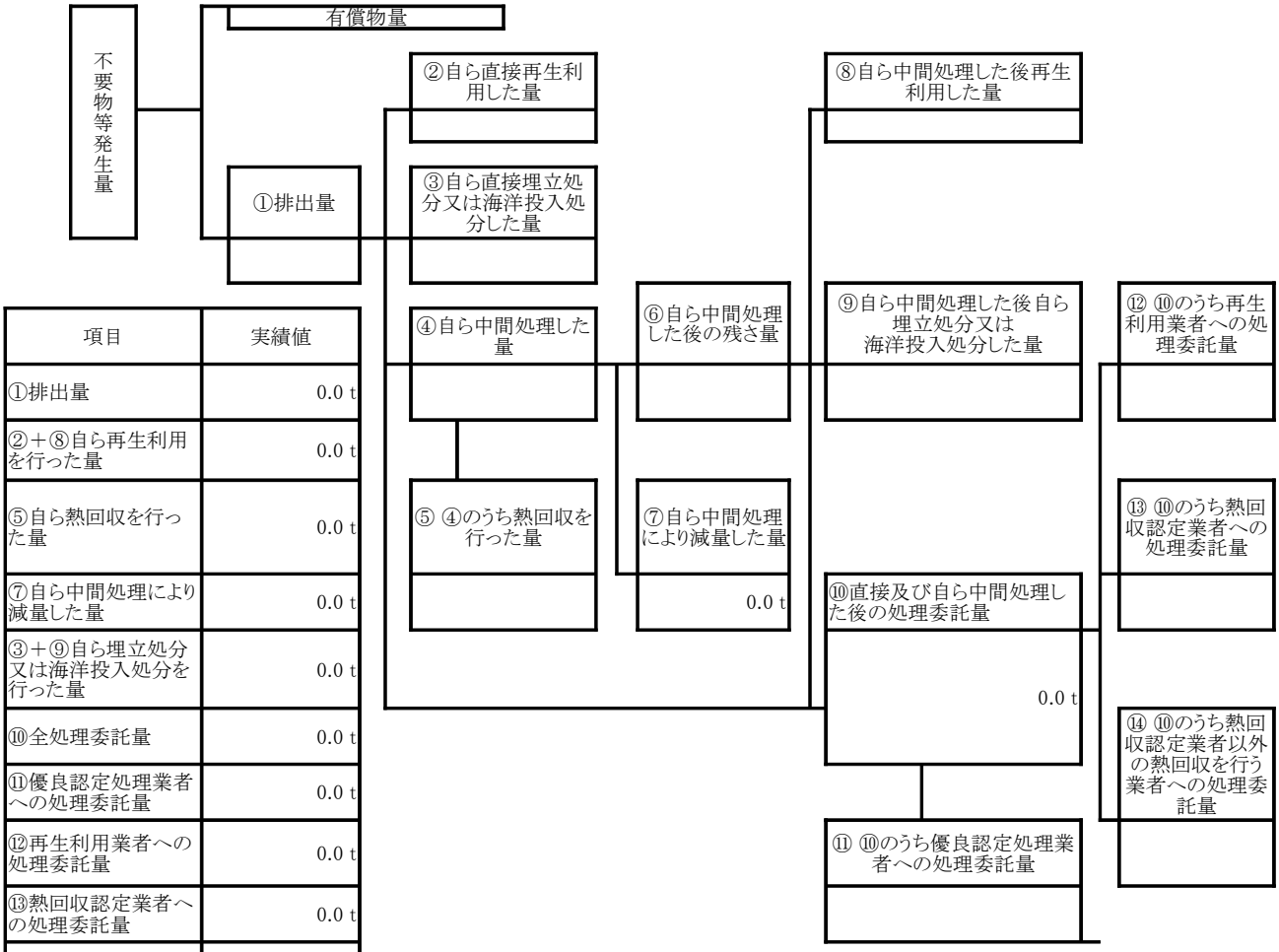
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

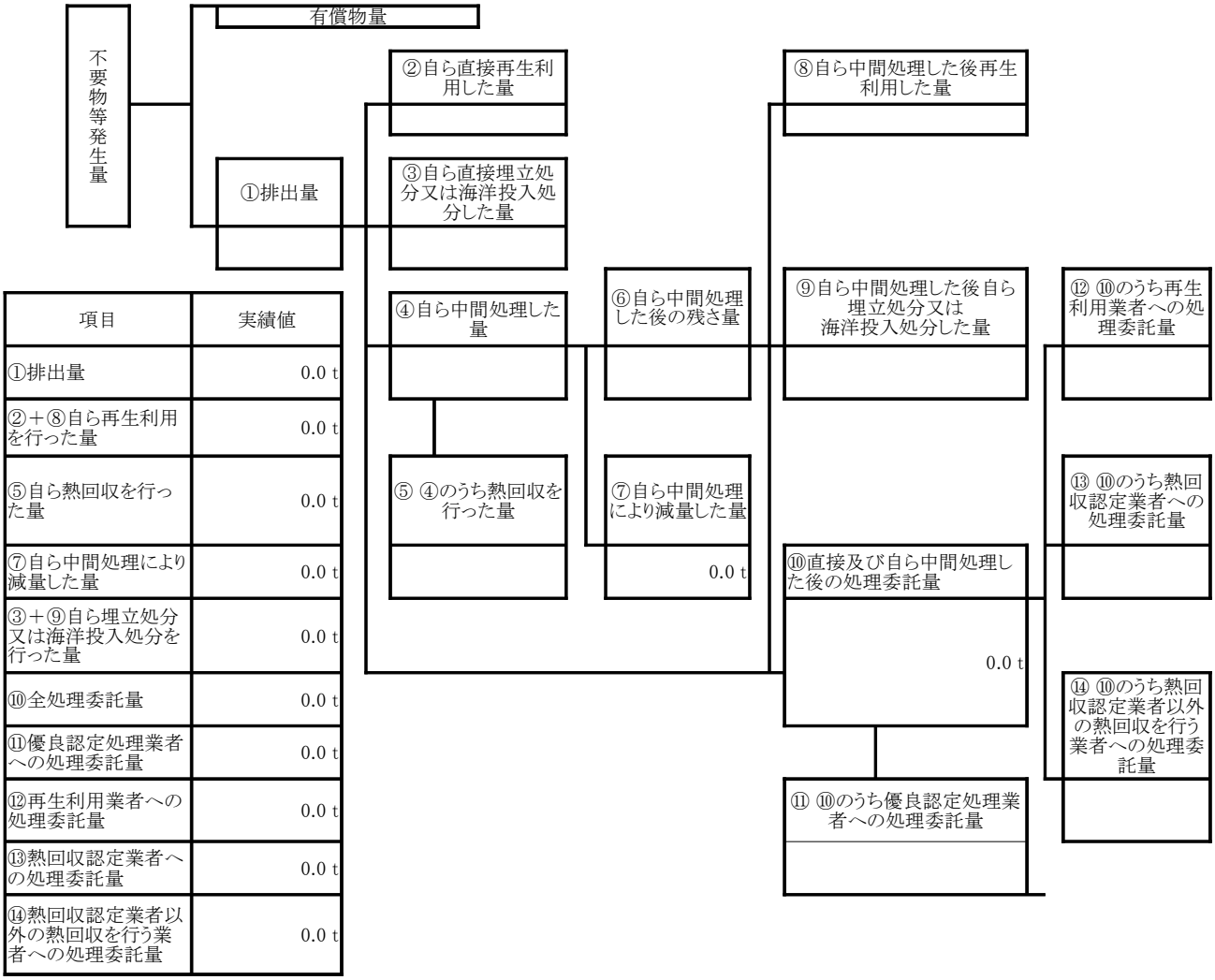


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

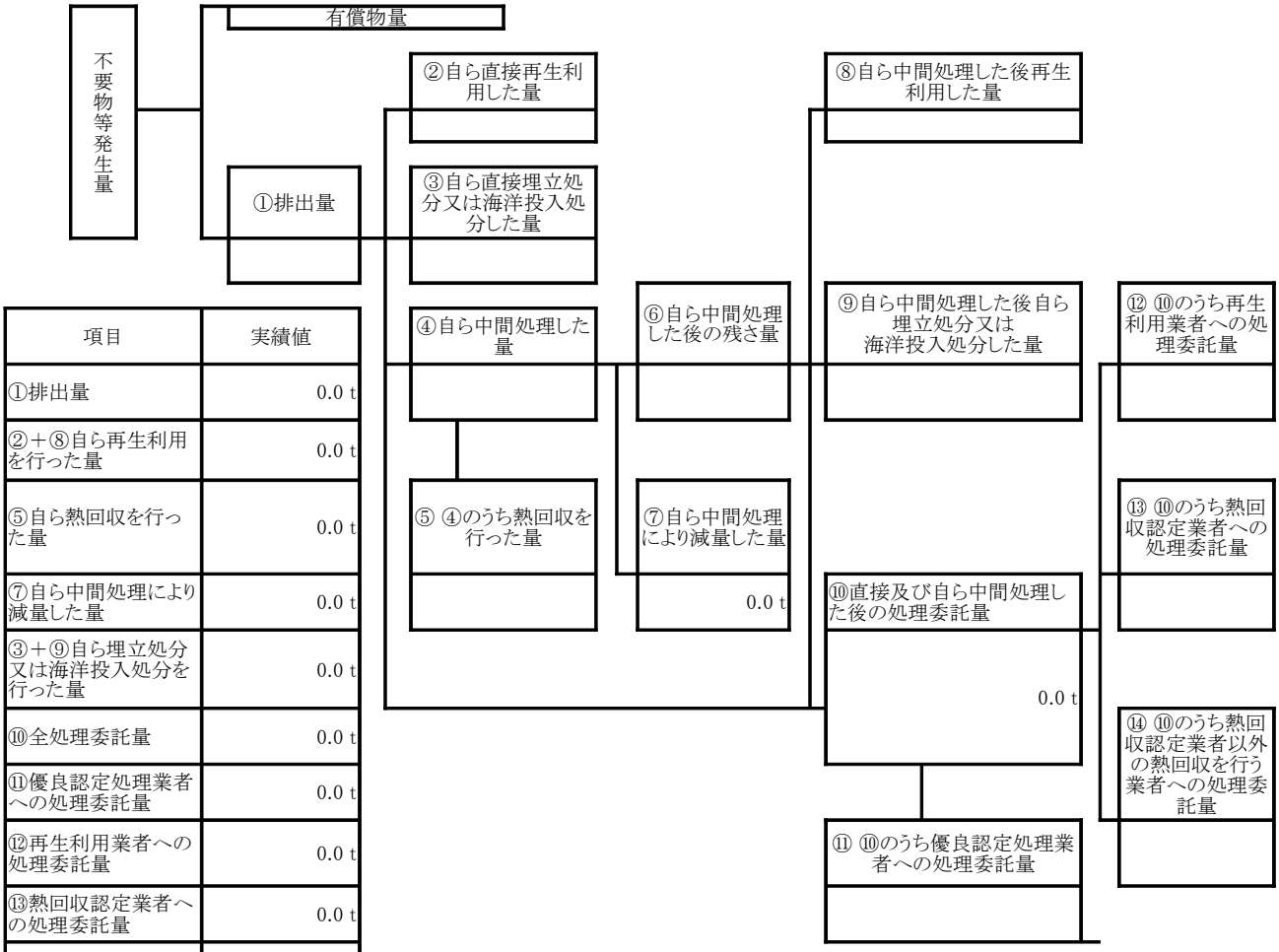


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類:　　）

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1　翌年度の6月30日までに提出すること。
2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量
(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量
(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量
(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量
(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年6月26日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　299-0108

住　所　千葉県市原市千種海岸1

法人名　大阪国際石油精製株式会社

代表者　天本　忍

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　0436-23-9736

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大阪国際石油精製株式会社　千葉製油所
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸1番地
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　石油製品・石炭製品製造業
②事業の規模	２０２３年度出荷額　５，０８３億円
③従業員数	３８９名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	－ｔ	ｔ
	（これまでに実施した取組） 廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とした取組を行っている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	ｔ	ｔ
	（今後実施する予定の取組） 今年度も廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とした取組を行っていく。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状で発生する廃棄物は、別紙（処理工程）1-4 廃棄物分類・委託処理方法表にある通り、出来るだけ再利用に向けた分別/処分を行っている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状では焼却後の残渣を再利用している廃棄物(廃油・強アルカリ)について、直接再利用出来る分別/処分方法があれば実施を検討する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物とした後には、自ら行う産業廃棄物の再生利用は実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、今後も全量委託にて処理する予定。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 事業所内では特別管理産業廃棄物の中間処理は行っておらず、全量委託にて処理している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き、今後も全量委託にて処理する予定。		

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことは無い。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も引き続き、埋立処分又は海洋投入処分を行う予定は無い。</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td>特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td>全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とし埋め立て処分の委託を可能な限り行わない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>別紙のとおり</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
今年度も廃棄物最終処分率0.3%以下を目標とし、埋め立て処分の委託を可能な限り行わない。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 330 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
全てのマニフェストは電子情報処理組織を使用している。
今後も電子情報処理組織の使用を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

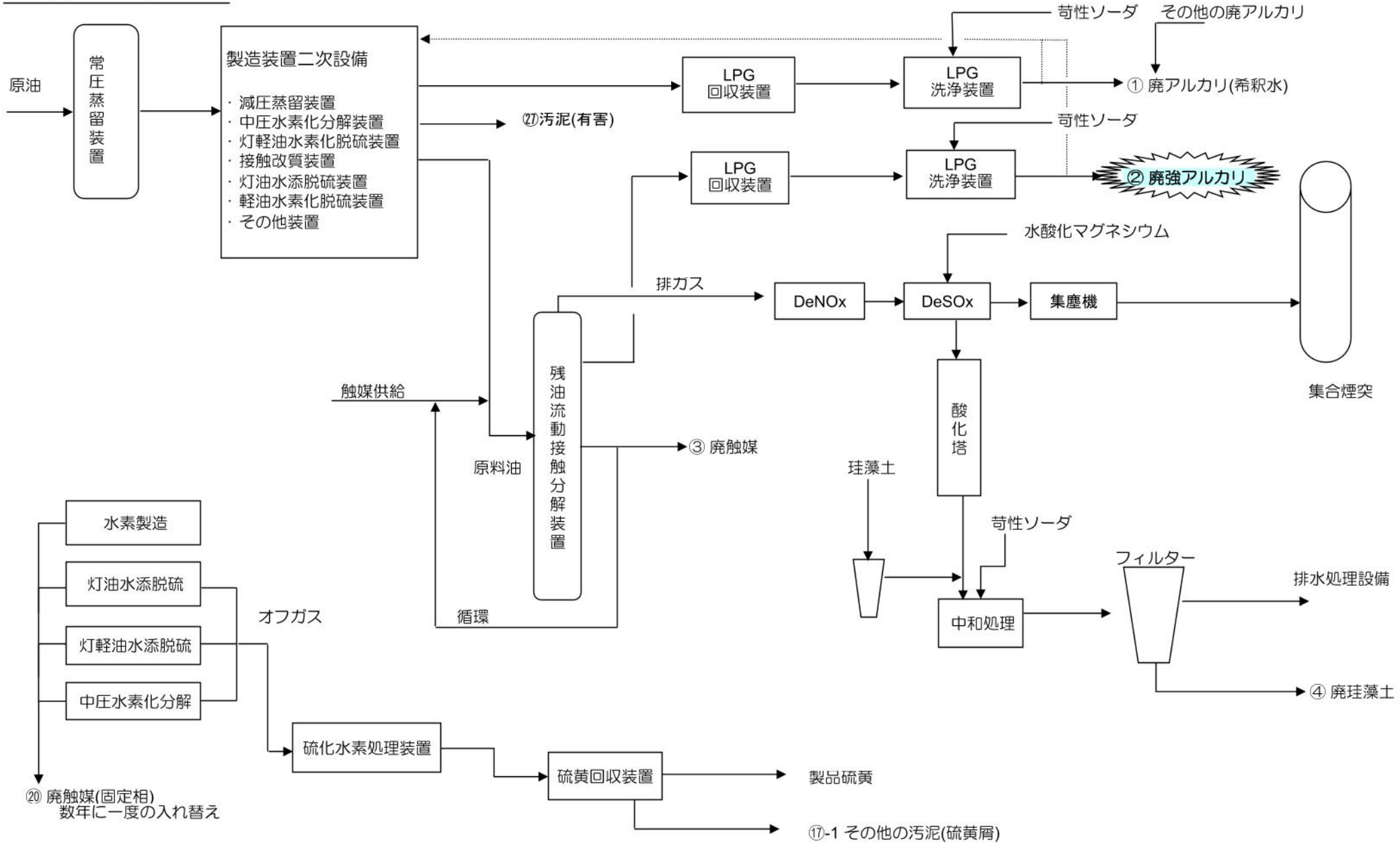
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

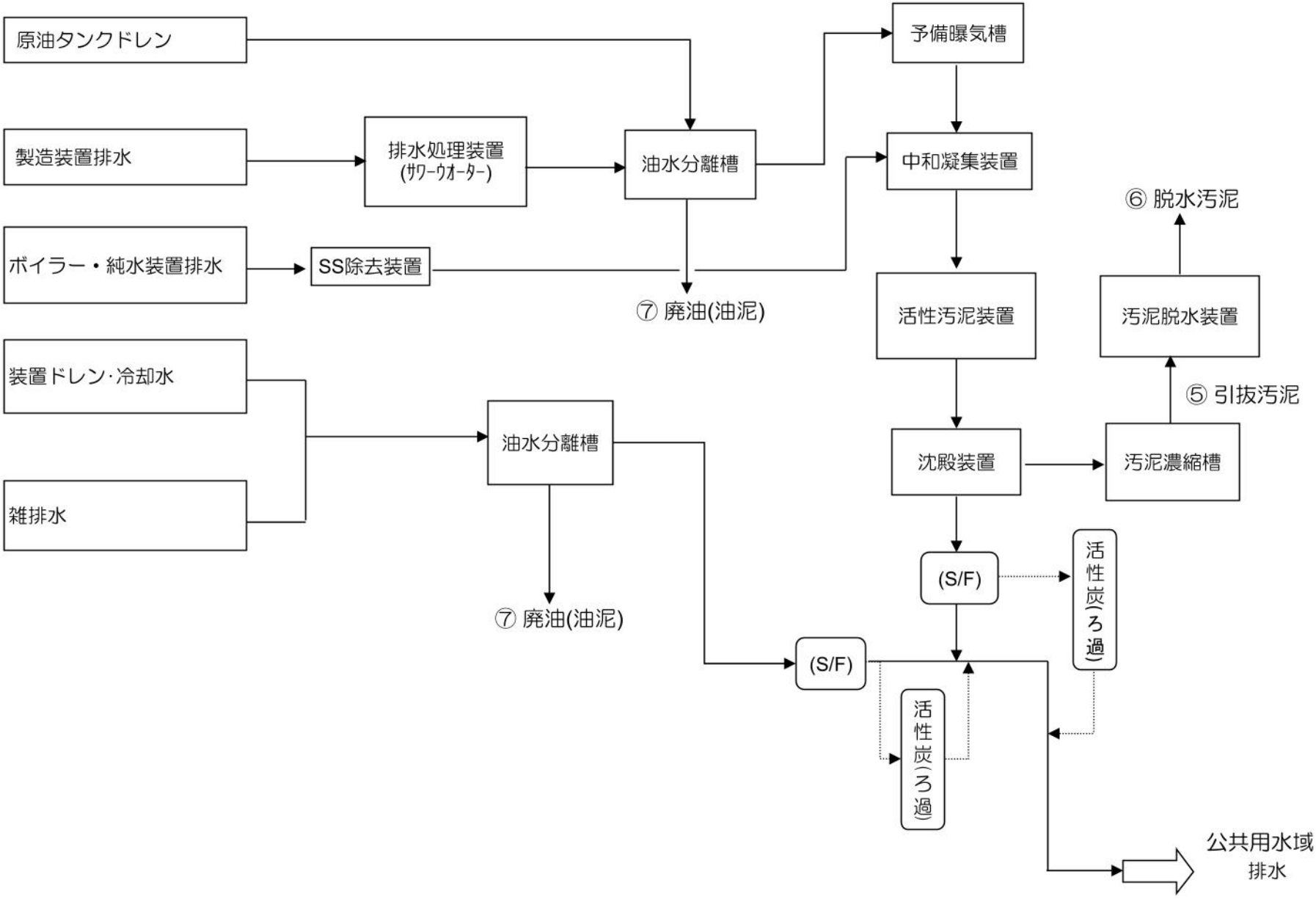
1-1　廃棄物発生工程

1. 石油製造工程図



1-2　廃棄物発生工程

2. 排水処理工程図



1-3　廃棄物発生工程

3. 保全工事工程図

保全工事

- タンク開放検査
- 配管補修工事
- 装置メンテナンス工事
- 機器設置、補修工事
- 定期整備工事
- その他

7. 廃油(油泥)
8. 保温材(ケイ酸カルシウム等)
9. 保温材(飛散性石綿含有)
10. 燃え殻
11. 廃プラスチック(紙･ウエス類含む)
12. がれき類
13. ガラス陶磁器屑
14. 廃蛍光管類(廃電機機械器具)
15. 金属屑
16. 廃油(引火性廃油)
17. その他の汚泥(ガーネット、硫黄屑 等)
18. ガスケット類(非飛散性石綿含有)
20. 廃触媒（固定相）
21. 廃木材
30.PCB汚染物

4.4. その他

所内事務所等

- 所内医務室
- 所内試験室

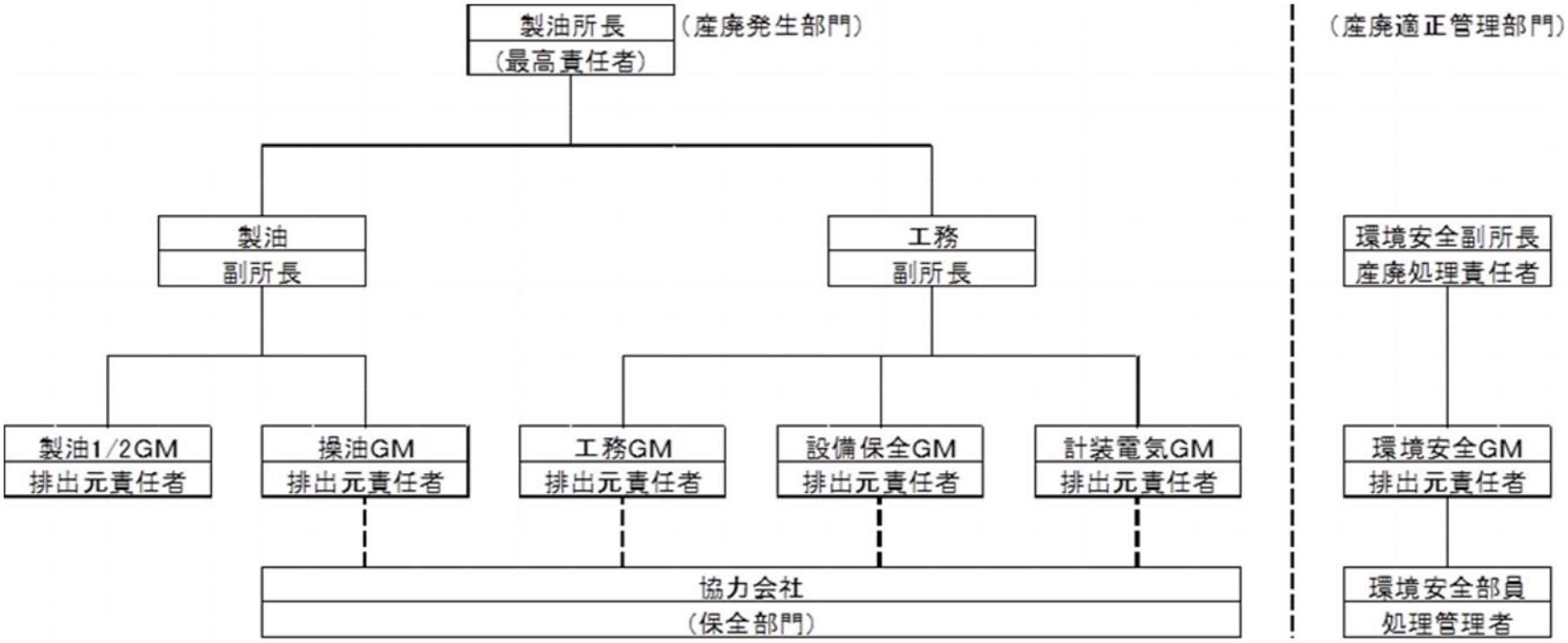
19. 感染性廃棄物
22. 廃乾電池類(廃電機機械器具)
23. OA機器類(廃電機機械器具)
24. 廃酸
25. 廃酸(強酸)
26. 廃酸(有害)
27. 廃油(有害)
28. 汚泥(有害)
29. 廃アルカリ(有害)

1-4 廃棄物分類・委託処理方法表

番号	呼び名	廃棄物の種類	成分	有害物質		特管該当有無	保管場の確保	処理の手段	委託処理方法（焼却・脱水等）	備考
				有無	物質名、濃度			自己・委託・売却		
1	廃アルカリ(希釈水)	廃アルカリ	希釈廃アミン等	無		無	適	委託	焼却	
2	廃強アルカリ	強アルカリ	廃苛性ソーダ	有	PH 12.5以上	有	適	委託	焼却、中和･高温酸化	
3	廃触媒	汚泥	シリカ	無		無	適	委託	焼成、薬注固化	
4	廃珪藻土	汚泥	珪藻土	無		無	適	委託	焼却・固型化	
5	引抜汚泥	汚泥	有機汚泥	無		無	適	自己	脱水	
6	脱水汚泥	汚泥	有機汚泥	無		無	適	委託	焼却・固型化、薬注固化	
7	廃油(油泥)	廃油	廃油、油泥、油分を含む廃プラ等	無		無	適	委託	焼却	
8	保温材	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器屑	ケイ酸カルシウム等	無		無	適	委託	破砕	
9	保温材(飛散性石綿含有)	廃石綿等	石綿	有	飛散性石綿	有	適	委託	溶融	
10	燃え殻	燃え殻	コークス	無		無	適	委託	薬注固化	
11	廃プラスチック	廃プラ	廃プラ･紙等	無		無	適	委託	焼却、破砕	
12	がれき類	がれき類	砂やコンクリートを含むがれき類	無		無	適	委託	破砕	
13	ガラス陶磁器屑	ｶﾞﾗｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･陶磁器屑	ガラス・コンクリート類	無		無	適	委託	破砕	
14	廃蛍光管類	廃電機機械器具	ガラス類	無		無	適	委託	破砕・選別	
15	金属屑	金属屑	鉄屑	無		無	適	委託	破砕	
16	廃油(引火性廃油)	引火性廃油	ペンキ	有	引火点70℃以下の廃油	有	適	委託	混合・油水分離、焼却	
17-1	その他の汚泥	汚泥	硫黄屑	無		無	適	委託	埋立	
17-2	その他の汚泥	汚泥	ガーネット他	無		無	適	委託	焼却、薬注固化	
18	ガスケット類(非飛散性石綿含有)	その他混合廃棄物	非飛散性石綿を含有する金属、廃プラ等	有	非飛散性石綿	無	適	委託	埋立	
19	感染性廃棄物	感染性廃棄物	医療廃棄物	無		有	適	委託	焼却	
20	廃触媒(固定相)	汚泥	シリカ、アルミナ	無		無	適	委託	金属原料化、混練	
21	廃木材	廃木材	木	無		無	適	委託	破砕	
22	廃乾電池類	廃電機機械器具	金属屑･汚泥	無		無	適	委託	破砕	
23	OA機器類	廃電機機械器具	金属屑･廃プラ	無		無	適	委託	破砕	
24	廃酸	廃酸	廃試薬	無		無	適	委託	焼却	
25	廃酸	廃酸(強酸)	廃試薬	有	pH 2以下	有	適	委託	脱水・中和	
26	廃酸(有害)	廃酸(有害)	廃試薬	有	pH 2以下 ヒ素、鉛	有	適	委託	焼却・中和	
27	廃油(有害)	廃油(有害)	廃試薬	有	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ/ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	有	適	委託	焼却	
28	汚泥(有害)	汚泥(有害)	廃試薬	有	水銀/シアン	有	適	委託	焼却・分解	
29	廃アルカリ(有害)	廃アルカリ(有害)	廃試薬	有	ｱﾙｶﾘ有害ｼｱﾝ	有	適	委託	分解・焼却	
30	PCB	PCB汚染物	変圧器６台リアクトル２台	有	PCB	有	適	委託	焼却	
99	混合	その他混合廃棄物	金属屑･汚泥・廃プラ他	無		無	適	委託	破砕･埋立	

注） 番号は工程図の番号と連動

管理体制図


製油所長
（最高責任者）
（産廃発生部門）
（産廃適正管理部門）
製油
副所長
工務
副所長
環境安全副所長
産廃処理責任者
製油1/2GM
排出元責任者
操油GM
排出元責任者
工務GM
排出元責任者
設備保全GM
排出元責任者
計装電気GM
排出元責任者
環境安全GM
排出元責任者
協力会社
（保全部門）
環境安全部員
処理管理者

添付２

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		排　　出　　量	252.7　t	11.3　t	60.4　t	0.0　t	5.6　t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		排　　出　　量	400.0　t	73.0　t	30.0　t	3.0　t	0.0　t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

添付３

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	**【目標】**								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状	【前年度（令和　5 年度）実績】）								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		全処理委託量	252.7 t	11.3 t	60.4 t	0.0 t	5.6 t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	252.7 t	11.3 t	60.4 t	0.0 t	5.6 t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0.0 t	3.9 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	101.5 t	0.1 t	60.4 t	0.0 t	5.6 t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	151.2 t	7.3 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	引火性廃油	廃石綿	水銀	有害汚泥			
		全処理委託量	400.0 t	73.0 t	30.0 t	3.0 t	0.0 t	t	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	400.0 t	73.0 t	30.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0.0 t	25.2 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	160.7 t	0.6 t	30.0 t	3.0 t	0.0 t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	239.3 t	47.2 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t	t	t	t

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年7月23日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　299-0108

住所　千葉県市原市千種海岸1

法人名 大阪国際石油精製株式会社

代表者 佐藤 翔太

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0436-23-9736

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大阪国際石油精製株式会社　千葉製油所
事業場の所在地	千葉県市原市千種海岸1番地
事業の種類	大分類　製造業　中分類 石油製品・石炭製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	308 t	全処理委託量	308 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	186.6 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	26.4 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	115.8 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	165.8 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	全前年度（令和4年度）	448.6 t
	前年度（令和5年度）	330 t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

全てのマニフェストは電子情報処理組織を使用している。
今後も電子情報処理組織の使用を継続する。

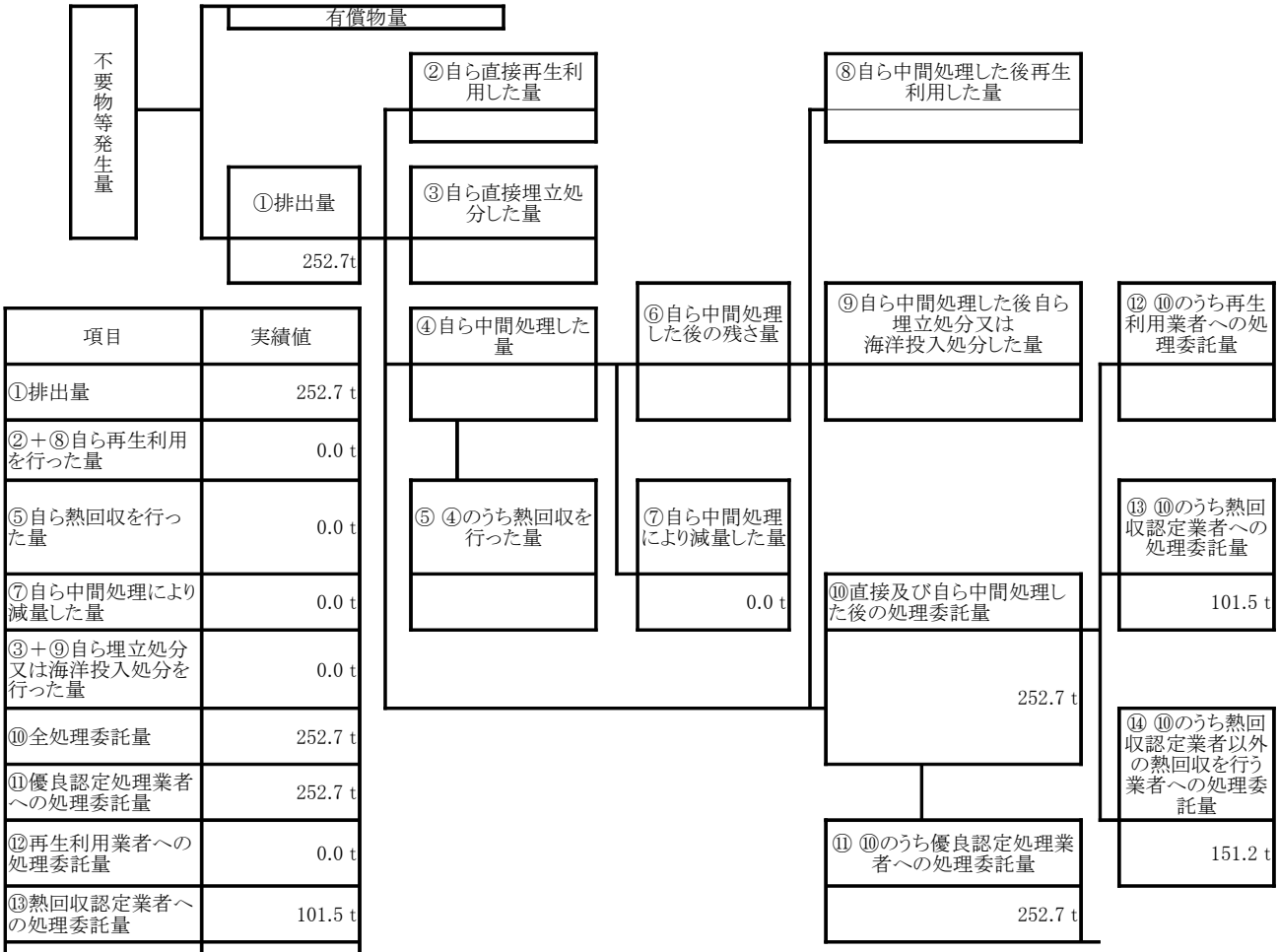
（日本産業規格　A列4番）

N0.1

（第2面）

計画の実施状況

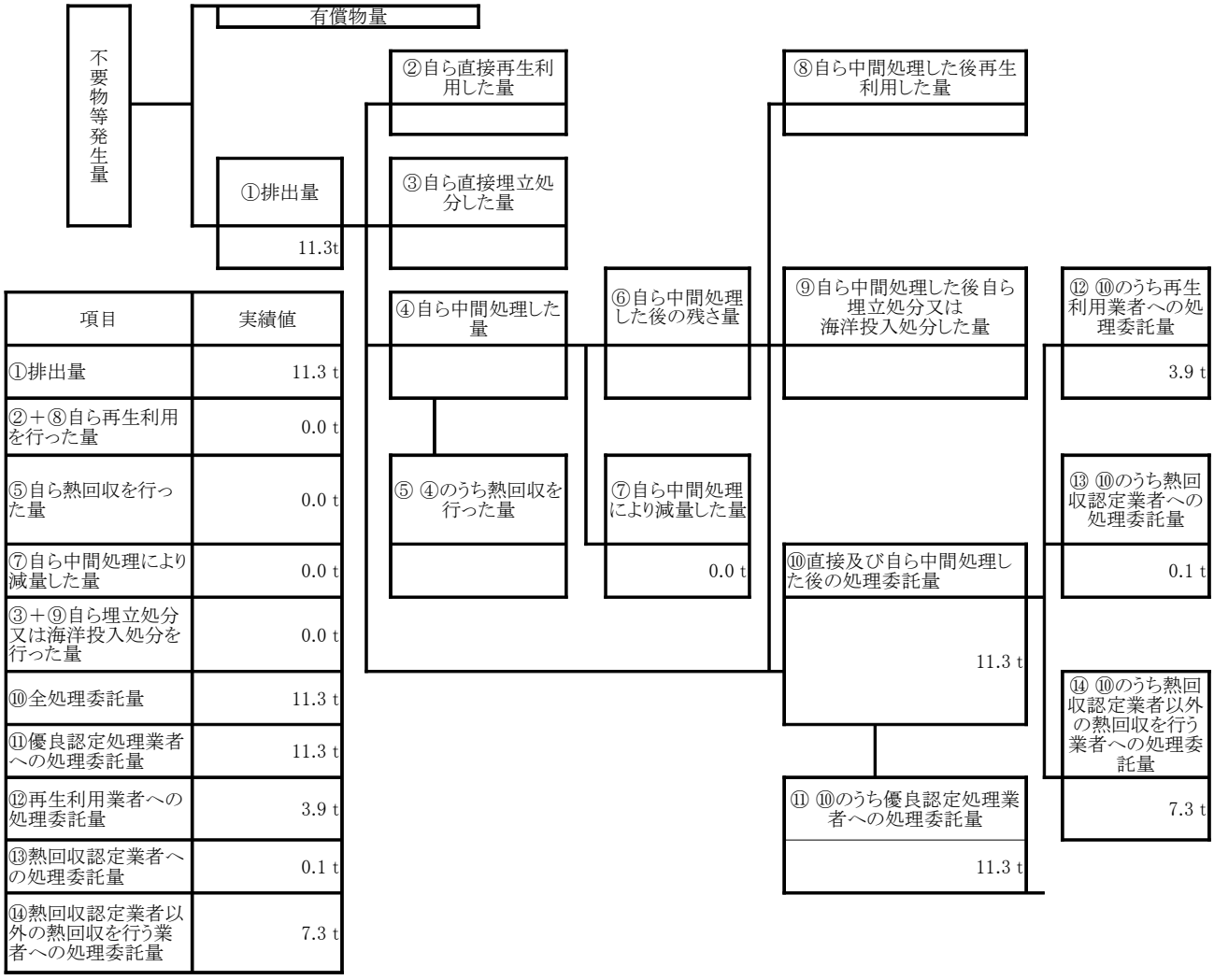
（特別管理産業廃棄物の種類:　**廃アルカリ(強アルカリ)**　）



項目	実績値
①排出量	252.7 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	252.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	252.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	101.5 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	151.2 t

N0.2

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　引火性廃油　）



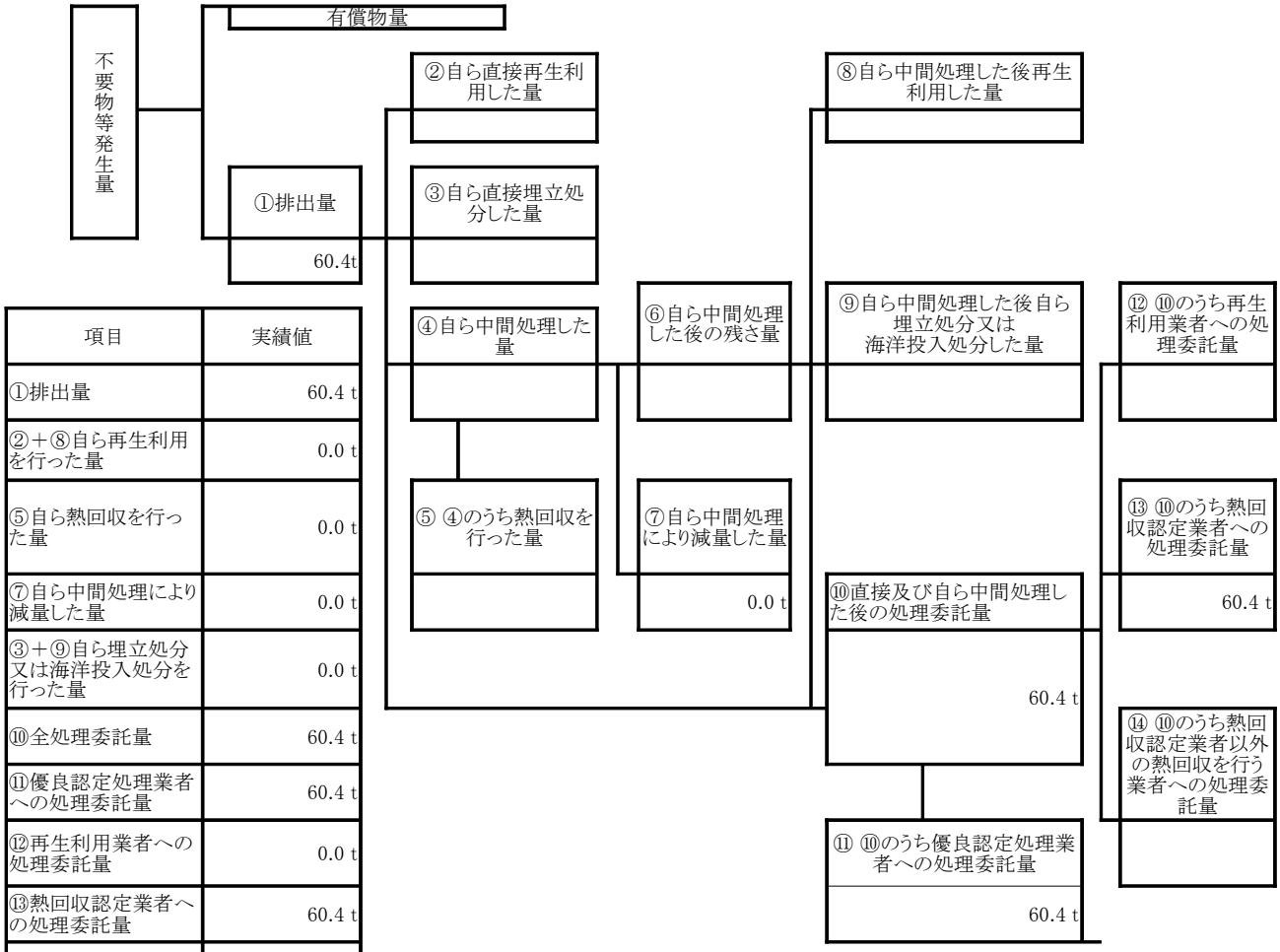
項目	実績値
①排出量	11.3 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.1 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	7.3 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　廃石綿　）



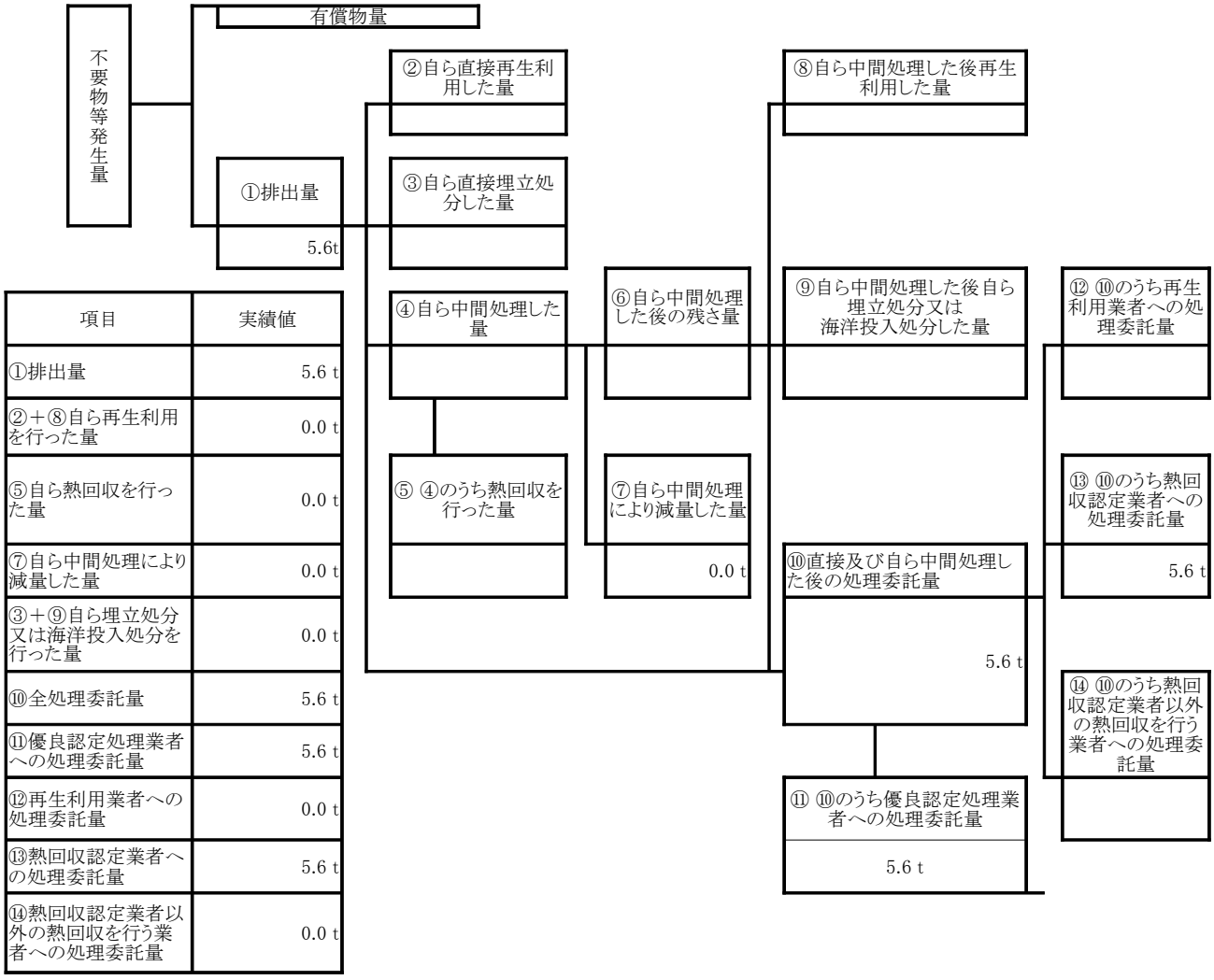
項目	実績値
①排出量	60.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	60.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	60.4 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類: 有害汚泥 ）

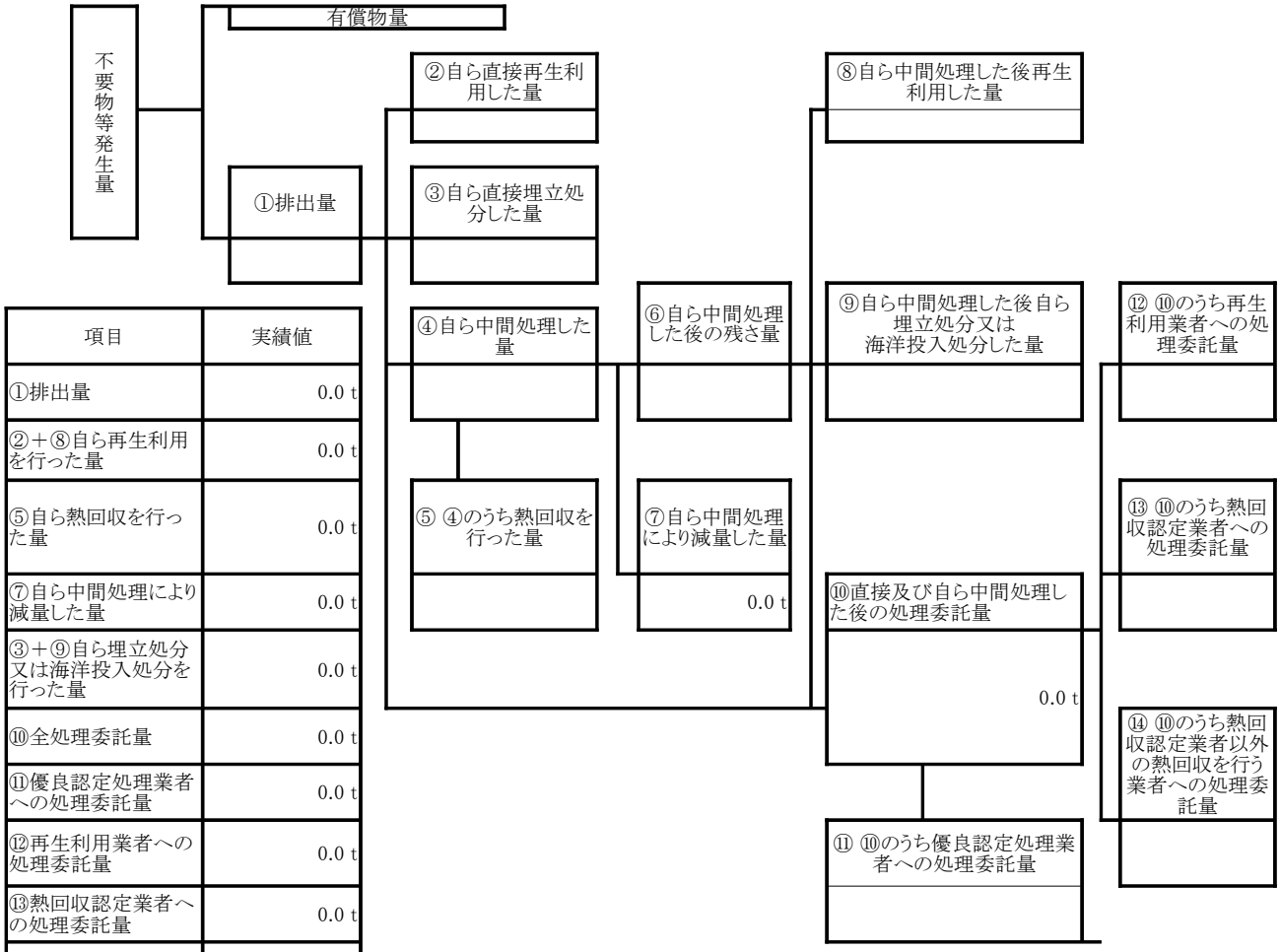


項目	実績値
①排出量	5.6 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	5.6 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

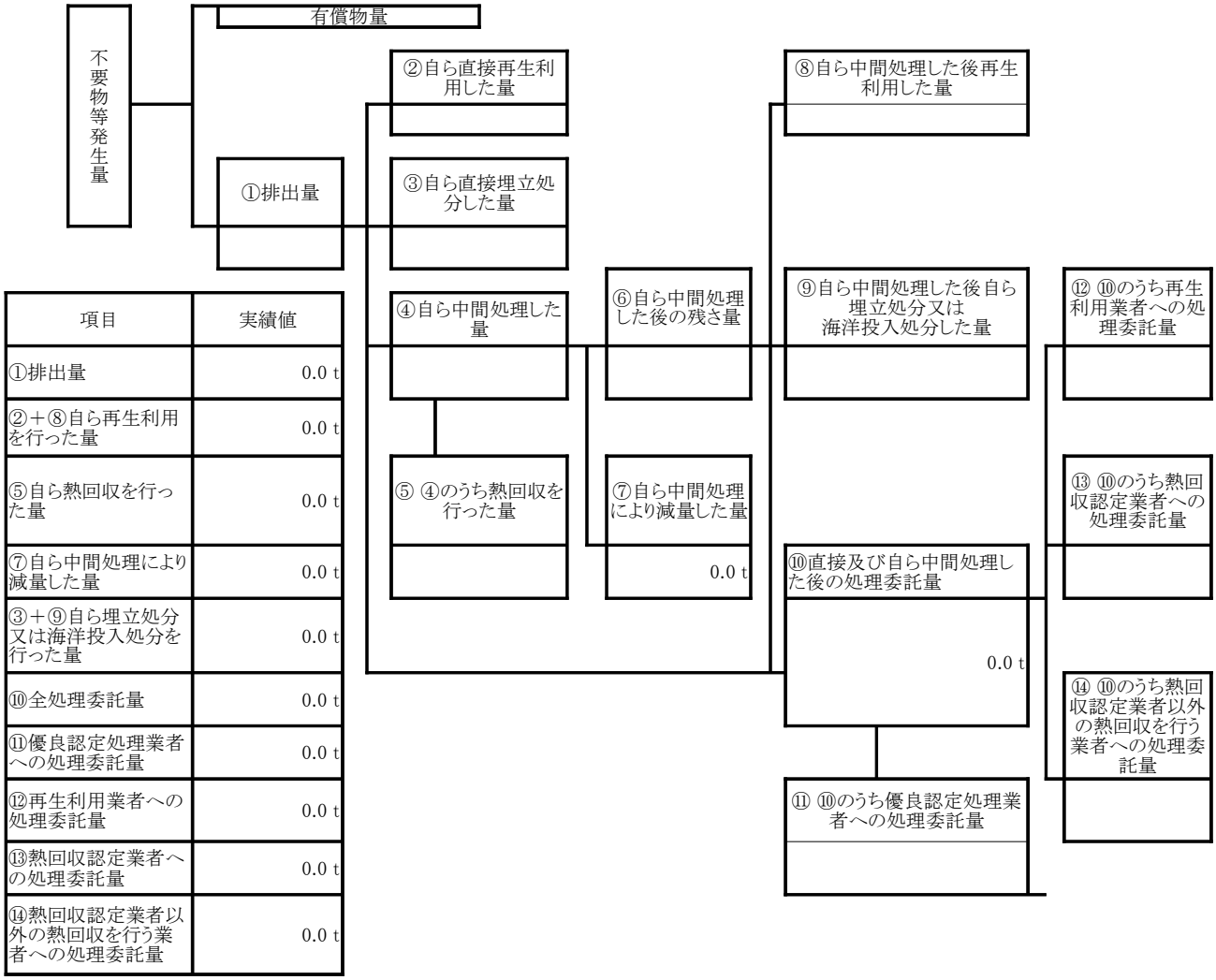


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

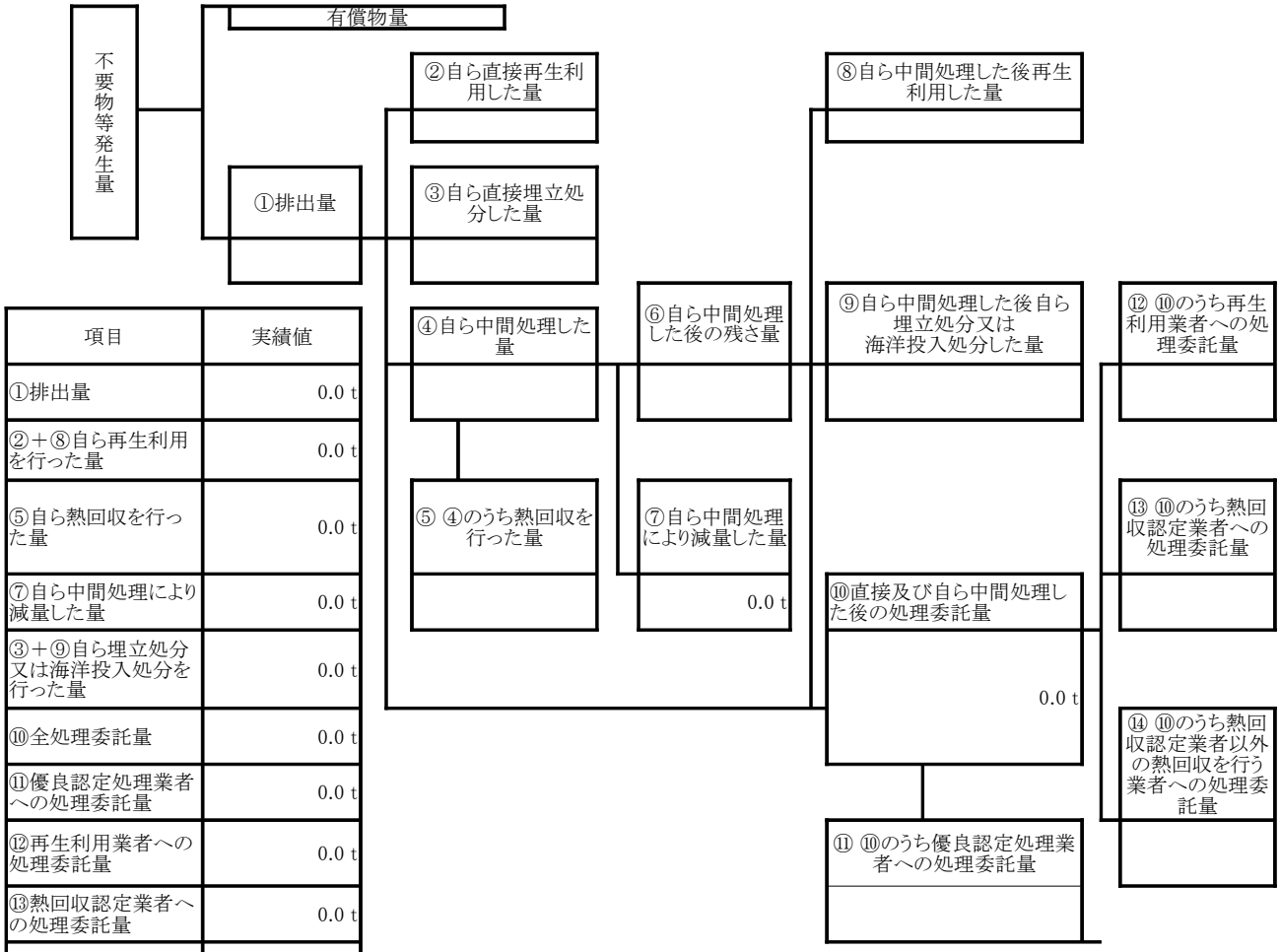


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

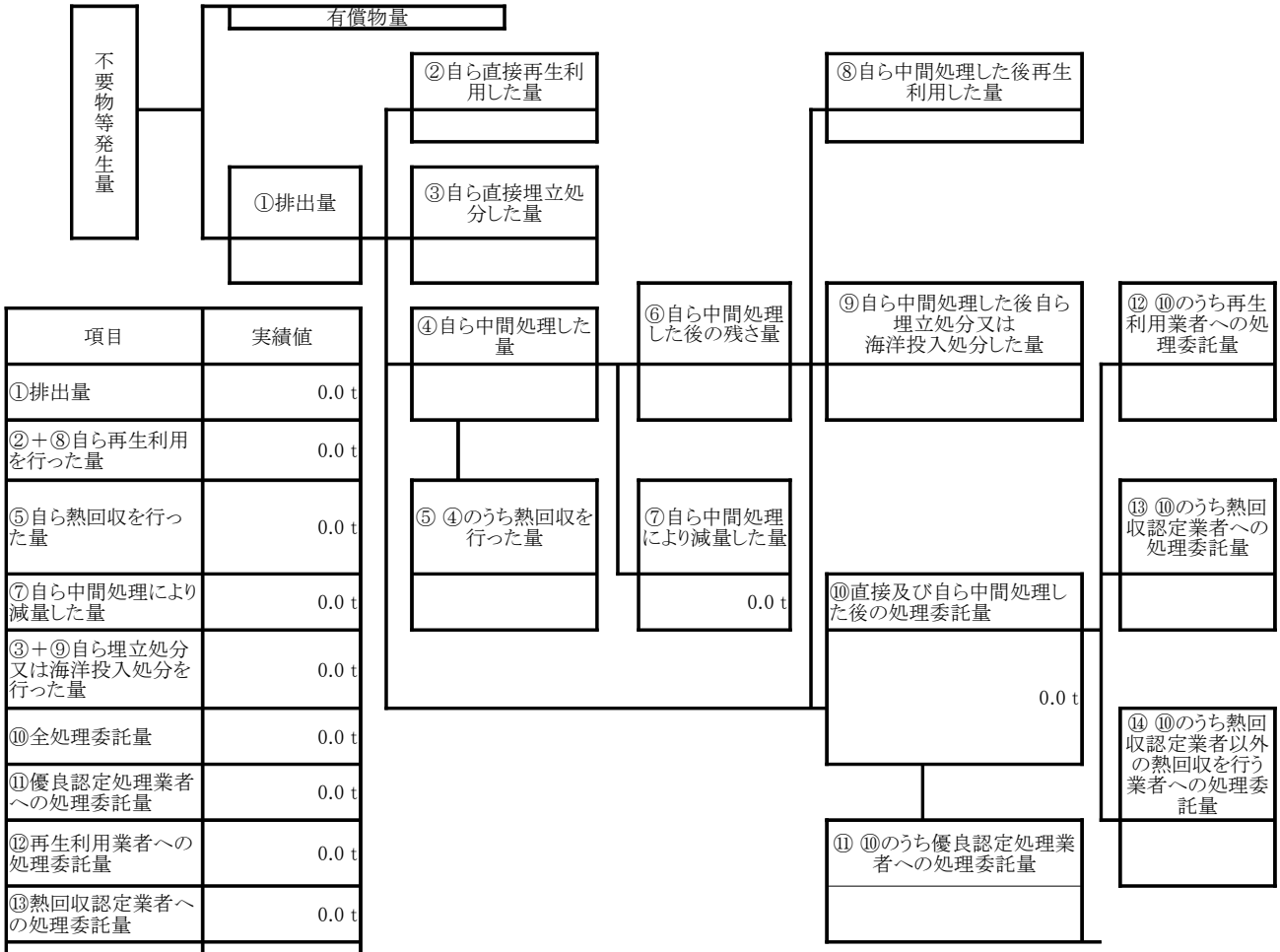


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

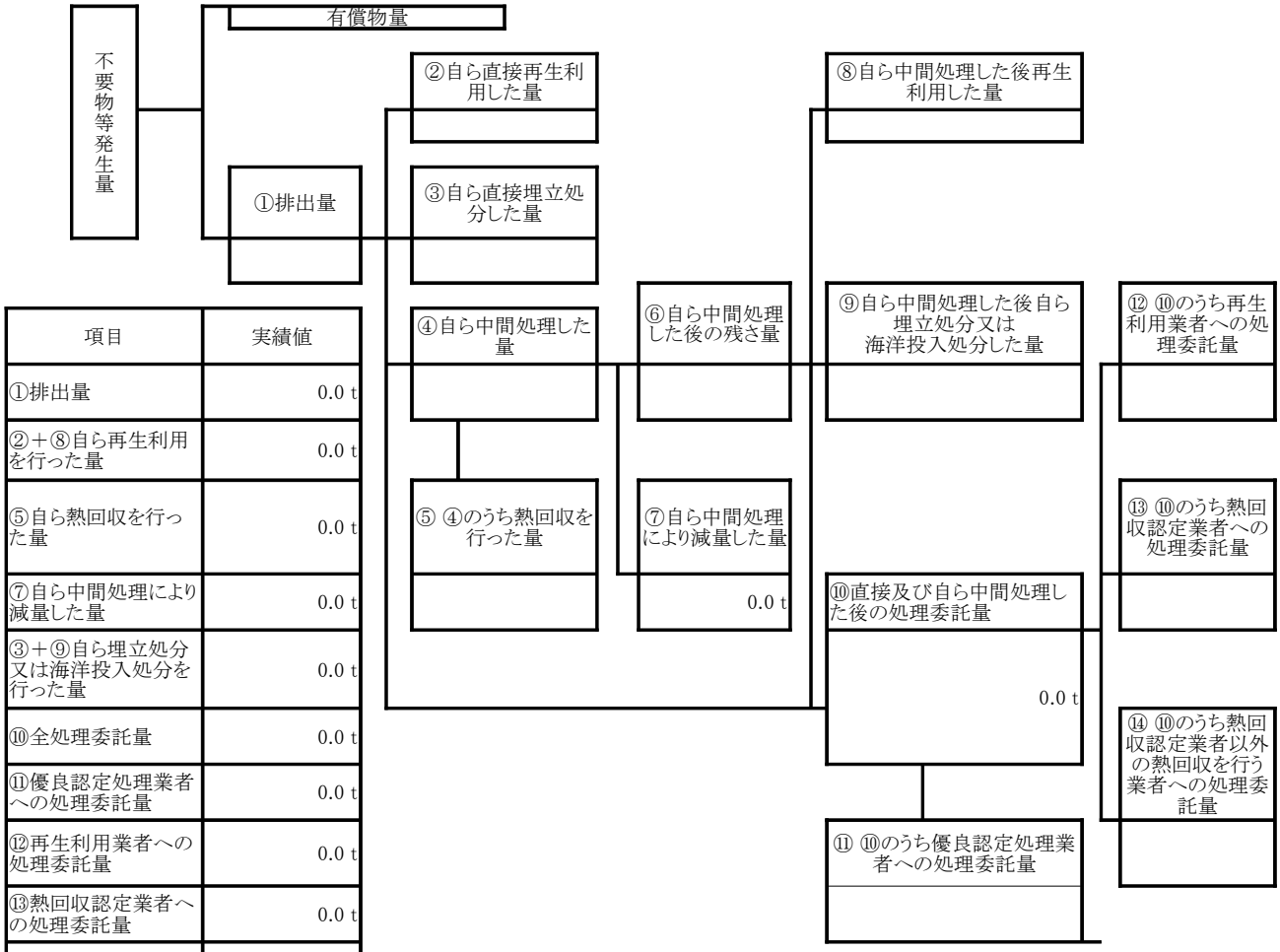


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

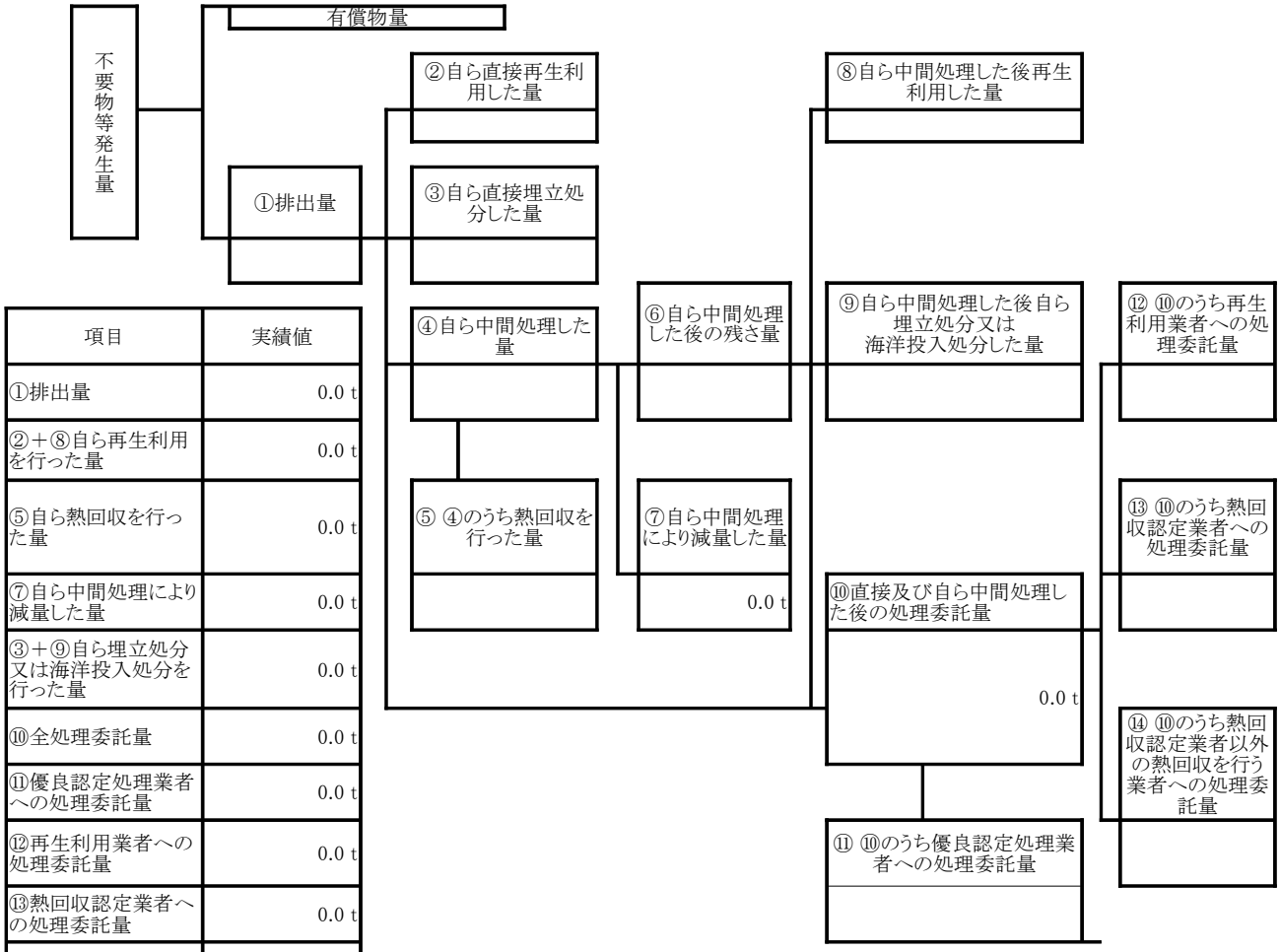


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



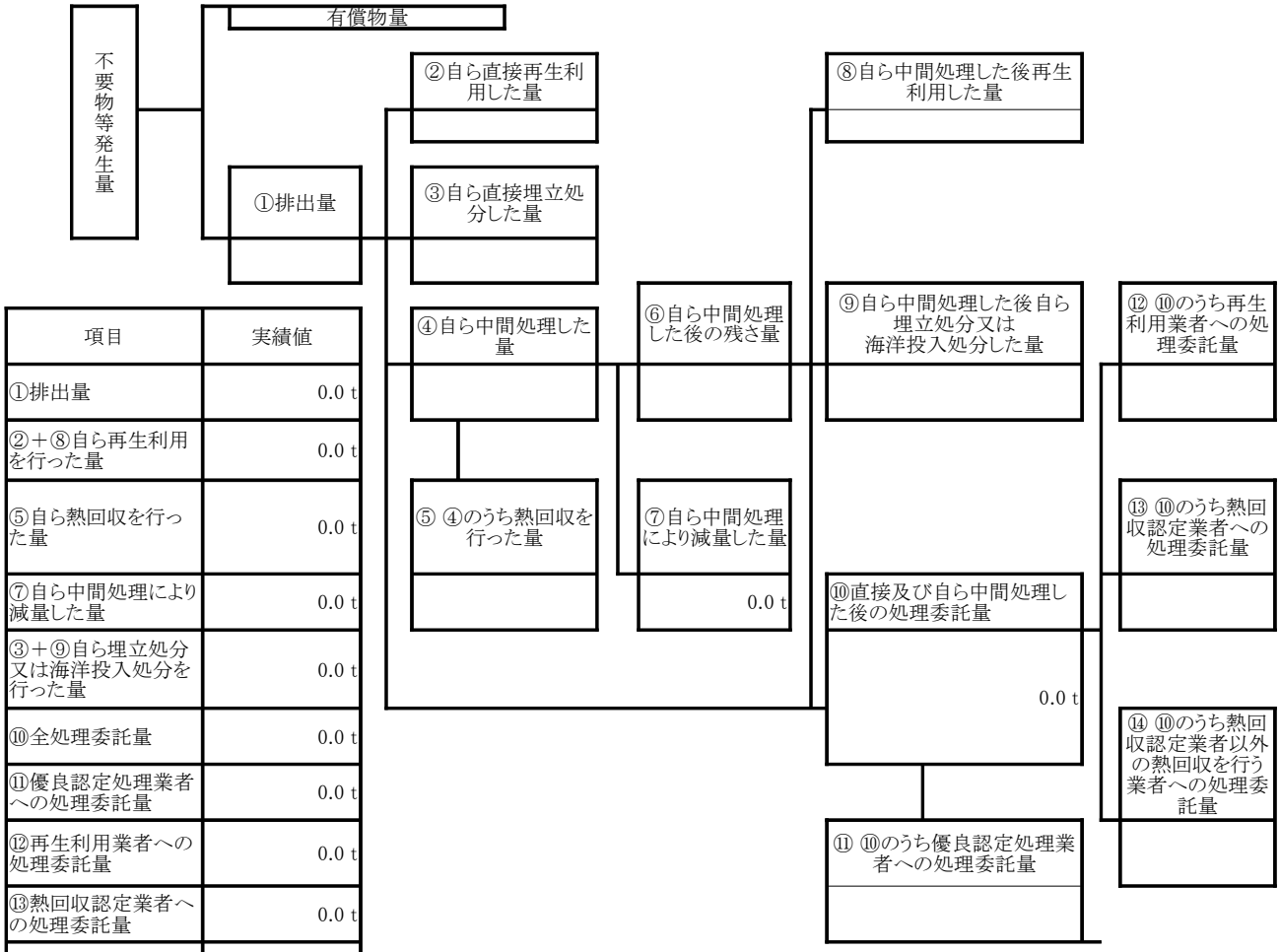
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

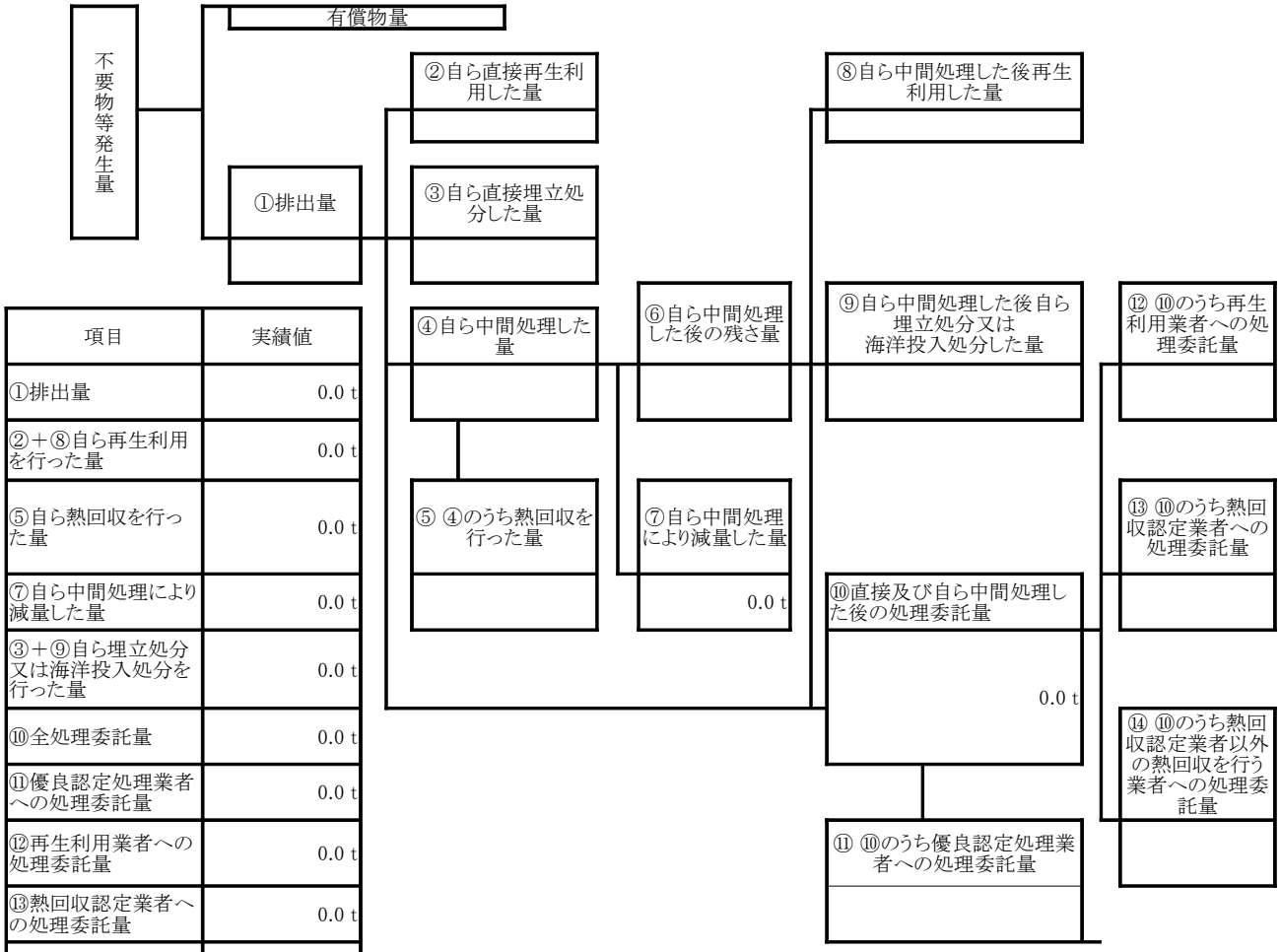


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

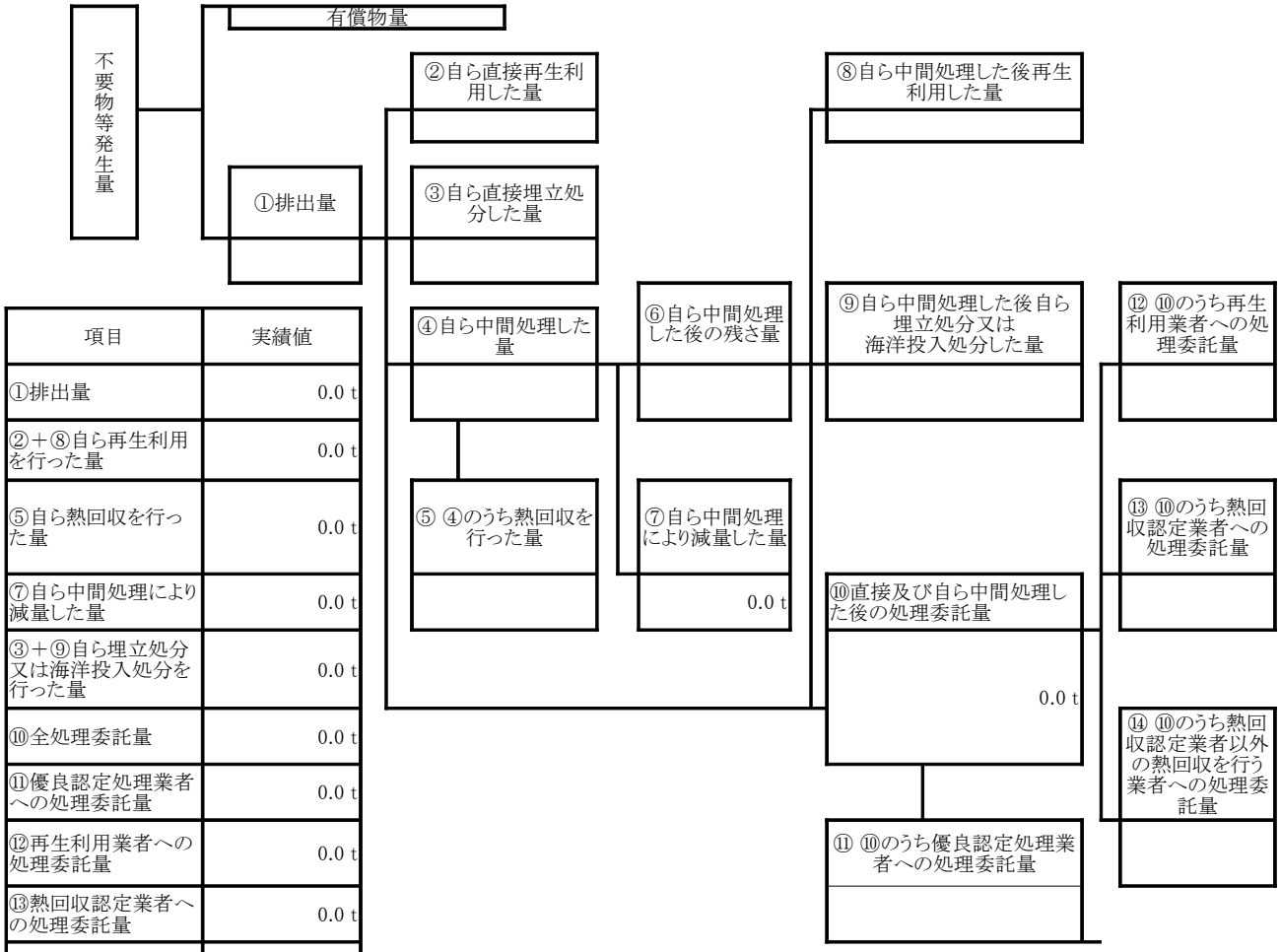


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

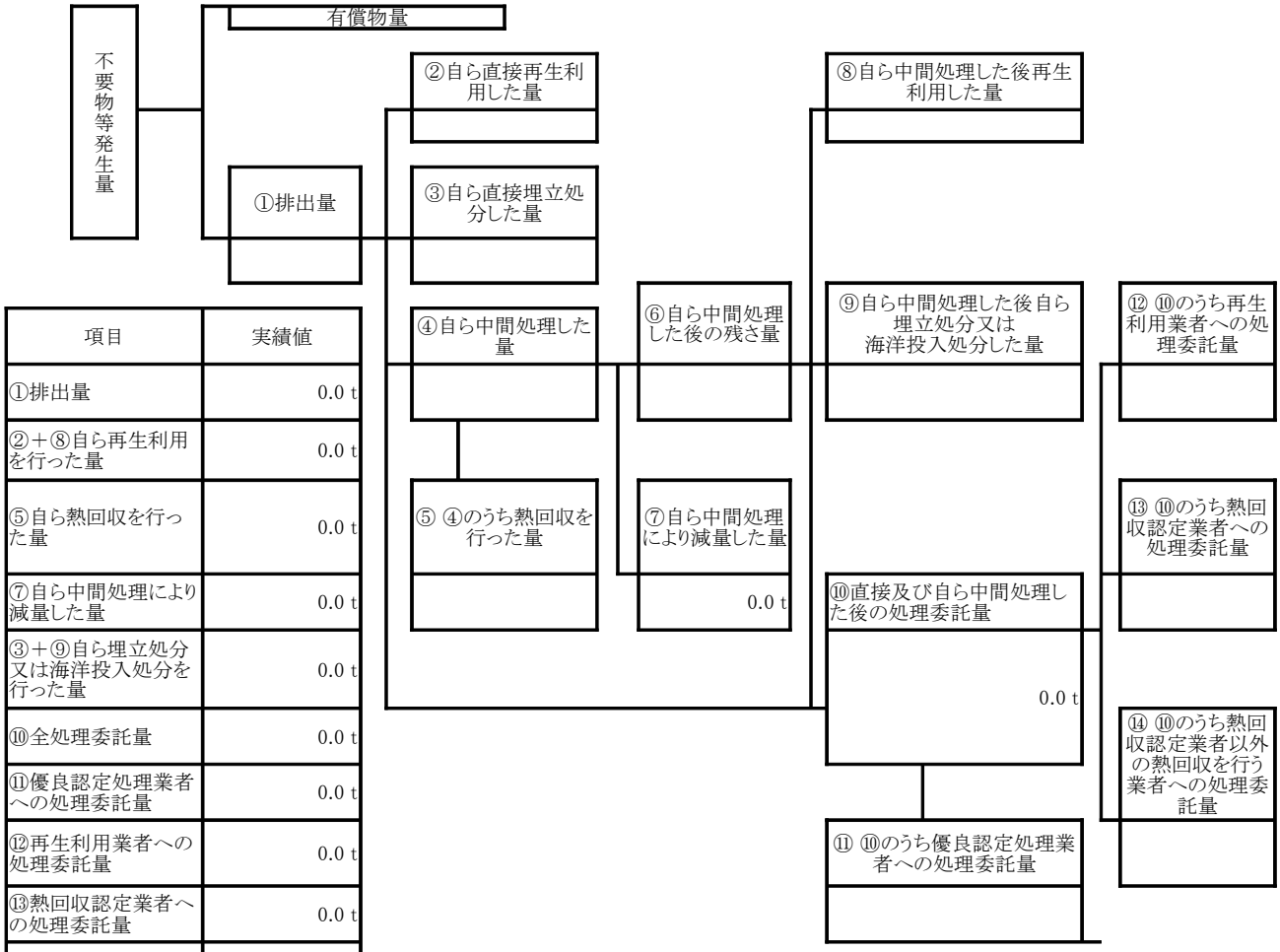


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



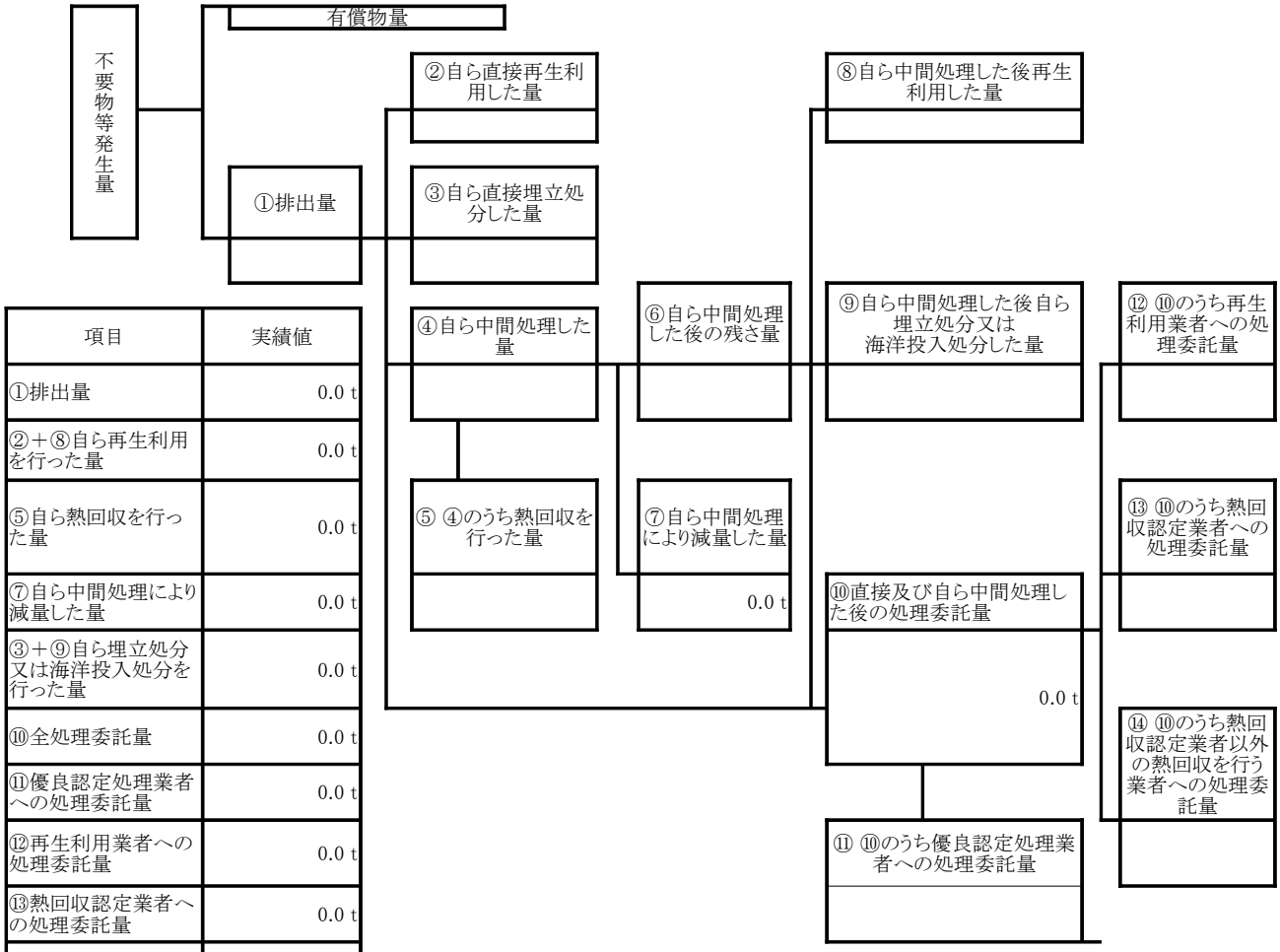
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



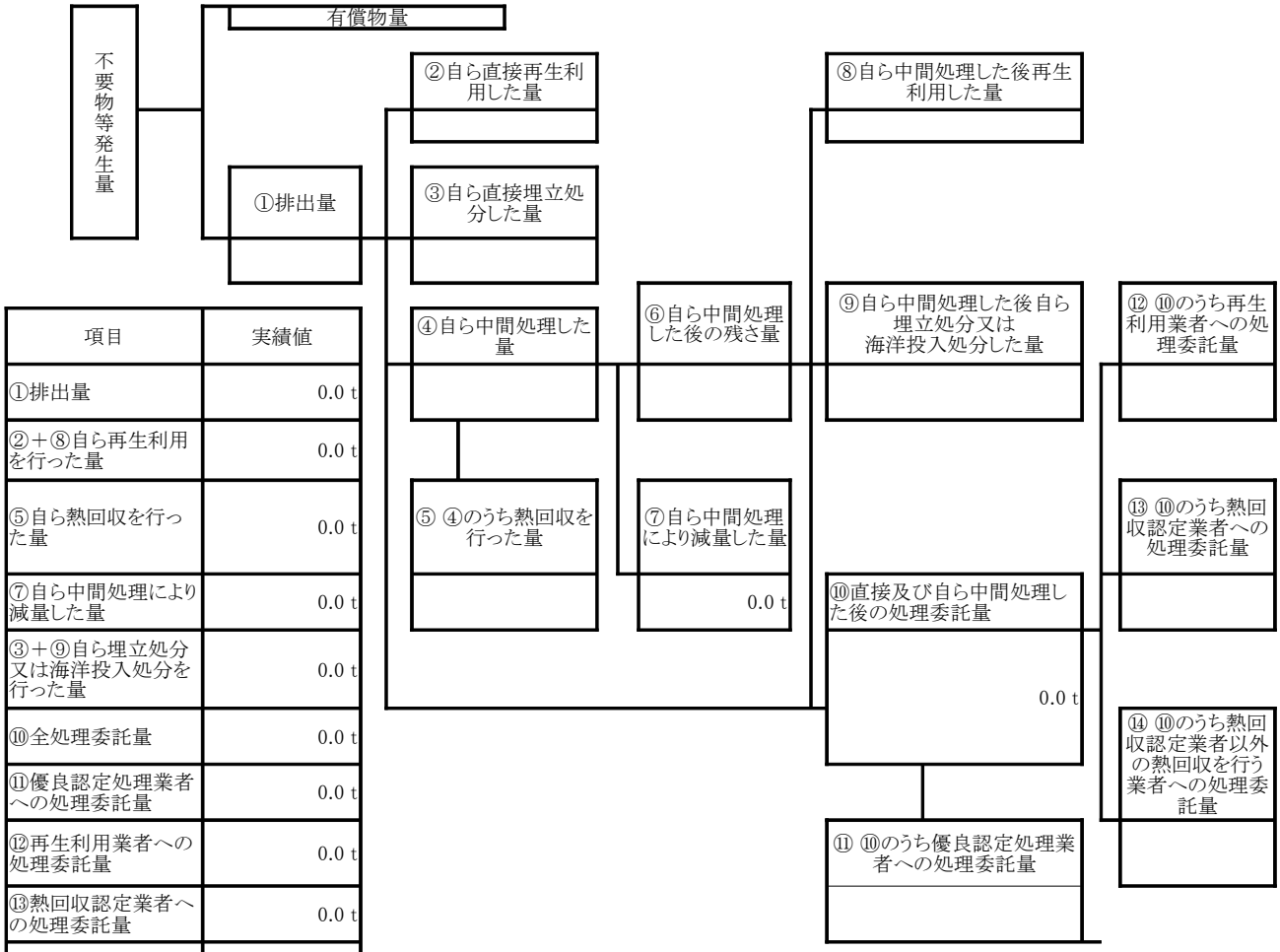
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

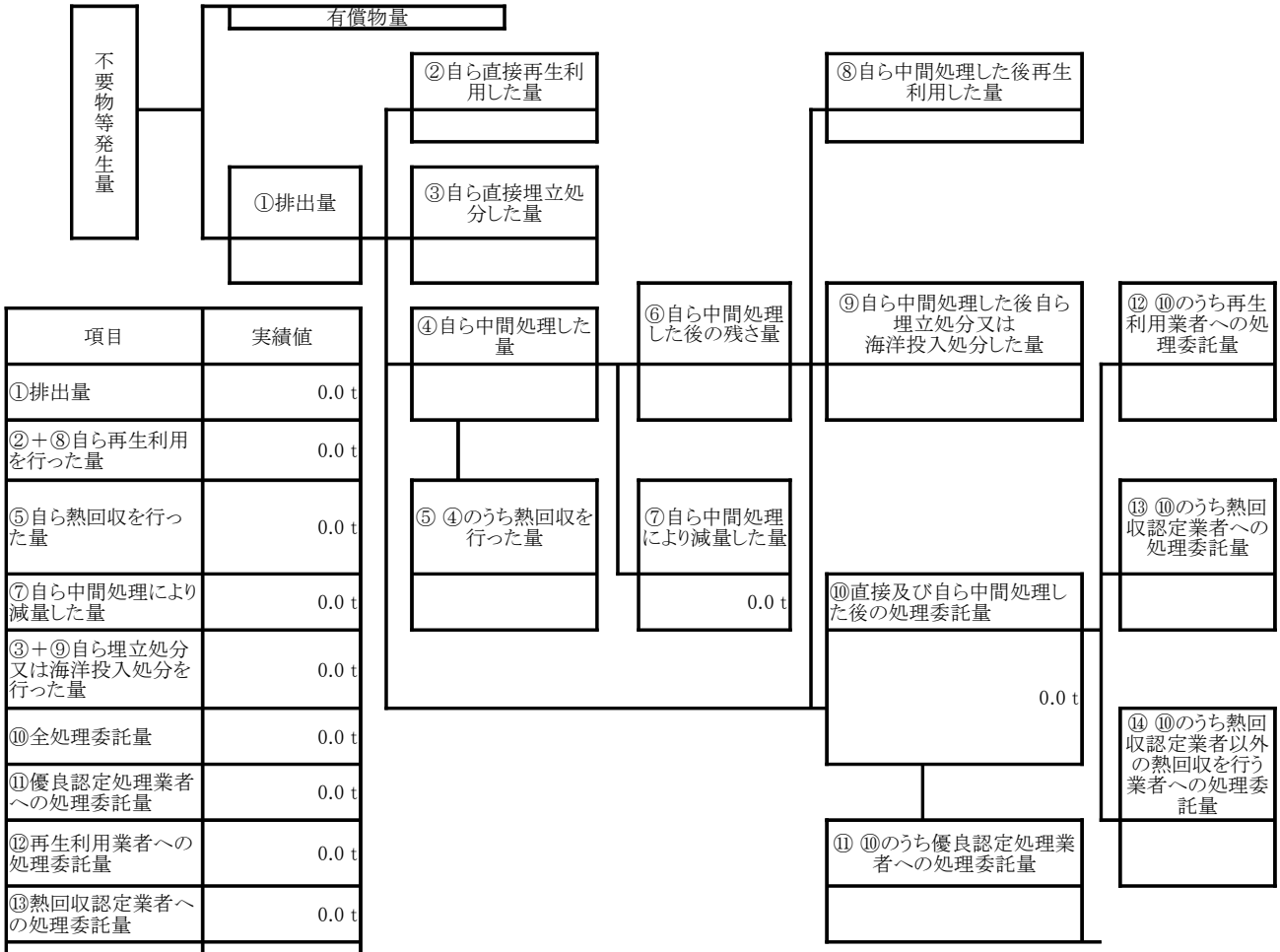


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

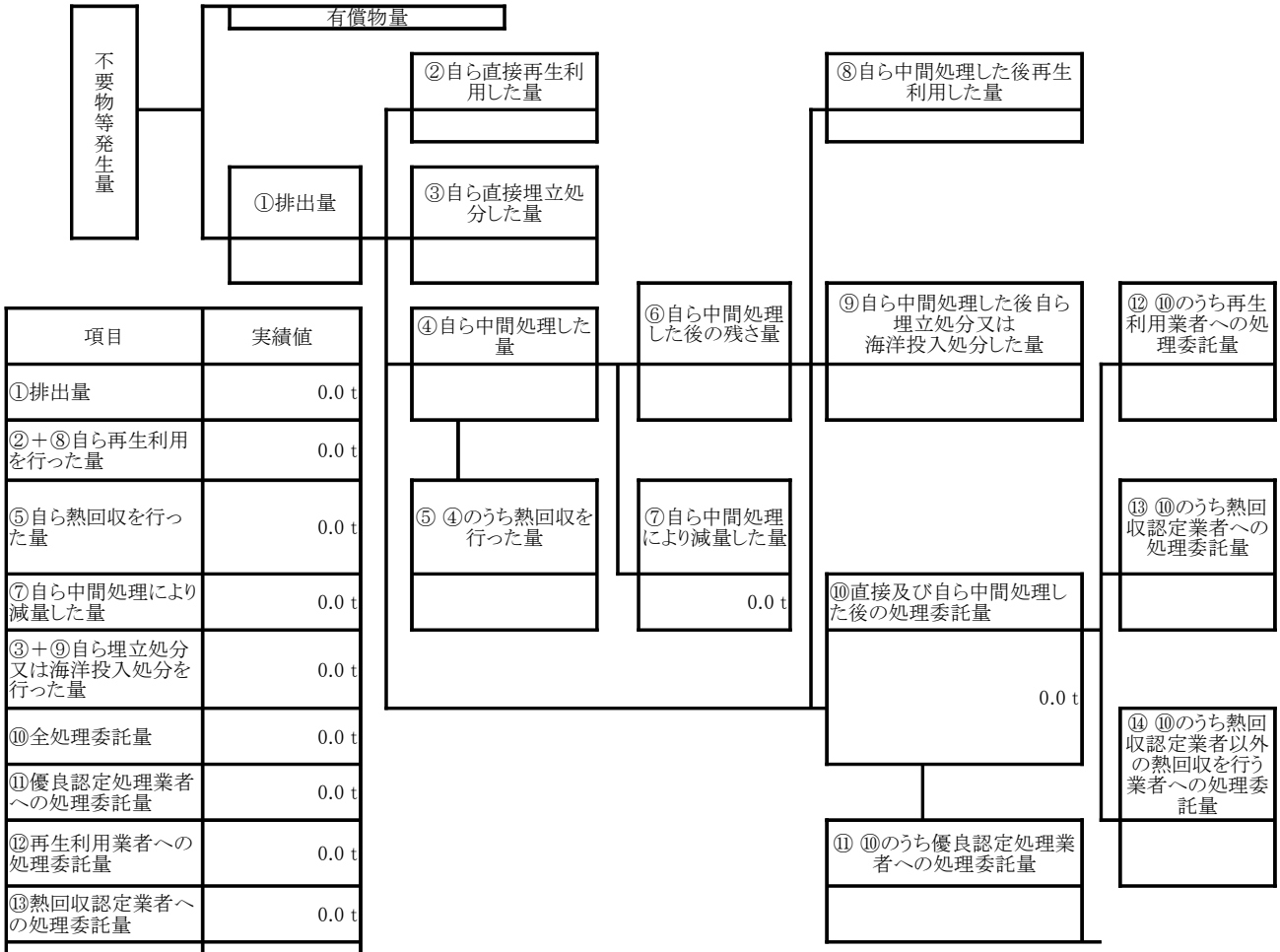


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

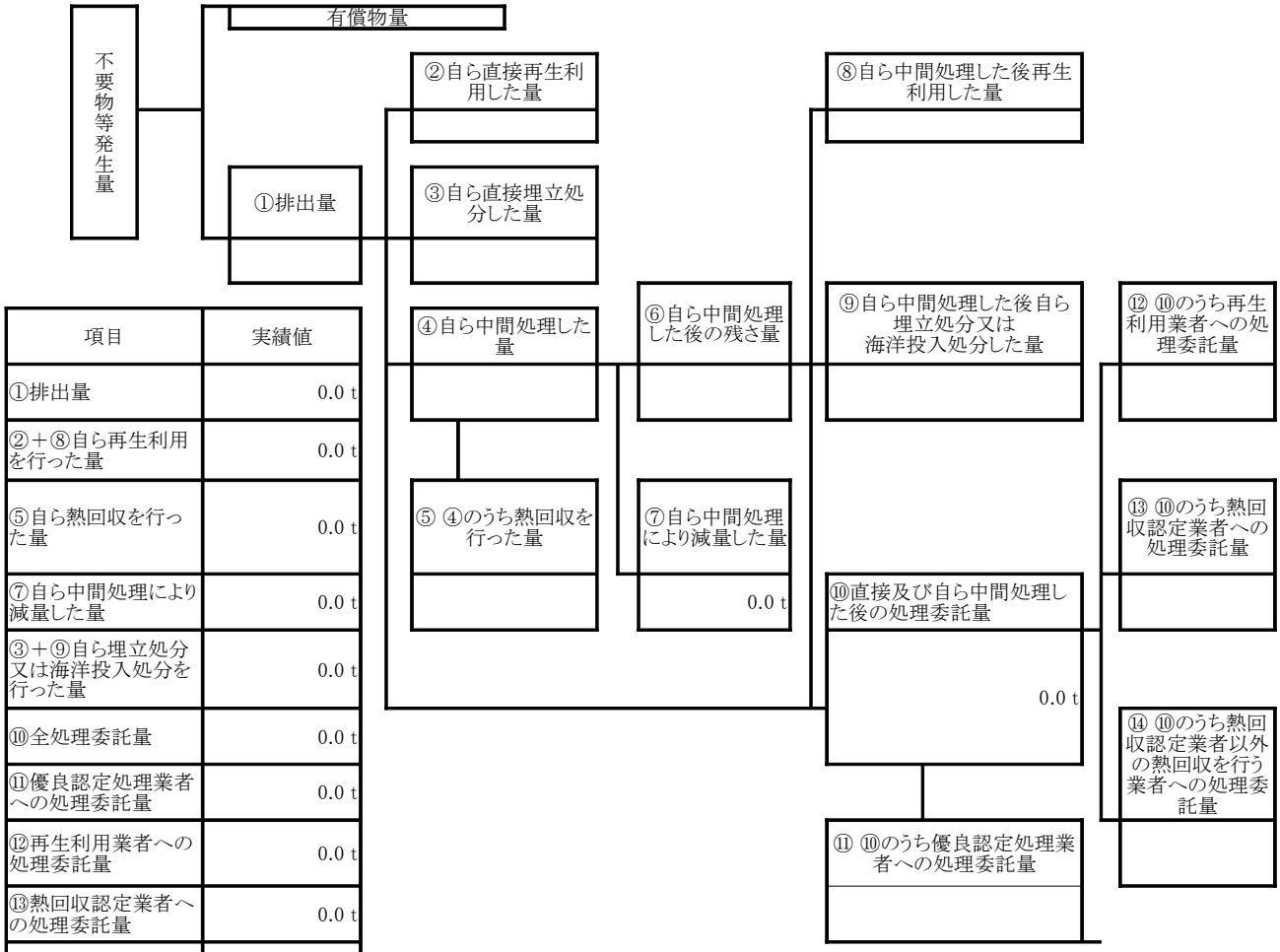


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

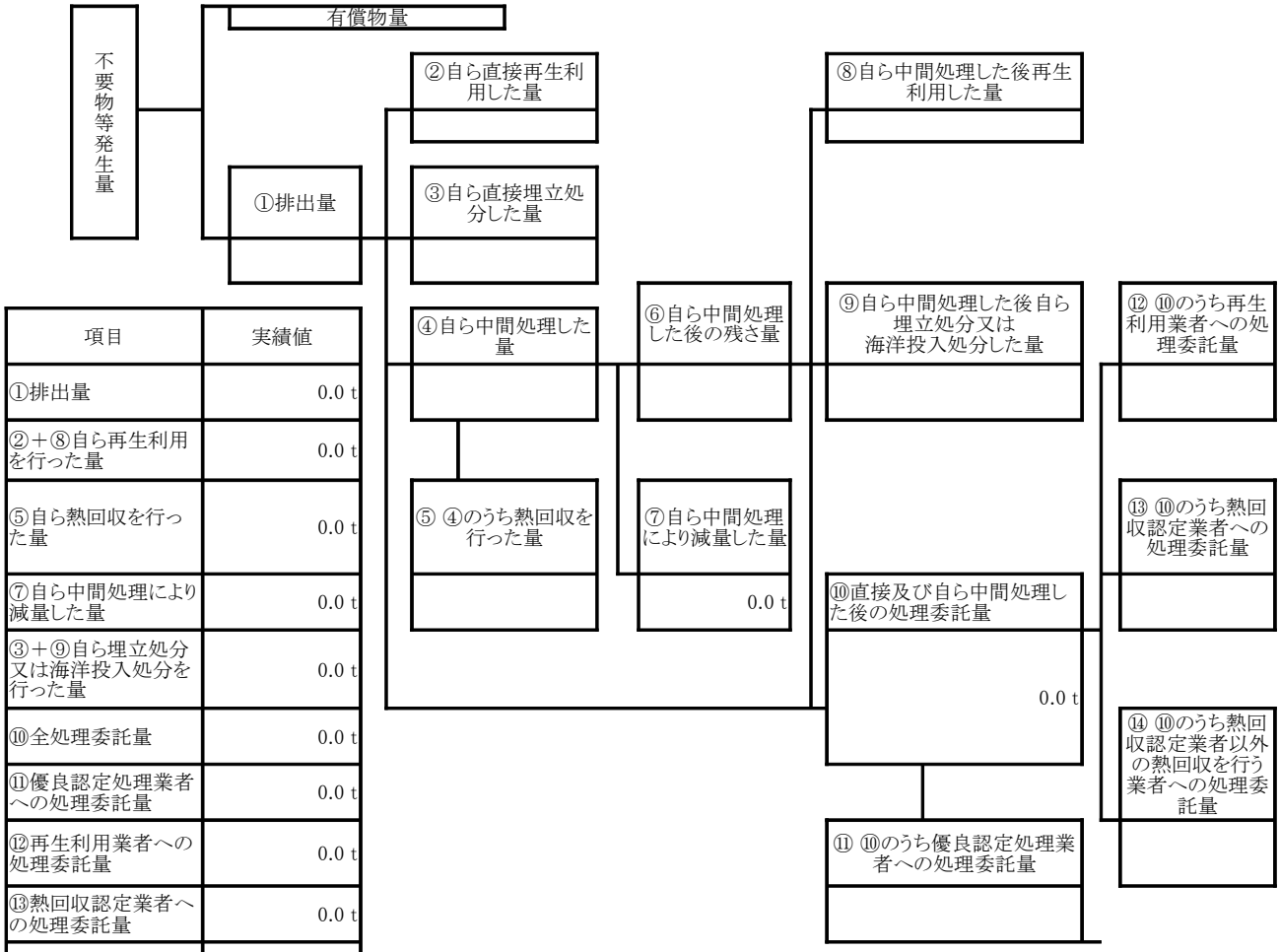


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和6年5月16日

千葉県知事

熊谷　俊人　　殿

提出者　130-0026

住　所　東京都墨田区両国4-31-11 ヒューリック両国ビル9F

法人名　オーベクス株式会社

代表者　栗原 則義

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6701-3200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	オーベクス株式会社　テクノ事業部　千葉工場
事業場の所在地	千葉県白井市河原子265
計画期間	令和6年4月1日　　から　　令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：　製造業　　中分類：　その他の製造業（サインペンのペン先の製造販売
②事業の規模	前年度の製品出荷額　37億円
③従業員数	80人（正社員33人、常勤関係職員47人）
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含)→委託中間処理(焼却)→委託最終処分 廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含)→委託中間処理(蒸留)→委託中間処理(焼却)→委託最終処分 汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含)→委託中間処理(焼却)→委託最終処分

（日本産業規格　A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）
別紙（管理体制）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
排出量	84 t	3 t

（これまでに実施した取組）
廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）排出量の削減

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
排出量	100 t	3 t

（今後実施する予定の取組）
廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）排出量の削減

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）の保管場所の確保及び表示

②計画

（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）の保管場所の確保及び表示

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
自ら埋立処分行う特別管理産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類		廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)	汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)
全処理委託量		84 t	3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	31 t	3 t
	再生利用業者への処理委託量	53 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（これまでに実施した取組）

廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）排出量の削減

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="4">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別管理産業廃棄物の種類</td><td>廃油(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)</td><td>汚泥(ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有)</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>100 t</td><td>3 t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>36 t</td><td>3 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>64 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）
廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含有）排出量の削減</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">電子情報処理組織の使用に関する事項</td><td colspan="4">【前年度（令和5年度）実績】</td></tr>
<tr><td colspan="4">特別管理産業廃棄物排出量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。） 87 t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組等）
2019年2月から電子マニフェストを運用</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

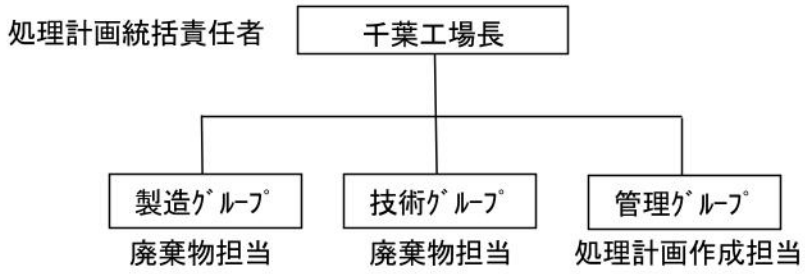
６　「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第６条の14第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

７　「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第２条の４第５号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第８条の31の４に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

８　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年5月16日

千葉県知事　熊谷 俊人 殿

提出者　130-0026

住所　東京都墨田区両国4-31-11 ヒューリック両国ビル9F

法人名 オーベクス株式会社

代表者 栗原 則義

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-6701-3200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	オーベクス株式会社 テクノ事業部 千葉工場
事業場の所在地	千葉県白井市河原子265
事業の種類	大分類　製造業　中分類 その他の製造業(サインペンのペン先の製造販売)
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　から　令和6年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	102 t	全処理委託量	102 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	38 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	64 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	全前年度(令和4年度)	102.9 t
	前年度(令和5年度)	87 t

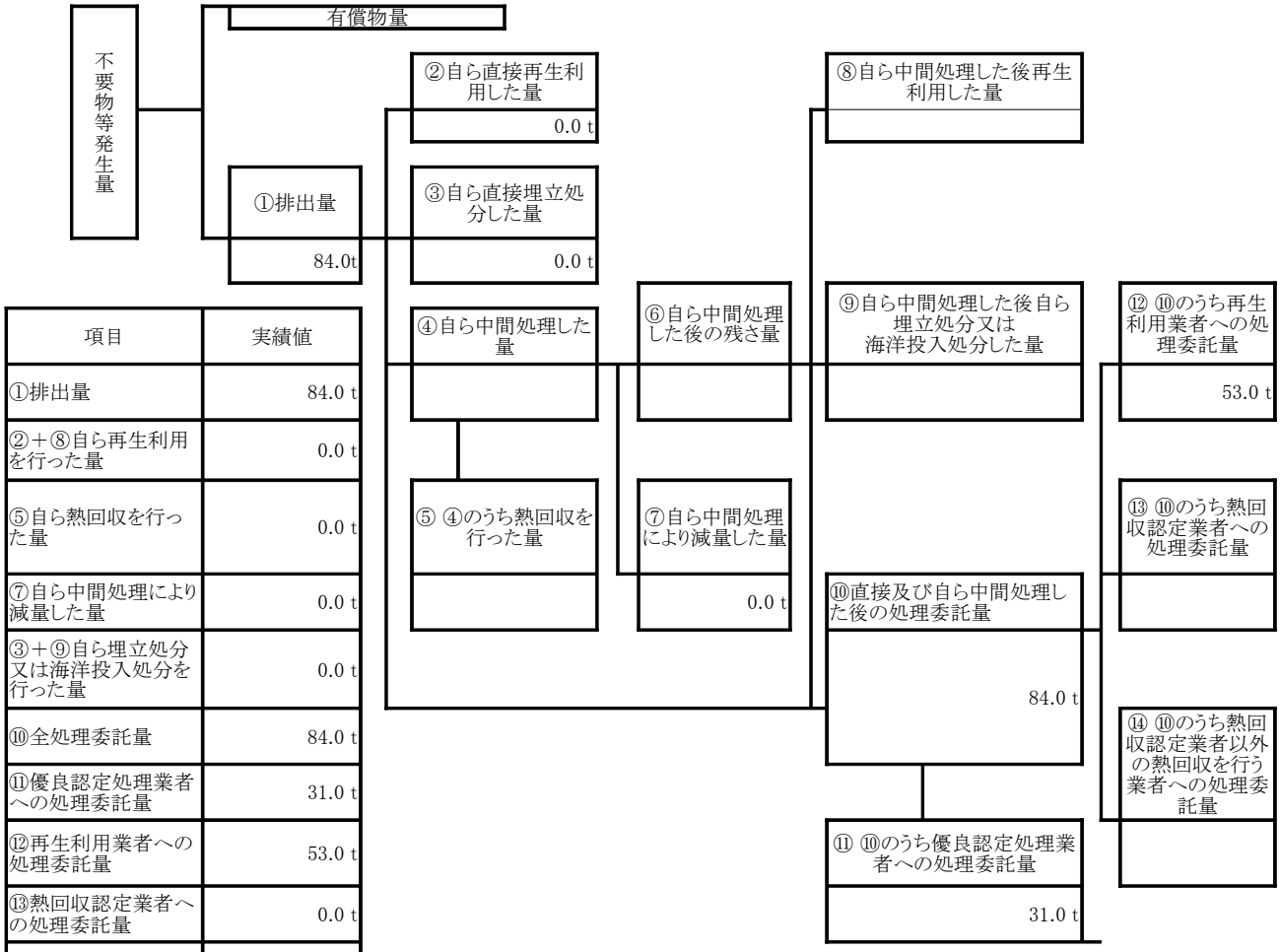
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)
2019年2月から電子マニフェストを運用

(日本産業規格　A列4番)

N0.1

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　**特定有害廃油（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含）**）



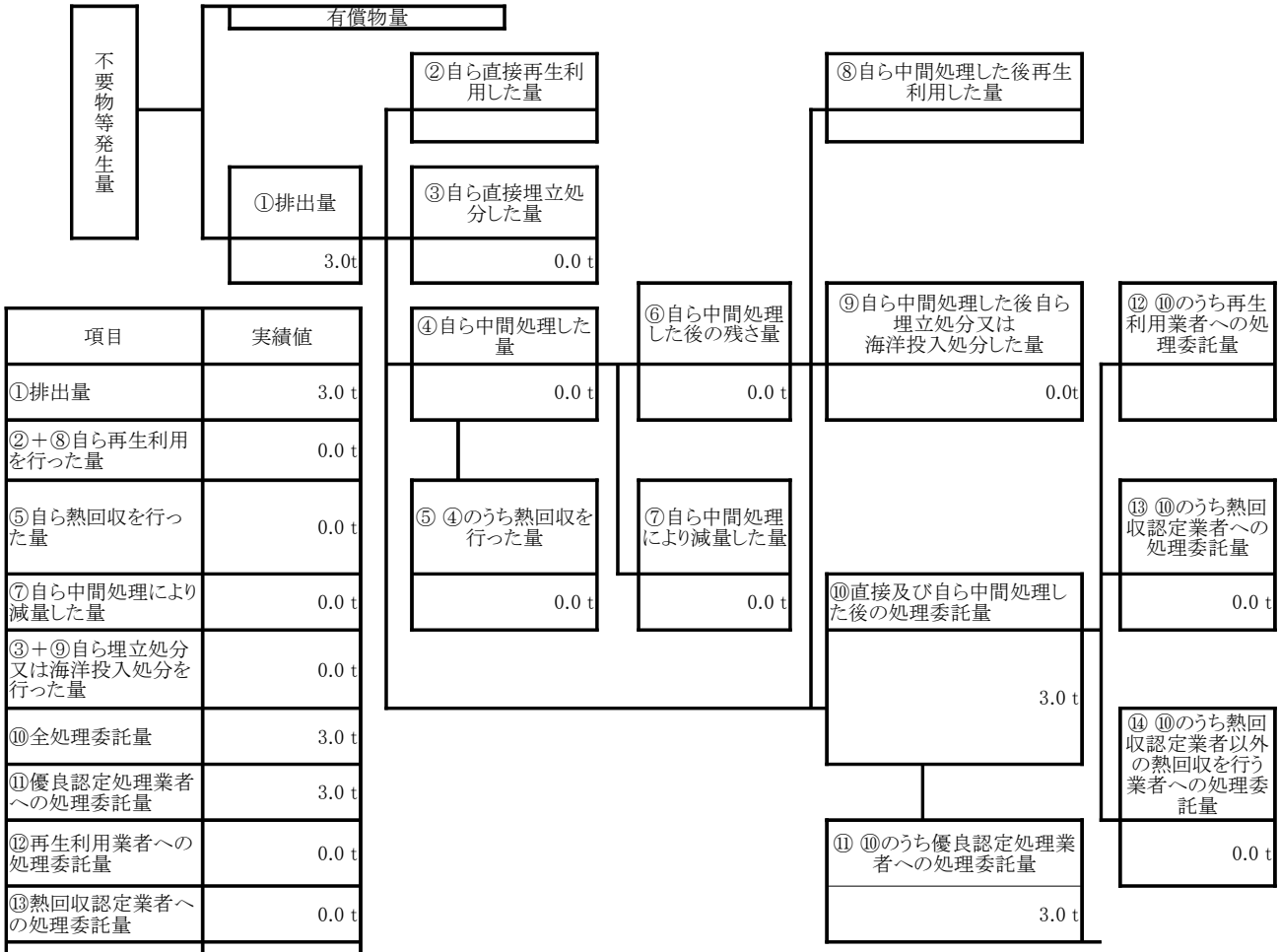
項目	実績値
①排出量	84.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	84.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	53.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.2

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　特定有害汚泥（ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ含））

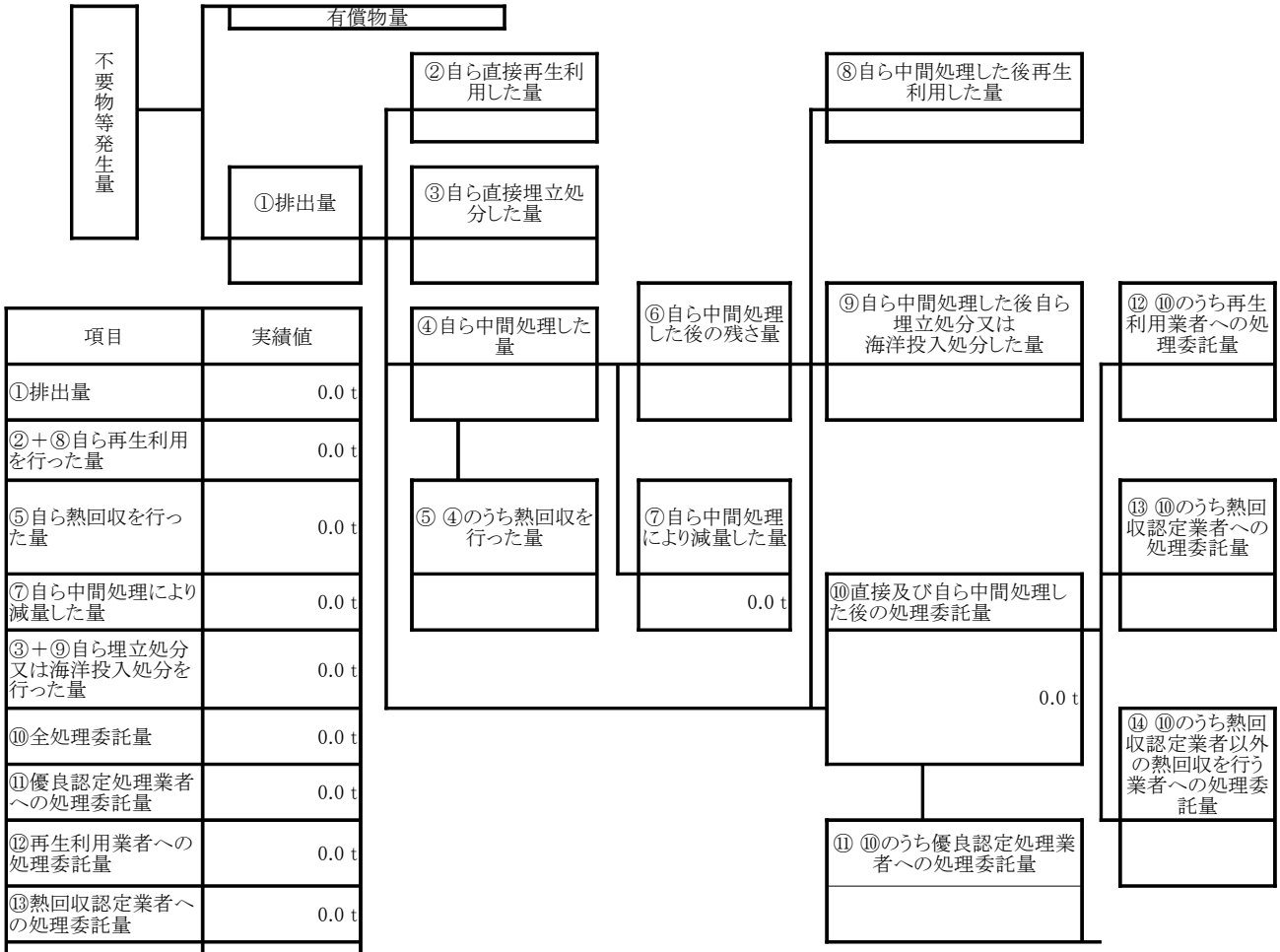


項目	実績値
①排出量	3.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



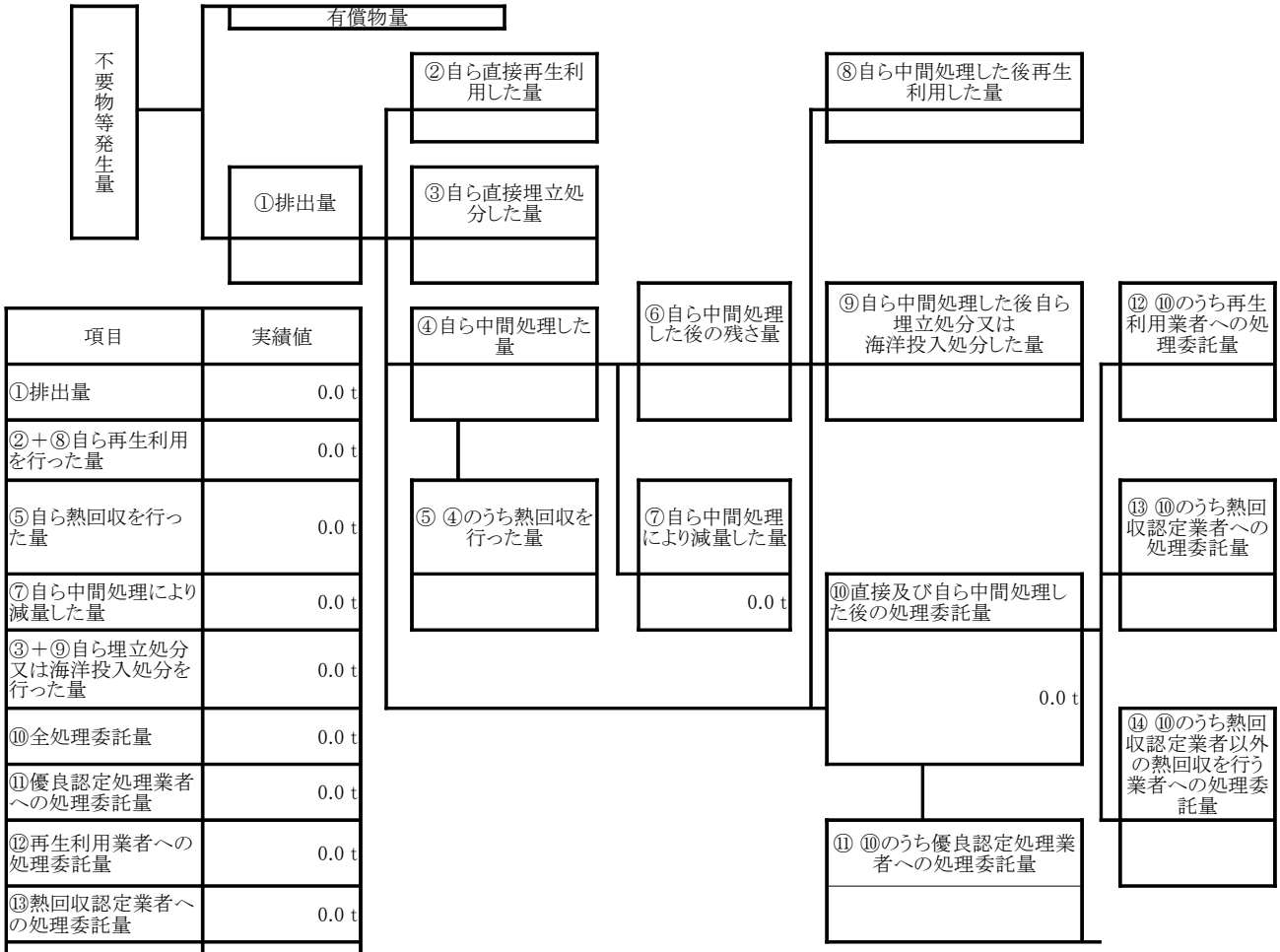
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.4

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

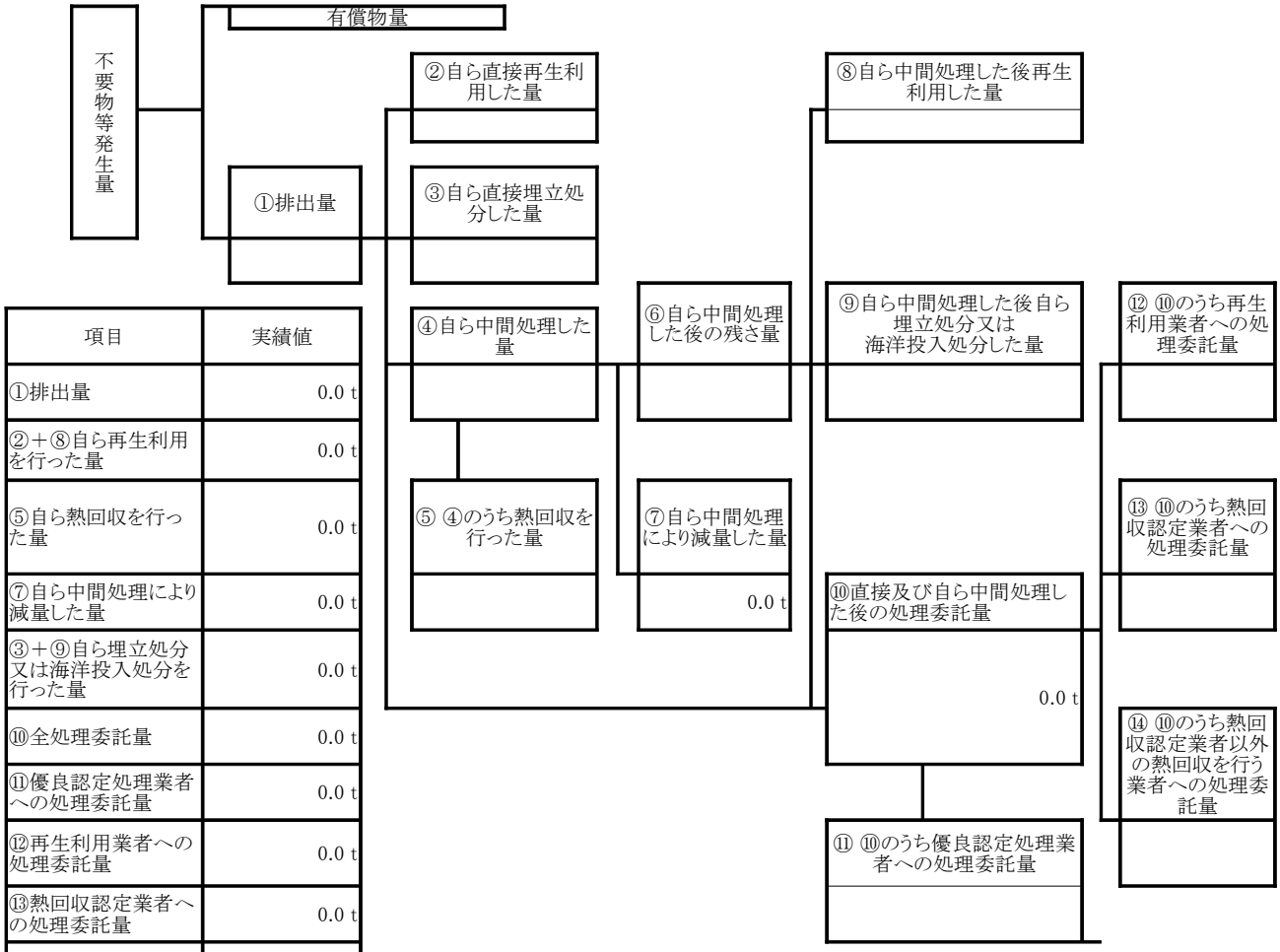


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

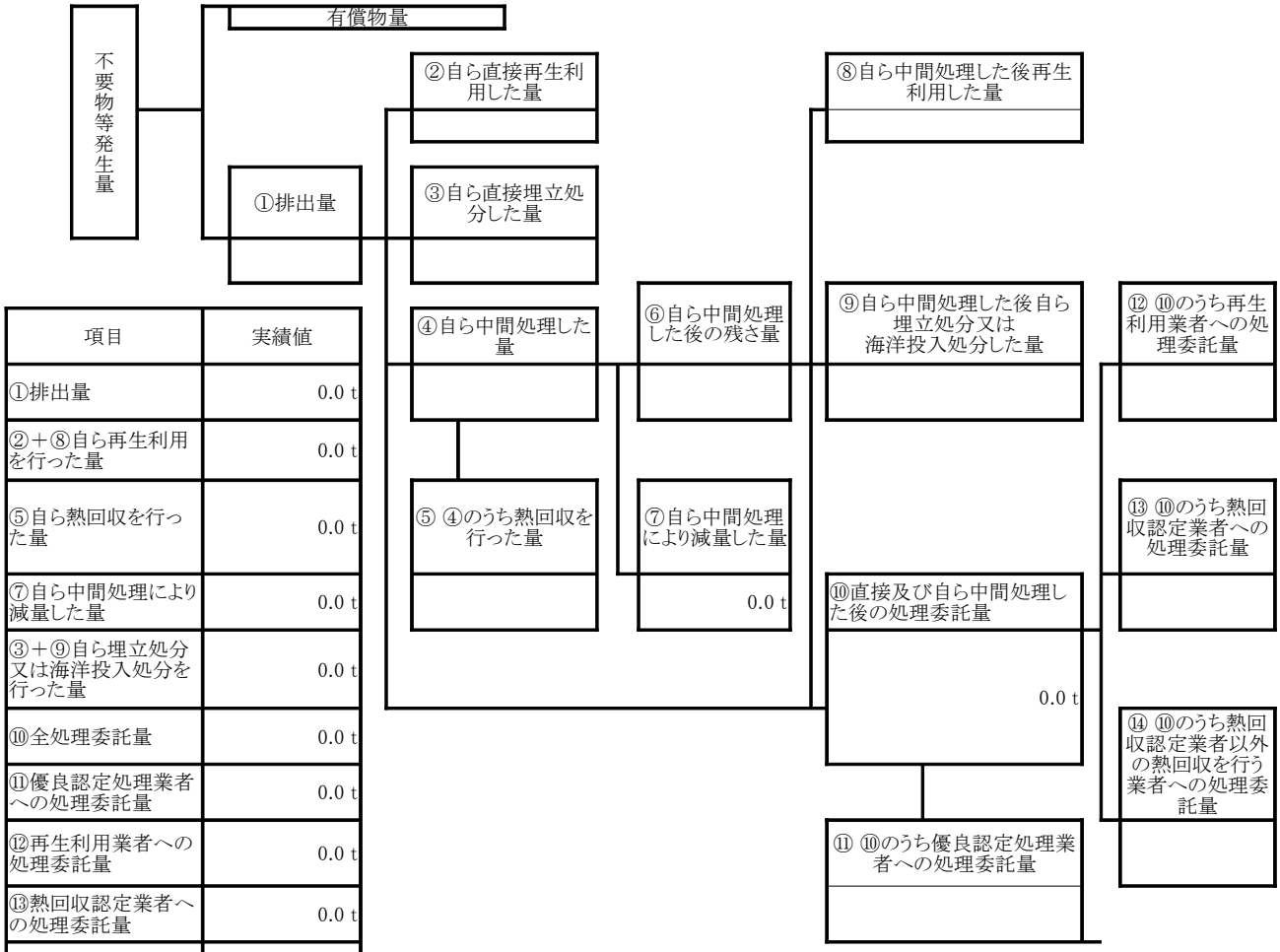


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

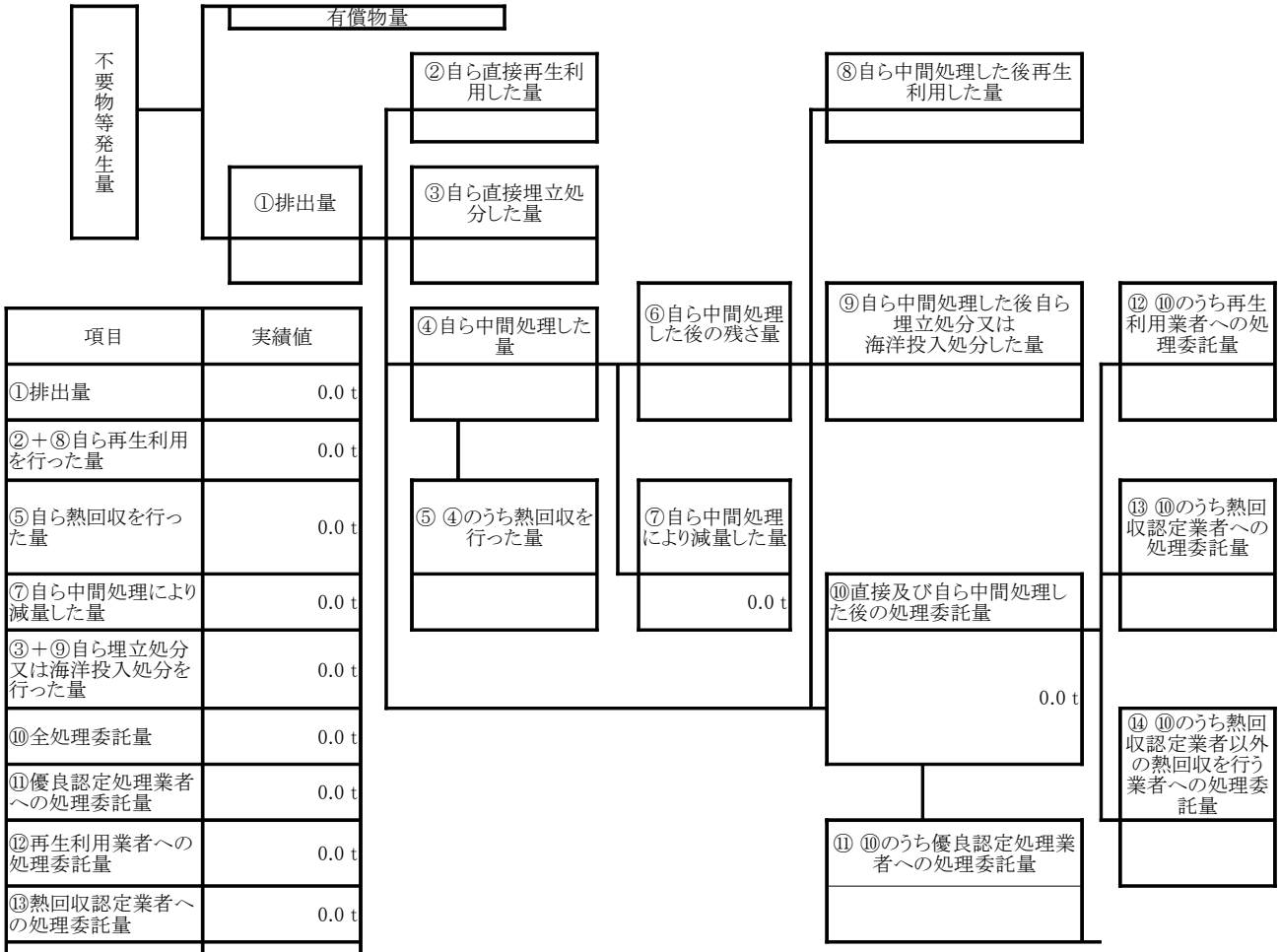


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

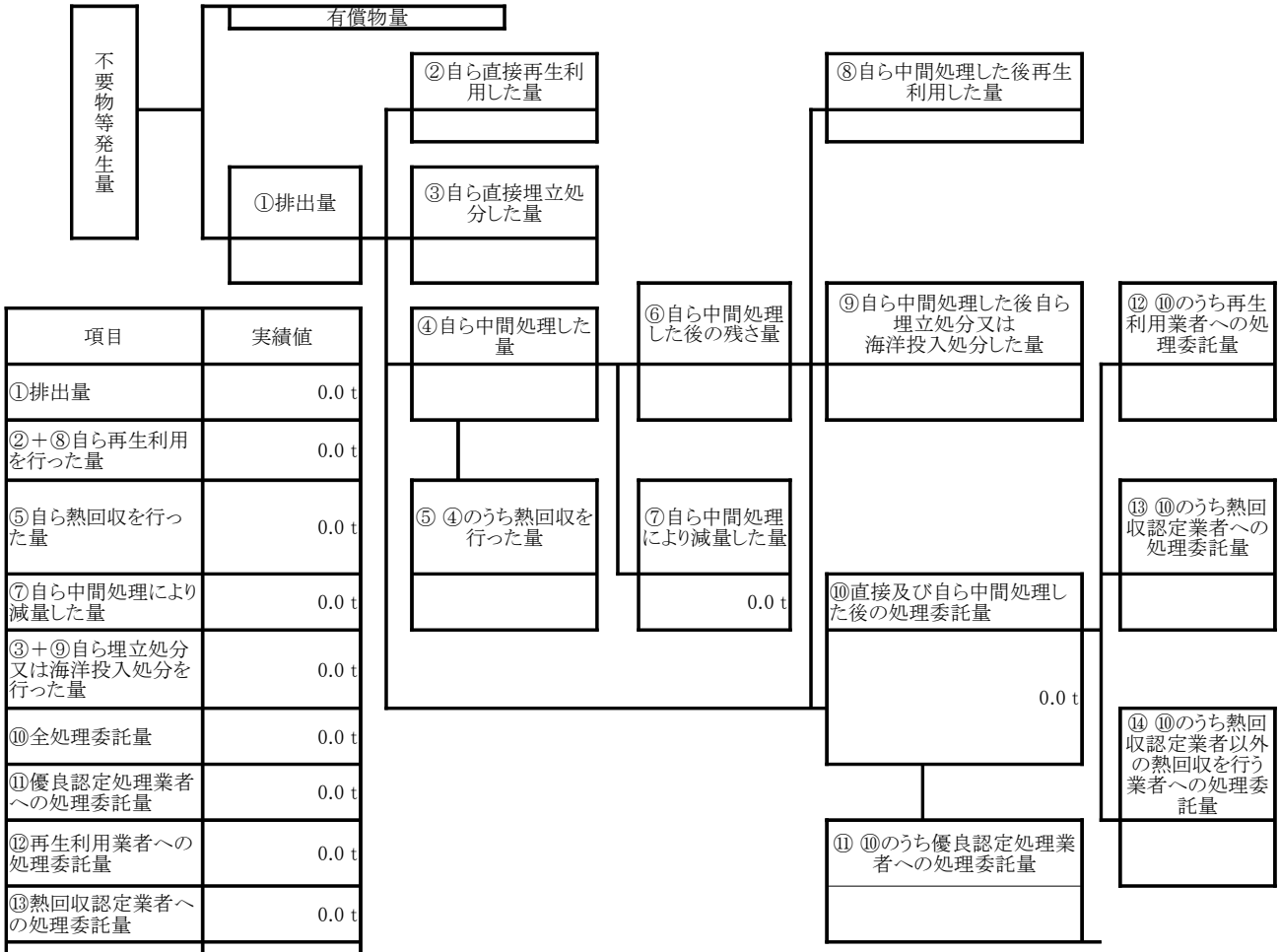


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.8

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

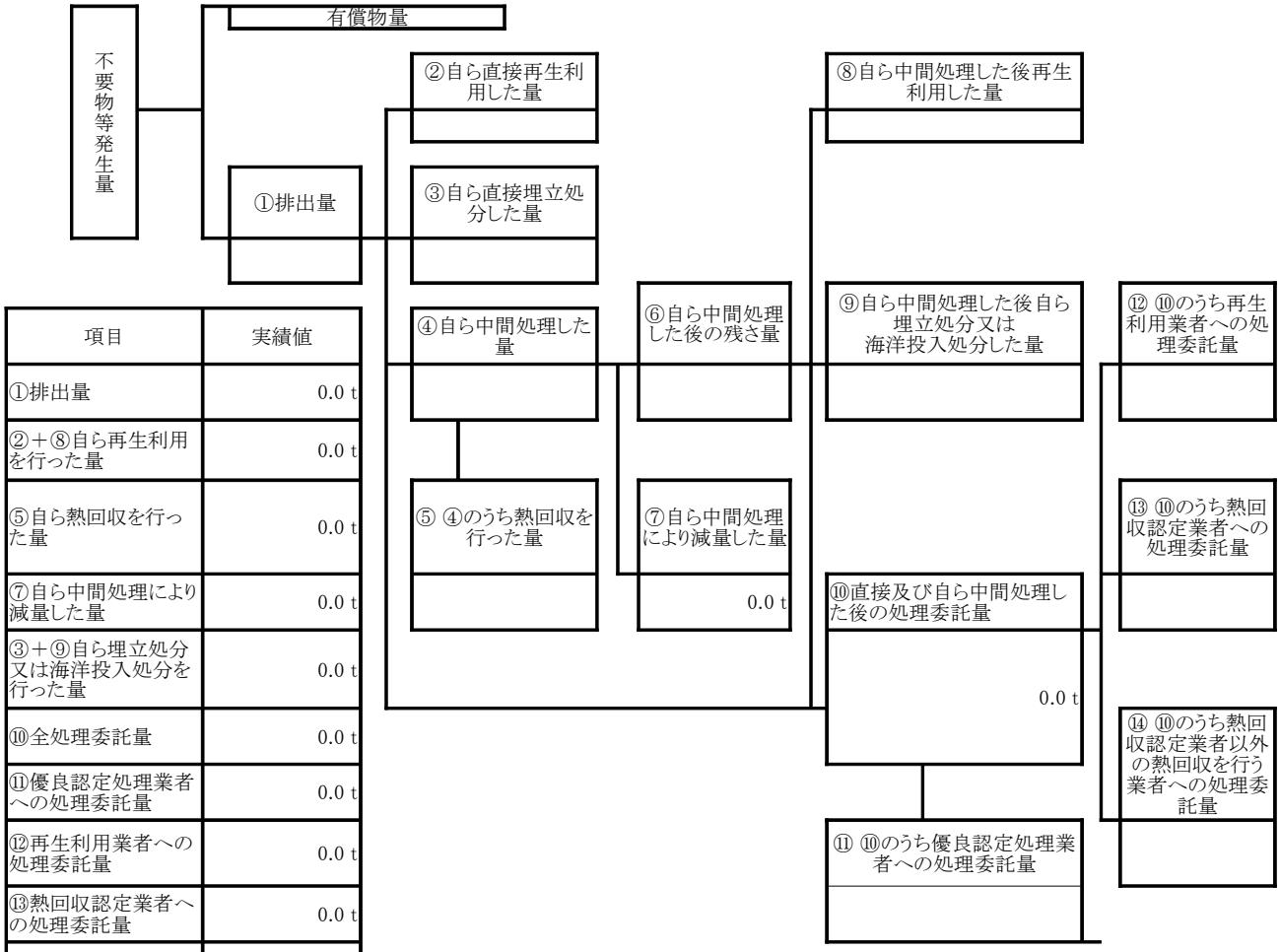


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

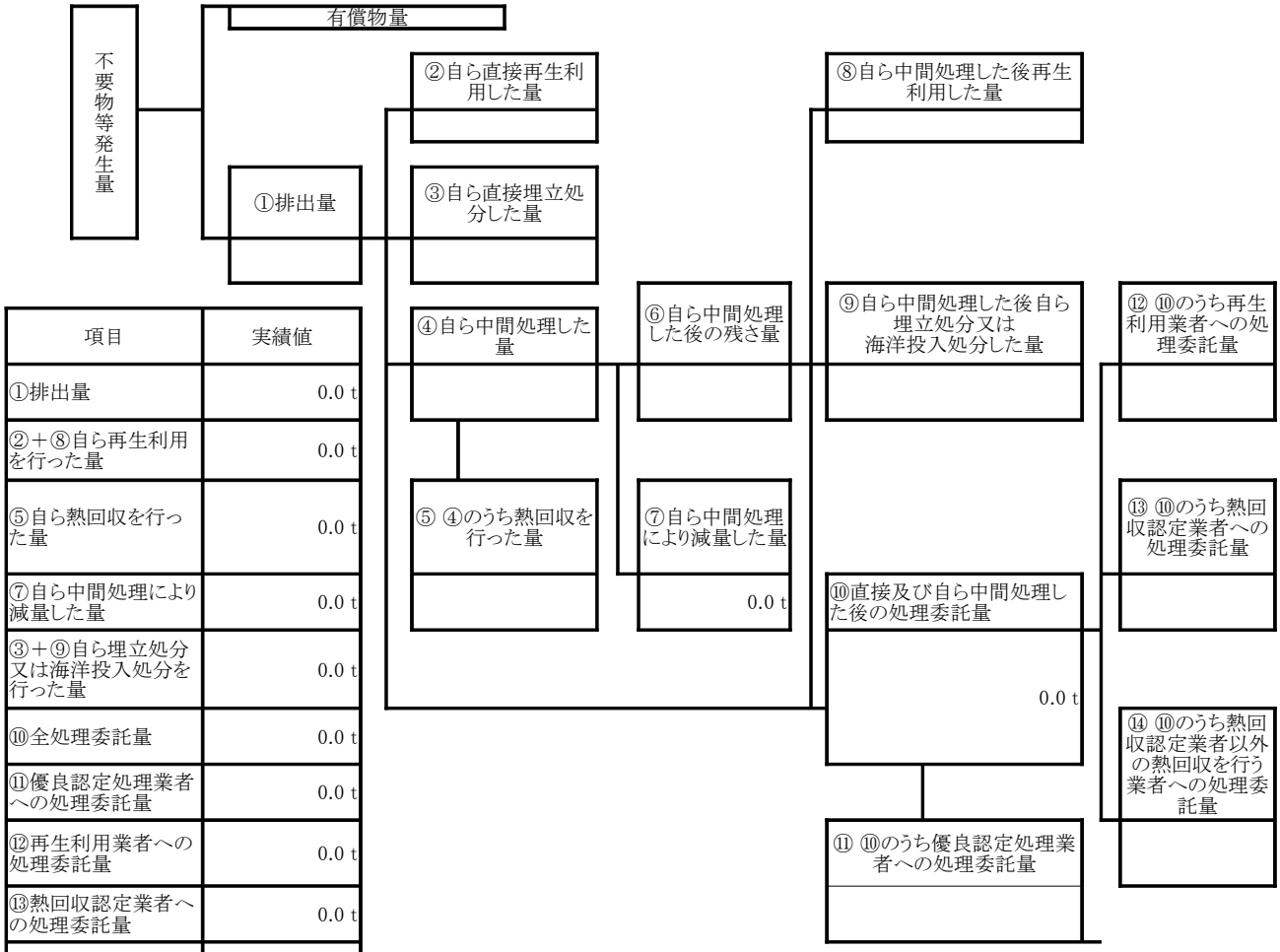


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.10

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



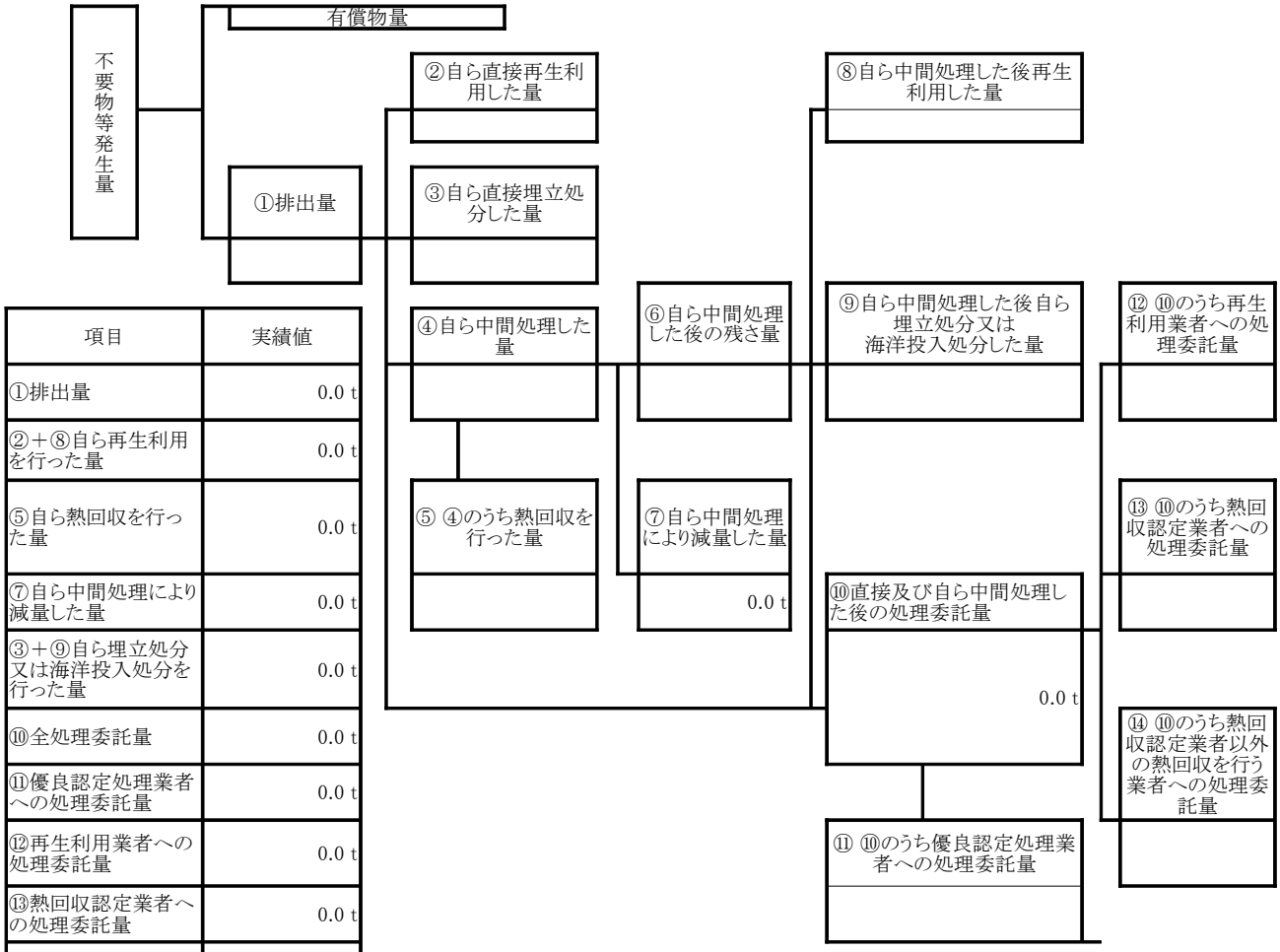
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.11

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

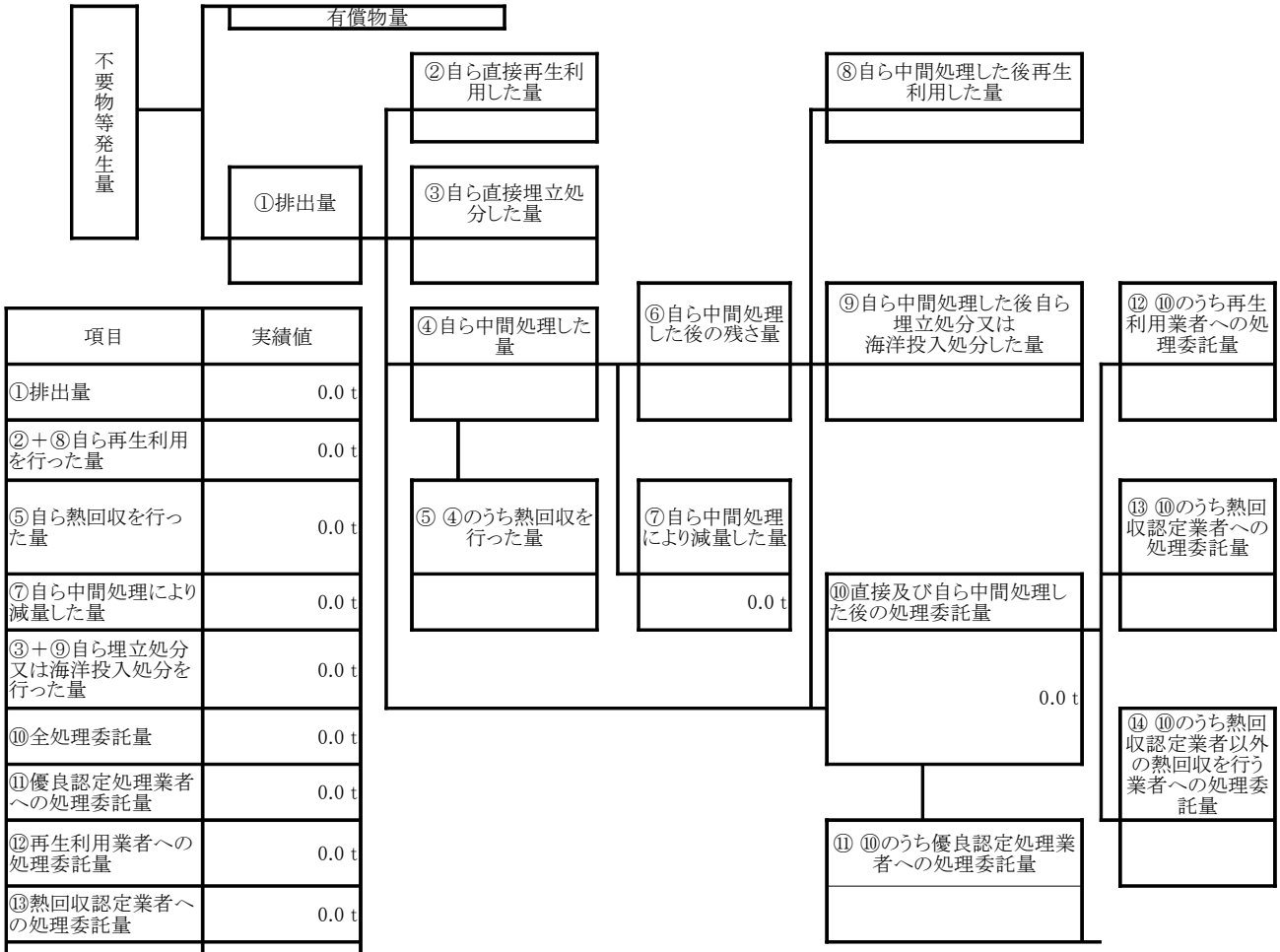


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.12

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

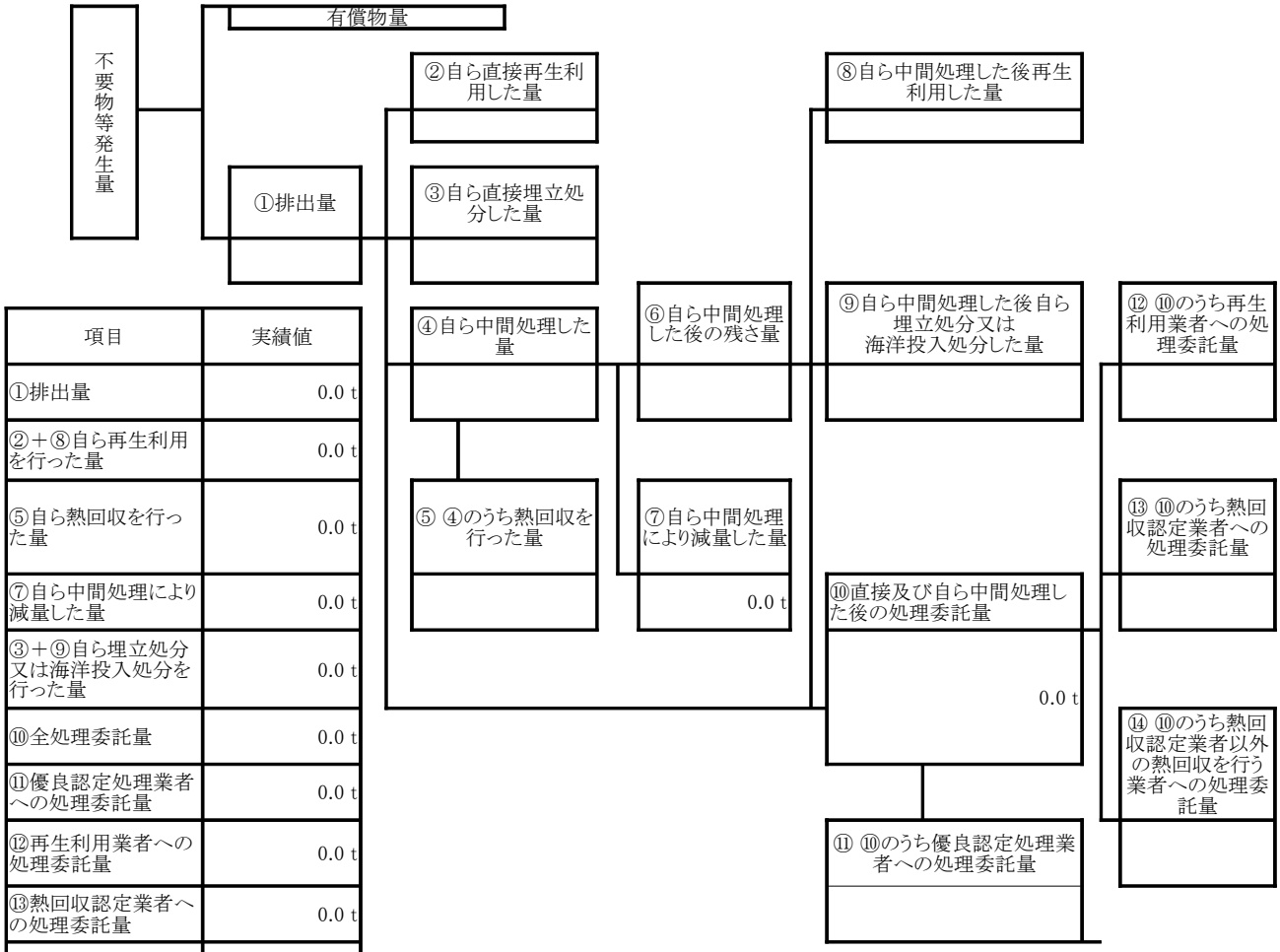


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.13

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



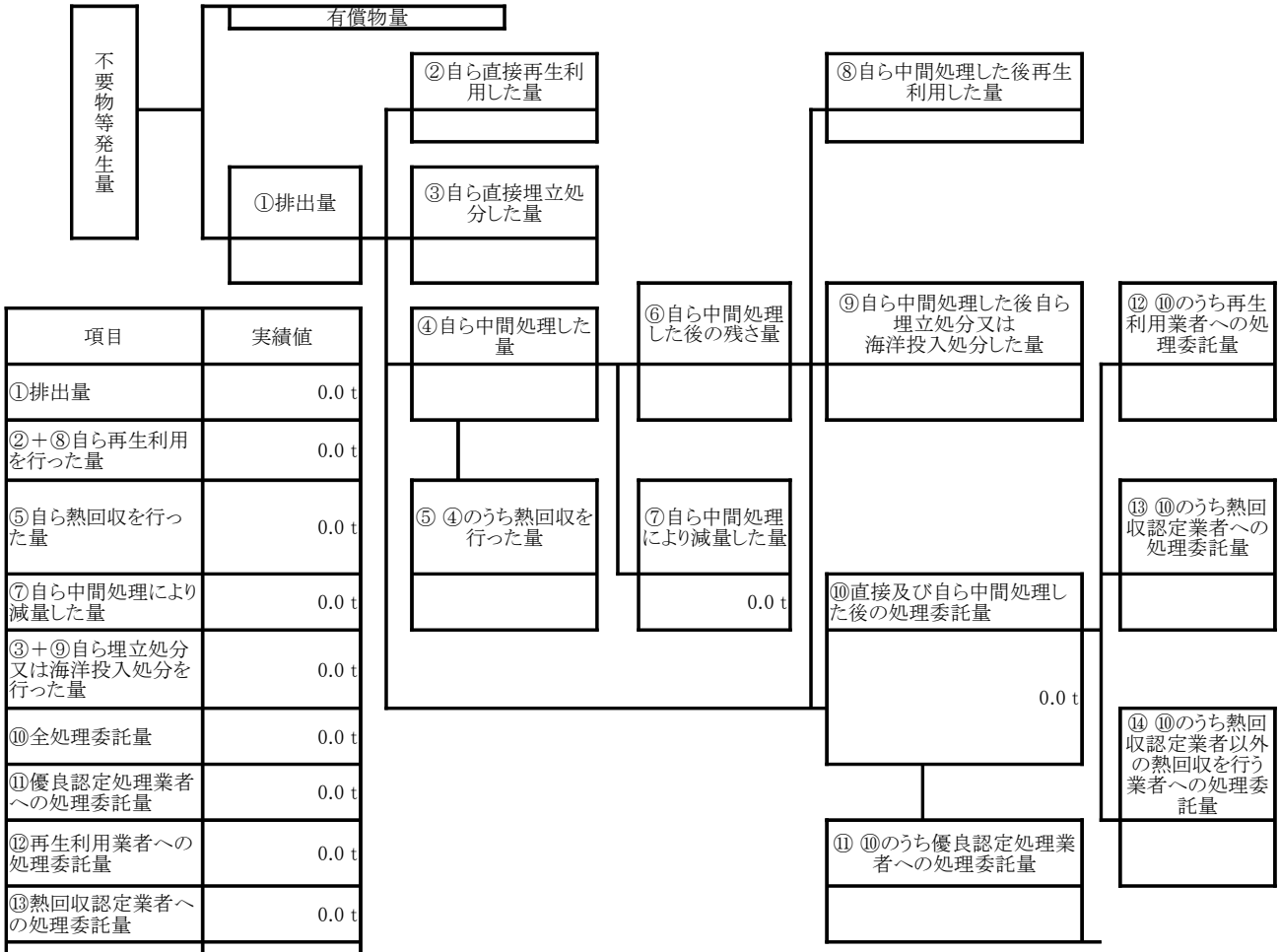
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.14

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）



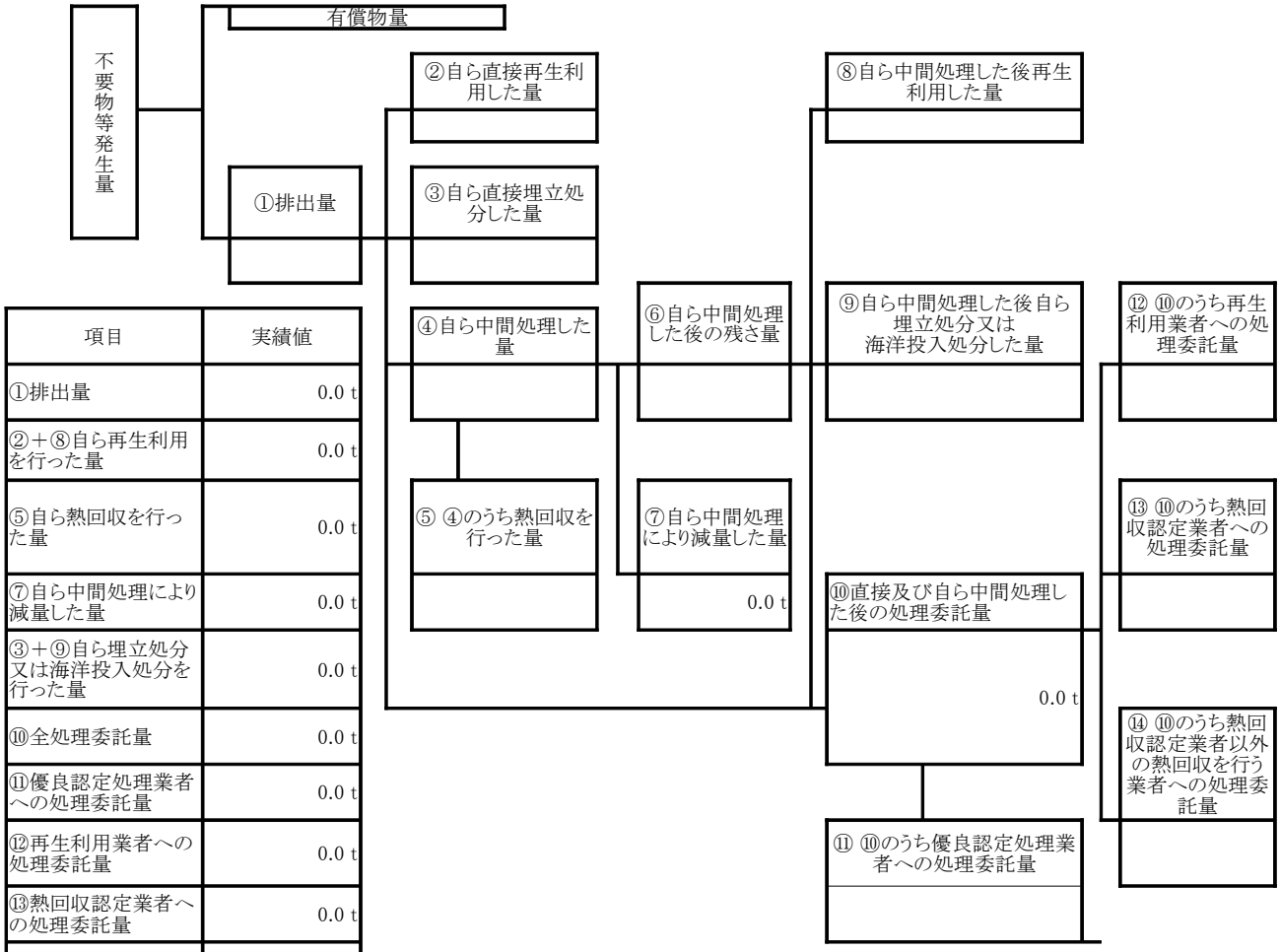
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

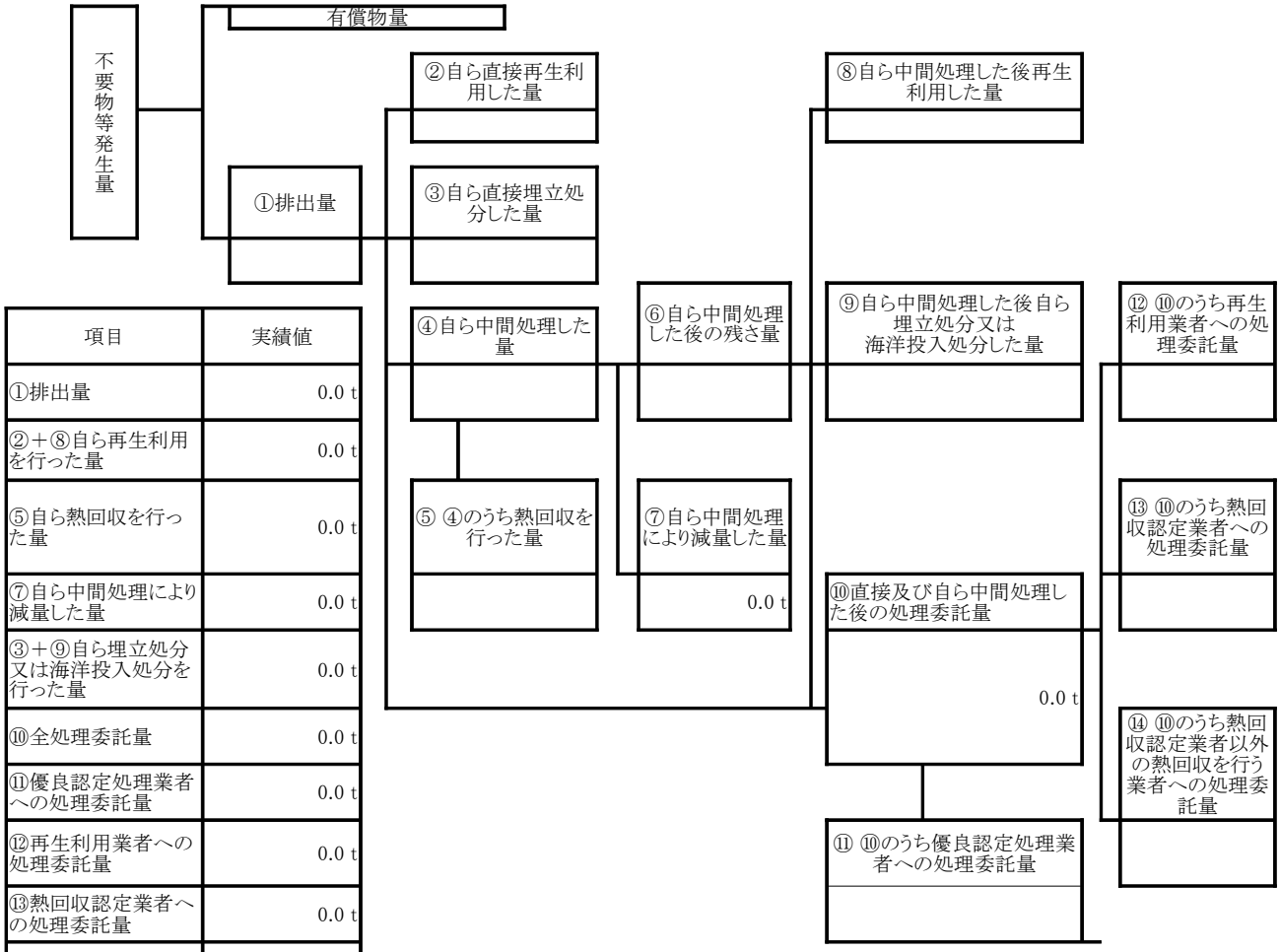


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.16

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）

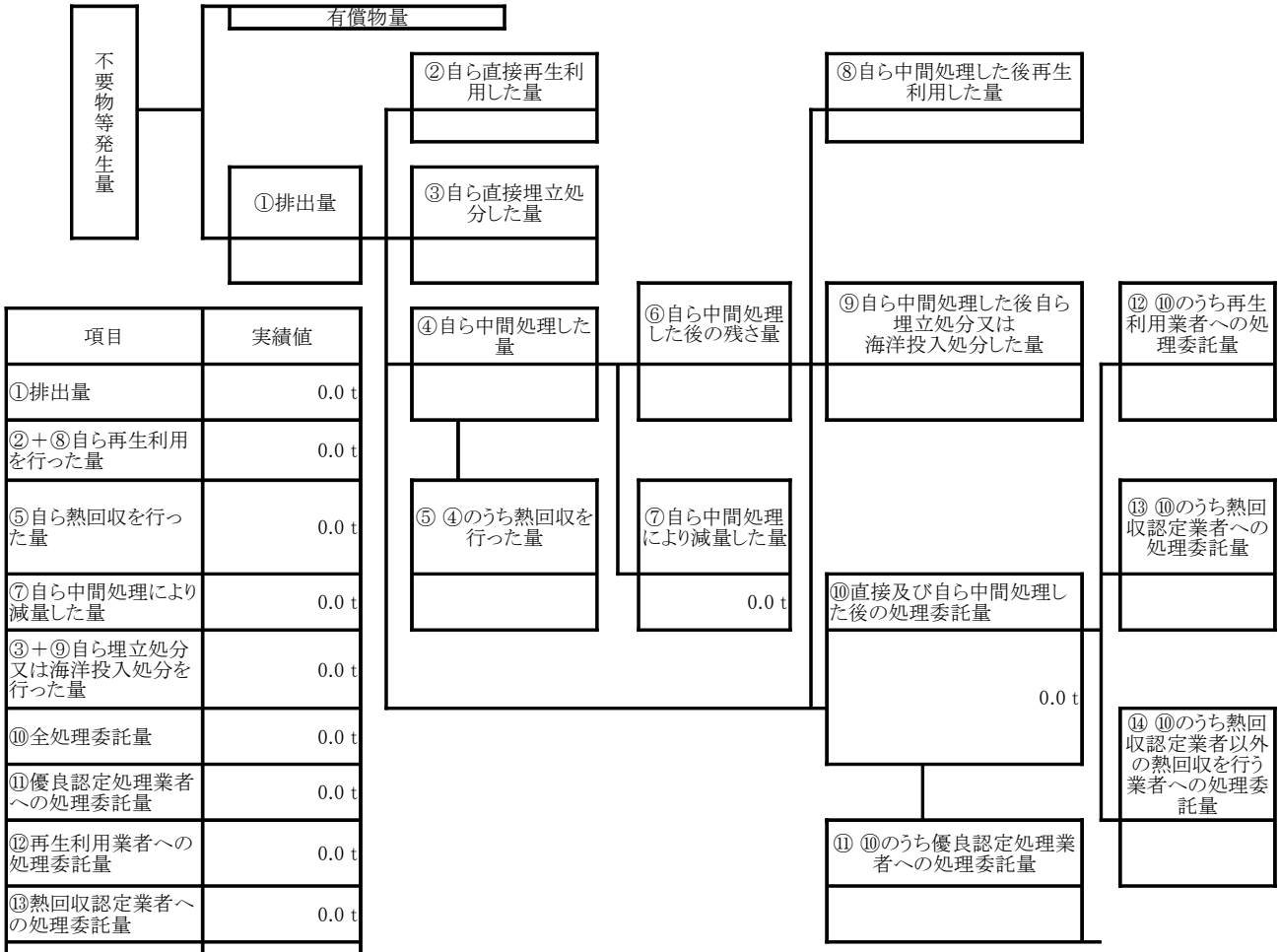


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.17

（第2面）

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



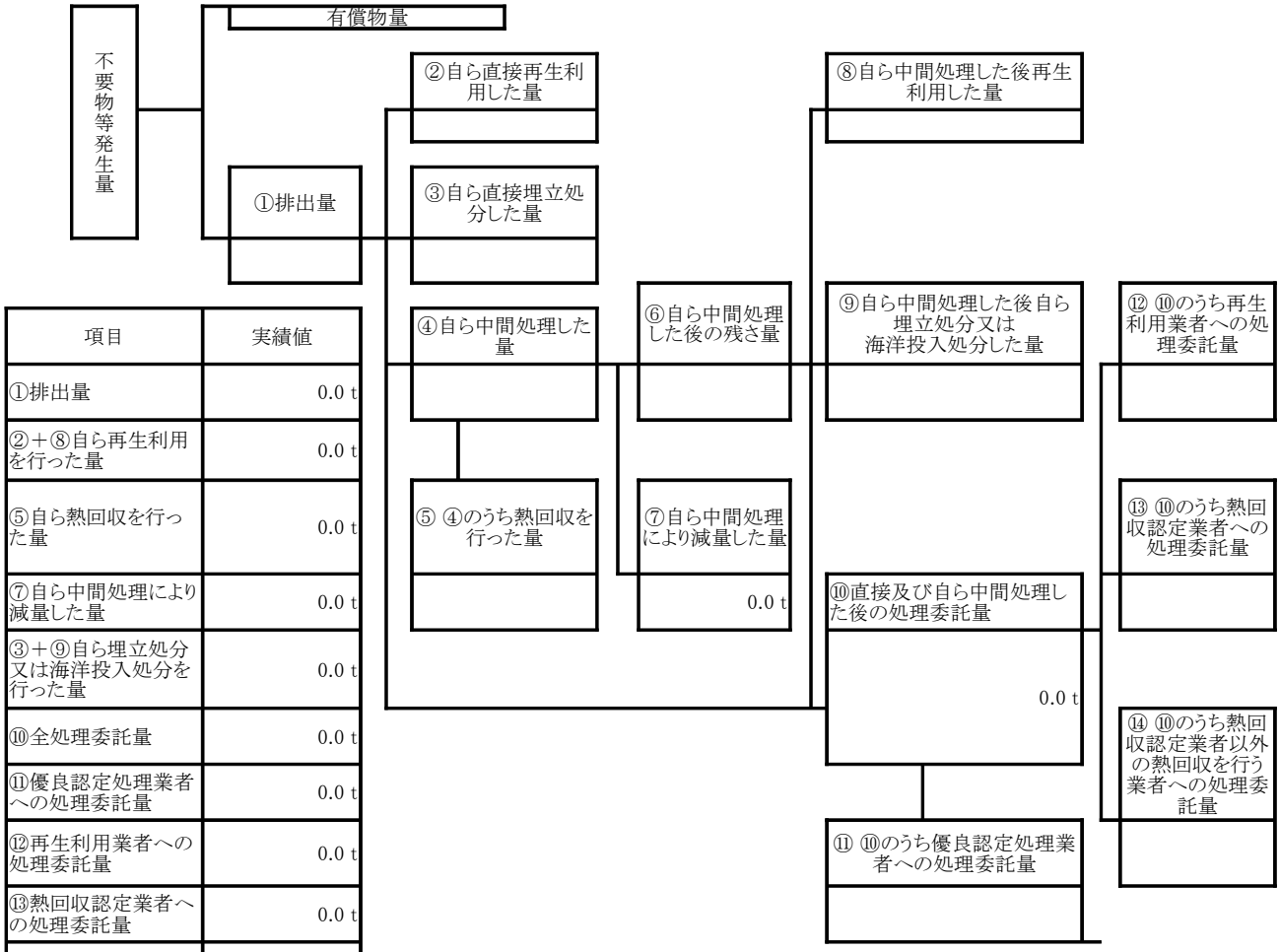
項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.18

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類:　　）

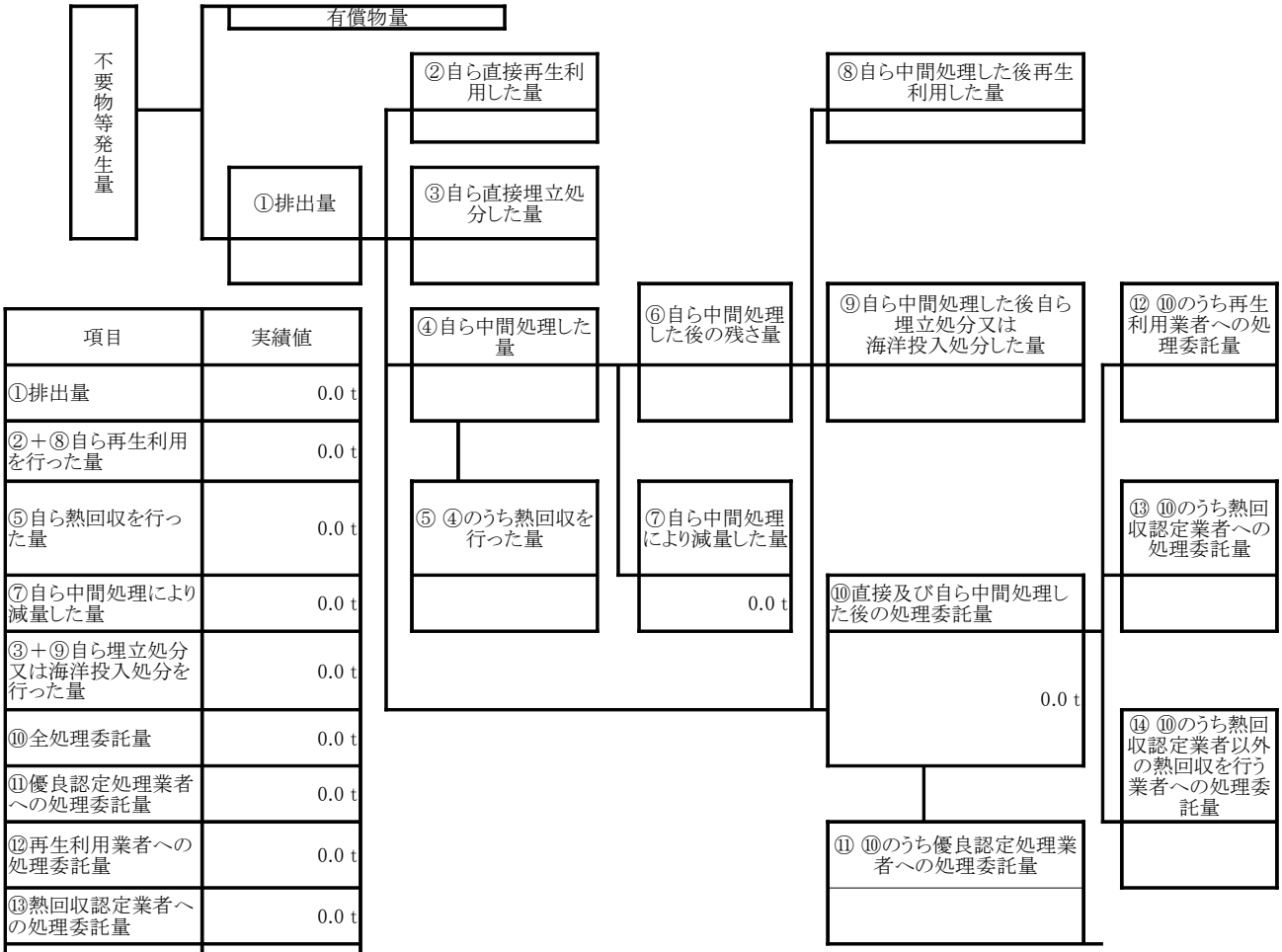


項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.19

（第2面）

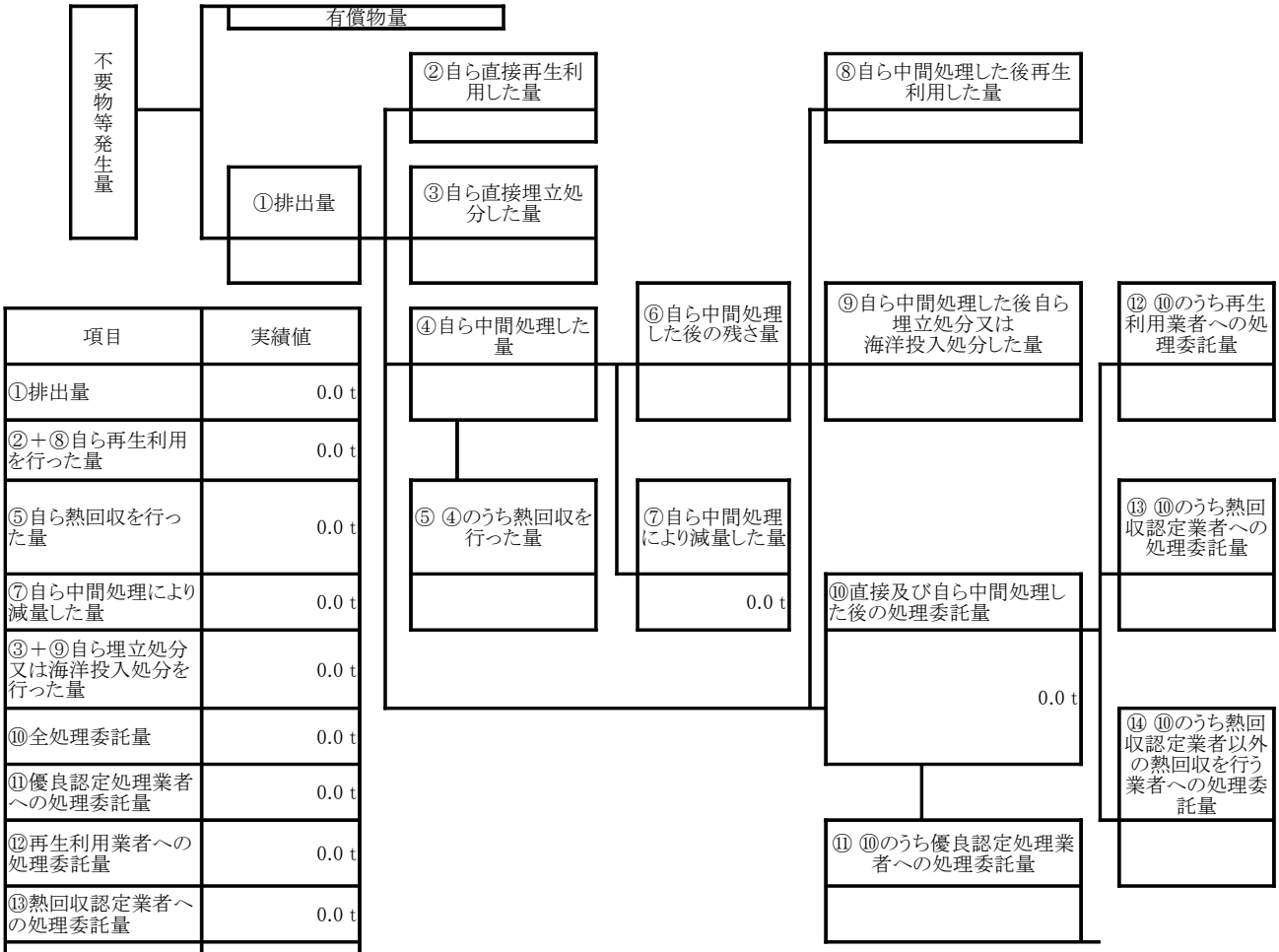
計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.20

計画の実施状況　（特別管理産業廃棄物の種類:　）



項目	実績値
①排出量	0.0 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考
1 翌年度の6月30日までに提出すること。
2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
3「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
(1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
7「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあっては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第１面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和６年　5月　13日

千葉県知事
　熊谷　俊人　　殿

提出者〒278-0016

住　所　千葉県野田市二ツ塚23-1

氏　名　株式会社大森工業野田
　　代表取締役　根上靖晃
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　04-7124-2112

千葉県 東葛飾地域振興事務所 -6.5.16 収受

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の２第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大森工業野田
事業場の所在地	千葉県野田市二ツ塚23-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

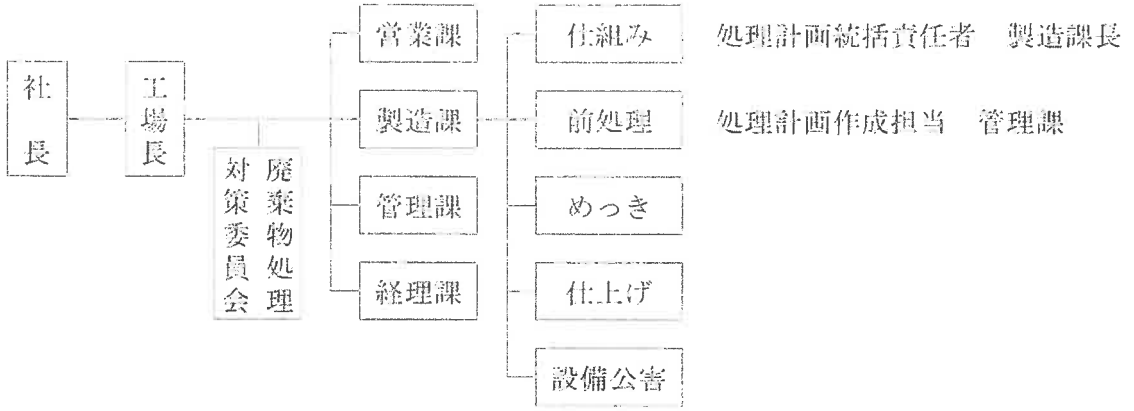
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	E24－金属製品製造業
②事業の規模	令和5年度　製造品出荷額　1,803,333,883円
③従業員数	46名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	素材受入 → 脱脂（①強アルカリ） → 水洗 → 酸洗（②強酸） → 水洗 → フラックス → めっき → 冷却 → 製品 ①、②は委託処理 中間処理（中和、脱水、焼却）

（日本工業規格　Ａ列４番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
排　出　量	343.35　t	16.08　t

（これまでに実施した取組）
昨年同様の管理を継続する。定期的な濃度測定を行い、管理値下限までの使用を推進し、再めっきなど、不要な工程による効果の消耗を削減。
また水洗水の持ち込みを減らし効果消耗の防止を図る。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
排　出　量	333.05　t	15.84　t

（今後実施する予定の取組）
管理値下限までの使用を継続し、効率的な運用を図り、引き続き廃棄物の排出抑制に努める。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
専用容器

②計画

分別の現状維持で継続する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
引き続き、行わない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組 ）
引き続き、行わない。

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
実績はない。

②計画

【目標】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
実施しない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物の種類	廃強酸	廃強アリカリ
全処理委託量	343.35 t	16.08 t
優良認定処理業者への処理委託量	343.35 t	16.08 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
全ての廃棄物は回収して処分業者に依頼し適正に処理を行った。
優良認定事業者への委託処理を増やす。また、優良認定事業所への委託処理を実施するように心掛けている。

	②計画	【目標】

特別管理産業廃棄物の種類		廃強酸	廃強アリカリ
全処理委託量		333.05 t	15.84 t
	優良認定処理業者への処理委託量	333.05 t	15.84 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
昨年同様の管理を実施し、再めっき等の無駄を削減して資源の効率的な運用を行う。現状の無駄や問題点を抽出し、改善に取り組んで行く。

現状どおり、今後も優良認定事業所への委託処理を継続していく。

電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和５年度）実績】

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	359.43 t

（今後実施する予定の取組等）
特別管理産業廃棄物においては電子マニフェストのみの運用になっていますので今後も継続する。また、委託処理においても優良認定事業者への委託処理を継続する。

※事務処理欄	

様式第二号の十四（第八条の十七の三関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 5月 13日

千葉県知事　熊谷 俊人　　殿

提出者　〒278-0016
住 所　千葉県野田市二ツ塚23-1
氏 名　株式会社大森工業野田
（法人にあ　代表取締役 根上靖晃
電話番号　04-7124-2112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社大森工業野田
事業場の所在地	千葉県野田市二ツ塚23-1
事業の種類	E24－金属製品製造業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	355.0 t	全処理委託量	355.0 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	175.0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度 363.4	t
	前年度 359.5	t

（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組）

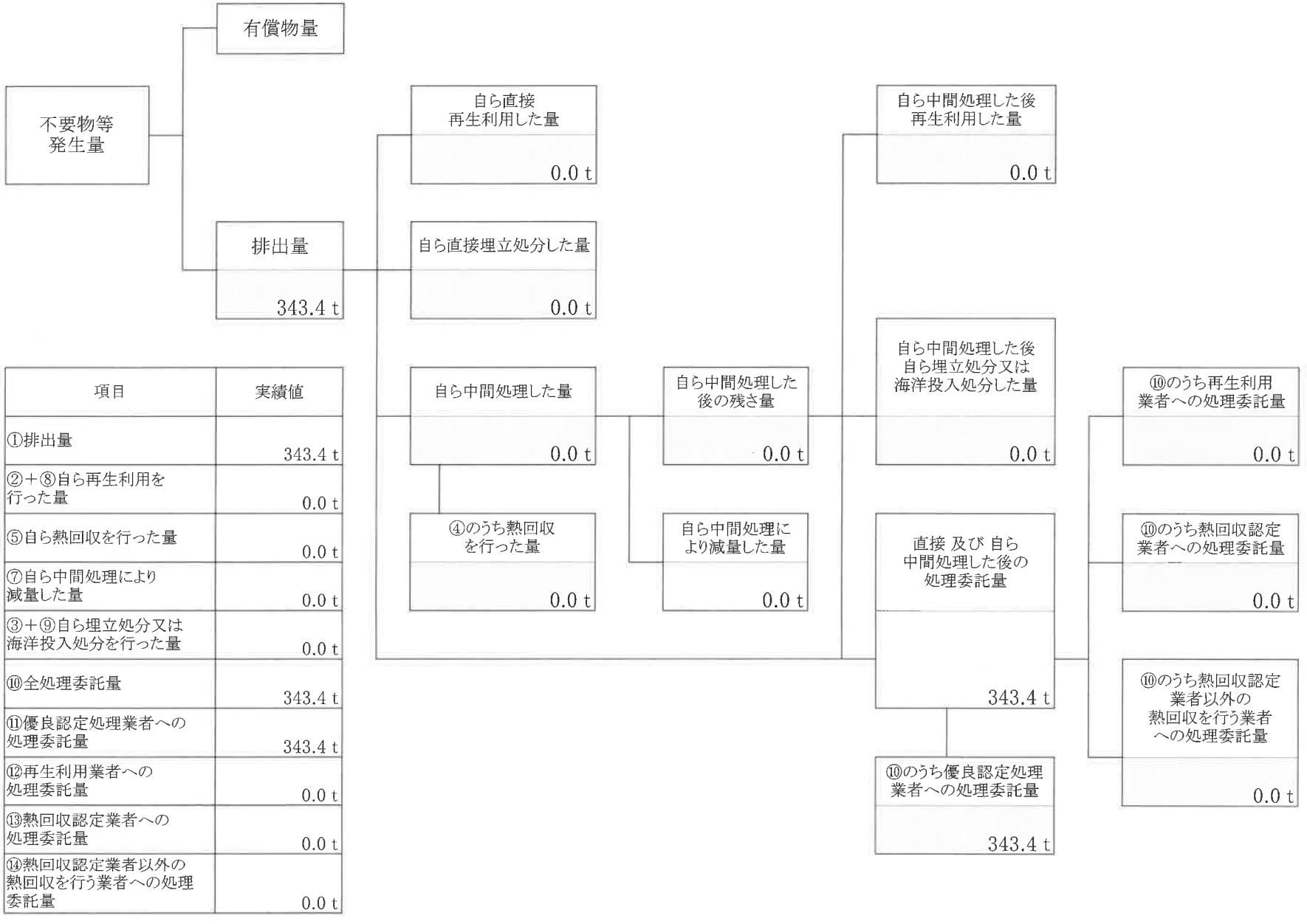
2020年(令和2年)1月より、電子マニフェストの運用を開始。
これより、後における特別管理産業廃棄物排出の際は、電子マニフェストのみ使用を継続している。

※事務処理欄	

（日本工業規格 A列4番）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃強酸　）

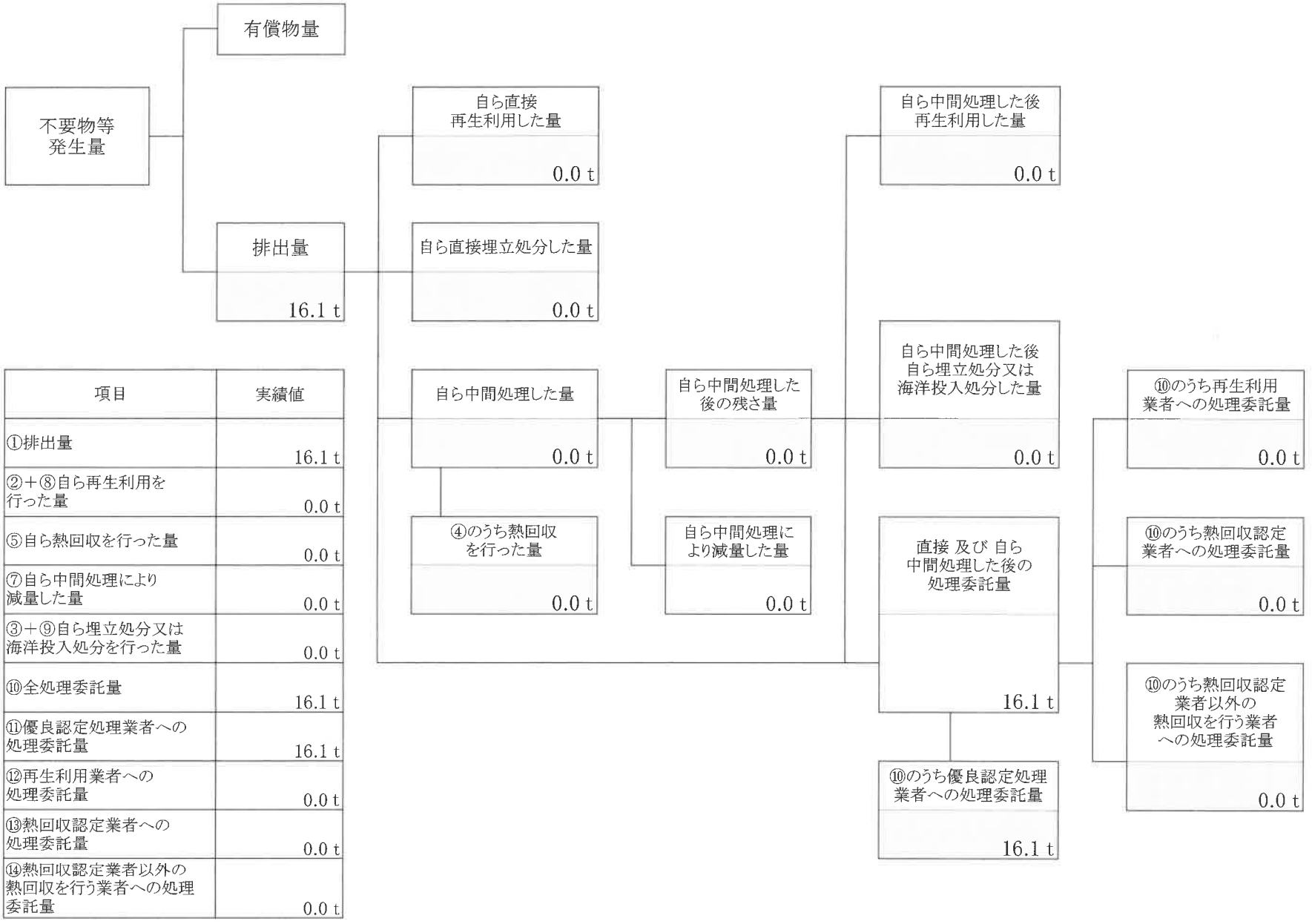


項目	実績値
①排出量	343.4 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	343.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	343.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

計画の実施状況

（特別管理産業廃棄物の種類：　廃強アリカリ　）



項目	実績値
①排出量	16.1 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	16.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

（第2面）

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２０２４年　５月　３１日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　〒292-0832
住　所　千葉県木更津市新田１－５－３１
氏　名　小澤商事株式会社
代表取締役　勝呂　和彦
電話番号　０４３８－２２－５２８５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小澤商事株式会社　袖ケ浦宇部生コンクリート工場
事業場の所在地	袖ケ浦市蔵波２０３９
計画期間	２０２４年４月１日から２０２５年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

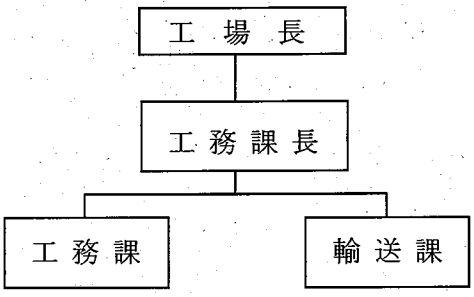
①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
②事業の規模	前年度の製造品出荷額　　４９０　百万円
③従業員数	１７名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	生コンクリート製造 → 現場に納入 → 現場での計算違い等による戻りコンの発生→ 当工場内にて個化 → 産業廃棄物収集運搬業者へ運搬を依頼 → 廃棄物再生業者にて破砕、ＲＣ砕石の製造

日本工業規格　Ａ列４番）

君津
地域振興事務所
-6.5.31
収受

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（２０２３年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥
	排　出　量	2,726 t	1,931 t
	（これまでに実施した取組） 2023年度の生コン出荷量は、前年より大幅に減少したが、 残コン、戻りコンは前年度と同程度となった。 産業廃棄物排出量の合計目標･個別目標ともに達成はできたが、 今後も現場との連絡を密にとり削減できるよう努める。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥
	排　出　量	4,000 t	2,000 t
	（今後実施する予定の取組） 2023年度の出荷量、現場数は同程度であると見込まれる。 排出量目標は、前年度と同量を目標とする。 生コン納入現場と密に連絡を取り、正確な数量の発注を呼びかけ、 運搬車数を必要最小限にし、昨年以上に産業廃棄物を 減少させるよう努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥（生コンクリート）に関しては、現場より直接処分業者に運搬し工場より搬出する量を抑制し、輸送車両等の数を減らし環境に考慮した。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 汚泥（生コンクリート）は、現状の方法で運搬にかかる輸送台数を減少させ排ガス等の環境を考慮する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

無し</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自社にて中間処理無し</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

自社にて中間処理無し</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="5">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

自社にて埋立処分又は海洋投入処分無し</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

自社にて埋立処分又は海洋投入処分無し</td></tr>
<tr><td colspan="5">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="3">【前年度（２０２３年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>2,726 t</td><td>1,931 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>2,726 t</td><td>1,931 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td></td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

再生路盤材（ＲＣ砕石）として１００％再利用</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>ガラス・コンクリート・陶磁器くず</td><td>汚泥</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>４，０００ｔ</td><td>２，０００ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>４，０００ｔ</td><td>２，０００ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）

再生路盤材（ＲＣ砕石）として１００％再利用</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

２０２４年　5月　３１日

千葉県知事　熊谷　俊人　殿

提出者　〒292-0832
住　所　千葉県木更津市新田１－５－３１
氏　名　小澤商事株式会社
代表取締役　勝呂　和彦
電話番号　０４３８－２２－５２８５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、２０２３年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	小澤商事株式会社　袖ケ浦宇部生コンクリート工場
事業場の所在地	袖ケ浦市蔵波２０３９
事業の種類	大分類：製造業　　中分類：窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	２０２３年４月１日から２０２４年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

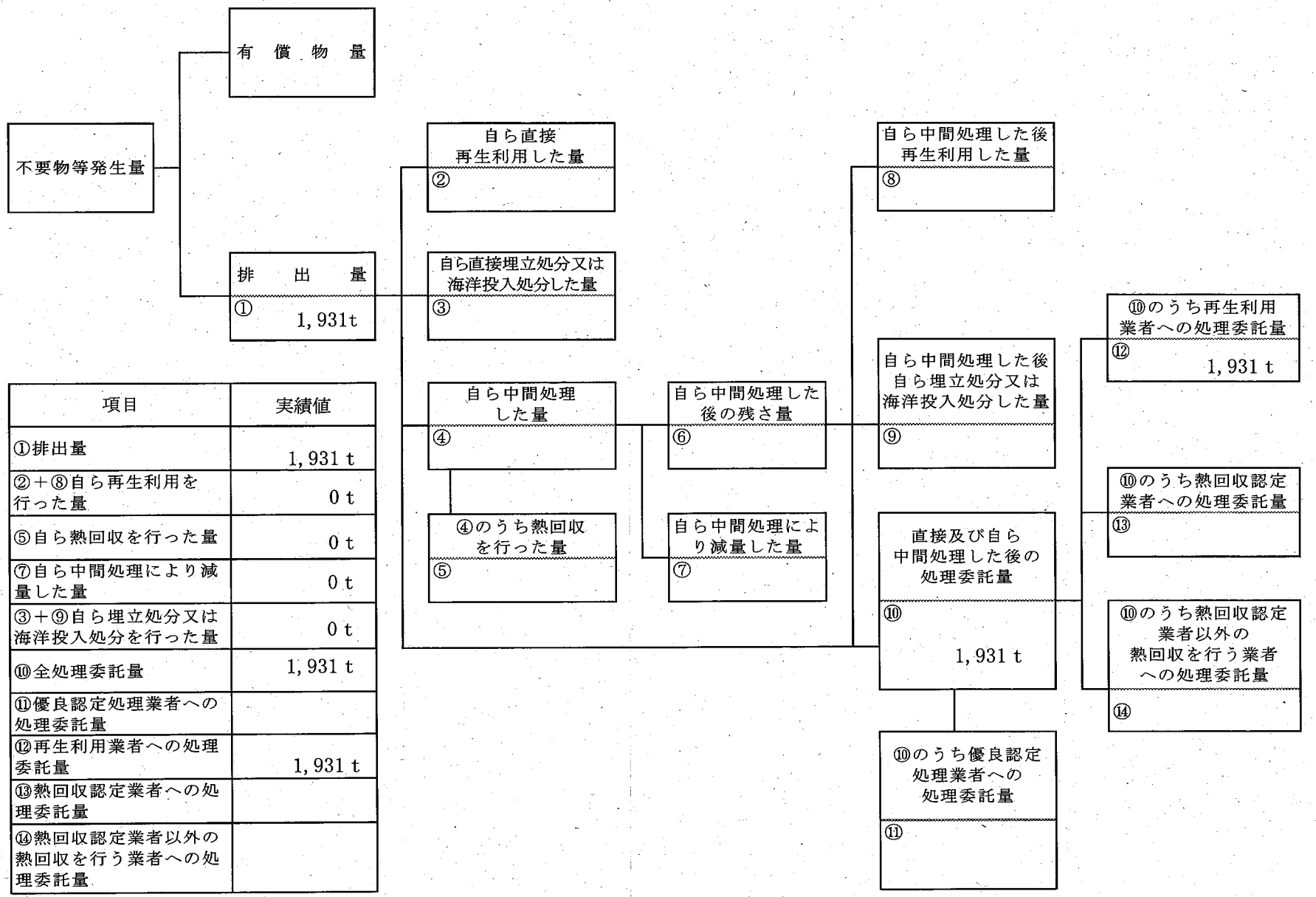
項目	目標値	項目	目標値
排出量	６，０００ｔ	全処理委託量	６，０００ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	—
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	６，０００ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	—
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—
※事務処理欄			

君津地域振興事務所
6.5.31
収受

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況

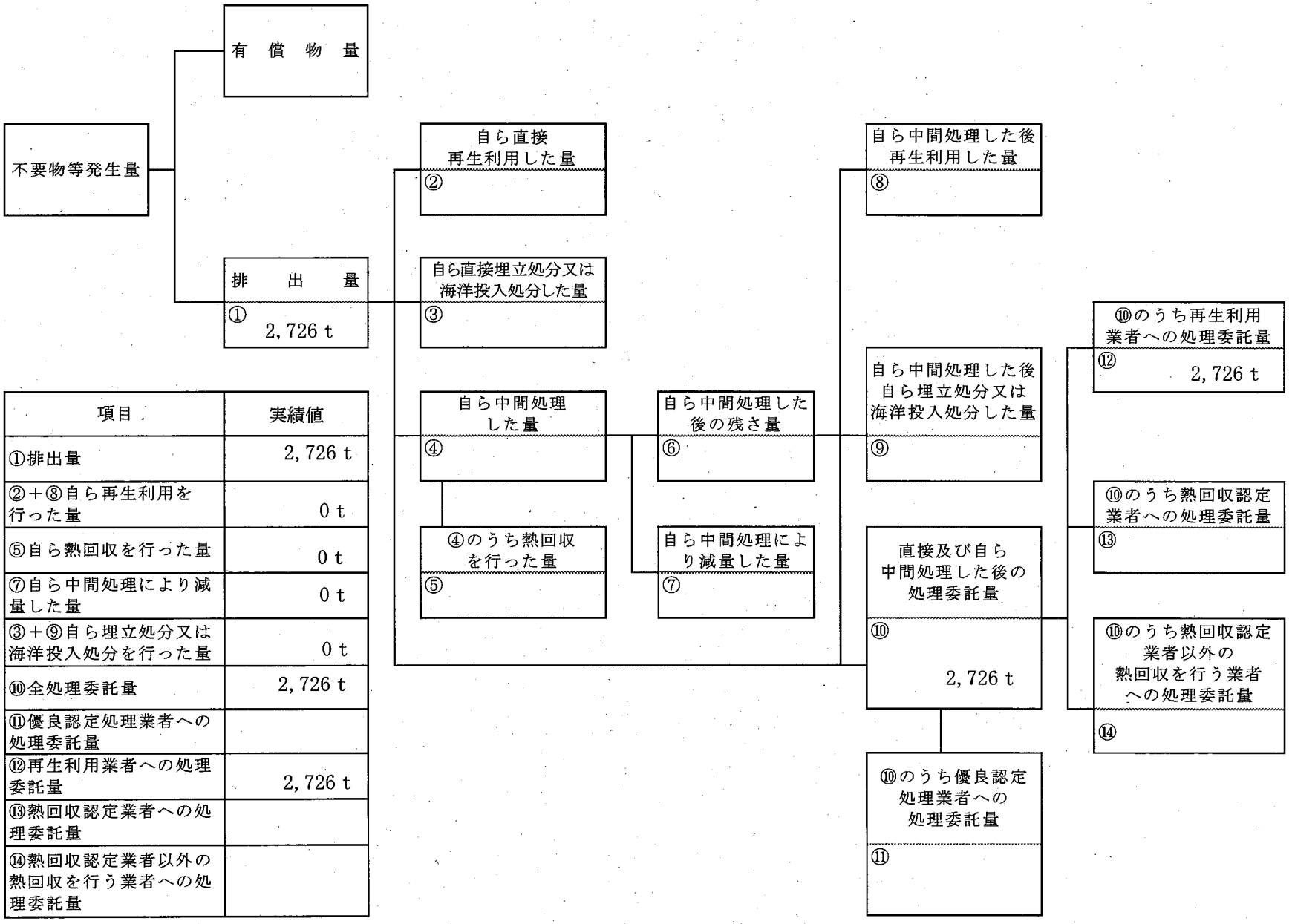
（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	1,931 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1,931 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,931 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・コンクリート・陶磁器くず　）



項目	実績値
①排出量	2,726ｔ
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0ｔ
⑤自ら熱回収を行った量	0ｔ
⑦自ら中間処理により減量した量	0ｔ
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0ｔ
⑩全処理委託量	2,726ｔ
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	2,726ｔ
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。